



高崎健康福祉大学

Takasaki University of Health and Welfare

2019 年度

シラバス 保健医療学部

看護学科



目次

看 001 基礎教養ゼミ	1
看 002 日本語表現法	4
看 003 日本国憲法	7
看 004 法学	10
看 005 経済学	13
看 006 社会学	16
看 007 生涯健康論	19
看 008 生涯学習概論	23
看 009 生命と環境の科学	26
看 010 国際関係論	30
看 011 体育理論	34
看 012 体育実技	36
看 013 キャリア形成論	39
看 014 哲学	43
看 015 倫理学	46
看 016 心理学	49
看 017 文学と人間	52
看 018 芸術論	56
看 019 ボランティア・市民活動論	59
看 020 人権論	62
看 021 人間関係論	65
看 022 ジェンダー論	68
看 023 共生の倫理	71
看 024 チーム医療アプローチ論	74
看 025 国際医療事情	76
看 026 Introduction to Healthcare Sciences	79
看 027 囲碁の世界	82
看 028 英語ⅠA	85
看 028 英語ⅠB	88
看 028 英語ⅠC	91
看 029 英語ⅡA	93
看 029 英語ⅡB	95
看 029 英語ⅡC	98
看 030 英語ⅢA	100
看 030 英語ⅢB	102
看 030 英語ⅢC	105

看 031 英語IVA	108
看 031 英語IVB	110
看 031 英語IVC	113
看 032 Integrated English I	117
看 033 Integrated English II	120
看 034 ドイツ語	123
看 035 フランス語	126
看 036 ポルトガル語	128
看 037 中国語	131
看 038 ハンデル語	134
看 039 コンピュータ入門 I	137
看 040 コンピュータ入門 II	140
看 041 コンピュータ実習 I	143
看 042 コンピュータ実習 II	146
看 043 論理学	149
看 044 人間発達論	151
看 045 人間行動学	154
看 046 化学	157
看 047 統計学	160
看 048 生物学	162
看 049 生活科学概論	165
看 050 国際保健医療論	167
看 051 生化学	170
看 052 解剖生理学 I	172
看 053 解剖生理学 II	176
看 054 栄養学 I	179
看 055 栄養学 II	181
看 056 臨床心理学	183
看 057 リスクマネジメント	186
看 058 疫学	188
看 059 社会調査特論	191
看 060 公衆衛生学	193
看 061 保健医療福祉行政論	196
看 062 医療情報システム論	199
看 063 薬理学	201
看 064 微生物学	204
看 065 病理学	207
看 066 リハビリテーション概論	210
看 067 臨床医学 I (内科学・外科学)	212

看 068 臨床医学Ⅱ（内科学・外科学）	218
看 069 臨床医学Ⅲ（老年医学）	222
看 070 臨床医学Ⅳ（小児医学）	226
看 071 臨床医学Ⅴ（女性医学）	229
看 072 臨床医学Ⅵ（精神医学）	232
看 073 心の健康	235
看 074 リラクセーション概論	237
看 075 看護学原論	239
看 076 人間関係形成論	242
看 077 フィジカルアセスメント	245
看 078 基礎看護技術Ⅰ	248
看 079 基礎看護技術Ⅱ	254
看 080 看護学方法論Ⅰ	261
看 081 看護学方法論Ⅱ	265
看 082 看護倫理学Ⅰ	268
看 083 基礎看護学実習Ⅰ	270
看 084 基礎看護学実習Ⅱ	272
看 085 医療コミュニケーション論	274
看 086 成人看護学概論	277
看 087 成人看護学方法論Ⅰ・A	280
看 088 成人看護学方法論Ⅰ・B	283
看 089 成人看護学方法論Ⅱ・A	286
看 090 成人看護学方法論Ⅱ・B	289
看 091 セルフケア論	292
看 092 成人看護学実習Ⅰ	294
看 093 成人看護学実習Ⅱ	297
看 094 老年看護学概論	300
看 095 老年看護学方法論Ⅰ	303
看 096 老年看護学方法論Ⅱ	307
看 097 老年看護学実習	311
看 098 小児看護学概論	313
看 099 小児看護学方法論Ⅰ	317
看 100 小児看護学方法論Ⅱ	321
看 101 小児看護学実習	325
看 102 母性看護学概論	328
看 103 母性看護学方法論Ⅰ	331
看 104 母性看護学方法論Ⅱ	335
看 105 母性看護学実習	339
看 106 精神看護学概論	341

看 107 精神看護学方法論Ⅰ	344
看 108 精神看護学方法論Ⅱ	347
看 109 精神看護学実習	350
看 110 在宅看護学概論	352
看 111 在宅看護学方法論Ⅰ	355
看 112 在宅看護学方法論Ⅱ	358
看 113 在宅看護学実習	360
看 114 公衆衛生看護学概論	362
看 115 公衆衛生看護学方法論	365
看 116 地域ケアシステム実習	368
看 117 健康教育論	370
看 118 ケアネットワーク論	372
看 119 家族看護論	374
看 120 看護研究概論	376
看 121 看護管理学Ⅰ	379
看 122 看護管理学Ⅱ	381
看 123 看護倫理学Ⅱ	383
看 124 ヘルスカウンセリング	385
看 125 感染看護	387
看 126 専門看護活動論Ⅰ（クリティカルケア）	390
看 127 専門看護活動論Ⅱ（ターミナルケア）	392
看 129 災害看護学	394
看 130 看護学特論	397
看 131 チーム医療アプローチ演習	399
看 132 統合実習	401
看 133 研究ゼミナール	403
看 134 保健統計学	405
看 135 公衆衛生看護活動論Ⅰ	407
看 136 公衆衛生看護活動論Ⅱ	410
看 137 母子保健論	413
看 138 産業保健論	415
看 139 学校保健論	417
看 140 健康危機管理論	419
看 141 公衆衛生看護組織論	421
看 142 公衆衛生看護学実習Ⅰ	423
看 143 公衆衛生看護学実習Ⅱ	425
看 144 学校保健	427
看 145 養護概説	430
看 146 健康相談Ⅰ	433

看 147 健康相談Ⅱ	435
看 148 教育基礎論	437
看 149 教職論	440
看 150 教育制度論	443
看 151 教育心理学	446
看 152 特別な教育的ニーズの理解とその支援	450
看 153 教育課程論	453
看 154 道德教育・特別活動論	455
看 155 総合的な学習の時間論	459
看 156 教育方法論	462
看 157 生徒指導論	464
看 158 教育相談	468
看 159 養護実習	472
看 160 教職実践演習（養護教諭）	475

看 001 基礎教養ゼミ

科目名	基礎教養ゼミ（教養基礎）			LAB001	講義
英文名	Freshman Seminar (FYE)				
担当教員	小池洋子 安野朝子 鈴木忠				
科目に関連した実務経験	病院の看護部長、県の看護行政職として勤務（経験）				
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	看護大学初年度生として、学習方法や大学生活の心得・方法を身につけ、さらに看護を学ぶことへのモチベーションを高める。				
到達目標	1. 大学生としての生活の仕方や社会一般のマナーが理解でき、実践できる。 2. 大学での自主的学び方、求められる学士力・社会人基礎力について理解でき、実践できる。 3. 医療現場や医療専門職種についてを理解できる。■ 4. 看護職としての基本的態度・姿勢について理解でき、自身のキャリアデザインについて考察できる。■				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	講義や演習、実習への参加度を 40%、課題レポート評価 60%とし、総合 60%以上で合格とする。				
課題に対するフィードバック	毎回の振り返り・感想カードに対するコメントを次回の授業初めに行なう。 提出レポートに適宜コメントをして返す。				
使用教材	「看護学生のためのよくわかる大学での学び方第 2 版」. 前原澄子他監修. 金芳堂. 2018 年. 2400 円 スライドのプリントと必要資料を配布する。				
1	講義内容	大学での学び方、意義 教養とは			
	該当する到達目標	予習	履修ガイド、学生生活ハンドブックを読んてくる。		1.5 時間
	1, 2	復習	自身の履修登録の仕方、学習方法を考える。 社会の中の大学生として、生活改善について考える。		1.5 時間
2	講義内容	スチューデントスキル：対人関係スキル、ストレス対処スキル、日々の健康管理			
	該当する到達目標	予習	教科書 P108～139、P154～158 を読んてくる。		1.5 時間
	1, 2, 3,	復習	対人関係スキル、ストレス対処スキルの内容を整理する。 自己の健康管理方法を見直す。		1.5 時間
3	講義内容	スタディスキル①：情報リテラシー、図書館の使い方と文献検索方法			
	該当する到達目標	予習	教科書 P20～35 及び看護学科「ソーシャルメディア利用に関する留意		1 時間

			事項」を読んでくる。	
	1, 2, 3, 4	復習	図書館において文献検索を行う。	2 時間
4	講義内容	スタディスキル②:文章の読み方・書き方		
	該当する到達目標	予習	教科書 P36～47 を読んでくる。	1 時間
	2	復習	課題に取り組む。	2 時間
5	講義内容	スタディスキル③:レポートの書き方		
	該当する到達目標	予習	前回の課題について提出できるよう取り組む。 教科書 P59～72 を読んでくる。	1 時間
	2	復習	レポートを書く。	2 時間
6	講義内容	日本の医療の現状		
	該当する到達目標	予習	話題となっている「医療に関する情報」を調べておく。	1.5 時間
	3, 4	復習	日本の医療や病院や医療専門職の特徴についてまとめ整理する。	1.5 時間
7	講義内容	看護の歴史		
	該当する到達目標	予習	ナイチンゲールに関する資料を読んでくる。	2 時間
	3, 4	復習	看護の歴史について整理し、看護を学ぶ者としての自己のあり方を考える。	1 時間
8	講義内容	看護職に求められる倫理的感受性		
	該当する到達目標	予習	教科書 P159～169 を読んでくる。	1.5 時間
	3, 4	復習	看護職が高い倫理観を求められる理由についてまとめる。	1.5 時間
9	講義内容	看護職を取り巻く諸制度 保健師助産師看護師法 ■		
	該当する到達目標	予習	高校までに学習した日本の法制度を復習しておく。(憲法・政令・省令・条例とは何か等)	1.5 時間
	3, 4	復習	看護職に関わる法的規定を整理する。	1.5 時間
10	講義内容	キャリアデザイン①:看護キャリア、キャリアデザイン ■		
	該当する到達目標	予習	教科書 P170～180 を読んでくる。	1.5 時間
	2, 3, 4	復習	自身のキャリアデザインを考える。	1.5 時間
11	講義内容	キャリアデザイン②:ポートフォリオの作成／早期体験学習に伴う事前学習		
	該当する到達目標	予習	教科書 P183～196 を読んでくる。これまでの人生のポイントとなる品物を集め、エピソードを書き留める。	1 時間
	2, 3, 4	復習	自身のポートフォリオを完成させる。 病院の定義、設備、診療科などについて調べ、知りたいことを整理する。	2 時間
12	講義内容	早期体験学習(病院見学)		
	該当する到達目標	予習	見学のポイント、質問項目をグループ内で共有しておく。	1.5 時間
	3, 4	復習	見学施設の概要をまとめる。	1.5 時間
13	講義内容	早期体験学習(病院見学)		
	該当する到達目標	予習	見学施設の概要をまとめる。	1.5 時間

	3, 4	復習	見学内容、質問の回答、学んだことについて整理する。	1.5 時間
	講義内容	早期体験学習(病院見学)		
14	該当する到達目標	予習	見学内容、質問の回答、学んだことについて整理する。	1.5 時間
	3, 4	復習	見学から学んだことを整理する。	1.5 時間
	講義内容	早期体験学習のまとめ 全体のまとめ		
15	該当する到達目標	予習	見学で学んだことについて、グループで情報共有してくる。	1.5 時間
	2, 3, 4	復習	看護職を目指す大学生としての自分の課題と目標を整理する。	1.5 時間
備考	オフィスアワー:火曜日 3・4 限 研究室:5 号館 412 メールアドレス: koike-y@takasaki-u.ac.jp ・参考文献:「保健師助産師看護師法」「看護職野倫理綱領(日本看護協会)」 ・ナイチンゲールに関する資料は事前に提示する。 ・15回を3ブロックに分け、1～5回は「学び方と学ぶ姿勢」、6～11回は「医療・看護の理解とキャリアデザイン」、12～15回は「医療現場の理解」として科目構成をしている。1～11回は講義と個人課題の実施が中心となり、12～15回は病院での見学実習を行う。 ・病院や行政での実務経験を紹介し、看護職が働く姿をイメージしやすいよう講義を行う。 ・早期体験学習に関する予習・復習はグループでの情報共有ができるよう課題を提示する。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

看 002 日本語表現法

科目名	日本語表現法（教養基礎）			LAB002	講義
英文名	Japanese Expression Method				
担当教員	武藤 洋一				
科目に関連した実務経験	記者として上毛新聞社に勤務。記事全般、コラムを執筆。（経験）				
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	日本人の極端な日本語能力低下が問題視されている中で、「書きことば」における表現力を向上させるために、まず自分の「考え」をまとめ「書く」に至るプロセスを理解する。次に日本語の基礎知識の把握と生じやすい表現上のミスを具体的に認識し、「考え」をいかに「文章化」するかを修得する。同時に他者の「考え」を発言や文面から把握、その内容に対する自分の意見を構築、交換、指摘する機会を設け、学士力向上を図る。				
到達目標	1.自分の「考え」をまとめ、意思表示できる。 2.日本語の基礎知識を表現・文法・語彙の三側面から確認し、理解できる。 3.日本語表現の基本的ミスを確認し、理解できる。■ 4.文章の組み立て方を理解し、習得できる。 5.日本語表現的に正確な文章が書けるようにする。■				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	筆記試験(80%)・授業参加度(20%)によって、総合的に評価する。評価方法の基準は講義時に通達する。				
課題に対するフィードバック	提出した文章の欠点・修正点を謙虚に捉え、新たな文章作成の場に生かし、文章力向上に挑戦する。				
使用教材	『文章表現テクニック』（教育弘報研究所）				
1	講義内容	「考え」をまとめるための 5 段階 ■			
	該当する到達目標 1,4	予習	テキストの該当箇所を詠み、自分なりの 5 段階法を考察しておく。		1.5 時間
		復習	実際に 5 段階法で文章を書き、文章構成の手法を振り返ってみる。		1.5 時間
2	講義内容	日本語表現の基礎知識 I 「公的」と「私的」 ■			
	該当する到達目標	予習	「公的」「私的」の違いを把握し、教科書のテスト 1 を解いておく。		1.5 時間

	1,5	復習	作文と小論文の違いをノートにまとめ、理解してみる。	1.5 時間
3	講義内容	日本語表現の基礎知識Ⅱ 慣用句■		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当部分を読み、テスト2を解いておく。	1.5 時間
	2,3,5	復習	「慣用句」についての理解を深めてみる。	1.5 時間
4	講義内容	日本語表現の基礎知識Ⅲ ことわざ・故事成語■		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当部分を読み、テスト3を解いておく。	1.5 時間
	2,3,5	復習	「慣用句」～「故事成語」をノートにまとめ、自分でも調べてみる。	1.5 時間
5	講義内容	日本語表現の基礎知識Ⅳ 四字熟語■		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当部分を読み、テスト4を解いておく。	1.5 時間
	2,3,5	復習	「四字熟語」の見識を深めるため日常的に使われている熟語を調べてみる。	1.5 時間
6	講義内容	日本語表現の基礎知識Ⅴ 比喩法■		
	該当する到達目標	予習	比喩法の違いを把握しておく。	1.5 時間
	2,3,5	復習	比喩法を正確に識別できるか、試してみる。	1.5 時間
7	講義内容	日本語表現のミスⅠ 主述関係■		
	該当する到達目標	予習	主述関係のミスによる例文を考えておく。	1.5 時間
	2,3,5	復習	主述関係が正確に伝わる文章の条件を、ノートにまとめてみる。	1.5 時間
8	講義内容	日本語表現のミスⅡ 修飾語・被修飾語■		
	該当する到達目標	予習	修飾語・被修飾語の基本的知識を学んでおく。	1.5 時間
	2,3,5	復習	修飾関係の乱れを生じさせない条件を、例文を使ってノートにまとめてみる。	1.5 時間
9	講義内容	日本語表現のミスⅢ 重複表現■		
	該当する到達目標	予習	重複表現の例を調べておく。	1.5 時間
	2,3,5	復習	重複表現を故意に使った駄洒落文を作ってみる。	1.5 時間
10	講義内容	日本語表現のミスⅣ 副詞の誤用■		

	該当する到達目標	予習	陳述の副詞の誤用例を調べておく。	1.5 時間
	2,3,5	復習	社会の流れによって変わる「誤用」の要因を考えてみる。	1.5 時間
11	講義内容	日本語表現のミスⅤ 日本語表現の誤用■		
	該当する到達目標	予習	日常的に使われている誤用を調べておく。	1.5 時間
	2,3,5	復習	オリジナルの誤用を作り出してみる。	1.5 時間
12	講義内容	文章の組み立て方Ⅰ 起承転結■		
	該当する到達目標	予習	「起承転結」の意味を調べておく。	1.5 時間
	1,4,5	復習	「起承転結」に従って 400 字程度の小論文を書いてみる。	1.5 時間
13	講義内容	文章の組み立て方Ⅱ 5W1H■		
	該当する到達目標	予習	テキストを基に、5W1H の基本知識を習得しておく。	1.5 時間
	1,4,5	復習	5W1H に従いながら文章構成を考え、100 字以内の文章を作ってみる。	1.5 時間
14	講義内容	文章の組み立て方Ⅲ キーワード・キーセンテンス■		
	該当する到達目標	予習	新聞の社説を利用し、キーワード・キーセンテンスを見つけておく。	1.5 時間
	1,4,5	復習	キーワード・キーセンテンスを選択する際の必要事項ををノートにまとめる。	1.5 時間
15	講義内容	文章の組み立て方Ⅳ 字数制限■		
	該当する到達目標	予習	前回の授業で配布された課題文の要旨を字数制限に従ってまとめておく。	1.5 時間
	1,4,5	復習	800 字の文章を 200 字に、200 字の文章を 400 字にする訓練を試みる。	1.5 時間
備考	受講に必要な資格はなし。 毎回、現代人がよく間違える慣用句や文章表現について、その都度実例を示しながら説明する。また、高校までに学ぶ機会が少なかったと思われる四字熟語・ことわざなどを、講義時間の一部を使って説明する。 小論文を「書く→添削→返却」を 3 回程度実施する。 オフィスアワーは授業実施時限の前後 1～2 時間。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

看 003 日本国憲法

科目名	日本国憲法（教養基礎）			LAB003	講義
英文名	Japanese Constitution				
担当教員	新田浩司				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	法規範は、強制力を持つ社会規範であり、憲法は最も重要な法規範である。憲法は国家の根本法ないしは最高法規であり、国家の組織や構造並びに国民の人権を保障する。講義では、この憲法について学ぶ。				
到達目標	1.国家がどのように成立しているか、憲法の各条規は、社会において具体的に生きているのか、等について理解を深める。 2.一般国民も、裁判員制度が始まり、憲法を初め様々な法律に触れる機会が増えているので、憲法や各種の法律の理解を深めることを目標とする。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	出席状況及び試験成績により評価する（内訳は、出席状況が 30%、定期試験 70%）				
課題に対するフィードバック	小テスト実施した場合、評価の上返却する。				
使用教材	名雪健二編著『公法基礎入門』八千代出版 2400円＋税				
1	講義内容	ガイダンス			
	該当する到達目標	予習	教科書を事前に読んでおくこと。		1 時間
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを完成させる。		1 時間
2	講義内容	憲法の基礎知識（1）			
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。		1 時間
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを完成させる。		1 時間
3	講義内容	憲法の基礎知識（2）			
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。		1 時間
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを完成させる。		1 時間
4	講義内容	憲法の基礎知識（3）			
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。		1 時間

	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを作成させる。	1 時間
5	講義内容	日本国憲法の制定過程		
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1 時間
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを作成させる。	1 時間
6	講義内容	日本国憲法の基本原理		
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1 時間
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを作成させる。	1 時間
7	講義内容	国家の安全保障		
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1 時間
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを作成させる。	1 時間
8	講義内容	精神的自由権 (1)		
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1 時間
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを作成させる。	1 時間
9	講義内容	精神的自由権 (2)		
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1 時間
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを作成させる。	1 時間
10	講義内容	経済的自由権 1,2		
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1 時間
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを作成させる。	1 時間
11	講義内容	社会権 (1)		
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1 時間
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを作成させる。	1 時間
12	講義内容	社会権 (2)		
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1 時間
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを作成させる。	1 時間
13	講義内容	参政権、国務請求権		
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1 時間
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを作成させる。	1 時間
14	講義内容	統治機構 (1)1,2		
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1 時間
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを作成させる。	1 時間
15	講義内容	統治機構 (2)		
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1 時間
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを作成させる。	1 時間
備考	授業はパワーポイントのスライドをもとに説明を行いながら進める。 最後に理解度確認のための小テストを行う。 授業中の私語は厳禁。出席票の代筆厳禁。			

予習・復習について、試験前後の学習にて補完すること。

オフィスアワー 4 限

看 004 法学

科目名	法学（教養基礎）			LAB004	講義
英文名	Law				
担当教員	新田浩司				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	社会のルールである法は、我々が生活する上で不可欠であり、我々が社会人として身につけるべき能力である法的思考（リーガル・マインド）を身に着けることが目標です。				
到達目標	1.社会における法規範の意義について理解する。 2.法的思考を身につけることにより、社会における様々な問題を法的に分析できるようになる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	出席状況及び試験成績により評価する（内訳は、出席状況が 30%、定期試験 70%）				
課題に対するフィードバック	小テスト実施した場合、評価の上返却する。				
使用教材	名雪健二編著『公法基礎入門』八千代出版 2400円＋税				
1	講義内容	ガイダンス			
	該当する到達目標	予習	教科書を事前に読んでおくこと。		1 時間
	1,2	復習	配布資料と教科書を参照しながら講義ノートを完成させる。		1 時間
2	講義内容	第 1 章 法と法学			
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。		1 時間
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを完成させる。		1 時間
3	講義内容	第 2 章 法と国家			
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。		1 時間
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを完成させる。		1 時間
4	講義内容	第 3 章 法と他の社会規範との関係			
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。		1 時間
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを完成させる。		1 時間
5	講義内容	第 4 章 法の目的			
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。		1 時間

	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを完成させる。	1 時間
6	講義内容	第 5 章 法の構造		
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1 時間
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを完成させる。	1 時間
7	講義内容	第 6 章 法の淵源		
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1 時間
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを完成させる。	1 時間
8	講義内容	第 7 章 法の分類		
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1 時間
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを完成させる。	1 時間
9	講義内容	第 8 章 法の解釈		
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1 時間
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを完成させる。	1 時間
10	講義内容	第 9 章 法の適用—法が適用される事実、法を適用する機関 1,2		
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1 時間
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを完成させる。	1 時間
11	講義内容	第 10 章 法の効力		
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1 時間
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを完成させる。	1 時間
12	講義内容	第 11 章 権利と義務		
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1 時間
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを完成させる。	1 時間
13	講義内容	まとめ(1)		
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1 時間
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを完成させる。	1 時間
14	講義内容	まとめ(2)1,2		
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1 時間
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを完成させる。	1 時間
15	講義内容	まとめ(3)		
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1 時間
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを完成させる。	1 時間
備考	授業はパワーポイントのスライドをもとに説明を行いながら進める。 最後に理解度確認のための小テストを行う。 授業中の私語は厳禁。出席票の代筆厳禁 予習・復習については、試験前後の学習にて補完すること。 オフィスアワー 4 限			

看 005 経済学

科目名		経済学（教養基礎）			LAB005	講義
英文名		Economics				
担当教員		町田修三				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標		経済に関する知識は一般社会や国際社会において極めて重要であるものの、多くの学生は十分な知識を持っていない。選挙権が与えられても経済知識なしで投票に行くのは危険である。この講義では身近なトピックを通して基礎的経済の知識を習得し、国内外の社会のメカニズムや流れを理解できるようになることを目的とする。レベルとしては、新聞やテレビのニュースがしっかりと理解できるようになることを想定している。また、医療分野を専攻する学生にとっては、医療の経済面からの考察も講義に取り入れるので参考にして理解を深めてほしい。				
到達目標		1. 日本の経済の現状を説明できる 2. 需要と供給、市場メカニズムについて理解を深め、概説できる 3. 景気やGDPについて理解を深め、概説できる 4. 国の予算や税金制度について説明できる 5. お金の流れや物価変動について説明できる 6. 経済政策について理解を深め、他者に説明できる 7. 為替レートの変動と貿易の実態について概説できる 8. 新聞やテレビのニュースが理解でき、他者に解説できる				
学位授与方針との対応		✓	1. 人間理解と倫理観			
			2. 論理的思考・問題解決力			
			3. チームの一員としての協調・協働			
			4. 国際理解			
			5. 生涯学習力			
評価方法		学期末試験 80%、毎回の授業の最後に提出するコメントカード、その他の提出物(クイズ、小レポートなど)20%				
課題に対するフィードバック		コメントカードに記載された質問事項、疑問点等に関しては、次回の講義で回答する。クイズについても次回の講義で解説する。小レポートにはコメントを付して返却する				
使用教材		必修テキストはない。推薦テキストは多数あるので、講義の中で必要に応じて紹介する。講義では毎回資料、データを配布する				
1	講義内容	イントロダクション(一部AL[アクティブラーニング]実施				
	該当する到達目標	予習	シラバスを熟読し、講義の概要や目標を理解しておく			1 時間
		8	復習	ニュースに触れる習慣(新聞、テレビ、ネット)を開始する		

2	講義内容	日本経済の流れ(世界との比較のなかで)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
3	講義内容	経済政策の2大潮流—マーケット or ケインズ(一部AL実施)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
4	講義内容	需要と供給(需要曲線の意味)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	2,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
5	講義内容	市場メカニズムと価格(どうして水よりもダイヤモンドのほうが高いんだろう?)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	2,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
6	講義内容	価格の変動(どうして缶コーヒーやペットボトルのお茶は、どれも同じ値段なんだろう?)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	2,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
7	講義内容	国民所得 I (国の経済力はどう測るんだろう? GDPって何?)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1,3,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
8	講義内容	国民所得 II (あなたが 1 万円使ったと GDP はいくら増える?)(一部AL実施)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1,3,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
9	講義内容	財政(日本の借金は大丈夫? 消費税は何%に?)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1,4,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
10	講義内容	景気と失業(不景気で学生の就職はどうなる?)(一部AL実施)1,3,8		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1,3,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
11	講義内容	金融(日本銀行は何をしたら?)(一部AL実施)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1,5,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
12	講義内容	経済政策のしくみ(アベノミクスは何をした?)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1,6,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
13	講義内容	為替レート(円高、円安ってどうして起こるの?)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1,7,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
14	講義内容	世界と日本(日本の貿易は黒字? 赤字?)(一部AL実施)1,7,8		

	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1,7,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
15	講義内容	まとめと確認のためのテスト		
	該当する到達目標	予習	これまで学習した事項について目を通し、理解を深めておく	3 時間
	1～8	復習	期末試験の出題意図、講義の理解度の再確認と今後の学習の方向性を考える	1.5 時間
備考	オフィスアワー：月曜日4限目、金曜日2限目 研究室：1号館6階603 授業開始時に学生から出された質問・疑問に答えながら、前回の復習をする。授業中はクイズをはじめとした問いかけを多く出し、可能な限りアクティブラーニングの導入を試みる。 メールアドレス：machida@takasaki-u.ac.jp AL（アクティブラーニング）は、クローズドクエスチョン、オープンクエスチョン、ペアワーク、グループワークなど 予習・復習については、期末試験前の学習で補完すること			

看 006 社会学

科目名	社会学（教養基礎）			LAB006	講義
英文名	Sociology				
担当教員	安達 正嗣				
科目に関連した実務経験	兵庫県庁の家庭問題研究所において 3 年間、研究員および主任研究員として兵庫県の各市町村で家族・高齢者・福祉調査を実施して調査資料を作成することによって、各課への政策提言をおこなった。				
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	社会学的なものの見方とは、どういうものか、社会学的にものを考えるときに使用する専門的概念には、どのようなものがあるのかなどといった社会学の基本の理解を目指す。使用教材を中心にしながら、日常の具体的な事例から解説することによって、基本的な社会学の考え方を身につける。				
到達目標	1. 大学生として社会学の基本的な考え方を身につけることができる。 2. 社会学を通じて、豊かな人間性と倫理観を身につけることができる。 3. 日常の人間関係を理解することによって、コミュニケーション能力を身につけることができる。 4. 社会の仕組みを理解して、現代社会における自分自身の立ち位置を知ることができる。 5. 現代社会の社会問題を認識して、その解決を探る能力を身につけることができる。■				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	平常点（毎回、提出してもらうアクションペーパーについては、第 1 回目の講義で説明します）50%、学期末試験 50%です。				
課題に対するフィードバック	各受講生の提出したアクションペーパーに書かれた質問、意見、要望などに対して、つぎの講義の前にリプライを実施する。場合によって、担当教員と受講生、あるいは受講生同士のディスカッションをおこなうことを通じて、社会学の理解を深める。				
使用教材	篠原清夫・栗田真樹編著『大学生のための社会学入門』晃洋書房。				
1	講義内容	オリエンテーション、第1章社会学とは何か(1～12 頁)について解説する。			
	該当する到達目標	予習	第1章を読んでおくこと。1 頁の予習課題をしておくこと。		1.5 時間
	1,2,3,4	復習	第1章の内容を理解しておくこと。9 頁の課題をしておくこと。		1.5 時間
2	講義内容	第2章 社会を観察する方法(13～24 頁)を解説する。			
	該当する到達目標	予習	第2章読んでおくこと。13 頁の予習課題をしておくこと。		1.5 時間
	1,2,3	復習	第2章の内容を理解すること。22 頁の課題をしておくこと。		1.5 時間
3	講義内容	第3章 社会で生きる「私」(25～35 頁)を解説する。			
	該当する到達目標	予習	第3章を読んでおくこと。25 頁の予習課題をしておくこと。		1.5 時間
	1,2,3	復習	第3章の内容を理解すること。34 頁の課題をしておくこと。		1.5 時間
4	講義内容	第4章 変容する家族のかたち(36～47 頁)を解説する。実務で得た調査結果を提示する。■			

	該当する到達目標	予習	第4章を読んでおくこと。36 頁の予習課題をしておくこと。	1.5 時間
	1,2,3	復習	第4章の内容を理解すること。47 頁の課題をしておくこと。	1.5 時間
5	講義内容	第5章 性の多様なあり方を考える(48～59 頁)を解説する。		
	該当する到達目標	予習	第5章を読んでおくこと。48 頁の予習課題をしておくこと。	1.5 時間
	1,2,3	復習	第5章の内容を理解すること。57 頁の課題をしておくこと。	1.5 時間
6	講義内容	第6章 「現実を生きる」ための社会学—労働・産業・消費—(60～72 頁)を解説する。		
	該当する到達目標	予習	第6章を読んでおくこと。60 頁の予習課題をしておくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	第6章の内容を理解すること。70 頁の課題をしておくこと。	1.5 時間
7	講義内容	第7章 日本で進展する環境・災害社会学(73～86 頁)を解説する。		
	該当する到達目標	予習	第7章を読んでおくこと。73 頁の予習課題をしておくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	第7章の内容を理解すること。84 頁の課題をしておくこと。	1.5 時間
8	講義内容	第8章 社会学から医療を見つめる(87～97 頁)を解説する。		
	該当する到達目標	予習	第8章を読んでおくこと。87 頁の予習課題をしておくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	第8章の内容を理解すること。96 頁の課題をしておくこと。	1.5 時間
9	講義内容	第9章 社会学は教育とどう向き合うのか(98～109 頁)を解説する。		
	該当する到達目標	予習	第9章を読んでおくこと。98 頁の予習課題をしておくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	第9章の内容を理解すること。108 頁の課題をしておくこと。	1.5 時間
10	講義内容	第10章 逸脱行動と社会問題(110～121 頁)を解説する。1,2,3,4,5		
	該当する到達目標	予習	第10章を読んでおくこと。110 頁の予習課題をしておくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	第10章の内容を理解すること。119 頁の課題をしておくこと。	1.5 時間
11	講義内容	第11章 「格差」の社会学(122～134 頁)を解説する。		
	該当する到達目標	予習	第11章を読んでおくこと。122 頁の予習課題をしておくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	第11章の内容を理解すること。132 頁の課題をしておくこと。	1.5 時間
12	講義内容	第12章 生活空間としての地域社会(135～149 頁)を解説する。		
	該当する到達目標	予習	第12章を読んでおくこと。135 頁の予習課題をしておくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	第12章の内容を理解すること。144 頁の課題をしておくこと。	1.5 時間
13	講義内容	第13章 グローバル社会とエスニシティ(150～162 頁)を解説する。		
	該当する到達目標	予習	第13章を読んでおくこと。150 頁の予習課題をしておくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	第13章の内容を理解すること。162 頁の課題をしておくこと。	1.5 時間
14	講義内容	第14章 宗教から社会を捉える(163～176 頁)を解説する。1,2,3,4,5		
	該当する到達目標	予習	第14章を読んでおくこと。163 頁の予習課題をしておくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	第14章の内容を理解すること。173 頁の課題をしておくこと。	1.5 時間
15	講義内容	全講義を振り返り、社会学の考え方についてまとめる。		
	該当する到達目標	予習	教科書とノートを読み直して、全講義の理解の確認をしておくこと。	3 時間
	1,2,3,4,5	復習	全講義の内容と概念について、再確認をしておくこと。	3 時間
備考	講義の進め方としては、毎回、講義後にリプライカードを受講生に配布して、その回の講義内容と質問・意見を記入してもらい、次回には質問・意見に応えながら前回の講義を振り返り理解を定着化させてか			

ら、講義をおこなっている。

各受講生が、毎回の講義内容を自分自身の身近な具体的な状況のなかで理解することによって、社会学の考え方を深めることができるので、そうした観点から意欲的に講義に臨んでほしい。

オフィスアワー：火曜日 5 限・水曜日 3 限

■：実務経験に基づく内容を示す。

看 007 生涯健康論

科目名	生涯健康論（教養基礎）			LAB007	講義
英文名	Lifelong Health Theory				
担当教員	鈴木 忠				
科目に関連した実務経験	非常勤医師(循環器内科)として病院に勤務				
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	生涯を幸せで豊かに過ごすための基本は健康である。日本人は世界有数の長寿を誇っているが、自立して生活を送る健康寿命は、平均寿命より約 10 年も短い。本講義では、健康寿命の延伸に向けて生涯にわたる健康維持・管理について理解し、人々の健康寿命延伸に健康支援チームの一員として参加できる基礎知識を身に着けることを目的としている。				
到達目標	1.健康の定義と集団の健康評価指標を理解する。■ 2.個体の健康を維持するため生体の調節機構について理解する。■ 3.環境・生活習慣の変容と疾病発症の関連について理解する。■ 4.健康寿命延伸にむけた取り組みについて理解する。■				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	授業参加度(課題に対する回答等)およびレポート:60 点、期末試験:40 点で総合 60 点以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	レポートに対しコメントする。				
使用教材	テキストは使用せず、配布資料及び視聴覚資料を使用する。 参考書として、厚生統計協会刊の「国民衛生の動向」を利用する。				
1	講義内容	健康の定義と健康評価指標 WHO の提唱した健康の定義を知る。集団の健康評価の指標として最もよく使われるのが平均寿命であるが、寿命には、〈平均寿命〉、〈平均余命〉、〈健康寿命〉、〈最長寿命〉などの呼び方があり、現在の日本で重要なのは、健康寿命であることを理解する。			
		該当する到達目標	予習	「国民衛生の動向」より健康評価諸指標の年代推移を把握する。	1.5 時間
	1	復習	健康の定義と健康評価指標の理解を深める。		1.0 時間
2	講義内容	健康を維持するための構造と働き■ 健康を維持するための主たる生理機構は、〈物質代謝〉である。物質代謝に関わる体の構造とその働きについて理解する。			

	該当する到達目標	予習	人体構造・生理学の参考書で該当部分を学習する。	1.5 時間
	2	復習	物質代謝を理解し関わる体の構造とその働きについて理解を深める。	1.0 時間
3	講義内容	恒常性維持システムの役割と相互作用 ■ 物質代謝に関連する構造がバランスよく正常に機能するように統括する恒常性維持(ホメオスタシス)システムは、脳神経系、内分泌系及び免疫系で構成される。その働きと相互作用について理解する。		
	該当する到達目標	予習	人体構造・生理学の参考書で該当部分を学習する。	1.5 時間
	2	復習	生体の恒常性(ホメオスタシス)維持機構について理解する。	1.0 時間
4	講義内容	食物と健康 ■ 物質代謝のスタートは食物からの栄養摂取である。食物には健康に欠かすことのできないエネルギー源(栄養素)だけでなく、生体調節機能を有する成分が含まれることを理解し、食生活が健康維持に密接に関連することを学習する。		
	該当する到達目標	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
	2,3,4	復習	食物の代謝過程を理解するとともに、食生活と健康との関連を学習する。	1.0 時間
5	講義内容	運動と健康 ■ 運動には、健康維持のための恒常性維持システムを正常に働かせるための運動と筋力を鍛えるための運動がある。ここでは、恒常性維持のための運動とその役割及び自立生活を支え、健康寿命を延ばすための筋力を鍛える運動について理解する。		
	該当する到達目標	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
	2,3,4	復習	健康維持における運動の生理学的意義と健康寿命延伸に向けた運動について理解する。	1.0 時間
6	講義内容	ストレスと生活環境 現代の社会・生活環境は個体にとって多くのストレスを生む。ストレスが、恒常性維持システムのバランスに悪影響を及ぼし、健康を害するメカニズムを理解し、ストレスを解消するための心のケア・休息が健康維持にいかに重要であることを理解する。		
	該当する到達目標	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
	2,3	復習	ストレスが、健康を害するメカニズムを理解し、その対策について理解する。	1.0 時間
7	講義内容	喫煙による健康障害 ■ たばこが、発がん性だけでなく、血液循環障害や一酸化炭素中毒などの(喫煙と健康障害)のメカニズムについて理解する。(受動喫煙の影響)についても考える。		
	該当する到達目標	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
	2,3,4	復習	喫煙とその健康障害及び健康障害の機序を理解する。	1.0 時間

8	講義内容	21 世紀における国民健康づくり運動(健康日本 21) 2000 年より、健康寿命の延伸を目指す健康づくり運動がスタートした。①食物・栄養、②運動及び③心の安静を<健康維持の 3 本柱>とし、これまでの早期発見・早期治療による二次予防及び確実な診断と治療・リハビリによる三次予防に対して、病気の発生そのものを防ぐ一次予防を重視する<予防医学>のスタートである。		
	該当する到達目標	予習	「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
	1,3,4	復習	21 世紀における国民健康づくりと取り組みを理解する。	1.0 時間
9	講義内容	メタリックシンドロームおよび特定健診■ 肥満<内臓脂肪症候群(メタリックシンドローム)>の病態を理解し、動脈硬化性疾患発症の高リスクとなることを理解する。メタリックシンドローム対策として特定健診の結果を基に包括的生活指導・介入により、肥満(内臓脂肪肥満)改善により発病を予防できることを理解する。		
	該当する到達目標	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
	3,4	復習	メタリックシンドロームの病態・対策を理解する。	1.0 時間
10	講義内容	生活習慣病の危険因子としての糖尿病■ 生活習慣が発症に関連する<糖尿病>Ⅱ型は、冠状動脈や脳動脈の動脈硬化の危険因子となるのみならず、微小血管障害による腎障害、視力障害及び神経障害の<三大合併症>を引き起こす。人工透析が必要となる腎不全及び失明の原因の第 1 位は糖尿病である。危険因子としての糖尿病とその予防法について理解する。		
	該当する到達目標	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
	3,4	復習	生活習慣病の危険因子としての糖尿病 を理解する。	1.0 時間
11	講義内容	生活習慣病(心疾患・脳卒中)と生活習慣■ 死亡原因の 2 位及び 3 位の<心疾患(狭心症・心筋梗塞症)>及び<脳卒中>は、動脈硬化<血液循環障害>による。これらの疾患の本態を知り、生活習慣との関係を理解し、その予防のための生活習慣を考える。		
	該当する到達目標	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
	3,4	復習	生活習慣病(心疾患・脳卒中)の病態と発症と生活習慣との関連を理解する。	1.0 時間
12	講義内容	ロコモティブシンドローム 脳卒中と運動器障害は介護の主要原因となっている。骨粗鬆症・サルコペニア・運動器不安定を特徴とするロコモティブシンドローム対策が健康寿命の延伸に重要である。ロコモティブシンドロームの早期診断と予防の重要性について理解する。		
	該当する到達目標	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
	3,4	復習	加齢に伴う運動器障害を理解し、早期診断と予防の重要性について理解する	1.0 時間

13	講義内容	生活習慣病(がん)と生活習慣■ 日本人の死亡原因の1位はがん、2位は心疾患、3位は脳卒中であり、いずれも生活習慣に起因する。ここでは、がんという疾患を理解し、がんを発症する生活習慣<(がん発症危険因子)>を知る。また、<がん予防のための生活習慣>及び早期発見・早期治療のための<がん検診>の重要性について理解する。		
	該当する到達目標	予習	「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
	3,4	復習	生活習慣と発がんとの関係を理解し、がん対策基本計画などその対策について学習する。	1.0 時間
14	講義内容	最近の微生物・ウイルス感染症■ 感染症は死因として必ずしも上位ではないが、感染症の流行は社会生活に大きな影響をもたらす。新興・再興感染症が問題となっている。日本人の死亡原因の第4位は肺炎と呼ばれる微生物感染症である。各種保健医療施設においては、入所(入院)者の<院内感染症>発症予防は、最重要課題である。輸血などの医療行為が微生物感染症の発生要因<(医原性感染症)>となる場合があること、感染症発生の予防法について理解する。		
	該当する到達目標	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
	3,4	復習	最近の感染症の動向を理解しその対策について学習する。	1.0 時間
15	講義内容	地域における健康支援チーム構成員とその役割(チーム医療)■ これまでは、健康管理は個人が自分自身の責任で行うとされてきたが、地域における集団での支えあいに重点を置くとされた。地域における健康支援には、本人、家族を中心に、医療専門職者、診療情報管理士、管理栄養士、福祉専門職者、その他多数の職種者からなる<健康支援チームによるチーム医療>が必要である。どのような職種がどのような役割を果たしてチームを構成して健康を支えようとしているのかを理解する。		
	該当する到達目標	予習	「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
	4	復習	地域包括ケアシステムを理解し、地域における健康づくりチームの構成員としての各人の役割を理解する。:	1.0 時間
備考	オフィスアワー: 月曜日 12:30~13:30 15:30~16:30 研究室 4号館 2階学部長室 メールアドレス suzuki-t@takasaki-u.ac.jp 予習・復習については、試験前の学習で補完すること 講義においては前半はテーマについて概要を説明し、後半は質疑応答する形式ですすめる。 レポートについても発表する時間を持ちたい。 ■:実務経験に基づく内容を示す。 地域医療における取組みの現状を踏まえ各講義をすすめる。			

看 008 生涯学習概論

科目名	生涯学習概論（教養基礎）			LAB008	講義
英文名	Introduction to Lifelong Learning				
担当教員	小西 尚之				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	我々の多くは「学校教育」を中心に「教育」を受けてきたが、人間が学ぶ場は学校だけではない。本授業では、「教育」ではなく「学習」の視点から、公民館・博物館・図書館等の社会教育施設における学習など、「生涯学習」について学ぶ。授業の進め方としては、各テーマについての説明を聞くだけでなく、話し合い活動を通じて課題に取り組むことによって理解を深めていく。				
到達目標	1.「生涯学習」や「生涯学習社会」の理念について理解している。 2.社会教育施設等における学びの概要・特徴について理解している。 3.他者と協力しながら課題に積極的に取り組むことができる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	小テストに約 20%、レポート・発表に約 50%、日常点(授業への参加、授業態度、課題への取り組み、討論、授業に対する貢献度等)に約 30%を配分して総合評価する。				
課題に対するフィードバック	試験前後に出題の意図等を説明する。				
使用教材	授業担当者の作成資料による。				
1	講義内容	オリエンテーション			
	該当する到達目標	予習	シラバスを読んでおく。		1.5 時間
	1	復習	資料を読んで、授業の概要を確認し、生涯学習を学ぶ意味を理解する。		1.5 時間
2	講義内容	「学習」とは何か			
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。		1.5 時間
	1,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。		1.5 時間
3	講義内容	今なぜ「生涯学習」がクローズアップされるのか			
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。		1.5 時間
	1,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。		1.5 時間
4	講義内容	人は発達段階に応じて何を学ぶか			

	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
	講義内容	就職すると人はどのような学習をするのか		
5	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	2,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
	講義内容	公民館とは何か		
6	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	2,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
	講義内容	図書館とは何か		
7	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	2,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
	講義内容	博物館とは何か		
8	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	2,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
	講義内容	美術館とは何か		
9	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
	講義内容	青年の家・少年自然の家とは何か 1,3		
10	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
	講義内容	グループ発表①		
11	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	2,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
	講義内容	グループ発表②		
12	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	2,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
	講義内容	グループ発表③		
13	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
	講義内容	グループ発表④1,3		
14	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
	講義内容	グループ発表⑤		
15	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
備考	授業の進め方: 少人数や全体での話し合い活動に加え、フィールドワーク(生涯学習施設への訪問)、その成果の発表など多様な学習活動を行います。			

学校教育の最終段階である大学で学ぶ皆さんにとって、今後の人生で重要となる「生涯学習」について学ぶ意義は大きいと思います。ただし、上記のような活動を重視するため、他者と協力しながら積極的に「学ぼう」という意欲が無い人には不向きです。

予習・復習については、小テストの学習等で補完してください。

オフィスアワー：火曜 5 限、金曜 2 限

メールアドレス：konishi@takasaki-u.ac.jp

研究室：8 号館 4 階 409 研究室

看 009 生命と環境の科学

科目名	生命と環境の科学（教養基礎）			LAB009	講義
英文名	Science of Environment and Life				
担当教員	奥 浩之				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	毎回、生命科学と環境科学の一つのトピックスについて、現状と問題・将来の課題など、高校までに学んだ知識をもとに、わかりやすく順を追って説明してゆく。具体的な事項を取り上げることで、漠然とした生命と環境についてのイメージを一新してもらうことを目的としている。生命分子の構造学習を行うことがあるので、各自で利用できるパソコンのあることが望ましい。（パソコンは持参する必要はなく、自宅で使用できればよい。）				
到達目標	1.地球環境について元素、物質循環、気候変動の観点から説明できる。 2.生命を構成する分子(核酸、タンパク質)について、分子構造、反応機構、応用の観点から説明できる。 3.私たちの生活に関連して、食品、バイオマス、医薬品や医療機器、のトピックスについて説明できる。 4.グローバルな視点から、新しい感染症、ワクチン開発、などのトピックスについて説明できる。 5.様々な文献や資料を参照し、レポート形式または要約・箇条書きの形式でまとめられるようになる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	レポート課題 50%、授業参加度 50%				
課題に対するフィードバック	提出されたレポート課題に対しては、コメントを付けて返却または講義時間内に課題の解説を行うことで受講学生へフィードバックする。				
使用教材	使用しない(講義にて用いるスライドを配布予定)				
1	講義内容	生命と環境－地球における化学進化と生命における元素の役割			
	該当する到達目標 1,5	予習	元素周期表 (http://stw.mext.go.jp/series.html)を読んでみよう。		1 時間
		復習	(1)人体を構成する元素の存在比 (2)主要元素・微量・超微量元素の具体的な元素名 (3)様々な元素の生体または医薬品における役割		1.5 時間
2	講義内容	生命と環境－地球における元素の循環			
	該当する到達目標	予習	ヒトの活動による、水需要の増大、化石燃料の大量燃焼、窒素肥料の大		1 時間

	標		量使用と地球環境への影響について調べてみよう。	
	1,5	復習	(1)大気・土壌における物質循環 (2)水循環、窒素循環、炭素循環、硫黄循環、リン循環の特徴 (3)人類の活動による物質循環への影響	1.5 時間
3	講義内容	生命と環境－温室効果ガスによる地球温暖化		
	該当する到達目	予習	温室効果ガスとは？温室効果は何故起こるか？調べてみよう。	1 時間
	標 1,5	復習	(1)地球上での物質循環は気候変動と密接に関連する (大気を暖める要因と冷やす要因) (物質循環の詳細な研究による、地球環境変化の予測) (2)IPCC 第 5 次報告書(2014 年)における RCP シナリオ (気候モデルによって予測された 21 世紀末の世界の気温) (世界全体の CO ₂ 累積排出量と気温上昇量は比例する) (3)国連気候変動枠組条約 (日本における温室効果ガス削減目標)	1.5 時間
4	講義内容	生命と生体分子…DNA 二重らせんと X 線構造解析		
	該当する到達目 標 2,5	予習	ワトソンとクリックによる DNA 二重らせんモデル (1)当時用いられた分子モデル(ロンドン・サイエンスミュージアム) http://www.sciencemuseum.org.uk/broughttolife/objects/display?id=6145 (2)1953 年の論文 http://www.nature.com/nature/dna50/watsoncrick.pdf (3)DNA 構造について(英文なので、最初は図を見るのがよい) 特に Figure 5 を見て、3 種類の二重らせん構造があることに注目しよう http://www.nature.com/scitable/topicpage/discovery-of-dna-structure-and-function-watson-397	1 時間
		復習	(1)DNA の分子構造は X 線回折法によって求められる (2)ブラッグの回折条件式 (3)DNA 繊維写真の X 型パターン	1.5 時間
5	講義内容	生命と生体分子…タンパク質の構造解析における 2 つの方法		
	該当する到達目 標 2,5	予習	(1)タンパク質を構成する 20 種類のアミノ酸とは？ (2)アミノ酸の“光学活性”とは？	1 時間
		復習	(1)アミノ酸 20 種類の分子構造 (2)X 線回折測定によるタンパク質の 3 次元構造解析 (3)NMR 測定によるタンパク質の 3 次元構造解析	1.5 時間
6	講義内容	生命と生体分子…タンパク質の構造と機能		
	該当する到達目 標 2,5	予習	(1)膜タンパク質とは？ (2)アイスクリームの成分について。 (3)低脂肪アイスクリームの成分がわかったら調べてみよう。	1 時間
		復習	(1)swiss-pdb によってカリウムチャンネルの分子構造を見てみよう	1.5 時間

			(2)低脂肪アイスクリームにおける不凍タンパク質の機能について	
7	講義内容	生命と生体分子…さまざまなタンパク質		
	該当する到達目標	予習	(1)70S リボソームにおけるタンパク質合成 (2)電子伝達系における ATP 合成 (3)ビタミン B12 の役割 (4)マメ科植物における根粒菌とは？	1 時間
	2,5	復習	(1)70S リボソームと tRNA の分子構造 (PDB ID: 4v4j) (PDB ID: 2tra) (2)F1-ATPase プロトン濃度勾配による ATP 合成 (3)カルモデュリンの分子構造変化 (PDB ID: 3cln) (PDB entry 2bbm)	1.5 時間
8	講義内容	生命と生体分子…酵素・タンパク質の反応機構		
	該当する到達目標	予習	(1)セリンプロテアーゼによるタンパク質の加水分解機構 (2)加水分解酵素の活性中心における触媒反応を行うアミノ酸残基について (3)光合成における二酸化炭素固定反応について	1 時間
	2,5	復習	(1)酵素の活性中心におけるさまざまな金属イオンとその役割について (2)光合成における RuBisCO (二酸化炭素と水とリブローズ 1,5 ビスリン酸から二分子の 3-ホスホグリセリン酸を得る反応を触媒する)の反応機構について。	1.5 時間
9	講義内容	生命と生体分子…ヘム蛋白 (Mb、Hb、Cyt c、CYP450)		
	該当する到達目標	予習	(1)ヘムタンパク質とは？ (2)ミオグロビンとヘモグロビンの違いは？ (3)CYP3A4 とは？	1 時間
	2,5	復習	(1)ミオグロビン (PDB ID, 1A6M) (2)チトクローム c (PDB ID, 2B4Z) (3)チトクローム P450 (PDB ID, 1W0E) (4)医薬品の代謝における CYP3A4 の影響について	1.5 時間
10	講義内容	ヒトの活動と環境: 食品の安全確保 (加工食品の成分)		
	該当する到達目標	予習	(1)アクリルアミドの分子構造、用途、注意点	1 時間
	3,5	復習	(1)行政 (農水省) では加工食品の安全確保についてどのような活動をおこなわれているか？	1.5 時間
11	講義内容	ヒトの活動と環境: バイオマスとバイオリファイナリー		
	該当する到達目標	予習	(1)バイオマスとは？ (2)バイオエタノールとは？	1 時間
	3,5	復習	(1)バイオリファイナリーとは？ (2)バイオガソリンの成分は？ (3)バイオマスプラスチックの具体的な事例は？	1.5 時間

12	講義内容	ヒトの活動と環境: 外科手術用の接着剤		
	該当する到達目標	予習	(1)ポリウレタンの分子構造とは? (2)ポリウレタンはどのような原料から作られるか?	1 時間
	3,5	復習	(1)ウレタンプレポリマーによる血管の吻合メカニズム (2)血管の吻合における瞬間接着剤の欠点は? (3)血管の吻合におけるウレタンプレポリマーの優れている点は?	1.5 時間
13	講義内容	生命と環境・・・インフルエンザワクチンの成分		
	該当する到達目標	予習	(1)ワクチンによる予防免疫のしくみ	1 時間
	4,5	復習	(1)様々なインフルエンザワクチンについて	1.5 時間
14	講義内容	生命と環境・・・グローバル化と感染症(ジカ熱、デング熱など)		
	該当する到達目標	予習	(1)蚊によって媒介される感染症とは? (2)グローバル化におけるヒトの移動や経済活動の活発化について	1 時間
	4,5	復習	(1)グローバル化と感染症の拡大はどのように関係するか? (2)ワクチンの開発例について	1.5 時間
15	講義内容	生命と環境・・・食べると甘い香りが発散するお菓子について		
	該当する到達目標	予習	(1)ワインやコーヒーの香りを分析する装置について調べてみよう(ヘッドスペース装置の付いたガスクロトグラフィー/質量分析計) (2)ヒトにおける薬物代謝のしくみ	1 時間
	4,5	復習	(1)ヒトの体の匂いに関与する成分はどのようにして分析されたか? (2)お菓子を食べてから、体表面から香気成分が発散するまでの経路は? (ヒトにおける薬物代謝から説明してみよう。)	1.5 時間
備考	毎回、生命科学と環境科学の一つのトピックスについて、現状と問題・将来の課題などを説明してゆく。生命分子の構造学習を行うことがある。 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。 質問等は、授業開始前もしくは終了後に応じる。			

看 010 国際関係論

科目名		国際関係論（教養基礎）			LAB010	講義
英文名		International Relations				
担当教員		片桐 庸夫				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標		1.現代世界の理解 2.第 2 次世界大戦後の世界の基本構造の理解 3.国家間の対立要因の理解 4.国家間の相互理解の理解 5.自由主義イデオロギーと社会主義イデオロギーの理解 6.現代の戦争の特徴についての理解 7.国家の安全保障の理解 8.核の下での平和の理解 9.国際秩序概念の理解 10.国際秩序の喪失と国際テロ、難民、民族や宗教の違いに基づく紛争発生要因の理解 11.戦後日本の原型についての理解 12.戦後日本外交の歩み、「戦後」克服の意味の理解 14.日本の課題である国際貢献問題の理解				
到達目標		新聞やテレビ等のニュースを見て、世界の動きや日本の外交について理解出来るようになること。				
学位授与方針との対応		✓	1. 人間理解と倫理観			
			2. 論理的思考・問題解決力			
			3. チームの一員としての協調・協働			
		✓	4. 国際理解			
			5. 生涯学習力			
評価方法		講義中に行う 3 回程度の試験(60%)、講義に臨む態度(20%)、講義参加度(20%)等により総合評価を行う。				
課題に対するフィードバック		原則として試験を行った翌週の講義の際に答案を返却する予定である。その際には、一人一人に論文やレポートの文体、文の構成、意味の曖昧な表現、誤字脱字等について指導する。				
使用教材		配布するプリントを教材として用いる。				
1	講義内容		講義概要(講義の展開、出席の取り方、試験の方法、成績評価等)についての説明を行う。			
	該当する到達目標	予習	必要ナシ			時間
		復習	必要ナシ			時間

2	講義内容	世界の混迷した状況や米国トランプ政権の一国主義、中国の影響力の拡大等について理解する。		
	該当する到達目標	予習	1週間分の新聞の1,2面の記事に目を通しておくこと。	1.5時間
	1,3,7,8,10	復習	ノートテイキングした部分の加筆、整理、それに新聞記事の内容を付加すること。	1.5時間
3	講義内容	「冷戦の特異性」の意味と大規模な戦争の後に起こりやすい戦勝同盟国間の対立を理解する。		
	該当する到達目標	予習	プリントのウィーン会議の部分をよく読んでおくこと。	1.5時間
	1,2,3,9	復習	細谷雄一『国際秩序』中公新書のp.115-120,282を読み、内容をノートにまとめること。	1.5時間
4	講義内容	戦勝同盟国間の対立の典型的例であるウィーン会議について理解する。		
	該当する到達目標	予習	ウィーン会議参加国の価値観の共有についてプリントを利用して予習すること。	1.5時間
	2,4,7	復習	『国際秩序』のp.121-124を読み、内容をノートにまとめること。	1.5時間
5	講義内容	国際コミュニケーションにとって重要な価値観の共有の意味について理解する。		
	該当する到達目標	予習	プリントの価値観の共有の項を読んでおくこと。	1.5時間
	3,4,5	復習	『国際秩序』のp.128-130を読み、内容をノートにまとめること。	1.5時間
6	講義内容	ウィーン会議とは正反対に共通の価値観の欠如していた米ソ間の体制間対立について理解する。		
	該当する到達目標	予習	プリントの体制間対立の項を読んでおくこと。	1.5時間
	2,3,4,5,8	復習	『国際秩序』のp.237-241を読み、内容をノートにまとめること。	1.5時間
7	講義内容	米ソ間のイデオロギー対立について理解する。		
	該当する到達目標	予習	プリントのイデオロギー対立の項を読んでおくこと。	1.5時間
	3,5,7	復習	『国際秩序』のp.237-241を読み、内容をノートにまとめること。	1.5時間
8	講義内容	米ソ両国間の安全保障観の相違と戦争の性格の変化(DVD画像による)について理解する。		
	該当する到達目標	予習	プリントの安全保障観の相違と戦争の性格の変化の項を読んでおくこと。	1.5時間
	6,7,8	復習	DVD画像を観ながらノートテイキングしたメモを参考にノートにまとめること。	1.5時間

9	講義内容	冷戦の定義、それに基づく冷戦の起源と終焉について理解する。		
	該当する到達目標	予習	プリントの冷戦の定義とそれに基づく冷戦の起源と終焉についての項を読んでおくこと。	1.5 時間
	2,6,7,8	復習	永井陽之介『冷戦の起源』中央公論社の p.6-10 を読み、内容をノートにまとめること。	1.5 時間
10	講義内容	世界を滅ぼすことも可能な究極の兵器である核の下の平和について理解する。		
	該当する到達目標	予習	究極の兵器がもたらした核の下の平和についての項を読んでおくこと。	1.5 時間
	1,6,7,8	復習	『国際秩序』の p.253-255 を読み、内容をノートにまとめること。	1.5 時間
11	講義内容	冷戦の逆説である戦後の長い平和について理解する。		
	該当する到達目標	予習	プリントのガディスの逆説論についての項を読んでおくこと。	1.5 時間
	1,7,8,9	復習	『国際秩序』の p.256-260 を読み、内容をノートにまとめること。	1.5 時間
12	講義内容	冷戦の終焉と終焉後の世界の不安定化の理由・要因について理解する。		
	該当する到達目標	予習	プリントの国際秩序維持勢力の喪失と国際秩序の喪失の項を読んでおくこと。	1.5 時間
	2,7,9	復習	『国際秩序』の p.281-285 を読み、内容をノートにまとめること。	1.5 時間
13	講義内容	冷戦後初の戦争「湾岸戦争」の意義、テロ・民族対立・宗教対立、難民の大量発生を理解する。		
	該当する到達目標	予習	プリントの湾岸戦争、国際秩序なき時代についての項を読んでおくこと。	1.5 時間
	6,7,10	復習	『文明の衝突と 21 世紀の日本』集英社新書の P.21-36 を読み、内容をノートにまとめること。	1.5 時間
14	講義内容	終戦、米国の対日占領政策、天皇制存置、SF 講和、憲法第 9 条、日米安保について理解する。		
	該当する到達目標	予習	プリントの終戦から SF 講和に至る項を読んでおくこと。	1.5 時間
	7,11,12	復習	小此木・赤木共編『冷戦期の国際政治』慶應義塾大学出版会の p.288-306 を読み、内容をノートにまとめること。	1.5 時間
15	講義内容	「戦後」の克服の意味、今日の日本外交の課題について理解する。		
	該当する到達目標	予習	プリントの「戦後」の克服、国際貢献問題の項を読んでおくこと。	1.5 時間
	1,10,13,14	復習	講義中に配布する新聞の切り抜き記事を読み、内容をノートにまとめること。	1.5 時間
備	配布プリントを中心に、教員の実体験を交えつつ講義を行います。また、試験を 3 回程度実施します。返却			

考	の際には、一人一人に文体、文の構成、意味の曖昧な表現、誤字脱字等について指導します。 「復習」に挙げられている本は、参考文献も兼ねています。随時利用して下さい。予習・復習の結果、不明な点、わからない点などありましたら質問して下さい。 オフィスアワーは、前期木曜日の昼休み、場所は非常勤講師控室です。随時来てください。講義の後に直接訊ねることも可です。

看 011 体育理論

科目名	体育理論（教養基礎）			LAB011	講義
英文名	Theory of Physical Education				
担当教員	入澤孝一				
科目に関連した実務経験	① 中学校・高等学校保健体育教諭、及び県教委指導主事としての実務を経験 ② 日本スケート連盟上級コーチとして医科学研究、及びオリンピックヘッドコーチ等の実務経験				
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標	医療従事者として基礎的なスポーツ科学、トレーニング理論を身に付ける事、及びスポーツの社会的役割について知識を学ぶことにより、人々が健康に生き生き生活する社会の形成に貢献する人材を育成する。				
到達目標	1.トレーニングの基礎、理論についての知識を習得する。 2.各種の体力要素とトレーニングの関係について知識を習得する。 3.スポーツの果たす社会的役割、教育的役割について理解する				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	毎授業の課題についてレポート提出による評価 60% 授業時の小テストによる評価 40%				
課題に対するフィードバック	課題レポートは評価し、コメントをつけて返却する。 授業時の小テストは、前時の知識の定着度を図る。				
使用教材	自作のパワーポイント資料をプリントして配布する。				
1	講義内容	日本人の健康・体力についての現状を把握し、問題点、課題について検討する。■			
	該当する到達目標	予習	事前配布プリントに目をとおす。		1.5 時間
	1,2	復習	授業終了後のレポートにより授業内容を確認する。		1.5 時間
2	講義内容	人体の構造と特徴と効果的なスポーツ活動について検討する。■			
	該当する到達目標	予習	事前配布プリントに目をとおす。		1.5 時間
	1,2	復習	授業終了後のレポートにより授業内容を確認する。		1.5 時間
3	講義内容	加齢と体力低下と生活習慣病の予防・改善のための運動処方について検討する。■			
	該当する到達目標	予習	事前配布プリントに目をとおす。		1.5 時間
	1,2	復習	授業終了後のレポートにより授業内容を確認する。		1.5 時間
4	講義内容	スポーツ活動の至適年齢と身体活動について検討する。■			
	該当する到達目標	予習	事前配布プリントに目をとおす。		1.5 時間

	1,2	復習	授業終了後のレポートにより授業内容を確認する。	1.5 時間
5	講義内容	競技力向上や健康維持増進のためのトレーニングの原則について検討する。■		
	該当する到達目標	予習	事前配布プリントに目をとおす。	1.5 時間
	1,2	復習	授業終了後のレポートにより授業内容を確認する。	1.5 時間
6	講義内容	基本的な生活習慣とスポーツ栄養について検討する。■		
	該当する到達目標	予習	事前配布プリントに目をとおす。	1.5 時間
	1,2	復習	授業終了後のレポートにより授業内容を確認する。	1.5 時間
7	講義内容	ウォーミングアップ・クーリングダウン及びオーバートレーニングについて検討する。■		
	該当する到達目標	予習	事前配布プリントに目をとおす。	1.5 時間
	1,2	復習	授業終了後のレポートにより授業内容を確認する。	1.5 時間
8	講義内容	オリンピックでメダル獲得を目指す日本の競技力向上対策について検討する。■		
	該当する到達目標	予習	事前配布プリントに目をとおす。	1.5 時間
	1,2	復習	授業終了後のレポートにより授業内容を確認する。	1.5 時間
備考	授業後に、次の授業に使う資料を配布する。 授業形態 座学説明50分 課題の検討・発表20分 本時のまとめレポート 20 分 オフィスアワー:木曜日1～2 限 メールアドレス:irisawa@takasaki-u.ac.jp 3号館 202号室 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

看 012 体育実技

科目名	体育実技（教養基礎）			LAB012	実習
英文名	Physical Education				
担当教員	入澤孝一				
科目に関連した実務経験	① 中学校・高等学校の保健体育教諭としての実務及び県教委指導主事としての実務を実務 ② 日本スケート連盟上級コーチとして医科学研究、及びオリンピックヘッドコーチ等の実務経験				
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標	医療従事者として基礎的なスポーツ科学、トレーニング理論及び体力測定について身に付ける。 特に新体カテストの測定方法と測定結果に基づいたトレーニングを実施する。中・高齢者が健康に活動するためのスポーツや動きづくりの実技・方法について習得する。				
到達目標	1.新体カテストの測定方法と評価について理解する 2.身体組成と有酸素トレーニングの理論と実施方法について理解する 3. バドミントンや各種レクリエーションゲームの基礎的な動きづくりについて習熟する 4.初動負荷マシンの使用に習熟し、中・高齢者を対象とした初動負荷トレーニングを実施する。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	授業終了時に出したレポート課題の提出による評価 40％ 出欠状況、授業態度 40％ 最終授業でレポート試験 20％				
課題に対するフィードバック	レポート課題について評価し、コメントをつけて返却する。 正確な動きが自ら出来て、指導できるように練習する。				
使用教材	自作パワーポイント資料のプリント配布 及び著書を利用する				
1	講義内容	ガイダンス及び新体カテストの概要について(目的と方法)■			
	該当する到達目標	予習	シラバスについて目をとおしてくる。		1.5 時間
	1	復習	授業内容、評価方法、新体カテストについて確認する。		1.5 時間
2	講義内容	新体カテストの実施■			
	該当する到達目標	予習	新体カテストの実施方法を練習してくる。		1.5 時間
	1	復習	新体カテストが正しくできたかを確認する。		1.5 時間
3	講義内容	新体カテストの結果と評価■			
	該当する到達目標	予習	自分の測定結果について評価してまとめてくる		1.5 時間
	1	復習	事故の測定結果、全体の結果の分析について確認する。		1.5 時間
4	講義内容	身体組成(インピーダンス)測定と評価について■			
	該当する到達目標	予習	身体組成について事前に調べてくる。		1.5 時間

	1	復習	自己の測定データについて確認する。	1.5 時間
	講義内容	有酸素運動の理論と実践 ■		
5	該当する到達目標	予習	有酸素運動について調べてくる。	1.5 時間
	2	復習	有酸素運動について確認する。	1.5 時間
	講義内容	有酸素運動の理論と実践 ■		
6	該当する到達目標	予習	予め測定に向け、日常生活で有酸素的な運動を心がけておく。	1.5 時間
	2	復習	測定データを確認する。	1.5 時間
	講義内容	球技(バドミントン)・レクリエーションゲームの実践と方法を習得する ■		
7	該当する到達目標	予習	有酸素運動について調べてくる。	1.5 時間
	2	復習	有酸素運動について確認する。	1.5 時間
	講義内容	球技(バドミントン)・レクリエーションゲームの実践と方法を習得する ■		
8	該当する到達目標	予習	予め日常生活で無酸素的な運動を心がけておく。	1.5 時間
	2	復習	測定データを確認する。	1.5 時間
	講義内容	球技(バドミントン)・レクリエーションゲームの指導を実践する ■		
9	該当する到達目標	予習	レジスタンストレーニングについて調べてくる。	1.5 時間
	3	復習	レジスタンストレーニングの理論と留意点について確認する	1.5 時間
	講義内容	初動負荷マシンの使用方法の習得 ① ■		
10	該当する到達目標	予習	初動負荷マシンについて調べてくる。	1.5 時間
	3	復習	初動負荷マシンの使い方を確認する。	1.5 時間
	講義内容	初動負荷マシンの使用方法の習得 ② ■		
11	該当する到達目標	予習	初動負荷マシンの使い方の練習をしてくる。	1.5 時間
	3	復習	初動負荷マシンの使い方を確認する。	1.5 時間
	講義内容	中・高齢者を対象とした初動負荷マシンのトレーニング ① ■		
12	該当する到達目標	予習	中・高齢者の運動の留意点につて調べてくる。	1.5 時間
	3	復習	初動負荷マシンの使い方を確認する。	1.5 時間
	講義内容	中・高齢者を対象とした初動負荷マシンのトレーニング ② ■		
13	該当する到達目標	予習	初動負荷マシンの使い方の練習をしてくる。	1.5 時間
	3	復習	初動負荷マシンの使い方を確認する。	1.5 時間
	講義内容	中・高齢者を対象とした初動負荷マシンのトレーニング ③ ■		
14	該当する到達目標	予習	初動負荷マシンの使い方の練習をしてくる。	1.5 時間
	3	復習	初動負荷マシンの使い方を確認する。	1.5 時間
	講義内容	試験 課題レポート ■		
15	該当する到達目標	予習	授業で実施した各種トレーニングの方法について復習してくる。	1.5 時間
	1,2,3	復習	トレーニングの基礎理論や方法が理解できたかを確認する。	1.5 時間
備考	① 第2体育館及び初動負荷トレーニング室で実施する。 ② 十分なアップ・ダウンを実施する。 ③ 主運動では、実施方法と指導方法を考慮したグループ編成を中心として授業を組み立てる。			

質問等は授業中に行うことが望ましいが、授業開始前もしくは終了後に教室で応じる。

■:実務経験に基づく内容を示す。

看 013 キャリア形成論

科目名	キャリア形成論（教養基礎）		LAB013	講義
英文名	Career Development			
担当教員	小泉 英明			
科目に関連した実務経験	社員研修・人材育成・能力開発・キャリア開発のコンサルタント、トレーナーとして各企業・自治体で指導			
学年・開講期	1 年 前期	必 選・単 位 数	選択 2 単位	
講義目標	社会の仕組みはもとより、経済、雇用など私たちを取り巻く環境は目まぐるしく変わり、仕事の質や内容が大きく変化しています。本講座では、大学生が社会（企業・組織）から求められている「能力」について理解を深め、社会ですぐに役立つ人材となることを目指します。授業ではSGD(スモール・グループ・ディスカッション)を通じてお互いを高め合い、コミュニケーション能力・思考力・問題解決能力を醸成するとともに、様々なケーススタディによって社会・職場適応力を習得します。さらに、本学卒業後、社会人として適切なスタートを切ることができるよう、“自身”の強化プラン策定と目標管理を行いながら、将来のキャリア形成につながる基礎を固めます。			
到達目標	1.社会の出来事を理解し、社会に通用する就業観、勤労観を学ぶ。■ 2.自己の成長に向けて、自己を正しく理解するとともに、自己効力感を養う。 3.社会人基礎力を理解し、社会適応力を身につける。■ 4.読む・聞く・書く・話す力の基本を身につけ、コミュニケーション能力を高める。■ 5.論理を組み合わせる手法を学び、論理的思考力を高める。 6.アイデアの出し方を学び、創造的思考力を高める。 7.気づく力を身につけ、問題発見能力を高める。 8.問題解決のスキルと手法を学び、問題解決能力を高める。■ 9.自己変革のために必要な自身の問題点を探る。■ 10.自律型人材に向けての目標管理ができる。■ 11.社会における人間関係を学び、社会適応力を高める。			
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観		
		2. 論理的思考・問題解決力		
		3. チームの一員としての協調・協働		
		4. 国際理解		
		5. 生涯学習力		
評価方法	最終レポート 60%、授業後の提出課題 30%、授業参加度・授業態度 10% それぞれの評価基準については初回授業で説明します。総合評価 60%以上を合格とします。			
課題に対するフィードバック	授業後の提出課題については、随時コメントをつけてフィードバックします。 最終レポートの後に、出題テーマの意図を掲示によって示します。			

使用教材		講義内容を随時プリントして配布します。		
1	講義内容	ガイダンス／キャリア形成に必要なこと		
	該当する到達目標	予習	新聞、テレビなどのニュースから、社会の出来事を理解して臨む	1.5 時間
	1	復習	社会が求めていること、キャリア形成に必要なコアコンピタンスを理解する。	1.5 時間
2	講義内容	先行きの予測が困難な時代／社会が求める人材 ■		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 2 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時間
	1,3	復習	キャリア形成に必要な「社会人基礎力」について理解を深める。■	1.5 時間
3	講義内容	自己の理解		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 3 回講義プリントを読む。自己理解シートに記入する。	1.5 時間
	2	復習	自己理解と、自己効力感を理解する。自分のパーソナリティを確認する。	1.5 時間
4	講義内容	コミュニケーション力 ■		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 4 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時間
	3,4	復習	チェックシートによって自身のコミュニケーション力を客観的につかむ。	1.5 時間
5	講義内容	実践コミュニケーション力 ■		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 5 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時間
	3,4	復習	ディスカッションを振り返り、自身のストロング・ウィークポイントを知る。	1.5 時間
6	講義内容	気づく力		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 6 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時間
	3,7	復習	事例研究課題に取り組む。気づく力が問題解決の入り口であることを理解する。	1.5 時間
7	講義内容	考える力 I（ロジカルシンキング・クリティカルシンキング）		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 7 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時間
	3,5	復習	事例研究によって論理的思考を理解する。（課題→第 9 回の BS で使用）	1.5 時間
8	講義内容	考える力 II（クリエイティブシンキング）		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 8 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時間

	標 3,6,7,8	復習	事例研究によって創造的思考の重要性を理解する。アイデア発想演習。	間 1.5 時 間
9	講義内容	創造力を伸ばす(BS 演習ほか)		
	該当する到達目 標 3,6,7,8,9	予習	事前に配布する第 9 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時 間
		復習	ブレインストーミングをはじめ、創造力を伸ばす技法の理解を深める。	1.5 時 間
10	講義内容	問題解決能力 I (問題点を探る・WHY ツリー) ■		
	該当する到達目 標 3,7,8,9	予習	事前に配布する第 10 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時 間
		復習	自身が抱える問題の「問題点」を WHY ツリーで探る。(課題→提出)	1.5 時 間
11	講義内容	働く意味／「仕事力」と「就業力」		
	該当する到達目 標 1,3	予習	事前に配布する第 11 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時 間
		復習	「仕事観」「就業観」を理解し、レポートを書く。(課題→提出)	1.5 時 間
12	講義内容	問題解決能力 II (問題解決の手法・HOW ツリー／目標設定・キャリアマニフェスト) ■		
	該当する到達目 標 3,8,9,10	予習	事前に配布する第 12 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時 間
		復習	自身の課題を解決するため、目標設定と計画立案を行う。(課題→提出)	1.5 時 間
13	講義内容	社会における人間関係		
	該当する到達目 標 3,11	予習	事前に配布する第 13 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時 間
		復習	人との接し方と、よりよい人間関係を築く方法を理解する。	1.5 時 間
14	講義内容	自己の確立(バリュープロポジション) ■		
	該当する到達目 標 3,10	予習	事前に配布する第 14 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時 間
		復習	将来のキャリア形成に向けて、自己を確立することの重要性を理解する。	1.5 時 間
15	講義内容	ストレスマネジメント		
	該当する到達目 標 3,11	予習	事前に配布する第 15 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時 間
		復習	ストレス対処法を理解し、ストレスに対する耐性力に高める。	1.5 時 間

備 考	オフィスアワー:木曜日(12～17 時) 事前に配布するプリントをもとに予習して授業に臨んでください。配布プリントはファイリングし、毎回持参してください。授業は積み上げ方式で進めていくので、授業後は必ず復習してください。新聞やテレビなどのニュースには常に関心を持ち、社会の出来事を理解し授業に臨んでください。 〔看護師・保健師・養護教諭として求められる基本的な資質〕 ① 看護師・保健師・養護教諭として、人の役に立つという心構え ② 患者・生活者本位の視点 ③ コミュニケーション能力 ④ チーム医療への参画 自己研鑽 ■:実務経験に基づく内容を示す。

看 014 哲学

科目名	哲学（人間理解）			LAH001	講義
英文名	Philosophy				
担当教員	大石 桂子				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	「他者とどう関わっていけばよいか」「絶対に正しいことはあるのか」、「病気や“弱さ”にどう向き合うか」。普段は漠然と理解しているように感じることに、改めて疑問を持ち考えるのが哲学である。本講義では身近な題材をもとに医療・福祉・健康分野に関わる者として考えておきたいトピックを取り上げる。哲学者たちの議論や、統計からみえる社会情勢などを手引きとして、論理的に考えていくための基礎力を身につける。				
到達目標	1.人と人、人と社会の関係、平等性、自由と責任などについて、多様な視点から説明できる。 2.共生の意義や、弱者の排除が社会にもたらす影響を説明できる。 3.各テーマについて、自分の意見をもつことができる。 4.課題やグループワークを通して、自分の考えを他者に伝わりやすく表現できる。 5.自分と異なる他者の考えを受け止め、そこから新たな発見ができる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	定期試験(60%)，講義中に作成する課題(40%)に、参加態度を加えて総合的に評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	提出された課題の内容にコメントを付けて、授業中に紹介する。				
使用教材	講義中にプリントを配布する。				
1	講義内容	ガイダンス			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容をよく読み、講義の目標や取り扱う内容を理解する。		1 時間
		復習	「哲学」の目標、学ぶ意義について理解する。		1 時間
2	講義内容	自分と他者(1)「人に認められたい」のは本能？——ヘーゲル			
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。		1 時間
		復習	ヘーゲルのいう「承認への欲求」を理解する。		1.5 時

	1,3			間
3	講義内容	自分と他者(2)「本当の自分」とは何か——キルケゴール		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	1,3	復習	キルケゴールの「大衆と実存」の違いを理解する。	1.5 時間
4	講義内容	自分と他者(3) 人と人の関係性——ブーバー、サルトル		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	1,3	復習	第 2 回から第 4 回までの内容を整理する。	1.5 時間
5	講義内容	ディスカッション——これからの自分に大切なこと		
	該当する到達目標	予習	第 2 回から第 4 回までの内容について、自分の考えをまとめる。	1 時間
	1,3,4,5	復習	自分にとって大切なことを改めて熟考し、課題を仕上げる。	1.5 時間
6	講義内容	平等と共生(1) 誰もが信じられる正しさはあるか——ロールズ		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	2,3	復習	「機会の平等」と「結果の平等」を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	平等と共生(2) 環境は人の心にどう影響するのか		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	2,3,4	復習	「無知のヴェール」について理解する。平等について課題を仕上げる。	2 時間
8	講義内容	自由・正しい自己決定のために——カント		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	1,3	復習	「自律」の意義について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	心と身体(1)「私」を形づくるのは心か身体か——ニーチェ		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	2,3	復習	身体がものの見方や価値観に影響する例を考える。	1.5 時間
10	講義内容	心と身体(2) 人間の中心は脳なのか		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	2,3	復習	脳死の問題について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	エンハンスメント(1) 変化する「病」の定義		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	2,3	復習	エンハンスメントや「医療化」について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	エンハンスメント(2)「弱さ」を否定する社会——ハーバーマス、サンデル		

	該当する到達目標 2,3	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	弱さを排除した場合の社会的影響について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	ディスカッション——医療技術と自己決定		
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	個人の欲求でどこまで医療技術を利用してよいか、自分の考えをまとめる。	1 時間
		復習	エンハンスメントについての自分の考えをまとめる。	1.5 時間
14	講義内容	責任(1) 責任の範囲はどこまで? ——アリストテレスほか		
	該当する到達目標 1,3	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	責任が問われる基準について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	責任(2) 「何もしなかった」ことに責任はあるのか——ヤスパース		
	該当する到達目標 1,3,4	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	講義中にあげた事例について、自分の考えを課題にまとめる。	1.5 時間
備考	配布プリントを中心に講義を行い、定期的に課題を提示し、学生同士が意見交換する場を設けます。 本講義では知識の修得だけでなく、みずから考えることを重視するので、課題など積極的に取り組んで下さい。 予習・復習については試験前の学習で補完して下さい。 オフィスアワー:水曜日の 2 時限、金曜日の 2 時限。質問はメールでも受け付けます。 メールアドレス: oishi@takasaki-u.ac.jp 研究室: 1 号館 6 階 601			

看 015 倫理学

科目名	倫理学(人間理解)			LAH002	講義
英文名	Ethics				
担当教員	大石 桂子				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択・2 単位		
講義目標	現在、医療の場では「生む・生まれる」「生きる」「死を迎える」というそれぞれの段階に、価値観の違いによる様々な葛藤がある。本講義では、安楽死や出生前診断など、医療にたずさわる者として考えておきたいトピックを取り上げる。そうした対立が生じる背景、問題を理解するとともに、みずから判断する力を養う。				
到達目標	1. 医療倫理の四原則、自己決定の重要性と課題について理解し、説明できる。 2. 善悪の判断基準(目的論と義務論)について理解し、説明できる。 3. 出生前診断や安楽死など、現代医療の問題を多角的に理解し、説明できる。 4. 個人と社会の関係性を考察し、よりよい議論と合意形成のあり方を理解し、説明できる。 5. 各テーマに関してみずから考え、その考えを適切に表現、伝えることができる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	定期試験(60%)、予習課題・ミニレポート(40%)に、講義への参加態度等を加えて総合的に評価する。				
課題に対するフィードバック	レポート課題については、コメントを添えて講義中に紹介する。				
使用教材	講義中にプリントを配布する。				
1	講義内容	ガイダンス			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容をよく読み、講義の目標や取り扱う内容を理解する。		1 時間
		復習	倫理を学ぶ意義について理解する。		1 時間
2	講義内容	医療倫理の四原則			
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。		1 時間
	1,5	復習	医療倫理の四原則について理解する。		1.5 時間
3	講義内容	意志と自己決定 (1) インフォームド・コンセントとアドボカシー			
	該当する到達目標	予習	インフォームド・コンセントの定義を確認する。		1 時間
	1,5	復習	自己決定重視の背景、医療従事者の役割を理解する。		1.5 時間
4	講義内容	「善」の基準 (1)「よさ」は利益で決まるのか			

	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	1,5	復習	目的論(功利主義)の考え方を理解する。	1.5 時間
5	講義内容	「善」の基準 (2) 誰もが共有する「よさ」はあるか		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	2,5	復習	義務論の考え方を理解する。	1.5 時間
6	講義内容	意志と自己決定 (2) 治療の差し控えと代理決定		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	2,5	復習	ケース・スタディのプリントを完成させる。	1.5 時間
7	講義内容	グループワーク① 代理決定はどこまで許されるか		
	該当する到達目標	予習	第1回～第4回のノート・資料に目を通す。	1 時間
	1,2,5	復習	ディスカッションの内容をふまえ、自分の考えをまとめる。	1.5 時間
8	講義内容	脳死と移植医療		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	3,5	復習	脳死への多様な見方を理解できる。	1.5 時間
9	講義内容	安楽死 (1) 日本の判例とオランダの法整備		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	3,5	復習	積極的安楽死について国内外の現状を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	安楽死 (2) 新生児・胎児への安楽死と優生思想		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	3,5	復習	安楽死を法制化する社会的影響、安楽死を避けるための取組みを理解する。	1.5 時間
11	講義内容	生殖の倫理 (1) 出生前診断:子どもを選ぶ権利はあるか		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	3,5	復習	VTRの内容について、プリントを完成させる。	1.5 時間
12	講義内容	生殖の倫理 (2) 「子どもをもつ権利」と「子どもの権利」		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	3,5	復習	AIDや代理母の問題について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	ディスカッション② 家族のあり方と医療技術		
	該当する到達目標	予習	第11回～第12回のノート・資料に目を通す。	1 時間
	3,5	復習	ディスカッションの内容をふまえ、自分の考えをまとめる。	1.5 時間
14	講義内容	QOL向上への取り組み		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	4,5	復習	VTRの内容について、プリントを完成させる。	1.5 時間
15	講義内容	個人の意志と社会、合意形成——よりよい決定のために		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	4,5	復習	個人と社会の相関関係、合意形成のあり方について理解する。	1.5 時間
備	本講義では知識の修得だけでなく、みずから考えることを重視するので、課題など積極的に取り組んで下			

考

さい。

配布プリントを中心に講義を行い、定期的に課題を提示し、学生同士が意見を交換する場を設けます。

オフィスアワー:水曜日の2時限、金曜日の2時限。質問はメールでも受け付けます。

メールアドレス「oishi@takasaki-u.ac.jp」

研究室:1号館6階601

予習・復習については試験前の学習で補完すること。

看 016 心理学

科目名	心理学（人間理解）			LAH003	講義
英文名	Psychology				
担当教員	内田祥子				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	人間の心理的諸機能に関する理論・研究について学び、自己理解・患者理解に必要な基礎的知識の習得を目指す。				
到達目標	1. 心理学理論による人の理解とその技法の基礎について説明できる。 2. 人間の行動の基礎過程について説明できる。 3. 人間の発達と心理との関係について説明できる。 4. 社会的環境が人の心理に対して及ぼす影響について説明できる。 5. 心理的支援の方法と実際について説明できる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	宿題 30%、学期末テスト 70%。宿題の得点が一定水準に達しなければ、学期末テスト・レポートの得点に関わらず、単位を付与しない。				
課題に対するフィードバック	小テスト(予習・復習課題)の解説を次回の授業で毎回おこなう。				
使用教材	授業内で必要に応じて提示する				
1	講義内容	オリエンテーション「心理学を学ぶ意義」			
	該当する到達目標	予習	シラバスに目を通す		1.5 時間
	1	復習	小テスト形式の復習課題		1.5 時間
2	講義内容	心理学とは			
	該当する到達目標	予習	心理学を学ぶ意義について考える		1.5 時間
	1	復習	小テスト形式の復習課題		1.5 時間
3	講義内容	環境を認知する心の働き(1)知覚			
	該当する到達目標	予習	小テスト形式の予習課題		1.5 時間
	2	復習	小テスト形式の復習課題		1.5 時間
4	講義内容	環境を認知する心の働き(2)学習			

	該当する到達目標	予習	小テスト形式の予習課題	1.5 時間
	2	復習	小テスト形式の復習課題	1.5 時間
	講義内容	環境を認知する心の働き(記憶)		
5	該当する到達目標	予習	小テスト形式の予習課題	1.5 時間
	2	復習	小テスト形式の復習課題	1.5 時間
	講義内容	環境を認知する心の働き(4) 言語・思考		
6	該当する到達目標	予習	小テスト形式の予習課題	1.5 時間
	2	復習	小テスト形式の復習課題	1.5 時間
	講義内容	環境を認知する心の働き(5) 情動・動機づけ		
7	該当する到達目標	予習	小テスト形式の予習課題	1.5 時間
	2	復習	小テスト形式の復習課題	1.5 時間
	講義内容	社会の中の人間(1) 人格		
8	該当する到達目標	予習	小テスト形式の予習課題	1.5 時間
	4	復習	小テスト形式の復習課題	1.5 時間
	講義内容	社会の中の人間(2) 自己		
9	該当する到達目標	予習	小テスト形式の予習課題	1.5 時間
	4	復習	小テスト形式の復習課題	1.5 時間
	講義内容	社会の中の人間(3) 社会 4		
10	該当する到達目標	予習	小テスト形式の予習課題	1.5 時間
	4	復習	小テスト形式の復習課題	1.5 時間
	講義内容	生涯発達のしくみ、アイデンティティの生涯発達		
11	該当する到達目標	予習	小テスト形式の予習課題	1.5 時間
	3	復習	小テスト形式の復習課題	1.5 時間
	講義内容	脳科学と心理学		
12	該当する到達目標	予習	小テスト形式の予習課題	1.5 時間
	3	復習	小テスト形式の復習課題	1.5 時間
	講義内容	発達臨床・心理臨床(1) 発達臨床		
13	該当する到達目標	予習	小テスト形式の予習課題	1.5 時間
	5	復習	小テスト形式の復習課題	1.5 時間
	講義内容	発達臨床・心理臨床(2) 心理臨床 5		
14	該当する到達目標	予習	小テスト形式の予習課題	1.5 時間
	5	復習	小テスト形式の復習課題	1.5 時間
	講義内容	まとめ 医療事故と心理学		
15	該当する到達目標	予習	小テスト形式の予習課題	1.5 時間
	5	復習	小テスト形式の復習課題	1.5 時間
備考	オフィスアワーは月曜 1・2 限(8 号館 410 研究室)です。uchida-s@takasaki-u.ac.jp 授業は教員の作成した資料に基づき、講義形式でおこないます。また復習課題のなかで疑問点などを確			

認めます。

看 017 文学と人間

科目名	文学と人間（人間理解）			LAH004	講義
英文名	Literature and Humanity				
担当教員	斎藤 順二				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	現代人の基礎教養として、日本の名作文学を朗読 CD で味わうことで、文章表現による心のコミュニケーションを図ることができる。				
到達目標	1.視聴覚教材を活用して「文学と人間」への洞察を深めることができる。 2.歴史の諸相における人間と人間生活の理解に役立てることができる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	まとめのレポートを 100 点満点で採点し、それに授業参加度を加味(10%)して総合評価する。				
課題に対するフィードバック	共通課題「授業で学んだ近代文学の名作の中から、人間と人間生活の理解に役立つと思われる 10 作品を選び、それぞれ 80～90 字で論評しなさい」を採点し、その結果を講評する。				
使用教材	小田切進『日本の名作』（中央公論新社）定価（本体 720＋税）				
1	講義内容	二葉亭四迷『浮雲』・森鷗外『舞姫』			
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。		1.5 時間
		復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。		1.5 時間
	2	講義内容	森鷗外『高瀬舟』・『雁』		
該当する到達目標 1,2		予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。		1.5 時間
		復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。		1.5 時間
3		講義内容	幸田露伴『五重塔』・樋口一葉『たけくらべ』		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。		1.5 時間
		復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。		1.5 時間
	4	講義内容	尾崎紅葉『金色夜叉』・徳富蘆花『不如帰』		

	該当する到達目	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5 時間
	標 1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
5	講義内容	泉鏡花『高野聖』・島崎藤村『破戒』『夜明け前』		
	該当する到達目	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5 時間
	標 1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
6	講義内容	夏目漱石『坊っちゃん』『ころ』		
	該当する到達目	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5 時間
	標 1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
7	講義内容	伊藤左千夫『野菊の墓』・田山花袋『田舎教師』		
	該当する到達目	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5 時間
	標 1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
8	講義内容	芥川龍之介『羅生門』『鼻』『地獄変』		
	該当する到達目	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5 時間
	標 1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
9	講義内容	有島武郎『或る女』・武者小路実篤『友情』		
	該当する到達目	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5 時間
	標 1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
10	講義内容	川端康成『伊豆の踊子』・小林多喜二『蟹工船』		
	該当する到達目	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5 時間
	標 1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
11	講義内容	林芙美子『放浪記』・尾崎士郎『人生劇場』		
	該当する到達目	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5 時間
	標 1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
12	講義内容	谷崎潤一郎『春琴抄』『細雪』		
	該当する到達目	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5 時間
	標 1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
13	講義内容	志賀直哉『暗夜行路』・太宰治『人間失格』		
	該当する到達目	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5 時間
	標	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間

	1,2			
	講義内容	壺井栄『二十四の瞳』・井上靖『天平の甍』		
1	該当する到達目	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5 時間
4	標	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
	1,2			
	講義内容	学習の整理と展望(まとめのレポート)		
1	該当する到達目	予習	これまでに学んだ近代文学の名作の中から 10 作品に絞り込む。	1.5 時間
5	標	復習	知的好奇心から問題意識を持ち、さらに読書の幅を広げる。	1.5 時間
	2			
備考	授業では、朗読 CD を活用して日本文学作品の梗概を理解しながら、人物相関図の板書とテキストの読解を行う。これをきっかけにして、さらに各自が近代文学に興味関心を抱いて原作を読み、発展させた読書につなげることが望ましい。なお、質問等は、授業開始前もしくは終了後に応じる。			

看 018 芸術論

科目名	芸術論（共通教養科目、人間理解）			LAH005	講義
英文名	Art Theory				
担当教員	石原 綱成、志尾 睦子				
科目に関連した実務経験	映画上映・宣伝・企画・製作、イベントプロデュース(志尾)				
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	芸術を学ぶことで、豊かな人間性と教養を身につける。また、あらゆるジャンルの芸術(絵画、等)を深く理解する。				
到達目標	1.視覚芸術の歴史を理解できる 2.芸術を人間の営為の総体として理解できる。 3.映像芸術を通して、映画の文化史的意義を理解できる。■ 4.様々な文化を理解することで、グローバルな教養が身につく				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	中間テストとして筆記試験を実施、期末試験はレポート提出とする				
課題に対するフィードバック	講義形式をとるが、一方的な講義にならぬよう、受講生の意見、学習状況は逐一確かめる。				
使用教材	教科書は使用せず、逐次プリントを配布する。また、授業においてはパワーポイントを使用する。				
1	講義内容	ガイダンス(石原・志尾)			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を理解し授業の目標を理解する。		1.5 時間
		復習	授業内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法を確認する。		1.5 時間
2	講義内容	芸術とは何かー芸術のイメージの調査ー			
	該当する到達目標	予習	芸術における各自のイメージを箇条書きできるようにしておく。		1.5 時間
		復習	配布したプリントをもとに芸術のジャンルを理解する。		1.5 時間
3	講義内容	芸術史概説			
	該当する到達目標	予習	芸術史の流れを体系的に理解しておく。		1.5 時間
		復習	配布した資料を基に芸術史の歴史を理解する。		1.5 時間
4	講義内容	宗教芸術とは何か」			
	該当する到達目標	予習	世界の主要な宗教の特色を理解する。		1.5 時間

	標 1,2,4	復習	配布した資料を基にキリスト教の教義を理解する。	1.5 時間
5	講義内容	キリスト教美術とシンボル		
	該当する到達目	予習	シンボルの本質について理解する。	1.5 時間
	標 1,2,4	復習	キリスト教のシンボルの法則性を理解する。	1.5 時間
6	講義内容	ルネサンス美術—古典古代の芸術—		
	該当する到達目	予習	配布したプリントをもとに遠近法とは何かを理解する。。	1.5 時間
	標 1,2,4	復習	遠近法と人間の「主体」への意識を考える。	1.5 時間
7	講義内容	ルネサンス美術—図像解釈学と美術—		
	該当する到達目	予習	配布したプリントをもとにプラトンとアリストテレスの相違を理解する。	1.5 時間
	標 1,2,4	復習	イデア論の違いが視覚芸術にいかに関係するかを理解する。	1.5 時間
8	講義内容	中間テスト		
	該当する到達目	予習	今まで学んだ内容を理解しておく	1.5 時間
	標 1,2,4	復習	試験内容を自分なりに再考する	1.5 時間
9	講義内容	メディア芸術とは何か 映画芸術の入り口に立つ■		
	該当する到達目	予習	メディア と称されるもののイメージを箇条書きできるようにしておく	1.5 時間
	標 2,3,4	復習	配布した資料をもとに映画の成り立ちを理解する	1.5 時間
10	講義内容	映画の誕生と変遷を辿る■		
	該当する到達目	予習	映画の仕組みを理解する	1.5 時間
	標 2,3,4	復習	配布した資料をもとに映画史を体系的に理解する	1.5 時間
11	講義内容	映画の表現方法について学ぶ■		
	該当する到達目	予習	様々な映像ジャンルを箇条書きできるようにしておく	1.5 時間
	標 2,3,4	復習	配布した資料をもとに表現方法の多様性を理解する	1.5 時間
12	講義内容	映画の構造を知る■		
	該当する到達目	予習	映画を組み立てているものの役割を理解する	1.5 時間
	標 2,3,4	復習	映画が総合芸術であるという本質を理解する	1.5 時間
13	講義内容	演習 1: 見えるもの 見えないもの 映画が伝えることを意識する■		
	該当する到達目	予習	映画を観てみる	1.5 時間
	標 2,3,4	復習	感想を自分なりの言葉にしてみる	1.5 時間

14	講義内容	演習 2: 演出とは何か■		
	該当する到達目	予習	課題のシナリオを読み、イメージを組み立ててみる	1.5 時間
	標 2,3,4	復習	映像表現の可能性と奥深さを楽しむ	1.5 時間
15	講義内容	総論: 映画は時代を映す鏡である 映画で世界を知る■		
	該当する到達目	予習	興味のある国について調べる	1.5 時間
	標 2,3,4	復習	映画が語る文化、時代性を考える	1.5 時間
備考	パワーポイントを使用した講義形式をとるが、一方的な講義にならぬよう、受講生の意見、学習状況を確認しながら進める。 石原オフィスアワー: 月曜日の 3 限、木曜日の 4 限、質問はメールで受け付ける。 石原メールアドレス: ishihara@takasaki-u.ac.jp 研究室: 8 号館 5 階 501 志尾メールアドレス: m-shio@takasaki-cc.jp ■: 実務経験に基づく内容を示す。			

看 019 ボランティア・市民活動論

科目名	ボランティア・市民活動論（人間理解）			LAH006	講義
英文名	Civil and Voluntary Activities				
担当教員	金井 敏				
科目に関連した実務経験	前職でボランティア・市民活動支援センターの運営支援に従事していました。また、様々なボランティア活動実践者と交流があります。 現在、大学ボランティア・市民活動支援センター（VSC）でセンター長として VSC を運営しています。				
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	ボランティア・市民活動は、手助けを求めている個人や団体に対して自主的に貢献する活動です。身近な地域や福祉、環境、情報、国際協力まで幅広く取り組まれ、今日の社会に不可欠な存在です。この講義では、具体的なボランティア・市民活動の考え方や実践方法を学び、学生が自ら実践する力を養成します。				
到達目標	1.ボランティア・市民活動の対象者のニーズを学び、ボランティア・市民活動の意義を説明できる。■ 2.ボランティア・市民活動の多様な実践例を学ぶことにより、活動の実際の展開を説明できる。■ 3.ボランティア・市民活動支援センターを活用して、自身の関心に即した活動に参加する。■ 4.参加したボランティア・市民活動の実践を振り返り、成果や課題、次のチャレンジについて考察できる。■				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	成績評価 ①学期末レポートによる評価（60％）。なお、追再試は実施しません。 ②ボランティア活動に参加して作成する実践レポートによる評価（20％）。 ③授業のリアクションペーパー（主にゲストスピーカーの 5 回）による評価（20％）。 その他の評価 ①授業開講数の 2/3 以上を出席することにより、成績の評価対象とします。 ②忌引きや実習、就職活動などによる欠席は、届け出（要添付書類）を提出すれば出席扱いとします。なお、15 分以上の遅刻は欠席とみなします。 ③ボランティア実践の時間（1 回当たり 4 時間×4 回＝16 時間相当）も本時の講義時間に含めます。				
課題に対するフィードバック	実践や授業内容などに関する質問や意見については、授業のなかで取りあげるなど随時、学生にフィードバックします。				

使用教材		各講義に即したオリジナル・レジュメや関係資料は授業にて配布します。テキストは使用しません。参考文献は随時、紹介します。		
1	講義内容	ボランティア・市民活動～新しい世界への誘いボランティア・市民活動支援センター(VSC)の活用方法, 授業の進め方を確認する。■		
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容をよく読んで, 現時点でのボランティアの理解を把握する。	1.5 時間
	1,3	復習	講義内容, 学位授与方針, 成績評価方法, VSC 利用方法などを確認する。	1.5 時間
2	講義内容	ボランティアの力を活かす仕組み～ボランティアセンターの役割 ■		
	該当する到達目標	予習	自分の地元市町村のボランティアセンターの組織や活動内容を調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	ボランティアセンターの活用方法を理解する。	1.5 時間
3	講義内容	分かちあう寄付の文化で花咲く貢献社会～赤い羽根共同募金 ■		
	該当する到達目標	予習	赤い羽根共同募金の概要や寄付の実際について調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	赤い羽根共同募金のあり方や寄付の文化とは何かを理解する。	1.5 時間
4	講義内容	子どもの明日と子育てをサポートするボランティア活動 ■		
	該当する到達目標	予習	児童を対象としたボランティア活動を調べる。	1 時間
	1,2,3,4	復習	児童を対象としたボランティアの意義や活動上の注意事項などを理解する。	1.5 時間
5	講義内容	被災地に届け, 災害支援ボランティア活動 ■		
	該当する到達目標	予習	我が国における災害ボランティア活動について調べる。	1 時間
	1,2,3,4	復習	被災地におけるボランティア活動の内容や活動上の注意事項などを理解する。	1.5 時間
6	講義内容	人々はどのようにボランティアに取り組んできたか～欧米と日本の歴史 ■		
	該当する到達目標	予習	世界の国々でボランティア活動がどのように取り組まれているか調べる。	1 時間
	1,2,3,4	復習	欧米と日本のボランティア活動の歴史の違いや長所を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	国際貢献・多文化共生とボランティア活動 ■		
	該当する到達目標	予習	海外で活躍するボランティア活動について調べる。	1 時間
	1,2,3,4	復習	国際貢献や多文化共生のボランティア活動のあり方を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	新しい支え合いの必要性～20 年後のあなたへ ■		
	該当する到達目標	予習	地域における生活のしづらさや今後の課題などについて自分なりに考える。	1 時間
	1,2,3,4	復習	地域において生ずる生活課題や住民同士の支援のあり方を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	バリアフリー社会と心のバリアフリー ■		
	該当する到達目標	予習	日常生活におけるバリアフリーについて調べる。	1 時間

	1,2,3,4	復習	誰にも優しいバリアフリーの実践方法を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	ボランティアとNPO～学生でも創れるNPO法人 ■		
	該当する到達目標	予習	NPO 法人の概要について調べる。	1 時間
	1,2,3,4	復習	NPO 法人の活動内容や設立の要件, ボランティアとの違いなどを理解する。	1.5 時間
11	講義内容	身近な動物とボランティアの良い関係		
	該当する到達目標	予習	動物を対象としたボランティア活動について調べる。	1 時間
	1,2,3,4	復習	動物に対するボランティア活動の実際や人間との共生について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	小中高校の福祉教育・ボランティア学習はこれでいいか ■		
	該当する到達目標	予習	小中高校で取り組まれている福祉実践について調べる。	1 時間
	1,2,3,4	復習	小中高校における福祉教育のあり方や自身の関わり方について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	地域ささえあいのボランティア ～ふれあい・いきいきサロン～ ■		
	該当する到達目標	予習	地域で取り組まれているふれあい・いきいきサロンについて調べる。	1 時間
	1,2,3,4	復習	高齢者の介護予防や健康, 子育て家庭を住民が支える活動について理解する。	1.5 時間
14	講義内容	行政に協力するボランティア ～民生委員・児童委員の活躍～ ■		
	該当する到達目標	予習	行政に協力するボランティアについて調べる。	1 時間
	1,2,3,4	復習	民生委員・児童委員の活動を理解し, 自分の地域の民生委員を確認する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ～新しい支え合いと20年後の自分の生き方■		
	該当する到達目標	予習	さまざまなボランティア活動を通じて理解した人々の生活のしづらさや今後の課題を自分なりに考える。	1 時間
	1,3,4	復習	ボランティア活動の講義と実際の実践活動を踏まえて, ボランティア活動のあり方や自身の将来の役割について考察する。	1.5 時間
備考	毎回の授業は, ボランティアに関する映像視聴, テーマに基づく講義, ゲストスピーカー講義(6 回予定), ディスカッション, 振り返り, 次週の予定, という流れで進めます。 オフィスアワー: 月曜日 12 時 15 分～13 時・水曜日 12 時 15 分～13 時で相談に応じます。研究室: 1号館 3階310研究室。 質問・意見はメールでも対応します。 シラバス中の■は実務経験に基づく授業内容を表しています。 ボランティア・市民活動支援センター(VSC, 9号館1階)を活用してください。活動を始める前には必ず, ボランティア活動保険に加入すること。そのほかボランティアの相談に何でも応じます。 VSC 直通 TEL: 027-352-1108, VSC メールアドレス: vsc@takasaki-u.ac.jp			

看 020 人権論

科目名		人権論（人間理解）			LAH007	講義
英文名		Theory of Human Right				
担当教員		金井 洋行				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		1 年 前期	必 選・単 位 数	選 択 2 単 位		
講義目標		人権の観念について、他の観念－人道、倫理、文化規範、宗教的信念、条理原則等－との比較を通して分析し、人間の本性(human nature)との関係を理解する。日本国憲法に規定する「国民の権利」の内容を知り、その効力にどのような制約や限界があるかについて認識する。身近な生活体験から感得した権利侵害や不条理の発生について、人権の観点から考察する姿勢を身につける。				
到達目標		1.人権について特にヨーロッパの歴史的発展を背景に人道等の他の価値観との比較で観念できる。 2.人権の様々な観念から憲法の人権規定の適用関係を認識できる。 3.個々の人権の性格を、内面的と外面的、精神的と経済的、消極的と積極的、等の区分で理解できる。 4.人権の擁護がどのような考え方と仕組みによって行われるのかについて、憲法規定を通して認識できる。 5.人権に関する主要な争点について裁判所、特に最高裁判所の考え方を整理できる。				
学位授与方針との対応		✓	1. 人間理解と倫理観			
			2. 論理的思考・問題解決力			
			3. チームの一員としての協調・協働			
			4. 国際理解			
			5. 生涯学習力			
評価方法		・平常の授業に対する姿勢(15%)、中間テスト(25%)、期末の定期試験(60%) ・中間テストは概ね 3 回の知識テスト又は、定期試験は知識と思考力のテスト				
課題に対するフィードバック		重要テーマについてのレポートに対してコメントを配布する(テーマについては適宜指示)				
使用教材		テーマ別レジюме、基礎知識資料(テキストに代替するプリント) * テーマによって DVD の視聴あり				
1	講義内容		人権の観念と内容			
	該当する到達目標 1	予習	日本国憲法における基本的人権の項目の教科書等による再チェック			2 時間
		復習	予備知識アンケート			0.5 時間

2	講義内容	人権の享有主体と人権規定の適用関係		
	該当する到達目標 1,2	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
3	講義内容	人権の制約と限界		
	該当する到達目標 1,2,4	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
4	講義内容	幸福追求権の意義と具体化		
	該当する到達目標 1,2,4	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
5	講義内容	法の下での平等－平等権と平等原則－		
	該当する到達目標 1,2,5	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
6	講義内容	人間の内心の価値と保護		
	該当する到達目標 1,3,5	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
7	講義内容	自由と自由主義		
	該当する到達目標 1,3,5	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
8	講義内容	表現の自由とその抑制		
	該当する到達目標 3,4,5	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
9	講義内容	経済活動の自由と財産権		
	該当する到達目標 3,5	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
10	講義内容	人身の自由と刑事手続の保障		
	該当する到達目標 3,4,5	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
11	講義内容	政治活動の自由と参政権		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間

	標 3,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
12	講義内容	生存権の意義と福祉国家の諸権利		
	該当する到達目	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	標 3,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
13	講義内容	教育を受ける権利と学習権		
	該当する到達目	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	標 3,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
14	講義内容	人権の国際化		
	該当する到達目	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	標 3,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
15	講義内容	人権の現状と今後の課題		
	該当する到達目	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	標 1,4	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
備考	講義内容はできうるかぎり予定通り進行させるが、期間内に国内的にあるいは国際的に大きな人権をめぐる事象があった場合には、その話題を飛び入りのに割り込ませることはある。日常の身の回りに起こる権利侵害や条理違反に目を向け、人権擁護の観点から自分なりに考えておくことを期待する。 出講日の放課後等において、質問及び学習相談を受ける。 最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。			

看 021 人間関係論

科目名	人間関係論（人間理解）			LAH008	講義
英文名	Theory of Human Relations				
担当教員	富田 純喜				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	人間関係論といえば、ホーソン実験を基盤として体系化された理論を指すことが多い。また、社会科学における研究アプローチを指すこともある。本講義では、広く生活上の諸現象を人と人との関係から理解することを目的とする。				
到達目標	1.人間関係論の基礎的内容を理解している。 2.人間関係を多角的な視点から説明できる。 3.人間関係の構築に関する基礎的なアプローチを説明できる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	定期試験（70％）、授業参画度（30％）				
課題に対するフィードバック	試験前後に出題の意図等を説明する。				
使用教材	必要に応じて資料を配布する。				
1	講義内容	ガイダンス			
	該当する到達目標	予習	各回の授業内容を確認し、人間関係について考えてみる。		1 時間
	1	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。		1.5 時間
2	講義内容	ホーソン実験と人間関係論			
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。		1 時間
	1	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。		1.5 時間
3	講義内容	自己と他者			
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。		1 時間
	2	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。		1.5 時間
4	講義内容	身体の個別性と共同性			
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。		1 時間
	2	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。		1.5 時間
5	講義内容	発達と人間関係（1） 対人関係のはじまり			

	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1 時間
	2,3	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
	講義内容	発達と人間関係(2) 親子関係		
6	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1 時間
	2,3	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
	講義内容	発達と人間関係(3) 甘えと自律(自立)		
7	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1 時間
	2,3	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
	講義内容	個体能力論としての人間関係		
8	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1 時間
	2	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
	講義内容	関係論としての人間関係(1) 個と個の関係		
9	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1 時間
	2	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
	講義内容	関係論としての人間関係(2) 社会的関係		
10	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1 時間
	2	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
	講義内容	人間関係におけるコミュニケーション能力		
11	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1 時間
	2,3	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
	講義内容	人とのかかわり方(1) 一人称アプローチ		
12	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1 時間
	2,3	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
	講義内容	人とのかかわり方(2) 二人称アプローチ		
13	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1 時間
	2,3	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
	講義内容	人とのかかわり方(3) 三人称アプローチ		
14	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1 時間
	2,3	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
	講義内容	現代社会における人間関係		
15	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	2 時間
	2,3	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
備考	授業は、主に講義形式でテーマの概要の説明を中心に進めるが、ワークやグループディスカッションを随時取り入れる。なお、授業内で扱える内容は限られているため、紹介する参考文献などを使って理解を深めること。 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。 オフィスアワー：(8 号館 4 階 406 研究室)			

メールアドレス : tomita-t@takasaki-u.ac.jp

看 022 ジェンダー論

科目名	ジェンダー論（人間理解）			LAH009	講義
英文名	Gender Theory				
担当教員	前田 由美子				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	人間の性とはどういう意味をもつのか。それによって形成されている秩序と、それゆえに起こるさまざまな葛藤を真摯にみつめ、性を制度設計に組み込む社会の問題を解き明かす。その上で、それらをどのように解決して行ったら良いのかを深く思索する。そうすることによってより豊かで包容力のある社会を創造する力を備え、行動する人になり、新しい自分や社会を発見することになるであろう。				
到達目標	1.自分自身の内部にある「性」のとらえ方を見つめ直す。 2.内面化している固定的な性のイメージや制度に対する固定観念に気づく。 3.他者や社会への豊かなまなざしを持てる。 4.豊かな社会創造への力を身につける。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	レポートを 4 日間それぞれに提出（1 日につき 25%相当）。合計で評価する。 総合評価 60%以上で合格とする。				
課題に対するフィードバック	レポートを返却し、コメント解説を行う。				
使用教材	授業用プリント、文献資料等を随時配布する。必要に応じてメディア教材を使用する。				
1	講義内容	講義全体の説明			
	該当する到達目標	予習	性別についての自分の考え方を見つめておく。		1 時間
		復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価法などを確認する。		1.5 時間
2	講義内容	ジェンダーと言う概念			
	該当する到達目標	予習	文献資料に目を通す。		1 時間
		復習	ジェンダー概念について理解する。		1.5 時間
3	講義内容	生き物としての性とその多様性			

	該当する到達目 標 1,2	予習	文献資料を読んでおく。	1 時間
		復習	性の多様性を理解する。	1.5 時間
4	講義内容	セクシュアリティ・性的指向		
	該当する到達目 標 1,2,3	予習	文献資料を読んでおく。	1 時間
		復習	セクシュアリティの多様性について理解する。	1.5 時間
5	講義内容	性役割と性規範		
	該当する到達目 標 1,2	予習	文献資料を読んでおく。	1 時間
		復習	身の回りの性役割や性規範について気づく。	1.5 時間
6	講義内容	ジェンダー・アイデンティティ		
	該当する到達目 標 1,2,3	予習	文献資料を読んでおく。	1 時間
		復習	ジェンダー・アイデンティティについて理解する。	1.5 時間
7	講義内容	性別と経済		
	該当する到達目 標 1,2,3	予習	文献資料を読んでおく。	1 時間
		復習	経済と性別のつながりを理解する。	1.5 時間
8	講義内容	女性と子ども		
	該当する到達目 標 1,2,3,4	予習	文献資料を読んでおく。	1 時間
		復習	女性と子どものつながりへの偏重を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	男性と子ども		
	該当する到達目 標 1,2,3,4	予習	文献資料を読んでおく。	1 時間
		復習	男性と子どものつながりの困難を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	労働と性別		
	該当する到達目 標 1,2,3,4	予習	文献資料を読んでおく。	1 時間
		復習	労働と性別のつながりの問題を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	労働と性別とそれぞれの暮らし		
	該当する到達目 標 1,2,3,4	予習	文献資料を読んでおく。	1 時間
		復習	ワーク・ライフ・バランスを理解し、問題解決法を考える。	1.5 時間
12	講義内容	男性のかかえる問題		
	該当する到達目 標	予習	文献資料を読んでおく。	1 時間
		復習	男性をとりまく問題を理解し、女性の問題との関連を考える。	1.5 時間

	1,2,3,4			間
13	講義内容	セクシュアル・ハラスメント		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	文献資料を読んでおく。	1 時間
		復習	問題の本質を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	ドメスティック・バイオレンス		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	文献資料を読んでおく。	1 時間
		復習	社会問題として理解する。	1.5 時間
15	講義内容	性別と社会の問題		
	該当する到達目標 3,4	予習	全ての文献のつながりを理解する。	1 時間
		復習	問題の確認と解決法を考える。	1.5 時間
備考	レジュメに基づき解説を行う。時にグループワークも行い、課題について考察を深める。集中講義なので、日ごとに短いレポートを作成提出してもらう。予習・復習については、予め配布される資料を読み込んで行い、最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。 仕事の選択、恋愛、卒業後の人生設計において、この授業で学ぶ知識は大きな影響をもたらすはずである。自身のために、社会を創るために是非学んでほしい。 質問等は、授業中もしくは終了後に応じ解説する。			

看 023 共生の倫理

科目名	共生の倫理（人間理解）			LAH010	講義
英文名	Ethics of Symbiosis				
担当教員	大石 桂子				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 後期	必 選・単 位 数	選 択 2 単 位		
講義目標	現代では多様な価値観・文化をもった人々が、性別や年齢、職業や病気・障がいの有無などを超えて「共生」することが求められている。差別や排除をのりこえ、共生を実現するためどのような取り組みができるのか、基礎的な理論と方法の知識を習得することを目標にする。				
到達目標	1.現代社会での共生の意義について理解し、説明できる。 2.共生の歴史について理解し、説明できる。 3.共生を支える社会学、倫理学また教育や臨床的なアプローチを理解し、説明できる。 4.共生の具体的なあり方や事例について理解し、説明できる。 5.各テーマについて自分の考えをもつことができる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	定期試験(60%)，講義中に作成する課題(40%)に、参加態度を加えて総合的に評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	提出課題の内容にコメントを添えて、講義中に紹介する。				
使用教材	講義中にプリントを配布する。				
1	講義内容	ガイダンス			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容に目を通し、到達目標などを確認する。		1 時間
		復習	講義の目的や学ぶ意義を理解する。		1.5 時間
2	講義内容	共生とは何か、共生に関わる社会意識			
	該当する到達目標	予習	共生の定義を調べる。		1.5 時間
		1	復習	なぜ共生が必要とされるのか理解する。	

3	講義内容	多文化社会と価値の多様化		
	該当する到達目標 1,5	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	価値の多様化の社会的な影響について、事例を考え課題を作成する。	1.5 時間
4	講義内容	分断と隔離の歴史		
	該当する到達目標 2,5	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	近代以降に障がい者などの隔離が進んだ背景を理解する。	1.5 時間
5	講義内容	優生思想		
	該当する到達目標 2,5	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	20 世紀初頭～現在の優生思想について、問題点を理解する。	1.5 時間
6	講義内容	共生の歴史：ノーマライゼーションからエンパワーメントへ		
	該当する到達目標 2,4,5	予習	ノーマライゼーションの定義を調べる。	1 時間
		復習	ノーマライゼーションの意義と、他の概念へ置き換わった背景を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	公共空間のユニバーサルデザイン		
	該当する到達目標 4,5	予習	ユニバーサルデザインの定義を調べる。	1 時間
		復習	ユニバーサルデザインの意義を理解し、身近な実例を考える。	1.5 時間
8	講義内容	共生をめざして(1) 社会学からのアプローチ		
	該当する到達目標 3,5	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	世代間保障について理解し、課題を作成する。	2 時間
9	講義内容	共生をめざして(2) 倫理学からのアプローチ		
	該当する到達目標 3,5	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	共感の道徳的な役割を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	共生をめざして(3) 教育学からのアプローチ		
	該当する到達目標 3,5	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	学校教育での共生の取り組みを理解する。	1.5 時間
11	講義内容	共生をめざして(4) 非行臨床からのアプローチ		
	該当する到達目標 3,5	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	矯正教育の意義と成果について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	共生をめざして(5) 認知症ケアの臨床からのアプローチ		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間

	標 3,5	復習	介護での QOL 向上やコミュニケーション改善の取り組みを理解する。	1.5 時間
13	講義内容	「排除型社会」がもたらすリスク		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	標 1,5	復習	価値多様化の時代の「自己」のあり方、共済、相互扶助の意義を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	事例研究:多民族、多文化の共生		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	標 4,5	復習	講義の内容をふまえ、課題を作成する。	2 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	これまでのノート・資料に目を通す。	1.5 時間
	標 1,2,3,4,5	復習	共生の意義、方法について理解し、自分の考えをまとめる。	1.5 時間
備考	授業ではパワーポイントを用いる。定期的に資料に関する分析、考察する機会を設ける。 予習・復習については試験前の学習で補完すること。 オフィスアワー:月曜日の 3 時限、金曜日の 2 時限。質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス:oishi@takasaki-u.ac.jp 研究室:1 号館 6 階 601			

看 024 チーム医療アプローチ論

科目名	チーム医療アプローチ論（人間理解）			LAH011	講義
英文名	Team Approach to Health Care				
担当教員	土井信幸、原田欣宏、竹内真理、小笠原映子、鈴木忠、篠原智行、丸山健一、大川喜代美				
科目に関連した実務経験	看護師、訪問看護師として総合病院に勤務（経験）				
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	福祉・医療系の専門職育成を担う大学として、チーム医療を推進する上で各学科の学生が各専門職の役割・活動を理解する。				
到達目標	1. チーム医療を促進するための福祉・医療系専門職の協働の必要性について理解できる。■ 2. 各専門職の役割と活動について理解できる。■ 3. チーム医療における専門職の連携を促進するための課題について考察できる。■				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	授業参加への積極性 40%、レポート 60%				
課題に対するフィードバック	他学科の学生が参加していることから講義中に双方向型講義を行い、学生の考えや意見を導入しながら講義を展開する。				
使用教材	講義のスライドを随時プリントして配布する。				
1	講義内容	チーム医療を促進するための福祉・医療系専門職の協働の必要性について			
	該当する到達目標	予習	チーム医療とはどのようなものなのか、学習する。		1.5 時間
	1.2.3	復習	21 世紀の医療では、なぜ多職種協働のチーム医療が必須であるか理解する。		1.5 時間
2	講義内容	チーム医療における看護師・保健師の役割と活動■			
	該当する到達目標	予習	チーム医療における看護師・保健師の役割と活動		1.5 時間
	1.2.3	復習	多職種連携・協働のあり方、チーム医療における看護職の役割を考察する。		1.5 時間
3	講義内容	チーム医療における理学療法士の役割と活動			
	該当する到達目標	予習	リハビリテーションチームを構成する各職種について調べる。		1.5 時間
	1.2.3	復習	チームの中でその役割を果たすために、なすべきことを確認する。		1.5 時間
4	講義内容	チーム医療における薬剤師の役割と活動			
	該当する到達目標	予習	チーム医療における薬剤師の役割と活動についてインターネット等の		1 時間

			電子媒体を用いて調査する。	
	1.2.3	復習	講義受講後のレポート作成。チーム医療における薬剤師の役割について、地域包括ケアシステムの観点から整理すること。	2 時間
5	講義内容	チーム医療における管理栄養士の役割と活動		
	該当する到達目標	予習	事前に学習した他のコメディカルの役割と活動について復習し授業に臨む。	1.5 時間
	1.2.3	復習	管理栄養士と他のコメディカルのチーム医療と、チーム内での役割や活動について考察する。	1.5 時間
6	講義内容	チーム医療における社会福祉士の役割と活動		
	該当する到達目標	予習	①高齢化社会の現状を調べる。②地域医療の進展を調べる。③社会福祉専門職の職場を調べる。	1.5 時間
	1.2.3	復習	疾患と障害の関連を理解し、地域で自立した生活支援に必要なチーム医療のあり方を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	チーム医療における保育士・幼稚園教諭・小中学校教諭、特別支援学校教諭の役割と活動		
	該当する到達目標	予習	乳幼児期・学齢期に罹患しやすい病気の概要や主要な障害について予習をすること。	1.5 時間
	1.2.3	復習	保育士・幼稚園教諭・小中学校教諭、特別支援学校教諭と各種医療関連職との連携のあり方について復習をすること。	1.5 時間
8	講義内容	チーム医療における病院における情報管理と事務系と診療情報士の役割と活動		
	該当する到達目標	予習	病院における情報の重要性について調べてみる。	1.5 時間
	1.2.3	復習	病院における情報を管理する人材について理解する。	1.5 時間
備考	【授業期間全体を通じた授業の進め方】 各講義ではテーマについて概要を説明する。授業はパワーポイントにより要点を提示する。 【キーワード】専門職、チーム医療、チームアプローチ 【オフィスアワー】 原田(福祉): 火 2 限、金 3 限(1 号館 506 研究室) 竹内(栄養): 木曜 2-4 時限(1 号館 308 研究室)質問等はメールでも受け付けます。 mtakeuchi@takasaki-u.ac.jp 小笠原(看護): 月曜日 3 限(4 号館 505 研究室)ogasawara@takasaki-u.ac.jp 鈴木(理学): 月曜日 12:30~13:30、15:30~16:30(4 号館 2 階学部長室) 篠原(理学): 水曜 3 限、随時メールで問い合わせを受け付けます(shinohara-t@takasaki-u.ac.jp) 土井(薬学): 12:00~13:00(7 号館 319 研究室)doi-n@takasaki-u.ac.jp 丸山(子ども): 火曜日 3 限、木曜日 2 限(9 号館 301 研究室) ■:実務経験に基づく内容を示す。			

看 025 国際医療事情

科目名	国際医療事情（人間理解）			LAH012	講義
英文名	International Healthcare				
担当教員	クリストファー・ターン、町田修三				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標	学生の国際化促進とグローバル人材の養成を目的として設置された科目である。特に本学学生は医療系を専攻する者が多いため、海外の医療に関する様々な事項を経験的に学ぶことに重点を置いている。具体的な内容としては、海外諸国の健康・医療教育、健康・医療の実態、医療制度、病医院や医師・コメディカル等の供給体制、病医院や医療施設の世界比較等について学ぶ。国際化を促進するため、学生には英語で日本の文化や医療の説明をしたり、医療に関する基礎的なディスカッションをしたりすることを取り入れる。また本講義では、学生が実際に海外に赴き実体験として国際医療事情を見聞することを強く推奨する				
到達目標	1. 諸外国の医療教育を理解し、日本との違いを説明できる 2. 諸外国の医療の実態を理解し、日本との違いを説明できる 3. 諸外国の医療制度を理解し、日本との違いを説明できる 4. 諸外国の病医院について学び、日本との違いを説明できる 5. 日本の医療教育や医療事情について、英語で解説ができる				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
	✓	4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	最終レポート(50%)，提出物(20%)，発表，討論など授業参加度(30%) 海外研修参加者は、事前・事後研修および発表のパフォーマンス(30%)，研修レポート(30%)，研修中のパフォーマンス(40%)				
課題に対するフィードバック	レポートや提出物については、コメントを付して返却する。発表や討論等のパフォーマンスについては、その都度コメントやアドバイスを伝える				
使用教材	特に指定はない。各自自分のリサーチ目的に沿った文献，教材を探すこと				
1	講義内容	イントロダクション			
	該当する到達目標	予習	シラバスを熟読し，講義の概要や目標を理解しておく		1 時間
		復習	自分の興味のある国の医療事情リサーチを開始する		1.5 時間
2	講義内容	医療の国際化とは			

	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1~4	復習	講義内容の復習, 特に世界で進行中の医療の国際化についてしっかりと理解する	1.5 時間
3	講義内容	日本の医療教育, 医療制度, 医療事情 (一部 AL 実施)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1~4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
4	講義内容	日本の医療教育, 医療制度, 医療事情を英語で説明してみよう		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	5	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
5	講義内容	先進国(アメリカ, イギリス, ドイツ)の医療教育		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
6	講義内容	先進国の医療事情 I (一部 AL 実施)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1~4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
7	講義内容	先進国の医療事情 II (一部 AL 実施)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1~4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
8	講義内容	先進国の病院		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
9	講義内容	その他の先進国(北欧, カナダ, オーストラリアなど)の医療事情 I (一部 AL 実施)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1~4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
10	講義内容	その他の先進国の医療事情 II (一部 AL 実施) 1~4		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1~4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
11	講義内容	中進国(台湾, シンガポール, 中国など), 途上国(ベトナム, インドネシア, タイなど)の医療教育		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
12	講義内容	中進国, 途上国の医療事情 I (一部 AL 実施)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1~4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情発表準備	1.5 時間
13	講義内容	中進国, 途上国の医療事情 II (一部 AL 実施)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1~4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情発表準備	1.5 時間

14	講義内容	学生プレゼンテーション 1~5		
	該当する到達目標	予習	発表原稿とプレゼンテーションの準備	3 時間
	1~5	復習	学生プレゼンテーションの復習とコメント記入	1.5 時間
15	講義内容	学生プレゼンテーションとまとめ		
	該当する到達目標	予習	発表原稿とプレゼンテーションの準備	3 時間
	1~5	復習	学生プレゼンテーションの復習とコメント記入	1.5 時間
備考	海外研修に参加して、実際に海外の医療現場を経験することを強く勧める。その際、どのような視点を持ってリサーチするかの示唆と、見聞したことの要約法・分析法を教授する。リサーチ原稿の作成と発表までをもって1クールとする。			
	オフィスアワー: 月曜日 4 限目, 金曜日 2 限目 研究室: 1 号館 6 階 603			
	メールアドレス: machida@takasaki-u.ac.jp			
	AL(アクティブラーニング)は, ペアワーク, グループワーク, ディスカッション, クローズドクエスチョン, オープンクエスチョンなど			
	予習・復習については、期末試験前の学習で補完すること。			

看 026 Introduction to Healthcare Sciences

科目名	Introduction to Healthcare Sciences（人間理解）			LAH013	講義
英文名	Introduction to Healthcare Sciences				
担当教員	小澤澪司、町田修三、クリストファー・ターン、下川哲昭、今井純、長谷川恵子				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	学生の国際化推進とグローバル人材の育成を目的に設置された講義科目であり、授業は原則英語で行う。日本では医療分野の国際化はまだ遅れているが、世界的には急速に拡大しつつある。本講義では、国際的な医療人養成のため、世界共通語である英語を用いて、医療に関する基礎的な事項を易しく解説していく。複数の教員がオムニバス形式で担当するが、学生の理解度を確認しながら平易な英語で解説するので、受講に際して特に高度な英語力は要求しない。英語による授業を学生がしっかりと理解し、医療コミュニケーション能力を高めることで、医療教育の国際化を先取りするような講義へと発展させることを目指す。				
到達目標	1. 医療に関する基礎的な内容に関して、英語での説明を理解できる 2. 理解した内容について、第三者に説明できる 3. 医療に関するトピックに関して、英語での基礎的なプレゼンテーションやディスカッションができる 4. 医療に関するトピックについて、外国の学生と話をすることができる				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
	✓	4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	担当各教員による評価を総合して決定する。各教員は、毎回の授業参加度(20%程度)や講義終了時に課す提出物または小レポート(80%程度)により、それぞれの持ち点に応じて学生を評価する。				
課題に対するフィードバック	提出物や小レポートには、コメントを付して返却する				
使用教材	各教員が作成した資料やデータを用いて講義する				
1	講義内容	Introduction of the course（町田）			
	該当する到達目標	予習	シラバスを熟読し、講義の概要や目標を理解しておく		1 時間
	1	復習	講義内容の復習、特に専門用語(英語)を覚える		1 時間
2	講義内容	Medical globalization and Japan's healthcare system（町田）			
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通す。特に専門用語(英語)を		1.5 時間

			予習しておき, 授業に参加する準備をしておく	
	1~4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
3	講義内容	Healthcare system of foreign countries (町田)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておき, 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
	1~4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
4	講義内容	U.S. healthcare in the media I (長谷川)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておき, 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
	1~4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
5	講義内容	U.S. healthcare in the media II (長谷川)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておき, 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
	1~4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
6	講義内容	Using Medline Plus to obtain medical information in English I (小澤)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておき, 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
	1~4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
7	講義内容	Using Medline Plus to obtain medical information in English II (小澤)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておき, 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
	1~4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
8	講義内容	Immunity and diseases I (今井)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておき, 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
	1~4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
9	講義内容	Immunity and diseases II (今井)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておき, 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
	1~4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
10	講義内容	Immunity and diseases III (今井) 1~4		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておき, 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
	1~4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
11	講義内容	Genes and cancer : basic understanding of the disease I (下川)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておき, 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間

	1~4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
12	講義内容	Genes and cancer : basic understanding of the disease II (下川)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておき, 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
	1~4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
13	講義内容	Mental Health (ターン)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておき, 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
	1~4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
14	講義内容	Mental health and social skills (ターン) 1~4		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておき, 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
	1~4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
15	講義内容	Summary and concluding remarks (ターン)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておき, 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
	1~4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
備考	オフィスアワー(町田): 月曜日4限目、金曜日2限目 研究室: 1号館6階603 数人の教員がオムニバス形式で英語にて、学生の理解度を確認しながら講義を展開する。講義内容は学生の興味を持つような分野から、基礎的なものを選んでいる。学生の積極的な授業参加が求められる。 英語を使用する授業であるので、予習用に授業で用いる教材・資料・データ等をあらかじめ配布する。授業にはこれらの資料を十分に下調べしたうえで臨むことが特に重要である。 予習・復習については、期末試験前の学習で補完すること。			

看 027 囲碁の世界

科目名	囲碁の世界（人間理解）			LAH014	講義
英文名	Introduction to Igo				
担当教員	三谷 哲也				
科目に関連した実務経験	2002 年日本棋院に入段、現在七段として東京本院に所属。				
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	近年、囲碁は脳を活性化し考える力を養うということで注目されている。囲碁を学ぶことで「考える力」と「集中力」を磨き、「先を読む力」を身につける。また、日本の伝統文化である囲碁を体得することで、言葉と世代を超えたコミュニケーション力を身につけ、国際交流のコミュニケーション力を高める。				
到達目標	1. 全く囲碁を知らない状態から囲碁の世界を知り、19 路盤で最後まで打てるようになる。 2.いくつかのパターンの囲碁の心得を覚え、囲碁の考え方を身につける。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	毎回の授業貢献度、技術の習熟度を総合的に判断する(60%) 試験(20%)×2 回				
課題に対するフィードバック	試験後に解説を行う。				
使用教材	光文社新書「東大教養囲碁講座」				
1	講義内容	囲碁の歴史と基本ルール			
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書 第 1 章 1～3 に目を通し講義の目的を理解する。		1.5 時間
		復習	囲碁の基本的なルールを理解する。		1.5 時間
2	講義内容	ルールの復習(1)			
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書 第 2 章 1-1～1-3 に目を通し基本ルールを確認する。		1.5 時間
		復習	囲碁の 5 つの基本ルールを理解する。		1.5 時間
3	講義内容	ルールの復習(2)			
	該当する到達目標	予習	教科書 第 2 章 1-4～1-5 に目を通し基本ルールを確認する。		1.5 時

	標			間
	1,2	復習	打てない場所、打てる場所を理解する。	1.5 時間
4	講義内容	ルールの復習及び初歩技術(1)		
	該当する到達目標	予習	教科書 第 P97 に目を通し、囲碁の打ち方のポイントを確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	基本的な 3 つの心得を理解する。	1.5 時間
5	講義内容	ルールの復習及び初歩技術(2)		
	該当する到達目標	予習	教科書 第 3 章 2 に目を通し、石の取り方を確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	取れている石、シチョウを理解する。	1.5 時間
6	講義内容	問題演習		
	該当する到達目標	予習	教科書第 2 章 1～2 に目を通し基本的な考え方を理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	地の数え方、石のつながりを理解する。	1.5 時間
7	講義内容	技術の解説(1)		
	該当する到達目標	予習	教科書 P188～199 に目を通し終盤の考え方を確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	19 路盤の終盤の考え方を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	技術の解説(2)		
	該当する到達目標	予習	教科書 P173～188 に目を通し中盤の考え方を確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	19 路盤の中盤の考え方を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	技術の解説(3)		
	該当する到達目標	予習	教科書 P158～172 に目を通し序盤の考え方を確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	19 路盤の序盤の考え方を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	9 子局の解説・連碁(対局)		
	該当する到達目標	予習	教科書 第 5 章 1 に目を通し 9 子局の打ち方を理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	9 子局の打ち方を理解する。	1.5 時間

11	講義内容	技術の解説(4)		
	該当する到達目標	予習	教科書 P207～220 に目を通し決め打ち碁のポイントを理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	隅の死活を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	技術の解説(5)とペア碁		
	該当する到達目標	予習	教科書 第4章に目を通し、19路盤の考え方を理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	19路盤の中盤の打ち方を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	問題演習		
	該当する到達目標	予習	教科書 第2章4に目を通し、石の追い方を理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	石の取り方、死活、終局の仕方を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	技術の解説(6)		
	該当する到達目標	予習	教科書 P259～267 に目を通し、総合的な石の取り方を理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	19路盤の序盤～中盤の打ち方を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	連碁対局 まとめ		
	該当する到達目標	予習	教科書 第4章～5章に目を通し、これまで習ってきたことを確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	インターネットやスマートフォンで対局する。	1.5 時間
備考	授業内容全てが教員の実務経験と関連する。 授業は基本的に講義形式で打ち方の解説をした後、受講生同士で対局を行う。 囲碁の道具の片づけについても授業の一環である。チューデントアシスタント(SA)の方がいても、積極的に片づけに関わること。 オフィスアワーは授業の前後 15 分ずつであるが、状況により次回の授業で対応となる場合がある。			

看 028 英語 I A

科目名	英語IA(リテラシー)			LAL001	講義
英文名	English IA				
担当教員	出雲 春明				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	幅広い現代的トピックをあつかったテキストにふれ、大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。また、一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得するとともに、リスニング・ライティング等の総合的な英語運用能力を高める。				
到達目標	1. 大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。 2. 一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。 3. リスニング・ライティング・コミュニケーション等の総合的な英語運用能力を高める。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
	✓	4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	期末試験 50% 平常点 50%(授業への参加度、発言、発表課題など)の総合評価とする。				
課題に対するフィードバック	課題や試験はコメント・添削の上返却する。				
使用教材	大八木廣人／Timothy Kiggell『Viva! San Francisco – Video Approach to Survival English』、マクミラン ランゲージハウス、1998 年。¥2,000+税。				
1	講義内容	ガイダンス			
	該当する到達目標	予習	シラバスを読み、予習、復習、評価方法について確認する。		1.5 時間
	1	復習	PC を用いた講義の進め方について理解する。		1.5 時間
2	講義内容	Chapter 1 Where Do I Get the Bus? -Getting information- ①			
	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 1-3.の不明な単語を調べ、聞き取りの訓練をする。		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	重要表現を理解し、それをを用いたやりとりを練習する。		1.5 時間
3	講義内容	Chapter 1 Where Do I Get the Bus? -Getting information- ②			
	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 4-5.の不明な単語を調べ、聞き取りの訓練をする。		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	重要表現を理解し、それをを用いたやりとりを練習する。		1.5 時間
4	講義内容	Chapter 2 Do You Have a Reservation, Ma'am? -Checking in at a hotel- ①			
	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 7-9.の不明な単語を調べ、聞き取りの訓練をする。		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	重要表現を理解し、それをを用いたやりとりを練習する。		1.5 時間
5	講義内容	Chapter 2 Do You Have a Reservation, Ma'am? -Checking in at a hotel- ②			

	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 10-11.の不明な単語を調べ、聞き取りの訓練をする。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	重要表現を理解し、それを聞いたやりとりを練習する。	1.5 時間
	講義内容	Chapter 3 Could You Repeat That? -Asking for directions- ①		
6	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 13-15.の不明な単語を調べ、聞き取りの訓練をする。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	重要表現を理解し、それを聞いたやりとりを練習する。	1.5 時間
	講義内容	Chapter 3 Could You Repeat That? -Asking for directions- ②		
7	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 16-17.の不明な単語を調べ、聞き取りの訓練をする。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	重要表現を理解し、それを聞いたやりとりを練習する。	1.5 時間
	講義内容	Chapter 5 Would You Like Soup or Salad? -Ordering a meal- ①		
8	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 25-27.の不明な単語を調べ、聞き取りの訓練をする。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	重要表現を理解し、それを聞いたやりとりを練習する。	1.5 時間
	講義内容	Chapter 5 Would You Like Soup or Salad? -Ordering a meal- ②		
9	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 28-29.の不明な単語を調べ、聞き取りの訓練をする。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	重要表現を理解し、それを聞いたやりとりを練習する。	1.5 時間
	講義内容	Chapter 6 Where's the Fitting Room? -Shopping for clothes- ①		
10	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 31-33.の不明な単語を調べ、聞き取りの訓練をする。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	重要表現を理解し、それを聞いたやりとりを練習する。	1.5 時間
	講義内容	Chapter 6 Where's the Fitting Room? -Shopping for clothes- ②		
11	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 34-35.の不明な単語を調べ、聞き取りの訓練をする。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	重要表現を理解し、それを聞いたやりとりを練習する。	1.5 時間
	講義内容	Chapter 7 Would You Mind Taking My Picture? -Asking for a favor- ①		
12	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 37-39.の不明な単語を調べ、聞き取りの訓練をする。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	重要表現を理解し、それを聞いたやりとりを練習する。	1.5 時間
	講義内容	Chapter 7 Would You Mind Taking My Picture? -Asking for a favor- ②		
13	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 40-41.の不明な単語を調べ、聞き取りの訓練をする。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	重要表現を理解し、それを聞いたやりとりを練習する。	1.5 時間
	講義内容	Chapter 8 Good to See You! -Meeting a friend ①		
14	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 43-45.の不明な単語を調べ、聞き取りの訓練をする。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	重要表現を理解し、それを聞いたやりとりを練習する。	1.5 時間
	講義内容	Chapter 8 Good to See You! -Meeting a friend ②		
15	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 46-47.の不明な単語を調べ、聞き取りの訓練をする。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	重要表現を理解し、それを聞いたやりとりを練習する。	1.5 時間
備考	辞書必携。 PCを用いて、動画、音声、チャットを織り交ぜながら講義を行うので、各自、IDとPasswordを控えておくこと。初回は PC の操作方法を説明するため、できる限り出席すること。PC の立ち上げには時間がかかるため、講義に際しては余裕を持って席に着いておくのが望ましい。 なお、講義中、データの形で資料を配付することがあるため、保存用の <u>USB フラッシュメモリ</u> 等を各自用意しておくことと便利である。			

	質問などがある場合は、授業の前後の時間に、教室ならびに非常勤講師控え室で対応する。

看 028 英語 I B

科目名	英語IB（リテラシー）			LAL001	講義
英文名	English IB				
担当教員	クリストファー・ターン				
科目に関連した実務経					
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	英語をコミュニケーションの道具としてとらえ、英語によるコミュニケーション能力基礎の確立を目指す。この目的のために、まずジェスチャーや one word English、one phrase English から始めて、便利かつ最低限必要な英語表現を繰り返し練習する。複雑な文法や語法を無視してこうした練習を繰り返すことで、気楽に感じたことをそのまま口に出すくせをつけさせたい。授業は主に教員が自ら用意した教材を用いて行うが、ゲーム、ペアワーク、写真、ビデオ、音楽等を多く利用して、学生が積極的に授業に参加できるような雰囲気をつくっていきたい。発表の機会が増えると思う。学生の習熟度に応じ、講義のレベルを調整していく。				
到達目標	1. 英語によるコミュニケーション能力の基礎を確立する。 2. 英語による口語表現に親しむ。 3. 英語によるプレゼンテーションを行う。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
	✓	4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	期末試験 50% 平常点 50%(授業への参加度、発言、発表課題など)の総合評価とする。				
課題に対するフィードバック	レポートにはコメント・添削の上返却する。 期末試験は採点の後返却する。				
使用教材	特に定めない。				
1	講義内容	イントロダクション:講義の解説・自己紹介			
	該当する到達目標 1, 2	予習	シラバスを読んで学習内容を確認しておく		1.5 時間
		復習	口語表現の復習		1.5 時間
2	講義内容	自己紹介してみよう			
	該当する到達目標 1, 2	予習	スピーチの準備・練習		1.5 時間
		復習	新出表現の復習・発音の確認		1.5 時間

				間
3	講義内容	サバイバル・イングリッシュ ① Where do I get the bus? 道案内等		
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
4	講義内容	サバイバル・イングリッシュ ② Could you repeat that? 予約等		
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
5	講義内容	便利な one phrase English ① How is your family?		
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
6	講義内容	便利な one phrase English ② Where do you live?		
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
7	講義内容	英語の話し方・意思の伝え方		
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
8	講義内容	英語と日本語の違い		
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
9	講義内容	外国について知ろう		
	該当する到達目標	予習	外国について調べてくる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
10	講義内容	外国や日本について知ろう		
	該当する到達目標	予習	外国と日本の比較点をまとめる	1.5 時

	標			間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
11	講義内容	外国や日本について話そう		
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
12	講義内容	英語だけで1時間過ごしてみよう(Q & A)		
	該当する到達目標	予習	質問内容を考えてくる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
13	講義内容	英語だけで1時間過ごしてみよう(何かを説明する)		
	該当する到達目標	予習	プレゼンテーションの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
14	講義内容	大学生活についてのスモール・トーク		
	該当する到達目標	予習	プレゼンテーションの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
15	講義内容	英語でプレゼンテーションにチャレンジにしてみよう		
	該当する到達目標	予習	プレゼンテーションの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
備考	オフィスアワー：火曜日 3 限、金曜日 3 限 メールアドレス：tarn@takasaki-u.ac.jp 研究室：1 号館 3 階 315 研究室 授業は基本的に演習形式で進め、受講者の英語運用能力を高めるために、適宜、音声・映像教材を用いた活動を取り入れる。			

看 028 英語 I C

科目名		英語IC(リテラシー)			LAL001	講義
英文名		English IC				
担当教員		岡田 和子				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		1 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標		幅広い現代的トピックをあつかったテキストにふれ、大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。また、一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得するとともに、リスニング・ライティング等の総合的な英語運用能力を高める。				
到達目標		1. 大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。 2. 一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。 3. リスニング・ライティング・コミュニケーション等の総合的な英語運用能力を高める。				
学位授与方針との対応		✓	1. 人間理解と倫理観			
			2. 論理的思考・問題解決力			
			3. チームの一員としての協調・協働			
		✓	4. 国際理解			
			5. 生涯学習力			
評価方法		授業への参加度・平常点 40%(単語試験、提出物など)、定期試験 60%を総合的に評価する。				
課題に対するフィードバック		レポートは添削・コメントを付した後返却する。 期末試験は採点后返却する。				
使用教材		プリント配布(1. 看護のための実践メディカル英語 2. 問診票英語版)				
1	講義内容		第 1 課 痛みに関する英語表現			
	該当する到達目標		予習	テキストを読んで内容を理解する		1.5 時間
	1,2,3		復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する		1.5 時間
2	講義内容		第 2 課 外来での英会話(診察前)			
	該当する到達目標		予習	テキストを読んで内容を理解する		1.5 時間
	1,2,3		復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する		1.5 時間
3	講義内容		第 3 課 外来での英会話(診察後)			
	該当する到達目標		予習	テキストを読んで内容を理解する		1.5 時間
	1,2,3		復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する		1.5 時間
4	講義内容		〇〇科の言い方 身体部位の表現(hip は「尻」ではない)			
	該当する到達目標		予習	テキストを読んで内容を理解する		1.5 時間
	1,2,3		復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する		1.5 時間
5	講義内容		第 4 課 医療面接での英会話(主訴・現病歴) 問診票①			

	該当する到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	1.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	1.5 時間
6	講義内容	第 5 課 医療面接での英会話(既往歴・家族歴・社会歴)		
	該当する到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	1.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	1.5 時間
7	講義内容	第 6 課 健康状態に関する英語表現		
	該当する到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	1.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	1.5 時間
8	講義内容	第 7 課 症状に関する英語表現 問診票②		
	該当する到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	1.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	1.5 時間
9	講義内容	第 8 課 検査に関する英語表現		
	該当する到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	1.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	1.5 時間
10	講義内容	第 9 課 検査に関する英語表現(続)		
	該当する到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	1.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	1.5 時間
11	講義内容	第 10 課 介助で使う英語表現		
	該当する到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	1.5 時間
		復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	1.5 時間
12	講義内容	第 11 課 介助で使う英語表現(続)		
	該当する到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	1.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	1.5 時間
13	講義内容	問診票③④		
	該当する到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	1.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	1.5 時間
14	講義内容	健康保険・医療職名称・病名等の注意すべき表現		
	該当する到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	1.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	1.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	1.5 時間
備考	オフィス・アワー： 火・水曜の 4 限まで。 1 号館 1 階の講師室 参考文献：1. 『沈みゆく大国アメリカ―逃げ切れ！日本の医療』堤未果(著) 集英社新書 2015 2. 『日本が売られる』堤未果(著) 幻冬社新書 2018 授業は基本的に演習形式で進め、受講者の英語運用能力を高めるために、適宜、音声・映像教材を用いた活動を取り入れる。			

看 029 英語ⅡA

科目名	英語IIA(リテラシー)			LAL002	講義
英文名	English IIA				
担当教員	出雲 春明				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	幅広い現代的トピックをあつかったテキストにふれ、大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。また、一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得するとともに、リスニング・ライティング等の総合的な英語運用能力を高める。				
到達目標	1. 大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。 2. 一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。 3. リスニング・ライティング・コミュニケーション等の総合的な英語運用能力を高める。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
	✓	4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	期末試験 50% 平常点 50%(授業への参加度、発言、発表課題など)の総合評価とする。				
課題に対するフィードバック	課題や試験はコメント・添削の上返却する。				
使用教材	黒澤麻美・和治元義博・James A. Goddard『医学・薬学の世界 The World of Medicine』、朝日出版社、2018 年。¥1,836。				
1	講義内容	ガイダンス			
	該当する到達目標	予習	シラバスを読み、予習、復習、評価方法について確認する。		1.5 時間
	1	復習	講義におけるテキストの使用法について理解する。		1.5 時間
2	講義内容	Unit 1 Medical Professional Communication Skills ①			
	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 1-2.の不明な単語を調べ、内容を把握しておく。		1.5 時間
	1, 2	復習	重要表現を復習し、それを用いて自分で表現してみる。		1.5 時間
3	講義内容	Unit 1 Medical Professional Communication Skills ②			
	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 3-4.の不明な単語を調べ、内容を把握しておく。		1.5 時間
	1, 2	復習	重要表現を復習し、それを用いて自分で表現してみる。		1.5 時間
4	講義内容	Unit 1 Medical Professional Communication Skills ③			
	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 5-6.の不明な単語を調べ、内容を把握しておく。		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	重要表現を復習し、それを用いて自分で表現してみる。		1.5 時間
5	講義内容	Unit 4 Death and Dying ①			

	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 19-20.の不明な単語を調べ、内容を把握しておく。	1.5 時間
	1, 2	復習	重要表現を復習し、それを用いて自分で表現してみる。	1.5 時間
	講義内容	Unit 4 Death and Dying ②		
6	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 21-22.の不明な単語を調べ、内容を把握しておく。	1.5 時間
	1, 2	復習	重要表現を復習し、それを用いて自分で表現してみる。	1.5 時間
	講義内容	Unit 4 Death and Dying ③		
7	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 23-24.の不明な単語を調べ、内容を把握しておく。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	重要表現を復習し、それを用いて自分で表現してみる。	1.5 時間
	講義内容	Unit9 CAM, or Complementary and Alternative Medicine (Not Camera!) ①		
8	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 49-50.の不明な単語を調べ、内容を把握しておく。	1.5 時間
	1, 2	復習	重要表現を復習し、それを用いて自分で表現してみる。	1.5 時間
	講義内容	Unit9 CAM, or Complementary and Alternative Medicine (Not Camera!) ②		
9	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 51-52.の不明な単語を調べ、内容を把握しておく。	1.5 時間
	1, 2	復習	重要表現を復習し、それを用いて自分で表現してみる。	1.5 時間
	講義内容	Unit9 CAM, or Complementary and Alternative Medicine (Not Camera!) ③		
10	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 53-54.の不明な単語を調べ、内容を把握しておく。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	重要表現を復習し、それを用いて自分で表現してみる。	1.5 時間
	講義内容	Unit14 Cancer Treatment (1): Up to Now ①		
11	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 79-80.の不明な単語を調べ、内容を把握しておく。	1.5 時間
	1, 2	復習	重要表現を復習し、それを用いて自分で表現してみる。	1.5 時間
	講義内容	Unit14 Cancer Treatment (1): Up to Now ②		
12	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 81-82.の不明な単語を調べ、内容を把握しておく。	1.5 時間
	1, 2	復習	重要表現を復習し、それを用いて自分で表現してみる。	1.5 時間
	講義内容	Unit14 Cancer Treatment (1): Up to Now ③		
13	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 83-84.の不明な単語を調べ、内容を把握しておく。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	重要表現を復習し、それを用いて自分で表現してみる。	1.5 時間
	講義内容	Unit15 Cancer Treatment (2): Up and Coming ①		
14	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 85-86.の不明な単語を調べ、内容を把握しておく。	1.5 時間
	1, 2	復習	重要表現を復習し、それを用いて自分で表現してみる。	1.5 時間
	講義内容	Unit15 Cancer Treatment (2): Up and Coming ②		
15	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 87-88.の不明な単語を調べ、内容を把握しておく。	1.5 時間
	1, 2	復習	重要表現を復習し、それを用いて自分で表現してみる。	1.5 時間
備考	辞書必携。最低限の予習として不明な単語の意味や発音を調べておくこと。 質問などがある場合、授業の前後の時間、教室ならびに非常勤講師控え室で対応する。 授業は基本的に演習形式で進め、受講者の英語運用能力を高めるために、適宜、音声・映像教材を用いた活動を取り入れる。			

看 029 英語ⅡB

科目名	英語IIB（リテラシー）				LAL002	講義
英文名	English IIB					
担当教員	Stacy Clause					
科目に関連した実務経						
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位			
講義目標	This class's goal is to help students to use basic conversational English. We will also learn about and discuss issues in global health. Class participation and discussion are essential components of this course.					
到達目標	1. To foster a positive attitude toward communication through English. 2. To understand issues in global health. 3. To develop lifelong skills for learning English					
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観				
		2. 論理的思考・問題解決力				
		3. チームの一員としての協調・協働				
	✓	4. 国際理解				
		5. 生涯学習力				
評価方法	平常点 40%(単語試験、提出物など)、発表 30%, 定期試験 30%を総合的に評価する。 Quizzes or homework due every week based on previous lesson.					
課題に対するフィードバック	レポートは添削・コメントを付した後返却する。 期末試験は採点后返却する。					
使用教材	Provided by instructor					
1	講義内容	Introductions, greetings				
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Prepare presentation			1.0 時間
		復習	Review new words and phrases			1.0 時間
2	講義内容	About me/my hometown presentation				
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Prepare activity			1.0 時間
		復習	Review new words and phrases			1.0 時間
3	講義内容	Practical English: Explanations -how to use something				
	該当する到達目標	予習	Prepare activity			1.0 時

	標			間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases	1.0 時間
4	講義内容	Practical English: Asking and giving information		
	該当する到達目標	予習	Prepare activity	1.0 時間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases	1.0 時間
5	講義内容	Practical English: compliments, apologies and other speech acts		
	該当する到達目標	予習	Prepare activity	1.0 時間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases	1.0 時間
6	講義内容	Lifelong learning: Movies/TV		
	該当する到達目標	予習	Prepare activity	1.0 時間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases	1.0 時間
7	講義内容	Lifelong learning: Metaphors in songs		
	該当する到達目標	予習	Prepare activity	1.0 時間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases	1.0 時間
8	講義内容	Lifelong learning: Movies/TV		
	該当する到達目標	予習	Prepare activity	1.0 時間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases	1.0 時間
9	講義内容	Lifelong learning: Songs (part 2)		
	該当する到達目標	予習	Prepare activity	1.0 時間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases	1.0 時間
10	講義内容	Practical English: Getting around -at the hotel, restaurant, airport		
	該当する到達目標	予習	Prepare activity	1.0 時間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases	1.0 時間

11	講義内容	Presentation on an English speaking country		
	該当する到達目標	予習	Prepare activity	1.0 時間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases	1.0 時間
12	講義内容	Current health issues (Public Service announcements)		
	該当する到達目標	予習	Prepare activity	1.0 時間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases	1.0 時間
13	講義内容	Comparative issues in medicine: technology		
	該当する到達目標	予習	Take notes on TED talk	1.0 時間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases	1.0 時間
14	講義内容	Comparative issues in medicine: global health		
	該当する到達目標	予習	Take notes on TED talk	1.0 時間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases	1.0 時間
15	講義内容	Future of medicine: class presentations		
	該当する到達目標	予習	Complete presentation with group	1.0 時間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases	1.0 時間
備考	予習・復習については、試験前の学習で補完すること。 オフィスアワー：月曜日 4 限、火曜日 3 限 メールアドレス：stacy-c@takasaki-u.ac.jp 研究室：9 号館 307 研究室 授業は基本的に演習形式で進め、受講者の英語運用能力を高めるために、適宜、音声・映像教材を用いた活動を取り入れる。			

看 029 英語ⅡC

科目名	英語IIC（リテラシー）			LAL002	講義
英文名	English IIC				
担当教員	柳澤順一				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	幅広い現代的トピックをあつかったテキストにふれ、大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。また、一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得するとともに、リスニング・ライティング等の総合的な英語運用能力を高める。				
到達目標	1. 大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。 2. 一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。 3. リスニング・ライティング・コミュニケーション等の総合的な英語運用能力を高める。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
	✓	4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	期末試験 50％ 平常点 50%(出席率、発表課題、授業での発言など)の総合評価とする。				
課題に対するフィードバック	レポートは評価またはショートコメントを付した後返却する(学期末課題については返却しないことがある)。期末試験は採点后、得点を通知する(非常勤のため事務局経由での通知)。				
使用教材	Viva! San Francisco, Hiroto Ohyagi & Timothy Kiggell, Macmillan Language House (1998)				
1	講義内容	Introduction (1), Introductory DVD-Watching			
	該当する到達目標	予習	特になし(語彙調べ)		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	プリント練習問題の解法		1.5 時間
2	講義内容	Introduction (2), 英検 CAT の利用法			
	該当する到達目標	予習	特になし(語彙調べ)		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	英検 CAT の当該パートにアクセス		1.5 時間
3	講義内容	Chapter 11 You Are One of the Family Now			
	該当する到達目標	予習	1 st & 2 nd Viewing 精読		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Face the Camera サマリー作成		1.5 時間
4	講義内容	Chapter 12 I Want to Help!			
	該当する到達目標	予習	1 st & 2 nd Viewing 精読		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Face the Camera サマリー作成		1.5 時間
5	講義内容	Chapter 13 So, What's Your Major?			
	該当する到達目標	予習	1 st & 2 nd Viewing 精読		1.5 時間

	1, 2, 3	復習	Face the Camera サマリー作成	1.5 時間
6	講義内容	Chapter 14 I'll Try to Do My Best		
	該当する到達目標	予習	1 st & 2 nd Viewing 精読	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Face the Camera サマリー作成	1.5 時間
7	講義内容	Chapter 15 When Do I Have to Return This?		
	該当する到達目標	予習	1 st & 2 nd Viewing 精読	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Face the Camera サマリー作成	1.5 時間
8	講義内容	Review of Chapters 11-15; Additional DVD-Watching (1)		
	該当する到達目標	予習	Chapter 11-15 の重要語句の暗唱	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	練習問題プリントの解法、Communication Focus 11-15 の表現を整理	1.5 時間
9	講義内容	Additional DVD-Watching (2)		
	該当する到達目標	予習	特になし(語彙調べ)	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	練習問題プリントの解法	1.5 時間
10	講義内容	Chapter 16 Do You Have Any ID?		
	該当する到達目標	予習	1 st & 2 nd Viewing 精読	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Face the Camera サマリー作成	1.5 時間
11	講義内容	Chapter 17 How About Sea Mail?		
	該当する到達目標	予習	1 st & 2 nd Viewing 精読	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Face the Camera サマリー作成	1.5 時間
12	講義内容	Chapter 18 Would You Like to Join Us?		
	該当する到達目標	予習	1 st & 2 nd Viewing 精読	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Face the Camera サマリー作成	1.5 時間
13	講義内容	Chapter 19 I Have a Sore Throat		
	該当する到達目標	予習	1 st & 2 nd Viewing 精読	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Face the Camera サマリー作成	1.5 時間
14	講義内容	Chapter 20 Let's Keep in Touch, OK?		
	該当する到達目標	予習	1 st & 2 nd Viewing 精読	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Face the Camera サマリー作成	1.5 時間
15	講義内容	Review of Chapters 16-20		
	該当する到達目標	予習	Chapter 16-20 の重要語句を暗唱	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Communication Focus 16-20 の表現を整理	1.5 時間
備考	授業は基本的に演習形式で進め、受講者の英語運用能力を高めるために、適宜、音声・映像教材を用いた活動を取り入れる。			

看 030 英語ⅢA

科目名	英語ⅢA（リテラシー）			LAL003	講義
英文名	English IIIA				
担当教員	柳澤 順一				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	この講義では、看護・医療の現場において必要とされる英語に焦点を絞ったテキストを用いる。医療・看護に関する英語表現力、語彙力、リスニング能力を身につけるとともに、基礎的な医療現場での会話表現を習得することが、この講義の目的である。必要に応じて DVD 視聴によるディクテーション・タスクを組み込み、ネイティブライクな英語表現を学ぶことがある。				
到達目標	1. 看護・医療に関する英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。 2. 看護・医療に関する英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。 3. リスニング・ライティング・コミュニケーション等の総合的な英語運用能力を高める。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
	✓	4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	授業への参加度・平常点 50%（単語試験、提出物など）、定期試験 50%を総合的に評価する。				
課題に対するフィードバック	レポートは評価またはショートコメントを付した後返却する（学期末課題については返却しないことがある）。期末試験は採点后、得点を通知する（非常勤のため事務局経由での通知）。				
使用教材	First Aid! English for Nursing, Akihiko Higuchi & John Tremaco, Kinseido (2013)				
1	講義内容	Course introduction including vocabulary quiz			
	該当する到達目標	予習	特になし（語彙調べ）		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Vocabulary Quiz 出題語彙の整理		1.5 時間
2	講義内容	Unit 1. First Visit to Hospital; DVD-Watching 1 (1) Introduction			
	該当する到達目標	予習	Listen & Talk, Reading Part とともに精読		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Useful Expressions 暗唱, Reading Part Exercises 解法		1.5 時間
3	講義内容	Unit 2. How to Fill in a Registration Form; DVD-Watching 1 (2)			
	該当する到達目標	予習	Listen & Talk, Reading Part とともに精読		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Useful Expressions 暗唱, Reading Part Exercises 解法		1.5 時間
4	講義内容	Unit 3. Let's Ask about Mr. Brown's Daily Activities; DVD-Watching 1 (3)			
	該当する到達目標	予習	Listen & Talk, Reading Part とともに精読		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Useful Expressions 暗唱, Reading Part Exercises 解法		1.5 時間
5	講義内容	Unit 4. Mr. Brown's Symptoms; DVD-Watching 1 (4)			

	該当する到達目標	予習	Listen & Talk, Reading Part とともに精読	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Useful Expressions 暗唱, Reading Part Exercises 解法	1.5 時間
6	講義内容	Unit 5. Medical Checkup 1; DVD-Watching 1 (5)		
	該当する到達目標	予習	Listen & Talk, Reading Part とともに精読	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Useful Expressions 暗唱, Reading Part Exercises 解法	1.5 時間
7	講義内容	Extra Text 1 (1); DVD-Watching 1 (6)		
	該当する到達目標	予習	語彙調べ	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	スラッシュ・リーディング練習, Exercises 解法	1.5 時間
8	講義内容	Extra Text 1 (2); DVD-Watching 1 (7) Review		
	該当する到達目標	予習	語彙調べ	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	スラッシュ・リーディング練習, Exercises 解法	1.5 時間
9	講義内容	Unit 6. Medical checkup 2; DVD-Watching 2 (1) Introduction		
	該当する到達目標	予習	Listen & Talk, Reading Part とともに精読	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Useful Expressions 暗唱, Reading Part Exercises 解法	1.5 時間
10	講義内容	Unit 7. Mr. Brown's Diagnosis; DVD-Watching 2 (2)		
	該当する到達目標	予習	Listen & Talk, Reading Part とともに精読	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Useful Expressions 暗唱, Reading Part Exercises 解法	1.5 時間
11	講義内容	Unit 8. Mr. Anderson's Symptoms; DVD-Watching 2 (3)		
	該当する到達目標	予習	Listen & Talk, Reading Part とともに精読	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Useful Expressions 暗唱, Reading Part Exercises 解法	1.5 時間
12	講義内容	Unit 9. Let's Ask More about Mr. Anderson's Symptoms; DVD-Watching 2 (4)		
	該当する到達目標	予習	Listen & Talk, Reading Part とともに精読	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Useful Expressions 暗唱, Reading Part Exercises 解法	1.5 時間
13	講義内容	Unit 10. Explaining Blood Test Results; DVD-Watching 2 (5)		
	該当する到達目標	予習	Listen & Talk, Reading Part とともに精読	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Useful Expressions 暗唱, Reading Part Exercises 解法	1.5 時間
14	講義内容	Extra Text 2 (1); DVD-Watching 2 (6)		
	該当する到達目標	予習	語彙調べ	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	スラッシュ・リーディング練習, Exercises 解法	1.5 時間
15	講義内容	Extra Text 2 (2); DVD-Watching 2 (7) Review		
	該当する到達目標	予習	語彙調べ	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	スラッシュ・リーディング練習, Exercises 解法	1.5 時間
備考	授業は基本的に演習形式で進め、受講者の英語運用能力を高めるために、適宜、音声・映像教材を用いた活動を取り入れる。			

看 030 英語ⅢB

科目名	英語IIIB（リテラシー）				LAL003	講義
英文名	English IIIB					
担当教員	飛田 ルミ					
科目に関連した実務経						
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位			
講義目標	幅広い現代的トピックをあつかったテキストにふれ、大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。また、一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得するとともに、リスニング・ライティング等の総合的な英語運用能力を高める。					
到達目標	1. 大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。 2. 一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。 3. リスニング・ライティング・コミュニケーション等の総合的な英語運用能力を高める。					
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観				
		2. 論理的思考・問題解決力				
		3. チームの一員としての協調・協働				
	✓	4. 国際理解				
		5. 生涯学習力				
評価方法	授業参加度(10%)と小テスト／課題遂行度(30%)、試験(60%)から総合的に評価する。					
課題に対するフィードバック	プレゼンテーションなどの課題に対して評価シートを返却しフィードバックをする。 レポート、小テスト、期末試験は採点の後返却する。					
使用教材	樋口晶彦 他著 <i>First Aid! English for Nursing</i> 看護英語への総合的アプローチ 金星堂、2013 年、1,900 円					
1	講義内容	イントロダクション 1. First Visit to a Hospital				
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Reading, Medical Terminology, Further Study を調べる			1.5 時間
		復習	Listen & Talk, Reading, 専門用語を見直す			1.5 時間
2	講義内容	1. First Visit to a Hospital				
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Reading, Medical Terminology, Further Study を調べる			1.5 時間
		復習	Listen & Talk, Reading, 専門用語を見直す			1.5 時間
3	講義内容	2. How to Fill in a Registration Form				
	該当する到達目標	予習	Reading, Medical Terminology, Further Study を調べる			1.5 時

	標			間
	1, 2, 3	復習	Listen & Talk, Reading, 専門用語を見直す	1.5 時間
4	講義内容	3. Let's Ask about Mr. Brown's Daily Activities		
	該当する到達目標	予習	Reading, Medical Terminology, Further Study を調べる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Listen & Talk, Reading, 専門用語を見直す	1.5 時間
5	講義内容	4. Mr. Brown's Symptoms		
	該当する到達目標	予習	Reading, Medical Terminology, Further Study を調べる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Listen & Talk, Reading, 専門用語を見直す	1.5 時間
6	講義内容	5. Medical Check Up 1		
	該当する到達目標	予習	Reading, Medical Terminology, Further Study を調べる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Listen & Talk, Reading, 専門用語を見直す	1.5 時間
7	講義内容	6. Medical Check Up 2		
	該当する到達目標	予習	Reading, Medical Terminology, Further Study を調べる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Listen & Talk, Reading, 専門用語を見直す	1.5 時間
8	講義内容	7. Mr. Brown's Diagnosis		
	該当する到達目標	予習	Reading, Medical Terminology, Further Study を調べる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Listen & Talk, Reading, 専門用語を見直す	1.5 時間
9	講義内容	8. Mr. Anderson's Symptoms		
	該当する到達目標	予習	Reading, Medical Terminology, Further Study を調べる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Listen & Talk, Reading, 専門用語を見直す	1.5 時間
10	講義内容	9. Let's Ask More about Mr. Anderson's Symptoms		
	該当する到達目標	予習	Reading, Medical Terminology, Further Study を調べる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Listen & Talk, Reading, 専門用語を見直す	1.5 時間

11	講義内容	10. Explaining Blood Test Results		
	該当する到達目標	予習	Reading, Medical Terminology, Further Study を調べてくる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Listen & Talk, Reading, 専門用語を見直す	1.5 時間
12	講義内容	11. How to Take Medicine		
	該当する到達目標	予習	Reading, Medical Terminology, Further Study を調べてくる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Listen & Talk, Reading, 専門用語を見直す	1.5 時間
13	講義内容	12. Mrs. Johnson Feels Dizzy		
	該当する到達目標	予習	Reading, Medical Terminology, Further Study を調べてくる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Listen & Talk, Reading, 専門用語を見直す	1.5 時間
14	講義内容	13. An MRI Test MRI		
	該当する到達目標	予習	Reading, Medical Terminology, Further Study を調べてくる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Listen & Talk, Reading, 専門用語を見直す	1.5 時間
15	講義内容	14. Recommending an Operation		
	該当する到達目標	予習	Reading, Medical Terminology, Further Study を調べてくる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Listen & Talk, Reading, 専門用語を見直す	1.5 時間
備考	授業は基本的に演習形式で進め、受講者の英語運用能力を高めるために、適宜、音声・映像教材を用いた活動を取り入れる。			

看 030 英語ⅢC

科目名	英語IIIC（リテラシー）			LAL003	講義
英文名	English IIIC				
担当教員	バートラム テリー（Terry Bertram）				
科目に関連した実務経					
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	実用的な英語のコミュニケーション能力を習得できる様、単語数を増やし、ロールプレイなどを実践しながら 楽しく医療看護にかかわる英語を身につけることを目標とする。				
到達目標	1. 英語コミュニケーション能力と英文法 2. 医療英単語を学ぶ 3. 医療現場などにおいて活用できる、英語力を身に付ける。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
	✓	4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	授業への参加態度 20%，小テスト 30%，定期試験 50%（中間テスト 20%，期末テスト 30%）				
課題に対するフィードバック	レポートにはコメント・添削の上返却する。 期末試験は採点の後返却する。				
使用教材	Oxford English for Careers – Nursing 1				
1	講義内容	Introductions, review course syllabus, general review & assessment			
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	シラバスを読んで学習内容を確認しておく		1 時間
		復習	Role-playing scenarios の音読		0.5 時間
2	講義内容	Unit 1 – Hospital Team			
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Unit1 に目を通し、未知の単語の意味を調べる		1.5 時間
		復習	Unit1 の新単語、内容理解 / Role-playing scenarios の音読		1.5 時間
3	講義内容	Unit 1 – Hospital Team			
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Unit1 に目を通し、未知の単語の意味を調べる		1.5 時間
		復習	Unit1 の新単語、内容理解 / Role-playing scenarios の音読		1.5 時間

				間
4	講義内容	Unit 2 – In and Around the Hospital		
	該当する到達目標	予習	Unit2 に目を通し、未知の単語の意味を調べる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Unit2 の新単語、内容理解 / Role-playing scenarios の音読	1.5 時間
5	講義内容	Unit 2 – In and Around the Hospital		
	該当する到達目標	予習	Unit2 に目を通し、未知の単語の意味を調べる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Unit2 の新単語、内容理解 / Role-playing scenarios の音読	1.5 時間
6	講義内容	Unit 3 - Hospital Admissions		
	該当する到達目標	予習	Unit3 に目を通し、未知の単語の意味を調べる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Unit3 の新単語、内容理解 / Role-playing scenarios の音読	1.5 時間
7	講義内容	Unit 3 - Hospital Admissions		
	該当する到達目標	予習	Unit3 に目を通し、未知の単語の意味を調べる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	試験対策 (Unit1－3)	1.5 時間
8	講義内容	MidTerm Exam		
	該当する到達目標	予習	試験対策 (Unit 1－3)	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	テストで回答できなかったところを見直しておく。	0.5 時間
9	講義内容	Unit 4 – Accidents and Emergencies		
	該当する到達目標	予習	Unit4 に目を通し、未知の単語の意味を調べる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Unit4 の新単語、内容理解 / Role-playing scenarios の音読	1.5 時間
10	講義内容	Unit 5 / 6 – Pain & Symptoms		
	該当する到達目標	予習	Unit5 /6 に目を通し、未知の単語の意味を調べる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Unit5 /6 の新単語、内容理解 / Role-playing scenarios の音読	1.5 時間
11	講義内容	Unit 5 / 6 – Pain & Symptoms		
	該当する到達目標	予習	Unit5 /6 に目を通し、未知の単語の意味を調べる	1.5 時

	標			間
	1, 2, 3	復習	Unit5 /6 の新単語、内容理解 / Role-playing scenarios の音読	1.5 時間
12	講義内容	Unit 5 / 6 – Pain & Symptoms		
	該当する到達目標	予習	Unit5 /6 に目を通し、未知の単語の意味を調べる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Unit5 /6 の新単語、内容理解 / Role-playing scenarios の音読	1.5 時間
13	講義内容	Unit 7 – Caring for the Elderly		
	該当する到達目標	予習	Unit7 に目を通し、未知の単語の意味を調べる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Unit7 の新単語、内容理解 / Role-playing scenarios の音読	1.5 時間
14	講義内容	Unit 8 – Nutrition		
	該当する到達目標	予習	Unit8 に目を通し、未知の単語の意味を調べる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Unit8 の新単語、内容理解 / Role-playing scenarios の音読	1.5 時間
15	講義内容	Final Exam Preparation		
	該当する到達目標	予習	試験対策（Unit 1－8）	1 時間
	1, 2, 3	復習	テストで回答できなかったところを見直しておく。	0.5 時間
備考	質問はメールで受け付けます。 メールアドレス：tuhwbertram@gmail.com 授業は基本的に演習形式で進め、受講者の英語運用能力を高めるために、適宜、音声・映像教材を用いた活動を取り入れる。			

看 031 英語ⅣA

科目名	英語IVA(リテラシー)			LAL004	講義
英文名	English IVA				
担当教員	岡田 和子				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	この講義では、看護・医療の現場において必要とされる英語に焦点を絞ったテキストを用いる。医療・看護に関する英語表現力、語彙力、リスニング能力を身につけるとともに、基礎的な医療現場での会話表現を習得することが、この講義の目的である。				
到達目標	1. 看護・医療に関する英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。 2. 看護・医療に関する英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。 3. リスニング・ライティング・コミュニケーション等の総合的な英語運用能力を高める。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
	✓	4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	授業への参加度・平常点 40%(単語試験、提出物など)、定期試験 60%を総合的に評価する。				
課題に対するフィードバック	レポートは添削・コメントを付した後返却する。 期末試験は採点后返却する。				
使用教材	プリント配布(1. 看護のための実践メディカル英語 2. 問診票英語版)				
1	講義内容	第 1 課 痛みに関する英語表現			
	該当する到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する		1.5 時間
2	講義内容	第 2 課 外来での英会話(診察前)			
	該当する到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する		1.5 時間
3	講義内容	第 3 課 外来での英会話(診察後)			
	該当する到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する		1.5 時間
4	講義内容	〇〇科の言い方 身体部位の表現(hip は「尻」ではない)			
	該当する到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する		1.5 時間
5	講義内容	第 4 課 医療面接での英会話(主訴・現病歴) 問診票①			

	該当する到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	1.5 時間
	講義内容	第 5 課 医療面接での英会話(既往歴・家族歴・社会歴)		
6	該当する到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	1.5 時間
	講義内容	第 6 課 健康状態に関する英語表現		
7	該当する到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	1.5 時間
	講義内容	第 7 課 症状に関する英語表現 問診票②		
8	該当する到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	1.5 時間
	講義内容	第 8 課 検査に関する英語表現		
9	該当する到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	1.5 時間
	講義内容	第 9 課 検査に関する英語表現(続)		
10	該当する到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	1.5 時間
	講義内容	第 10 課 介助で使う英語表現		
11	該当する到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	1.5 時間
	講義内容	第 10 課 介助で使う英語表現(続)		
12	該当する到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	1.5 時間
	講義内容	問診票③④		
13	該当する到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	1.5 時間
	講義内容	健康保険・医療職名称・病名等の注意すべき表現		
14	該当する到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	1.5 時間
	講義内容	まとめ		
15	該当する到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	1.5 時間
備考	オフィス・アワー： 火・水曜の 4 限まで。 1 号館 1 階の講師室 参考文献：1. 『沈みゆく大国アメリカ―逃げ切れ！日本の医療』堤未果(著) 集英社新書 2015 2. 『日本が売られる』堤未果(著) 幻冬社新書 2018 授業は基本的に演習形式で進め、受講者の英語運用能力を高めるために、適宜、音声・映像教材を用いた活動を取り入れる。			

看 031 英語ⅣB

科目名		英語IVB（リテラシー）		LAL004	講義
英文名		English IB			
担当教員		バートラム テリー（Terry Bertram）			
科目に関連した実務経験					
学年・開講期		2 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位	
講義目標		実用的な英語のコミュニケーション能力を習得できる様、単語数を増やし、ロールプレイなどを実践しながら 楽しく医療看護にかかわる英語を身につけることを目標とする。			
到達目標		1. 英語コミュニケーション能力と英文法 2. 医療英単語を学ぶ 3. 医療現場などにおいて活用できる、英語力を身に付ける。			
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
	✓	4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法		授業への参加態度 20%，小テスト 30%，定期試験 50%（中間テスト 20%，期末テスト 30%）			
課題に対するフィードバック		レポートにはコメント・添削の上返却する。 期末試験は採点の後返却する。			
使用教材		Oxford English for Careers – Nursing 1			
1	講義内容	Introductions, review course syllabus, general review & assessment			
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	シラバスを読んで学習内容を確認しておく		1 時間
		復習	Role-playing scenarios の音読		0.5 時間
2	講義内容	Unit 8 – Nutrition and Obesity			
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Unit 8 に目を通し、未知の単語の意味を調べる		1.5 時間
		復習	Unit 8 の新単語、内容理解 / Role-playing scenarios の音読		1.5 時間
3	講義内容	Unit 9 – Blood			
	該当する到達目標	予習	Unit 9 に目を通し、未知の単語の意味を調べる		1.5 時間

	1, 2, 3	復習	Unit 9 の新単語、内容理解 / Role-playing scenarios の音読	1.5 時間
4	講義内容	Unit 9 – Blood		
	該当する到達目標	予習	Unit 9 に目を通し、未知の単語の意味を調べる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Unit 9 の新単語、内容理解 / Role-playing scenarios の音読	1.5 時間
5	講義内容	Unit 10 – Death and Dying		
	該当する到達目標	予習	Unit 10 に目を通し、未知の単語の意味を調べる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Unit 10 の新単語、内容理解 / Role-playing scenarios の音読	1.5 時間
6	講義内容	Unit 10 – Death and Dying		
	該当する到達目標	予習	Unit 10 に目を通し、未知の単語の意味を調べる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Unit 10 の新単語、内容理解 / Role-playing scenarios の音読	1.5 時間
7	講義内容	Unit 11 - Hygiene		
	該当する到達目標	予習	Unit 11 に目を通し、未知の単語の意味を調べる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	試験対策 (Unit 8 - 10)	1.5 時間
8	講義内容	MidTerm Exam		
	該当する到達目標	予習	試験対策 (Unit 8 – 10)	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	テストで回答できなかったところを見直しておく。	0.5 時間
9	講義内容	Unit 11 - Hygiene		
	該当する到達目標	予習	Unit 11 に目を通し、未知の単語の意味を調べる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Unit 11 の新単語、内容理解 / Role-playing scenarios の音読	1.5 時間
10	講義内容	Unit 12 – Mental Health Nursing		
	該当する到達目標	予習	Unit 12 に目を通し、未知の単語の意味を調べる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Unit 12 の新単語、内容理解 / Role-playing scenarios の音読	1.5 時間
11	講義内容	Unit 12 – Mental Health Nursing		

	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Unit 12 に目を通し、未知の単語の意味を調べる	1.5 時間
		復習	Unit 12 の新単語、内容理解 / Role-playing scenarios の音読	1.5 時間
12	講義内容	Unit 13 – Monitoring the Patient		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Unit 13 に目を通し、未知の単語の意味を調べる	1.5 時間
		復習	Unit 13 の新単語、内容理解 / Role-playing scenarios の音読	1.5 時間
13	講義内容	Unit 13 – Monitoring the Patient		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Unit 13 に目を通し、未知の単語の意味を調べる	1.5 時間
		復習	Unit 13 の新単語、内容理解 / Role-playing scenarios の音読	1.5 時間
14	講義内容	Unit 14 - Medication		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Unit 14 に目を通し、未知の単語の意味を調べる	1.5 時間
		復習	Unit 14 の新単語、内容理解 / Role-playing scenarios の音読	1.5 時間
15	講義内容	Unit 15 – Alternative Treatments		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	試験対策 (Unit 8 - 15)	1 時間
		復習	テストで回答できなかったところを見直しておく。	0.5 時間
備考	質問はメールで受け付けます。 メールアドレス : tuhwbertram@gmail.com 授業は基本的に演習形式で進め、受講者の英語運用能力を高めるために、適宜、音声・映像教材を用いた活動を取り入れる。			

看 031 英語IVC

科目名		英語IVC（リテラシー）			LAL004	講義
英文名		English IVC				
担当教員		山田 HAY 美由紀				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		2 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標		この講義では、本学の学生が社会に出て必要とされるコミュニケーション能力を英語をツールとして習得する。各自が自分の考えを持って英語で意見交換できる課題、コミュニケーションを必要とするグループ活動課題等を通し、日常英語の語彙、リスニング能力、英語表現力を身につける。				
到達目標		1. 英語を使って自己の考えを表現することができる。 2. コミュニケーションに必要な英語表現を学び、日常的に実践できる。 3. 協力して課題を解決していくことにより、互いの能力を認め合い、個人を尊重する姿勢を身につける。				
学位授与方針との対応		✓	1. 人間理解と倫理観			
			2. 論理的思考・問題解決力			
		✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		✓	4. 国際理解			
			5. 生涯学習力			
評価方法		講義は実技中心のため、時間内のコミュニケーション状況（30%）、課題発表（50%）、講義への参加（20%）を評価する。個人課題は、内容を講義の始めに毎回評価する。ペア、グループ課題は講義内での実践中、各人の英語によるコミュニケーションの様子を評価する。コミュニケーションのためのキーフレーズを毎時紹介するので、記録して課題実践中に使うことが期待される。講義内外でのコミュニケーション（参加度）も評価の対象となる。自己評価用紙の記入は行うが、筆記試験による評価は行わない。講義に参加することが評価の対象になるので、欠席は 3 日を超えないよう留意すること。超える場合は要相談。				
課題に対するフィードバック		課題は、個人課題、ペア課題、グループ課題1、グループ課題2の4種類。 講義内で個人、グループ、全体への口頭評価、課題発表後に口頭でフィードバックする。 また、グループ内で学生同士のフィードバックもある。				
使用教材		課題により印刷教材を配布する。				
1	講義内容	講義内容、出欠、評価の概要について理解する。個人活動。				
	該当する到達目標 1, 2	予習	英語に触れる機会を増やすための個人課題を出すので、受講期間中続けること。			1.5 時間
		復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。			1.5 時間

2	講義内容	個人課題について発表し教員評価を受ける。簡単なグループ活動と発表。ペア活動の紹介と実践。		
	該当する到達目標	予習	個人課題を続ける。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	1.5 時間
3	講義内容	個人課題について発表し教員評価を受ける。ペア活動。グループ課題1の紹介。		
	該当する到達目標	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	1.5 時間
4	講義内容	個人課題についてペアで発表し合う。グループ課題1について理解する。		
	該当する到達目標	予習	個人課題を修正しながら続けること。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	1.5 時間
5	講義内容	個人課題についてペアで発表し合う。グループ課題1の実践。		
	該当する到達目標	予習	個人課題を修正しながら続ける。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	1.5 時間
6	講義内容	個人課題についてグループ内で評価し発表する。グループ課題1の実践。		
	該当する到達目標	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	1.5 時間
7	講義内容	個人課題についてグループ内で評価し発表する。グループ課題1の実践。		
	該当する到達目標	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	グループ課題1の発表に向けて個人練習すること。	1.5 時間
8	講義内容	個人課題についてグループ内で評価し発表する。グループ課題1のリハーサル。		
	該当する到達目標	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	グループ課題1の発表に向けて個人練習すること。	1.5 時間
9	講義内容	個人課題についてグループ内で評価し発表する。グループ課題1の発表。		
	該当する到達目標	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	1.5 時間

	標			間
	1, 2, 3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	1.5 時間
10	講義内容	発表について教員から口頭評価。自己評価・講義に対する評価（印刷物配布）。グループ課題2の説明		
	該当する到達目標	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	1.5 時間
11	講義内容	個人課題のグループ内評価と発表。グループ課題2の内容構成。		
	該当する到達目標	予習	個人課題を続ける。グループ課題の内容について必要事項を調べておく。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	1.5 時間
12	講義内容	個人課題のグループ内評価と発表。グループ課題2の内容構成。		
	該当する到達目標	予習	個人課題を続ける。グループ課題の内容について必要事項を調べておく。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	1.5 時間
13	講義内容	個人課題のグループ内評価と発表。グループ課題2の練習。		
	該当する到達目標	予習	個人課題を続ける。グループ課題2の練習をしておく。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	1.5 時間
14	講義内容	個人課題のグループ内評価と発表。グループ課題2のリハーサル。		
	該当する到達目標	予習	個人課題を続ける。グループ課題2の練習をしておく。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	グループ課題2の練習をしておく。	1.5 時間
15	講義内容	個人課題のグループ内評価と発表。グループ課題の発表。口頭で評価。自己評価・講義に対する評価の記入（印刷物配布）。		
	該当する到達目標	予習	個人課題を続ける。グループ課題2の練習をしておく。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを機会に応じて使えるようにする。	1.5 時間
備考	・講義内で電子辞書またはスマートフォンによる辞書検索を行うので持参すること。それ以外の使用については学生として品位のある態度で取り扱うこと。 ・コミュニケーションのためのフレーズを毎回紹介するので、記録して講義中に使用すること。記録用媒体			

はノート、スマートフォンなど個人で選択する。

・講義は学生の既習内容を考慮した上、英語で行う。質問、疑問、意見等はその都度か講義後に発言すること。質問や意見は、積極的な参加態度、自己表現として奨励する。グループ課題終了後、自己評価・講義に対する評価用紙に記入することもできる。

看 032 Integrated English I

科目名	Integrated English I （リテラシー）			LAL005	演習
英文名	Integrated English I				
担当教員	クリストファー・ターン				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標	本講義では、海外英語研修参加希望者を対象とする。英語による日常英会話レベルのコミュニケーション能力を獲得することを講義目標とする。				
到達目標	1.コミュニケーションの基礎知識を学ぶ 2.海外での様々な場面を想定した英会話の練習をする 3.プレゼンテーションの実践練習を行う また、海外英語研修にむけた事前準備や説明も行う。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
	✓	4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	授業内パフォーマンス 90%、提出物 10%				
課題に対するフィードバック	レポートにコメントをつけて返却する。個人面接を行う。				
使用教材	開講時に指示する。				
1	講義内容	What is communication?			
	該当する到達目標 1	予習	なし		0 時間
		復習	授業内容についての要約を書く。		1.5 時間
2	講義内容	Cognitive Psychology: Get to know yourself			
	該当する到達目標 1	予習	自分自身について書く。		1.5 時間
		復習	自分のインターナルコミュニケーションスキルについて書く。		1.5 時間
3	講義内容	Social skills.			
	該当する到達目標	予習	社会心理学について事前調べを行う。		1.5 時間

	1	復習	改善すべき自分の社会的スキルについて書く。	1.5 時間
4	講義内容	The power of imagination and innovation		
	該当する到達目標	予習	行きたい国、行きたい理由をあげる。	1.5 時間
	2	復習	その国について調べる。	1.5 時間
5	講義内容	learning to control a conversation		
	該当する到達目標	予習	言葉が理解できない状況でどのようなコミュニケーションが有効かを考える。	1.5 時間
	2	復習	ホストファミリーとの会話例を考える。	1.5 時間
6	講義内容	Listening strategies		
	該当する到達目標	予習	訪問国の英語発音について調べる。	1.5 時間
	2	復習	訪問国の短編映画やアニメを見る。	1.5 時間
7	講義内容	Basic English: Self introduction and first steps for communication in English		
	該当する到達目標	予習	自己紹介文を書く。	1.5 時間
	3	復習	自己紹介文を仕上げる。	1.5 時間
8	講義内容	Create your own English database		
	該当する到達目標	予習	ノートの準備をする。	1.5 時間
	3	復習	English Database を作成する。	1.5 時間
9	講義内容	Meet a foreigner		
	該当する到達目標	予習	外国人ゲストとの会話を考える。	1.5 時間
	2	復習	外国人ゲストとの会話から、スピーキングの課題を見つける。	1.5 時間
10	講義内容	Speech basics: Talking to an audience		
	該当する到達目標	予習	相手に伝わるプレゼンテーションについて調べる。	1.5 時間
	3	復習	大学紹介についてのパワーポイントプレゼンテーションを作成する。	1.5 時間
11	講義内容	Presentation 1(power point)		

	該当する到達目標	予習	自分の学科(専門)についてのプレゼンテーションを準備する。	1.5 時間
	3	復習	プレゼンテーションの直しと仕上げをする。	1.5 時間
12	講義内容	Presentation 2(power point)		
	該当する到達目標	予習	テーマーについてプレゼンテーションの準備をする。	1.5 時間
	3	復習	プレゼンテーションの直しと仕上げをする。	1.5 時間
13	講義内容	Make your own textbook 1		
	該当する到達目標	予習	海外研修・ホームステイを想定し自分自身のテキストブックを作成する。	1.5 時間
	2	復習	海外研修・ホームステイを想定し自分自身のテキストブックを作成する。	1.5 時間
14	講義内容	Do group work to improve your textbook		
	該当する到達目標	予習	グループ毎に各自のテキストブックについて話し合い改善する	1.5 時間
	2	復習	想定した研修やホームステイについてレポートを書く。	1.5 時間
15	講義内容	Conclusion		
	該当する到達目標	予習	1～14 回の授業の復習をする	1.5 時間
	1,2,3	復習	全講義を通して学んだことについてレポートを書く。	1.5 時間
備考	本講義は、海外英語研修参加希望者を対象とする。 教員より、コミュニケーションを取る必要がある様々な場面設定が提示される。受講生はその対応を考え、実践演習を行う。その後課題を分析し、再度実践演習を行う。また、学生生活で学んだ英語をまとめてノートを作成する。 予習復習時間については各自補完すること。 オフィスアワー：火曜日 3 限、金曜日 3 限			

看 033 Integrated English II

科目名	Integrated English II（リテラシー）			LAL006	講義
英文名	Integrated English II				
担当教員	嶋田 和成				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標	基本文法事項を整理しながら、TOEIC テスト受験に必要とされる基礎的な英語力養成を主眼とする。そのため授業では、TOEIC テスト形式の問題演習を中心に据えて、英語の基礎力を主にリスニングとリーディングの面から強化する。また、語彙を増やすことにも重点を置く。				
到達目標	1.TOEIC テストの形式と内容を理解できる。 2.語彙力が身につく。 3.文法事項を理解できる。 4.リスニング力が身につく。 5.リーディング力が身につく。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
	✓	4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	授業への参加度、発表、課題（40％）、期末試験（60％）で評価する。				
課題に対するフィードバック	課題の解説をする。				
使用教材	妻鳥千鶴子他.(2016). <i>First Time Trainer for the TOEIC® Test</i> . 東京:センゲージラーニング.2,000 円				
1	講義内容	ガイダンス・TOEIC テストとは			
	該当する到達目標 1	予習	教科書の前書き、シラバスの内容を読んで、講義の目標などを理解する。		1 時間
		復習	講義内容を理解し、TOEIC テストの概要と学習法を確認する。		1.5 時間
2	講義内容	Unit1:Shopping			
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	Unit1 の語彙の意味を調べる。		1 時間
		復習	Unit1 の練習問題の内容を理解する。		1.5 時間
3	講義内容	Unit2:Daily Life			

	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	Unit2 の語彙の意味を調べる。	1 時間
		復習	Unit2 の練習問題の内容を理解する。	1.5 時間
4	講義内容	Unit3:Transportation		
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	Unit3 の語彙の意味を調べる。	1 時間
		復習	Unit3 の練習問題の内容を理解する。	1.5 時間
5	講義内容	Unit4:Jobs		
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	Unit4 の語彙の意味を調べる。	1 時間
		復習	Unit4 の練習問題の内容を理解する。	1.5 時間
6	講義内容	Unit5:Meals		
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	Unit 5 の語彙の意味を調べる。	1 時間
		復習	Unit 5 の練習問題の内容を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	Unit6:Communication		
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	Unit6 の語彙の意味を調べる。	1 時間
		復習	Unit6 の練習問題の内容を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	Units1-6 のまとめ		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	指定されたリスニング・リーディングの問題を解く。	1 時間
		復習	解説を聞いて理解し、間違えたところを確認する。	1.5 時間
9	講義内容	Unit7:Fun		
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	Unit7 の語彙の意味を調べる。	1 時間
		復習	Unit7 の練習問題の内容を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	Unit8:Office Work		
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	Unit8 の語彙の意味を調べる。	1 時間
		復習	Unit8 の練習問題の内容を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	Unit9:Meeting		
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	Unit9 の語彙の意味を調べる。	1 時間
		復習	Unit9 の練習問題の内容を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	Unit10:Travel		
	該当する到達目標	予習	Unit10 の語彙の意味を調べる。	1 時間
	標	復習	Unit10 の練習問題の内容を理解する。	1.5 時間

	2,3,4,5			間
13	講義内容	Unit11:Finance		
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	Unit11 の語彙の意味を調べる。	1 時間
		復習	Unit11 の練習問題の内容を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	Unit12:Business		
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	Unit12 の語彙の意味を調べる。	1 時間
		復習	Unit12 の練習問題の内容を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	Units7-12 のまとめ		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	指定されたリスニング・リーディングの問題を解く。	1 時間
		復習	解説を聞いて理解し、間違えたところを確認する。	1.5 時間
備考	授業は、教科書を使って TOEIC テスト形式の模擬問題演習と受講生同士によるコミュニケーション活動の形で進める。最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。 オフィスアワー:木曜日 3 限、金曜日 5 限 メールアドレス:shimada-k@takasaki-u.ac.jp 研究室 : 9 号館 303 研究室			

看 034 ドイツ語

科目名	ドイツ語(リテラシー)			LAL007	講義
英文名	German				
担当教員	大石 桂子				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択・2 単位		
講義目標	日常生活でよく登場する話題を題材に、ドイツ語で自己表現できるようになる。会話練習と文法学習の両面から、理解力(読む、聞く)と表現力(書く、話す)を養い、基礎を定着させる。また、講義中のドイツ文化、風景、歴史などの紹介を通して、ドイツ語圏の魅力に触れる。				
到達目標	1. ドイツ語であいさつ、自己紹介したり基本の会話表現を活用できる。 2. 動詞の人称変化を理解し、活用できる。 3. 冠詞の格変化を理解し、活用できる。 4. 分離動詞、話法の助動詞を理解し、活用できる。 5. 現在完了形を理解し、活用できる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
	✓	4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	定期試験(60%)、小テスト・提出課題(40%)に、授業への積極性などを加味する。				
課題に対するフィードバック	小テストや提出課題は採点、解説を記入して返却する。				
使用教材	『アプファールト<ノイ>』三修社。また、講義中に補助プリントを配布する。				
1	講義内容	ガイダンス、ドイツ語の ABC、挨拶①			
	該当する到達目標	予習	テキストの付属 CD でアルファベットの発音を確認する。		1 時間
	1	復習	アルファベット、挨拶の表現を CD で復習する。		1 時間
2	講義内容	挨拶②、発音練習、ドイツ語を使う国々の紹介医療倫理の四原則			
	該当する到達目標	予習	CD でウムラウトなどの発音を確認する。		1 時間
	1	復習	配布プリントの発音を確認する。		1.5 時間
3	講義内容	Lektion 1 人と知り合う:名前、出身、住所をたずねる			
	該当する到達目標	予習	テキストの Lektion1 の会話文を CD で聞く。		1 時間
	1	復習	自己紹介の仕方を確認する。		1.5 時間
4	講義内容	Lektion 1 動詞の人称変化 (1)、疑問文			
	該当する到達目標	予習	規則変化動詞の現在人称変化を確認する。		1 時間

	2	復習	配布プリントの問題を解く。	1.5 時間
5	講義内容	Lektion 2 人を誘う:友人を紹介する、数、電話番号		
	該当する到達目標	予習	テキストの Lektion 2 の会話文を CD で聞く。	1 時間
	1,2	復習	0～20までの数字の発音を定着させる。	1.5 時間
6	講義内容	Lektion 2 動詞の人称変化 (2)、語順など		
	該当する到達目標	予習	不規則変化動詞の現在人称変化を確認する。	1 時間
	2	復習	配布プリントの問題を解く。	1.5 時間
7	講義内容	Lektion 3 道の尋ね方・答え方・位置・方向を表す語		
	該当する到達目標	予習	テキストの Lektion 3 の会話文を CD で聞く。	1 時間
	1,3	復習	道案内の表現を確認する。	1.5 時間
8	講義内容	Lektion 3 名詞の性、定冠詞と不定冠詞など		
	該当する到達目標	予習	冠詞の 1 格を確認する。	1 時間
	3	復習	配布プリントの問題を解く。	1.5 時間
9	講義内容	Lektion 4 買い物:値段、気に入った?		
	該当する到達目標	予習	テキストの Lektion 4 の会話文を CD で聞き、発音を確認する。	1 時間
	1,3	復習	値段の表現を確認する。	1.5 時間
10	講義内容	Lektion 4 冠詞の3格、前置詞など		
	該当する到達目標	予習	冠詞の 3 格を確認する。	1 時間
	3	復習	配布プリントの問題を解く。	1.5 時間
11	講義内容	Lektion 5 週末や休暇の予定:天候、一日の行動		
	該当する到達目標	予習	テキストの Lektion 5 の会話文を CD で聞き、発音を確認する。	1 時間
	1,4	復習	予定を表す表現を確認する。	1.5 時間
12	講義内容	Lektion 5 分離動詞、話法の助動詞など		
	該当する到達目標	予習	分離動詞の仕組みを確認する。	1 時間
	4	復習	配布プリントの問題を解く。	1.5 時間
13	講義内容	Lektion 6 過去のできごと:時を表す表現		
	該当する到達目標	予習	テキストの Lektion 6 の会話文を CD で聞き、発音を確認する。	1 時間
	1,5	復習	過去の表現を確認する。	1.5 時間
14	講義内容	Lektion 6 過去分詞、現在完了		
	該当する到達目標	予習	現在完了文の仕組みを確認する。	1 時間
	5	復習	配布プリントの問題を解く。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	Lektion 1～6 の重要文法を確認する。	1 時間
	1-5	復習	配布プリントの問題を解く。	1.5 時間
備考	毎回の講義では、教科書の他に、配布プリントによって文法の演習を行う。 オフィスアワー：月曜日の 2 時限、金曜日の 2 時限。質問はメールでも受け付けます。 研究室：1 号館 6 階 601 メールアドレス「oishi@takasaki-u.ac.jp」			

予習・復習については試験前の学習で補完すること。

看 035 フランス語

科目名	フランス語（リテラシー）			LAL008	講義
英文名	French				
担当教員	ロワイエ・アンヌ＝ソフィー				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	フランス語に興味を持ってもらう				
到達目標	1、基本の読み書きができる 2、初級文法を用いて基本的な会話を行い、フランス語検定 5 級合格レベルに到達する				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
	✓	4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	筆記試験 80%、宿題 20%				
課題に対するフィードバック	宿題を返却する。				
使用教材	「ゼロからは始める書き込み式フランス語 BOOK」成美堂出版				
1	講義内容	アルファベットとつづり字記号、発音			
	該当する到達目標	予習	テキストやシラバスを読んでおく		1.5 時間
	1	復習	テキストを読んでくる		1.5 時間
2	講義内容	リエゾンとアンシュヌマン			
	該当する到達目標	予習	テキストの単語を辞書で女性名詞か男性名詞か調べてくる		1.5 時間
	1	復習	テキストを読んでくる、宿題を出すのでやってくる		1.5 時間
3	講義内容	名詞(性)と冠詞、数字			
	該当する到達目標	予習	テキスト上のそれぞれの名詞に対して、冠詞を書いてくる		1.5 時間
	1	復習	宿題を出すのでやってくる		1.5 時間
4	講義内容	母音の発音			
	該当する到達目標	予習	テキストを読んでくる、テキスト付属のCDを聴いてくる		1.5 時間
	1	復習	発音練習をしてくる		1.5 時間
5	講義内容	子音の発音			
	該当する到達目標	予習	テキストを読んでくる、テキスト付属のCDを聴いてくる		1.5 時間
	1	復習	発音練習をしてくる		1.5 時間
6	講義内容	あいさつ表現			

	該当する到達目標	予習	テキストを読んでもくる、テキスト付属のCDを聴いてくる	1.5 時間
	2	復習	発音練習をしてくる	1.5 時間
	講義内容	依頼の表現		
7	該当する到達目標	予習	自分の依頼表現を使う場面を考えてくる	1.5 時間
	2	復習	発音練習をしてくる	1.5 時間
	講義内容	Be 動詞(être)		
8	該当する到達目標	予習	テキストを読んでもくる	1.5 時間
	2	復習	宿題を出すのでやってくる	1.5 時間
	講義内容	Have (avoir) 動詞		
9	該当する到達目標	予習	テキストを読んでもくる	1.5 時間
	2	復習	全員の自己紹介文を覚えてくる。練習をしてくる	1.5 時間
	講義内容	第 1 群規則動詞(-er 動詞)2		
10	該当する到達目標	予習	テキストを読んでもくる	1.5 時間
	2	復習	自分の好きなものと嫌いなものをフランス語で書いてくる	1.5 時間
	講義内容	否定文		
11	該当する到達目標	予習	第8～10回授業の復習をしてくる	1.5 時間
	2	復習	自分で否定文を作成し、書いてくる。発音練習をする	1.5 時間
	講義内容	時刻・年齢の表現		
12	該当する到達目標	予習	第3回授業の復習をしてくる	1.5 時間
	2	復習	時刻をフランス語で書いてくる	1.5 時間
	講義内容	第 2 群規則動詞(-ir 動詞)		
13	該当する到達目標	予習	テキストを読んでもくる	1.5 時間
	2	復習	自分のスケジュールをフランス語で書いてくる	1.5 時間
	講義内容	形容詞①		
14	該当する到達目標	予習	テキストを読んでもくる	1.5 時間
	2	復習	宿題を出すのでやってくる	1.5 時間
	講義内容	形容詞②		
15	該当する到達目標	予習	テキストを読んでもくる	1.5 時間
	2	復習	第1～15回授業の復習をしてくる	1.5 時間
備考	教科書の内容を中心に進める。コミュニケーションを目的にした授業のため、フランス語を用いた会話を随時取り入れる。必ず復習すること。質問等は、授業開始前もしくは終了後に応じる。			

看 036 ポルトガル語

科目名	ポルトガル語（リテラシー）			LAL009	講義
英文名	Portuguese				
担当教員	伊勢島 セリア明美				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	ポルトガル語の基礎文法を習得することを目指します。 又、ポルトガル語圏文化を紹介したいと思います。				
到達目標	1.初歩レベルの日常会話 2.多文化に触れる				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
	✓	4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	小テスト(50%) 及びミニ会話の発表(50%)で 100%評価。 総合評価 60%以上を合格とします。				
課題に対するフィードバック	会話の発表前に内容を確認し、必要に応じて補足の説明を行います。				
使用教材	Boa sorte! - Português para conversação -				
1	講義内容	ガイダンス、アルファベット、発音、挨拶の表現			
	該当する到達目標 1	予習	シラバスの内容を読んで、講義の目標などを理解する。		1 時間
		復習	文字と発音を確認する。		1.5 時間
2	講義内容	自己紹介ができる			
	該当する到達目標 1	予習	動詞 ser の活用形を覚える。		1 時間
		復習	挨拶と自己紹介ができるようにする。		1.5 時間
3	講義内容	好きなものを伝える			
	該当する到達目標 1,2	予習	動詞 gostar の活用形を覚える。色の名前を覚える。		1.5 時間
		復習	自分の好みを表現できるようにする。		1 時間
4	講義内容	家族の紹介			

	該当する到達目標	予習	規則動詞の活用形を覚える。	1.5 時間
	1	復習	家族の紹介とそれぞれの職業が言えるようにする。	1 時間
5	講義内容	予定を伝える		
	該当する到達目標	予習	動詞 ir の活用形を覚える。	1 時間
	1,2	復習	週末などの予定を言えるようにする。	1.5 時間
6	講義内容	今おこなっていることを伝える		
	該当する到達目標	予習	天気の状態を確認する。	1 時間
	1,2	復習	動詞 estar の活用形を覚える。現在進行形を確認する。	1.5 時間
7	講義内容	過去の行動を伝える		
	該当する到達目標	予習	規則動詞の完了過去の活用形を覚える。	1.5 時間
	1,2	復習	過去の行動や出来事を言えるようにする。	1 時間
8	講義内容	過去の習慣の表現		
	該当する到達目標	予習	規則動詞の未完了過去の活用形を覚える。	1.5 時間
	1	復習	「どこ」、「誰と」などの疑問詞が使えるようにする。	1 時間
9	講義内容	条件や婉曲の表現		
	該当する到達目標	予習	接続法未来の活用形を覚える。	1.5 時間
	1,2	復習	「もし～」、「～時」などを用いた表現ができるようにする。	1 時間
10	講義内容	「～してください」など、指示の丁寧な表現		
	該当する到達目標	予習	接続法現在の活用形を覚える。	1.5 時間
	1,2	復習	接続法現在の不規則動詞の活用形を確認する。	1 時間
11	講義内容	願望や要求の表現		
	該当する到達目標	予習	動詞 querer の活用形、及び目的代名詞を覚える。	1.5 時間
	1	復習	願望を表現できるようにする。	1 時間
12	講義内容	許可を得るの表現		
	該当する到達目標	予習	動詞 poder 活用形、及び数字を覚える。	1.5 時間
	1	復習	「～できます」、「～してもいいですか？」などの表現ができるようにする。	1 時間
13	講義内容	依頼の表現		
	該当する到達目標	予習	過去未来の活用形を覚える。	1.5 時間

	1,2	復習	敬称、丁寧な表現を確認する。	1 時間
14	講義内容	比較の表現		
	該当する到達目標	予習	<形容詞>、<動詞>、<名詞>を使用した比較表現の語順を確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	比較表現を通して、相手の好みを確認できるようにする。	1 時間
15	講義内容	別れの挨拶や感謝の表現、小テスト		
	該当する到達目標	予習	感謝の表現、及びお別れの挨拶を覚える。	1.5 時間
	1	復習	小テストの解答例を確認する。	1 時間
備考	【授業の進め方】 テキストに沿って、文法事項を確認しながら、練習問題に答えて頂きます。 授業の後半は口頭練習を行い、最後にモデル会話を発表して頂きます。 【オフィスアワー】 授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で相談に応じます。 【参考文献】 初級 ブラジル ポルトガル語 深沢暁著 東洋書店 【メッセージ】 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。 最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。 第 2 又は第 3 外国語を話す楽しさを味わえて頂ければ嬉しく思います。			

看 037 中国語

科目名	中国語（リテラシー）			LAL010	講義
英文名	Chinese				
担当教員	渡邊 賢				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	中国語を学ぶ上で不可欠である発音とその表記と、また最も基礎的な語彙と構文とを身に付け、簡単なコミュニケーションができる語学力の養成を目指す。同時に中国文化の全般に関する興味を喚起したい。				
到達目標	1.中国の地理、風俗および言語とその多様性を理解する。 2.中国語音を表記する音声記号を習得する。 3.中国語音を表記する音声記号を正確に発音する能力を育成する。 4.中国語音を聞いて、弁別する聴力を育成する。 5.日常会話に不自由しない程度の語彙と語法とを習得する。 6. 医学・薬学・看護学に関わる語彙と表現とを習得する。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
	✓	4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	毎回の小試験 20%、発音中間試験 30%、学期末筆記試験 50%により評価する。 総合評価 60%以上を合格とみなす。				
課題に対するフィードバック	毎回の小試験は採点の上、返却する。各自、未熟な点をよく自覚し克服されたい。				
使用教材	教科書『メディカル基礎中国語』劉建著（白帝社） ISBN:978-4-86398-267-3				
1	講義内容	ガイダンス			
	該当する到達目標	予習	シラバス内容、教科書第8頁「中国語について」を読み、講義目標や中国語の特性などについて理解する。		1 時間
	0	復習	不要		時間
2	講義内容	発音の基礎Ⅰ：ピンイン字母、単母音、四声などを学習する。			
	該当する到達目標	予習	不要		時間
	2,3,4,6	復習	授業で学習したことを、毎日、一日 10 分程度、発音する。		1 時間

3	講義内容	発音の基礎Ⅱ：複合母音、「声(子音)」の唇音・舌尖音・舌根音などを学習する。		
	該当する到達目標	予習	不要	時間
	2,3,4,6	復習	授業で学習したことを、毎日、一日 10 分程度、発音する。	1 時間
4	講義内容	発音の基礎Ⅲ：鼻母音、「声(子音)」の舌面音・捲舌音・舌歯音などを学習する。		
	該当する到達目標	予習	不要	時間
	2,3,4,6	復習	授業で学習したことを、毎日、一日 10 分程度、発音する。	1 時間
5	講義内容	教科書第1課、名前の聞き方・答え方、人称代名詞などの学習。		
	該当する到達目標	予習	教科書第1課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5,6	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
6	講義内容	教科書第2課、指示代名詞、「是」を用いた判断文などの学習。		
	該当する到達目標	予習	0	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
7	講義内容	教科書第3課、形容詞述語文や数量表現などの学習。		
	該当する到達目標	予習	教科書第3課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5,6	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
8	講義内容	教科書第4課、存在文や構造助詞「的」などの学習。		
	該当する到達目標	予習	教科書第2課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5,6	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
9	講義内容	教科書第5課、介詞構造や方位詞などの学習。		
	該当する到達目標	予習	教科書第5課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5,6	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
10	講義内容	教科書第6課、連動文や能願動詞などの学習。2,3,4,5,6		
	該当する到達目標	予習	教科書第6課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5,6	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
11	講義内容	教科書第7課、数量補語や動態助詞の「了」と語気詞の「了」などの学習。		
	該当する到達目標	予習	教科書第7課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5,6	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
12	講義内容	教科書第8課、動態助詞「過」や程度補語などについての学習。		
	該当する到達目標	予習	教科書第8課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5,6	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間

			練習する。	
13	講義内容	教科書第 9 課、能願動詞「会」「能」「可以」などについての学習。		
	該当する到達目標	予習	教科書第9課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5,6	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
14	講義内容	教科書第 10 課、方向補語や結果補語などについての学習。2,3,4,5,6		
	該当する到達目標	予習	教科書第 10 課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5,6	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
15	講義内容	教科書第 11 課、主述述語文や比較表現などについての学習。		
	該当する到達目標	予習	教科書第 10 課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5,6	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
備考	授業は全 15 回を通じて、音声および表記の反復学習を徹底する形で展開し、中国語基礎学力の定着を目指す。失敗を恐れず、積極的に楽しく学んでほしい。外国語学習には習慣性とある程度の忍耐が必要である。学生諸君には外国語の学習を通じて、習慣的学習や知的忍耐力を身に付けられたい。復習は机に向かうには及ばない。通学時などわずかな余暇を利用して、10 分程度で構わぬので、必ず毎日、口や舌を動かして毎回の授業の内容を消化することが望ましい。毎回の積み重ねが肝要。後刻、自力でマスターしようとしてもほとんど不可能と心得よ。 質問等は、授業開始前もしくは授業終了後に応じる。			

看 038 ハングル語

科目名		ハングル語（リテラシー）		LAL011	講義
英文名		Korean			
担当教員		徐 明煥			
科目に関連した実務経験					
学年・開講期		1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位	
講義目標		はじめて韓国語をまなぶ学生を対象とする。表音文字であるハングルの表記を覚え、単語や文章を正確に発音する練習をする。会話の練習を通して簡単な挨拶や自己紹介、身の回りのものについて覚える。			
到達目標		1.韓国語の文字であるハングルの正確な読み書きができる。 2.基本文型を身に付けさせて簡単な日常会話ができる。 3.基本的な韓国語の 4 技能の「聞く」「話す」「読む」「書く」能力を向上させる。 4.初級レベルの韓国語運用能力を身につける。			
学位授与方針との対応		✓	1. 人間理解と倫理観		
			2. 論理的思考・問題解決力		
			3. チームの一員としての協調・協働		
		✓	4. 国際理解		
			5. 生涯学習力		
評価方法		宿題 30%、小テスト 20%、中間・期末試験 50%			
課題に対するフィードバック		宿題にはコメントを付けて返却する。 小テストを毎回返却し解説する。			
使用教材		李淑炫(2011)『チェミナ韓国語―自然に身につく会話と文法 韓国語初級テキスト』白帝社 ISBN-13:978-4891748593			
1	講義内容	授業概要、ハングルについて、第 1 課:母音			
	該当する到達目標 1	予習	テキストを用意し、12 頁～14 頁を読んでくる。韓国語のノートを用意する。		1.5 時間
		復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。		1.5 時間
2	講義内容	第 2 課:子音(平音と有声音)			
	該当する到達目標 1	予習	22 頁～25 頁を読んでくる。		1.5 時間
		復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。		1.5 時間

3	講義内容	第 2 課: 子音(激音と濃音)		
	該当する到達目標	予習	26 頁～31 頁を読んでくる。	1.5 時間
	1	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
4	講義内容	第 3 課: パッチム、パッチム 7 つの代表音		
	該当する到達目標	予習	32 頁～37 頁を読んでくる。	1.5 時間
	1	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
5	講義内容	第 4 課: 二重母音、名前を書く、まとめ		
	該当する到達目標	予習	38 頁～43 頁を読んでくる。	1.5 時間
	1	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
6	講義内容	第 5 課: 発音の変化、発音の基本、パッチム音の変化		
	該当する到達目標	予習	46 頁～54 頁を読んでくる。	1.5 時間
	1	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
7	講義内容	第 6 課: 主題を表す助詞「～は」、体言について、指定詞の丁寧な表現 I		
	該当する到達目標	予習	56 頁～63 頁を読んでくる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
8	講義内容	第 7 課: 指示代名詞(これ・それ・あれ)、「～ではありません」		
	該当する到達目標	予習	64 頁～71 頁を読んでくる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
9	講義内容	第 8 課: 主語を表す助詞「～が」、「～と」、「いる/ある、ない/いない」について、まとめ		
	該当する到達目標	予習	72 頁～81 頁を読んでくる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
10	講義内容	第 9 課: 場所や位置を表す表現、数詞 I		
	該当する到達目標	予習	82 頁～91 頁を読んでくる。	1.5 時間

	1,2,3,4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
11	講義内容	第 10 課: 用言の丁寧形 I (改まった表現)、用言の否定形		
	該当する到達目標	予習	92 頁～97 頁を読んでくる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
12	講義内容	第 10 課: 羅列の表現、場所を表す助詞、目的格を表す助詞、まとめ		
	該当する到達目標	予習	97 頁～101 頁を読んでくる。まとめ	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
13	講義内容	第 6 課～10 課、総合まとめ		
	該当する到達目標	予習	第 6 課から第 10 課まで読んでくる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	今まで勉強した内容をもう一度、確認して理解しておく。	1.5 時間
14	講義内容	第 11 課: 指定詞(丁寧な表現Ⅱ)逆接を表す表現数詞Ⅱや時間の言い方		
	該当する到達目標	予習	102 頁～105 頁を読んでくる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
15	講義内容	第 11 課: 数詞Ⅱや時間の言い方		
	該当する到達目標	予習	106 頁～111 頁を読んでくる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	数詞Ⅰと数詞Ⅱの使い分けや読み方を理解する。	1.5 時間
備考	授業については、ハングルの文字及び単語、文章の発音練習、会話表現の練習を行う。 また、毎回小テストを行うため、必ず予習・復習を行うこと。予習・復習については、試験前の学習で補完すること。 質問等がある場合は授業の前後に応じる。もしくは intgvseo21jp@gmail.com までに連絡すること。 メールを送る際は「件名」に「高崎健康福祉大学ハングル語: 名前」を必ず記入すること。			

看 039 コンピュータ入門Ⅰ

科目名		コンピュータ入門Ⅰ（リテラシー）			LAL012	講義
英文名		Introduction to ComputerⅠ				
担当教員		木幡直樹				
科目に関連した実務経						
学年・開講期		1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標		本科目は、IT 社会における教養としてコンピュータに関する知識を身につけるための講義科目である。 内容レベル的には、受講者が、J検 情報活用試験の1級～3級の範囲に関する内容が理解できるようになることを目的とする。				
到達目標		入門Ⅰでは特に、受講者がコンピュータの動作の本質・背景を理解することを目指し、以下の目標を掲げる。 1. コンピュータシステムの概要や情報処理の考え方などを理解する。 2. コンピュータにおけるデータの表現方法を理解し、特に数を N 進数として表す・基数変換の処理・小数や負数の表し方などを理解し、実践できる。 3. 計算の基本となる論理演算や論理回路などを理解し説明できる。				
学位授与方針との対応		✓	1. 人間理解と倫理観			
			2. 論理的思考・問題解決力			
			3. チームの一員としての協調・協働			
			4. 国際理解			
			5. 生涯学習力			
評価方法		筆記試験及び課題の提出:90%、授業への参加態度:10% で評価する。講義時にも改めて説明する。				
課題に対するフィードバック		筆記試験及び課題の結果の講評を行い、必要に応じ再テストや再提出を求める。				
使用教材		J検 情報活用試験の1級～3級レベルのテキストを使用する。その他、必要に応じ資料を配布する。				
1	講義内容		ガイダンス、情報システム、コンピュータシステムとは			
	該当する到達目標	予習	シラバスを確認しておく。テキストの該当部分を読んでおく。			1 時間
		復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。			1.5 時間
2	講義内容		コンピュータシステムの特徴、コンピュータの種類			
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。			1 時間

	1	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。	1.5 時間
3	講義内容	情報処理の手順、フローチャート		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。	1 時間
	1	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。	1.5 時間
4	講義内容	コンピュータが扱うデータ、情報の単位、ビット、バイト、文字コード(標準コード)		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。	1 時間
	2	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。	1.5 時間
5	講義内容	数の表現(10 進数、2 進数、8 進数、16 進数)、小数の表現		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。	1 時間
	2	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。	1.5 時間
6	講義内容	基数変換(10 進数 $\leftrightarrow$ 2 進数・8 進数・16 進数)		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。	1 時間
	2	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。	1.5 時間
7	講義内容	その他の基数変換(2 進数 $\leftrightarrow$ 8 進数・16 進数、小数の基数変換)		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。	1 時間
	2	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。	1.5 時間
8	講義内容	固定小数点数と浮動小数点数		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。	1 時間
	2	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。	1.5 時間
9	講義内容	四則演算、補数(1 の補数と 2 の補数)		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。	1 時間
	2	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。	1.5 時間
10	講義内容	負数の表現、補数による減算		

	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。	1 時間
	2	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。	1.5 時間
11	講義内容	論理演算 (AND,OR,NOT,EOR,NAND,NOR)、論理記号、ベン図、真理値表		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。	1 時間
	3	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。	1.5 時間
12	講義内容	論理回路、MIL 記号		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。	1 時間
	3	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。	1.5 時間
13	講義内容	加算回路、乗算回路、除算回路		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。	1 時間
	3	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。	1.5 時間
14	講義内容	コンピュータシステムの基本構成、中央処理装置の機能、データと命令		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。	1 時間
	1	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。	1.5 時間
15	講義内容	前期のまとめ		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。	1 時間
	1, 2, 3	復習	筆記試験に向けて全体の復習をしておく。	6 時間
備考	授業ではテキストや配布プリントの内容を板書も交えつつ解説し、残り時間で関連する練習問題を実施する。 J検(文部科学省後援)の資格取得を奨励する。普段から IT 社会に関するトピックに目を向ける習慣を持つこと。 教員のメールアドレス: kohata@takasaki-u.ac.jp (質問等はメールでも受け付ける)。オフィスアワー: 前期 水 4 時限目、後期 水 3 時限目。予習・復習の時間は参考程度であり、自らの理解状況をふまえ必要に応じ各自で補完すること。			

看 040 コンピュータ入門Ⅱ

科目名		コンピュータ入門Ⅱ（リテラシー）			LAL013	講義
英文名		Introduction to Computer Ⅱ				
担当教員		木幡直樹				
科目に関連した実務経						
学年・開講期		2 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標		本科目は、IT 社会における教養としてコンピュータに関する知識を身につけるための講義科目である。 内容レベル的には、受講者が、J検 情報活用試験の1級～3級の範囲に関する内容が理解できるようになることを目的とする。				
到達目標		入門Ⅱでは特に、コンピュータとその周辺を理解するため、受講者がハードウェア及び各種の情報関連機器などに関して基礎的な知識を身につけることを目指し、以下の目標を掲げる。 1. コンピュータの5大装置、CPU、メモリなどの概要を理解し説明できる。 2. 補助記憶装置(ハードディスク)・出力装置(ディスプレイやプリンタ)・入力装置(マウスやキーボード)の概要や、関連するインターフェース規格などを理解し説明できる。 3. OSなどのソフトウェア、及び、ネットワーク等に関する概要を理解し説明できる。				
学位授与方針との対応		✓	1. 人間理解と倫理観			
			2. 論理的思考・問題解決力			
			3. チームの一員としての協調・協働			
			4. 国際理解			
			5. 生涯学習力			
評価方法		筆記試験及び課題の提出:90%、授業への参加態度:10% で評価する。講義時にも改めて説明する。				
課題に対するフィードバック		筆記試験及び課題の結果の講評を行い、必要に応じ再テストや再提出を求める。				
使用教材		J検 情報活用試験の1級～3級レベルのテキストを使用する。その他、必要に応じ資料を配布する。				
1	講義内容		ガイダンス、パソコンの仕組み、入出力装置、記憶装置、演算装置、制御装置、CPU			
	該当する到達目標	予習	シラバスを確認しておく。テキストの該当部分を読んでおく。			1 時間
		復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。			1.5 時間
2	講義内容		CPU の仕組み、メモリの種類と特徴、問題演習			
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。			1 時間

	1	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。	1.5 時間
3	講義内容	記憶媒体の種類と用途、磁気ディスク容量の計算、問題演習		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。	1 時間
	1	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。	1.5 時間
4	講義内容	ハードディスクの仕組みと活用、IDE、SCSI、データのバックアップ		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。	1 時間
	2	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。	1.5 時間
5	講義内容	インターフェース、バス、周辺機器との接続ポート、スロット、各種規格		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。	1 時間
	2	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。	1.5 時間
6	講義内容	ディスプレイの仕組みと種類、光の3原色、画像データ容量の計算		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。	1 時間
	2	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。	1.5 時間
7	講義内容	プリンタの仕組みと種類、色の3原色、用紙、プロッタ、イメージセッタ		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。	1 時間
	2	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。	1.5 時間
8	講義内容	各種入力装置、ポインティングデバイス、キーボード、スキャナ、OMR、OCR		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。	1 時間
	2	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。	1.5 時間
9	講義内容	ソフトウェアの種類、システムソフト、応用ソフト、OS の機能、システム開発		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。	1 時間
	3	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。	1.5 時間
10	講義内容	これまでのまとめと総合問題演習		

	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。	1 時間
	3	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。	1.5 時間
11	講義内容	ファイルの概念、ディレクトリ、FAT、各種データ形式、パソコンの保守管理		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。	1 時間
	3	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。	1.5 時間
12	講義内容	ネットワークアーキテクチャ(OSI)、ネットワークプロトコル		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。	1 時間
	3	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。	1.5 時間
13	講義内容	インターネット(歴史、ARPANET、TCP/IP、DNS、SMTP、POP)		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。	1 時間
	3	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。	1.5 時間
14	講義内容	ネットワークにおけるセキュリティ、プライバシー保護、著作権		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。	1 時間
	3	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。	1.5 時間
15	講義内容	後期のまとめ		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。	1 時間
	1, 2, 3	復習	筆記試験に向けて全体の復習をしておく。	6 時間
備考	授業ではテキストや配布プリントの内容を板書も交えつつ解説し、残り時間で関連する練習問題を実施する。 J検(文部科学省後援)の資格取得を奨励する。普段から IT 社会に関するトピックに目を向ける習慣を持つこと。 教員のメールアドレス: kohata@takasaki-u.ac.jp (質問等はメールでも受け付ける)。オフィスアワー: 前期 水 4 時限目、後期 水 3 時限目。予習・復習の時間は参考程度であり、自らの理解状況をふまえ必要に応じ各自で補完すること。			

看 041 コンピュータ実習 I

科目名	コンピュータ実習 I （リテラシー）			LAL014	実習
英文名	Computer Practice I				
担当教員	木幡直樹				
科目に関連した実務経					
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標	本科目は、初心者がパソコンを用いた基礎的な情報処理技術を身につけるための実習科目である。実習 I においては、コンピュータの基本操作を学習するとともに、入力装置として不可欠なキーボードを自在に操作できるようタッチタイピングを学び、さらに、ワープロソフトやインターネットの活用能力を養う。				
到達目標	1. 主として、受講者が、コンピュータの基本的な操作ができるようになる。 2. マイクロソフトの文書作成ソフト「Word」を用い、簡単な文書を作成できるようになる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	課題の提出状況とその出来栄え 90%、授業への参加態度 10% で評価する。				
課題に対するフィードバック	提出物(ファイル)の内容が、求める課題の条件を満たしているかどうかを確認し、その結果を学生に伝え、必要に応じ、再提出を求める。				
使用教材	「30 時間でマスターOffice2010」(実教出版)。その他、必要に応じて資料を配布する。				
1	講義内容	ガイダンス、コンピュータの基本操作(PC の起動・ログオン・シャットダウン等)			
	該当する到達目標	1	予習	シラバスを確認しておく。	0.5 時間
		1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	0.5 時間
2	講義内容	Windows の基本操作			
	該当する到達目標	1	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
		1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	0.5 時間
3	講義内容	電子資料の参照方法・課題の電子提出の方法、練習課題			
	該当する到達目標	1	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間

	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	0.5 時間
4	講義内容	本学メールシステムの基本的な使い方		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	0.5 時間
5	講義内容	インターネットによる情報検索の基礎		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	0.5 時間
6	講義内容	タイピング(タッチメソッド)の基礎、タイピング練習		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	0.5 時間
7	講義内容	日本語入力の練習		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	0.5 時間
8	講義内容	Word 基本操作1(起動と終了、日本語入力システム、文章入力、文書の保存 等)		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	0.5 時間
9	講義内容	Word 基本操作2(文章入力続き、文書の印刷 等)		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	0.5 時間
10	講義内容	Word の活用1(複写・移動、クリップアートの利用 等)		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	0.5 時間
11	講義内容	Word の活用2(編集機能、表の作成 等)		

	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	0.5 時間
12	講義内容	まとめと演習課題		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	1 時間
13	講義内容	Word の応用1(並べ替え、検索と置換、段組、罫線 等)		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	0.5 時間
14	講義内容	Word の応用2(ワードアート、図形描画、テキストボックス)		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	0.5 時間
15	講義内容	総合演習課題		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	1 時間
備考	※「養護教諭」資格の必須科目である。 教員が各回の内容を教材や実演を通じて説明し、関連する実習課題を指示する。 普段からコンピュータに接する時間を持つこと。教員のメールアドレスは kohata@takasaki-u.ac.jp (質問等はメールでも受け付ける)。オフィスアワーは前期(水 4 時限目)、後期(水 3 時限目)。予習・復習の時間は参考程度であり、自らの習熟状況をふまえ必要に応じ各自で補完すること。			

看 042 コンピュータ実習Ⅱ

科目名	コンピュータ実習Ⅱ（リテラシー）			LAL015	実習
英文名	Computer Practice Ⅱ				
担当教員	木幡直樹				
科目に関連した実務経					
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標	本科目は、初心者がパソコンを用いた基礎的な情報処理技術を身につけるための実習科目である。実習Ⅱにおいては、主に表計算ソフトの機能や用途を理解し、演習を通じその基本的な使い方を習得する。				
到達目標	1. 主として、受講者がマイクロソフトの表計算ソフト「Excel」の基本を理解する。 2. 簡単な表の作成・初歩的な集計処理・表のデータからのグラフ作成ができるようになる。 3. データベース的な使い方や多少応用的な関数の活用ができるようになる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	課題の提出状況とその出来栄え 90%、授業への参加態度 10% で評価する。				
課題に対するフィードバック	提出物（ファイル）の内容が、求める課題の条件を満たしているかどうかを確認し、その結果を学生に伝え、必要に応じ、再提出を求める。				
使用教材	「30 時間でマスターOffice2010」(実教出版)。その他、必要に応じて資料を配布する。				
1	講義内容	ガイダンス、Excel 基本操作（起動と終了、データの入力 等）			
	該当する到達目標	1	予習	シラバスを確認しておく。	0.5 時間
		1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	0.5 時間
2	講義内容	Excel 入門（簡単な表の作成、合計の計算、オートフィル 等）			
	該当する到達目標	1, 2	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
		1, 2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	0.5 時間
3	講義内容	ワークシートの活用1（表の編集、平均の計算、計算式の複写と相対参照）			
	該当する到達目標		予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間

	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	0.5 時間
4	講義内容	ワークシートの活用2(絶対参照、最大・最小値、データ数のカウント、四捨五入、条件判定)		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	0.5 時間
5	講義内容	まとめの課題1		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	1 時間
6	講義内容	グラフ1(棒グラフ、積み上げグラフ、折れ線グラフ、円グラフ)		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	0.5 時間
7	講義内容	グラフ2(3-D グラフ、複合グラフ、ドーナツグラフ)		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	0.5 時間
8	講義内容	グラフ3(レーダーチャートグラフ、XY グラフ、絵グラフ)		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	0.5 時間
9	講義内容	まとめの課題2		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	1 時間
10	講義内容	データベース1(データの並べ替え、データの検索・置換)		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	3	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	0.5 時間
11	講義内容	データベース2(データ抽出、オートフィルタ、データ集計、クロス集計)		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間

	3	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	0.5 時間
12	講義内容	まとめの課題3		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	3	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	1 時間
13	講義内容	Excel 応用1(順位付け関数、検索用関数)		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	3	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	0.5 時間
14	講義内容	Excel 応用2(文字列操作関数、データベース関数、Word への埋め込み)		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	3	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	0.5 時間
15	講義内容	総合演習課題		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	3	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	1 時間
備考	※「養護教諭」資格の必須科目である。 教員が各回の内容を教材や実演を通じて説明し、関連する実習課題を指示する。 普段からコンピュータに接する時間を持つこと。教員のメールアドレスは kohata@takasaki-u.ac.jp（質問等はメールでも受け付ける）。オフィスアワーは前期(水 4 時限目)、後期(水 3 時限目)。予習・復習の時間は参考程度であり、自らの習熟状況をふまえ必要に応じ各自で補完すること。			

看 043 論理学

科目名	論理学（専門教養科目）			LSC001	講義
英文名	logic				
担当教員	米田和美				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標	筋道の通った考え方、物事を客観的に判断できる能力と、事実を正しく解釈できる思考を訓練する。				
到達目標	論理的思考を養う。（文章の読解及び表現ができる。物事の筋道をたてて正しく考える。） 1.読む、書くを中心に文章の書き方を身につける。「一文一義」の文が書けるようになる。 2.聞く、話すを中心に言葉の運用能力の向上を図る。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	意見文 30 :小テスト 30 :提出物 30 :講義出席状況 10 の割合で評価します。				
課題に対するフィードバック	意見文、提出物はチェックを入れて返します。				
使用教材	使用しない(講義2～3週間前までにプリントを配布します。事前に読んでおくこと。)				
1	講義内容	引用			
	該当する到達目標	予習	先天異常児の助命は絶対かを読んでおく。		1.5 時間
	1	復習	「引用は一字一句正確に」を理解する。		1.5 時間
2	講義内容	悪文①			
	該当する到達目標	予習	食欲のない患者に看護師が行う援助を書き改める。		1.5 時間
	1	復習	「段落、箇条書き、しかしの使い方」を理解する。		1.5 時間
3	講義内容	資料文の読み方			
	該当する到達目標	予習	「物差し狂っている母娘」を読んでおく。		1.5 時間
	1,2	復習	「いつ、どこで、誰が、誰に、何を、どうしたか」を理解する。		1.5 時間
4	講義内容	悪文②			
	該当する到達目標	予習	「専門的な母」を書き改める。		1.5 時間
	1	復習	「かざかっこ、同じようにの使い方」を理解する。		1.5 時間
5	講義内容	主張と理由			

	該当する到達目標	予習	「個性と異常の境界線は」を読んでおく。	1.5 時間
	1	復習	「主張を断定、理由を箇条書き」を理解する。	1.5 時間
6	講義内容	悪文③		
	該当する到達目標	予習	「経静脈栄養注射」を書き改める。	1.5 時間
	1	復習	「()」の使い方、ことこの使い方」を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	?変を見つける1		
	該当する到達目標	予習	「体位変換」の変を見つける。	1.5 時間
	1	復習	「体位変換」を正しい文章に書き改める。	1.5 時間
8	講義内容	変を見つける2		
	該当する到達目標	予習	「告知」を読んでおく。	1.5 時間
	1,2	復習	「問題は何か、なぜ問題か、どうすべきか」を理解する。	1.5 時間
備考	授業は次の①②③を繰り返し行う。 ①資料文の内容を正確に読みとる。 いつ、どこで、だれが、だれに、なにを、どうしたか ②登場人物の言動の問題点を抽出する。 問題は何か、なぜ問題か ③対処法を提案する。 どうすべきか 予習・復習については試験前後の勉強にて補完すること。			

看 044 人間発達論

科目名	人間発達論（専門教養科目）			LSC002	講義
英文名	Human development				
担当教員	角野善司				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	本講義は人間の一生涯を受胎から死まで視野に入れて人間発達の理論を学ぶことを目的とする。人間の発達をライフサイクルにそって眺め、各発達段階における発達課題や発達危機の解決、また人格的活力の育成等を柱とする発達過程について学ぶ。				
到達目標	1.主要な発達理論について説明できる。 2.生涯発達および各発達段階の概要と課題を説明できる。 3.発達障害が及ぼす心理的影響について説明できる。 4.発達検査について説明できる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	毎回の宿題 30%（復習課題 15%、予習課題 15%）、学期中 3 回程度のレポート 30%、学期末テスト 40%。宿題の得点が一定水準に達しない場合やレポートの提出状況が不良の場合には、学期末テストの得点に関わらず、単位を付与しない。				
課題に対するフィードバック	宿題・レポートは毎回授業時に、学期末テストは事後に講評解説の機会を設ける。				
使用教材	「ガイドライン生涯発達心理学 第 2 版」二宮克美ほか ナカニシヤ出版 2012 年				
1	講義内容	発達の基本的視点と諸理論			
	該当する到達目標	予習	シラバスを読んで講義の目標などを理解する。教科書の該当箇所を精読する。		1.5 時間
	1	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。課題レポートの作成に向けた学習を始める。		1.5 時間
2	講義内容	胎児期・乳児期の発達（1）概要			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。		1.5 時間
	2	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。課題レポートの作成に向けた学習を重ねる。		1.5 時間
3	講義内容	胎児期・乳児期の発達（2）トピック: 愛着(アタッチメント)			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。		1.5 時間

	2	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。課題レポートの作成に向けた学習を重ねる。	1.5 時間
4	講義内容	幼児期の発達（1）概要		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	2	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。課題レポートの作成に向けた学習を重ねる。	1.5 時間
5	講義内容	幼児期の発達（2）トピック: 反抗期		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	2	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。課題レポートの作成に向けた学習を重ねる。	1.5 時間
6	講義内容	児童期の発達（1）概要		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	2	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。課題レポートの作成に向けた学習を重ねる。	1.5 時間
7	講義内容	児童期の発達（2）トピック: ギャング・エイジ		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	2	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。課題レポートを作成する。	1.5 時間
8	講義内容	青年期の発達（1）概要		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	2	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。課題レポートの作成に向けた学習を始める。	1.5 時間
9	講義内容	青年期の発達（2）トピック: 心理的離乳		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	2	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。課題レポートの作成に向けた学習を重ねる。	1.5 時間
10	講義内容	成人期の発達（1）概要		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	2	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。課題レポートの作成に向けた学習を重ねる。	1.5 時間
11	講義内容	成人期の発達（2）トピック: 子育て		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	2	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。課題レポートの作成に向けた学習を重ねる。	1.5 時間
12	講義内容	老年期の発達（1）概要		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	2	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間

			る。課題レポートの作成に向けた学習を重ねる。	
13	講義内容	老年期の発達（2）トピック: 自我の統合		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	2	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。課題レポートを作成する。	1.5 時間
14	講義内容	発達の障害		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	3	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。課題レポートの作成に向けた学習を始める。	1.5 時間
15	講義内容	発達検査		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	4	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。課題レポートを作成する。	1.5 時間
備考	・オフィスアワー: 決まり次第連絡します。 研究室: 8 号館 4 階 405 室 ・メールアドレス: zsumino@takasaki-u.ac.jp ・授業期間全体を通じた授業の進め方: 受講者には、予習復習にしっかりと取り組んでももらいたい。教科書の該当箇所に関する講義は、予習をしてあることを前提とするので、簡潔に進める。積極的に質問をすることを期待する。復習課題の解答解説は丁寧さを心掛ける。なお、理解を深めるために必要に応じて視聴覚教材を活用する。 ・宿題の提出は、C-learning による。			

看 045 人間行動学

科目名	人間行動学（専門教養科目）			LSC003	講義
英文名	Behavioral Science				
担当教員	上原 徹・服部 卓				
科目に関連した実務経験	精神科医として大学病院等で勤務経験30年以上、現在も非常勤医師として実務を行っている(上原)、臨床心理士として大学病院等で勤務経験は約 30 年、現在に至る(服部)				
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	学生が、行動科学の基礎と応用を学ぶことで、臨床や対人支援の場面におけるクライアントの行動や、支援者である自らの行動との相互作用を理解することができる。				
到達目標	1.医療などの対人支援における基本的姿勢を身につける 2.ケアを受ける人の心理や行動を理解できる 3.適切な対人的交流のための知識と技術が説明できる 4.他職種と機能的に連携する視点を持てる■ 5.行動科学や心理学の初級知識を解説できる				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	レポートを 80%とし、授業中の態度を 20%程度参考にして総合評価する。授業態度(静肅さ、不要な私語、真摯な姿勢など)に問題がある場合は、個別に厳しく減点する。				
課題に対するフィードバック	レポートについては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバックする。				
使用教材	福村出版「行動科学への招待〔改訂版〕現代心理学のアプローチ」を教科書として用いるので必携。DVD 教材を用いた授業も加える。				
1	講義内容	青年期の心理と性格			
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。		0.5 時間
	3,5	復習	ノートを読むこと。		1 時間
2	講義内容	対人行動			
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。		1 時間
	1,2	復習	ノートを読むこと。		1 時間
3	講義内容	集 団■			
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。		1 時間
	2,3,4	復習	ノートを読むこと。		1 時間
4	講義内容	異文化と自己			

	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	3,5	復習	ノートを読むこと。	1 時間
5	講義内容	ヒューマンファクター——労働の心理学		
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	1,5	復習	ノートを読むこと。	1 時間
6	講義内容	きずなの発達		
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	2,5	復習	ノートを読むこと。	1 時間
7	講義内容	自己の形成と発達		
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	2,5	復習	ノートを読むこと。	1 時間
8	講義内容	医療における人間関係		
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	1,2,3	復習	ノートを読むこと。	1 時間
9	講義内容	健 康		
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	1,2,5	復習	ノートを読むこと。	1 時間
10	講義内容	学習と学習支援 3,5		
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	3,5	復習	ノートを読むこと。	1 時間
11	講義内容	知 覚		
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	3,5	復習	ノートを読むこと。	1 時間
12	講義内容	記 憶		
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	3,5	復習	ノートを読むこと。	1 時間
13	講義内容	思 考		
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	3,5	復習	ノートを読むこと。	1 時間
14	講義内容	疲労・メンタルヘルスと現代の職場■		
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	4,5	復習	ノートを読むこと。	1 時間
15	講義内容	音楽と脳・まとめ■		
	該当する到達目標	予習	ノートを読むこと。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
備考	授業では配布資料も使って要点をまとめ、一部 DVD を視聴しつつ進める。複数の学科学生が多数で聴講するので、静粛に臨むこと(成績評価に影響する)。授業中の不必要な私語や不謹慎な態度は厳に			

慎むこと。予習復習は、試験前後の学習で補完すること。オフィスアワーは、オリエンテーション時に案内する。■:実務経験に基づく内容

看 046 化学

科目名	化学（専門教養科目）			LSC004	講義
英文名	chemistry				
担当教員	信田智哉、山際教之、須藤豊				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	看護を支える基礎的知識として、化学の中で特に病態を理解するために、栄養素と病気について、また医薬品による生体反応や化学計算などを中心に習得する。				
到達目標	1. 原子の構造を説明できる。また、放射線を列挙し、特徴を説明できる。 2. 電子殻や電子配置を説明できる。 3. 周期表を理解し、代表的な元素の特徴を説明できる。 4. 化学結合を列挙し、特徴を説明できる。 5. 原子量や分子量を理解し、溶液の濃度を説明できる。また、物質の状態を説明できる。 6. 物質の溶解を説明できる。また、蒸気圧と浸透圧を説明できる。 7. 酸・塩基の定義とその反応を説明できる。 8. 酸化・還元の定義とその反応を説明できる。 9. 有機化合物の結合を説明できる。また、官能基を列挙し、特徴を説明できる。 10. 異性体を列挙し、特徴を説明できる。特に鏡像異性体の特徴を説明できる。 11. 化学反応とエネルギーを説明できる。また、有機化学の反応を説明できる。 12. 高分子化合物を列挙し、特徴を説明できる。 13. 糖類を列挙し、特徴を説明できる。また、脂質を列挙し、特徴を説明できる。 14. アミノ酸を列挙し、特徴を説明できる。また、タンパク質の構造や機能を説明できる。 15. DNA や RNA の構造や機能を説明できる。また、ビタミンを列挙し、構造や機能を説明できる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	ミニレポートを数回作成し、評価する。筆記試験は行わない。				
課題に対するフィードバック	ミニレポートによる出欠確認および理解度のチェックを行う。 ミニレポートはコメントをつけて返却する。				
使用教材	コ・メディカル化学 医療・看護系のための基礎化学 齋藤勝裕・荒井貞夫・久保勘二共著 裳華房、2016 年 1 月 30 日 第3版2刷発行、2,400 円（税抜） また、使用教材として教科書の他に毎回プリントを配布する。				

1	講義内容	原子の構造と放射能(山際)		
	該当する到達目標	予習	教科書第1章に目を通しておく。	1.5 時間
	1	復習	教科書第1章に記載されている演習問題を解いてみる。	1.5 時間
2	講義内容	原子の電子構造(山際)		
	該当する到達目標	予習	教科書第2章に目を通しておく。	1.5 時間
	2	復習	教科書第2章に記載されている演習問題を解いてみる。	1.5 時間
3	講義内容	周期表と元素(山際)		
	該当する到達目標	予習	教科書第3章に目を通しておく。	1.5 時間
	3	復習	教科書第3章に記載されている演習問題を解いてみる。	1.5 時間
4	講義内容	化学結合と分子(須藤)		
	該当する到達目標	予習	教科書第4章に目を通しておく。	1.5 時間
	4	復習	教科書第4章に記載されている演習問題を解いてみる。	1.5 時間
5	講義内容	物質の量と状態(須藤)		
	該当する到達目標	予習	教科書第5章に目を通しておく。	1.5 時間
	5	復習	教科書第5章に記載されている演習問題を解いてみる。	1.5 時間
6	講義内容	溶液の化学(須藤)		
	該当する到達目標	予習	教科書第6章に目を通しておく。	1.5 時間
	6	復習	教科書第6章に記載されている演習問題を解いてみる。	1.5 時間
7	講義内容	酸・塩基(信田)		
	該当する到達目標	予習	教科書第7章 p. 57～p. 63 に目を通しておく。	1.5 時間
	7	復習	教科書第7章に記載されている演習問題 1～6を解いてみる。	1.5 時間
8	講義内容	酸化・還元(信田)		
	該当する到達目標	予習	教科書第7章 p. 63～p. 67 に目を通してく。	1.5 時間
	8	復習	教科書第7章に記載されている演習問題 7～8 を解いてみる。	1.5 時間
9	講義内容	有機化合物の構造(信田)		
	該当する到達目標	予習	教科書第8章に目を通しておく。	1.5 時間
	9	復習	教科書第8章に記載されている演習問題を解いてみる。	1.5 時間
10	講義内容	異性体と立体化学(信田)		
	該当する到達目標	予習	教科書第9章に目を通しておく。	1.5 時間
	10	復習	教科書第9章に記載されている演習問題を解いてみる。	1.5 時間
11	講義内容	有機化学反応(信田)		
	該当する到達目標	予習	教科書第10章に目を通しておく。	1.5 時間
	11	復習	教科書第10章に記載されている演習問題を解いてみる。	1.5 時間
12	講義内容	高分子化合物(信田)		
	該当する到達目標	予習	教科書第11章に目を通しておく。	1.5 時間
	12	復習	教科書第11章に記載されている演習問題を解いてみる。	1.5 時間
13	講義内容	糖類と脂質(信田)		

	該当する到達目標	予習	教科書第12章に目を通しておく。	1.5 時間
	13	復習	教科書第12章に記載されている演習問題を解いてみる。	1.5 時間
14	講義内容	アミノ酸とタンパク質(信田)		
	該当する到達目標	予習	教科書第13章に目を通しておく。	1.5 時間
	14	復習	教科書第13章に記載されている演習問題を解いてみる。	1.5 時間
15	講義内容	核酸とビタミン(信田)		
	該当する到達目標	予習	教科書第14章に目を通しておく。	1.5 時間
	15	復習	教科書第14章に記載されている演習問題を解いてみる。	1.5 時間
備考	オフィスアワーおよびメールアドレス 信田智哉:火曜日 2 限目、水曜日 2 限目 研究室:7 号館 2 階 203 室、 山際教之:月曜日 2 限目、火曜日 1 限目 研究室:7 号館 3 階 308 室、yamagiwa@takasaki-u.ac.jp. 須藤 豊:月曜日 1 限目、金曜日 5 限目研究室:7 号館 3 階 324 室、ysuto@takasaki-u.ac.jp. 授業は教科書と教員の作成するプリントを使って、要点をまとめていく。パワーポイントによる図の提示を行っていく。 予習・復習については日々の学習で補完すること。			

看 047 統計学

科目名	統計学（専門教養科目）			LSC005	講義
英文名	Statistics				
担当教員	福島博				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	医療に使う基本的な統計学の基礎を学ぶ。				
到達目標	1. 平均、メジアン、分散、標準偏差、相関係数 等の基本的 統計量の意味を理解する。 2. 統計的手法を学ぶことにより、いろいろの情報の意味を正しく理解できるようになる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	期末試験70%とレポート30%で評価する。総合得点60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	レポートにはコメントを付けて返却する。				
使用教材	「はじめての統計15講」 小寺平治 講談社				
1	講義内容	平均と分散			
	該当する到達目標	予習	教科書1, 2, 3講を読んでおく。		2 時間
	1	復習	平均と分散について、具体例の計算を通して理解する。		2 時間
2	講義内容	相関係数			
	該当する到達目標	予習	教科書4講を読んでおく。		2 時間
	1	復習	相関係数、共分散について理解する。		2 時間
3	講義内容	確率変数			
	該当する到達目標	予習	教科書5講を読んでおく。		2 時間
	1	復習	確率変数とその期待値、分散について理解する。		2 時間
4	講義内容	正規分布			
	該当する到達目標	予習	教科書6講を読んでおく。		2 時間
	2	復習	正規分布とその期待値、標準偏差について理解する。		2 時間
5	講義内容	二項分布			
	該当する到達目標	予習	教科書7講を読んでおく。		2 時間
	2	復習	二項分布の正規分布近似について理解する。		2 時間

6	講義内容	標本平均		
	該当する到達目標	予習	教科書8講を読んでおく。	2 時間
	2	復習	標本平均の平均、分散について理解する。	2 時間
7	講義内容	区間推定		
	該当する到達目標	予習	教科書9講を読んでおく。	2 時間
	2	復習	中心極限定理について理解する。	2 時間
8	講義内容	母平均の検定		
	該当する到達目標	予習	教科書10. 11講を読んでおく。	2 時間
	2	復習	母比率、t分布について理解する。	2 時間
備考	オフィスアワー:木曜日4時限 非常勤講師室 その日の講義内容の理解を深めるため、具体例の問題演習を行う。 メールアドレス: :fukusima@cup.ocn.ne.jp			

看 048 生物学

科目名	生物学(専門教養)			LSC006	講義
英文名	Biology				
担当教員	今井 純、坂井 隆浩 高崎健康福祉大学薬学部				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	生物として「健康」であるため、細胞はその恒常性を維持するように機能している。そこで、生物の基本単位である細胞の構造と機能を学習し、細胞社会の統合体としての個体が恒常性を維持する仕組みについての基本的知識を習得する。				
到達目標	(1)細胞の構造や細胞での物質代謝を説明できる (2)細胞内外の情報伝達機構を説明できる (3)遺伝や遺伝子について説明できる (4)発生現象を配偶子形成から個体発生まで説明できる (5)免疫反応を分類し説明できる				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	定期テスト(90%)と授業中に興味を持った話題に対するアクティブラーニング形式のレポート(10%)で評価する。総合評価 60%以上で合格とする。				
課題に対するフィードバック	レポートには授業中にコメントをつける。定期試験の解答を掲示し、間違えた部分の復習を促す。				
使用教材	教科書「ヒトを理解するための生物学」八杉貞雄著(裳華房) ISBN978-4-7853-5226-4 講義のスライドを随時プリントして配布する。				
1	講義内容	生物学とはどのような学問か			
	該当する到達目標 1	予習	教科書の 1～8 ページを読んで内容を理解する。		1.5 時間
		予習	生物学について理解する。		1.5 時間
2	講義内容	生命とはなにか、生物はどのようなものか。			
	該当する到達目標	予習	教科書の 10～17 ページを読んで内容を理解する。		1.5 時間

	1			間
		復習	生物について理解する。	1.5 時間
3	講義内容	細胞とはどのようなものか。		
	該当する到達目標 1、2	予習	教科書の 19～27 ページを読んで内容を理解する。	1.5 時間
		復習	細胞について理解する。	1.5 時間
4	講義内容	体をつくる分子にはどのようなものがあるか		
	該当する到達目標 1、2	予習	教科書の 29～36 ページを読んで内容を理解する。	1.5 時間
		復習	生体構成分子について理解する。	1.5 時間
5	講義内容	体の中で物質はどのように変化するか。		
	該当する到達目標 1、2	予習	教科書の 38～45 ページを読んで内容を理解する。	1.5 時間
		復習	代謝について理解する。	1.5 時間
6	講義内容	遺伝子と遺伝はどのように関係しているのか。」		
	該当する到達目標 3	予習	教科書の 47～58 ページを読んで内容を理解する。	1.5 時間
		復習	遺伝現象について理解する	1.5 時間
7	講義内容	ヒトの体はどのようにできているか。		
	該当する到達目標 1、2	予習	教科書の 59～66 ページを読んで内容を理解する。	1.5 時間
		復習	ヒトの体の仕組みを理解する	1.5 時間
8	講義内容	エネルギーはどのように獲得されるか。		
	該当する到達目標 1、2	予習	教科書の 68～76 ページを読んで内容を理解する。	1.5 時間
		復習	呼吸と消化吸収について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	ヒトはどのように運動するか。		
	該当する到達目標 1、2、3	予習	教科書の 77～85 ページを読んで内容を理解する。	1.5 時間
		復習	ヒトの運動の仕組みを理解する。	1.5 時間

10	講義内容	体の恒常性はどのように維持されるか。		
	該当する到達目標 1、2、3、5	予習	教科書の 87～96 ページを読んで内容を理解する。	1.5 時間
		復習	恒常性維持について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	体の恒常性はどのように維持されるか。		
	該当する到達目標 1、2、3、5	予習	教科書の 87～96 ページを読んで内容を理解する。	1.5 時間
		復習	恒常性維持について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	ヒトは病原体とどのようにたたかうか。		
	該当する到達目標 4	予習	教科書の 98～106 ページを読んで内容を理解する。	1.5 時間
		復習	免疫系について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	ヒトはどのように進化してきたか。		
	該当する到達目標 4	予習	教科書の 117～125 ページを読んで内容を理解する。	1.5 時間
		復習	ヒトの進化について理解する。	1.5 時間
14	講義内容	ヒトをとりまく環境はどのようにになっているか。		
	該当する到達目標 2	予習	教科書の 127～135 ページを読んで内容を理解する。	1.5 時間
		復習	環境について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	ヒトはどのような生き物か。		
	該当する到達目標 1、2、3、4、5	予習	教科書の 137～145 ページを読んで内容を理解する。	1.5 時間
		復習	ヒトについて理解する。	1.5 時間
備考	オフィスアワー: 金曜日の 16:00–17:00、メールによる質問は随時 メールアドレス: jimai@takasaki-u.ac.jp、sakai@takasaki-u.ac.jp 研究室: 7 号館 3 階 326(今井)、7 号館 3 階 330(坂井) 予習・復習については、試験前の学習で補完すること 授業は教科書、自作の配布資料とパワーポイントに基づき進行するとともに、学生が授業中に紹介した生命現象に関連する質問、レポートなどの解説を行い、学生が主体的に学習する習慣を身につけさせる。			

看 049 生活科学概論

科目名	生活科学概論（専門教養科目）			LSC007	講義
英文名	Introduction of Life Science				
担当教員	内田幸子				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 前期	必修・単位数	選択 1 単位		
講義目標	私たちの生活は急激に変化しつつある。生活していく上で出会うさまざまな課題に対し、生活者の立場から総合的に捉えることをめざす。衣食住や環境などのきわめて日常的な生活行為に関する問題を理解し、医療従事者としての自身の生活向上に必要な知識を習得する。				
到達目標	1. 生活基盤としての生活科学について学習内容を理解する 2. 生活していく上で必要な衣食住の知識を身につける 3. 授業で学んだ生活科学について理解を深め実生活に活かすことができる				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	定期試験 70%、レポート 30%で評価する 総合評価 60%以上を合格とする				
課題に対するフィードバック	レポートは評価して返却する				
使用教材	適宜プリントを配布する 参考図書「生活科学のすすめ」佐藤方彦著（井上書院）)ISBN4-7530-2317-6				
1	講義内容	ガイダンス 生活科学とは			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目的などを理解する		1 時間
	1	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する		1.5 時間
2	講義内容	衣の生活科学(衣服と人間)			
	該当する到達目標	予習	前回配布したプリントに目を通す		1 時間
	1,2	復習	衣服の機能と役割について理解する		1.5 時間
3	講義内容	衣の生活科学(快適な衣服環境)			
	該当する到達目標	予習	前回配布したプリントに目を通す		1 時間
	1,2	復習	快適な衣服環境について理解する		1.5 時間
4	講義内容	食の生活科学(食生活と栄養管理)			

	該当する到達目標	予習	前回配布したプリントに目を通す	1 時間
	1,2	復習	食事と健康と関係について理解する	1.5 時間
5	講義内容	食の生活環境(食生活と生活習慣病)		
	該当する到達目標	予習	前回配布したプリントに目を通す	1 時間
	1,2	復習	食生活と健康について理解する	1.5 時間
6	講義内容	住の生活科学(快適な住環境整備)		
	該当する到達目標	予習	前回配布したプリントに目を通す	1 時間
	1,2	復習	快適な住環境整備について理解する	1.5 時間
7	講義内容	住の生活科学(住環境と生活)		
	該当する到達目標	予習	前回配布したプリントに目を通す	1 時間
	1,2	復習	住環境と生活について理解する	1.5 時間
8	講義内容	まとめ及び学習到達度の確認		
	該当する到達目標	予習	配布したプリントに目を通す	1 時間
	1,2,3	復習	衣食住や環境などの課題について生活者の立場から総合的に理解する	1.5 時間
備考	オフィスアワー: 月曜日 3 限 水曜日 3 限 各回のテーマを決め、講義およびパワーポイントを用いて授業を進めていく メールアドレス uchida@takasaki-u.ac.jp 研究室: 1 号館 5 階 512 予習・復習については、試験前の学習で補完すること			

看 050 国際保健医療論

科目名		国際保健医療論（専門教養科目）			LSC008	講義
英文名		Theory of International Health				
担当教員		李孟蓉、望月経子				
科目に関連した実務経験		在日外国人への健康支援（経験） 専門家として開発途上国に支援（経験） 青年海外協力隊として開発途上国に支援（経験）				
学年・開講期		2 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標		世界における健康格差の実態を知り、医療従事者として世界平和・全人類の繁栄と福祉を願いつつグローバルヘルスの基本理念と戦略を学び、国際保健医療の活動の場を地球的視野で認識できる。また、地球規模の健康課題やその影響要因、国際保健医療の関連分野の活動の理念と実際を学びながら、国際協力に必要な知識や方法を習得できる。				
到達目標		1. 国際保健医療学、国際保健医療協力の概念と変遷を理解できる。 2. 保健医療分野での国際協力の必要性と意義を理解できる。 3. 世界の健康問題、それに対する国際的戦略および課題を理解できる。 4. 異文化を理解し、異文化適応のプロセスを理解できる。 5. 国際保健医療協力の実践手法を理解できる。 6. 在日外国人への健康支援を理解できる。				
学位授与方針との対応		✓	1. 人間理解と倫理観			
			2. 論理的思考・問題解決力			
			3. チームの一員としての協調・協働			
		✓	4. 国際理解			
			5. 生涯学習力			
評価方法		レポート課題 70%、授業参加度 30%（グループワーク、プレゼンテーション等）を総合的評価する				
課題に対するフィードバック		レポートの中でみられた疑問や課題を授業の中で再確認する。				
使用教材		配布資料、参考書 ①「世界で一番いのちの短い国 シェラレオネの国境なき医師団」 山本敏晴 小学館 ②「国際協力―その新しい潮流」 下村恭人 有斐閣 ③「国際保健医療学」第 3 版 国際保健医療学会編 杏林書院 ④「国民衛生の動向 2018/2019」 厚生労働統計協会 ⑤「世界の貧国 1 日 1 ドルで暮らすびと」 ジェレミーシーブルック 青土社、適宜参考書を紹介する				
1	講義内容	国際保健、国際保健医療学の定義、国際保健医療協力の概念				
	該当する到達目標	予習	国際保健医療協力に関する新聞・雑誌などの記事を読む。			1 時間
	1、4	復習	国際保健協力の定義、世界や国内の国際協力の概念が理解できる。			1.5 時間
2	講義内容	グローバルヘルスと国際保健医療協力の歴史				

	該当する到達目標	予習	世界で起きている健康問題に関する新聞・雑誌などの記事を読む。	1 時間
	1、4	復習	世界で起きている健康問題と支援の必要性を理解できる。	1.5 時間
3	講義内容	国際保健医療関連の国際機関、NGO の取り組みと日本の国際協力		
	該当する到達目標	予習	参考書①「世界で一番いのちの短い国 シェラレオネの国境なき医師団」、②国際協力—その新しい潮流に目を通す。	1 時間
	1、4	復習	国際保健医療協力の仕組み、国際保健医療関連の国際機関や NGO 団体、ODA の活動を理解できる。	1.5 時間
4	講義内容	プライマリーヘルスケアとヘルスプロモーション、ミレニアム開発目標の経緯と変遷		
	該当する到達目標	予習	参考書③「国際保健医療学」第 3 版の第 I 部 1～4、10～11 までを読む。	1 時間
	1、4	復習	世界の歴史の中でのプライマリーヘルスケアとヘルスプロモーション、ミレニアム開発目標の基本理念と変遷を理解できる。	1.5 時間
5	講義内容	世界における健康の格差		
	該当する到達目標	予習	世界で生じている健康格差について情報を集め、その原因を考える。	1 時間
	1、2、4	復習	健康格差の実態とその原因を理解できる。	1.5 時間
6	講義内容	開発途上国における疾病構造		
	該当する到達目標	予習	参考書④「国民衛生の動向 2018/2019」を参考し、日本における疾病構造（平均寿命、死亡統計など）について調べる。	1 時間
	4	復習	発展途上国の保健医療課題とその原因を理解できる。	1.5 時間
7	講義内容	異文化と異文化適応		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する講義資料に目を通す。	1 時間
	1、2、4	復習	文化が国際保健医療協力へ与える影響を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	国際保健医療協力と異文化理解 ■ 事例をもとに異文化の中での国際協力活動の内容について解説を加えて講義する。		
	該当する到達目標	予習	世界で行われてる国際保健医療協力を調べる。	1 時間
	1、2、4	復習	国際協力として行われている支援について、目的、実際の活動内容、異文化適応が理解できる。	1.5 時間
9	講義内容	貧困と格差を考えるワークショップ① ■ 国際協力の経験をもとに、国づくりを行うシミュレーションゲームをワークショップという形で取り入れて、各グループが協力しあえるように指導をしながら行う		
	該当する到達目標	予習	参考書⑤「世界の貧国 1 日 1 ドルで暮らすびと」に目を通す	1 時間
	1、2、4	復習	世界の不平等や格差に気付くことができ、国の豊かさについて考えることができる。	1.5 時間
10	講義内容	貧困と格差を考えるワークショップ② ■ 国際協力の経験をもとに、国づくりを行うシミュレーションゲームをワークショップという形で取り入れて、各グループが協力しあえるように指導をしながら行う		
	該当する到達目標	予習	参考書④「世界の貧国 1 日 1 ドルで暮らすびと」に目を通す	1 時間

	1、2、4	復習	世界の不平等や格差に気付くことができ、国の豊かさについて考えることができる。	1.5 時間
11	講義内容	ディスカッション、まとめ		
	該当する到達目標	予習	第9、10 回の授業内容を振り返り、自分の考えをまとめておく	1 時間
	1、2、4	復習	ディスカッションを通して、グローバルな課題や地域間の格差、SDGs の目標と関連付けて、地球・世界レベルで理解が深まる。	1.5 時間
12	講義内容	在日外国人の健康支援 ■ 在日外国人の背景や特性、健康問題、医療機関へのアクセス等について、事例をもとに解説を加えて講義する。		
	該当する到達目標	予習	日本、群馬県内の在日外国人(人口、国籍、在留資格、居住地域、生活など)について調べ、体験、新聞等の媒体から実情に関心を持ち把握しておく。	1 時間
	1、2、4、	復習	在日外国人が抱えている健康問題と支援が理解できる。	1.5 時間
13	講義内容	グローバルヘルス グループワーク①		
	該当する到達目標	予習	世界で行われている国際協力を調べる。(ODA)	1 時間
	2、3、4	復習	国際保健医療協力の活動を理解できる	1.5 時間
14	講義内容	グローバルヘルス グループワーク②		
	該当する到達目標	予習	世界で行われている国際協力を調べる。(NGO)	1 時間
	2、3、4	復習	国際保健医療協力の活動を理解できる	1.5 時間
15	講義内容	まとめ、プレゼンテーション		
	該当する到達目標	予習	1～14 回目の授業資料に目を通す	1 時間
	2、3、4、5	復習	地球規模の健康課題や国際協力に必要な知識、方法が理解できる	1.5 時間
備考	オフィスアワー:水曜・金曜の 2 限、質問はメールでも対応する。 メールアドレス:ri@taakasaki-u.ac.jp 研究室:3 号館 2 階 208 自作の授業資料や参考書をもとに解説を加えて講義する。講義の中でワークショップやグループワークを取り入れて、参加型、協議型の授業も行う。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

看 051 生化学

科目名	生化学（看護基盤科目群・人間）			NRB101	講義
英文名	Biochemistry				
担当教員	石川 良樹				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	生命の働きと営みを細胞よりも小さな分子レベルで理解できるようになることを目的とする。				
到達目標	分子レベルで疾病を考えられることを目指す。 1. 生体を構成する生体成分の基本的な構造、役割を説明することができる。 2. 生命を特徴づける重要な要素の一つである代謝について説明できる。 3. 遺伝情報とその発現について説明できる。 4. ビタミン、ホルモン、無機物の役割と調節機構について説明できる。 5. 生体レベルでみた代謝の仕組みを説明できる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	学期末テストなど総合的に評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	定期試験後には解答を公表し、自己学習を行えるようにする。				
使用教材	人体の構造と機能2 生化学（医学書院） ISBN 978-4-260-01836-4 講義に合わせた空欄のあるプリントを配布する。				
1	講義内容	ガイダンス、第1章 生化学を学ぶための基礎知識			
	該当する到達目標	予習	講義範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。		1 時間
	1	復習	講義資料も使って復習すること。		1.5 時間
2	講義内容	第2章 糖質、第12章 糖質代謝			
	該当する到達目標	予習	講義範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。		1 時間
	2	復習	講義資料も使って復習すること。		1.5 時間
3	講義内容	第3章 脂質、第13章 脂質代謝			

	該当する到達目標	予習	講義範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。	1 時間
	2	復習	講義資料も使って復習すること。	1.5 時間
	講義内容	第4章 タンパク質、第14章 タンパク質代謝		
4	該当する到達目標	予習	講義範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。	1 時間
	2, 3	復習	講義資料も使って復習すること。	1.5 時間
	講義内容	第5章 核酸、第15章 核酸代謝、第18章 遺伝情報		
5	該当する到達目標	予習	講義範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。	1 時間
	3, 4	復習	講義資料も使って復習すること。	1.5 時間
	講義内容	第6章 水と無機質、第7章血液と尿		
6	該当する到達目標	予習	講義範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。	1 時間
	4	復習	講義資料も使って復習すること。	1.5 時間
	講義内容	第8章 ホルモンと生理活性物質		
7	該当する到達目標	予習	講義範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。	1 時間
	4, 5	復習	講義資料も使って復習すること。	1.5 時間
	講義内容	第10章 酵素、第11章 ビタミンと補酵素、まとめ		
8	該当する到達目標	予習	講義範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。	1 時間
	5	復習	講義資料も使って復習すること。	1.5 時間
備考	教員の作成したパワーポイントにより、教科書該当部分の抜粋・要約の提示、及びそれに関連する具体例の紹介を行う。同時に、重要部を空欄にしたプリントを配布し、書き込ませながら授業を進める。 オフィスアワー: 講義終了後、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス: ryoki@gchs.ac.jp 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。			

看 052 解剖生理学 I

科目名		解剖生理学Ⅰ（看護基盤科目群・人間）			NRB102	講義
英文名		Anatomy and PhysiologyⅠ				
担当教員		桑原敦志				
科目に関連した実務経験		医師として大学病院検査部、感染制御部に勤務。現在、非常勤内科医師として一般内科、甲状腺専門外来を病院で担当している。				
学年・開講期		1 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標		解剖学は人体の構造がどうなっているか、生理学はどのように機能して生命活動を営んでいるかを学ぶ。生命の成り立ちをきちんと理解することによって、人が病気になったときに起こりうることを予測でき、よりよい看護に結びつけることが出来る。病気からの回復をサポートする看護師のため、神経や筋肉の構造と働きを、そして、循環器、呼吸器、消化器など臓器特異的な構造と働きを理解する必要がある。「解剖生理学」は医療従事者の基本である。				
到達目標		1. 人体の構造を説明することができる。 2. 細胞や臓器の働きを説明できる。 3. 生命活動を行うのにどのように臓器が関連しているか説明できる。 4. 病気になるときの身体の様子が説明できる。■ 5. 生命誕生の過程が説明できる。				
学位授与方針との対応		✓	1. 人間理解と倫理観			
		✓	2. 論理的思考・問題解決力			
			3. チームの一員としての協調・協働			
			4. 国際理解			
			5. 生涯学習力			
評価方法		定期試験 100％で評価する。 総合評価 60％以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック		定期試験後には解答を公表し、自己学習を行えるようにする。				
使用教材		教科書「ナースング・グラフィ①解剖生理学」(MC メディカ出版) ISBN978-4-8404-5374-5 講義に合わせた空欄のあるプリントを配布する。				
1	講義内容	解剖学用語、ホメオスタシス				
	該当する到達目標	予習	教科書の第 1 章に目を通す。			1 時間
	1	復習	解剖学用語を学び、ホメオスタシスの維持について理解する。			1.5 時間
2	講義内容	人体の発生について学ぶ。				

	該当する到達目標	予習	配布したプリントを読んでくる。	1 時間
	5	復習	人体の発生について理解する。	1.5 時間
3	講義内容	細胞		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 2 章 1 に目を通す。	1 時間
	1,2	復習	細胞の基本構造と細胞内小器官の働き、細胞の受動輸送と能動輸送について、細胞分裂と遺伝情報について理解する。	1.5 時間
4	講義内容	人体を構成する組織		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 2 章 2 に目を通す。	1 時間
	1,2	復習	人体を構成する 4 種の組織:表面を覆う上皮組織、支える支持組織、動かす筋組織、他の細胞をコントロールする神経組織について理解する。	1.5 時間
5	講義内容	膜		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 3 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	人体・臓器・器官の表面を境界し、覆い、保護し、潤す膜の性状と機能について理解する。■	1.5 時間
6	講義内容	皮膚		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 3 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	皮膚の構造と機能を理解する。■	1.5 時間
7	講義内容	骨格系		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 11 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	体を支える骨の構造と機能について理解する。■	1.5 時間
8	講義内容	骨と骨の結びつきである関節		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 11 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	骨と骨の結びつきである関節の構造と働きについて理解する。■	1.5 時間
9	講義内容	筋系		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 12 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	体にある筋の種類と機能について理解する。■	1.5 時間
10	講義内容	骨格筋 1,2,3,4		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 12 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	神経の命令によって動かすことのできる骨格筋の種類と動きを理解する。■	1.5 時間
11	講義内容	神経系		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 13 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	神経系の 3 つの機能、感覚・統合・運動について理解する。ニューロンの構造と機能を理解し、情報伝達のしくみを理解する。■	1.5 時間
12	講義内容	中枢神経系		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 13 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	大脳および延髄の構造と機能を理解し、中枢神経の特徴を学ぶ。■	1.5 時間

13	講義内容	末梢神経系		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 13 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	末梢神経の構造と機能、交感神経、副交感神経、脳神経などを理解する。■	1.5 時間
14	講義内容	感覚器系—眼 1,2,3,4		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 14 章 1,2 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	感覚器としての眼の構造と機能、視野欠損や色覚異常を理解する。■	1.5 時間
15	講義内容	感覚器系—耳、鼻、舌		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 14 章 3-7 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	聴覚、嗅覚、味覚などの感覚神経について、耳、鼻、舌の構造と機能を理解する。■	1.5 時間
16	講義内容	血液		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	血液の組成と血球、血漿の働きを理解する。■	1.5 時間
17	講義内容	造血		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	血球の性状、造血について理解する。■	1.5 時間
18	講義内容	血液凝固、血液型と輸血		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	血液凝固、血液型と輸血に関して理解する。■	1.5 時間
19	講義内容	循環器系—心臓		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 章 1 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	心臓の構造と機能について理解する。■	1.5 時間
20	講義内容	循環器系—血管とリンパ管		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 章 2,3,4 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	血管とリンパ管の構造と機能について理解する。■	1.5 時間
21	講義内容	呼吸器系—鼻から気管支		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 6 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	鼻から気管支までの気道の構造と機能について理解する。■	1.5 時間
22	講義内容	呼吸器系—肺		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 6 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	肺の構造と機能について理解する。■	1.5 時間
23	講義内容	呼吸器系—疾患		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 6 章、配布プリントに目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	気管支や肺の異常所見をもとにして呼吸器疾患を理解する。■	1.5 時間
24	講義内容	呼吸生理、酸塩基平衡		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 6 章、配布プリントに目を通す。	1 時間

	1,2,3,4	復習	呼吸プロセスを理解し、酸塩基平衡について理解する。■	1.5 時間
25	講義内容	消化器系—口から食道		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 7 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	口から食道までの構造について理解する。■	1.5 時間
26	講義内容	消化器系—口から食道の生理機能		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 7 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	口から食道への咀嚼と嚥下について理解する。■	1.5 時間
27	講義内容	消化器系—胃		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 7 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	胃の構造と機能について理解する。■	1.5 時間
28	講義内容	消化器系—肝臓と胆嚢		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 7 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	肝臓と胆嚢の構造と機能について理解する。■	1.5 時間
29	講義内容	消化器系—膵臓、小腸		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 7 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	膵臓の構造と機能、小腸の炭水化物、脂質、糖質の消化吸収を理解する。■	1.5 時間
30	講義内容	消化器系—大腸		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 7 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	大腸の構造と機能について理解する。■	1.5 時間
備考	オフィスアワー：水曜日 3 時限、質問はメールでも受け付ける。 授業は教科書と教員の作成するプリントを使って、要点をまとめていく。パワーポイントによる図の提示を行っていく。 メールアドレス：kuwabara@takasaki-u.ac.jp 研究室：5 号館 6 階 601 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。 ■：実務経験に基づく内容を示す。			

看 053 解剖生理学Ⅱ

科目名		解剖生理学Ⅱ（看護基盤科目群・人間）			NRB103	講義
英文名		Anatomy and Physiology Ⅱ				
担当教員		桑原敦志				
科目に関連した実務経験		医師として大学病院検査部、感染制御部に勤務。現在、非常勤内科医師として一般内科、甲状腺専門外来を病院で担当している。				
学年・開講期		1 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標		解剖学は人体の構造がどうなっているか、生理学はどのように機能して生命活動を営んでいるかを学ぶ。生命の成り立ちをきちんと理解することによって、人が病気になったときに起こりうることを予測でき、よりよい看護に結びつけることが出来る。泌尿器、内分泌、免疫などホメオスタシス維持のためのしくみや、生殖に関して学び、理解する必要がある。「解剖生理学」は医療従事者の基本である。				
到達目標		1. 人体の構造を説明することができる。 2. 細胞や臓器の働きを説明できる。 3. 生命活動を行うのにどのように臓器が関連しているか説明できる。 4. 病気になるときの身体の様子が説明できる。■ 5. 生命誕生の過程が説明できる。				
学位授与方針との対応		✓	1. 人間理解と倫理観			
		✓	2. 論理的思考・問題解決力			
			3. チームの一員としての協調・協働			
			4. 国際理解			
			5. 生涯学習力			
評価方法		定期試験 95%、出席課題 5%で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック		出席課題はその場で評価する。 定期試験の後に正解を発表し、自己学習できるようにする。				
使用教材		教科書「ナースング・グラフィカ①解剖生理学」(MC メディカ出版) ISBN978-4-8404-5374-5 講義に合わせた空欄のあるプリントを配布する。				
1	講義内容	泌尿器系—腎				
	該当する到達目標	予習	教科書第 8 章に目を通す。			1 時間
		復習	腎臓の構造と機能について理解する。■			1.5 時間
2	講義内容	泌尿器系—酸塩基平衡				

	該当する到達目標	予習	教科書第 8 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	水・電解質代謝、酸塩基平衡について理解する。■	1.5 時間
3	講義内容	泌尿器系—尿管、膀胱		
	該当する到達目標	予習	教科書第 8 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	尿管、膀胱、尿道の構造と機能、排尿のしくみについて理解する。■	1.5 時間
4	講義内容	内分泌系—視床下部下垂体		
	該当する到達目標	予習	教科書第 9 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	視床下部、下垂体の構造と機能、分泌されるホルモンの働きについて理解する。■	1.5 時間
5	講義内容	内分泌系—甲状腺、膵臓		
	該当する到達目標	予習	教科書第 9 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	甲状腺、上皮小体、膵臓の構造と機能、分泌されるホルモンの働きについて理解する。■	1.5 時間
6	講義内容	内分泌系—副腎、性腺		
	該当する到達目標	予習	教科書第 9 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	副腎皮質、副腎髄質、性腺の構造と機能、腎臓や消化管、血管から分泌されるホルモンの働きについて理解する。■	1.5 時間
7	講義内容	生殖器系—女性		
	該当する到達目標	予習	教科書第 10 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	生殖と生殖器の概念、女性生殖器の構造と機能について理解する。■	1.5 時間
8	講義内容	生殖器系—性周期		
	該当する到達目標	予習	教科書第 10 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	性周期、月経周期とホルモンとの関連について理解する。■	1.5 時間
9	講義内容	生殖器系—受精、妊娠		
	該当する到達目標	予習	教科書第 10 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	妊娠、受精のメカニズム、分娩のメカニズムについて理解する。■	1.5 時間
10	講義内容	生殖器系—男性 1,2,3,4		
	該当する到達目標	予習	教科書第 10 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	男性生殖器の構造と機能、精子形成について理解する。■	1.5 時間
11	講義内容	免疫系		
	該当する到達目標	予習	教科書第 15 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	自己と非自己の認識、生体の防御機構について理解する。■	1.5 時間
12	講義内容	免疫系		
	該当する到達目標	予習	教科書第 15 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	自然免疫と獲得免疫、体液性免疫について理解する。■	1.5 時間
13	講義内容	免疫系		
	該当する到達目標	予習	教科書第 15 章に目を通す。	1 時間

	1,2,3,4	復習	細胞性免疫、自己免疫疾患、アレルギーについて理解する。■	1.5 時間
14	講義内容	胎児 5		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	5	復習	胎児の発育と胎児循環について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	新生児		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	5	復習	新生児と遺伝子異常について理解する。	1.5 時間
備考	オフィスアワー: 水曜日 3 時限、質問はメールでも受け付ける。 授業は教科書と教員の作成するプリントを使って、要点をまとめていく。パワーポイントによる図の提示を行っていく。出席課題は解剖生理学のまとめを行っていく。 メールアドレス: kuwabara@takasaki-u.ac.jp 研究室: 5 号館 6 階 601 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。 ■: 実務経験に基づく内容を示す。			

看 054 栄養学 I

科目名	栄養学Ⅰ（看護基盤科目群・人間）			NRB104	講義
英文名	NutritionⅠ				
担当教員	渡邊美鈴				
科目に関連した実務経験	管理栄養士として病院に勤務（現在）				
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	生体は、発育・成長し、生命を維持し、健全な生命活動を営むために食物を摂取し、栄養素を取り込んでいる。摂取した食物の栄養成分がどのように代謝され、エネルギーや体構成成分として利用されるのかを学ぶ。また、栄養状態の評価や判定について学ぶことにより、チーム医療の実践に役立つ。				
到達目標	1.人体の構造を知り、その機能と栄養の関係を理解することができる。 2.栄養素を供給する食品の機能を理解することができる。 3.栄養素の役割について理解することができる。 4.健康と栄養の関係を理解することができる。 5.チーム医療・栄養ケアマネジメントについて理解することができる。■ 6.在宅医療・福祉と栄養の関係を理解することができる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	期末試験で 60%以上を合格とする				
課題に対するフィードバック	小テストを実施し、解説を行う				
使用教材	・「健康と医療福祉のための栄養学 身体のしくみと栄養素の働きを理解する」 渡邊 早苗ほか 医歯薬出版株式会社 2018 年 ¥2,500 ※講義(スライド)の予習・復習・補足に教科書を使用する				
1	講義内容	人体の構造と機能に関わる栄養素の代謝について			
	該当する到達目標	予習	教科書の P1～5 を読んでおく。		1.5 時間
	1	復習	講義の内容を確認する(次回小テストを実施)。		2 時間
2	講義内容	栄養素の消化吸収と食品の機能について			
	該当する到達目標	予習	教科書の P6～10、P14～22 を読んでおく。		1.5 時間
	2	復習	講義の内容を確認する(次回小テストを実施)。		2 時間
3	講義内容	栄養素の役割①三大栄養素について			

	該当する到達目標	予習	教科書のP23～41 を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	講義の内容を確認する(次回小テストを実施)。	2.5 時間
4	講義内容	栄養素の役割②ビタミン・ミネラル・水について		
	該当する到達目標	予習	教科書のP42～63 を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	講義の内容を確認する(次回小テストを実施)。	2.5 時間
5	講義内容	健康と栄養の関係について		
	該当する到達目標	予習	教科書のP65～89、P180～188 を読んでおく。	1.5 時間
	4	復習	講義の内容を確認する(次回小テストを実施)。	2 時間
6	講義内容	チーム医療・栄養ケアマネジメントについて 病院におけるチーム医療・栄養管理について■		
	該当する到達目標	予習	教科書のP91～100、P119～122、P189～196 を読んでおく。	1.5 時間
	5	復習	講義の内容を確認する(次回小テストを実施)。	2 時間
7	講義内容	栄養アセスメント、栄養補給方法について 栄養評価の実際■		
	該当する到達目標	予習	教科書のP101～109 を読んでおく。	1.5 時間
	5	復習	講義の内容を確認する(次回小テストを実施)。	2 時間
8	講義内容	在宅医療・福祉と栄養の関係について		
	該当する到達目標	予習	教科書の P110～118、P123～132 を読んでおく。	1.5 時間
	6	復習	講義の内容を確認する(次回小テストを実施)。	2 時間
備考	講義内容の理解を深めるために毎回小テストを実施する。 予習・復習については試験前後の勉強にて補完すること。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

看 055 栄養学Ⅱ

科目名	栄養学Ⅱ（看護基盤科目群・人間）			NRB105	講義
英文名	Nutrition Ⅱ				
担当教員	渡邊美鈴				
科目に関連した実務経験	管理栄養士として病院に勤務（現在）				
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	生涯にわたり、健康を維持するためには、ライフステージごとの適正な食生活が大切である。ライフステージ別の栄養管理および、病態別の栄養管理について学ぶ。				
到達目標	1.人生各期の栄養学的背景とその特徴を理解できる。■ 2.主な病態の栄養管理の特徴と食事療法について理解できる。■				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	期末試験で 60%以上を合格とする				
課題に対するフィードバック	小テストを実施し、解説を行う				
使用教材	・「健康と医療福祉のための栄養学 身体のしくみと栄養素の働きを理解する」 渡邊 早苗ほか 医歯薬出版株式会社 2018 年 ¥2,500 ※講義(スライド)の予習・復習・補足に教科書を使用する				
1	講義内容	ライフステージ別の栄養管理について①(妊娠、授乳期、乳児・幼児期、学童・思春期)			
	該当する到達目標	予習	教科書 P133～152、P197～199 を読んでおく。		1.5 時間
	1	復習	講義の内容を確認する(次回小テストを実施)。		2.5 時間
2	講義内容	ライフステージ別の栄養管理について②(成人、更年期) ■			
	該当する到達目標	予習	教科書 P153～160 を読んでおく。		1.5 時間
	1	復習	講義の内容を確認する(次回小テストを実施)。		2.5 時間
3	講義内容	ライフステージ別の栄養管理について③(老年期、障がい者)			
	該当する到達目標	予習	教科書 P161～174、P200 を読んでおく。		1.5 時間
	1	復習	講義の内容を確認する(次回小テストを実施)。		2.5 時間
4	講義内容	病態別の栄養管理を学ぶ①(消化器疾患)			
	該当する到達目標	予習	消化器疾患・炎症性腸疾患の病態を理解しておく。		1.5 時間
	2	復習	講義の内容を確認する(次回小テストを実施)。		2 時間
5	講義内容	病態別の栄養管理を学ぶ②(肝疾患・腎疾患)			

	該当する到達目標	予習	肝臓病・腎臓病の病態を理解しておく。	1.5 時間
	2	復習	講義の内容を確認する(次回小テストを実施)。	2 時間
6	講義内容	病態別の栄養管理を学ぶ③(内分泌・代謝性疾患)■		
	該当する到達目標	予習	糖尿病・脂質異常症の病態を理解しておく。	1.5 時間
	2	復習	講義の内容を確認する(次回小テストを実施)。	2 時間
7	講義内容	病態別の栄養管理を学ぶ④(循環器・呼吸器疾患)		
	該当する到達目標	予習	心不全・慢性閉塞性肺疾患の病態を理解しておく。	1.5 時間
	2	復習	講義の内容を確認する(次回小テストを実施)。	2 時間
8	講義内容	病態別の栄養管理を学ぶ⑤(癌・褥瘡)		
	該当する到達目標	予習	癌・褥瘡の病態を理解しておく。教科書 P200～201 を読んでおく。	1.5 時間
	2	復習	講義の内容を確認する	1.5 時間
備考	講義内容の理解を深めるために毎回小テストを実施する。 予習・復習については試験前後の勉強にて補完すること。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

看 056 臨床心理学

科目名	臨床心理学（看護基盤科目群・人間）			NRB201	講義
英文名	Medical treatment clinical psychology				
担当教員	千葉 千恵美				
科目に関連した実務経験	過去の場合：心理相談員として大学内付属の相談機関で勤務経験 現在の場合：心理相談員として本大学設置「子ども家族支援センター」で勤務				
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標	医療臨床による対人援助の基本を学び、より実践的な治療方法や支援方法について、ロールプレイを通じて学ぶ。またクライアントや家族の立場に立ち考え、医療従事者として力量を習得す事を目指す				
到達目標	1.医療臨床による臨床心理学を理解する事が出来る 2.医療臨床における臨床心理学の役割と関連性について理解する事が出来る 3.具体的な事例検討を通じクライアントの思いや家族の関わり等臨床場面で応用する事が出来る 4.体験的な治療方法や支援方法を学ぶことで、より実践的な治療や支援を考える事が出来る■ 5.様々な事例検討を通じて、治療方法や支援方法に気づくことで具体的な関わりをする事が出来る				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	事前の予習、積極的な授業参加 授業後の感想シート 20% 定期試験を判断する 80%				
課題に対するフィードバック	授業終了後感想シートの質問や内容に授業を通してフィードバックをする。また試験の課題についてフィードバックする				
使用教材	小林重雄監修「医療臨床心理学」2012 コレール社				
1	講義内容	オリエンテーション			
	該当する到達目標	予習	医療臨床について事前に第 1.3 章を調べ予習する		0.5 時間
	1	復習	医療臨床について学んだことを復習する		0.5 時間
2	講義内容	医療領域の臨床心理学の理解			
	該当する到達目標	予習	医療領域と臨床心理学の関連性について事前に p12-p15 を予習する		0.5 時間
	1.2	復習	医療領域と臨床心理学の関連性について復習する		0.5 時間
3	講義内容	医療領域の臨床心理学の役割			
	該当する到達目標	予習	医療領域における臨床心理学の役割について事前に p25-p29 調べ予習する		0.5 時間
	1.2	復習	医療領域における臨床心理学の役割について学んだことを復習する		0.5 時間
4	講義内容	心理面接について（面接の方法） ■			

	該当する到達目標	予習	心理面接について面接方法を事前に第 2 章を調べ予習する	0.5 時間
	1.2.3.5.	復習	クライアントに添った心理面接について学んだ事を復習する	0.5 時間
5	講義内容	面接の留意点について ■		
	該当する到達目標	予習	面接について事前に p16-p28 p36-p42 を調べ予習する	0.5 時間
	1.2.3.5.	復習	クライアントに添った対応や留意点について学んだ事を復習する	0.5 時間
6	講義内容	カウンセリング・心理療法について ■		
	該当する到達目標	予習	カウンセリングと心理療法の違いについて事前に p44-p47 を調べ予習する	0.5 時間
	1.2.3.5.	復習	カウンセリングと心理療法の違いについて学んだことを復習する	0.5 時間
7	講義内容	行動療法・集団心理療法について		
	該当する到達目標	予習	行動療法や集団心理療法について事前に p47-p56 を予習する	0.5 時間
	1.2.3.5.	復習	行動療法や集団心理療法について学んだことを復習する	0.5 時間
8	講義内容	ロールプレイ事例検討1(幼児期 児童期) ■		
	該当する到達目標	予習	幼児期・児童期に必要な対応を事前に第 3 章 p63-p74 を調べ予習する	0.5 時間
	1.2.3.4.5.	復習	事例で対応したロールプレイを振り返り、支援から得られたことを復習する	0.5 時間
9	講義内容	ロールプレイ事例検討2(思春期 青年期) ■		
	該当する到達目標	予習	思春期 青年期に必要な対応を事前に p74-p90 を調べ学習する	0.5 時間
	1.2.3.4.5.	復習	事例検討で対応したロールプレイを振り返り、支援から得られたことを復習する	0.5 時間
10	講義内容	ロールプレイ事例検討3(成人期 高齢期) 1.2.3.4.5.		
	該当する到達目標	予習	成人期 高齢期に必要な対応を事前に p90-p103 を調べ学習する	0.5 時間
	1.2.3.4.5.	復習	事例検討で対応したロールプレイを振り返り、支援から得られたことを復習する	0.5 時間
11	講義内容	ロールプレイ事例検討4(神経・精神領域医療)		
	該当する到達目標	予習	神経・精神領域医療に必要な支援について事前に第 4 章を調べ予習する	0.5 時間
	1.2.3.4.5.	復習	事例検討で対応した神経・精神領域医療について p122-132 p137-p141 振り返り必要な支援を復習する	0.5 時間
12	講義内容	リハビリテーション・高齢期医療での対応(事例検討・実践例)		
	該当する到達目標	予習	リハビリテーション・高齢期と臨床心理学について第 5 章を事前に調べ予習する	0.5 時間
	1.2.3.4.5.	復習	P163-p171 p173-182 の事例検討から得られた支援方法を振り返り復習を行う	0.5 時間
13	講義内容	医療の新しい領域のアプローチ(事例検討・実践例)		
	該当する到達目標	予習	医療の新しい領域アプローチについて事前に第 5 章を調べ予習する	0.5 時間

	1.2.3.4.5.	復習	終末期(死への臨床)p189-p197 得られた支援内容を復習する	0.5 時間
14	講義内容	箱庭療法(体験授業)■		
	該当する到達目標	予習	箱庭療法を体験的に学ぶため事前に配布した資料を読み予習する	0.5 時間
	1.2.3.4.5.	復習	箱庭療法を体験的に学ぶことによって得られた事項を復習する	0.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	臨床心理学で得られた内容を事前に整理し、まとめのための予習を行う	0.5 時間
	1.2.3.4.5.	復習	臨床心理学で得られた必要や授業内容を総合的に整理し復習する	0.5 時間
備考	授業の進め方:事例検討した後、グループワークを行い、授業で得た学びを感想シートに記載しまとめを行う。また「大学内「子ども家族支援センター」で箱庭体験授業を行う。事例検討ではロールプレイを行うなど積極的な授業参加が望まれる。オフィスアワー 火曜日 4.5 限目 KEYWORD 医療臨床 対人援助 クライアントと家族 実践力 chiba@takasaki-u.ac.jp 予習・復習については試験前後の勉強にて補完すること。 (■:実務経験に基づく内容を示す。)			

看 057 リスクマネジメント

科目名	リスクマネジメント（看護基盤科目群・環境）			NRB401	講義
英文名	Risk Management				
担当教員	安野朝子 小池洋子				
科目に関連した実務経験	総合病院の感染管理室長として勤務(経験)。総合病院感染管理アドバイザー(現在)				
学年・開講期	4 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	安全な医療の提供は、医療従事者の重要な責務であることを理解し、個人及び組織においてどのような対策が求められているかを学習する。				
到達目標	1.医療安全の基本的な考え方が理解できる。■ 2.患者安全の具体的な取り組みについて理解し、説明できる。■ 3.組織的な医療安全の概要が理解できる。■ 4.医療従事者の安全対策について理解し、説明できる。■ 5.事例分析を通して医療安全に対する看護師の役割が理解できる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
	✓	4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	授業参加度と課題レポート 40 点、定期末試験 60 点とし、総合評価 60 点以上を合格とする				
課題に対するフィードバック	前回の授業振り返りカードについて、次回授業初めにコメントし、フィードバックする。				
使用教材	教科書:ナースンググラフィカ「医療安全」松下由美子他著（MCメデイカ出版） 978-4-8404-5385-1(最新版) 講義スライドのプリントと随時資料を配布する。 参考図書:「医療安全ワークブック第 4 版」川村治子著(医学書院)2018 「看護学テキスト統合と実践—医療安全改訂第 2 版」小林美亜編(学研)2018				
1	講義内容	医療安全の考え方、歴史、安全文化の醸成			
	該当する到達目標	予習	教科書のはじめに、1 章-1, 2 章-1, 3 章-1, 4 章を読んでくる。		1.5 時間
	1,2	復習	講義内容、到達目標、成績評価及び医療安全を学ぶ意義、基本的な医療安全の考え方、理念、推移について整理する。		1.5 時間
2	講義内容	患者安全の考え方、看護業務における有害事象を起こさないための安全対策■			
	該当する到達目標	予習	教科書 5 章を読んでくる。		1.5 時間
	1,2	復習	誤認・KYT・誤薬・転倒転落・医療機器トラブルなどの予防について学んだことを整理する。		1.5 時間

3	講義内容	事故後の対応、インシデントレポートの活用、事故報告制度と法的規定 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書 1 章-2, 2 章-4, 8 章を読んでくる。	1.5 時間
	1,2	復習	医療事故後にどのような対応が必要か、法的な対応と予防策につなげる事故情報の活用について整理する。	1.5 時間
4	講義内容	医療事故分析方法、感染管理と医療安全、医療従事者の安全対策 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書 3 章-2 と 3, および 7 章を読んでくる。	1.5 時間
	2	復習	事故分析手法について理解する。感染管理も医療安全の重要な要素であることを知る。医療従事者の安全対策について理解する。	1.5 時間
5	講義内容	インシデント事例分析 1 グループ内で情報共有し 1 事例分析する		
	該当する到達目標	予習	実習で体験したインシデントについて情報をまとめてくる	1.5 時間
	2,3	復習	グループワークで分析した事例をまとめる	1.5 時間
6	講義内容	インシデント事例分析 2 分析した事例の発表		
	該当する到達目標	予習	実習で体験したインシデントについて情報をまとめてくる	1.5 時間
	2,3	復習	グループワークで分析した事例をまとめる	1.5 時間
7	講義内容	組織的な医療安全について理解し、医療安全に必要なコミュニケーションを理解する。 ■		
	該当する到達目標	予習	チームステップスについて、組織的な医療安全について調べる。	1.5 時間
	1,2,3	復習	医療現場で行われている組織的な安全対策について整理する。安全対策にコミュニケーションの力が必要な場面を振り返る。	1.5 時間
8	講義内容	医療における質評価、全体のまとめ ■		
	該当する到達目標	予習	教科書 2 章-5 を読んでくる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	医療における質評価とは何かを理解し整理する。講義全体のまとめから自分の学びを振りかえりレポートを作成する。	1.5 時間
備考	オフィスアワー：火曜日3. 4限 メールアドレス: yasuno@takasaki-u.ac.jp 研究室: 5 号館 4 階 404 室 ・実習中のインシデント事例について、全員がインシデントレポートを 1 枚書き、グループ内で共有する。 ・共有した 1 事例をグループ全員で原因分析し、再発防止対策を立案し、発表する。 ■: 感染管理室長として医療安全部門を運営してきた経験を活かし、学生に必要な要素を授業に盛り込む。大学病院の副看護部長をゲストスピーカーに招く(第7回)。			

看 058 疫学

科目名	疫学（看護基盤科目群・環境）			NRB202	講義
英文名	Epidemiology				
担当教員	宮崎 有紀子				
科目に関連した実務経験	・看護師として病院に勤務（経験） ・保健師（非常勤）として健診業務等に従事（経験）				
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	人間集団の疾病および健康現象の発生状況を把握し、それに影響を及ぼす要因や条件を包括的に探る方策として、疫学の考え方や方法について学ぶ。				
到達目標	1.疫学の考え方や方法について理解できる。 2.集団の健康指標について理解できる。 3.リスクの考え方、および曝露効果に関する指標の意味が理解できる。 4.因果関係を示す方法について理解できる。 5.スクリーニングの意義と妥当性について理解できる。■				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	定期試験 70%, 提出物(出席カード等)30% 総合評価 60%以上を合格とする				
課題に対するフィードバック	提出物にコメントし、共有する。				
使用教材	教科書 最新保健学 6 疫学／保健統計 編集・丸井英二（メヂカルフレンド社） ISBN978-4-8392-2184-3 講義の内容をプリントにて配布する				
1	講義内容	疫学の概要			
	該当する到達目標	予習	教科書の前書き, シラバスの内容を読み講義の目標などを理解する		1 時間
	1	復習	講義内容を確認する。教科書第 1 章に目を通す		1.5 時間
2	講義内容	記述疫学と仮説設定			
	該当する到達目標	予習	教科書第 2 章 2-A に目を通す		1 時間
	1	復習	講義内容を確認する		1.5 時間
3	講義内容	横断研究・生態学的研究			
	該当する到達目標	予習	教科書第 4 章 1-A,1-B に目を通す		1 時間

	1	復習	講義内容を確認する	1.5 時間
4	講義内容	疾病頻度の測定: 率、比、割合		
	該当する到達目標	予習	教科書第 3 章 1-A～1-D に目を通す	1 時間
	2	復習	講義内容を確認する	1.5 時間
5	講義内容	コホート研究		
	該当する到達目標	予習	教科書第 4 章 1-D に目を通す	1 時間
	1,3	復習	講義内容を確認する	1.5 時間
6	講義内容	症例対照研究		
	該当する到達目標	予習	教科書第 4 章 1-C に目を通す	1 時間
	1,3	復習	講義内容を確認する	1.5 時間
7	講義内容	介入研究		
	該当する到達目標	予習	教科書第 4 章 1E に目を通す	1 時間
	1	復習	講義内容を確認する	1.5 時間
8	講義内容	疫学調査の倫理		
	該当する到達目標	予習	教科書第 4 章 6 に目を通す	1 時間
	1	復習	講義内容を確認する	1.5 時間
9	講義内容	疫学的因果推論		
	該当する到達目標	予習	教科書第 4 章 2～5 に目を通す	1 時間
	4	復習	講義内容を確認する	1.5 時間
10	講義内容	スクリーニングの意義 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書第 5 章 2 に目を通す	1 時間
	5	復習	講義内容を確認する	1.5 時間
11	講義内容	スクリーニングの方法 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書第 5 章 1-A～1-C に目を通す	1 時間
	5	復習	講義内容を確認する	1.5 時間
12	講義内容	スクリーニングの評価 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書第 5 章 1-D に目を通す	1 時間
	5	復習	講義内容を確認する	1.5 時間
13	講義内容	疾病登録／疫学と公衆衛生看護		
	該当する到達目標	予習	教科書第 7 章, 第 8 章に目を通す	1 時間
	1	復習	講義内容を確認する	1.5 時間
14	講義内容	演習(1) 疫学調査事例 1,2,3,4		
	該当する到達目標	予習	教科書第 6 章 4-A, 4-B に目を通す	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を確認する	1.5 時間
15	講義内容	演習(2) 疫学調査事例		
	該当する到達目標	予習	教科書第 4 章に目を通す	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を確認する	1.5 時間

授業は教科書と教員の作成するプリントを使って、要点をまとめていく。またパワーポイントにより図等の提示を行っていく。

予習・復習については試験前の学習で補完すること

オフィスアワー：授業の前後

■：実務経験に基づく内容を示す

看 059 社会調査特論

科目名	社会調査特論（看護基盤科目群・環境）			NRB203	講義
英文名	Social Research Advanced Course				
担当教員	安達 正嗣				
科目に関連した実務経験	兵庫県庁の家庭問題研究所において３年間、研究員および主任研究員として兵庫県の各市町村で家族・高齢者・福祉調査を実施して調査資料を作成することによって、各課への政策提言をおこなった。				
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標	保健医療分野における実証的研究の手法として、社会調査の基本的な知識や技法を解説することによって、現代の看護師の業務における社会調査の大きな意義を理解する。				
到達目標	1.看護学を専攻する大学生としての基礎的知識力として、社会調査の基本を身につけることができる。 2.社会調査を学ぶことを通じて、人間理解と倫理観を身につけることができる。 3.社会調査の技法を学ぶことで、論理的思考力と問題解決力を身につけることができる。■ 4.社会調査を学ぶことで、看護の現場のチームの一員としての協調・協働を身につけることができる。 5.社会調査の技法を会得することで、国際比較の統計学の基礎を理解して、国際理解力を身につけることができる。 6.社会調査の基礎を身につけることで、専門家としての生涯学習力を身につけることができる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	第２回以降に毎回、提出する作業レポート(50%)、ならびに学期末レポート(50%)により、評価する。				
課題に対するフィードバック	第２回以降に毎回、提出する作業レポートにコメントがつけられて返却されるので、これを参考にしながら、最終的な学期末レポートを作成する。				
使用教材	毎回の講義において、適宜、資料を配布する。				
1	講義内容	オリエンテーションをおこなう。配布資料(第１回分)に基づいて社会調査の概要を解説する。			
	該当する到達目標	予習	不要。		1.5 時間
	1,2,3,6	復習	社会調査の概要について理解しておくこと。		1.5 時間
2	講義内容	配布資料(第２回分)に基づいて、社会調査のための情報資源にいかにかアクセスするか、それをどのように活かしていくのかを解説する。			
	該当する到達目標	予習	第１回で配布される資料(第２回分)を読んでおくこと。		1.5 時間
	1,2,3,4,6	復習	各自が自分の関心にしたがって、調査にむけての情報を収集して、次		1.5 時間

			回に小レポートを作成する。	
	講義内容	配布資料(第3巻分)に基づいて、量的調査(質問紙調査)と質的調査(面接調査)について解説する。小レポートを回収する。実務での調査経験の事例を提示する。■		
3	該当する到達目標	予習	第2回で配布される資料(第3回分)を読んでおくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4,6	復習	とくに質問紙調査の手法について理解することによって、各自の関心に基づいたテーマと仮説を小レポートとして作成する。	1.5 時間
	講義内容	各自のテーマと仮説を全体で検討した後で、配布資料に基づいて調査票の作成方法を解説する。小レポートにコメントをつけて返却する。		
4	該当する到達目標	予習	第3回で配布された資料(第4回分)を読んでおくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4,6	復習	講義中のコメントを参考にして、各自のテーマと仮説を修正しておくこと。また、その仮説を検証するための調査票を小レポートとして作成すること。	1.5 時間
	講義内容	データの分析方法について、配布資料に基づいて解説する。小レポートにコメントをつけて返却する。		
5	該当する到達目標	予習	第4回で配布された資料(第5回分)を読んでおくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4,6	復習	データの分析方法について復習しておくこと。	1.5 時間
	講義内容	教室内で各自の修正された調査票を配布して、実査(調査者側と被調査者側)を体験する。小レポートにおコメントをつけて返却する。		
6	該当する到達目標	予習	第5回で配布された資料(第6回分)を読んでおくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4,6	復習	各自の記入済みの調査票を点検しておく。	1.5 時間
	講義内容	調査報告書のまとめ方について、配布資料で解説する。		
7	該当する到達目標	予習	第6回で配布された資料(第7回分)を読んでおく。	1.5 時間
	1,2,3,4,6	復習	データの分析方法を復習して、データの分析をおこなうこと。	1.5 時間
	講義内容	全講義を振り返って、あらためて社会調査のやり方について解説する。		
8	該当する到達目標	予習	これまでの講義の配布資料を読んでおく。	3 時間
	1,2,3,4,5,6	復習	これまでの講義の配布資料に基づいて、調査報告書を作成する。	3 時間
備考	講義の進め方としては、調査研究をおこなうプロセスに沿いながら、テーマの決定、仮説の設定、質問紙の作成、実査のやり方、データの分析・考察、報告書の書き方といった段階に応じた受講生に作業レポートを提出してもらい、最終的にはそれらのレポートを総合的にまとめた学期末レポートを提出してもらい、調査研究のプロセスへの理解を深めるようにしている。 1度でも欠席すると講義に参加できなくなるので、8回すべてに出席することが不可欠です。 オフィスアワーは、火曜日5限と水曜日3限です。 ■：実務経験に基づく内容を示す。			

看 060 公衆衛生学

科目名	公衆衛生学（看護基盤科目群・環境）			NRB106	講義
英文名	Public Health				
担当教員	亀尾 聡美				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	公衆衛生学は健康な集団に対して予防医学的なアプローチを行うところに特徴がある。公衆衛生学の歴史を学びながら、このような公衆衛生学の特徴、社会・環境と健康の関連を理解し、現在の公衆衛生学的なものの見方や考え方を習得する。				
到達目標	1. 公衆衛生学に関する基本的な概念を理解し説明できる。 2. 関連する法律・法制度、基本的な用語、社会・環境と健康の関連を説明できる。 3. 現在のわが国の公衆衛生活動を理解し説明できる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	定期試験80%、講義中のミニレポート(2回)20%で評価する。 総合評価60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	ミニレポートにはコメントを付けて返却する。				
使用教材	教科書:「衛生・公衆衛生学」(アイ・ケイコーポレーション) ISBN978-4-87492-356-6 C3047 講義中に、教科書中の図・表を参照する。また、予習・復習で学習する際に利用する。 講義概要を毎回プリントして配布する。				
1	講義内容	公衆衛生学概論1: 公衆衛生学の概念・健康の概念			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容、教科書の前書き・第1章に目を通し、講義の目標を理解する。		1.5.時間
	1	復習	講義の目標、公衆衛生学の概念・健康の概念を理解する。		1.5 時間
2	講義内容	公衆衛生学概論2: 公衆衛生学の歴史			
	該当する到達目標	予習	教科書の第1章・第2章に目を通す。		1.5 時間
	1	復習	世界および日本の公衆衛生学の歴史を学び、公衆衛生学の重要性を		1.5 時間

			理解する。	
3	講義内容	保健統計 1:人口統計		
	該当する到達目標	予習	教科書の第4章に目を通す。	1.5 時間
	2	復習	代表的な保健統計、・主な健康指標を理解する。現在の日本の人口構造の特徴を理解する。	1.5 時間
4	講義内容	保健統計 2:死因統計・疾病統計		
	該当する到達目標	予習	教科書の第4章、第8章に目を通す。	1.5 時間
	2	復習	死因順位・疾病構造における日本の特徴を理解する。	1.5 時間
5	講義内容	環境保健1:環境と健康 環境要因		
	該当する到達目標	予習	教科書の第15章に目を通す。	1.5 時間
	2	復習	人々の健康に影響を及ぼす環境要因、環境に関する法律・制度を理解する。	1.5 時間
6	講義内容	環境保健2:公害(水質汚濁)		
	該当する到達目標	予習	教科書の第15章に目を通す。	1.5 時間
	2	復習	公害の歴史および、公害の例として水俣病などの水質汚濁について理解する。	1.5 時間
7	講義内容	環境保健3:公害(大気汚染)		
	該当する到達目標	予習	教科書の第15章に目を通す。	1.5 時間
	2	復習	公害の例として大気汚染と環境基準について理解する。	1.5 時間
8	講義内容	生活の中の環境衛生		
	該当する到達目標	予習	教科書の第15章に目を通す。	1.5 時間
	2	復習	生活の中の環境衛生に関連する健康障害について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	食品衛生:食品と健康		
	該当する到達目標	予習	教科書の第7章、第15章に目を通す。	1.5 時間
	2	復習	食品と健康増進および関連する法律、食中毒について理解する。	1.5 時間
10	講義内容	食品の安全とリスク分析		
	該当する到達目標	予習	教科書の第15章に目を通す。	1.5 時間
	2	復習	食の安全をまもる法律・制度、食品のリスク分析について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	母子保健		
	該当する到達目標	予習	教科書の第11章に目を通す。	1.5 時間
	2,3	復習	母子保健の目的・役割、関連する法律・制度について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	学校保健		
	該当する到達目標	予習	教科書の第12章に目を通す。	1.5 時間
	2,3	復習	学校保健の目的・役割、関連する法律・制度について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	産業保健:職域の健康管理		
	該当する到達目標	予習	教科書の第13章に目を通す。	1.5 時間
	2,3	復習	働く人々の安全と健康をまもるための関連する法律・制度について理	1.5 時間

			解する。	
14	講義内容	高齢者保健		
	該当する到達目標	予習	教科書の第14章に目を通す。	1.5 時間
	2,3	復習	高齢者保健の目的・意義、高齢者保健事業などの制度について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	地域保健		
	該当する到達目標	予習	教科書の第9章、第10章、第14章に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	地域保健の目的・役割および関連する法律・地域保健活動について理解する。	1.5 時間
備考	オフィスアワー：毎回講義終了後に質問等を受け付ける。 授業期間全体を通じた授業の進め方：講義は教員の作成する講義概要のプリント・教科書および、パワーポイントを使用して、毎回の講義の目標を明らかにし、要点をまとめて説明していく。 参考書：「国民衛生の動向」（厚生労働統計協会） 講義外学習への助言：講義に関連する報道や新聞記事など実際の社会における公衆衛生学的内容に関心を持つこと。関連する法律に目を通してみる。 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。 （■：実務経験に基づく内容を示す。）			

看 061 保健医療福祉行政論

科目名		保健医療福祉行政論（看護基盤科目群・環境）			NRB204	講義
英文名		Social Welfare and Policy in Health Care				
担当教員		小出 省司				
科目に関連した実務経験		福祉系大学を卒業後群馬県庁に奉職し、40 数年の勤務で約 3 分の2を福祉、保健医療関係の業務に従事した。また退職後「病院管理者」として県立病院の運営を担当し、それらの経験等を授業の中で生かしたい。				
学年・開講期		2 年 後期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標		地域看護における保健・医療・福祉活動を深く理解するため、保健・医療・福祉活動に関わる多面的な法的基盤や財政の状況を知る。あわせて、地域における活動の現状と今後の課題を考える機会とする。				
到達目標		1.国・都道府県及び市町村で実施している保健・医療・福祉施策について学ぶと共に、それぞれの役割を理解し、説明できるようになる。■ 2.医療の専門職として、それぞれの事業へどのような関わりができるかを考え、説明することができる。■				
学位授与方針との対応		✓	1. 人間理解と倫理観			
		✓	2. 論理的思考・問題解決力			
			3. チームの一員としての協調・協働			
			4. 国際理解			
			5. 生涯学習力			
評価方法		期末試験(90%)及び、毎回の授業終了時に提出する質問・感想・意見等(10%)により総合的に評価する。				
課題に対するフィードバック		授業中、可能な限り質問を受けたり、各課題に対する学生の意見を聞く中でフィードバックしていきたい。				
使用教材		1標準保健師講座「保健医療福祉行政論」(医学書院) 2「国民衛生の動向」(厚生労働統計協会) その他、必要により関連する資料を配布する。				
1	講義内容	オリエンテーション				
	該当する到達目標	予習	この科目を受講する意味を考えて、問題意識を深める。■			1 時間
	1,2	復習	今まで学んだ看護各科目の知識との関連を考察する。■			1 時間
2	講義内容	保健・医療・福祉の連携				
	該当する到達目標	予習	保健・医療・福祉の各分野の概要を修得する。(教科書1の2～16 頁) ■			1 時間
	1,2	復習	相互の関連制等を理解する。■			1 時間

3	講義内容	保健・医療・福祉の行政		
	該当する到達目標	予習	行政がどのような役割を果たしているか理解する。(教科書1の54～61頁)■	1時間
	1,2	復習	各行政機関の役割分担は機能しているか。■	1時間
4	講義内容	保健・医療・福祉の財政		
	該当する到達目標	予習	財政は制度に一番の影響を与えるが内容を理解する。(教科書1の74～80)■	1時間
	1,2	復習	社会保障給付費の動きに注目。■	1時間
5	講義内容	保健・医療・福祉の法律		
	該当する到達目標	予習	日本国憲法をはじめとする各法律を理解する。(教科書1の91～92)■	1時間
	1,2	復習	関係法律と各事業の実施状況の関連。■	1時間
6	講義内容	保健・医療・福祉の歴史		
	該当する到達目標	予習	今日の制度はどのような変遷を経てきたか理解する。(教科書1の18～52)	1時間
	1,2	復習	社会経済の発展に併せて保健・医療・福祉も変遷して来たかを理解する。	1時間
7	講義内容	1 社会保障制度、2 衛生行政の体系		
	該当する到達目標	予習	1で社会保障制度の内容理解(教科書1の126～132)■	1時間
	1,2	復習	2で衛生行政の体系を理解する。(教科書2の7～41)■	1時間
8	講義内容	1 地域保健、2 衛生の主要指標		
	該当する到達目標	予習	1で地域保健の概要を理解する。(教科書1の150～173)■	1時間
	1,2	復習	2で衛生の主要指標を理解する。(教科書2の44～86)■	1時間
9	講義内容	1 社会福祉制度、2 生活習慣病と健康増進対策		
	該当する到達目標	予習	1で社会福祉制度の各論を理解する。(教科書1の134～148)■	1時間
	1,2	復習	2で生活習慣病と健康増進対策の中身を検証(教科書2の88～98)■	1時間
10	講義内容	1 医療制度、2 保健対策、感染症対策、疾病対策 1,2		
	該当する到達目標	予習	1で医療制度の課題について理解する。(教科書1の95～109)■	1時間
	1,2	復習	2で保健、感染症、疾病等の対策を理解する。(教科書2の104～179)■	1時間
11	講義内容	1 介護保険制度、2 医療保健制度		
	該当する到達目標	予習	1で介護保険制度の概要を理解する。(教科書1の114～125)■	1時間
	1,2	復習	2で医療保険制度について理解する。(教科書2の227～246)■	1時間
12	講義内容	1 保健、医療、福祉の専門職、2 薬事対策		
	該当する到達目標	予習	1で関係の専門職の役割等を理解する。(関係資料)■	1時間
	1,2	復習	2で薬事対策の概要を理解する。(教科書2の261～287)■	1時間
13	講義内容	1 保健医療福祉計画、2 労働衛生、環境保健、学校保健		
	該当する到達目標	予習	1で保健医療福祉計画を何故立てるのかを理解する。(教科書1の176	1時間

			から 222)■	
	1,2	復習	2で労働衛生、環境保健、学校保健の制度を理解する。(教科書2の318～384)	1 時間
14	講義内容	保健・医療・福祉の今後の課題 1,2		
	該当する到達目標	予習	既に学習した各論が今後どのような課題を持つか検討していく。■	1 時間
	1,2	復習	将来の仕事等はどう活かすべきか考察する。■	1 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	この科目で学ぶべきことは何だったのかを考察する。■	1 時間
	1,2	復習	もう一度教科書等を復習してポイントを押さえていく。■	1 時間
備考	授業については、教科書の内容を確認しながら、原則パワーポイントで説明していく。①前置き、②本論(前半)、③休憩、④本論(後半)、⑤まとめと進め、学生からの質問も受けていく。 ・予習・復習については、試験前後の学習で補完すること。 ・質問等は授業中に行うことが望ましいが、授業開始前もしくは終了後に教室で応じる。 (■:実務経験に基づく内容を示す。)			

看 062 医療情報システム論

科目名	医療情報システム論（看護基盤科目群・環境）			NRB205	講義
英文名	Medical Information System Theory				
担当教員	一戸 真子				
科目に関連した実務経験	病院評価者として、数多くの病院の病院情報システムや電子カルテシステムの実際について熟知している。				
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標	情報テクノロジーの進歩に伴い、医療現場における医療情報システム化が進んできている現状を理解することにより、どのようなことが患者・家族―看護師関係および看護師―医師関係、その他の医療従事者間において変化してきているかについて学習する。電子カルテシステムにはどのような情報が含まれているか、医療情報のシステム化が医療の質の向上にどのように貢献可能であるかについて理解を深め、チーム医療時代における医療情報システムのあり方、医療安全への貢献についても理解を深める。更に地域医療連携情報システムについても学習する。				
到達目標	1.医療情報システムの定義および関係する制度や情報の量と質について説明できる。 2.オーダーリングシステムおよび電子カルテシステムの実際について説明できる。■ 3.医療情報システムにおける患者・家族―看護師関係および看護師―医師関係、その他の医療従事者関係の変化について説明できる。 4.医療情報システムが、医療現場における医療の質の向上および医療の安全にどのように貢献できるか説明できる。■ 5.地域医療連携情報システムと標準化について説明できる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	定期試験80%、小レポート 20%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	小レポートの返却および解説を行う。 定期試験後に問題出題意図を説明する。				
使用教材	教科書「医療情報システム入門」保健医療福祉情報システム工業会 JAHIS 編（社会保険研究所）最新版 ISBN 978-4-7894-1893-5 C3047				
1	講義内容	医療情報システムの基礎と実際			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 1 章の第 1 部に目を通す。		1 時間
	1	復習	病院情報システムを理解する。		1.5 時間

2	講義内容	医療のIT化に関する諸制度 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第1章の第2部に目を通す。	1 時間
	1	復習	病院業務とIT、診療報酬制度との関係を理解する。	1.5 時間
3	講義内容	オーダシステム ■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第2章の第1部に目を通す。 ■	1 時間
	2	復習	システムの効果について理解する。	1.5 時間
4	講義内容	電子カルテシステム、電子カルテシステムの実際 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第2章の第2部に目を通す。	1 時間
	2	復習	電子カルテシステムの機能について理解する。	1.5 時間
5	講義内容	患者・家族中心のシステムに求められる視点 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第3章の第1部、第2部に目を通す。	1 時間
	3	復習	患者・家族—看護師関係、看護師—医師関係とシステムについて理解する。	1.5 時間
6	講義内容	チーム医療と医療情報システム ■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第3章の第3部、第4部に目を通す。	1 時間
	3	復習	各部門におけるシステムを理解し、チーム医療との関係を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	医療の質の向上、安全とシステム ■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第4章の第1部に目を通す。	1 時間
	4	復習	リスク管理システムやセキュリティについて理解する。	1.5 時間
8	講義内容	医療情報システムの今後 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第4章の第2部、第3部に目を通す。	1 時間
	5	復習	医療情報の標準化や地域医療連携情報システムについて理解する。	1.5 時間
備考	基礎的事項については、教科書に沿って理解が深まるよう丁寧に進め、医療現場の実際については、適宜詳細に説明を加えながら理解できるよう授業を進めていく。 ・予習・復習については、試験前後の学習で補完すること。 ・質問等は授業中に行うことが望ましいが、授業開始前もしくは終了後に教室で応じる。 (■:実務経験に基づく内容を示す。)			

看 063 薬理学

科目名	薬理学（看護基盤科目群・健康）			NRB206	講義
英文名	Pharmacology				
担当教員	伊藤政明				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	医薬品の作用する過程を理解するために、代表的な薬物の作用、作用機序、及び体内での運命に関する基本的知識を修得する。				
到達目標	基本的な疾患についての代表的な治療薬を挙げ、その作用機序ならびに副作用を説明できる。 1. 薬はどのように作用するのか説明できる。 2. 薬はどのように体内をめぐるのか説明できる。 3. 薬効に影響する因子・薬物の有害作用はなぜおこるのか・薬害問題について説明できる。 4. 抗感染症薬について説明できる。 5. 抗がん薬・免疫治療薬について説明できる。 6. 抗アレルギー薬・抗炎症薬について説明できる。 7. 末梢神経系に作用する薬について説明できる。 8. 中枢神経系に作用する薬 について説明できる。 9. 心臓・血管系に作用する薬 について説明できる。 10. 呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬について説明できる。 11. 物質代謝に作用する薬について説明できる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	受講態度(10%)および期末試験(90%)から総合的に評価する。				
課題に対するフィードバック	講義の単元ごとに確認問題を提示し、その解説を行う。				
使用教材	系統看護学講座専門基礎分野「薬理学」第14版 吉岡充弘他編 医学書院 2018年 2,484円 講義のスライドを随時プリントして配布する。				
1	講義内容	薬理学の概念			
	該当する到達目標	予習	教科書の総論第1章と第2章のFに目を通しておくこと。		1 時間

	1	復習	確認問題を活用し、講義内容の要点を理解してまとめること。	1 時間
2	講義内容	薬はどのように作用するのか		
	該当する到達目標	予習	教科書 第 2 章の A に目を通しておくこと。	1 時間
	1	復習	確認問題を活用し、講義内容の要点を理解してまとめること。	1 時間
3	講義内容	薬はどのように体内をめぐるのか		
	該当する到達目標	予習	教科書 第 2 章の B に目を通しておくこと。	1 時間
	2	復習	確認問題を活用し、講義内容の要点を理解してまとめること。	1 時間
4	講義内容	薬効に影響する因子・薬物の有害作用はなぜおこるのか・薬害問題		
	該当する到達目標	予習	教科書第 2 章の C、D、E に目を通しておくこと。	1 時間
	3	復習	確認問題を活用し、講義内容の要点を理解してまとめること。	1 時間
5	講義内容	抗感染症薬		
	該当する到達目標	予習	教科書 第 3 章に目を通しておくこと。	1 時間
	4	復習	確認問題を活用し、講義内容の要点を理解してまとめること。	1 時間
6	講義内容	抗がん薬・免疫治療薬		
	該当する到達目標	予習	教科書 第 4 章と第 5 章に目を通しておくこと。	1 時間
	5	復習	確認問題を活用し、講義内容の要点を理解してまとめること。	1 時間
7	講義内容	抗アレルギー薬・抗炎症薬		
	該当する到達目標	予習	教科書 第 6 章に目を通しておくこと。	1 時間
	6	復習	確認問題を活用し、講義内容の要点を理解してまとめること。	1 時間
8	講義内容	末梢神経系に作用する薬(1)		
	該当する到達目標	予習	教科書 第 7 章の A、B、C に目を通しておくこと。	1 時間
	7	復習	確認問題を活用し、講義内容の要点を理解してまとめること。	1 時間
9	講義内容	末梢神経系に作用する薬(2)		
	該当する到達目標	予習	教科書 第 7 章の D、E に目を通しておくこと。	1 時間
	7	復習	確認問題を活用し、講義内容の要点を理解してまとめること。	1 時間
10	講義内容	中枢神経系に作用する薬 (1)8		
	該当する到達目標	予習	教科書 第 8 章の A、B、C、D に目を通しておくこと。	1 時間
	8	復習	確認問題を活用し、講義内容の要点を理解してまとめること。	1.5 時間
11	講義内容	中枢神経系に作用する薬 (2)		
	該当する到達目標	予習	教科書 第 8 章の E、F、G、H に目を通しておくこと。	1 時間
	8	復習	確認問題を活用し、講義内容の要点を理解してまとめること。	1 時間
12	講義内容	心臓・血管系に作用する薬 (1)		
	該当する到達目標	予習	教科書 第 9 章の A、B、C、D に目を通しておくこと。	1 時間
	9	復習	確認問題を活用し、講義内容の要点を理解してまとめること。	1 時間
13	講義内容	心臓・血管系に作用する薬 (2)		
	該当する到達目標	予習	教科書 第 9 章の E、F、G、H に目を通しておくこと。	1 時間
	9	復習	確認問題を活用し、講義内容の要点を理解してまとめること。	1 時間

14	講義内容	呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬 10		
	該当する到達目標	予習	教科書 第 10 章に目を通しておくこと。	1 時間
	10	復習	確認問題を活用し、講義内容の要点を理解してまとめること。	1 時間
15	講義内容	物質代謝に作用する薬		
	該当する到達目標	予習	教科書 第 11 章に目を通しておくこと。	1 時間
	11	復習	確認問題を活用し、講義内容の要点を理解してまとめること。	1 時間
備考	教職必修科目			
	オフィスアワー;木曜 5 限。金曜 5 限。その他適宜対応可能(7 号館 325 研究室)。			
	担当 伊藤政明メールアドレス: mito@takasaki-u.ac.jp			
	各分野ごとに疾患治療に用いられる代表的な薬物を取り上げ、その作用機序を説明する。			
	予習復習の不足分は、試験前の学習で補完すること			

看 064 微生物学

科目名	微生物学（看護基盤科目群・健康）			NRB107	講義
英文名	Microbiology				
担当教員	桑原敦志				
科目に関連した実務経験	医師として大学病院検査部、感染制御部に勤務。現在、非常勤内科医師として一般内科、甲状腺専門外来を病院で担当している。				
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	微生物感染症は、先進国においては過去の疾患と思われがちであるが、高齢者やがんなどの患者では、免疫力が低下しているために感染症を起こしやすく、日本人の死亡原因の第 4 位の肺炎は微生物感染症である。入院患者では、院内感染症の発生が致命的となる。看護職にある者にとって必須の感染症の発生要因、予防法、治療法について理解することが本講座の目的である。				
到達目標	1. 微生物に関する基本的知識が説明できる。 2. 病原体となる微生物の特徴を説明することができる。■ 3. 病原微生物に対する消毒や化学療法が説明できる。■ 4. 院内感染防止など感染予防の説明ができる。■ 5. 感染症から身を守るための免疫システムの説明ができる。■				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	定期試験 100％で評価する。 総合評価 60％以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	定期試験後には解答を公表し、自己学習を行えるようにする。				
使用教材	テキスト:系統看護学講座[微生物学]（医学書院） ISBN978-4-260-03183-7 講義に合わせた空欄のあるプリントを配布する。				
1	講義内容	微生物の概要			
	該当する到達目標	予習	教科書第 1 章に目を通す。		1 時間
	1	復習	微生物の種類や人と微生物のかかわりについて理解する。		1.5 時間
2	講義内容	微生物の種類と特徴①細菌			
	該当する到達目標	予習	教科書第 2 章に目を通す。		1 時間

	1,2	復習	細菌の特徴、携帯、常在細菌について理解する。■	1.5 時間
3	講義内容	微生物の種類と特徴②真菌、原虫、ウイルス		
	該当する到達目標	予習	教科書第 3,4,5 章に目を通す。	1 時間
	1,2	復習	真菌、原虫の特徴、ウイルスの構造と種類について理解する。■	1.5 時間
4	講義内容	感染と感染症		
	該当する到達目標	予習	教科書第 6 章に目を通す。	1 時間
	1,2	復習	感染と感染症違い、病原体別の感染経路を理解する。■	1.5 時間
5	講義内容	感染に対する生体防御機構①		
	該当する到達目標	予習	教科書第 7 章Aに目を通す。	1 時間
	5	復習	微生物感染を防ぐ生体のバリアーと免疫機構を理解する。■	1.5 時間
6	講義内容	感染に対する生体防御機構②		
	該当する到達目標	予習	教科書第 7 章Bに目を通す。	1 時間
	5	復習	液性免疫と細胞性免疫、感染徴候と症状について理解する。■	1.5 時間
7	講義内容	感染源・感染経路からみた感染症		
	該当する到達目標	予習	教科書第 8 章に目を通す。	1 時間
	1,2	復習	空気感染、飛沫感染、接触感染の感染機序を理解する。■	1.5 時間
8	講義内容	感染症の予防		
	該当する到達目標	予習	教科書第 9 章に目を通す。	1 時間
	3	復習	消毒・滅菌法や標準予防策を理解する。■	1.5 時間
9	講義内容	感染症の検査と診断		
	該当する到達目標	予習	教科書第 10 章に目を通す。	1 時間
	1,4	復習	細菌学的検査法、真菌、ウイルス、寄生虫の検査法と遺伝学的検査を理解する。■	1.5 時間
10	講義内容	感染症の治療 3		
	該当する到達目標	予習	教科書第 11 章に目を通す。	1 時間
	3,4	復習	化学療法と薬剤感受性、薬剤耐性のメカニズムを理解する。■	1.5 時間
11	講義内容	ヒト免疫不全ウイルス		
	該当する到達目標	予習	教科書第 16 章 14-2 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	HIVに関する基礎知識とエイズ発症に関して理解する。■	1.5 時間
12	講義内容	消化器・尿路感染症		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	1,2,4	復習	ノロウイルス感染症や細菌性食中毒、尿路感染の病原体を理解する。■	1.5 時間
13	講義内容	呼吸器感染症		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	1,2,4	復習	呼吸器感染を起こす病原体、結核感染やインフルエンザ感染を理解する。■	1.5 時間

14	講義内容	院内感染対策・予防接種 4		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	4	復習	院内感染防止のための標準予防策や予防接種を理解する。■	1.5 時間
15	講義内容	最近話題の感染症及びまとめ		
	該当する到達目標	予習	教科書第 12 章に目を通す。配布プリントに目を通す。	1 時間
	1,2	復習	エボラウイルスやジカウイルスなど最近の感染症を理解する。■	1.5 時間
備考	オフィスアワー:水曜日 3 時限、質問はメールでも受け付ける。 授業は教科書と教員の作成するプリントを使って、要点をまとめていく。パワーポイントによる図の提示を行っていく。 メールアドレス:kuwabara@takasaki-u.ac.jp 研究室:5 号館 6 階 601 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

看 065 病理学

科目名	病理学（看護基盤科目群・健康）			NRB207	講義
英文名	Pathology				
担当教員	福田利夫、瀬川篤記、下田雄輝				
科目に関連した実務経験	福田、瀬川、下田：病理専門医、細胞診専門医として病理診断、細胞診断に従事				
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	病理学は、解剖学とともに、近現代医学の根幹である。病理学によって確立された医学上の諸概念を知悉しておくことは、初学者から専門職医療人に至るまで、医療に携わるものにとっては避けては通れないものである。この講義では、これまで学んだ、解剖学、組織学、生化学、生理学の知識を確認しながら、「からだのかたちの変化としての病気」をみてゆく、そして、疾病の病因論、病理形態学の基礎知識を学習し、今後の勉学の礎を形成することが目標である				
到達目標	1.病理学の基礎的な概念、用語を理解し、人に説明できる。 2.各臓器で、経験する頻度が高く、重要な疾患の概要を説明できる。■				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	期末試験の成績と講義中の小テスト等の成績を総合評価（7：3）し、合計60点以上を可とする。				
課題に対するフィードバック	期末試験後に、問題出題意図の解説を文書で配布する				
使用教材	系統看護講座専門基礎病理学、大橋健一ら著、医学書院、2018 年				
1	講義内容	病理学概論			
	該当する到達目標	予習	教科書の前書き、シラバス内容を読んで講義目標など理解する。		1.5 時間
	1,2	復習	病理学、病理診断学の医学、医療における意義を確認する。		1.時間
2	講義内容	病理総論1 腫瘍 ■			
	該当する到達目標	予習	教科書の腫瘍の部分に目を通す。		1.5 時間
	1,2	復習	ヒトの腫瘍の種類、原因、病理学的特徴を理解する。		1.時間
3	講義内容	病理総論2 炎症 ■			
	該当する到達目標	予習	教科書の炎症の部分に目を通す。		1.5 時間
	1,2	復習	炎症の種類、原因、結果、病理学的特徴を理解する。		1.時間
4	講義内容	病理総論3 循環障害 ■			
	該当する到達目標	予習	教科書の循環障害の部分に目を通す。		1.5 時間
	1,2	復習	循環障害の種類、原因、結果、病理学的特徴を理解する。		1.時間

5	講義内容	病理総論4 感染症、免疫異常 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書の感染症、免疫異常の部分に目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	感染症、免疫異常の種類、原因、結果、病理学的特徴を理解する。	1.時間
6	講義内容	病理総論5 代謝障害・生活習慣病・遺伝性疾患 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書の代謝障害・生活習慣病・遺伝性疾患の部分に目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	代謝障害・生活習慣病・遺伝性疾患の原因、結果、病理学的特徴を理解する。	1.時間
7	講義内容	病理各論1 消化器 ■		
	該当する到達目標	予習	消化管の構造、機能を確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	消化管の病変の種類、原因、結果、病理学的特徴を理解する。	1.時間
8	講義内容	病理各論2 肝、胆、膵臓 ■		
	該当する到達目標	予習	肝・胆・膵臓の構造、機能を確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	肝・胆・膵臓の病変の種類、原因、結果、病理学的特徴を理解する。	1.時間
9	講義内容	病理各論3 婦人科疾患 ■		
	該当する到達目標	予習	子宮、卵巣の構造、機能を確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	婦人科疾患の種類、原因、結果、病理学的特徴を理解する。	1.時間
10	講義内容	病理各論4 乳腺、内分泌臓器 ■		
	該当する到達目標	予習	乳腺、内分泌臓器の構造、機能を確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	乳腺、内分泌臓器病変の種類、原因、結果、病理学的特徴を理解する。	1.時間
11	講義内容	病理各論5 腎、尿路 ■		
	該当する到達目標	予習	腎、尿路の構造、機能を確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	腎、尿路病変の種類、原因、結果、病理学的特徴を理解する。	1.時間
12	講義内容	病理各論6 呼吸器非腫瘍性疾患 ■		
	該当する到達目標	予習	呼吸器の構造、機能を確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	呼吸器非腫瘍性疾患の種類、原因、結果、病理学的特徴を理解する。	1.時間
13	講義内容	病理各論7 呼吸器腫瘍 ■		
	該当する到達目標	予習	癌の原因、診断法、病理学的特徴を確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	呼吸器腫瘍の種類、原因、結果、病理学的特徴を理解する。	1.時間
14	講義内容	病理各論8 病理組織検査 ■		
	該当する到達目標	予習	腫瘍の病理学的特徴を確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	病理組織検査の意義を理解する。	1.時間
15	講義内容	病理各論9 細胞診検査 ■		
	該当する到達目標	予習	正常細胞と癌細胞の違いを確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	細胞診検査の癌の早期発見における意義を理解する。	1.時間
備	授業全体の進め方:授業は3人のオムニバス方式で行う。テキストの他に自作の配布プリント及びパワー			

ポイントを活用し、図や表を元に口頭での説明を交えくわしく説明していく。

病理学は基礎医学と臨床医学を連携する領域であり、診療に深く関わる診断の重要な領域でもあるので、しっかり履修する必要がある。授前には関連する解剖・生理学の復習をし、授業後には病理学、臨床医学の関連する領域を復習する。復習には臨床分野の教科書を参考にして、インターネット等も活用して関連する情報の取得して、知識を確認、更新につとめる。

- ・予習・復習については、試験前後の学習で補完すること。

- ・質問等は授業中に行うことが望ましいが、授業開始前もしくは終了後に教室で応じる。

(■:実務経験に基づく内容を示す。)

看 066 リハビリテーション概論

科目名	リハビリテーション概論（看護基盤科目群・健康）			看 066	講義
英文名	Introduction to Rehabilitation				
担当教員	解良 武士				
科目に関連した実務経験	大学病院・急性期一般病院・慢性期病院で常勤・非常勤理学療法士として勤務（26年間）				
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	1 単位		
講義目標	1. リハビリテーションの理念・概念が理解できる。■ 2. 疾病や障害による心身機能低下をもつ対象者の障害像が理解できる。■ 3. リハビリテーションを提供するセラピストの業務が理解できる。 4. リハビリテーションに関わるチーム医療について理解できる。■ 5. リハビリテーション看護について理解できる。				
到達目標	医療・福祉では重要なリハビリテーションについて、その概要を知る。またチーム医療として一緒に働く理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の仕事を知る。さらにリハビリテーションの対象となる疾病の障害像について理解する。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	学期末試験（100％）				
課題に対するフィードバック	学期末試験の内容についての解説でフィードバックする。				
使用教材	配付資料				
1	講義内容	リハビリテーション概論について ■			
	該当する到達目標	予習	リハビリテーションについて調べてくる。	1.5 時間	
	1	復習	リハビリテーションの概念について説明できるように復習する。	1 時間	
2	講義内容	リハビリテーションに共通した看護とリハビリテーション看護			
	該当する到達目標	予習	セルフケアについて調べてくる	1.5 時間	
	1,2,5	復習	リハビリテーション場面でのケアについて復習する	1 時間	
3	講義内容	リハビリテーションにおける各種測定法と看護 ■			
	該当する到達目標	予習	関節可動域について調べておく	1.5 時間	
	2,3,5	復習	基本的機能評価について復習する	1 時間	
4	講義内容	疾患別リハビリテーション看護（脳血管障害） ■			
	該当する到達目標	予習	脳卒中・パーキンソン病について調べておく	1.5 時間	

	2,3,4,5	復習	上記疾患に関するケアについて復習する	1 時間
5	講義内容	疾患別リハビリテーション看護(運動器疾患) ■		
	該当する到達目標	予習	大腿骨頸部骨折について調べる	1.5 時間
	2,3,4,5	復習	上記疾患に関するケアについて復習する	1 時間
6	講義内容	疾患別リハビリテーション看護(呼吸器・循環器疾患) ■		
	該当する到達目標	予習	COPD、心筋梗塞について調べておく	1.5 時間
	2,3,4,5	復習	上記疾患に関するケアについて復習する	1 時間
7	講義内容	疾患別リハビリテーション看護(虚弱高齢者) ■		
	該当する到達目標	予習	フレイル・サルコペニアについて調べておく	1.5 時間
	2,3,4,5	復習	上記疾患に関するケアについて復習する	1 時間
8	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	1～7回までの内容について復習する	1.5 時間
	1-5	復習	学期末試験の内容について復習する	1 時間
備考	配付資料を用いて各回のテーマに沿って解説する。特に対象者の障害像の理解の中心に講義を展開していく。(■:実務経験に基づく内容を示す) 問い合わせ先: 研究室: 5 号館 5 階 503 : kera@takasaki-u.ac.jp オフィスアワー 月曜 2 限目、金曜 2 限目			

看 067 臨床医学Ⅰ（内科学・外科学）

科目名		臨床医学Ⅰ（内科学・外科学）（看護基盤科目群・健康）		NRB108	講義
英文名		Clinical medicineⅠ（Internal medicine・Surgery）			
担当教員		田中聡一			
科目に関連した実務経験		非常勤医師として病院に勤務（現在）			
学年・開講期		1 年 後期	必選・単位数	必修 2 単位	
講義目標		医学知識・技術はすべての医療・介護・福祉・保健分野で必須のものであり、年々その比重は高まっている。本講義では人間の健康と病気に関する勉強の基礎となるものを学び、将来医療・介護・福祉・保健分野で活躍できる知識・技術を習得する。			
到達目標		1. 人間の解剖、生理を説明できる。 2. 疾患の概要（原因、疫学、症状、検査、治療）を説明できる。■			
学位授与方針との対応		✓	1. 人間理解と倫理観		
		✓	2. 論理的思考・問題解決力		
			3. チームの一員としての協調・協働		
			4. 国際理解		
			5. 生涯学習力		
評価方法		定期試験 70%、授業参加・貢献度 30%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。			
課題に対するフィードバック		その日行った授業についての質問事項を紙面にて受ける。次の授業時間でその解説を毎回行う。定期テスト問題を持ち帰ってもらい、原則得点公開をし、自己学習を促す。			
使用教材		教科書「臨床病態学」第2版（1巻、2巻、3巻） 北村聖総編集（ヌーヴェルヒロカワ）ISBN 978-4-86174-049-7 使用教科書と同じものに、ラインやポイントをすでに書き込んだ pdf ファイルを配付			
1	講義内容	脳血管障害■			
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、脳血管障害に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。		1.5 時間
	1, 2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。		1 時間
2	講義内容	神経系感染症、脱髄性疾患■			
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、神経系感染症、脱髄性疾患に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。		1.5 時間
	1, 2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書		1 時間

			に書き込み、その日の授業の理解を深める。	
3	講義内容	神経変性症、筋萎縮性側索硬化症		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、神経変性症、筋萎縮性側索硬化症に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	1, 2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
4	講義内容	末梢神経疾患、筋疾患 ■		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、末梢神経疾患、筋疾患に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	1, 2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
5	講義内容	呼吸器感染症 ■		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、呼吸器感染症に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	1, 2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
6	講義内容	呼吸器アレルギー性疾患 ■		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、呼吸器アレルギー性疾患に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	1, 2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
7	講義内容	呼吸器閉塞性疾患、拘束性疾患 ■		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、呼吸器閉塞性疾患、拘束性疾患に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	1, 2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
8	講義内容	肺循環障害、換気異常 ■		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、肺循環障害、換気異常に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	1, 2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
9	講義内容	肺癌、胸腔疾患 ■		

	該当する到達目標	予習	既に配付してある、肺癌、胸腔疾患に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	1, 2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
10	講義内容	先天性心疾患 1, 2 ■		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、先天性心疾患に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	1, 2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
11	講義内容	虚血性心疾患 ■		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、虚血性心疾患に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	1, 2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
12	講義内容	弁膜症 ■		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、弁膜症に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	1, 2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
13	講義内容	心筋症、肺性心 ■		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、心筋症、肺性心に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	1, 2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
14	講義内容	心不全、血圧異常 1, 2 ■		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、心不全、血圧異常に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	1, 2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
15	講義内容	上室性不整脈 ■		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、上室性不整脈に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき	1.5 時間

			授業に臨む。	
	1, 2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
16	講義内容	心室性不整脈 ■		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、心室性不整脈に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	1, 2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
17	講義内容	血管性疾患 ■		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、血管性疾患に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	1, 2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
18	講義内容	赤血球異常症(貧血、多血症) ■		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、赤血球異常症(貧血、多血症)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	1, 2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
19	講義内容	白血球異常症(白血病) ■		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、白血球異常症(白血病)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	1, 2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
20	講義内容	白血球異常症(リンパ腫、多発性骨髄腫) ■		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、白血球異常症(リンパ腫、多発性骨髄腫)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	1, 2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
21	講義内容	出血性疾患(血小板系、凝固系) ■		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、出血性疾患(血小板系、凝固系)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	1, 2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間

			に書き込み、その日の授業の理解を深める。	
22	講義内容	食道疾患、胃疾患 ■		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、食道疾患、胃疾患に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	1, 2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
23	講義内容	十二指腸疾患、小腸疾患 ■		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、十二指腸疾患、小腸疾患に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	1, 2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
24	講義内容	大腸疾患 ■		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、大腸疾患に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	1, 2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
25	講義内容	肝炎、代謝系肝疾患 ■		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、肝炎、代謝系肝疾患に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	1, 2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
26	講義内容	肝硬変、肝癌 ■		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、肝硬変、肝癌に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	1, 2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
27	講義内容	胆道系疾患 ■		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、胆道系疾患に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	1, 2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
28	講義内容	膵疾患 ■		

	該当する到達目標	予習	既に配付してある、膝疾患に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	1, 2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
29	講義内容	急性腎不全、慢性腎不全 ■		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、急性腎不全、慢性腎不全に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	1, 2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
30	講義内容	腎炎、ネフローゼ症候群 ■		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、腎炎、ネフローゼ症候群に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	1, 2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
備考	オフィスアワー: 月曜 3-4 限 質問はメールでも受け付ける(メールアドレス stanaka@takasaki-u.ac.jp) 研究室 5 号館 6 階 602 研究室 授業冒頭で前回の授業終了後に受けた質問に対する解答をパワーポイントで説明。教科書にポイントを書き込んだものを配付するので、自分の教科書に授業前に書き込んでおく。授業ではそれと同じものをスライドで映写し、口頭および板書で追加解説する。授業最後に全員から質問事項を提出してもらう。 (■:実務経験に基づく内容を示す。)			

看 068 臨床医学Ⅱ（内科学・外科学）

科目名		臨床医学Ⅱ（内科学・外科学）（看護基盤科目群・健康）		NRB209	講義
英文名		Clinical medicine Ⅱ (Internal medicine・Surgery)			
担当教員		田中聡一			
科目に関連した実務経験		非常勤医師として病院に勤務（現在）			
学年・開講期		2 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位	
講義目標		医学知識・技術はすべての医療・介護・福祉・保健分野で必須のものであり、年々その比重は高まっている。本講義では人間の健康と病気に関する勉強の基礎となるものを学び、将来医療・介護・福祉・保健分野で活躍できる知識・技術を習得する。			
到達目標		1. 人間の解剖、生理を説明できる。 2. 疾患の概要（原因、疫学、症状、検査、治療）を説明できる。■			
学位授与方針との対応		✓	1. 人間理解と倫理観		
		✓	2. 論理的思考・問題解決力		
			3. チームの一員としての協調・協働		
			4. 国際理解		
			5. 生涯学習力		
評価方法		定期試験 85%、授業参加・貢献度 15%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。			
課題に対するフィードバック		その日行った授業についての質問事項を紙面にて受ける。次の授業時間でその解説を毎回行う。定期テスト問題を持ち帰ってもらい、原則得点公開をし、自己学習を促す。			
使用教材		教科書「臨床病態学」 第 2 版 （1 巻、2 巻、3 巻） 北村聖総編集（ヌーヴェルヒロカワ）ISBN 978-4-86174-049-7 使用教科書と同じものに、ラインやポイントをすでに書き込んだ pdf ファイルを配付			
1	講義内容	内分泌疾患（内分泌器官と生理学的働き）			
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、内分泌疾患（内分泌器官と生理学的働き）に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。		1.5 時間
	1, 2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。		1 時間
2	講義内容	内分泌疾患（視床下部・下垂体系）■			
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、内分泌疾患（視床下部・下垂体系）に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。		1.5 時間
	1, 2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書		1 時間

			に書き込み、その日の授業の理解を深める。	
3	講義内容	内分泌疾患(甲状腺・副甲状腺) ■		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、内分泌疾患(甲状腺・副甲状腺)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	1, 2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
4	講義内容	内分泌疾患(副腎疾患) ■		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、内分泌疾患(副腎疾患)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	1, 2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
5	講義内容	内分泌疾患(性腺疾患) ■		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、内分泌疾患(性腺疾患)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	1, 2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
6	講義内容	代謝疾患(糖代謝異常症) ■		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、代謝疾患(糖代謝異常症)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	1, 2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
7	講義内容	代謝疾患(脂質代謝異常症、栄養異常、痛風) ■		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、代謝疾患(脂質代謝異常症、栄養異常、痛風)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	1, 2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
8	講義内容	感染症(ウイルス感染症) ■		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、感染症(ウイルス感染症)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	1, 2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
9	講義内容	感染症(細菌感染症) ■		

	該当する到達目標	予習	既に配付してある、感染症(細菌感染症)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	1, 2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
10	講義内容	感染症(真菌感染症、原虫感染症、寄生虫感染症)1, 2■		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、感染症(真菌感染症、原虫感染症、寄生虫感染症)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	1, 2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
11	講義内容	感覚系疾患(皮膚疾患)■		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、感覚系疾患(皮膚疾患)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	1, 2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
12	講義内容	感覚系疾患(眼疾患)■		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、感覚系疾患(眼疾患)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	1, 2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
13	講義内容	感覚系疾患(耳疾患、鼻疾患)■		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、感覚系疾患(耳疾患、鼻疾患)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	1, 2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
14	講義内容	泌尿器・生殖器疾患 1, 2■		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、泌尿器・生殖器疾患に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	1, 2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
15	講義内容	歯科・口腔系疾患(う歯、歯周病)■		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、歯科・口腔系疾患(う歯、歯周病)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじ	1.5 時間

			め書き込んでおき授業に臨む。	
	1, 2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
備 考	オフィスアワー: 月曜 3-4 限 オフィスアワー: 月曜 3-4 限 質問はメールでも受け付ける(メールアドレス stanaka@takasaki-u.ac.jp) 研究室 5 号館 6 階 602 研究室 授業冒頭で前回の授業終了後に受けた質問に対する解答をパワーポイントで説明。教科書にポイントを書き込んだものを配付するので、自分の教科書に授業前に書き込んでおく。授業ではそれと同じものをスライドで映写し、口頭および板書で追加解説する。授業最後に全員から質問事項を提出してもらう。 (■:実務経験に基づく内容を示す。)			

看 069 臨床医学Ⅲ（老年医学）

科目名	臨床医学Ⅲ（老年医学）（看護基盤科目群・健康）			NRB210	講義
英文名	Clinical medicine Ⅲ (Geriatric medicine)				
担当教員	田中聡一				
科目に関連した実務経験	非常勤医師として病院に勤務（現在）				
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	医学知識・技術はすべての医療・介護・福祉・保健分野で必須のものである。特に高齢社会に突入した日本では、ますます高齢者に対する医学知識・技術は重要性を増している。本講義では高齢者の健康と病気に関する勉強の基礎となるものを学び、将来医療・介護・福祉・保健分野で活躍できる知識・技術を習得する。				
到達目標	1. 高齢者の解剖、生理学的特徴を説明できる。 2. 高齢者に多い疾患の概要（原因、疫学、症状、検査、治療）を説明できる。■				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	定期試験 85%、授業参加・貢献度 15%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	その日行った授業についての質問事項を紙面にて受ける。次の授業時間でその解説を毎回行う。 定期テスト問題を持ち帰ってもらい、原則得点公開をし、自己学習を促す。 使用教科書と同じものに、ラインやポイントをすでに書き込んだ pdf ファイルを配付				
使用教材	教科書「老年看護 病態・疾患論」佐々木英忠編（医学書院） ISBN978-4-260-01804-3				
1	講義内容	高齢者の生理学的特徴（認知機能、知覚機能）			
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、高齢者の生理学的特徴（認知機能、知覚機能）に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。		1.5 時間
	1	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。		1 時間
2	講義内容	高齢者の生理学的特徴（呼吸機能、循環機能）			
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、高齢者の生理学的特徴（呼吸機能、循環機能）に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。		1.5 時間
	1	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。		1 時間

3	講義内容	高齢者の生理学的特徴(代謝機能、排泄機能)		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、高齢者の生理学的特徴(代謝機能、排泄機能)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	1	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
4	講義内容	高齢者の生理学的特徴(免疫機能、性機能)		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、高齢者の生理学的特徴(免疫機能、性機能)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	1	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
5	講義内容	高齢者の生理学的特徴(運動機能) ■		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、高齢者の生理学的特徴(運動機能)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	1	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
6	講義内容	老年症候群(意識障害、せん妄、睡眠障害、抑うつ) ■		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、老年症候群(意識障害、せん妄、睡眠障害、抑うつ)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	1	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
7	講義内容	老年症候群(熱中症、脱水症、発熱) ■		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、老年症候群(熱中症、脱水症、発熱)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
8	講義内容	老年症候群(腰背痛、膝痛、転倒、骨折) ■		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、老年症候群(腰背痛、膝痛、転倒、骨折)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
9	講義内容	老年症候群(排尿障害、便秘) ■		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、老年症候群(排尿障害、便秘)に関する pdf 教材を	1.5 時間

			みて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	
	1	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
10	講義内容	認知症(総論)2		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、認知症(総論)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
11	講義内容	認知症(アルツハイマー病)■		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、認知症(アルツハイマー病)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
12	講義内容	認知症(脳血管性認知症、レビー小体病、前頭側頭型認知症、クロイツフェルト・ヤコブ病)■		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、認知症(脳血管性認知症、レビー小体病、前頭側頭型認知症、クロイツフェルト・ヤコブ病)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
13	講義内容	治療可能な認知症(水頭症、慢性硬膜下血腫、脳腫瘍)■		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、治療可能な認知症(水頭症、慢性硬膜下血腫、脳腫瘍)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
14	講義内容	パーキンソン病、うつ病 2■		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、パーキンソン病、うつ病に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
	2	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
15	講義内容	高齢者と薬物■		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、高齢者と薬物に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授	1.5 時間

			業に臨む。	
	1	復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
備 考	オフィスアワー: 月曜 3-4 限 オフィスアワー: 月曜 3-4 限 質問はメールでも受け付ける(メールアドレス stanaka@takasaki-u.ac.jp) 研究室 5 号館 6 階 602 研究室 授業冒頭で前回の授業終了後に受けた質問に対する解答をパワーポイントで説明。教科書にポイントを書き込んだものを配付するので、自分の教科書に授業前に書き込んでおく。授業ではそれと同じものをスライドで映写し、口頭および板書で追加解説する。授業最後に全員から質問事項を提出してもらう。 (■:実務経験に基づく内容を示す。)			

看 070 臨床医学Ⅳ（小児医学）

科目名	臨床医学Ⅳ（小児医学）（看護基盤科目群・健康）			NRB211	講義
英文名	Clinical Medicine Ⅳ（Pediatric medicine）				
担当教員	鈴木 隆				
科目に関連した実務経験	1981 年より病院小児科医として勤務				
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	子どもの疾病についての医学的知識の習得を目的とし、病因・病態・診断・検査・治療等について理解する。				
到達目標	1. 小児に特有な疾患と病態を理解する。 2. 診断に必要な所見・検査を理解する。 3. 主な治療法について理解する。 4. 健康障害をもつ子どもとその家族の生活・療養援助について学ぶ。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	レポート30% 期末試験70%				
課題に対するフィードバック	レポートにコメントをつけて返却する。				
使用教材	小児臨床看護各論 医学書院				
1	講義内容	人はなぜ病気になるのか、子どもの体と病気の全体像、染色体異常：ダウン症候群			
	該当する到達目標	予習	進化医学、子どもとメディアについて調べておく。教科書第 1 章を読んでおく		3 時間
	1、 2、 4	復習	講義資料の重要項目をまとめておく		1 時間
	講義内容	先天性代謝異常・内分泌疾患：糖尿病、下垂体疾患、甲状腺疾患			
	該当する到達目標	予習	教科書第 3 章、第 4 章を読んでおく		1.5 時間
	1、2、3、4	復習	講義資料の重要項目をまとめておく		1.5 時間
3	講義内容	アレルギー疾患・免疫疾患・リウマチ性疾患：食物アレルギー、喘息、免疫不全、若年性特発性関節炎			
	該当する到達目標	予習	教科書第 5 章を読んでおく		1.5 時間
	1、2、3、4	復習	講義資料の重要項目をまとめておく		1.5 時間
4	講義内容	感染症 1 ウイルス感染症：インフルエンザ、ムンプス、水痘、風疹、麻疹、ヘルペス属ウイルス			

	該当する到達目標	予習	教科書第 6 章の B②まで読んでおく	1.5 時間
	1、2、3、4	復習	講義資料の重要項目をまとめておく	1.5 時間
	講義内容	感染症 2 細菌感染症:肺炎球菌、ヒブ、溶連菌、ブドウ球菌		
5	該当する到達目標	予習	教科書第 6 章の B③以降を読んでおく	1.5 時間
	1、2、3、4、	復習	講義資料の重要項目をまとめておく	1.5 時間
	講義内容	呼吸器疾患:喉頭炎、気管支炎、肺炎		
6	該当する到達目標	予習	教科書第 7 章を読んでおく	1.5 時間
	1、2、3、4	復習	講義資料の重要項目をまとめておく	1.5 時間
	講義内容	循環器疾患:先天性心疾患、不整脈、心筋疾患、学校心臓健診		
7	該当する到達目標	予習	教科書第 8 章を読んでおく	1.5 時間
	1、2、3、4	復習	講義資料の重要項目をまとめておく	1.5 時間
	講義内容	消化器疾患:先天異常、胃腸炎、肝炎、腸重積、虫垂炎、炎症性腸疾患		
8	該当する到達目標	予習	教科書第 9 章を読んでおく	1.5 時間
	1、2、3、4	復習	講義資料の重要項目をまとめておく	1.5 時間
	講義内容	川崎病:歴史、原因、症状、合併症、検査、治療 についてのレポート発表会		
9	該当する到達目標	予習	教科書第 8 章 B③を読んでおく	1 時間
	1、2、3、4	復習	配布された発表レポートを読んでおく	3 時間
	講義内容	血液疾患・悪性新生物:貧血、出血性疾患、白血病、脳腫瘍、胎児性腫瘍 0		
10	該当する到達目標	予習	教科書第 10 章、11 章を読んでおく	1.5 時間
	1、2、3、4	復習	講義資料の重要項目をまとめておく	1.5 時間
	講義内容	腎泌尿器疾患・皮膚疾患:尿路奇形、腎炎、ネフローゼ、母斑、湿疹		
11	該当する到達目標	予習	教科書第 12 章、15 章を読んでおく	1.5 時間
	1、2、3、4	復習	講義資料の重要項目をまとめておく	1.5 時間
	講義内容	新生児期の疾患・神経疾患:低出生体重児、新生児黄疸、てんかん、脳性マヒ、脳炎		
12	該当する到達目標	予習	教科書第 2 章、第 13 章を読んでおく	1.5 時間
	1、2、3、4	復習	講義資料の重要項目をまとめておく	1.5 時間
	講義内容	耳鼻咽喉疾患・眼疾患・精神疾患:中耳炎、副鼻腔炎、斜視、結膜炎、発達障害、PTSD		
13	該当する到達目標	予習	教科書第 16 章、17 章、18 章を読んでおく	1.5 時間
	1、2、3、4	復習	講義資料の重要項目をまとめておく	1.5 時間
	講義内容	運動器疾患・事故:先天性股関節脱臼、窒息、交通事故、頭部外傷、誤飲、熱中症 0		
14	該当する到達目標	予習	教科書第 14 章、19 章を読んでおく	1.5 時間
	1、2、3、4	復習	講義資料の重要項目をまとめておく	1.5 時間
	講義内容	総まとめ		
15	該当する到達目標	予習	1～14回の講義の重要事項をまとめておく	6 時間
	1、2、3、4	復習	0	0
備考	授業はパワーポイントで説明しながら適時学生に質問する。重要項目、内容を補完する図表などは教員の作製する資料を配布する。教科書は診断基準・管理基準の参考及び、図や写真で疾患の理解を深め			

るために使用する。

予習・復習については試験前後の勉強にて補完すること

毎回の講義では講師の臨床経験を踏まえて実際の症例をなるべく紹介する ■

(■:実務経験に基づく内容を示す。)

看 071 臨床医学Ⅴ（女性医学）

科目名	臨床医学Ⅴ（女性医学）（看護基盤科目群・健康）			NRB212	講義
英文名	Clinical Medicine Ⅴ（Women's Medicine）				
担当教員	竹中恒久				
科目に関連した実務経験	非常勤医師として病院に勤務（現在）				
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	周産期にある経過を理解し、異常な状態や疾患について知識を習得する。 また女性性器におこる疾患についても理解する。				
到達目標	1.妊娠、分娩、産褥の生理を理解する。■ 2.妊娠、分娩、産褥の病理を理解する。■ 3.出生前診断、不妊症を理解する。■ 4.女性生殖器の解剖・生理・病態生理を理解する。■ 5.女性生殖器の診察・検査と治療・処置を理解する。■ 6.女性生殖器の疾患を理解する。■				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	筆記試験				
課題に対するフィードバック	試験の問題文の最後に、その問題に該当するプリントあるいは教科書のページを記載し試験後の学習をやりやすくする。				
使用教材	母性看護学[2] 母性看護学各論 医学書院 成人看護学[9] 女性生殖器 医学書院				
1	講義内容	妊娠の生理① 妊娠の成立、胎児の発育と生理■			
	該当する到達目標	予習	教科書 2 冊のはしがきを読んでおいてください。		0.5 時間
	1	復習	教科書の講義内容相当部分を熟読する。		0.5 時間
2	講義内容	妊娠の生理② 妊婦と胎児のアセスメント■			
	該当する到達目標	予習	配布プリントの講義該当部分を通読する。		0.5 時間
	1	復習	教科書の講義内容相当部分を熟読する。		0.5 時間
3	講義内容	分娩の生理① 分娩の要素■			
	該当する到達目標	予習	配布プリントの講義該当部分を通読する。		0.5 時間

	1	復習	教科書の講義内容相当部分を熟読する。	0.5 時間
4	講義内容	分娩の生理②産褥の生理 分娩の経過、産褥期の身体的変化 ■		
	該当する到達目標	予習	配布プリントの講義該当部分を通読する。	0.5 時間
	1	復習	教科書の講義内容相当部分を熟読する。	0.5 時間
5	講義内容	妊娠の異常① ハイリスク妊娠、妊娠期の感染症 ■		
	該当する到達目標	予習	配布プリントの講義該当部分を通読する。	0.5 時間
	2	復習	教科書の講義内容相当部分を熟読する。	0.5 時間
6	講義内容	妊娠の異常② 妊娠疾患、多胎妊娠、流産、早産、異所性妊娠 ■		
	該当する到達目標	予習	配布プリントの講義該当部分を通読する。	0.5 時間
	2	復習	教科書の講義内容相当部分を熟読する。	0.5 時間
7	講義内容	分娩の異常① 産道の異常、娩出力の異常、胎位の異常 ■		
	該当する到達目標	予習	配布プリントの講義該当部分を通読する。	0.5 時間
	2	復習	教科書の講義内容相当部分を熟読する。	0.5 時間
8	講義内容	分娩の異常② 前置胎盤、常位胎盤早期剥離 ■		
	該当する到達目標	予習	配布プリントの講義該当部分を通読する。	0.5 時間
	2	復習	教科書の講義内容相当部分を熟読する。	0.5 時間
9	講義内容	分娩の異常③ 分娩時損傷、産科処置と産科手術 ■		
	該当する到達目標	予習	配布プリントの講義該当部分を通読する。	0.5 時間
	2	復習	教科書の講義内容相当部分を熟読する。	0.5 時間
10	講義内容	産褥の異常、新生児の異常 子宮復古不全、新生児仮死、分娩外傷、低出生体重児 ■		
	該当する到達目標	予習	配布プリントの講義該当部分を通読する。	0.5 時間
	2	復習	教科書の講義内容相当部分を熟読する。	0.5 時間
11	講義内容	出生前診断と不妊治療 出生前診断、不妊症の診断治療 ■		
	該当する到達目標	予習	配布プリントの講義該当部分を通読する。	0.5 時間
	3	復習	教科書の講義内容相当部分を熟読する。	0.5 時間
12	講義内容	女性生殖器の構造と疾患① 女性生殖器の構造と機能、症状と病態生理 ■		
	該当する到達目標	予習	配布プリントの講義該当部分を通読する。	0.5 時間
	4	復習	教科書の講義内容相当部分を熟読する。	0.5 時間
13	講義内容	女性生殖器の構造と疾患② 診察・検査と治療・処置 ■		
	該当する到達目標	予習	配布プリントの講義該当部分を通読する。	0.5 時間
	5	復習	教科書の講義内容相当部分を熟読する。	0.5 時間
14	講義内容	女性生殖器の構造と疾患③ 疾患の理解① ■		
	該当する到達目標	予習	配布プリントの講義該当部分を通読する。	0.5 時間
	6	復習	教科書の講義内容相当部分を熟読する。	0.5 時間
15	講義内容	女性生殖器の構造と疾患④ 疾患の理解② ■		
	該当する到達目標	予習	配布プリントの講義該当部分を通読する。	0.5 時間
	6	復習	教科書の講義内容相当部分を熟読する。	0.5 時間

備
考

教科書、配布プリント、パワーポイントを用いて、聴覚と視覚から理解してもらうよう授業を進める。

- ・予習・復習については、試験前後の学習で補完すること。
- ・質問等は授業中に行うことが望ましいが、授業開始前もしくは終了後に教室で応じる。

(■:実務経験に基づく内容を示す。)

看 072 臨床医学Ⅵ（精神医学）

科目名		臨床医学Ⅵ（精神医学）（看護基盤科目群・健康）			NRB213	講義
英文名		Clinical Medicine Ⅵ（Psychiatry）				
担当教員		上原 徹				
科目に関連した実務経験		精神科医として大学病院等で勤務経験30年以上、現在も非常勤医師として実務を行っている				
学年・開講期		2 年 前期	必修・単位数	必修 1 単位		
講義目標		学生が、医療専門職である看護師・保健師・理学療法士として必要となる、精神医学に関する基本的な知識を身につけることができる。精神医療全般についての初級知識を習得し、その視点を生かした援助方法を、自ら考えるきっかけをつかむことができる。				
到達目標		1.精神保健や心理社会的問題の概要を説明できる 2.代表的な疾患の基本的概要を解説できる 3.精神科医療機関における治療構造や治療の内容特性を解説できる 4.精神医療における治療法や支援策を解説できる■ 5. チーム医療の担う専門職の役割と医療福祉連携を理解できる				
学位授与方針との対応		✓	1. 人間理解と倫理観			
			2. 論理的思考・問題解決力			
		✓	3. チームの一員としての協調・協働			
			4. 国際理解			
			5. 生涯学習力			
評価方法		期末筆記試験80%、C ラーニングによる小テスト提出20%で評価するが、授業態度（特に不必要な私語は厳禁）に問題がある場合は、個別に減点する。				
課題に対するフィードバック		専門職としての必要な知識をフィードバックする。小テスト問題の正解を提示する。				
使用教材		教科書は指定しない。ただし資料集として【保健医療福祉関連専門職を目指す人のための精神医学と精神医療】 三恵社(上原徹 著)を推薦するので、準備することが望ましい。参考書としては、【専門医がやさしく語る はじめての精神医学】 中山書店、渡辺著、改訂第2版などを推奨する。				
1	講義内容	精神医学や精神医療のイントロダクション				
	該当する到達目標	予習	特に関心あるテーマについて、自主的に調査研究する。			0.5 時間
	2,5	復習	資料を用いて自習する。			1 時間
2	講義内容	統合失調症とは？				
	該当する到達目標	予習	特に関心あるテーマについて、自主的に調査研究する。			1 時間
	1,2,3	復習	資料を用いて自習する。			1 時間
3	講義内容	双極性障害(躁うつ病)とは？				
	該当する到達目標	予習	特に関心あるテーマについて、自主的に調査研究する。			1 時間
	1,3	復習	資料を用いて自習する。			1 時間
4	講義内容	うつ病とは？				

	該当する到達目標	予習	特に関心あるテーマについて、自主的に調査研究する。	1 時間
	1,3	復習	資料を用いて自習する。	1 時間
5	講義内容	神経症と不安障害		
	該当する到達目標	予習	特に関心あるテーマについて、自主的に調査研究する。	1 時間
	1,3	復習	資料を用いて自習する。	1 時間
6	講義内容	PTSD 特論		
	該当する到達目標	予習	特に関心あるテーマについて、自主的に調査研究する。	1 時間
	1,3	復習	資料を用いて自習する。	1 時間
7	講義内容	摂食障害		
	該当する到達目標	予習	特に関心あるテーマについて、自主的に調査研究する。	1 時間
	1,3	復習	資料を用いて自習する。	1 時間
8	講義内容	アルコールや物質依存とは？		
	該当する到達目標	予習	特に関心あるテーマについて、自主的に調査研究する。	1 時間
	1,3	復習	資料を用いて自習する。	1 時間
9	講義内容	睡眠障害		
	該当する到達目標	予習	特に関心あるテーマについて、自主的に調査研究する。	1 時間
	1,3	復習	資料を用いて自習する。	1 時間
10	講義内容	認知症		
	該当する到達目標	予習	特に関心あるテーマについて、自主的に調査研究する。	1 時間
	1,3	復習	資料を用いて自習する。	1 時間
11	講義内容	小児の精神疾患		
	該当する到達目標	予習	特に関心あるテーマについて、自主的に調査研究する。	1 時間
	1,3	復習	資料を用いて自習する。	1 時間
12	講義内容	外因性・器質性・症状性疾患など		
	該当する到達目標	予習	特に関心あるテーマについて、自主的に調査研究する。	1 時間
	1,3	復習	資料を用いて自習する。	1 時間
13	講義内容	精神科の治療法や支援について■		
	該当する到達目標	予習	特に関心あるテーマについて、自主的に調査研究する。	1 時間
	2,3,4	復習	資料を用いて自習する。	1 時間
14	講義内容	リハビリテーションや心理社会アプローチ■		
	該当する到達目標	予習	特に関心あるテーマについて、自主的に調査研究する。	1 時間
	2,3,4	復習	資料を用いて自習する。	1 時間
15	講義内容	まとめ■		
	該当する到達目標	予習	資料を用いて自習する。	2 時間
	1,2,3,4,5	復習	試験問題を復習する。	1 時間
備考	授業はDVDを視聴しつつ説明を加えながら進める。後半は資料集を使って、要点をまとめていく。授業の最後に理解度確認のための小テストを行う。			

複数の学科学生が多人数で聴講するため、静粛に臨むこと。授業中の不必要な私語や不謹慎な態度は、厳に慎むこと(成績評価に影響する)。予習・復習については、試験前後の学習で補完すること。

オフィスアワー：月4 金3 研究室:1号館5階501、■:実務経験に基づく内容

看 073 心の健康

科目名	心の健康（看護基盤科目群・健康）			NRB109	講義
英文名	Mental Health				
担当教員	田邊要補				
科目に関連した実務経験	看護師として精神科病院に勤務（経験）				
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標	学生が、心の健康の基礎を学ぶことで、臨床や対人支援の場面におけるクライアントの行動を理解し、メンタルヘルスについて考察することができる。				
到達目標	1. 心の健康の基礎について学ぶことができる。 2. ストレスおよび対処方法について知ることができる。■ 3. 自分自身の心の健康を保つための基本を学ぶことができる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	筆記試験 80%、授業参加度 20%で算出し、60 点以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	独自に作成した出席カードに書かれた質問に対しては次の授業開始時に返答する。				
使用教材	配布資料。授業に関連した DVD。				
1	講義内容	こころの健康とは			
	該当する到達目標	予習	こころの健康について、自分の考えをまとめる。		1.5 時間
	1	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。		1 時間
2	講義内容	ストレス&対処 ① 患者の理解■			
	該当する到達目標	予習	日頃のストレスや対処方法について、自分の考えをまとめる。		1.5 時間
	2,3	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。		1 時間
3	講義内容	ストレス&対処 ② 患者の理解■			
	該当する到達目標	予習	第 2 回の授業をふまえ、日頃のストレスや対処方法について、自分の考えをまとめる。		1.5 時間
	2,3	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。		1 時間
4	講義内容	マインドフルネスについて			
	該当する到達目標	予習	自分なりにマインドフルネスについて学習してくる。		1.5 時間

	1,2,3	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1 時間
5	講義内容	WRAP について■		
	該当する到達目標	予習	自分なりに WRAP について学習してくる。	1.5 時間
	1,3	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1 時間
6	講義内容	認知行動療法について①		
	該当する到達目標	予習	自分なりに認知行動療法について学習してくる。	1.5 時間
	1,2,3	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1 時間
7	講義内容	認知行動療法について②		
	該当する到達目標	予習	第6回の授業をふまえ、認知行動療法について学習してくる。	1.5 時間
	1,2,3	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1 時間
8	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	今までの講義を振り返る	1.5 時間
	1,2,3	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1 時間
備考	オフィスアワー: 火曜日 9:30～13:00 配布資料や DVD を基にして、時折演習を交えながら授業を進める。 ■: 実務経験に基づく内容を示す。 不在時はメール等で問い合わせのこと。Tanabe-y@takasaki-u.ac.jp 教職必修科目 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。			

看 074 リラクゼーション概論

科目名	リラクセーション概論（看護基盤科目群・健康）			NRB110	講義
英文名	Introduction to Relaxation				
担当教員	小野寺 由美子				
科目に関連した実務経験	主に、運動・身体活動とメンタルヘルスとの関わりを研究している体力医学研究所に勤務（現在）				
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標	心身の健康の維持・増進のための一方法であるリラクセーションについて、講義と実習を通して学ぶ。ストレスによって生じた「筋肉の緊張」をほぐしリラクセーションを体験することで、身体と精神の関係を理解する。また、自己洞察力を深めて感受性を高めることで、将来支援する立場となった時、対象者との人間関係の形成に役立てることをねらいとする。				
到達目標	1.ストレスと身体症状の関係を理解する■ 2.心と身体を理解する■ 3.身体の緊張のほぐし方を理解する■ 4.身体への関わり方と他者との関係を理解する				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	セルフチェック課題（4 回）20%、レポート（1 回）80%で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	セルフチェック課題の実施後に、質疑応答によって理解を深める。				
使用教材	講義のスライドを随時プリントして配付する。				
1	講義内容	ガイダンス			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する		1 時間
	0	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する		2.0 時間
2	講義内容	ストレスと身体症状■			
	該当する到達目標	予習	自分のストレスと身体症状との関連を考える		1 時間
	1	復習	ストレスとは何か、ストレスと身体症状との関連について理解する		1.5 時間
3	講義内容	心と身体の関係■			
	該当する到達目標	予習	これまでの自分の体験を通して、心と身体の関係について考える		1 時間
	3	復習	心と身体の関係について理解する		1.5 時間

4	講義内容	リラクセーションの種類と効果		
	該当する到達目標	予習	リラクセーションの種類とリラクセーション反応について調べる	1 時間
	2	復習	自分のリラクセーション法を考える	1.5 時間
5	講義内容	身体の緊張のほぐし方■		
	該当する到達目標	予習	自分が緊張した時の状態について考える	1 時間
	3	復習	身体の緊張をほぐしてみる	1.5 時間
6	講義内容	身体への関わり方と他者との関係		
	該当する到達目標	予習	他者に触れる際の留意点を考える	1 時間
	4	復習	身体への関わり方と他者との関係について理解する	1.5 時間
7	講義内容	リラクセーション技法の習得①■		
	該当する到達目標	予習	骨格の繋がりについて調べる	1 時間
	2,3,4.	復習	自分でできるリラクセーションを実践する	1.5 時間
8	講義内容	リラクセーション技法の習得②■		
	該当する到達目標	予習	呼吸法について調べる	1 時間
	2,3,4	復習	家族、友人などへのリラクセーションを実践する	2.0 時間
備考	講義と合わせ、体育館でリラクセーションの体験学習を実施する 体育館での授業は、ヨガマットやバスタオルなどの敷物を準備すること 予習・復習については、試験前後の学習で補完すること。(■:実務経験に基づく内容を示す。)			

看 075 看護学原論

科目名		看護学原論（看護専門科目群・専門分野Ⅰ・基礎看護学）			NRS110	講義
英文名		Nursing Principles				
担当教員		鶴田 晴美				
科目に関連した実務経験		看護師として病院に勤務				
学年・開講期		1 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標		看護実践とは何か、看護学とは何かへの問いに対して、多角的視点から学び、看護における対象の理解および看護専門職としての課題と方向性を探求する。また、看護学を構築する上での方向性と課題を探求する。				
到達目標		1.看護実践におけるケアリングについて理解できる。■ 2.健康・生活・QOL について理解できる。■ 3.看護の専門性および専門職として役割について理解できる。■ 4.自分なりに看護・看護学について考察できる。				
学位授与方針との対応		✓	1. 人間理解と倫理観			
		✓	2. 論理的思考・問題解決力			
			3. チームの一員としての協調・協働			
			4. 国際理解			
			5. 生涯学習力			
評価方法		グループワークのまとめ 30%、レポート 70% 遅刻、欠席、事前準備不足 1 回につき－5 点				
課題に対するフィードバック		講義で作成したレポートは、担当教員からのコメントを付して返却する。				
使用教材		教材:配布資料 使用教科書:看護の原理、菱沼典子、井上智子、武田利明編、ライフサポート社、2009 年、5,000 円				
1	講義内容	オリエンテーション、看護とは				
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読み、講義目標および到達目標を理解する。			1.5 時間
	3	復習	講義内容を振り返り、看護に関する理解を深める。			1.5 時間
2	講義内容	看護の定義・看護の対象				
	該当する到達目標	予習	テキストの第 2 部 第1章 第 1 節(p84～92)を読む。			2 時間
	3	復習	講義内容を振り返り、看護の定義・看護の対象に関する理解を深める。			1 時間
3	講義内容	看護における健康の概念				
	該当する到達目標	予習	健康および病気に対する自分の考えを所定の用紙にまとめる。			1.5 時間

	2	復習	講義内容を振り返り、看護における健康の概念に関する理解を深める。	1.5 時間
4	講義内容	看護における環境と生活		
	該当する到達目標	予習	自分を取り巻く環境と生活について所定の用紙にまとめる。	1.5 時間
	2	復習	講義内容を振り返り、看護における環境と生活に関する理解を深める。	1.5 時間
5	講義内容	看護理論： ナイチンゲール		
	該当する到達目標	予習	ナイチンゲールに関する配布資料を読み、要約を作成する。	2 時間
	2,3	復習	講義内容を振り返り、ナイチンゲールの看護論に関する理解を深める。	1 時間
6	講義内容	看護理論： ナイチンゲール		
	該当する到達目標	予習	テキストの第 2 部 第 1 章 第 2 節 (p92～102)を読む。	2 時間
	2,3	復習	講義内容を振り返り、ナイチンゲールの看護論に関する理解を深める。	1 時間
7	講義内容	看護理論： ヘンダーソン		
	該当する到達目標	予習	テキストの第 1 部 第 1 章 第 1～2 節 (p19～24)を読む。	2 時間
	2,3	復習	講義内容を振り返り、ヘンダーソンのニード論に関する理解を深める。	1 時間
8	講義内容	病いの体験（グループワーク）		
	該当する到達目標	予習	闘病記を読み、患者にとっての病いの体験についてまとめる。	2 時間
	1,2,3,4	復習	グループで患者にとっての病いの体験についてまとめる。	1 時間
9	講義内容	病いの体験（グループ発表 / 質疑応答）■		
	該当する到達目標	予習	グループで患者にとっての病いの体験についてまとめる。	2 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、病いの体験に関する理解を深める。	1 時間
10	講義内容	看護実践の体験（グループワーク）1,2,3,4		
	該当する到達目標	予習	看護場面に関する資料を読み、看護者にとっての看護実践の体験をまとめる。	2 時間
	1,2,3,4	復習	グループで看護者にとっての看護実践の体験をまとめる。	1 時間
11	講義内容	看護実践の体験（グループ発表 / 質疑応答）■		
	該当する到達目標	予習	グループで看護者にとっての看護実践の体験をまとめる。	2 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、看護実践の体験に関する理解を深める。	1 時間
12	講義内容	看護ケア・ケアリング■		
	該当する到達目標	予習	テキストの第 2 部 第 4 章 第 1～7 節 (p146～170)を読む。	1.5 時間
	1,3	復習	講義内容を振り返り、看護ケア・ケアリングに関する理解を深める。	1.5 時間
13	講義内容	看護とナラティブ■		
	該当する到達目標	予習	看護場面のナラティブに関する配布資料を読む。	1.5 時間
	1,3	復習	講義内容を振り返り、看護におけるナラティブに関する理解を深める。	1.5 時間
14	講義内容	患者が求める看護 1,2,3,4		

	該当する到達目標	予習	自分や家族の闘病体験を思い起こし、患者が求める看護について考える。	1 時間
	1,2,3,4	復習	患者さんが語った内容を思い起こしながら、ナラティブレコードを作成する。	2 時間
15	講義内容	患者が求める看護（グループワーク）■		
	該当する到達目標	予習	ナラティブレコードを繰り返し読み、自分が大切にしたい看護について考える。	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、病いと共に生きる患者への看護について考えをまとめる。	2 時間
備考	メールアドレス: 授業中にて告知する オフィスアワー: 授業中にて告知する 授業の進め方: 講義は教科書と教員が作成した配布資料をもとに、臨床での看護経験を組み入れながら説明する。グループワークは事前課題に対する個人ワークをもとに進めるが、話し合いが円滑に行えるように助言する。 ■実務経験に基づく内容を示す。			

看 076 人間関係形成論

科目名		人間関係形成論（看護専門科目群・専門分野Ⅰ・基礎看護学）			NRS111	講義
英文名		Human Relations				
担当教員		池田優子　小池洋子　安野朝子				
科目に関連した実務経験		カウンセラーとして精神科クリニックに勤務（経験）				
学年・開講期		1 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標		人は一人では生きられない。他者と何らかの形で関わりながら，その中でつまずき・成長する。特に対人援助職である看護師を目指す者にとって、人間関係を円滑にできる能力は不可欠である。ここでは、体験学習を通して、人間関係を円滑に進める技術について理解し、人間関係を形成していく方法を学ぶ。				
到達目標		1.「人間関係とは何か」を知り、自己理解と他者理解を深める。■ 2. 人間関係の基本であるコミュニケーションの方法を学ぶ。 3. 他者との円滑な人間関係の形成の方法を学ぶ。■				
学位授与方針との対応		✓	1. 人間理解と倫理観			
		✓	2. 論理的思考・問題解決力			
			3. チームの一員としての協調・協働			
			4. 国際理解			
			5. 生涯学習力			
評価方法		1. 毎回の感想レポートの提出と授業・演習への参加度で 40%。 2. 学んだスキル会話場面に関する考察レポートの提出で 60%とします。				
課題に対するフィードバック		毎回、講義・演習の感想や質問を書かせ、次の授業でコメントを返し、質問への解説を行う理解できたか学生に確認し、新たな課題や質問が出された場合、その都度回答する				
使用教材		「人間関係トレーニングー私を育てる教育への人間学的アプローチ」津村俊充・山口真人編 ナカニシヤ出版				
1	講義内容	自己理解　who am I　自己の性格行動特性　■				
	該当する到達目標	予習	テキストの1章を読んてくる			1.5 時間
	1	復習	自分の性格行動特性の結果について整理し、理解を深める			1.5 時間
2	講義内容	体育館での演習「こんにちはよろしく」「他己紹介」「私の夢」				
	該当する到達目標	予習	自分の夢や目標について考えてくる			1.5 時間
	1	復習	皆の夢や目標を分かち合い、人間関係づくりに生かす道筋を考える			1.5 時間
3	講義内容	体育館での演習「私の好きなもの」「私のあこがれるもの」違いを豊かさに				
	該当する到達目標	予習	自分が大切にしているものや関心のあるものを考えてくる			1.5 時間

	1	復習	同じ関心でも、それぞれ違うことを理解し、共有化する方法を考える	1.5 時間
4	講義内容	価値の多様性に気づく「クルーザー物語」演習		
	該当する到達目標	予習	テキストの2章を読んでもくる	1.5 時間
	1	復習	違う価値観の人たちを受け入れ、更に理解して共有化することの意義を考察する	1.5 時間
5	講義内容	自己概念と「ジョハリの窓」 自己イメージと他者イメージ」動物イメージ」演習 ■		
	該当する到達目標	予習	テキストの10章を読んでもくる	1.5 時間
	1	復習	自己概念の理解と他者からのフィードバックによる自己イメージの変化を考える	1.5 時間
6	講義内容	「自分が今までに出会った人々」		
	該当する到達目標	予習	生まれたときから、思春期・青年期までの自分を振り返り、自分が何を して他者から何をしてもらったか考えてくる	1.5 時間
	1	復習	エクササイズをして気づいたことを整理する	1.5 時間
7	講義内容	コミュニケーションとは 「一方向と双方向のコミュニケーション」演習		
	該当する到達目標	予習	テキストの第4章を読んでもくる	1.5 時間
	1,2	復習	エクササイズを通して、人間の思い込みとコミュニケーションスタイルと の関係を整理する	1.5 時間
8	講義内容	話す・聞く		
	該当する到達目標	予習	テキストの5章を読んでもくる	1.5 時間
	1,2	復習	話す・聞く役割のロールプレイをして、自分の傾向について考え整理 する	1.5 時間
9	講義内容	日常の人間関係で困った場面		
	該当する到達目標	予習	人間関係でうまくコミュニケーションが取れないのはどのような時か考 える	1.5 時間
	1,2	復習	自分が日常の人間関係で困った場面について、1コマ漫画で描いてく る	1.5 時間
10	講義内容	アサーティブの4つの柱「アサーティブトレーニング」1,2 ■		
	該当する到達目標	予習	困った場面で自分の思いを伝えられない時、何が邪魔をしているか考 える	1.5 時間
	1,2	復習	アサーティブトレーニングを実施し、何が難しかったのか整理する	1.5 時間
11	講義内容	リーダーシップとフォロワーシップ(GW)		
	該当する到達目標	予習	リーダーシップについての考え方について本やインターネットで調べて くる	1.5 時間
	1,2,3	復習	演習をしてみて、感じた自分のリーダーシップの傾向について整理す る	1.5 時間
12	講義内容	グループにおける感情表出(GW) ■		
	該当する到達目標	予習	11回で実施した演習の中で感じた自分の気持や感情について考えて	1.5 時間

			くる	
	1,2,3	復習	グループワークで体験した、初期の感情や最終の感情について整理する	1.5 時間
13	講義内容	正解のあるコンセンサス学習 非言語による演習「協力ゲーム」		
	該当する到達目標	予習	グループダイナミックスについて、本やインターネット等で調べてくる	1.5 時間
	1,2,3	復習	言葉を使わないで一つのもので作り、協力し合うためには何が必要か整理する	1.5 時間
14	講義内容	正解のあるコンセンサス学習 言語を使う演習「匠の里」1,2,3		
	該当する到達目標	予習	周りに自分の思っていることや考えを伝えようとするとき、何が壁になるか考える	1.5 時間
	1,2,3	復習	演習を通し、言葉を使って共通理解し合うために必要なものは何か考える	1.5 時間
15	講義内容	支え合う 伝え合う 分かち合う 人間関係を作る(GW)		
	該当する到達目標	予習	GWを通して、それぞれの考えや思いをどこまでわかったか、考える	1.5 時間
	1,2,3	復習	皆の考えや気持ちを分かち合い、人間関係がどのように変化したか整理する	1.5 時間
備考	担当教員連絡先: 池田優子 E メールアドレス yiked@takasaki-u.ac.jp オフィスアワー: 月曜日3-5限 木曜日1-2限 授業期間全体を通じた授業の進め方: 1. 授業は 3 つの内容に分けて、段階的に進めます。①自己理解と他者理解、②他者との人間関係、③グループプロセスと人間関係 2. 使用教材はテキストの他に、教員の作成のプリントやパワーポイントによる講義と演習を行います。グループワークを通じた気づきの演習を通して、人間関係形成の基礎づくりとします (■:実務経験に基づく内容を示す。)			

看 077 フィジカルアセスメント

科目名	フィジカルアセスメント（看護専門科目群・専門分野Ⅰ・基礎看護学）			NRS112	講義
英文名	Physical Assessment				
担当教員	鈴木 忠				
科目に関連した実務経験	非常勤医師（循環器内科）として病院に勤務（現在）				
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	対象の身体的な健康状態を観察・評価することをフィジカルアセスメントという。問診に加え頭から爪先まで、身体の一部や器官系ごとに、視診、触診、打診、聴診の 4 つの技術を使用して実施する。この講義では、専門職として必要なフィジカルアセスメントに関する基礎的知識を理解し説明できるようにする。さらに、身体的な健康状態を実際に観察・評価できるようにする。				
到達目標	正しく身体状況を評価するために、情報収集するためのフィジカルアセスメントの知識と技術を習得できる。 1.全身状態を観察・評価する知識を習得できる。■ 2.局所所見を観察・評価する知識を習得できる。■ 3.全身から局所まで一連に観察・評価する主要項目を理解できる。■				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	授業参加度（課題に対する回答等）およびレポート：60 点、期末試験：40 点で総合 60 点以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	レポートにはコメントをつけ返却する。				
使用教材	教科書「写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメント…アドバンス…」森田美奈子監修（インターメディカ）				
1	講義内容	フィジカルアセスメント入門■			
	該当する到達目標	予習	教科書に備わっている DVD をみて観察・評価の実際を学習する。		1.0 時間
	1,2	復習	該当する身体所見・症状の原因となる解剖生理と病態生理を理解する。		1.5 時間
2	講義内容	バイタルサイン（1）呼吸、脈拍、体温■			
	該当する到達目標	予習	教科書に備わっている DVD をみて観察・評価の実際を学習する。		1.0 時間
	1	復習	該当する身体所見・症状の原因となる解剖生理と病態生理を理解する。		1.5 時間

3	講義内容	バイタルサイン (2)血圧測定 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書に備わっている DVD をみて観察・評価の実際を学習する。	1.0 時間
	1	復習	該当する身体所見・症状の原因となる解剖生理と病態生理を理解する。	1.5 時間
4	講義内容	顔面の診察 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書に備わっている DVD をみて観察・評価の実際を学習する。	1.0 時間
	1,2	復習	該当する身体所見・症状の原因となる解剖生理と病態生理を理解する。	1.5 時間
5	講義内容	頭頸部の診察 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書に備わっている DVD をみて観察・評価の実際を学習する。	1.0 時間
	1,2	復習	該当する身体所見・症状の原因となる解剖生理と病態生理を理解する。	1.5 時間
6	講義内容	胸部の診察 (1)呼吸器系 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書に備わっている DVD をみて観察・評価の実際を学習する。	1.0 時間
	1,2	復習	該当する身体所見・症状の原因となる解剖生理と病態生理を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	胸部の診察 (2)循環器系 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書に備わっている DVD をみて観察・評価の実際を学習する。	1.0 時間
	1,2	復習	該当する身体所見・症状の原因となる解剖生理と病態生理を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	腹部の診察 (1)視診、聴診、打診 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書に備わっている DVD をみて観察・評価の実際を学習する。	1.0 時間
	1,2	復習	該当する身体所見・症状の原因となる解剖生理と病態生理を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	腹部の診察 (2)触診 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書に備わっている DVD をみて観察・評価の実際を学習する。	1.0 時間
	1,2	復習	該当する身体所見・症状の原因となる解剖生理と病態生理を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	神経系の診察 (1)意識レベル、脳神経系 1,2 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書に備わっている DVD をみて観察・評価の実際を学習する。	1.0 時間
	1,2	復習	該当する身体所見・症状の原因となる解剖生理と病態生理を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	神経系の診察 (2)体幹、四肢 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書に備わっている DVD をみて観察・評価の実際を学習する。	1.0 時間
	1,2	復習	該当する身体所見・症状の原因となる解剖生理と病態生理を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	演習 (1)全身所見、神経系 ■		

	該当する到達目標	予習	教科書に備わっている DVD をみて観察・評価の実際を学習する。	1.0 時間
	1,2	復習	該当する身体所見・症状の原因となる解剖生理と病態生理を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	演習 (2) 顔面、頭頸部、胸部 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書に備わっている DVD をみて観察・評価の実際を学習する。	1.0 時間
	1,2	復習	該当する身体所見・症状の原因となる解剖生理と病態生理を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	演習 (3) 腹部、体幹、四肢 1,2 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書に備わっている DVD をみて観察・評価の実際を学習する。	1.0 時間
	1,2	復習	該当する身体所見・症状の原因となる解剖生理と病態生理を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	教科書に備わっている DVD をみて観察・評価の実際を学習する。	1.0 時間
	1,2,3	復習	全身および局所の観察・評価を一連の流れでできるようにイメージングする。	1.5 時間
備考	講義中に 2 人 1 組になって実演する場面があるので、スムーズに実演できるよう心がけること。 オフィスアワー：月曜日 12:30～13:30 15:30～16:30 研究室 4 号館 2 階学部長室 メールアドレス suzuki-t@takasaki-u.ac.jp 予習・復習については、試験前の学習で補完すること 各講義においては前半はテーマについて概要を説明し、後半は質疑応答する形式ですすめる。 ■：診療において通常行っている問診と身体所見による診断・評価法			

看 078 基礎看護技術 I

科目名	基礎看護技術 I（看護専門科目群・専門分野 I・基礎看護学）			NRS113	講義
英文名	Fundamental Nursing Skills I				
担当教員	桐山勝枝、鶴田晴美、箕輪千佳、星野千春				
科目に関連した実務経験	看護師として大学病院に勤務（経験）				
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	人間の基本的ニーズを充足させるために、看護技術の原理・原則を学習し、基本的援助方法と態度を身につける。また、対象者の健康状態に応じた日常生活行動を援助するために、科学的根拠を基とした基礎看護技術を修得する。				
到達目標	1.看護技術における安全、安楽、コミュニケーション、エビデンスの重要性が理解できる。■ 2.日常生活援助技術の基本を理解できる。■ 3.事例の状況に合わせた日常生活援助の方法を考え実施することができる。■ 4.看護者としての倫理的態度を身につける。■				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	筆記試験（45％）、看護技術チェック(45%)、課題（5％）、授業への参加態度（5％）による総合評価 ＊ 20 分以上の遅刻、早退は欠席扱いとする。3 回遅刻した場合は 1 回の欠席とする。 ＊ 看護技術チェックにおいては 100 点満点中 60 点以上を合格とする。合格点に達しない場合は、再評価を受ける。				
課題に対するフィードバック	講義・演習で作成したレポートおよび看護技術チェックの評価表は、担当教員からのコメントを付して返却する。				
使用教材	テキスト：香春知永他編，看護学テキスト NiCE 基礎看護技術（改訂第 3 版），南江堂，ISBN： 978-4-524-25608-2，4,200 円				
1	講義内容	オリエンテーション 臨床での看護ケアの場면을例示し看護とは何かについて講義する。■			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読み、講義目標および到達目標を理解する。		1 時間
	1,4	復習	講義内容を振り返り、看護技術について、本科目での学修方法について理解を深める。		1.5 時間
2	講義内容	感染予防技術：標準予防策(講義)			
	該当する到達目標	予習	テキストの第三章 2-A(p89～91)、第四章 2-A(p245～246)を精読する。		1.5 時間

	1,2,4	復習	講義内容を振り返り、感染予防に関する理解を深める。	1.5 時間
3	講義内容	感染予防技術：手指衛生(演習)		
	該当する到達目標	予習	テキストの第Ⅲ章 2-B (p96～99)を読む。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習に関するまとめレポート①を作成し、適切な手指衛生について練習する。	1.5 時間
4	講義内容	活動・運動援助技術：ボディメカニクス／体位の保持・体位変換（講義）		
	該当する到達目標	予習	テキストの第Ⅳ章 2-A-4 (p240～245, 250-255)を精読する。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、安全・安楽な体位の保持・体位変換に関する理解を深める。	1.5 時間
5	講義内容	活動・運動援助技術：体位の保持・体位変換（演習） 安楽な体位について、臨床事例をもとに講義し演習を展開する。■		
	該当する到達目標	予習	体位の保持・体位変換に関する事前課題レポートに取り組む。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	チェックリストを基に体位変換の方法の理解を深める。	1.5 時間
6	講義内容	活動・運動援助技術：体位の保持・体位変換（演習）		
	該当する到達目標	予習	患者にとって安全で安楽な体位変換を行うための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習のまとめレポート②を作成し、安全・安楽な体位変換の練習をする。	1.5 時間
7	講義内容	環境調整技術：病床環境とは / ベッドメイキング（講義）		
	該当する到達目標	予習	テキストの第Ⅳ章 1-A (p218～227,p230～233)を精読する。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、病床環境に関する理解を深める。	1.5 時間
8	講義内容	環境調整技術：ベッドメイキング（演習）		
	該当する到達目標	予習	ベッドメイキングに関する事前課題に取り組む。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	チェックリストを基にベッドメイキングの方法の理解を深める。	1.5 時間
9	講義内容	環境調整技術：ベッドメイキング（演習）		
	該当する到達目標	予習	患者にとって快適なベッドを作成するための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習のまとめレポート③を作成し、ベッドメイキングの練習をする。	1.5 時間
10	講義内容	環境調整技術：臥床患者のシーツ交換（講義）		
	該当する到達目標	予習	テキストの第Ⅳ章 1-B (p233～235)を精読する。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、臥床患者のシーツ交換に関する理解を深める。	1.5 時間
11	講義内容	環境調整技術：臥床患者のシーツ交換（演習）		
	該当する到達目標	予習	臥床患者のシーツ交換に関する事前課題に取り組む。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	チェックリストを基にシーツ交換の方法の理解を深める。	1.5 時間
12	講義内容	環境調整技術：臥床患者のシーツ交換(演習)		
	該当する到達目標	予習	患者にとって安全で安楽なシーツ交換を行うための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習のまとめレポート④を作成し、シーツ交換の練習をする。	1.5 時間

13	講義内容	衣生活援助技術：更衣(講義)		
	該当する到達目標	予習	テキストの第IV章 1-C(p227～229)を精読する。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、寝衣交換に関する理解を深める。	1.5 時間
14	講義内容	衣生活援助技術：寝衣交換(演習)		
	該当する到達目標	予習	寝衣交換に関する事前課題レポートに取り組む。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	チェックリストを基に寝衣交換の方法の理解を深める。	1.5 時間
15	講義内容	衣生活援助技術：寝衣交換(演習)		
	該当する到達目標	予習	患者にとって安全で安楽な寝衣交換を行うための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習のまとめレポート⑤を作成し、寝衣交換の練習をする。	1.5 時間
16	講義内容	清潔援助技術：皮膚の清潔・整容(講義) 健康段階やADLの状態に応じた清拭の方法の留意点など、臨床での事例をもとに解説を加えて指導する。■		
	該当する到達目標	予習	テキストの第IV章 3(p264～287)を精読する。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、清潔ケアに関する理解を深める。	1.5 時間
17	講義内容	清潔援助技術：全身清拭(演習)		
	該当する到達目標	予習	全身清拭に関する事前課題レポートに取り組む。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	チェックリストを基に全身清拭の方法の理解を深める。	1.5 時間
18	講義内容	清潔援助技術：全身清拭(演習)		
	該当する到達目標	予習	患者にとって安全で安楽な全身清拭を行うための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	チェックリストを基に全身清拭の方法の理解を深める。	1.5 時間
19	講義内容	清潔援助技術：全身清拭(演習)		
	該当する到達目標	予習	演習を振り返り、目的に合ったケアを行うための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	チェックリストを基に全身清拭の方法の理解を深める。	1.5 時間
20	講義内容	清潔援助技術：全身清拭(演習)		
	該当する到達目標	予習	演習を振り返り、目的に合ったケアを行うための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習のまとめレポート⑥を作成し、全身清拭の練習をする。	1.5 時間
21	講義内容	清潔援助技術：全身清拭(演習)		
	該当する到達目標	予習	演習を振り返り、目的に合ったケアを行うための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習のまとめレポート⑥を作成し、全身清拭の練習をする。	1.5 時間
22	講義内容	清潔援助技術：洗髪(講義)		
	該当する到達目標	予習	テキストの第IV章 3 Skill③⑨(p281～281)を精読する。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	チェックリストを基に洗髪(ケリーパッド)方法の理解を深める。	1.5 時間

23	講義内容	清潔援助技術：洗髪(ケリーパッド) (演習)		
	該当する到達目標	予習	洗髪に関する事前課題レポートに取り組む。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、洗髪に関する理解を深める。	1.5 時間
24	講義内容	清潔援助技術：洗髪(ケリーパッド) (演習)		
	該当する到達目標	予習	患者にとって安全で安楽な洗髪を行うための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習のまとめレポート⑦を作成し、洗髪の練習をする。	1.5 時間
25	講義内容	清潔援助技術：洗髪(ケリーパッド) (演習)		
	該当する到達目標	予習	患者にとって安全で安楽な洗髪を行うための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習のまとめレポート⑦を作成し、洗髪の練習をする。	1.5 時間
26	講義内容	清潔援助技術：洗髪(ケリーパッド) (演習)		
	該当する到達目標	予習	患者にとって安全で安楽な洗髪を行うための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習のまとめレポート⑦を作成し、洗髪の練習をする。	1.5 時間
27	講義内容	睡眠・休息援助技術:睡眠・休息を促進する援助技術		
	該当する到達目標	予習	テキストの第Ⅳ章 6 (p329～360)を精読する。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、睡眠・休息をもたらす援助技術を練習する。	1.5 時間
28	講義内容	看護技術チェック (感染予防技術、環境調整技術、活動・運動援助技術、衣生活援助技術、清潔援助技術)		
	該当する到達目標	予習	演習内容を振り返り、既習の演習項目について練習をする。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	看護技術チェックリストを基に、既習の演習項目について練習をする。	1.5 時間
29	講義内容	看護技術チェック (感染予防技術、環境調整技術、活動・運動援助技術、衣生活援助技術、清潔援助技術)		
	該当する到達目標	予習	演習内容を振り返り、既習の演習項目について練習をする。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	看護技術チェックリストを基に、既習の演習項目について練習をする。	1.5 時間
30	講義内容	清潔援助技術：部分浴(手浴・足浴) (講義)		
	該当する到達目標	予習	テキストの第Ⅳ章 3 Skill③⑧(p276～277)を精読する。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、部分浴に関する理解を深める。	1.5 時間
31	講義内容	清潔援助技術：部分浴(手浴・足浴) (演習)		
	該当する到達目標	予習	部分浴に関する事前課題レポートに取り組む。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習を振り返り、安全で安楽な手浴・足浴を行うための課題を明確にする。	1.5 時間
32	講義内容	清潔援助技術：部分浴(手浴・足浴) (演習)		
	該当する到達目標	予習	患者にとって安全で安楽な手浴・足浴を行うための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習のまとめレポート⑧を作成し、手浴・足浴の練習をする。	1.5 時間
33	講義内容	排泄援助技術：排泄に関する援助 (講義) 自立度、体格などの違いから生じる留意点を実務経験を活かして指導する。■		
	該当する到達目標	予習	テキストの第Ⅳ章 10(p401～432)を精読する。	1.5 時間

	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、排泄援助に関する理解を深める。	1.5 時間
34	講義内容	排泄援助技術：床上での尿器・便器の介助（演習）		
	該当する到達目標	予習	患者にとって安全・安楽・プライバシーに配慮した尿器・便器の介助を行うための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	チェックリストを基に尿器・便器の介助の練習をする。	1.5 時間
35	講義内容	清潔援助技術：陰部洗浄（演習）		
	該当する到達目標	予習	陰部洗浄に関する事前課題レポートに取り組む。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	チェックリストを基に排泄援助および陰部洗浄の方法の理解を深める。	1.5 時間
36	講義内容	清潔援助技術：陰部洗浄（演習）		
	該当する到達目標	予習	患者にとって安全・安楽・プライバシーに配慮した陰部洗浄を行うための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習のまとめレポート⑨を作成し、陰部洗浄の練習をする。	1.5 時間
37	講義内容	活動・運動援助技術：移乗・移送（講義）		
	該当する到達目標	予習	テキストの第IV章 2(p236～263)を精読する。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、移乗・移送に関する理解を深める。	1.5 時間
38	講義内容	活動・運動援助技術：移乗(車いす)(演習)		
	該当する到達目標	予習	移乗に関する事前課題レポートに取り組む。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	チェックリストを基に車いすへの移乗の方法の理解を深める。	1.5 時間
39	講義内容	活動・運動援助技術：移乗(車いす)(演習)		
	該当する到達目標	予習	患者にとって安全で安楽な車いす移乗を行うための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	チェックリストを基に車いすへの移乗の方法の理解を深める。	1.5 時間
40	講義内容	食事援助技術：食事に関する援助（講義）		
	該当する到達目標	予習	テキストの第IV章 8(p361～380)を精読する。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、食事援助に関する理解を深める。	1.5 時間
41	講義内容	活動・運動援助技術：移送(車イス/ストレッチャー)(演習)		
	該当する到達目標	予習	患者を安全・安楽に車椅子/ストレッチャーにより移送を行うための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	チェックリストを基に車いす/ストレッチャーによる移送について理解を深める。	1.5 時間
42	講義内容	活動・運動援助技術：移送(車イス/ストレッチャー)(演習)		
	該当する到達目標	予習	患者にとって安全で安楽な車椅子/ストレッチャーによる移送を行うための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習のまとめレポート⑩を作成し、車椅子/ストレッチャーによる移送の練習をする。	1.5 時間
43	講義内容	総合演習(グループワーク)		

	該当する到達目標	予習	事前に提示した事例への具体的援助方法を考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	グループワークを振り返り、援助方法に関する理解を深める。	1.5 時間
44	講義内容	総合演習(演習)		
	該当する到達目標	予習	事前に提示した事例への具体的援助方法を実施する。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習を振り返り、援助方法に関する理解を深める。	1.5 時間
45	講義内容	総合演習(演習)		
	該当する到達目標	予習	事前に提示した事例への具体的援助方法を実施する。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習を振り返り、援助方法に関する理解を深める。	時間
備考	メールアドレス：箕輪：minowa@takasaki-u.ac.jp、桐山：kiriyama@takasaki-u.ac.jp、星野：hoshino-c@takasaki-u.ac.jp、 オフィスアワー：箕輪(水・金 2限目)、桐山(水・金 2限目)、星野(水・金 2限目)講義を通して看護技術における目的・方法・留意点について学び、演習では講義を踏まえたうえで基本的な看護援助技術の一方法を修得する、講義と実技演習を組み合わせた科目である。看護援助技術の修得にむけて積極的に自己練習を行い、演習に関する復習を行うこと。■実務経験に基づく内容を示す。			

看 079 基礎看護技術Ⅱ

科目名		基礎看護技術Ⅱ（看護専門科目群・専門分野Ⅰ・基礎看護学）			NRS210	講義
英文名		Fundamental Nursing SkillsⅡ				
担当教員		星野千春、鶴田晴美、箕輪千佳、桐山勝枝、				
科目に関連した実務経験		看護師として大学病院に勤務（経験）				
学年・開講期		2 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標		健康障害のある対象の援助方法を理解し、科学的根拠を基とした診断・治療・処置を伴う看護援助技術を習得する。				
到達目標		1.看護技術における安全、安楽、コミュニケーション、エビデンスの重要性が理解できる。■ 2.治療的援助技術の基本を習得できる。■ 3.対象の状況に合わせた治療的援助の方法を考えることができる。■ 4.看護学生としての倫理的態度について理解できる。■				
学位授与方針との対応		✓	1. 人間理解と倫理観			
		✓	2. 論理的思考・問題解決力			
			3. チームの一員としての協調・協働			
			4. 国際理解			
			5. 生涯学習力			
評価方法		筆記試験(45%)、看護技術チェック(45%)、課題(5%)、授業への参加態度(5%)による総合評価 * 20 分以上の遅刻、早退は欠席扱いとする。3 回遅刻した場合は 1 回の欠席とする。 * 看護技術チェックにおいては 100 点満点中 60 点以上を合格とする。合格点に達しない場合は、再評価を受ける。				
課題に対するフィードバック		講義・演習で作成したレポートおよび看護技術チェックの評価表は、担当教員からのコメントを付して返却する。				
使用教材		使用教材:配布資料 使用教科書:看護学テキスト NiCE 基礎看護技術（改訂第 3 版), 香春知永他編, 南江堂, 2018 年, 4,200 円				
1	講義内容		オリエンテーション 症状・生体機能管理技術：バイタルサイン測定法（講義） バイタルサイン測定方法や留意点、得られた測定値の判断について、臨床での事例をもとに解説を加えて指導する。■			
	該当する到達目標	予習	教科書の第Ⅲ章 3(p102～122)を読む。			1.5 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、バイタルサイン測定に関する理解を深める。			1.5 時間
2	講義内容	症状・生体機能管理技術：バイタルサイン測定法〈体温・脈拍・呼吸〉（演習）				
	該当する到達目標	予習	教科書の第Ⅲ章 3(p102～122)を読み、バイタルサイン測定の方法を			1.5 時間

			イメージする。	
	1,2,3,4	復習	チェックリストを基にバイタルサイン測定の方法の理解を深める。	1.5 時間
3	講義内容	症状・生体機能管理技術：バイタルサイン測定法〈体温・脈拍・呼吸〉（演習）		
	該当する到達目標	予習	演習を振り返り、適切なバイタルサイン測定を実施するための留意点を考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習を振り返り、適切なバイタルサイン測定を実施するための課題を明確にする。	1.5 時間
4	講義内容	症状・生体機能管理技術：バイタルサイン測定法〈体温・脈拍・呼吸〉（演習）		
	該当する到達目標	予習	演習を振り返り、適切なバイタルサイン測定を実施するための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習に関するまとめレポートを作成し、バイタルサイン測定法の練習をする。	4.5 時間
5	講義内容	感染予防技術：スタンダードプリコーション・無菌操作（講義）		
	該当する到達目標	予習	教科書の第Ⅲ章 2(p87～93)を読む。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、感染予防策に関する理解を深める。	1.5 時間
6	講義内容	感染予防技術：スタンダードプリコーション・無菌操作（演習）		
	該当する到達目標	予習	教科書の第Ⅲ章 2(p96～101)を読み、感染予防策の方法をイメージする。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	チェックリストを基に感染予防策の方法の理解を深める。	1.5 時間
7	講義内容	感染予防技術：スタンダードプリコーション・無菌操作（演習）		
	該当する到達目標	予習	演習を振り返り、適切な感染予防策を行うための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習に関するまとめレポートを作成し、防護用具の装着・無菌操作の練習をする。	1.5 時間
8	講義内容	呼吸を整える技術：吸引・吸入・酸素療法（講義） 異常呼吸音の例を、臨床での事例をもとに症状・病態と結びつけ、理解が深まるよう指導する。■		
	該当する到達目標	予習	呼吸を整えるケアに関する事前課題レポートに取り組む。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、呼吸を整えるケアに関する理解を深める。	1.5 時間
9	講義内容	呼吸を整える技術：呼吸音聴取／酸素療法／口腔内吸引（演習）		
	該当する到達目標	予習	呼吸を整える技術に関するチェックリストを基に、看護ケアの流れをイメージする。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	チェックリストを基に酸素療法および口腔内吸引の方法の理解を深める。	1.5 時間
10	講義内容	呼吸を整える技術：呼吸音聴取／酸素療法／口腔内吸引（演習）		
	該当する到達目標	予習	演習を振り返り、患者にとって安全で効果的な酸素療法および口腔内吸引を実施するための留意点について考える。	1.5 時間

	1,2,3,4	復習	演習に関するまとめレポートを作成し、呼吸音聴取・酸素療法・口腔内吸引の練習をする。	1.5 時間
11	講義内容	安楽に関する技術：電法<温電法・冷電法>（講義）		
	該当する到達目標	予習	電法ケアに関する事前課題レポートに取り組む。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、電法ケアに関する理解を深める。	1.5 時間
12	講義内容	排泄援助技術：浣腸（講義）		
	該当する到達目標	予習	排便コントロールに関する事前課題レポートに取り組む。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、排便コントロールに関する理解を深める。	1.5 時間
13	講義内容	安楽に関する技術：電法 / 排泄援助技術-グリセリン浣腸・腰部温電法（演習）		
	該当する到達目標	予習	電法・グリセリン浣腸に関するチェックリストを基に、それぞれの看護ケアの流れをイメージする。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	チェックリストを基に電法・グリセリン浣腸の方法の理解を深める。	1.5 時間
14	講義内容	安楽に関する技術：電法 / 排泄援助技術-グリセリン浣腸（演習）		
	該当する到達目標	予習	演習を振り返り、安全で効果的な電法またはグリセリン浣腸を実施するための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習を振り返り、安全で効果的な電法またはグリセリン浣腸を実施するための課題を明確にする。	1.5 時間
15	講義内容	安楽に関する技術：電法 / 排泄援助技術-グリセリン浣腸（演習）		
	該当する到達目標	予習	演習を振り返り、安全で効果的な電法またはグリセリン浣腸を実施するための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習に関するまとめレポートを作成し、電法またはグリセリン浣腸の練習をする。	1.5 時間
16	講義内容	安楽に関する技術：電法 / 排泄援助技術-グリセリン浣腸（演習）		
	該当する到達目標	予習	チェックリストを基に電法またはグリセリン浣腸の方法を理解し、安全で効果的に実施するための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習を振り返り、安全で効果的な電法またはグリセリン浣腸を実施するための課題を明確にする。	1.5 時間
17	講義内容	安楽に関する技術：電法 / 排泄援助技術-グリセリン浣腸（演習）		
	該当する到達目標	予習	演習を振り返り、安全で効果的な電法またはグリセリン浣腸を実施するための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習を振り返り、安全で効果的な電法またはグリセリン浣腸を実施するための課題を明確にする。	1.5 時間
18	講義内容	安楽に関する技術：電法/ 排泄援助技術-グリセリン浣腸（演習）		
	該当する到達目標	予習	演習を振り返り、安全で効果的な電法またはグリセリン浣腸を実施するための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習に関するまとめレポートを作成し、電法またはグリセリン浣腸の練習をする。	1.5 時間

19	講義内容	与薬の技術：与薬について(講義)		
	該当する到達目標	予習	与薬に関する事前課題レポートに取り組む。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、与薬に関する理解を深める。	1.5 時間
20	講義内容	与薬の技術：注射法 筋肉注射 皮下注射(講義)		
	該当する到達目標	予習	注射の準備、筋肉注射、皮下注射に関するチェックリストを基に、看護ケアの流れをイメージする。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	チェックリストを基に注射の準備、筋肉注射、皮下注射の方法の理解を深める。	1.5 時間
21	講義内容	与薬の技術：筋肉注射（演習）		
	該当する到達目標	予習	演習を振り返り、安全で適切な筋肉注射を実施するための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習を振り返り、安全で適切な筋肉注射を実施するための課題を明確にする。	1.5 時間
22	講義内容	与薬の技術：筋肉注射（演習）		
	該当する到達目標	予習	演習を振り返り、安全で適切な筋肉注射を実施するための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習に関するまとめレポートを作成し、筋肉注射の練習をする。	1.5 時間
23	講義内容	与薬の技術：皮下注射（演習）		
	該当する到達目標	予習	皮下注射に関する事前課題レポートに取り組む。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、皮下注射に関する理解を深める。	1.5 時間
24	講義内容	与薬の技術：皮下注射（演習）		
	該当する到達目標	予習	皮下注射に関するチェックリストを基に、看護ケアの流れをイメージする。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	チェックリストを基に皮下注射の方法の理解を深める。	1.5 時間
25	講義内容	与薬の技術：皮下注射（演習）		
	該当する到達目標	予習	演習を振り返り、安全で適切な皮下注射を実施するための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習を振り返り、安全で適切な皮下注射を実施するための課題を明確にする。	1.5 時間
26	講義内容	与薬の技術：皮下注射（演習）		
	該当する到達目標	予習	演習を振り返り、安全で適切な皮下注射を実施するための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習に関するまとめレポートを作成し、皮下注射の練習をする。	1.5 時間
27	講義内容	与薬の技術：点滴静脈内注射（講義）		
	該当する到達目標	予習	点滴静脈内注射に関する事前課題レポートに取り組む。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、点滴静脈内注射に関する理解を深める。	1.5 時間
28	講義内容	与薬の技術：点滴静脈内注射（演習）		

	該当する到達目標	予習	点滴静脈注射に関するチェックリストを基に、看護ケアの流れをイメージする。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	チェックリストを基に点滴静脈内注射の方法の理解を深める。	1.5 時間
29	講義内容	与薬の技術：点滴静脈内注射（演習）		
	該当する到達目標	予習	演習を振り返り、安全で適切な点滴静脈内注射を実施するための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習を振り返り、安全で適切な点滴静脈内注射を実施するための課題を明確にする。	1.5 時間
30	講義内容	与薬の技術：点滴静脈内注射（演習）		
	該当する到達目標	予習	演習を振り返り、安全で適切な点滴静脈内注射を実施するための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習に関するまとめレポートを作成し、点滴静脈内注射の練習をする。	1.5 時間
31	講義内容	検査に関する技術：尿検査・血液検査（講義） 採血では、血管の弾力性や走行など対象の状態をふまえて選択する方法を、臨床での事例をもとに解説し指導する。■		
	該当する到達目標	予習	静脈血採血に関する事前課題レポートに取り組む。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、尿検査・血液検査に関する理解を深める。	1.5 時間
32	講義内容	検査に関する技術：静脈血採血（演習）		
	該当する到達目標	予習	静脈血採血に関するチェックリストを基に、看護ケアの流れをイメージする。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	チェックリストを基に静脈血採血の方法の理解を深める。	1.5 時間
33	講義内容	検査に関する技術：静脈血採血（演習）		
	該当する到達目標	予習	演習を振り返り、安全で適切な静脈血採血を実施するための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習に関するまとめレポートを作成し、静脈血採血の練習をする。	1.5 時間
34	講義内容	看護技術チェック バイタルサイン測定法		
	該当する到達目標	予習	演習内容を振り返り、バイタルサイン測定法の練習をする。	2 時間
	1,2,3,4	復習	演習を振り返り、適切なバイタルサイン測定を実施するための課題を明確にする。	1 時間
35	講義内容	看護技術チェック バイタルサイン測定法		
	該当する到達目標	予習	演習内容を振り返り、バイタルサイン測定法の練習をする。	2 時間
	1,2,3,4	復習	演習を振り返り、適切なバイタルサイン測定を実施するための留意点について考える。	1 時間
36	講義内容	看護技術チェック バイタルサイン測定法		
	該当する到達目標	予習	演習内容を振り返り、バイタルサイン測定法の練習をする。	2 時間
	1,2,3,4	復習	看護技術チェックの評価表をもとに、バイタルサイン測定法の練習を	1 時間

			する。	
	講義内容	排泄援助技術：導尿法（講義）		
37	該当する到達目標	予習	導尿法に関する事前課題レポートに取り組む。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、導尿法に関する理解を深める。	1.5 時間
	講義内容	排泄援助技術：一時的導尿法（演習）		
38	該当する到達目標	予習	一時的導尿に関するチェックリストを基に、看護ケアの流れをイメージする。	1.5 時間
	0	復習	チェックリストを基に一時的導尿の方法の理解を深める。	1.5 時間
	講義内容	排泄援助技術：一時的導尿法（演習）		
39	該当する到達目標	予習	演習を振り返り、安全で適切な一時的導尿を実施するための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習を振り返り、安全で適切な一時的導尿を実施するための課題を明確にする。	1.5 時間
	講義内容	排泄援助技術：一時的導尿法（演習）		
40	該当する到達目標	予習	演習を振り返り、安全で適切な一時的導尿を実施するための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習に関するまとめレポートを作成し、一時的導尿法の練習をする。	1.5 時間
	講義内容	バイタルサイン測定に関する事例検討（グループワーク/発表・質疑応答）		
41	該当する到達目標	予習	提示した事例患者の病態生理を調べ、バイタルサイン測定に関する具体的な方法を考える。	1 時間
	1,2,3,4	復習	グループワークを基に事例に合わせたバイタルサイン測定について考える。	2 時間
	講義内容	バイタルサイン測定に関する事例検討（グループワーク/発表・質疑応答）		
42	該当する到達目標	予習	提示した事例患者の病態生理を調べ、バイタルサイン測定に関する具体的な方法について考える。	1 時間
	1,2,3,4	復習	グループワークを基に事例に合わせたバイタルサイン測定について考える。	2 時間
	講義内容	バイタルサイン測定に関する事例検討（グループワーク/発表・質疑応答）		
43	該当する到達目標	予習	提示した事例患者の病態生理を調べ、バイタルサイン測定に関する具体的な方法について考える。	1 時間
	1,2,3,4	復習	グループワークを基に事例に合わせたバイタルサイン測定について考える。	2 時間
	講義内容	バイタルサイン測定に関する事例検討（グループワーク/発表・質疑応答）		
44	該当する到達目標	予習	提示した事例患者の病態生理を調べ、バイタルサイン測定に関する具体的な方法について考える。	1 時間
	1,2,3,4	復習	事例検討を振り返り、バイタルサイン測定に関する理解を深める。	2 時間
45	講義内容	筆記試験		

備考	該当する到達目標	予習	診断・治療・処置を伴う看護援助技術に関する講義・演習を振り返り、各看護援助技術に関する理解を深める。	2 時間
	1,2,3,4	復習	試験内容を基に診断・治療・処置を伴う看護援助技術に関する理解を深める。	1 時間
	メールアドレス： 箕輪:minowa @takasaki-u.ac.jp 、星野:hoshino-c@takasaki-u.ac.jp 桐山:kiriyama@takasaki-u.ac.jp オフィスアワー： 箕輪(水曜日・金曜日 2 時限目)、星野(水曜日・金曜日 2 時限目) 桐山(水曜日・金曜日 2 時限目) 授業の進め方:①授業は教科書と教員作成の資料およびパワーポイントによる説明を行う。 ②演習では、教員によるデモンストレーションを提示する。また、モデル人形や看護技術で必要な様々な物品を用いて指導する。 ■実務経験に基づく内容を示す。			

看 080 看護学方法論Ⅰ

科目名	看護学方法論Ⅰ（看護専門科目群・専門分野・基礎看護学）			NRS114	講義
英文名	Nursing ProcessⅠ				
担当教員	箕輪千佳、鶴田晴美、桐山勝枝、星野千春				
科目に関連した実務経験	看護師として大学病院に勤務（経験）				
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	看護実践の基礎的方法論を学び、看護の対象の健康問題・健康課題を解決するために看護過程を用いて看護を展開する一連のステップを学ぶ。				
到達目標	1. 対象の健康課題・健康問題を解決するための方法論である看護過程について理解できる。 2. 事例を用いて、分類整理した情報からアセスメントができる。■ 3. 事例を用いて、アセスメントに基づいた関連図を描き全体像を把握することができる。■ 4. 事例を用いて看護診断ができる。■				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	講義期間中に課せられる課題 2 回（80%）、小テスト 1 回（10%）、個人ワークおよびグループワークに臨む態度・参加する姿勢（10%）によって、総合的に判断し 60 点以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	課題はコメント等を付して返却し、授業の中でフィードバックする。 小テストは返却し、解説する。				
使用教材	テキスト ① 看護学テキスト NICE 基礎看護技術（改訂第 3 版）、香春知永・斎藤やよい編、南江堂、ISBN: 978-4-524-25608-2、4,200 円（基礎看護技術Ⅰと共通のテキストです。） ② 「ヘンダーソン・ゴードンの考えに基づく実践看護アセスメント：同一事例による比較 第 3 版」、渡邊トシ子編、ヌーヴェルヒロカワ、ISBN: 978-4-86174-043-5、2500 円 ③ 「看護診断ハンドブック、第 11 版」、R.J.カルペニート著、医学書院、ISBN: 978-4-260-03451-7、3,800 円 ④ 「検査値早わかりガイド第 3 版」、江口正信・水口國雄著、サイオ出版、ISBN: 978-4-907176-60-0、3,000 円				
1	講義内容	オリエンテーション、問題解決法と看護過程			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読み、講義目標および到達目標を確認する。 テキスト①p.10-14 を精読する。		1 時間
	1	復習	講義内容を振り返り問題解決法としての看護過程に関する理解を深める。		1.5 時間

2	講義内容	情報収集 ゴードンの機能的健康パターン 分析の視点を基に臨床事例の分類の仕方を解説する。■		
	該当する到達目標	予習	テキスト①p.15-19を精読する。 テキスト②p.79-83を精読する。	1 時間
	1, 2	復習	講義内容を振り返り、ゴードンの機能的健康パターンにおける情報収集について理解を深める。	1.5 時間
3	講義内容	事例紹介 情報の分類(健康知覚－健康管理パターン) 実務経験を活かした事例を基に具体的に紹介する。■		
	該当する到達目標	予習	ゴードンの機能的健康パターン(健康知覚－健康管理パターン)の分析の視点と情報収集項目について考える。	1 時間
	1, 2	復習	講義内容を振り返り、事例における健康知覚－健康管理パターンの情報について理解を深める。	1.5 時間
4	講義内容	情報の分類(栄養－代謝、排泄、活動－運動、睡眠－休息パターン)		
	該当する到達目標	予習	ゴードンの機能的健康パターン(栄養－代謝、排泄、活動－運動、睡眠－休息パターン)の分析の視点と情報収集項目について考える。	1.5 時間
	1, 2	復習	講義内容を振り返り、事例における栄養－代謝、排泄パターンの情報について理解を深める。	1.5 時間
5	講義内容	情報の分類(認知－知覚、自己知覚－自己概念、役割－関係、セクシャリティー－生殖、コーピング－ストレス耐性、価値－信念、パターン)		
	該当する到達目標	予習	ゴードンの機能的健康パターン(認知－知覚、自己知覚－自己概念、役割－関係、セクシャリティー－生殖、コーピング－ストレス耐性、価値－信念、パターン)の分析の視点と情報収集項目について考える。	1.5 時間
	1, 2	復習	自己概念に関する理論について理解を深める。 講義内容を振り返り、事例における認知－知覚、自己知覚－自己概念、役割－関係、セクシャリティー－生殖、コーピング－ストレス耐性、価値－信念パターンの情報について理解を深める。	1.5 時間
6	講義内容	アセスメントとは 対象の病態生理と表れている症状、それらが生活に及ぼす影響がわかるように臨床での経験を活かし解説、指導する。		
	該当する到達目標	予習	テキスト②p.83-87を精読する。	1.5 時間
	1, 2	復習	講義内容を振り返り、アセスメントについて理解を深める。	1.5 時間
7	講義内容	看護診断		
	該当する到達目標	予習	看護診断ハンドブックの目次と序説を読む。	2 時間
	1, 2, 3	復習	講義内容を振り返り、カルペニートの看護診断について理解を深める。	1.5 時間
8	講義内容	アセスメント(健康知覚－健康管理パターン)		
	該当する到達目標	予習	健康知覚－健康管理パターンのアセスメントと問題把握について考え	2 時間

			る。	
	1,2,3	復習	講義内容を振り返り、健康知覚—健康管理パターンのアセスメントと問題把握について理解を深める。	1.5 時間
9	講義内容	アセスメント(栄養—代謝、排泄)		
	該当する到達目標	予習	栄養—代謝、排泄パターンのアセスメントと問題把握について考える。	1.5 時間
	1,2,3	復習	講義内容を振り返り、栄養—代謝、排泄パターンのアセスメントと問題把握について理解を深める。	1.5 時間
10	講義内容	アセスメント(活動—運動、睡眠—休息、認知—知覚)		
	該当する到達目標	予習	活動—運動、睡眠—休息、認知—知覚パターンのアセスメントと問題把握について考える。	1.5 時間
	1,2,3	復習	講義内容を振り返り、活動—運動、睡眠—休息、認知—知覚パターンのアセスメントと問題把握について理解を深める。	1.5 時間
11	講義内容	アセスメント(自己知覚—自己概念、役割—関係、セクシャリティー—生殖パターン)		
	該当する到達目標	予習	ゴードンの機能的健康パターン(自己知覚—自己概念、役割—関係、セクシャリティー—生殖)のアセスメントと問題把握について考える。	1.5 時間
	1,2,3	復習	講義内容を振り返り、ゴードンの機能的健康パターン(自己知覚—自己概念、役割—関係、セクシャリティー—生殖)のアセスメントと問題把握について理解を深める。	1.5 時間
12	講義内容	アセスメント(コーピング—ストレス耐性、価値—信念パターン)		
	該当する到達目標	予習	ゴードンの機能的健康パターン(コーピング—ストレス耐性、価値—信念)のアセスメントと問題把握について考える。	1.5 時間
	1,2,3	復習	講義内容を振り返り、ゴードンの機能的健康パターン(コーピング—ストレス耐性、価値—信念)のアセスメントと問題把握について理解を深める。	1.5 時間
13	講義内容	事例の看護問題を看護診断で表現する		
	該当する到達目標	予習	事例の看護診断について、テキスト③を用いて PES で記述する。	1.5 時間
	1, 2, 3, 4	復習	講義内容を振り返り、事例の看護診断について理解を深める。	1.5 時間
14	講義内容	関連図		
	該当する到達目標	予習	関連図を考える。	1.5 時間
	1, 2, 3, 4	復習	講義内容を振り返り、事例の関連図について理解を深める。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	事例の全体像を把握する。	1.5 時間
	1, 2, 3, 4	復習	講義内容を振り返り、事例の全体像の理解を深める。	1.5 時間
備考	メールアドレス：(箕輪)minowa@takasaki-u.ac.jp、(桐山)kiryama@takasaki-u.ac.jp、(星野)hoshino-c@takasaki-u.ac.jp オフィスアワー：箕輪(水・金 2 限目)、桐山(水・金 2 限目)、星野(水・金 2 限目) 授業の進め方：看護過程の講義では、教科書と教員の配布する資料とパワーポイントにより説明する。<u>グループワークでは、適宜質疑応答を受けながら進める。</u>			

なお、この科目は 2 年次前期に開講する「看護学方法論Ⅱ」に続く。

■実務経験に基づく内容を示す。

看 081 看護学方法論Ⅱ

科目名	看護学方法論Ⅱ（看護専門科目群・専門分野Ⅰ・基礎看護学）			NRS211	講義
英文名	Nursing ProcessⅡ				
担当教員	箕輪千佳、鶴田晴美、桐山勝枝、星野千春				
科目に関連した実務経験	看護師として大学病院に勤務（経験）				
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	看護学方法論Ⅰに引き続き、看護の対象の健康問題や健康課題に対して、知識とクリティカルシンキング、技能およびケアリングを基盤とした看護過程を用いて看護を展開する方法を学ぶ。				
到達目標	1.対象の健康課題・健康問題を解決するための方法論である看護過程について理解できる。 2.事例を用いてアセスメントが理解できる。■ 3.事例を用いて看護診断が理解できる。 4.事例を用いて関連図を描くことが理解できる。 5.事例を用いて看護のゴールと期待される成果の設定が理解できる。■ 6.事例を用いて優先順位の決定が理解できる。 7.事例を用いて看護計画の立案が理解できる。■				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	筆記試験（80％）個人ワークおよびグループワークに臨む態度・参加する姿勢（20％）によって、総合的に判断し 60 点以上を合格とする。による総合評価				
課題に対するフィードバック	講義で作成したレポートは、担当教員からのコメントを付して返却する。				
使用教材	①看護学テキスト NiCE 基礎看護技術（改訂第 3 版）、香春知永他編、南江堂、2018 年、4,200 円（基礎看護技術Ⅰと共通のテキストです。） ②「ヘンダーソン・ゴードンの考えに基づく実践看護アセスメント：同一事例による比較 第 3 版」、渡邊トシ子編、ヌーヴェルヒロカワ、2011 年、2,500 円 ③「看護診断ハンドブック、第 10 版」、RJ.カルペニート著、医学書院、2018 年、3,800 円 ④「検査値早わかりガイド」、江口正信・水口國雄著、サイオ出版、2017 年、3,000 円 ⑤看護学方法論Ⅰの配布資料				
1	講義内容	看護のゴールと期待される成果（講義） 看護のゴールと期待される成果について実務経験を活かし具体的に提示する。■			
	該当する到達目標	予習	事例Aに関する 11 パターンの情報の分類・アセスメント・看護診断を見		2 時間

			直す。事例Aの看護のゴールと期待される成果を考える。	
	1,5	復習	講義内容を振り返り、看護のゴールと期待される成果に関する理解を深める。	1 時間
2	講義内容	看護のゴールと期待される成果（グループワーク/解説）		
	該当する到達目標	予習	看護のゴールと期待される成果について各自まとめてくる。	1.5 時間
	1,5	復習	解説を振り返り理解を深める。	1.5 時間
3	講義内容	優先順位の決定（講義）		
	該当する到達目標	予習	事例Aの関連図と看護のゴールと期待される成果を見直す。	1.5 時間
	1,6	復習	講義内容を振り返り、事例Aの優先順位の決定に関する理解を深める。	1.5 時間
4	講義内容	優先順位の決定（グループワーク/解説）		
	該当する到達目標	予習	事例Aの優先順位を考える。	2 時間
	1,6	復習	優先順位について、各自まとめる。	1 時間
5	講義内容	看護計画（講義） 問題解決のための看護計画を立案する際、実際の場面が想起できるように具体的な事例を提示し解説する。■		
	該当する到達目標	予習	事例 A の看護計画を立案する	2 時間
	1,7	復習	講義内容を振り返り、優先順位の決定および看護計画に関する理解を深める。	1 時間
6	講義内容	看護計画：事例Aの看護問題に対する看護計画の立案（グループワーク）		
	該当する到達目標	予習	事例Aの看護問題に対する看護計画を立案する。	1.5 時間
	1,7	復習	グループで看護問題に対する看護計画を立案する。	1.5 時間
7	講義内容	看護計画：事例Aの看護問題について立案した看護計画の検討（グループワーク/解説）		
	該当する到達目標	予習	グループで看護問題に対する看護計画を立案する。	2 時間
	1,7	復習	講義内容を振り返り、看護問題に対する看護計画に関する理解を深める。	1 時間
8	講義内容	ミニテスト(45 分／40 点) 事例 B の紹介 実施・評価（講義） ケアの評価について実務経験を活かした具体的な事例を基に紹介する。■		
	該当する到達目標	予習	事例 B の病態生理・治療・検査データについて調べる。	2 時間
	1,7	復習	講義内容を振り返り、実施・評価・看護問題に対する看護計画に関する理解を深める。	1 時間
9	講義内容	事例Bのアセスメント・看護診断（グループワーク）		
	該当する到達目標	予習	事例Bのアセスメント・看護診断を行う。	2 時間
	1,3	復習	グループワークを振り返り、事例Bのアセスメント・看護診断を再検討する。	1 時間
10	講義内容	事例Bのアセスメント・看護診断（グループワーク）		

	該当する到達目標	予習	事例Bのアセスメント・看護診断を行う。	2 時間
	1,3	復習	グループワークを振り返り、事例Bのアセスメント・看護診断を再検討する。	1 時間
11	講義内容	事例Bのアセスメント・看護診断（グループワーク/ 質疑応答）1,2,3		
	該当する到達目標	予習	事例Bのアセスメント・看護診断を行う。	2 時間
	1,2,3	復習	配布資料をもとに、事例Bのアセスメント・看護診断に関する理解を深める。	1 時間
12	講義内容	事例Bの関連図・看護のゴール・優先順位（グループワーク/ 質疑応答）		
	該当する到達目標	予習	事例Bの関連図を作成し、看護のゴール・優先順位を設定する。	2 時間
	4,5,6	復習	講義内容を振り返り、事例Bの関連図・看護のゴール・優先順位に関する理解を深める。	1 時間
13	講義内容	事例Bの期待される成果・看護計画の立案（グループワーク）		
	該当する到達目標	予習	事例Bの期待される成果と看護計画を立案する。	2 時間
	5,6,7	復習	グループワークを振り返り、事例Bの期待される成果と看護計画を再検討する。	1 時間
14	講義内容	事例Bの期待される成果・看護計画の立案（グループワーク）		
	該当する到達目標	予習	事例Bの期待される成果と看護計画を立案する。	2 時間
	5,6,7	復習	グループワークを振り返り、事例Bの期待される成果と看護計画を再検討する。	1 時間
15	講義内容	事例Bの期待される成果・看護計画の立案（グループ発表 & ディスカッション）		
	該当する到達目標	予習	グループで事例Bの看護問題に対する期待される成果と看護計画を立案する。	2 時間
	5,6,7	復習	講義内容を振り返り、期待される成果と看護計画の立案に関する理解を深める。	1 時間
備考	メールアドレス 箕輪 : minowa@takasaki-u.ac.jp、 星野 : hoshino-c@takasaki-u.ac.jp 桐山 : kiriyama@takasaki-u.ac.jp オフィスアワー : 箕輪(水曜日・金曜日 2 時限目)、星野(水曜日・金曜日 2 時限目) 桐山(水曜日・金曜日 2 時限目) 授業の進め方 : 講義では、教科書と教員の配布する資料とパワーポイントにより説明する。 <u>グループワークは個人ワークをもとに行い、適宜質疑応答を受けながら進める。</u> なお、この科目は1年次後期に開講の「看護学方法論Ⅰ」の続きである。 ■実務経験に基づく内容を示す。			

看 082 看護倫理学 I

科目名	看護倫理学Ⅰ（看護専門科目群・専門分野Ⅰ・基礎看護学）			NRS310	講義
英文名	Nursing EthicsⅠ				
担当教員	倉林　しのぶ				
科目に関連した実務経験	保健師としての勤務経験： 県教育委員会、病院、事業所				
学年・開講期	3 年　後期	必選・単位数	必修　1 単位		
講義目標	西洋と日本における倫理観の違いおよび、看護倫理の歴史的発展についての理解を深めながら看護倫理の基本的知識を学ぶ。また、倫理原則や倫理綱領を基盤にしつつ、それだけに頼ることのない倫理的アプローチ方法を探求し、学生としての倫理観、医療現場における看護職者としての倫理的責任と、チームケアにおける看護職者の役割について学習する。				
到達目標	1.看護倫理の基本的知識を習得できる。 2.学生としての倫理的態度が理解できる。 3.医療現場における看護職者としての倫理的責任を理解できる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	試験 70%、授業参加度・態度等 20%、レポート 10%等　により総合的に評価します。				
課題に対するフィードバック	レポートについては、次の回の講義開始前に総評としてコメントする。				
使用教材	使用しない。				
1	講義内容	看護倫理の基礎的知識(倫理とは・看護倫理とは)			
	該当する到達目標	予習	医療倫理・看護倫理のイメージを考える		0.5 時間
	1,2	復習	倫理的思考とは何かについて理解する		1.5 時間
2	講義内容	価値について(医療における価値とは)■			
	該当する到達目標	予習	価値とは何かについて考える		1 時間
	1,2	復習	自分と他者との価値観の違いについて理解する		1.5 時間
3	講義内容	歴史的変遷/徳の倫理・原則の倫理			
	該当する到達目標	予習	よい医療者とは何かについてイメージ化する		1 時間
	1	復習	被験者保護の歴史について理解する		1.5 時間
4	講義内容	原則の倫理(倫理的判断基準としての原則とその限界)			
	該当する到達目標	予習	倫理的問題の判断について自分なりの意見をもつ		1 時間

	1	復習	医療に関する4つの倫理原則について理解する	1.5 時間
5	講義内容	インフォームド・コンセントと自律 ■		
	該当する到達目標	予習	インフォームド・コンセントとは何かについて考える	1 時間
	1,2	復習	インフォーム(説明)からコンセント(同意)までのプロセスについて理解する	1.5 時間
6	講義内容	終末期医療とアドヴァンス・ケア・プランニング ■		
	該当する到達目標	予習	終末期の医療・ケアについて考える	1 時間
	1,2,3	復習	終末期医療の倫理的課題と医療者の姿勢について理解する	1.5 時間
7	講義内容	倫理的課題と看護実践1(ケース検討)		
	該当する到達目標	予習	第1回～第6回の内容を見直す	1 時間
	1,2,3	復習	今回のケースについての倫理的判断の根拠とそのプロセスを理解する	1.5 時間
8	講義内容	倫理的課題と看護実践2(ケース検討)・まとめ		
	該当する到達目標	予習	第1回～第6回の内容を見直す	1 時間
	1,2,3	復習	今回のケースについての倫理的判断の根拠とそのプロセスを理解する	1.5 時間
備考	授業の進め方:教員が作成したパワーポイント及び資料を使いディスカッション形式ですすめる。後半には事例をとりあげグループワークをしたうえで解説する。 オフィスアワー:月曜日・火曜日の11:00～13:00 質問はいつでも受け付けます。(メール可)※ただし、メールの場合は学科・学年・氏名を必ず記載のこと。 E-mail: kura@takasaki-u.ac.jp 参考文献:服部健二 医療倫理学ABC第4版(メヂカルフレンド社) ■: 実務経験に基づく内容を示す			

看 083 基礎看護学実習 I

科目名	基礎看護学実習Ⅰ（看護専門科目群・専門分野Ⅰ・基礎看護学）			NRS115	実習
英文名	Fundamental Nursing PracticumⅠ				
担当教員	星野千春、鶴田晴美、箕輪千佳、桐山勝枝、				
科目に関連した実務経験	看護師として大学病院に勤務（経験）				
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	患者（家族）とのコミュニケーションや看護ケアへの参加を通して、患者（家族）や患者（家族）のニーズおよび療養環境を理解し、コミュニケーションおよび看護ケアの重要性について考える。				
到達目標	1. 患者（家族）とのコミュニケーションを通して、患者（家族）の気持ちおよびニーズを理解する。■ 2. 患者（家族）との関わりを通して、援助関係を形成するためのコミュニケーションの重要性について考察できる。■ 3. 看護ケアの見学を通して、患者を取り巻く療養環境について考察できる。■ 4. 看護ケアの見学を通して、看護ケアにおける安全・安楽・個別性について考察できる。■ 5. 看護ケアの見学を通して、看護の役割について考察できる。■ 6. 看護職者としての基本的な態度（倫理的態度）を身につけることができる。■				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	実習中の看護実践（48 点）、倫理的態度・学習態度（40 点）、まとめレポート（12 点）をもとに評価表に沿って評価する。				
課題に対するフィードバック	実習中に作成した実習記録およびまとめレポートは、授業担当者からのコメントを付して返却する。				
使用教材	実習要項				
講義内容	実習内容（病院実習 2 日間、学内実習 3 日間、計 5 日間の実習） 1. 患者（家族）との関わりを通して、自分の問いと反応を知り、患者（家族）の気持ち（苦痛、気がかり、心配、期待、希望など）を理解する。 2. 患者に必要な日常生活援助に関連する看護援助について考えた上でケアを見学し、患者の療養環境について考察する。 3. 患者に必要な日常生活援助に関連する看護援助について考えた上でケアを見学し、看護ケアについて考察する。				

	4. 1～3をふまえて看護の役割について考察する。 看護ケア見学の場面では、患者のおかれている状況から、ケアの方法についての意味づけができるよう実務経験を基に指導する。■ 5. 1～4をふまえて看護者としての基本的な態度(倫理的態度)を身につける。 病院実習では、患者(家族)との関わりをナラティブレコードに記述すること、見学した日常生活援助について観察ノートに記述すること、カンファレンス等を通して自分の考えや思いを考察する。また、学内実習では、看護体験を基にコミュニケーションや看護ケアについて言語化し、考察を深める。 患者(家族)とのコミュニケーションを通して、学生が患者(家族)の思いに気づくことができるよう実務経験を基に関わる。■	
	予習	当日の実習目標および行動計画を記述する。 期間中 適宜
	復習	実習での体験を振り返り、指定の記録用紙に観察した場面および考えたことを記述する。その日の実習目標を評価する。 期間中 適宜
備考	メールアドレス：箕輪:minowa@takasaki-u.ac.jp、星野:hoshino-c@takasaki-u.ac.jp、 桐山 kiriyama@takasaki-u.ac.jp オフィスアワー：箕輪(水曜日・金曜日 2 限目)、星野(水曜日・金曜日 2 時限目) 桐山(水曜日・金曜日 2 時限目) ・予習、復習に必要な時間は特に明記しないが、実習期間中は病棟実習に入る前に必ず事前学習を行い、帰宅後は指導を受けた内容をふりかえり記録用紙への記述を行う。 ■実務経験に基づく内容を示す。	

看 084 基礎看護学実習Ⅱ

科目名	基礎看護学実習Ⅱ（看護専門科目群・専門分野Ⅰ・基礎看護学）			NRS212	実習
英文名	Fundamental Nursing Practicum Ⅱ				
担当教員	桐山勝枝、鶴田晴美、箕輪千佳、星野千春				
科目に関連した実務経験	看護師として大学病院に勤務（経験）				
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	必修 3 単位		
講義目標	コミュニケーションや日常生活援助等の看護ケアを通してケアリングを体験し、入院加療している患者（家族）の反応、健康問題・健康課題および病いの体験について理解する。さらに、患者（家族）の健康問題・健康課題に対する看護ケアについて看護過程を用いて展開し、看護ケアの意味を考える。				
到達目標	1.患者(家族)の症状や生活における反応や病気に対する思い(心配・気がかり・期待・希望)に関心を向ける。■ 2.患者の病態や臨床所見(徴候や検査データ)と患者の症状や生活・生活行動を関連づけて理解する。■ 3.コミュニケーションや日常生活援助等の看護ケアを通してケアリングを体験し、患者(家族)の病いの体験を理解する。■ 4.実施した看護ケアに対する安全・安楽・個別性について考察する。■ 5.健康問題・健康課題に対する看護ケアについて看護過程を用いて展開する。■ 6.看護者としての基本的な態度(倫理的態度)を身につける。■				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	実習中の看護実践内容(80 点)、倫理的態度・学習態度(20 点)をもとに評価表に添って評価する。				
課題に対するフィードバック	実習中に作成した各実習記録および実習のまとめレポートは実習担当者からのコメントを付して返却する。				
使用教材	①看護学実習要項、基礎看護学実習Ⅱ要項 ②実習に関連する授業のテキストおよび資料 ③看護ケア学習プログラムの資料				
講義内容	実習内容(3 日間の学内実習、7 日間の病院実習、病院実習後 5 日間の学内実習) 1.患者(家族)の反応、心配や気がかり(病気、症状、生活等)に関心を向ける。				

	2.患者の病態や臨床所見(徴候や検査データ)と患者の症状や生活・生活行動を関連づけて理解する。病態から生活行動まで関連付けて理解できるよう、実務経験を基に指導する。■ 3.コミュニケーションや日常生活援助等の看護ケアを通してケアリングを体験し、患者(家族)の病いの体験を理解する。 4.実施した看護ケアに対する安全・安楽・個別性について考察し、看護ケアの意味を考える。 あらゆる発達段階の対象の特徴、健康段階、治療、家族の役割などの理解が深められるよう、実務経験を基に指導する。■ 5.健康問題・健康課題に対する看護ケアについて看護過程を用いて展開する。 6.看護者としての基本的な態度(倫理的態度)を身につける。 病院実習では、患者(家族)との関わりをナラティブレコードに記述すること、患者の疾患に関する病態生理・臨床所見・症状について調べてまとめること、患者の症状や生活における反応を記述し、患者が必要としている看護ケアについて考えること、実施した看護ケアの意味について考えることに取り組む。さらにカンファレンス等を通して自分の考えや思いを考察する。また、学内実習では、病院実習での看護実践について看護過程を用いて検討を深め、患者(家族)の病いの体験および実施した看護ケアの意味を考える。		
	予習	当日の実習目標および行動計画を具体的に考える。¥n 看護ケアの実施に関しては必要性、援助方法、留意点を明確にする。	期間中 適宜
	復習	実習での体験を振り返り、指定の各記録用紙の項目について記述する。	期間中 適宜
備考	メールアドレス : 箕輪 : minowa@takasaki-u.ac.jp 星野 : hoshino-c@takasaki-u.ac.jp 桐山 : kiriyama@takasaki-u.ac.jp オフィスアワー : 箕輪(水曜日・金曜日 2 時限目) 星野(水曜日・金曜日 2 時限目) 桐山(水曜日・金曜日 2 時限目) ・予習、復習に必要な時間は明記しないが、実習前に前に実習目標および実習目的を確認しながら自己学習したうえで実習に臨むと共に、実習後は一日の実習体験を振り返りながら記録用紙にまとめ、翌日の実習につなげる。 ■実務経験に基づく内容を示す。		

看 085 医療コミュニケーション論

科目名		医療コミュニケーション論（看護専門科目群・専門分野Ⅰ・基礎看護学）			NRS116	講義
英文名		Medical Communication				
担当教員		池田優子　小池洋子　安野朝子				
科目に関連した実務経験		大学病院・総合病院に看護師及び看護部長として勤務(経験)■				
学年・開講期		1 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標		医療におけるコミュニケーションの重要性を理解し、医療場面におけるコミュニケーションの特徴の理解と、状況に応じたコミュニケーション技術を学ぶ				
到達目標		1. 医療におけるコミュニケーションの特徴が理解できる ■ 2. 効果的なコミュニケーションの方法を知り、実施する 3. 患者の状況に応じたコミュニケーションのあり方について考えられる ■				
学位授与方針との対応		✓	1. 人間理解と倫理観			
		✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		✓	3. チームの一員としての協調・協働			
			4. 国際理解			
			5. 生涯学習力			
評価方法		1. 毎回の感想と、施設における高齢者とのコミュニケーション体験のレポートで 50 点 2. 最終回に事例を基にロールプレイを実施し、プロセスレコードの考察のレポートで 50 点				
課題に対するフィードバック		毎回、講義・演習の感想や質問を書かせ、次の授業でコメントを返し、質問への解説を行う 理解できたか学生に確認し、新たな課題や質問が出された場合、その都度回答する				
使用教材		「看護コミュニケーションー基礎から学ぶスキルとトレーニング」 篠崎恵美子・藤井徹也 著　医学書院				
1	講義内容	医療の場において看護が果たす役割とコミュニケーション ■				
	該当する到達目標	予習	日常のコミュニケーションとの違いについて考えてくる			1.5 時間
	1	復習	患者理解とケアのためにコミュニケーションが果たす役割を整理する			1.5 時間
2	講義内容	医療場面の看護活動と患者とのコミュニケーションの理解 ■				
	該当する到達目標	予習	医療の場がどのようなところか、どのようなコミュニケーションが必要かまとめる			1.5 時間
	1	復習	コミュニケーションの特徴を整理する			1.5 時間
3	講義内容	コミュニケーションの構成要素と落とし穴				
	該当する到達目標	予習	コミュニケーションの特徴について予習しておく			1.5 時間
	1	復習	伝言ゲームによりコミュニケーションエラーがどのようにして起きるか			1.5 時間

			整理する	
4	講義内容	基本的なコミュニケーションスキル(言語・非言語)		
	該当する到達目標	予習	テキストの第 2 章を読んでくる	1.5 時間
	1	復習	DVD[コミュニケーションの基本]で学べたスキルと自己の課題を整理する	1.5 時間
5	講義内容	コミュニケーションの 準備(聞く・聴く)スキルの演習		
	該当する到達目標	予習	テキストの第 6 章を読んでくる	1.5 時間
	1, 2	復習	演習を基に気づいたことを整理する	1.5 時間
6	講義内容	聞く・伝えるスキルの学習		
	該当する到達目標	予習	テキストの第 6 章を読んでくる	1.5 時間
	1, 2	復習	DVD[スキル学習 I]で学べたスキルと自己の課題を整理する	1.5 時間
7	講義内容	質問のスキル「閉じた質問・開いた質問・肯定質問・未来質問		
	該当する到達目標	予習	テキストの第 5 章を読んでくる	1.5 時間
	1,2	復習	DVD[スキル学習 II]で学べたスキルと自己の課題を整理する	1.5 時間
8	講義内容	慢性の病を抱える患者とのコミュニケーション ■		
	該当する到達目標	予習	家族の体験や闘病記を読み、どのようなコミュニケーションが必要が考える	1.5 時間
	1,2,3	復習	事例のロールプレイの中で、実施できたスキルと課題を整理する	1.5 時間
9	講義内容	老年期における患者とのコミュニケーション ■		
	該当する到達目標	予習	テキストの第 10 章を読んでくる	1.5 時間
	1,2,3	復習	事例のロールプレイの中で実施できたスキルと課題を整理する	1.5 時間
10	講義内容	高齢者施設におけるコミュニケーションの実施 I		
	該当する到達目標	予習	テキスト 10 章を読み返し、必要な姿勢とコミュニケーションについてまとめる	1.5 時間
	1,2,3	復習	コミュニケーション体験をプロセスレコードに起こす	1.5 時間
11	講義内容	高齢者施設におけるコミュニケーションの実施 II		
	該当する到達目標	予習	テキスト 10 章を読み返し、必要な姿勢とコミュニケーションについてまとめる	1.5 時間
	1,2,3	復習	コミュニケーション体験をプロセスレコードに起こす	1.5 時間
12	講義内容	高齢者とのコミュニケーション体験の振り返り		
	該当する到達目標	予習	高齢者に対する自分のコミュニケーションの傾向と課題をまとめておく	1.5 時間
	1,2,3	復習	全体の振り返りの中で出された課題と解決策を整理する	1.5 時間
13	講義内容	実習で起きやすいブロッキング		
	該当する到達目標	予習	3 回のロールプレイで、自分がどのように変化してきたかまとめておく	1.5 時間
	1,2,3	復習	自己に起きやすいブロッキングについて分析する	1.5 時間
14	講義内容	コミュニケーションの分析と改善策を見つける 1,2,3		
	該当する到達目標	予習	ブロッキングを整理し、どのようにかわれば改善できるか考える	1.5 時間

	1,2,3	復習	コミュニケーションの分析方法を基に自分の課題を明らかにする	1.5 時間
	講義内容	総まとめと演習		
15	該当する到達目標	予習	今まで学んだコミュニケーションスキルやロールプレイを整理しておく	1.5 時間
	1,2,3	復習	総まとめを理解し、実施したロールプレイについて考察する	1.5 時間
備考	担当教員連絡先: 池田優子 E メールアドレス yikeda @takasaki-u.ac.jp オフィスアワー: 月曜日3-5限 木曜日1-2限 授業期間全体を通じた授業の進め方: 1. 授業は 3 部で構成され、①医療におけるコミュニケーションの特徴とコミュニケーションスキル、②さまざまな対象者とのコミュニケーション、③実習における患者とのコミュニケーションの順に進めていく 2. 教材については、テキストを参考に、ビデオ教材の聴取や教員が制作したプリントとパワーポイントを使った授業を行う 3. 講義は最初に概要を説明し、後半は事例を基に 2 人組、3 人組でコミュニケーションの演習を取り入れコミュニケーションスキルの習得ができるようにしている (■:実務経験に基づく内容を示す。)			

看 086 成人看護学概論

科目名		成人看護学概論（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・成人看護学）			NRS120	講義
英文名		Introduction to Adult Nursing				
担当教員		吉田久美子・神田清子・石田順子・砂賀道子				
科目に関連した実務経験		看護師として大学病院に勤務（経験）				
学年・開講期		1 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標		成人期の特徴を理解し、様々な健康レベルにある対象の特徴と看護の役割について習得する。また、成人期にある対象の健康増進や疾病からの回復、疾病との共存を支援するために必要となる基礎的な理論や概念を習得する。				
到達目標		1. 成人期の特徴を理解し、様々な健康レベルにある対象の特徴と看護の役割について説明できる。■ 2. 成人期にある対象の健康増進や疾病からの回復、疾病との共存を支援するために必要となる基礎的な理論や概念が説明できる。				
学位授与方針との対応		✓	1. 人間理解と倫理観			
		✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		✓	3. チームの一員としての協調・協働			
			4. 国際理解			
			5. 生涯学習力			
評価方法		・出席状況・レポート 30% 筆記試験 70%で評価する。 ・総合評価 60 点以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック		・レポートにはコメントなどを付けて返却する。 ・定期試験の前に、学習内容の要点と予習・復習の意図を関連付け資料によって示す。				
使用教材		・大西和子他編集,成人看護学概論,ヌーヴェルヒロカワ ISBN978-4-86174-021-3 ・毎回の授業時に構造的に学習内容を記載した資料を配付する。				
1	講義内容	第 1 章 成人看護学の特性 I 成人看護学の対象と援助の概要 <担当:吉田>				
	該当する到達目標	予習	成人看護学に含まれる対象についてテキストを読む。			1 時間
	1	復習	ライフサイクルにおける区分と各期の特徴を理解する。			1.5 時間
2	講義内容	第 1 章 成人看護学の特性 II 成人期の特徴 <神田>				
	該当する到達目標	予習	成人期における各期の身体的・心理的・社会的特徴の概要をとらえる。			1 時間
	1	復習	成人期の特徴と現代における発達課題について関連させ理解する。			1.5 時間
3	講義内容	第 1 章 成人看護学の特性 III 成人期にある人の健康問題 <神田>				
	該当する到達目標	予習	1)生活習慣病として代表的な 3 つの疾患名をあげる。2)1)であげた疾患の2つについて、①原因の臓器の解剖生理、②生活習慣との関連、③症状、④主な治療や療養法について調べる。			1 時間

	1	復習	成人期にある人が罹患しやすい生活習慣病と必要な療養法の要点をまとめる。	1.5 時間
4	講義内容	第2章健康レベルにおける対象と看護の特徴Ⅰ急性期にある対象の特徴と看護<石田>		
	該当する到達目標	予習	対象の特徴について、1)成人が遭遇する身体侵襲の種類と、2)急性期にある対象の健康状態の特徴についてテキストを読む。	1 時間
	1	復習	急性期にある対象の身体的・心理的变化をふまえた看護の要点をまとめる。	1.5 時間
5	講義内容	第2章健康レベルにおける対象と看護の特徴Ⅱ回復期にある対象の特徴と看護<石田>		
	該当する到達目標	予習	1).リハビリテーションとリハビリテーション看護の定義、2).リハビリテーション看護の内容、3).リハビリテーション看護の事例について調べる。	1 時間
	1	復習	回復期にある対象のリハビリテーションを促す看護の要点をまとめ確認する。	1.5 時間
6	講義内容	第2章健康レベルにおける対象と看護の特徴Ⅲ慢性期にある生活習慣病の患者の特徴と看護①■<吉田>		
	該当する到達目標	予習	慢性期にある対象の特徴として、1)各系統別にみた主な慢性疾患の疾患名と、2)肝臓の機能、肝硬変の症状と主な治療法について調べる。	1 時間
	1	復習	慢性期にある対象の悪化を防ぐための看護の要点をまとめ確認する。	1.5 時間
7	講義内容	第2章健康レベルにおける対象と看護の特徴Ⅲ慢性期にあるがん患者の特徴と看護②<神田>		
	該当する到達目標	予習	慢性期にある対象の特徴と看護として、1)がんの主な治療法と化学療法の副作用と、2)治療中のがん患者に対する看護の例を調べる。	1 時間
	1	復習	治療期にあるがん患者の看護の要点についてまとめ理解する。	1.5 時間
8	講義内容	第2章健康レベルにおける対象と看護の特徴Ⅳ終末期にある対象の特徴と看護<神田>		
	該当する到達目標	予習	1).緩和ケアの定義、2)全人的苦痛に含まれる主な苦痛、3)終末期の患者に対する看護の例について調べる。	1 時間
	1	復習	終末期にある対象の全人的苦痛をふまえた看護の要点をまとめ確認する。	1.5 時間
9	講義内容	第3章成人看護学の展開に活用される理論1 ストレス理論 2 危機理論<砂賀>		
	該当する到達目標	予習	1).ストレス理論のストレス、ストレッサー、コーピングの意味について調べる。2).危機の意味、フィンの危機モデルの内容と例を調べる。	1 時間
	1,2	復習	強いストレスを抱える対象に向けた看護の要点をまとめ確認する。	1.5 時間
10	講義内容	第3章成人看護学の展開に活用される理論3 セルフケア理論■<吉田>		
	該当する到達目標	予習	1)セルフケアの定義と、2)セルフケアを支援する看護の例を調べる。	1 時間
	1,2	復習	セルフケアを必要とする対象に向けた看護の要点をまとめ確認する。	1.5 時間
11	講義内容	第4章成人看護学の展開に活用される理論4 アンドラゴジー<砂賀>		

	該当する到達目標	予習	1)アンドラゴジーとペタゴジーの違い、2)成人学習者の特性について調べる。	1 時間
	1,2	復習	アンドラゴジーの考え方について読み確認する。	1.5 時間
12	講義内容	第 5 章 成人看護学における看護倫理 <神田>		
	該当する到達目標	予習	看護倫理の定義と、成人看護にまつわる今日的な倫理的課題について調べる。	1 時間
	1,2	復習	看護倫理の重要性と JNA の倫理綱領についてテキストを読み確認する。	1.5 時間
13	講義内容	第 6 章 成人看護学における看護過程 1 展開の概要 ■ <吉田>		
	該当する到達目標	予習	1)看護過程の目的と、2)ゴードンの機能的健康パターンの分類を調べる。	1 時間
	1,2	復習	看護過程の各プロセスにおける要点についてテキストと資料を読み確認する。	1.5 時間
14	講義内容	第 6 章 成人看護学における看護過程 2 展開の方法 ■ <吉田>		
	該当する到達目標	予習	テキストの事例を購読し、脳梗塞と糖尿病について調べる。	1 時間
	1,2	復習	事例における看護過程の展開のポイントを確認する。	1.5 時間
15	講義内容	【まとめ】 <吉田>		
	該当する到達目標	予習	授業資料から第 1～14 回までの要点を確認する。	1 時間
	1,2	復習	全般的に授業内容を振り返り、到達目標に向け体系的に知識をまとめる	1.5 時間
備考	1.担当教員連絡先:E メールアドレス yoshikumi@takasaki-u.ac.jp 2.オフィスアワー :月曜日 1～4 限・火曜日 1～3 限 3.授業の進め方: 1)教材として、テキストと教員の作成する授業資料を使用する。 2)授業方法は、講義内容の要点について、事例を用いながら講義し、質問などに対しても具体的な説明をする。 3)到達目標に向け学習が効果的に積み重ねられるよう、学習内容を体系的に提示し進めていく。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

看 087 成人看護学方法論 I - A

科目名		成人看護学方法論Ⅰ-A（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・成人看護学）			NRS220	講義
英文名		Adult Nursing: Assessment and SkillsⅠ-A（Acute Care）				
担当教員		石田順子 砂賀道子 藤本桂子				
科目に関連した実務経験		大学病院で看護師としての臨床経験あり				
学年・開講期		2 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標		周手術期にある人とその家族の身体的、心理・社会的特徴について理解し、その特徴をふまえた看護実践を行うための基礎知識について学習する。また健康状態が急激に変化し、危機的状態にある人の回復過程について知識を深め、具体的な看護および看護の役割について学習する。				
到達目標		1.周手術期にある人とその家族の身体的、心理・社会的特徴について理解できる。 2.手術を受ける人の術前・術中・術後の看護実践を行うための基礎的知識が理解できる。■ 3.急激な外科的侵襲によって危機的状態にある人の回復過程について理解できる。 4.急激な外科的侵襲によって危機的状態にある人が回復に向かうための具体的な看護と看護の役割について理解できる。■				
学位授与方針との対応		✓	1. 人間理解と倫理観			
		✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		✓	3. チームの一員としての協調・協働			
			4. 国際理解			
			5. 生涯学習力			
評価方法		・出席状況、レポート(またはマメテスト1回)20%、筆記試験 80%で評価する。 ・総合評価で 60 点以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック		レポート等にはコメントをつけて返却する 定期試験の前に、学習内容の要点を記載した資料を配布する				
使用教材		教科書「NURSING 看護学テキスト Nice 成人看護学急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護 改訂第2版」(南江堂)ISBN978-4-524-26136-9 2,800 円+税 毎回、授業資料を配布する 参考文献はその都度提示する				
1	講義内容	周手術期看護とは？ 周手術期にある人とその家族の特徴について				
	該当する到達目標	予習	教科書の第2部第Ⅰ章に目を通す。			1 時間
	1,2	復習	周手術期と「周手術期にある人とその看護の特徴について整理し、理解する。			1.5 時間
2	講義内容	手術前期の看護 手術前の患者の基本的看護の技術				
	該当する到達目標	予習	教科書の第2部第Ⅱ章に目を通す			1 時間

	1,2	復習	手術前期にある患者の特徴と、手術前期の基本的看護技術について整理し、理解する。	1.5 時間
3	講義内容	手術中の看護 手術中の患者の基本的看護技術		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 2 部第Ⅲ章に目を通す	1 時間
	1,2	復習	手術室看護と手術室において提供される看護について死利子、理解する。-	1.5 時間
4	講義内容	手術後期の看護① 手術侵襲への生体反応と侵襲からの回復過程の看護		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 1 部の 2 と第 2 部の 1 に目を通す	1 時間
	1,2	復習	手術から受ける侵襲及び、手術侵襲から回復するための看護を整理し、理解する。	1.5 時間
5	講義内容	手術後期の看護② 術後合併症と術後の回復を促進するケア■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 2 部第Ⅳ、Ⅴ章に目を通す	1 時間
	1,2	復習	手術することで起こる合併症と術後の回復を促進するケアについて整理し、理解する。	1.5 時間
6	講義内容	統制機能(脳神経機能)の再確立—開頭腫瘍摘出術を受ける人の看護■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 2 部第Ⅵ章の 1 に目を通す。	1 時間
	3,4	復習	開頭腫瘍摘出術を受ける人の特徴と看護についてまとめ理解する。	1.5 時間
7	講義内容	呼吸機能の再確立—肺葉切除術を受ける人の看護		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 2 部第Ⅵ章の 2 に目を通す。	1 時間
	3,4	復習	肺葉切除術を受ける人の特徴と看護についてまとめ理解する。	1.5 時間
8	講義内容	循環機能の再確立—冠動脈バイパス術を受ける人・PCI を受ける人の看護■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 2 部第Ⅵ章の 3 に目を通す。	1 時間
	3,4	復習	冠動脈バイパス術を受ける人の特徴と看護についてまとめ理解する。	1.5 時間
9	講義内容	摂食機能の再確立—胃切除術を受ける人の看護		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 2 部第Ⅵ章の 4 に目を通す。	1 時間
	3,4	復習	胃切除術を受ける人の特徴と看護についてまとめ理解する。	1.5 時間
10	講義内容	消化機能の再確立・排泄機能の再確立①—胆嚢切除術(腹腔鏡手術)・尿道的膀胱腫瘍切除術を受ける人の看護 経を受ける人の看護		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 2 部第Ⅵ章の 5、7 に目を通す。	1 時間
	3,4	復習	胆嚢摘出術および腹腔鏡手術を受ける人の特徴と看護についてまとめ理解する。	1.5 時間
11	講義内容	排泄機能の再確立②—低位前方切除術を受ける人の看護		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 2 部第Ⅵ章の 6 に目を通す。	1 時間
	3,4	復習	低位前方切除術を受ける人の特徴と看護についてまとめ理解する。	1.5 時間
12	講義内容	運動機能の再確立—人工股関節置換術を受ける人の看護		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 2 部第Ⅵ章の 8 に目を通す。	1 時間
	3,4	復習	人工関節置換術を受ける人の特徴と看護についてまとめ理解する。	1.5 時間

13	講義内容	生殖機能の再確立①－乳房切除術を受ける人の看護		
	該当する到達目標	予習	教科書の第2部第VI章の9に目を通す。	1 時間
	3,4	復習	乳房切除術を受ける人の特徴と看護についてまとめ理解する。	1.5 時間
14	講義内容	生殖機能の再確立②－子宮摘出術を受ける人の看護		
	該当する到達目標	予習	教科書の第2部第VI章の10に目を通す。	1 時間
	3,4	復習	子宮摘出術を受ける人の特徴と看護についてまとめ理解する。	1.5 時間
15	講義内容	周手術期看護のまとめ		
	該当する到達目標	予習	授業資料から第1～14回までの要点を確認する。	1 時間
	3,4	復習	授業内容を振り返り周手術期看護について体系的に整理する。	1.5 時間
備考	・科目責任者のメールアドレス:jishida@takasaki-u.ac.jp(石田) ・オフィスアワー:火曜日(1～2限、4限以降)・金曜日(2限以降)(5号館4階 石田研究室) ・授業は教科書と自作のプリントおよびパワーポイントを提示して要点をまとめていく。 ・講義によっては、DVDを使用して実際の看護や手術の様子を提示して要点を説明する。 ・質問等は、講義中にも受けるが、質問や疑問はメールでも受ける ・出席確認のためリアクションペーパーを配布する。これに質問等を記載した場合は、次回の講義でコメントする。 ■:実務経験をふまえた内容を示す			

看 088 成人看護学方法論Ⅰ-B

科目名	成人看護学方法論Ⅰ-B（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・成人看護学			NRS221	講義
英文名	Adult Nursing:Assessment and SkillsⅠ-B (Acute Care)				
担当教員	砂賀 道子 石田 順子 藤本 桂子				
科目に関連した実務経験	看護師として大学病院及び総合病院に勤務(経験)				
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	わが国の急性期・救急医療の現状を理解し、急性期・救急患者の特徴、急性期・救急看護の役割、集中治療室等における看護について学習する。また、急性期にある人の看護過程の展開を行い、具体的な看護を学習する。				
到達目標	1. 急性期・救急医療の現状が理解できる。 2. 急性期・救急患者の特徴が理解できる。■ 3. 急性期・救急看護の役割、救急外来・集中治療室の看護について理解できる。 4. 急性期・救急看護において基本的な看護技術を演習を通して習得できる。■ 5. 急性期にある人の看護過程の展開ができる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	定期試験 60%、看護過程 40%で評価する。 総合評価で 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	・看護過程はコメントをつけ返却する。 ・術後観察ノートは演習中に課題の解答を確認する。また、演習で行わない項目については第 15 回のまとめの講義で解答を示す。 ・定期試験の前に学習内容の要点を資料により示す。				
使用教材	1. 教科書「Nursing 看護学テキスト Nice 成人看護学急性期看護Ⅱ 救急看護 改訂版 2 版」南江堂 ISBN:978-4-524-26136-9 2. 「看護診断ハンドブック」医学書院 3. 授業資料は毎回の授業で配布する。看護過程の授業では「アセスメントガイド」、演習では「術後観察演習ノート」、その他必要な資料を配布する。				
1	講義内容	急性期にある人の看護過程①:事例紹介と今後の進め方、情報収集について			
	該当する到達目標	予習	事前に配布した事例を読む。		1 時間
	5	復習	講義で使用した配布資料を活用し、自己の看護過程記録を進める。		1.5 時間
2	講義内容	急性期にある人の看護過程②:アセスメント(健康知覚・健康管理パターン、活動・運動パターン)			
	該当する到達目標	予習	事例と「アセスメントガイド」の健康知覚・健康管理パターン、活動・運動		1 時間

			パターンの部分を読む。	
	5	復習	講義で使用した配布資料を活用し、自己の看護過程記録を進める。	1.5 時間
3	講義内容	急性期にある人の看護過程③:アセスメント(栄養・代謝パターン、排泄パターン)		
	該当する到達目標	予習	事例と「アセスメントガイド」の栄養・代謝パターン、排泄パターンの部分を読む。	1 時間
	5	復習	講義で使用した配布資料を活用し、自己の看護過程記録を進める。	1.5 時間
4	講義内容	【演習】急性期看護に必要な看護技術Ⅰ:術後観察技術①■		
	該当する到達目標	予習	第1回目で配布した「術後観察演習ノート」の課題部分を学習しておく	1 時間
	4	復習	術後観察に必要な技術の要点を整理し理解する。	1.5 時間
5	講義内容	【演習】急性期看護に必要な看護技術Ⅰ:術後観察技術②■		
	該当する到達目標	予習	第1回目で配布した「術後観察演習ノート」の課題部分を学習しておく	1 時間
	4	復習	術後観察に必要な技術の要点を整理し理解する。	1.5 時間
6	講義内容	急性期にある人の看護過程④:関連図、問題リスト		
	該当する到達目標	予習	第1回目～第3回目までのアセスメントを完成させておく。	1 時間
	5	復習	講義で使用した配布資料を活用し、自己の看護過程記録を進める。 「看護診断ハンドブック」を活用し看護問題・共同問題について理解する。	1.5 時間
7	講義内容	急性期にある人の看護過程⑤:看護計画、評価		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読む。	1 時間
	5	復習	講義で使用した配布資料を活用し、自己の看護過程記録を進める。	1.5 時間
8	講義内容	急性期・救急医療の現状と患者の特徴 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書第Ⅰ章、第Ⅲ章、第Ⅳ章を読む。	1 時間
	1、2	復習	急性期・救急医療と患者の特徴を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	急性期・救急看護:救急外来・集中治療室における看護		
	該当する到達目標	予習	教科書第Ⅱ章、第Ⅴ章、第Ⅵ章を読む。	1 時間
	2、3	復習	救急外来・集中治療室における看護の特徴と役割を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	救急看護に特徴的な看護:激しい胸痛を訴える患者の看護		
	該当する到達目標	予習	教科書第Ⅹ章-1を読む。	1 時間
	2、3	復習	激しい胸痛を訴える患者の看護の概要を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	救急看護に特徴的な看護:激しい頭痛を訴える患者の看護		
	該当する到達目標	予習	教科書第Ⅹ章-2を読む。	1 時間
	2、3	復習	激しい頭痛を訴える患者の看護の概要を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	救急看護・災害看護の実際 救急におけるフライトナースの役割と看護		
	該当する到達目標	予習	教科書第Ⅰ章-3、第Ⅷ章を読む。	1 時間
	1、3	復習	救急・災害看護におけるフライトナースの役割と看護を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	【演習】急性期看護に必要な看護技術Ⅱ:BLS(一次救命処置)①		
	該当する到達目標	予習	配布された事前学習課題を読み、課題を完成させる。	1 時間
	4	復習	BLSの手順とポイントが理解できる。	1.5 時間

14	講義内容	【演習】急性期看護に必要な看護技術Ⅱ：BLS（一次救命処置）②		
	該当する到達目標	予習	配布された事前学習課題を読み、課題を完成させる。	1 時間
	4	復習	BLS の手順とポイントが理解できる。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	今までの講義資料、「術後観察演習ノート」を見直す。	1 時間
	1～5	復習	講義内容を振り返り、急性期・救急看護の要点をまとめる。	1.5 時間
備考	・科目責任者(砂賀)連絡先:sunaga@takasaki-u.ac.jp ・オフィスアワー：火曜日3～4限、金曜日 2～3 限(5 号館 4 階 406 研究室:砂賀) ・授業期間全体を通じた授業の進め方 ①看護過程の講義では教員の配布する資料とパワーポイントにより各項目のポイントとなることを示し、説明する。講義後半は質疑応答を受けながら進める。 ②. ①以外の講義は基本的に教科書と教員の配布する資料、パワーポイントによる説明を行い、質問は随時受け付ける。救急看護の導入では DVD を使用する。 ・質問・疑問等ある場合はメールでも随時受け付ける。 ・授業中提示した課題については、提出期限を厳守のこと。 ・■：実務経験を踏まえた内容を示す。			

看 089 成人看護学方法論Ⅱ-A

科目名		成人看護学方法論Ⅱ-A（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・成人看護学）			NRS222	講義
英文名		Adult Nursing: Assessment and Skills II-A (Chronic Care)				
担当教員		吉田 久美子 福島 直子 中川 裕				
科目に関連した実務経験		看護師として総合病院に勤務（経験）				
学年・開講期		2 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標		慢性期にあり、生涯、疾病をコントロールする必要がある対象の特徴の理解し、疾病の悪化を予防するために対象のセルフケアを促進するための看護について習得できる。また、終末期にあり、治療を受けながら緩和ケアを必要としている対象の特徴と看護について習得できる。				
到達目標		1.慢性期にあり、生涯、疾病をコントロールする必要がある対象の特徴について説明できる。 2.疾病の悪化を予防するために対象のセルフケアを促進するための看護について説明できる。■ 3.終末期にあり、緩和ケアを必要としている対象の特徴と看護について説明できる。				
学位授与方針との対応		✓	1. 人間理解と倫理観			
		✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		✓	3. チームの一員としての協調・協働			
			4. 国際理解			
			5. 生涯学習力			
評価方法		出席状況・レポート 30% 筆記試験 70%で評価する。 総合評価 60 点以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック		・レポートにはコメントなどを付けて返却する。 ・定期試験の前に、学習内容の要点と予習・復習の意図を関連付け資料によって示す。				
使用教材		・鈴木志津枝，藤田佐和編集，慢性期看護論，ヌーヴェルヒロカワ.ISBN978-4-86174-061-9 ・毎回の授業時に構造的に学習内容を記載した資料を配付する。				
1	講義内容	第 1 章 慢性期にある対象の特徴と看護の基本 1.慢性疾患の考え方と特徴				
	該当する到達目標	予習	慢性疾患の特徴についてテキストⅠ章 慢性期看護の考え方を読んでおくこと			1 時間
	1	復習	テキストⅠ章-2,3 を読み、講義内容と関連づけまとめておくこと			1.5 時間
2	講義内容	第 1 章 慢性期にある対象の特徴と看護の基本 2.慢性疾患がある対象の看護の基本				
	該当する到達目標	予習	慢性疾患がある対象の特徴についてテキストのⅡ章 慢性期にある人の特徴と理解をを読んでおくこと			1 時間
	1,2	復習	・テキスト p41「人は実際にどのような思いを抱くか」事例 1～3 を読み患者が抱く思いについて考察する。・テキスト p496 の事例 2 を読み看護のポイントを考察すること			1.5 時間
3	講義内容	第 2 章 終末期にある対象の特徴と看護の基本 1.緩和ケアを受けるがん患者の特徴と看護				

	の基本			
	該当する到達目標	予習	成人看護学概論の授業資料を使用し緩和ケアの定義とWHOの主なサービスを読んでおくこと	1時間
	3	復習	緩和ケアを必要とする対象の特徴と看護の基本について要点をまとめること	1.5時間
4	講義内容	第2章 終末期にある対象の特徴と看護の基本 2.緩和ケアを受けるがん患者の特徴と看護		
	該当する到達目標	予習	緩和ケアの概要について第3回の授業資料を読んでくること	1時間
	3	復習	第4回の授業資料を読み、要点を確認しておくこと	1.5時間
5	講義内容	第3章 呼吸機能障害がある対象の看護 1.慢性閉塞性肺疾患の患者の看護		
	該当する到達目標	予習	呼吸器系の解剖と生理について確認しておくこと	1時間
	1,2	復習	テキストⅣ章-2を読みCOPDの患者の教育的支援の重要性について考察すること	1.5時間
6	講義内容	第3章 呼吸機能障害がある対象の看護 2.終末期の肺がんの患者の看護 ■		
	該当する到達目標	予習	緩和ケアの定義とWHOの主なサービスについて授業資料を読んでおくこと	1時間
	1,3	復習	授業資料を読み、要点を確認しておくこと	1.5時間
7	講義内容	第4章 循環機能障害がある対象の看護 1.心筋梗塞の患者の看護 ■		
	該当する到達目標	予習	肺循環・体循環と心臓の解剖・生理について読んでおくこと	1時間
	1,2	復習	テキストⅤ章-1と3を読み、心筋梗塞の患者の特徴と看護をまとめる	1.5時間
8	講義内容	第4章 循環機能障害がある対象の看護 2-1.心不全の患者の看護 ■		
	該当する到達目標	予習	右・左心不全の症状を生理学や病態と関連づけまとめておくこと	1時間
	1,2	復習	心不全の特徴をもとに、患者の特徴を身体的・心理的・社会的側面からまとめること	1.5時間
9	講義内容	第4章 循環機能障害がある対象の看護 2-2.心不全の患者の看護		
	該当する到達目標	予習	心不全の患者の看護を身体的・心理的・社会的側面からまとめておくこと	1時間
	1,2	復習	心不全の患者のセルフケアの支援について焦点をあて、看護過程を記録すること	1.5時間
10	講義内容	第5章 栄養摂取・代謝障害がある対象の看護 1-1.肝硬変の患者の看護		
	該当する到達目標	予習	肝臓の解剖生理、肝硬変の病態について確認しておくこと	1時間
	1,2	復習	・テキストⅦ章-3を読み症状と生活への影響をもとにアセスメントの要点をまとめる。・テキスト パートⅢ 事例編 事例2を読み、看護のポイントを確認すること	1.5時間
11	講義内容	第5章 栄養摂取・代謝障害がある対象の看護 1-2.肝硬変の患者の看護展開 ■		
	該当する到達目標	予習	・テキストⅦ章-3を読み症状と生活への影響をもとにアセスメントの要点をまとめる。・テキスト パートⅢ 事例編 事例2を読み、看護のポイントを確認する。	1時間

	1,2	復習	肝硬変の事例の患者についてセルフケアを支援する看護過程を記録する。	1.5 時間
12	講義内容	第 5 章 栄養摂取・代謝障害がある対象の看護 2..大腸がんの患者の看護		
	該当する到達目標	予習	大腸の解剖生理と、大腸がんの病態について確認しておくこと	1 時間
	1,2	復習	テキスト VII章-6 大腸がん患者への看護を読み、看護のポイントを考察すること	1.5 時間
13	講義内容	【演習】慢性疾患がある対象のセルフケアを促進する援助方法 [循環機能障害がある対象の看護]		
	該当する到達目標	予習	心筋梗塞の患者の特徴と看護について確認しておくこと	1 時間
	1,2	復習	心電図検査を受ける患者への看護の要点をまとめること	1.5 時間
14	講義内容	【演習】慢性疾患がある対象のセルフケアを促進する援助方法 [循環機能障害がある対象の看護] 1,2		
	該当する到達目標	予習	心筋梗塞の患者の主要なパターンについてアセスメントの要点を確認しておくこと	1 時間
	1,2	復習	演習を振り返り、看護の要点をまとめておくこと	1.5 時間
15	講義内容	【まとめ】		
	該当する到達目標	予習	授業資料から第 1～14 回までの要点を確認しておくこと	1 時間
	1,2,3	復習	授業内容を全般的に振り返り、到達目標に向け体系的に要点をまとめておくこと	1.5 時間
備考	1.担当教員連絡先:E メールアドレス yoshikumi@takasaki-u.ac.jp 2.オフィスアワー :月曜日 1～4 限・火曜日 1～3 限 3.授業の進め方: 1)教材として、テキストと教員の作成する授業資料を使用する。 2)授業方法は、講義内容の要点について、事例を用いながら講義し、質問などに対しても具体的な説明をする。 3)到達目標に向け学習が効果的に積み重ねられるよう、学習内容を体系的に提示し進めていく。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

看 090 成人看護学方法論Ⅱ-B

科目名		成人看護学方法論Ⅱ-B（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・成人看護学）			NRS223	講義
英文名		Adult Nursing: Assessment and SkillsⅡ-B（Chronic Care）				
担当教員		吉田 久美子 福島 直子 中川 裕				
科目に関連した実務経験		看護師として総合病院に勤務（経験）				
学年・開講期		2 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標		慢性期にあり、生涯、疾病をコントロールする必要がある対象の特徴の理解し、疾病の悪化を予防するために対象のセルフケアを促進するための看護について習得できる。また、終末期にあり、治療を受けながら緩和ケアを必要としている対象の特徴と看護について習得できる。				
到達目標		1.慢性期にあり、生涯、疾病をコントロールする必要がある対象の特徴について説明できる。 2.疾病の悪化を予防するために対象のセルフケアを促進するための看護について説明できる。■ 3.終末期にあり、緩和ケアを必要としている対象の特徴と看護について説明できる。■				
学位授与方針との対応		✓	1. 人間理解と倫理観			
		✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		✓	3. チームの一員としての協調・協働			
			4. 国際理解			
			5. 生涯学習力			
評価方法		・出席状況とレポート 30%・筆記試験 70%で評価する。 ・総合評価 60 点以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック		・レポートにはコメントなどを付けて返却する。 ・定期試験の前に、学習内容の要点と予習・復習の意図を関連付け資料によって示す。				
使用教材		・鈴木志津枝，藤田佐和編集，慢性期看護論，ヌーヴェルヒロカワ.ISBN978-4-86174-061-9 ・毎回の授業時に構造的に学習内容を記載した資料を配付する。				
1	講義内容	第 1 章 脳・神経系に障害がある対象の看護 難病の患者の看護				
	該当する到達目標	予習	脳・神経系の解剖と生理について復習をしておく。			1 時間
	1,2	復習	テキストⅥ章-3 を読み、ALS の患者の看護について要点をまとめておく。			1.5 時間
2	講義内容	第 2 章 生体防御機能障害がある対象の看護 1.白血病患者の看護の基本				
	該当する到達目標	予習	白血病患者の病態について確認する。			1 時間
	1,2	復習	白血病患者の患者の特徴と基本的な看護についてまとめる。			1.5 時間
3	講義内容	第 2 章 生体防御機能障害がある対象の看護 2.白血病患者の看護				
	該当する到達目標	予習	白血病患者の患者の身体的・心理的・社会的特徴の要点をまとめる。			1 時間
	1,2	復習	白血病患者の患者の特徴をふまえ、セルフケアを支援する看護の要点を			1.5 時間

			まとめる。	
4	講義内容	第3章 代謝機能障害がある対象の看護 1. 糖尿病の患者の看護の基本		
	該当する到達目標	予習	糖尿病の病態を確認し、テキストⅧ章 慢性の代謝機能障害をもつ患者の看護を読む。	1 時間
	1,2	復習	糖尿病の患者の特徴をふまえ、セルフケアを促す看護について要点をまとめる。	1.5 時間
5	講義内容	第3章 代謝機能障害がある対象の看護 2. 糖尿病の患者の看護 ■		
	該当する到達目標	予習	糖尿病の急性合併症と慢性合併症について確認する。	1 時間
	1,2	復習	慢性合併症を併発した糖尿病の患者の看護について要点をまとめる。	1.5 時間
6	講義内容	第3章 代謝機能障害がある対象の看護 3 糖尿病の患者の看護 【演習】 慢性疾患がある対象のセルフケアを促進する援助方法		
	該当する到達目標	予習	糖尿病の患者の食事療法の方法についてテキストと資料を読む。	1 時間
	1,2	復習	食事療法を学習中の患者の看護について考察する。	1.5 時間
7	講義内容	第3章 代謝機能障害がある対象の看護 4 糖尿病の患者の看護 【演習】 糖尿病の患者のセルフケアを促進する援助方法		
	該当する到達目標	予習	自己血糖測定の方法についてテキストと資料を用いて読む。	1 時間
	1,2	復習	自己血糖測定を学習中の糖尿病の患者の看護について考察する。	1.5 時間
8	講義内容	第4章 内部環境調節障害がある対象の看護 1 腎不全の患者の看護の基本		
	該当する到達目標	予習	腎不全の病態について確認し、テキストⅨ章 1～3 を読む。	1 時間
	1,2	復習	腎不全の患者の特徴をふまえ、看護の要点を授業資料など活用しまとめる。	1.5 時間
9	講義内容	第4章 内部環境調節障害がある対象の看護 2 腎不全の患者の看護 ■		
	該当する到達目標	予習	腎不全の患者の身体的・心理的・社会的特徴の要点をまとめる。	1 時間
	1,2	復習	腎不全の患者の看護を身体的・心理的・社会的側面から要点をまとめる。	1.5 時間
10	講義内容	第4章 内部環境調節障害がある対象の看護 3. 腎不全の患者の看護過程 【演習】 腎不全の患者のセルフケアを促進する援助方法		
	該当する到達目標	予習	テキストⅨ章 1～3 を読み、Ⅲ期以降の患者の看護について要点をまとめる。	1 時間
	1,2	復習	腎不全の患者の看護を身体的・心理的・社会的側面から要点をまとめる。	1.5 時間
11	講義内容	第4章 内部環境調節障害がある対象の看護 4. 腎不全の患者の看護過程 【演習】 腎不全の患者のセルフケアを促進する援助方法		
	該当する到達目標	予習	テキストⅨ章 1～3 を読み、Ⅲ期以降の患者の看護について要点をまとめる。	1 時間
	1,2	復習	事例の患者のセルフケアを促すことを焦点に看護過程を記載する。	1.5 時間

12	講義内容	第4章 内部環境調節障害がある対象の看護 5. 腎不全の患者の看護過程 【演習】 腎不全の患者のセルフケアを促進する援助方法		
	該当する到達目標	予習	テキストⅨ章 1～3 を読み、Ⅲ期以降の患者の看護について要点をまとめる。	1 時間
	1,2	復習	事例の患者のセルフケアを促すことを焦点に看護過程を記載する。	1.5 時間
13	講義内容	第5章 終末期にあり緩和ケアを受ける患者の看護－1 ■		
	3	予習	成人看護学方法論Ⅱ－A の授業資料で緩和ケアの概念について読んでおくこと	1 時間
		復習	授業資料の要点をまとめておくこと	1.5 時間
14	講義内容	第5章 終末期にあり緩和ケアを受ける患者の看護－2		
	3	予習	第 13 回の授業資料を読んでおくこと	1 時間
		復習	授業資料の要点をまとめておくこと	1.5 時間
15	講義内容	【まとめ】 学習内容の要点の確認・慢性疾患がある患者の看護の体系化		
	該当する到達目標	予習	第 1～14 回までの授業資料を用いて要点を確認する。	1 時間
	1,2,3	復習	授業内容を全般的に振り返り、到達目標に向け体系的に知識をまとめる。	1.5 時間
備考	1.担当教員連絡先:E メールアドレス yoshikumi@takasaki-u.ac.jp 2.オフィスアワー :月曜日 1～4 限・火曜日 1～3 限 3.授業の進め方: 1)教材として、テキストと教員の作成する授業資料を使用する。 2)授業方法は、講義内容の要点について、事例を用いながら講義し、質問などに対しても具体的な説明をする。 3)到達目標に向け学習が効果的に積み重ねられるよう、学習内容を体系的に提示し進めていく。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

看 091 セルフケア論

科目名	セルフケア論（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・成人看護学）			NRS224	講義
英文名	Self-care Theory In Nursing				
担当教員	吉田久美子				
科目に関連した実務経験	看護師として総合病院に勤務（経験）				
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標	慢性疾患がある対象にセルフケア理論と関連する理論について理解し、対象のセルフケアを促進するための看護の方法について習得できる。				
到達目標	1. 慢性疾患がある対象に活用するセルフケア理論と関連する理論について説明できる。 2. 対象のセルフケアを促進するための看護の方法について説明できる。■				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	・出席状況・レポート 30%、筆記試験 70%で評価する。 ・総合評価 60 点以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	・レポートなどにはコメントなどを付けて返却する。 ・課題については学習内容の要点と予習・復習の意図を関連付け示し、資料によってフィードバックする。				
使用教材	・安酸史子他編, 成人看護学 セルフマネジメント,MC メディカ. ISBN978-4-8404-4129-2 C3347 ・毎回の授業時に学習内容を構造的に記載した資料を配付する。				
1	講義内容	第1章 セルフケアの基本 1.セルフケアの定義とオレム理論			
	該当する到達目標	予習	セルフケア理論におけるセルフケアの定義とセルフケア要件を読み理解する。		1 時間
	1	復習	セルフケア理論のセルフケア不足理論と看護システムについて理解する		1.5 時間
2	講義内容	第1章 セルフケアの基本 2.セルフケアに関連する理論			
	該当する到達目標	予習	セルフマネジメントと自己効力感理論についてテキストを読み、概要を理解する。		1 時間
	1	復習	セルフマネジメントと自己効力感理論における看護の要点をまとめる。		1.5 時間
3	講義内容	第1章 セルフケアの基本 3.セルフケアを促す基本的看護 ■			
	該当する到達目標	予習	看護過程の健康知覚-健康管理パターンの分析ポイントを確認する。		1 時間
	1,2	復習	看護過程における支持・教育看護システムの活用について要点をまとめる。		1.5 時間

4	講義内容	第2章 セルフケアを促進する看護方法 1.がんとともに生きる患者のセルフケアを支える看護①■		
	該当する到達目標	予習	緩和ケアの定義と主なサービスについて成人看護学概論の授業資料を読む。	1 時間
	1,2	復習	がん患者のセルフケアを支援する看護師の役割と方法の要点をまとめる。	1.5 時間
5	講義内容	第2章 セルフケアを促進する看護方法 1.がんとともに生きる患者のセルフケアを支える看護②■		
	該当する到達目標	予習	終末期の患者の特徴と全人的苦痛について復習し要点を確認する。	1 時間
	1,2	復習	終末期における患者のセルフケアを支援する看護の要点を考察する。	時間
6	講義内容	第2章 セルフケアを促進する看護方法 2.慢性疾患患者のセルフケアを促進する看護方法		
	該当する到達目標	予習	セルフケア理論と関連するセルフマネジメントや自己効力感について復習する。	1 時間
	1,2	復習	セルフケア理論と関連する理論を活用した看護の要点をまとめる	1.5 時間
7	講義内容	第2章 セルフケアを促進する看護方法 2.リハビリテーション看護を基盤にした看護方法■		
	該当する到達目標	予習	リハビリテーション看護の定義と方法について復習し要点を確認する。	1 時間
	1,2	復習	ADL の支援を中心にリハビリテーション看護の要点をまとめ確認する。	1.5 時間
8	講義内容	【まとめ】		
	該当する到達目標	予習	セルフケアを促進する看護の方法について授業で学習した内容を確認する。	1 時間
	1,2	復習	セルフケアを促進する看護の方法を活用し事例について考察する。	1.5 時間
備考	1.担当教員連絡先:E メールアドレス yoshikumi@takasaki-u.ac.jp 2.オフィスアワー :月曜日 1～4 限・火曜日 1～3 限 3.授業の進め方: 1)教材として、テキストと教員の作成する授業資料を使用する。 2)授業方法は、講義内容の要点について、事例を用いながら講義し、質問などに対しても具体的な説明をする。 3)到達目標に向け学習が効果的に積み重ねられるよう、学習内容を体系的に提示し進めていく。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

看 092 成人看護学実習 I

科目名	成人看護学実習Ⅰ（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・成人看護学）			NRS320	実習
英文名	Adult Nursing: Practicum I (Acute Care, Perioperative)				
担当教員	石田 順子 砂賀 道子 藤本桂子				
科目に関連した実務経験	看護師として大学病院での経験あり。				
学年・開講期	3 年 前期 3 年 後期	必選・単位数	必修 3 単位		
講義目標	急性期・回復期に問題のある成人期の対象を総合的にとらえ、健康障害からの回復と社会復帰に向けて看護過程を展開し、看護の実践能力を養う。				
到達目標	1. 急性期・回復期にある対象の特徴をふまえて、対象を理解できる。■ 2. 急性期・回復期にある人の障害された健康段階を知り、健康障害の状況にある対象を理解できる。■ 3. 急性期・回復期にある人の看護上の問題を把握し、解決に向けて看護計画を立案、実施、評価できる。■ 4. 急性期・回復期にある人のストレスとコーピング、ボディイメージ変化の受容、喪失と悲嘆のプロセスを理解し、必要な援助が理解できる。■ 5. 手術を受ける人の外科的侵襲に伴う著しい変化を理解し、心身の回復や社会への適応をはかれるよう援助ができる。■ 6. 急性期・回復期に携わる医療チームの役割と連携について理解できる。■ 7. 健康の維持・増進のための社会資源の活用と援助について理解できる。■				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	・配布された記録用紙に必要な記録を行い提出するとともに以下の基準を満たしていることを評価の条件とする。 1.病院実習中に自分の受け持ち患者の看護計画を用いて事例カンファレンスを行う。 2.3 週目の事例発表会で受け持ち患者の事例をまとめてプレゼンテーションを行う。 ・実習中は、適宜面接を行い、最終的に評価表を用いて、病院実習、学内実習、カンファレンスへの参加度、記録内容(事前学習、看護過程、行動記録、終了時レポート等)および実習参加度(実習における態度も含む)等について総合的に評価する。 ・総合評価 60 点以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	・事前課題、実習記録等において提出期限内に提出した学生には、担当者からのコメントを付して返却する。				

ドバック	・カンファレンスや、事例発表会等においては、担当者がその都度コメントをする。		
使用教材	・関連する科目の授業資料：成人看護学方法論Ⅰ－A・Ⅰ－B（術後観察ノート、アセスメントガイド等含む） ・成人看護学実習Ⅰの実習要項 ・2年次に使用した教科書（NURSING 看護学テキスト Nice 成人看護学急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護 改訂版第2版）と看護診断ハンドブック（医学書院）		
講義内容	I. 実習内容 ■ 1. 成人の急性期または回復期の健康障害を持つ患者を受け持ち、受け持ち患者の看護過程を展開する。また、受け持ち患者と関連する病棟以外の部門の見学実習等も行う。 2. カンファレンス（グループ・全体）により学びを深める。 3. 看護過程記録、事前レポート、終了時レポートなどの記録を実施し提出する。 II. 実習計画 ■ 実習は3週間であり、2週間は臨地において病院実習を行い、3週目の1週間は学内で全体のまとめを行う。3週間の実習期間を通して、急性期・回復期にある患者に対して看護過程を展開し、看護実践を行う。 1 週目：対象の健康上の諸問題に関する情報を収集し、看護計画の立案及び実施ができる。 2 週目：看護計画の実施・修正ができる。 3 週目：対象の健康の回復のための総合評価（計画の妥当性と検討）ができる。		
	予習	・急性期・回復期実習が円滑に進むように最低限に必要な知識（事前学習課題）について学習する。 ・受け持ち患者の疾患レポートを作成する。 ・日々の実習においては、行動計画用紙を活用し、目標達成するために学習計画を立てて実習に臨む。 ・手術見学、IDU 見学を行う場合は、それぞれどのようなことが学びたいのか調べて見学願いを作成する。 ・教員、実習指導者の助言に基づき、看護実践に必要な知識と技術について学習を行う。	期間中 適宜
	復習	・行動計画用紙を活用し、実習を振り返り、目標の達成状況と自己評価を行う。 ・病院実習の中で、得られた情報をもとに、受け持ち患者記録を整理する。また、整理した記録から対象に必要な援助及び日常生活指導や退院指導を導きだし、準備を進めていく。 ・手術見学・ICU（HCU）見学を行った場合は、どのようなことを学ぶことができたか見学レポートを作成する。	期間中 適宜
備考	・科目責任者のメールアドレス：jishida@takasaki-u.ac.jp（石田） ・オフィスアワー：火曜日（1～2 限、4 限以降）・金曜日（2限以降）（5号館4階 石田研究室） ・1 グループ 5～6 名の学生に教員 1 名と病院の指導者 1 名がついて、指導を行う。 ・実習は、学生が患者 1 名を受け持ち主体的に看護過程を展開していく。看護問題を導き出す過程で事前学習や疾患レポート等を用いて指導を行う。 ・看護ケアを施行するときは、看護ケアを提供できる知識があるか確認した後、ケアを提供する。		

■: 実務経験をふまえた内容を示す

看 093 成人看護学実習Ⅱ

科目名	成人看護学実習Ⅱ（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・成人看護学）			NRS321	実習
英文名	Adult Nursing: Practicum II (Chronic Care)				
担当教員	吉田久美子・福島直子・中川裕				
科目に関連した実務経験	看護師として総合病院に勤務（経験）				
学年・開講期	3 年 前期 3 年 後期	必選・単位数	必修 3 単位		
講義目標	慢性疾患がある成人期の対象の特徴をとらえ、QOL の向上をめざしセルフケアを促進する看護を学習する。また、終末期にある対象の生命の尊厳を重視し、全人的苦痛を緩和するための看護を学ぶ。				
到達目標	1.慢性疾患を抱える対象の身体的・心理的・社会的特徴について説明できる。 2.看護過程のプロセスを経て、対象に適したセルフケアの確立に向けた援助ができる。■ 3.対象の日常生活行動の援助について、適した方法を計画し援助ができる。■ 4.検査や治療について目的や方法、生じやすい身体的・心理的な影響を理解し援助ができる。■ 5. 緩和ケアを理解し、終末期にある対象の全人的苦痛の緩和に向けた援助について説明できる■ 6.看護者としての学習態度を育み、慢性期および終末期にある対象の看護を考察できる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	・実習中は適宜面接を行い、最終的に評価表を用い実習目標への達成度を評価する。 ・総合評価 60 点以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	病棟実習期間中の日々の実習記録や学内実習で作成したグループワークによる資料について、担当教員よりコメントを付しフィードバックする。習熟度の向上に向け、追加修正された箇所についてもコメントする。				
使用教材	・関連する科目の授業資料：成人看護学概論、成人看護学方法論Ⅱ-A・Ⅱ-B、セルフケア論 ・成人看護学実習Ⅱの実習要項と事前配付資料など。				
講義内容	病棟実習を 2 週間（1 日 8 時間、週 4 日）行い、学内実習・治療室実習を 1 週間（1 日 8 時間、週 5 日）行う。 到達目標の達成に向け下記の学習内容について実習する。 1. 慢性疾患を抱える対象の身体的・心理的・社会的特徴について説明できる。 1)慢性期にある対象の身体的特徴を記述する。 2)慢性期にある対象の心理的特徴を記述する。 3)慢性期にある対象の社会的特徴を記述する。				

	2. 看護過程のプロセスを経て、対象に適したセルフケアの確立に向けた援助ができる。■ 1)対象の生活習慣や自己管理に関する情報を収集する。 2)セルフケアに関して対象が抱えている問題を分析する。 3)分析に基づき対象の状態に応じた目標と計画を立案する。 4)看護師と共に指導を実施する。 5)セルフケアの評価をする。¥n6)慢性疾患をもつ対象の家族への看護を考える。 3. 対象の日常生活行動の援助の重要性や適した方法を理解し、援助ができる。 1)日々の援助に参加し、疾病や治療により日常生活行動や心理面に影響している状況を分析する。 2)1)をふまえ、目標や看護計画を立案する。 3)2)の看護計画を対象の状況に応じ実施し、評価する。 4. 検査や治療について目的や方法、生じやすい身体的・心理的な影響を理解し援助ができる。 1)検査や治療の目的と方法をふまえ、検査や治療によって生じる危険性のある合併症、身体的・心理的な¥n 影響を分析する。 2)1)をふまえ、目標や看護計画を立案する。 3)2)の看護計画を対象の状況に応じ実施し、評価する。 5. 緩和ケアを理解し、終末期にある対象の全人的苦痛の緩和に向けた援助について説明できる。 1)対象が抱えている全人的苦痛の理解に努める。 2)対象が全人的苦痛を抱え生活していることを考え、共感的態度で接する。 3)対象の全人的苦痛の緩和や家族への支援に向け、援助を実施する。 6. 慢性期・終末期にある対象の看護を考察できる。 1)実習全体において看護者として協調性、主体性、責任感、倫理観を育むよう努める。 2)実習で遭遇した現象について、背景や意味について洞察し理解を深めるよう関連する概念や理論を活用し考察する。 3)慢性疾患患者の援助について、既習学習をふまえカンファレンスやグループワークから対象のQOL の向上に向けた看護を考察する。 * 病棟実習期間中は実習指導者による指導も受ける。		
	予習	慢性疾患患者の特徴や、受け持ち患者に関する疾患や看護について学習する。	実習前
	復習	・実習先で指導を受けたことをふまえ、受け持ち患者記録を記載し追加修正を加える。¥n・病棟実習で得た経験からの学びなど記録の準備など計画的に進める。 ¥n・学内実習で得た学びなどを記録し、提出レポートなど記録物をまとめる。	期間中 適宜
備考	1.科目責任者のメールアドレス: yoshikumi@takasaki-u.ac.jp 2.オフィスアワー:前期・後期(金曜 2 時限目)。 3.授業の進め方 1)病棟実習と学内実習において、個々の学生が主体的に学習できるよう個別にサポートする。 2)既習の知識や技術を活用しながら実習目標に向かうことが出来るよう、臨床指導者と協力体制を整え指導する。 3)看護者として求められる態度についても、協調性や責任感、倫理観など総合的に育成できるよう支援する。 4.その他		

- ・受講するためには臨地実習科目の履修承認基準を満たしていることが必要となる。
 - ・必要な基礎的知識を備え実習にのぞむことができるよう、実習前演習などに出席すること。
 - ・病棟実習中は「日々の記録」と「受け持ち患者記録」などの記録を病棟指導者の助言などもふまえて記載できるように教員がサポートする。
 - ・学内実習では病棟実習の経験をふまえてグループで資料作成などを計画しているため、成人看護学概論や成人看護学方法論Ⅱ-A・Ⅱ-B、セルフケア論で学習した理論や概念を復習しておくことを勧める。
- ：実務経験に基づく内容を示す。

看 094 老年看護学概論

科目名	老年看護学概論（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・老年看護学）			NRS130	講義
英文名	Introduction to Gerontological Nursing				
担当教員	大澤幸枝、小池洋子、梅原里実				
科目に関連した実務経験	内科と回復期リハビリテーション病棟のある病院で看護部長として勤務（経験） 看護小規模多機能型居宅介護施設長をゲストスピーカーとして招聘（第 13 回）				
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	老年看護の対象である高齢者とその家族を、加齢や疾病・障害、過去から現在までの社会・生活状況などから多角的に理解し、老年期に起こりやすい健康障害や諸問題の特徴を学習する。また、高齢者を援助する看護の役割を理解し、その人らしさを支え権利擁護できる心構えを学習する。				
到達目標	1. 老いるということ、老いを生きるということ、超高齢社会等、老年看護を学ぶ上で必要な社会情勢が理解できる。高齢者に対するイメージや理解度を自覚できる。 2. 高齢者の生理機能（感覚・運動・神経系・消化・腎・排泄系・循環・呼吸器系）の理解とともに、高齢者のアセスメントが理解できる。 3. 超高齢社会と社会保障（①家族や暮らし ②社会保障制度・介護保険 ③権利擁護など）、高齢者の居住施設と看護について理解できる。■ 4. エンドオブライフケアの理解、高齢者の死を考える事ができる。■ 5. 高齢者体験を通して高齢者の理解が深まる。 6. 高齢者とヘルスプロモーションについて理解できる。 7. 高齢者のリスクマネジメントについて理解できる。 ■ 8. 老年看護に活用できる諸理論・概念、発達課題の理解ができる。 9. 高齢者及び認知症者の入院における実態や看護内容を学ぶことで、老年看護の役割や責務について理解できる。■				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	定期試験 65%と、課題レポート・出席状況・学習態度で 35%%の評価 総合評価 60%以上を合格とする				
課題に対するフィードバック	演習・特別講演・フィールドワークの各課題に基づいて提出されたレポート内容に関し、授業時間を用いて、公表やコメントする。				
使用教材	教科書〔1〕 系統看護学講座専門分野Ⅱ 老年看護学・北川公子・医学書院・2018・2,700 円（税別） 参考書〔1〕 看護実践のための根拠がわかる老年看護技術 泉キヨ子、小山幸代・メディカルフレンド社・2017・3,600 円（税別）				

	講義用資料を随時配布する			
1	講義内容	シラバスの説明、高齢者の理解・イメージ等確認、我が国の統計からみた超高齢社会情勢		
	該当する到達目標	予習	教科書[1]の第1章を読んでくる。	1.5 時間
	1,3	復習	配布資料の復習。フィールドワークの課題である健康高齢者インタビュー等の準備を行い、科目授業終了時にレポート提出。	1.5 時間
2	講義内容	加齢とは、老化とは、老いること、老いを生きるということ、発達課題、諸理論		
	該当する到達目標	予習	教科書[1]の第1章を読んでくる。	1.5 時間
	1,8	復習	教科書と配布資料の復習。	1.5 時間
3	講義内容	高齢者の生理機能(老年看護援助技術のDVD視聴)とアセスメント①		
	該当する到達目標	予習	教科書[1]の第4章を読んでくる。	1.5 時間
	2	復習	教科書と配布資料の復習。	1.5 時間
4	講義内容	高齢者の生理機能とアセスメント②		
	該当する到達目標	予習	教科書[1]の第4章を読んでくる。前回の復習。	1.5 時間
	2	復習	教科書と配布資料の復習。	1.5 時間
5	講義内容	高齢者の生理機能とアセスメント③		
	該当する到達目標	予習	教科書[1]の第4章を読んでくる。前回の復習。	1.5 時間
	2	復習	教科書と2.3配布資料の復習。	1.5 時間
6	講義内容	超高齢社会と社会保障①(超高齢社会の現況、家族、高齢者世帯、健康、死亡、暮らし等)		
	該当する到達目標	予習	教科書[1]の第2章-Aを読んでくる。	1.5 時間
	3	復習	教科書と配布資料の復習。	1.5 時間
7	講義内容	超高齢社会と社会保障②(高齢者と保健医療福祉システム、介護保険、多職種連携活動等)		
	該当する到達目標	予習	教科書[1]の第2章-Bを読んでくる。	1.5 時間
	3	復習	教科書と配布資料の復習。	1.5 時間
8	講義内容	超高齢社会と社会保障③(高齢者の権利擁護:高齢者差別:虐待、身体拘束、倫理的視点、意思決定など)■		
	該当する到達目標	予習	教科書[1]の第2章-Cを読んでくる。	1.5 時間
	3,4	復習	教科書と配布資料の復習。	2 時間
9	講義内容	高齢者体験(半数ずつ) 高齢者の死(老衰死のDVD):視聴後の感想提出(時間内)		
	該当する到達目標	予習	事前の演習体験資料に基づいて、目的・体験内容を理解する。	1.5 時間
	2,4,5	復習	体験を通しての課題に基づき、レポート提出	2 時間
10	講義内容	高齢者体験(半数ずつ) 高齢者の死(老衰死のDVD):視聴後の感想提出(時間内)		
	該当する到達目標	予習	事前の演習体験資料に基づいて、目的・体験内容を理解する。	1.5 時間
	2,4,5	復習	体験を通しての課題に基づき、レポート提出	1.5 時間
11	講義内容	エンドオブライフケア■		
	該当する到達目標	予習	教科書[1]の第8章を読んでくる。	1.5 時間
	1,4	復習	教科書と配布資料の復習。	1.5 時間
12	講義内容	老年期のヘルスプロモーション、高齢者のQOL、生活支援		

	該当する到達目標	予習	教科書[1]の第9章を読んでくる。	1.5 時間
	1,6	復習	教科書と配布資料の復習。	2 時間
13	講義内容	特別講演:地域で療養する高齢者の理解(看護小規模多機能型居宅介護を利用している高齢者の理解とその看護)		
	該当する到達目標	予習	教科書[1]の第2章-B、第9章-Bを読んでくる。	1.5 時間
	1,3,4,9	復習	講演後に課題に基づいてレポート提出	1.5 時間
14	講義内容	高齢者のリスクマネジメント(災害と看護を含む) ■		
	該当する到達目標	予習	教科書[1]の第10章を読んでくる。	1.5 時間
	7	復習	教科書と配布資料の復習	1.5 時間
15	講義内容	老年看護とは、看護者の役割・責務、老年看護に求められるもの、老年看護学まとめ ■		
	該当する到達目標	予習	今までの学習内容を振り返り、疑問点等整理してくる。	1.5 時間
	1~9	復習	教科書と配布資料の復習。今までの授業を参考に、フィールドワークで健康高齢者にインタビューしたものをレポートにまとめ提出。	2 時間
備考	オフィスアワー(大澤):火曜日の1限~2限、質問はメールで受け付けます。 授業の進め方:講義毎に本日の講義概要を説明した上で、教本や教員の作成した資料やパワーポイントを用いて要点を提示し、行っていく。質疑応答も適宜受けながら進めて行く。 ■:看護部長として高齢者や認知症者の支援方法の一つである「院内デイケア」設立とその看護の経験や、現在当大学で行っている認知症看護認定看護師教育課程の主任教員として経験などを活かし、教授する。 メールアドレス: oosawa-y@takasaki-u.ac.jp 研究室:4号館 5階 506 研究室 (■:実務経験に基づく内容を示す。)			

看 095 老年看護学方法論 I

科目名		老年看護学方法論Ⅰ（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・老年看護学）			NRS230	講義
英文名		Gerontological Nursing: Assessment and SkillsⅠ				
担当教員		内田真理子・星河純子・梅原里実				
科目に関連した実務経験		看護師として病院勤務（経験）、訪問看護師として訪問看護ステーション勤務（経験） 現職の音楽療法士をゲストスピーカーとして招く（第8回、第9回）				
学年・開講期		2年 前期	必選・単位数	必修 1単位		
講義目標		治療を必要とする高齢者、援助を必要とする要介護高齢者など、様々な健康レベルにある高齢者の障害や症状に応じた看護方法を学習する。				
到達目標		1. 加齢による生活機能への影響を理解し、高齢者の生活機能を整える看護について理解できる。■ 2. 高齢者にとっての検査・治療を理解し、検査・治療を受ける高齢者の看護について理解できる。 3. 認知機能障害の特徴と認知機能障害のある高齢者の看護が理解できる。 4. 高齢者に特徴的な疾患および症状を理解し、疾患および症状を抱える高齢者の看護について理解できる。■ 5. 臨床現場で遭遇する高齢患者の実際を学び、高齢者の尊厳、QOLをふまえたその人らしい日常生活を送るための看護について理解できる。■				
学位授与方針との対応		✓	1. 人間理解と倫理観			
		✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		✓	3. チームの一員としての協調・協働			
			4. 国際理解			
			5. 生涯学習力			
評価方法		筆記試験 85%、レポート 10%、授業参加度・学習態度 5%				
課題に対するフィードバック		課題に基づいて提出されたレポート内容について、授業時間を用いて公表やコメントを行う。				
使用教材		[1] 系統看護学講座専門分野Ⅱ 老年看護学・北川公子・医学書院・2018・2,700円+税 [2] 看護実践のための根拠がわかる老年看護技術・泉キヨ子、小山幸代・メヂカルフレンド社・2017・3,600円+税 講義資料を随時配布する。				
1	講義内容	高齢者の生活機能を整える看護 1 日常生活を支える基本的活動 ■				
	該当する到達目標	予習	教科書[1] 第5章A、教科書[2] 第Ⅲ章 ④⑥に目を通す。			1時間
	1, 4, 5	復習	加齢による運動機能の低下から起こる生活障害を理解し、高齢者の日常生活を支える基本的活動への援助方法を学ぶ。教科書、配			1.5時間

			布資料を復習する。	
2	講義内容	高齢者の生活機能を整える看護2 食事・食生活		
	該当する到達目標	予習	教科書[1] 第5章B、教科書[2] 第Ⅲ章①、第Ⅳ章①に目を通す。	1時間
	1, 4, 5	復習	加齢による機能低下から起こる食生活への影響を理解し、高齢者の食生活を支える援助を学ぶ。教科書、配布資料を復習する。	1.5時間
3	講義内容	高齢者の生活機能を整える看護3 排泄 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書[1] 第5章C、教科書[2] 第Ⅲ章②、第Ⅳ章②に目を通す。	1時間
	1, 4, 5	復習	加齢による機能低下から起こる排泄への影響を理解し、高齢者の尊厳に配慮した排泄の援助を学ぶ。教科書、配布資料を復習する。	1.5時間
4	講義内容	高齢者の生活機能を整える看護4 清潔		
	該当する到達目標	予習	教科書[1] 第4章B-①、第5章D、第6章A-⑧、教科書[2] 第Ⅲ章③、第Ⅳ章④に目を通す。	1時間
	1, 4, 5	復習	加齢による機能低下から起こる清潔活動への影響を理解し、高齢者の清潔を保つ援助を学ぶ。褥瘡の概要と褥瘡を持つ高齢者の看護を学ぶ。教科書、配布資料を復習する。	1.5時間
5	講義内容	高齢者の生活機能を整える看護5 生活リズム		
	該当する到達目標	予習	教科書[1] 第5章E、教科書[2] 第Ⅲ章⑤に目を通す。	1時間
	1, 4, 5	復習	加齢による機能低下から起こる生活リズムへの影響を理解し、高齢者の生活リズムを整える援助を学ぶ。教科書、配布資料を復習する。	1.5時間
6	講義内容	治療を必要とする高齢者の看護1 検査、リハビリテーションを受ける高齢者の看護		
	該当する到達目標	予習	教科書[1] 第7章A、Dに目を通す。	1時間
	2, 4, 5	復習	検査における高齢者の特徴と、検査を受ける高齢者の看護を学ぶ。高齢者リハビリテーションの特徴を理解し、リハビリテーションを必要とする高齢者の看護を学ぶ。教科書、配布資料を復習する。	1.5時間
7	講義内容	治療を必要とする高齢者の看護2 薬物療法を受ける高齢者の看護		
	該当する到達目標	予習	教科書[1] 第7章B、教科書[2] 第Ⅳ章⑥に目を通す。	1時間
	2, 4	復習	加齢による機能低下から起こる薬物動態への影響を理解し、薬物療法における高齢者の特徴とその支援を学ぶ。教科書、配布資料を復習する。	1.5時間
8	講義内容	特別講義「高齢者のための音楽療法」		
	該当する到達目標	予習	音楽療法について調べる。	1時間
	1, 5	復習	音楽療法の目的、効果、活用方法について理解し、高齢者へのかかわりについて考察する。教科書、配布資料を復習する。	1.5時間
9	講義内容	特別講義「高齢者のための音楽療法」		
	該当する到達目標	予習	音楽療法について調べる。	1時間

	1, 5	復習	音楽療法の目的、効果、活用方法について理解し、高齢者へのかかりについて考察する。教科書、配布資料を復習する。	1.5 時間
10	講義内容	認知機能障害のある高齢者の看護 1 認知症① 疾患・治療		
	該当する到達目標	予習	教科書[1] 第6章C-③、教科書[2] 第V章①に目を通す。	1 時間
	3, 4, 5	復習	認知症の原因疾患と特徴を理解し、診断・治療・予防について学ぶ。教科書、配布資料を復習する。	1.5 時間
11	講義内容	認知機能障害のある高齢者の看護 2 認知症② 日常生活への影響		
	該当する到達目標	予習	教科書[1] 第6章C-③、教科書[2] 第V章に目を通す。	1 時間
	3, 4, 5	復習	認知症の特徴と認知機能低下から起こる生活障害を理解し、認知症高齢者の看護を学ぶ。教科書、配布資料を復習する。	1.5 時間
12	講義内容	認知機能障害のある高齢者の看護 3 認知症③ 認知症高齢者への対応 高齢者とのコミュニケーション		
	該当する到達目標	予習	教科書[1] 第6章C-③、教科書[2] 第II章②、第V章②に目を通す。	1 時間
	3, 4, 5	復習	認知症高齢者とコミュニケーションの基本と家族への支援を学ぶ。教科書、配布資料を復習する。	1.5 時間
13	講義内容	認知機能障害のある高齢者の看護 4 うつ・せん妄		
	該当する到達目標	予習	教科書[1] 第6章C-①、②、教科書[2] 第IV章⑤に目を通す。	1 時間
	3, 4, 5	復習	うつ、せん妄の発症の背景や経過を理解し、うつ、せん妄状態にある高齢者の看護を学ぶ。教科書、配布資料を復習する。	1.5 時間
14	講義内容	身体疾患のある高齢者の看護 1 心不全、パーキンソン病・パーキンソン症候群 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書[1] 第6章B-②、⑥に目を通す。	1 時間
	4, 5	復習	心不全、パーキンソン病の概要と高齢者の特徴、心不全、パーキンソン病を持つ高齢者の看護を学ぶ。教科書、配布資料を復習する。	1.5 時間
15	講義内容	身体疾患のある高齢者の看護 2 脳卒中		
	該当する到達目標	予習	教科書[1] 第6章B-①に目を通す。	1 時間
	4, 5	復習	脳卒中の概要と高齢者の特徴、脳卒中を持つ高齢者の看護を学ぶ。教科書、配布資料を復習する。	1.5 時間
備考	■：実務経験に基づく内容を示す。 オフィスアワー：金曜日2限、3限 不在時はメール等で問い合わせのこと。 メールアドレス：内田(uchida-m@takasaki-u.ac.jp)、星河(hoshikawa@takasaki-u.ac.jp) 梅原(umehara@takasaki-u.ac.jp) 授業は、パワーポイントにて、各テーマに関する説明を行う。教科書と教員が作成するプリントを用いて授業を進行する。特別講義では、概要の説明および実演を行い、実際に学生が体験する形で進行する。 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。 【参考文献】 堀内ふくら編著：ナーシンググラフィカ老年看護学① 高齢者の健康と障害. 2017, メディカ出版			

看 096 老年看護学方法論Ⅱ

科目名		老年看護学方法論Ⅱ（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・老年看護学）			NRS231	講義
英文名		Gerontological Nursing: Assessment and Skills Ⅱ				
担当教員		内田真理子、星河純子				
科目に関連した実務経験		看護師として病院勤務（経験）、訪問看護師として訪問看護ステーション勤務（経験） 現職の老人看護専門看護師をゲストスピーカーとして招く（第8回）				
学年・開講期		2 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標		治療を必要とする高齢者や援助を必要とする要介護高齢者など、様々な健康レベルにある高齢者の障害や症状に応じた看護方法を学習し、老年期にある対象の看護実践が具体的に考えられる。				
到達目標		1. 高齢者に特徴的な疾患および症状を理解し、疾患および症状を抱える高齢者の看護について理解できる。■ 2. 高齢者の基本的ニーズを充足させるための看護が理解できる。■ 3. 具体的事例を基に看護過程の展開をグループワークでまとめることができる。 4. 学生各自が臨地実習で活用できる老年看護技術を実施できる。■				
学位授与方針との対応		✓	1. 人間理解と倫理観			
		✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		✓	3. チームの一員としての協調・協働			
			4. 国際理解			
			5. 生涯学習力			
評価方法		筆記試験 60%、レポート 20%、グループワーク・演習参加度・学習態度 20%				
課題に対するフィードバック		課題に基づいて提出されたレポート内容について、授業時間を用いて公表やコメントを行う。 事例検討においては、発表会資料を配布し、発表会においてコメントする。				
使用教材		[1] 系統看護学講座専門分野Ⅱ老年看護学・北川公子・医学書院・2018・2,700 円+税 [2] 看護実践のための根拠がわかる老年看護技術・泉キヨ子, 小山幸代・メヂカルフレンド社・2017・3,600 円+税 講義資料を随時配布する。 【参考文献】山田律子：生活機能からみた 老年看護過程+病態・生活機能関連図. 2008, 医学書院				
1	講義内容	症候のアセスメントと看護 バイタルサインのアセスメント、掻痒、脱水、浮腫 ■				
	該当する到達目標	予習	教科書[1] 第4章B-③、④、第6章A-③、④、⑥、教科書[2] 第Ⅱ章 ①、第Ⅲ章①-③に目を通す。			1 時間
	1, 2	復習	高齢者によくみられる身体症状の特徴を理解し、アセスメントと			1.5 時間

			予防的視点をふまえた看護を学ぶ。	
2	講義内容	身体疾患のある高齢者の看護 3 インフルエンザ、感染性胃腸炎、尿路感染症、白癬		
	該当する到達目標	予習	教科書[1] 第5章D-②、第6章B-⑦に目を通す。	1 時間
	1, 2	復習	感染症における高齢者の特徴と感染症を持つ高齢者への援助を学ぶ。教科書、配布資料を復習する。	1.5 時間
3	講義内容	身体疾患のある高齢者の看護 4 肺炎、逆流性食道炎		
	該当する到達目標	予習	教科書[1] 第6章B-⑧に目を通す。	1 時間
	1, 2	復習	肺炎、逆流性食道炎の概要と高齢者の特徴、肺炎、逆流性食道炎を持つ高齢者の看護を学ぶ。教科書、配布資料を復習する。	1.5 時間
4	講義内容	身体疾患のある高齢者の看護 5 骨粗鬆症、骨折		
	該当する到達目標	予習	教科書[1] 第6章B-⑨、⑩、教科書[2] 第IV章 ③に目を通す。	1 時間
	1, 2	復習	骨粗鬆症、骨折の概要と高齢者の特徴、骨粗鬆症・骨折を持つ高齢者の看護を学ぶ。教科書、配布資料を復習する。	1.5 時間
5	講義内容	老年看護学での事例展開		
	該当する到達目標	予習	教科書[1] 付章、教科書[2] 第II章①に目を通す。	1 時間
	1～3	復習	老年看護学での看護過程の展開における特徴を理解し、グループワークの検討に向けて、看護過程の展開に必要な項目を学習する。	1.5 時間
6	講義内容	事例検討 1 GW での看護過程の展開 情報整理・アセスメント・ニーズの明確化		
	該当する到達目標	予習	教科書[1] 付章、教科書[2] 第II章①に目を通す。事例に目を通し、看護過程の展開に必要な項目（病態生理、看護など）を学習する。	1 時間
	1～3	復習	グループワークでの検討において、不足していた項目について学習をする。グループワークを振り返り、自己の記録を加筆修正する。	1.5 時間
7	講義内容	事例検討 2 GW での看護過程の展開 看護診断・看護計画		
	該当する到達目標	予習	教科書[1] 付章、教科書③5 に目を通す。 看護過程の展開に必要な項目（病態生理、看護など）を学習する。	1 時間
	1～3	復習	グループワークでの検討において、不足していた項目について学習をする。グループワークを振り返り、自己の記録を加筆修正する。	1.5 時間
8	講義内容	特別講義「老人看護専門看護師による実践活動」		
	該当する到達目標	予習	老人看護専門看護師（制度、役割、活動など）について調べる。	1 時間
	1, 2	復習	老人看護専門看護師の活動の実際から、高齢者へのかかわりについて考察する。配布資料を復習する。	1.5 時間
9	講義内容	事例検討 3 GW での看護過程の展開 発表		
	該当する到達目標	予習	教科書[1] 付章、教科書③5 に目を通す。グループ発表資料に目を通す。	1 時間
	1～3	復習	グループワーク発表を振り返り、不足していた項目について追加	1.5 時間

			学習を行い、学びをまとめる。グループ記録を加筆修正する。	
10	講義内容	事例検討 4 GW での看護過程の展開 発表		
	該当する到達目標	予習	教科書[1] 付章、教科書③5 に目を通す。グループ発表資料に目を通す。	1 時間
	1~3	復習	グループワーク発表を振り返り、不足していた項目について追加学習を行い、学びをまとめる。グループ記録を加筆修正する。	1.5 時間
11	講義内容	高齢者看護に必要な基本的看護 1 演習：口腔ケア(義歯の取り扱い、口腔洗浄等) ■		
	該当する到達目標	予習	教科書[1] 第 5 章 B、教科書③1 - 3、事前配布資料に目を通す。ワークシートを作成する。	1 時間
	2, 4	復習	演習を通しての学びをワークシートにまとめる。安全・安楽に配慮し、自立支援に向けた高齢者の口腔ケアの方法を学ぶ。教科書、配布資料を復習する。	1.5 時間
12	講義内容	高齢者看護に必要な基本的看護 1 演習：口腔ケア(義歯の取り扱い、口腔洗浄等) ■		
	該当する到達目標	予習	教科書[1] 第 5 章 B、教科書③1 - 3、事前配布資料に目を通す。ワークシートを作成する。	1 時間
	2, 4	復習	演習を通しての学びをワークシートにまとめる。安全・安楽に配慮し、自立支援に向けた高齢者の口腔ケアの方法を学ぶ。教科書、配布資料を復習する。	1.5 時間
13	講義内容	高齢者看護に必要な基本的看護 2 演習：排泄ケア(おむつ交換) ■		
	該当する到達目標	予習	教科書[1] 第 5 章 C、D、教科書③1 - 2、事前配布資料に目を通す。ワークシートを作成する。	1 時間
	2, 4	復習	演習を通しての学びをワークシートにまとめる。安全・安楽、尊厳に配慮し、自立支援に向けた高齢者の排泄ケアの方法を学ぶ。教科書、配布資料を復習する。	1.5 時間
14	講義内容	高齢者看護に必要な基本的看護 2 演習：排泄ケア(おむつ交換) ■		
	該当する到達目標	予習	教科書[1] 第 5 章 C、D、教科書③1 - 2、事前配布資料に目を通す。ワークシートを作成する。	1 時間
	2, 4	復習	演習を通しての学びをワークシートにまとめる。安全・安楽、尊厳に配慮し、自立支援に向けた高齢者の排泄ケアの方法を学ぶ。教科書、配布資料を復習する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	講義資料に目を通す。	1 時間
	1, 2	復習	高齢者の特徴と看護についての学びをまとめる。配布資料を復習する。	1.5 時間
備考	■：実務経験に基づく内容を示す。 オフィスアワー：金曜日 2 限、3 限 不在時はメール等で問い合わせのこと。 メールアドレス：内田 (uchida-m@takasaki-u.ac.jp)、星河 (hoshikawa@takasaki-u.ac.jp) 授業は、パワーポイントにて、各テーマに関する説明を行う。教科書と教員が作成するプリントを用いて			

授業を進行する。事例検討は、グループワークや発表会のなかで質疑応答を行う形式で進める。演習は、教科書と事前配布資料を用いながら、実際に学生が技術体験を行う形式で進める。

予習・復習については、試験前の学習で補完すること。

【参考文献】

山田律子：生活機能からみた 老年看護過程+病態・生活機能関連図. 2008, 医学書院

堀内ふきら編著：ナーシンググラフィカ老年看護学① 高齢者の健康と障害. 2017, メディカ出版

看 097 老年看護学実習

科目名	老年看護学実習（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・老年看護学）			NRS330	実習
英文名	Gerontological Nursing Practicum				
担当教員	内田真理子・星河純子				
科目に関連した実務経験	看護師として病院勤務（経験）、訪問看護師として訪問看護ステーション勤務（経験）				
学年・開講期	3 年 通年	必選・単位数	必修 3 単位		
講義目標	老年期にある対象の全体像・ニーズを把握し、その対象の支援する看護実践に必要な知識・技術・態度を習得する。				
到達目標	1.老年期にある対象の身体的・心理的・社会的特徴や発達課題について理解できる。■ 2.老年期にある対象の健康上および生活上のニーズを充足するための看護を実践できる。■ 3.高齢者の生活を支える施設を理解し、施設における高齢者支援について述べるができる。 4.臨地実習を通して高齢者の理解を深め、「老いること」「老いを生きること」について、自分の考えを述べるができる。 5.高齢者の意思決定・権利・尊厳について、自分の考えを述べるができる。■				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	実習中は適宜面接を行い、最終的に評価表を用いて評価する。 実習参加度・学習態度、実習目的・目標の達成状況、看護援助の実施状況、実習記録（事前学習課題を含む）及びグループ発表を評価項目とし、評価表において 60 点以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	実習の事前課題、実習記録等を提出期限内に提出した学生には、実習担当者からのコメントを付して返却する。看護援助場面、カンファレンス、実習報告会等でその都度コメントを行う。				
使用教材	既習の老年看護学における使用教材および臨地実習要項、老年看護学実習要項、事前配布資料				
講義内容	1.老年期にある対象の身体的・心理的・社会的特徴や発達課題の理解 ■ 2.対象の加齢変化による日常生活への影響のアセスメントと全体像の理解 ■ 3.アセスメントに基づいた対象のニーズを抽出 ■ 4.対象のニーズの充足に向けた個別性のある看護計画を立案、実施、評価 ■ 5.高齢者を支える地域包括ケアシステムの理解 6.高齢者施設の理解、施設における高齢者支援の理解 7.高齢者看護のあり方についてのグループワークと学びの共有 8.「老いること」「老いを生きること」、「高齢者の意思決定・権利・尊厳」の理解 ■				

	予習	事前に提示された学習課題をまとめ、実習で活用できるようにする。事前情報や実習中に得られた情報から実習で必要と予測される項目(演習を含む)について、学習をする。	期間中 適宜
	復習	日々の得られた情報や学びをもとに、実習記録を整理する。実習での学びをまとめ、実習報告会及び自己の記録に反映する。	期間中 適宜
備考	■：実務経験に基づく内容を示す。 オフィスアワー：金曜日2限、3限 不在時はメール等で問い合わせのこと。 メールアドレス：内田(uchida-m@takasaki-u.ac.jp)、星河(hoshikawa@takasaki-u.ac.jp) 小沼(konuma@takasaki-u.ac.jp) 臨床現場において、実際の患者とのコミュニケーションやケアを行うなかで、臨床指導者とともに看護技術や知識について教授する。看護展開について、看護実践や記録等の確認・指導を行う。学内実習では、グループワークや実習報告会等を通して、臨地実習の振り返りや質疑応答を行いながら、学習を深める。 【自己学習の内容】 老年看護学概論および老年看護学方法論Ⅰ・Ⅱを復習し、様々な健康レベルにある高齢者への個別的な援助について、学生自らが考え臨地実習で活用できるよう自己学習をしておくことが望ましい。 実習期間中はその都度、指示されたことや学んだことを書き出すなど、学習内容を整理する必要がある。		

看 098 小児看護学概論

科目名		小児看護学概論（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・小児看護学）			NRS140	講義
英文名		Introduction to Pediatric Nursing				
担当教員		櫻井美和・星野美穂				
科目に関連した実務経験		・担当教員は、大学病院や総合病院の小児病棟、小児専門病院やクリニック等での看護師としての勤務経験を有する。				
学年・開講期		1 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標		小児期にある子どもの健康と成長・発達および子どもを取り巻く社会環境を理解し、小児看護の役割・機能を学習する。				
到達目標		1.小児看護の対象と環境、目標、および役割・機能を理解する 2.小児看護における子どもの権利とその重要性および倫理的課題を理解する■ 3.子どもを抱える家族の特徴とその機能を理解する 4.母子保健統計の変遷、母子保健、小児保健の関係法規および行政施策を理解する 5.小児期にある子どもの成長・発達の特徴を理解する 6.小児期各期に生じやすい健康問題・課題と疾病の予防、健康の維持・増進に向けた支援を理解する■ 7.上記 1～6 に基づき、日本における小児看護の課題および小児看護の役割・機能を考察する■				
学位授与方針との対応		✓	1. 人間理解と倫理観			
		✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		✓	3. チームの一員としての協調・協働			
			4. 国際理解			
			5. 生涯学習力			
評価方法		授業態度・出席状況(10%)、定期試験(60%)、課題レポート(30%)により、総合的に評価する。				
課題に対するフィードバック		レポートにはコメントを付して返却する				
使用教材		・奈良間美保他:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[1] 小児看護学概論・小児臨床看護総論, 医学書院. ￥2,800 ・適宜、授業資料を配布する				
1	講義内容		科目オリエンテーション 小児看護の特徴と理念／子どもを取り巻く社会環境[1] ―小児看護の対象と環境、子ども観・家族観の変遷―			
	該当する到達目標		予習	教科書の小児看護学概論 第 1 章－A、C を精読する。		1 時間
	1,7		復習	Bronfenbrenner の生態学的環境モデル、小児看護の対象(子どもと家族)と環境の関係を理解する。また、自己の子ども観、家族観をまとめ		1.5 時間

			るとともに、新聞、報道等により、子どもと家族に関する社会的問題または課題について情報収集する。	
2	講義内容	小児看護の特徴と理念／子どもを取り巻く社会環境[2] ―小児看護における倫理―■		
	該当する到達目標	予習	教科書の小児看護学概論 第1章-Dを精読する。	1時間
	2,7	復習	子どもの権利、小児看護領域で特に留意すべき権利と必要な看護行為、子どもの権利が脅かされる社会問題について理解する。また、新聞、報道等により、子どもと家族に関する社会的問題または課題について情報収集する。	1.5時間
3	講義内容	小児看護の特徴と理念／子どもを取り巻く社会環境[3] ―子どもを抱える家族の特徴とその機能―		
	該当する到達目標	予習	教科書の小児看護学概論 第7章を精読する。	1時間
	3,7	復習	家族のライフサイクルと段階別にみた基本的発達課題、家族の置かれている状況と子どもへの影響について理解する。また、新聞、報道等により、子どもと家族に関する社会的問題または課題について情報収集する。	1.5時間
4	講義内容	小児看護の特徴と理念／子どもを取り巻く社会環境[4] ―小児保健統計の変遷、母子保健、小児保健の関係法規および行政施策―		
	該当する到達目標	予習	教科書の小児看護学概論 第1章-B、第8章を精読する。	1時間
	4,7	復習	新聞、報道等により、子どもと家族に関する社会的問題または課題について情報収集する講義内容を参考に、子どもに関連する施策や社会問題について取り上げ、自己の考えを考察する。	1.5時間
5	講義内容	小児看護の特徴と理念／子どもを取り巻く社会環境[5] ―小児看護の目標、役割・機能―■		
	該当する到達目標	予習	教科書の小児看護学概論 第1章-A、Eを精読する。	1時間
	1,2,3,4,7	復習	第1～5回までの授業内容に基づき、小児看護の目標、役割・機能をまとめる。	1.5時間
6	講義内容	子どもの成長・発達と看護[1] ―成長・発達の概念、一般的原則、影響因子―		
	該当する到達目標	予習	教科書の小児看護学概論 第2章-A、B、Cを精読する。	1時間
	5,6,7	復習	成長発達の影響要因について調べ、まとめる。	1.5時間
7	講義内容	子どもの成長・発達と看護[2]―各発達段階の形態的・機能的発達の特徴と看護(形態、脳・神経の機能、運動機能、免疫機能、体温調節機能)―		
	該当する到達目標	予習	教科書の小児看護学概論 第4・5章のうち、講義内容と関連する項を精読する。また、各器官の解剖生理を学習する。	1時間
	5,6,7	復習	子どもの身体的発育および発達の特徴を理解する。	1.5時間
8	講義内容	子どもの成長・発達と看護[3]―各発達段階の形態的・機能的発達の特徴と看護(造血器、消化器、呼吸器、循環器、感覚器)―		
	該当する到達目標	予習	教科書の小児看護学概論 第4・5章のうち、講義内容と関連する項を精読する。また、各器官の解剖生理を学習する。	1時間
	5,6,7	復習	第7・8回の講義内容に基づき、子どもの身体的な成長・発達の特徴	1.5時間

			について、乳幼児期、学童期、思春期、青年期の発達段階ごとに整理し、まとめる。	
9	講義内容	子どもの成長・発達と看護[4] —各発達段階の心理・社会的発達の特徴と看護(Piagetの認知発達理論、Favighust、Eriksonの発達課題理論)—		
	該当する到達目標	予習	教科書の小児看護学概論 第4～6章のうち、講義内容と関連する項を精読する。	1時間
	5,6,7	復習	授業内容に基づき、子どもの心理・社会的な発達の特徴について、乳幼児期、学童期、思春期、青年期の発達段階ごとに整理し、まとめる。	1.5時間
10	講義内容	子どもの成長・発達と看護[5]—各発達段階の心理・社会的発達の特徴と看護(言語・コミュニケーション、Bowlbyの愛着理論、対人関係、Bridgesの情緒の分化)、発育・発達の評価の方法—		
	該当する到達目標	予習	事前配布資料、教科書の小児看護学概論 第2章—D、Eを精読する。	1時間
	5,6,7	復習	授業内容に基づき、子どもの心理・社会的な発達の特徴について、乳幼児期、学童期、思春期、青年期の発達段階ごとに整理し、まとめる。また、発育評価および発達方法について理解するとともに、母子保健手帳等を活用し、自己の発育を評価し、レポートとしてまとめる。	1.5時間
11	講義内容	子どもの健康課題と看護[1]—新生児・乳児期(日常生活習慣の獲得過程)—■		
	該当する到達目標	予習	教科書の小児看護学概論 第5章のうち、講義内容と関連する項を精読する。	1時間
	5,6,7	復習	各発達段階にある子どもの日常生活習慣の獲得過程(食事、排泄、清潔・整容、衣生活、遊び等)の目安を整理する。また、子どもの食生活の発達上の特徴とその支援を調べ、レポートとしてまとめる。	1.5時間
12	講義内容	子どもの健康課題と看護[2] —幼児期((予防接種、子どもの事故とその支援)—■		
	該当する到達目標	予習	教科書の小児看護学概論 第5章のうち、講義内容と関連する項を精読する。	1時間
	5,6,7	復習	授業内容に基づき、特に乳幼児期にある子どもの健康課題とその支援のあり方について整理する。また、新聞、報道等により、子どもと家族に関する社会的問題または課題について情報収集する。	1.5時間
13	講義内容	子どもの健康課題と看護[3]—学童期(不適応行動・生活習慣病の予防)—		
	該当する到達目標	予習	教科書の小児看護学概論 第5章のうち、講義内容と関連する項を精読する。	1時間
	5,6,7	復習	授業内容に基づき、特に、幼児期、学童期にある子どもの健康課題とその支援の在り方について整理する。また、新聞、報道等により、子どもと家族に関する社会的問題または課題について情報収集する。	1.5時間
14	講義内容	子どもの健康課題と看護[4]—思春期・青年期(心理・社会的適応に関する問題)—		
	該当する到達目標	予習	教科書の小児看護学概論 第5章のうち、講義内容と関連する項を精	1時間

			読する。	
	5,6,7	復習	授業内容に基づき、特に、思春期、青年期にある子どもの健康課題とその支援の在り方について整理する。また、新聞、報道等により、子どもと家族に関する社会的問題または課題について情報収集する。	1.5 時間
15	講義内容	総括：小児看護の課題と小児看護の役割・機能■		
	該当する到達目標	予習	教科書の小児看護学概論 第 1 章を再度精読する。	1 時間
	1,2,3,4,5,6,7	復習	これまでの授業内容を再確認し、小児看護の役割・機能を整理し、自己の考えを考察する。	1.5 時間
備考	【授業の進め方】 ・教科書、教員が作成した資料、パワーポイントを用いるとともに、DVD 等の視覚教材や新聞記事等も活用し、子どもの発達的特徴や健康課題のイメージ化を図りながら授業を展開する。 【学習上の助言および留意事項】 ・本科目は、小児看護学方法論Ⅰ、小児看護学方法論Ⅱ、小児看護学実習へと連動して授業展開される基盤となる科目であるため、授業シラバス、授業計画を必ず確認し、予習・復習を十分行い、積極的に授業に臨む。 ・授業の進行過程において、各自がポートフォリオを作成する。また、ポートフォリオを持参し、内容を補充しながら授業に臨む。 ・授業中に提示された課題は、提出期限を厳守し必ず提出する。未提出の場合には単位修得に影響する。 ・本科目は、養護教諭一種資格取得に関わる科目である。 【学習過程において疑問・質問が生じた場合の対応】 ①オフィスアワー：月曜日 2 限、金曜日 1 限（5 号館 4 階、櫻井研究室） ②随時メールでも受け付ける。 E-mail: sakurai-m@takasaki-u.ac.jp（櫻井） 【参考文献】 ①中野綾美編：ナーシング・グラフィカ 小児看護学①ー小児の発達と看護，メディカ出版. ②舟島なをみ：看護のための人間発達学 第 4 版，医学書院. （■：実務経験に基づく内容を示す。）			

看 099 小児看護学方法論 I

科目名	小児看護学方法論Ⅰ（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・小児看護学）			NRS240	講義
英文名	Pediatric Nursing: Assessment and SkillsⅠ				
担当教員	櫻井美和・星野美穂・松崎奈々子				
科目に関連した実務経験	・担当教員は、大学病院や総合病院の小児病棟、小児専門病院やクリニック等での看護師としての勤務経験を有する。 ・小児看護専門看護師（第13回）、訪問看護ステーションの訪問看護師（第14回）をゲストスピーカーとして招く。				
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	健康障害を抱える子どもの発達段階、健康状態（疾患、疾患・治療に起因する症状、病期、治療・検査・処置など）に応じた看護を実践する上で必要な基本的知識・技術を学習する。				
到達目標	1. 病気や障がい、入院・治療が子どもと家族に及ぼす影響を統合的に理解する 2. 医療を受ける子どもの権利と倫理的課題を理解する 3. 治療・検査・処置を受ける子どもと家族の特徴を理解する ■ 4. 小児期に生じやすい健康障害とその主な症状の特徴を理解する 5. 各病期（急性期、慢性期、終末期）にある子どもと家族の健康問題・課題を理解する ■ 6. 外来や在宅での継続的な医療・看護を必要とする子どもと家族の健康問題・課題を理解する ■ 7. 健康障害を抱える子どもの発達段階、健康状態に応じた看護を理解する ■				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	授業参加度（10％）、試験（80％）、課題レポートおよび小テスト（10％）により、総合的に評価する。				
課題に対するフィードバック	レポートにはコメントを付して返却する。また、小テストを返却し、解説する。				
使用教材	1) 奈良間美保他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[1] 小児看護学概論・小児臨床看護総論，医学書院． ￥2,800 2) 奈良間美保他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[2] 小児臨床看護各論，医学書院． ￥3,300 3) 中野綾美編：ナーシング・グラフィカ 小児看護学②ー小児看護技術，メディカ出版． ￥3,456 適宜、授業資料を配布する				
1	講義内容	科目オリエンテーション 病気や障がい、入院・治療が子どもと家族に与える影響と看護[1]ー病気、障害および入院に			

		よる子どもへの影響と看護—		
	該当する到達目標	予習	教科書の小児臨床看護総論 第 1・2 章のうち、講義内容と関連する項を精読する。	1 時間
	1,7	復習	健康障害を抱える子どもの体験と子どもへの看護について理解する。	1.5 時間
2	講義内容	病気や障害、入院・治療が子どもと家族に与える影響と看護[2]—子どもの病気、障害および入院による家族への影響と看護—		
	該当する到達目標	予習	教科書の小児臨床看護総論 第 1・2 章のうち、講義内容と関連する項を精読する。	1 時間
	1,7	復習	健康障害を抱える子どもの家族(母親、父親、きょうだい)の体験と家族へ看護について理解する。	1.5 時間
3	講義内容	病気や障害、入院・治療が子どもと家族に与える影響と看護[3]—医療を受ける子どもの権利、子どもの病気の理解と説明—		
	該当する到達目標	予習	教科書の小児看護学概論 第 1 章 D 章を精読するとともに、小児看護学概論授業資料(小児看護における倫理)に目を通す。	1 時間
	1,2,7	復習	健康障害を抱える子どもの権利が脅かされる状況を調べ、看護のあり方を考える。	1.5 時間
4	講義内容	病気、障害や入院が子どもと家族に与える影響と看護[4]—病気、障害を抱える子どもへの日常生活支援—		
	該当する到達目標	予習	教科書の小児臨床看護総論 第 1・2 章のうち、講義内容と関連する項を精読するとともに、小児看護学概論授業資料(各発達段階の日常生活習慣の自立過程とその支援)に目を通す。	1 時間
	1,7	復習	新聞、報道等により、子どもと家族に関する社会的問題または課題について情報収集する講義内容を参考に、子どもに関連する施策や社会問題について取り上げ、自分の意見をまとめる。	1.5 時間
5	講義内容	治療・検査・処置を必要とする子どもと家族への看護[1]—治療・検査・処置を受ける子どもの体験、検査を受ける子どもへの看護(採血、腰椎穿刺、骨髄穿刺)—■		
	該当する到達目標	予習	教科書の小児臨床看護総論 第 6 章のうち、講義内容と関連する項を精読する。	1 時間
	1,3,7	復習	子どもの採血、腰椎穿刺、骨髄穿刺に関わる知識・技術を理解する。	1.5 時間
6	講義内容	治療・検査・処置を必要とする子どもと家族への看護[2]—治療を受ける子どもへの看護(輸液療法、与薬)、発達に応じたプレパレーション—■		
	該当する到達目標	予習	教科書の小児臨床看護総論 第 6 章のうち、講義内容と関連する項を精読する。	1 時間
	1,3,7	復習	与薬に関わる知識・技術に関して、課題学習に取り組む。	1.5 時間
7	講義内容	治療・検査・処置を必要とする子どもと家族への看護[3] —手術を受ける子どもと家族への看護—		
	該当する到達目標	予習	教科書の小児臨床看護総論 第 3 章—C を精読する。	1 時間
	1,3,7	復習	手術を受ける子どもの手術前・後の看護を理解する。	1.5 時間

8	講義内容	子どもの示す主な症状とその看護[1]—不機嫌および啼泣、痛み、発熱、脱水—		
	該当する到達目標	予習	教科書の小児臨床看護総論 第5章のうち、講義内容と関連する項を精読する。また、子どものコミュニケーション、体温調節機能、腎機能などの発達の特徴を再学習する。	1 時間
	4,7	復習	症状のメカニズムと症状緩和方法を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	子どもの示す主な症状とその看護[2]—呼吸困難、けいれん、意識障害—		
	該当する到達目標	予習	教科書の小児臨床看護総論 第5章のうち、講義内容と関連する項を精読する。また、子どもの呼吸、脳・神経系の発達の特徴を再学習する。	1 時間
	4,7	復習	症状のメカニズムと症状緩和方法、合併症予防の方法を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	健康障害の病期別の子どもと家族への看護[1]—急性期にある子どもと家族への看護—		
	該当する到達目標	予習	教科書の小児臨床看護総論 第3章—Bを精読する。また、川崎病の病態生理、治療を調べる。	1 時間
	1,5,7	復習	急性期にある川崎病の子どもと家族への看護を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	健康障害の病期別の子どもと家族への看護[2]—慢性期にある子どもと家族への看護—■		
	該当する到達目標	予習	教科書の小児臨床看護総論 第3章—Aを精読する。また、ネフローゼ症候群の病態生理、治療を調べる。	1 時間
	1,5,7	復習	慢性期にあるネフローゼ症候群の子どもと家族への看護を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	健康障害の病期別の子どもと家族への看護[3]—終末期にある子どもと家族への看護—■		
	該当する到達目標	予習	教科書の小児臨床看護総論 第3章—Dを精読する。	1 時間
	1,5,7	復習	子どもの死の概念の発達と、終末期にある子どもと家族への緩和ケアを理解する。	1.5 時間
13	講義内容	さまざまな状況にある子どもと家族への看護[1]—外来における子どもと家族への看護—■		
	該当する到達目標	予習	教科書の小児臨床看護総論 第2章—Bを精読する。	1 時間
	1,6,7	復習	セルフケアの獲得に向けた支援、成人移行期支援について理解する	1.5 時間
14	講義内容	さまざまな状況にある子どもと家族への看護[2]—医療的ケアを必要とする子どもと家族への在宅看護—■		
	該当する到達目標	予習	教科書の小児臨床看護総論 第2章—Cを精読する。	1 時間
	1,6,7	復習	小児在宅ケアの現状と課題、在宅療養を必要とする子どもと家族への看護を理解する	1.5 時間
15	講義内容	総括		
	該当する到達目標	予習	教科書の小児臨床看護総論 第1章を再度精読する。	1 時間
	1,2,3,4,5,6,7	復習	これまでの授業内容を再確認し、健康障害を抱える子どもと家族への看護をまとめる。	1.5 時間
備考	【授業の進め方】 ・教科書、教員が作成した資料、パワーポイントを用いるとともに、DVD等の視覚教材や家族の手記等も活用し、多様な発達段階にあり、多様な疾患を抱える子どもと家族の特徴や、健康問題・健康課題のイメージ化を図りながら授業を展開する。			

【学習上の助言および留意事項】

・本科目は、小児看護学方法論Ⅱ、小児看護学実習へと連動して授業展開される科目であるため、授業シラバス、授業計画を必ず確認する。また、小児看護学概論での既習の知識を活用するとともに、予習・復習を十分行い、積極的に授業に臨む。

・授業の進行過程において、各自がポートフォリオを作成する。また、ポートフォリオを持参し、内容を補充しながら授業に臨む。

・授業中に提示された課題は、提出期限を厳守し必ず提出する。未提出の場合には単位修得に影響する。

【学習過程において疑問・質問が生じた場合の対応】

①オフィスアワー:木曜日 2 限、金曜日 1 限(5 号館 4 階、櫻井研究室)

②随時メールでも受け付ける。 E-mail: sakurai-m@takasaki-u.ac.jp(櫻井)

【参考文献】

①中野綾美編:ナーシング・グラフィカ 小児看護学①ー小児の発達と看護, メディカ出版.

②中野綾美編:ナーシング・グラフィカ 小児看護学③ー小児の疾患と看護, メディカ出版.

(■:実務経験に基づく内容を示す。)

看 100 小児看護学方法論Ⅱ

科目名	小児看護学方法論Ⅱ（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・小児看護学）			NRS241	講義
英文名	Pediatric Nursing: Assessment and Skills Ⅱ				
担当教員	櫻井美和・星野美穂・松崎奈々子				
科目に関連した実務経験	・担当教員は、大学病院や総合病院の小児病棟、小児専門病院やクリニック等での看護師としての勤務経験を有する。 ・新生児集中ケア認定看護師（第 8 回）、重症心身障害看護認定看護師（第 9 回）、小児救急看護認定看護師（12～15 回）をゲストスピーカー、または演習指導者として招く。				
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	健康障害を抱える子どもの発達段階、健康状態（疾患、疾患・治療に起因する症状、病期、治療・検査・処置など）、個別性に応じた看護過程を展開する方法および看護を実践する上で必要な看護技術を学習する。				
到達目標	1.小児期特有の症状や疾患を抱える子どもと家族への看護を理解する■ 2.健康障害を抱える子どもの特徴をふまえ、看護過程の基本的考え方を理解する 3.健康障害を抱える子どもの顕在的・潜在的な健康問題・課題とその支援の必要性をアセスメントする 4.健康障害を抱える子どもの顕在的・潜在的な健康問題・課題の解決に向けた個別的な看護計画を立案する 5.子どもの発達段階、健康状態に応じた看護を実践する上で必要な小児看護技術を習得する■				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	授業参加度、看護過程の課題レポートや小テスト（35％）、小児看護技術演習の課題レポートおよび演習記録（15％）、試験（50％）により、総合的に評価する。				
課題に対するフィードバック	レポートにはコメントを付して返却する。また、小テストを返却し、解説する。				
使用教材	1)奈良間美保他:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[1] 小児看護学概論・小児臨床看護総論, 医学書院. ￥2,800 2) 奈良間美保他:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[2] 小児臨床看護各論, 医学書院. ￥3,300 3)中野綾美編:ナーシング・グラフィカ 小児看護学②ー小児看護技術, メディカ出版. ￥3,456 ・適宜、授業資料を配布する				

1	講義内容	科目オリエンテーションモデル事例に基づく看護過程演習[1]—小児看護における看護過程、アセスメントの特徴		
	該当する到達目標	予習	基礎看護学において学習した看護過程、看護診断について復習する。	1 時間
	2	復習	授業内容に基づき、小児看護における看護過程の特徴と前提となる考え方を理解する。	1.5 時間
2	講義内容	モデル事例に基づく看護過程演習[2] —アセスメント—		
	該当する到達目標	予習	モデル事例の情報を精読し、その発達段階にある子どもの身体的、心理的、社会的な成長・発達の特徴、病態生理、治療、および看護について学習する。	1 時間
	3	復習	講義内容に基づき、予習で不足していた知識について補充学習する。また、アセスメント枠組みに基づき、モデル事例の情報を整理する。	1.5 時間
3	講義内容	モデル事例に基づく看護過程演習[3]—アセスメント—		
	該当する到達目標	予習	アセスメント枠組みに基づき、モデル事例の情報を整理する。	1 時間
	3	復習	第 2～3 回の講義内容に基づき、モデル事例の看護上の問題になりうる事項を検討し、その原因・誘因を探索し、記述する。	1.5 時間
4	講義内容	モデル事例に基づく看護過程演習[4]—アセスメント—		
	該当する到達目標	予習	第 2～3 回の講義内容に基づき、モデル事例の看護上の問題になりうる事項を検討し、その原因・誘因を探索し、記述する。	1 時間
	3	復習	第 2～4 回の講義内容に基づき、モデル事例の看護上の問題になりうる事項を検討し、その原因・誘因を探索し、ワークシートに記述する。	1.5 時間
5	講義内容	モデル事例に基づく看護過程演習[5]—アセスメント—		
	該当する到達目標	予習	第 2～4 回の講義内容に基づき、看護上の問題になりうる事項を検討し、その原因・誘因を探索し、ワークシートに記述する。	1 時間
	3	復習	第 2～5 回の講義内容に基づき、モデル事例の看護上の問題になりうる事項を検討し、その原因・誘因を探索し、ワークシートに記述する。	1.5 時間
6	講義内容	モデル事例に基づく看護過程演習[6]—看護問題・共同問題の抽出と優先順位の決定		
	該当する到達目標	予習	他の科目で学習した看護問題・共同問題の抽出と優先順位の決定方法について確認する。	1 時間
	4	復習	講義内容に基づき、モデル事例の看護問題・共同問題、優先順位を検討する。	1.5 時間
7	講義内容	モデル事例に基づく看護過程演習[7]—目標設定、看護計画の立案—		
	該当する到達目標	予習	他の科目で学習した目標設定、看護計画の立案方法について確認する。	1 時間
	4	復習	講義内容に基づき、モデル事例の目標と看護計画の方向性を検討する。	1.5 時間
8	講義内容	小児期特有の症状や疾患を抱える子どもと家族への看護[1]—ハイリスク新生児と家族への看護—■		

	該当する到達目標	予習	教科書 2) の 2 章のうち、低出生体重児に関連する項を精読する。	1 時間
	1	復習	低出生体重児の身体的・生理的特徴、合併しやすい障害や症状、重要な看護を理解する。また、ディベロップメンタルケアの原則的な考え方とその支援について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	小児期特有の症状や疾患を抱える子どもと家族への看護[2]—心身障害を抱える子どもと家族への看護—■		
	該当する到達目標	予習	教科書 1) の小児臨床看護総論 第 7 章を精読する。	1 時間
	1	復習	重症心身障害を抱える子どもの身体的・生理的特徴、合併しやすい障害や症状、重要な看護を理解する。また、親の障害受容段階を参考に、家族への看護のあり方について自己の考えを考察する。	1.5 時間
10	講義内容	小児看護技術[1]—フィジカルアセスメント、演習(子どもへの説明・プレパレーション)		
	該当する到達目標	予習	教科書 1) の小児臨床看護総論 第 4 章を精読する。	1 時間
	5	復習	フィジカルアセスメントの目的、基本技術、活用方法を理解する。また、演習で行う小児看護技術の内容と目標を確認する。	1.5 時間
11	講義内容	小児看護技術[2]—演習(子どもへの説明・プレパレーション)、演習オリエンテーション		
	該当する到達目標	予習	演習で行う小児看護技術について調べ、事前学習課題レポートに取り組む。また、演習で行う小児看護技術の目標を確認する。	1 時間
	2,3,4,5	復習	演習で行った小児看護技術における学びと自己の課題を明確にし、ワークシートを記入する。	1.5 時間
12	講義内容	小児看護技術[3] —演習(バイタルサイン測定、身体計測、心肺蘇生法、与薬、プレパレーション・教育的支援)—■		
	該当する到達目標	予習	演習で行う小児看護技術について調べ、事前学習課題レポートに取り組む。また、演習で行う小児看護技術の目標を確認する。	1 時間
	2,3,4,5	復習	演習で行った小児看護技術における学びと自己の課題を明確にし、ワークシートを記入する。	1.5 時間
13	講義内容	小児看護技術[4] —(バイタルサイン測定、身体計測、心肺蘇生法、与薬、プレパレーション・教育的支援)—■		
	該当する到達目標	予習	演習で行う小児看護技術について調べ、事前学習課題レポートに取り組む。また、演習で行う小児看護技術の目標を確認する。	1 時間
	2,3,4,5	復習	演習で行った小児看護技術における学びと自己の課題を明確にし、ワークシートを記入する。	1.5 時間
14	講義内容	小児看護技術[5] —(バイタルサイン測定、身体計測、心肺蘇生法、与薬、プレパレーション・教育的支援)—■		
	該当する到達目標	予習	演習で行う小児看護技術について調べ、事前学習課題レポートに取り組む。また、演習で行う小児看護技術の目標を確認する。	1 時間
	2,3,4,5	復習	演習で行った小児看護技術における学びと自己の課題を明確にし、ワークシートを記入する。	1.5 時間
15	講義内容	小児看護技術[6] —(バイタルサイン測定、身体計測、心肺蘇生法、与薬、プレパレーション・		

備考	教育的支援)―■			
	該当する到達目標	予習	演習で行う小児看護技術について調べ、事前学習課題レポートに取り組む。また、演習で行う小児看護技術の目標を確認する。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	演習で行った小児看護技術における学びと自己の課題を明確にし、ワークシートを記入する。	1.5 時間
	【授業の進め方】 ・教科書、教員が作成した資料、パワーポイントを用いるとともに、DVD 等の視覚教材も活用し、疾患を抱える子どもと家族の特徴や、健康問題・健康課題のイメージ化を図りながら授業を展開する。 ・学生間、学生と教員間でのディスカッションを行いながら、疾患を抱える子どもと家族のモデル事例への看護過程の展開を試行し、小児期にある対象の特徴をふまえた看護過程の方法を教授する。 ・モデル人形、シュミレーターを用い、看護を実践するうえで必要な小児看護技術を教授する。 【学習上の助言および留意事項】 ・本科目は、小児看護学実習へと連動して授業展開される科目であるため、授業シラバス、授業計画を必ず確認する。また、小児看護学概論、小児看護学方法論Ⅰでの既習の知識を活用するとともに、予習・復習を十分行い、積極的に授業に臨む。 ・授業の進行過程において、各自がポートフォリオを作成する。また、ポートフォリオを持参し、内容を補充しながら授業に臨む。 ・授業中に提示された課題は、提出期限を厳守し必ず提出する。未提出の場合には単位修得に影響する。 ・小児看護技術[演習]を欠席した場合には、担当教員に申し出る。演習を未実施のまま単位修得することはできない。 ・本科目は、養護教諭一種資格取得に関わる科目である 【学習過程において疑問・質問が生じた場合の対応】 ①オフィスアワー：月曜日 2 限、金曜日 1 限(5 号館 4 階、櫻井研究室) ②随時メールでも受け付ける。 E-mail: sakurai-m@takasaki-u.ac.jp(櫻井) 【参考文献】 ①中野綾美編：ナーシング・グラフィカ 小児看護学①ー小児の発達と看護，メディカ出版. ②中野綾美編：ナーシング・グラフィカ 小児看護学③ー小児の疾患と看護，メディカ出版. (■：実務経験に基づく内容を示す。)			

看 101 小児看護学実習

科目名	小児看護学実習（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・小児看護学）			NRS340	実習
英文名	Pediatric Nursing: Practicum				
担当教員	櫻井美和・星野美穂・松崎奈々子				
科目に関連した実務経験	・担当教員は、大学病院や総合病院の小児病棟、小児専門病院やクリニック等での看護師としての勤務経験を有する。				
学年・開講期	3 年 前期 3 年 後期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	さまざまな健康状態、発達段階にある子どもとその家族を統合的に理解し、疾病の予防、健康の維持・増進、健康問題・健康課題の解決を目指した個別性に応じた看護を実践するための基礎的能力を養うとともに、小児看護の役割・機能を学ぶ。				
到達目標	1.小児期にある対象の成長・発達や家族の特性をふまえ、援助関係を構築する。■ 2.小児期にある対象を身体的、心理的、社会的側面から統合的に理解する。 ■ 3.小児期にある対象の顕在的・潜在的な健康問題・健康課題とその支援の必要性を身体的、心理的、社会的側面からアセスメントする。■ 4.小児期にある対象の顕在的・潜在的な健康問題・健康課題の解決および回避に向けた個別的な看護計画を立案、実施、評価する。■ 5.小児期にある対象の理解および看護実践をとおして、小児看護の役割・機能とその意義を理解する。 6.小児期にある対象と家族をとりまく保健医療福祉および教育にかかわる多職種連携チームの一員として行動する。 7.看護学の初学者として、看護の役割・機能を果たすための責任感、および態度を修得する。■				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	実習目標を評価基準として、実習、学内実習、カンファレンスにおける学生の言動、記録物・レポートの記載内容、および、実習参加度により統合的に評価する。				
課題に対するフィードバック	・事前学習課題実習を提出期限内に提出した学生には、授業担当者からのコメントを付して返却する。				
使用教材	1)奈良間美保他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[1] 小児看護学概論・小児臨床看護総論，医学書院。 2)奈良間美保他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[2] 小児臨床看護各論，医学書院。				

	3)学科作成の小児看護学実習要項 4)その他、小児看護学概論、小児看護学方法論Ⅰ、小児看護学方法論Ⅱで配布した授業資料も活用する。		
講義内容	1. 実習期間および実習施設 実習期間は 2 週間で、保育園および病院において実習する。なお、病院実習では、小児専門病院、総合病院、一般病院、重症心身障害児施設のいずれかにおいて実習を行う。 2. 実習内容 1) 保育園実習: 対象となる子どもや子どもを取り巻く人的・物理的環境を観察する。また、保育場面、日常生活支援場面(遊び、昼食、片付け、手洗い・うがいなど)において、子どもと関わりながら参加観察を実施する。そして、乳幼児期にある健康な子どもの成長・発達の特徴および生じやすい健康問題について理解を深めるとともに、健康な子どもへの支援のあり方とその意義について考察する。 2) 病棟実習: 上記1. に記載したいずれかの病院・施設に入院している子どもを受け持ち、看護過程を展開するとともに、日常生活の支援(食事・清潔・排泄・遊び等)、治療・検査・処置にかかわる支援を実施する。さらに受け持ち患者への看護実践を通して、健康障害を抱える子どもとその家族への支援のあり方と意義を探究する。■ 3) 学内演習(統合カンファレンス) 小児看護学実習で体験した、倫理的な側面からの気づき・ジレンマ・課題を共有し、小児看護の特徴、役割・機能について理解を深めるとともに、自己の課題を明確にする。■		
	予習	・小児看護学実習における対象の理解、看護過程の展開、看護実践、看護の本質を探究する上で必要な知識・技術に関して学習し、ポートフォリオを作成する。 ・日々の実習においては学習行動計画用紙を活用し、翌日の学習目標および目標を達成するための学習計画をたてて実習に臨む。 ・実習指導教員、実習指導者の助言に基づき、受け持ち患者への看護過程の展開や看護実践に必要な知識・技術について日々学習し、実習に臨む。	期間中 適宜
	復習	・学習行動計画用紙を活用して日々の実習を振り返り、目標の達成状況の自己評価を行う。 ・保育園実習、病棟実習での学びを統合し、以下の内容のレポートを作成する。 ①小児期にある対象の理解および看護実践をととして経験したこと、学んだことを具体的に提示し、『小児看護の特徴と看護者の役割・機能』について考察する。 ②小児看護学実習をととし、今後の自己の課題を具体的に考察する。 指定の期日までに、上記レポートと実習記録を提出する。	期間中 適宜
備考	【授業の進め方】 ・1グループに対し教員1名が実習指導を担当する。 ・行動目標の達成に向け教員は、対象理解・全体像の把握・看護問題の抽出・看護計画の立案と実施・評価の一連の過程について、支援を行う。 【学習上の助言および留意事項】 ・学生は1名の対象者を受け持ち、看護問題の解決に向けた看護過程を展開する。そのため、各自		

で作成したポートフォリオを活用し、主体的・自律的に実習に臨むこと。

・本科目は、1 年時からの学習の積み重ねが重要であるため、小児看護学概論、小児看護学方法論Ⅰ、小児看護学方法論Ⅱを中心に十分に復習しておくこと。

【学習過程において疑問・質問が生じた場合の対応】

①オフィスアワー：火曜日 13 時～14 時、金曜日 9 時～10 時(5 号館 4 階、櫻井研究室)

②随時メールでも受け付ける。 E-mail: sakurai-m@takasaki-u.ac.jp(櫻井)

(■:実務経験に基づく内容を示す。)

看 102 母性看護学概論

科目名	母性看護学概論（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・母性看護学）			NRS150	講義
英文名	Introduction to Women's Health Nursing				
担当教員	茂木佐智子・大石時子・新井基子				
科目に関連した実務経験	助産師として総合病院に勤務（経験）				
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	リプロダクティブヘルス/ライツの考え方を基盤として、女性の健康をめぐる今日的な課題を身体・心理・社会的な観点から学習するとともに、ヘルスプロモーションの視点から母性看護の役割を考える。				
到達目標	1. 母性看護の実践に必要な概念・理論を理解する。 2. ライフサイクルにおける女性の身体的・心理的变化を理解する。■ 3. 女性を取り巻く社会の現状と健康課題を理解する。■ 4. 女性のヘルスプロモーションにおける看護の考え方を理解する。■ 5. 1～4を通して、母性看護の役割を理解する。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	定期試験 70%、リアクションペーパー（小レポート）提出による出席確認とその内容評価 30% によって総合的に評価する。				
課題に対するフィードバック	リアクションペーパー（小レポート）にコメントを付けて返却する。 また、次回の講義において質問等の記述内容を選択し、補足説明を行う。				
使用教材	・次の教科書を使用する。 「ナースিং・グラフィカ母性看護学(1)概論・リプロダクティブヘルスと看護」中込さと子他編，メディカ出版，2019.（2400 円+税）ISBN978-4-8404-6517-5 ・プリントを配布する。				
1	講義内容	科目ガイダンス、女性の健康とは、女性のからだ			
	該当する到達目標	予習	シラバスを読み、講義の目標と内容を確認する。 教科書のはじめに、第 2 章、第 6 章を読み、学習することを確認する。		1 時間
	1	復習	教科書とプリントを読み返し、疑問点を調べ、本科目を学ぶ意義を確認する。		1.5 時間
2	講義内容	母性看護の基盤となる概念			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 1 章を読み、学習することを確認する。		1 時間

	1, 2	復習	教科書とプリントを読み返し、疑問点を調べ、母性看護の基盤となる概念を理解する。	1.5 時間
3	講義内容	母性看護の基盤となる理論		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 1 章と第 2 回の配布プリントを読み、講義で学習することを確認する。	1 時間
	1, 2	復習	教科書とプリントを読み返し、母性看護の基盤となる理論を理解する。	1.5 時間
4	講義内容	女性と社会(出生、死亡に関する統計、家族形成に関する統計)		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 3 章を読み、学習することを確認する。	1 時間
	1, 3	復習	教科書とプリントを読み返し、疑問点を調べ、母子保健に係る指標と動向を理解する。	1.5 時間
5	講義内容	女性と法律・制度①母子保健のための法律と施策		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 章 1・2・3 を読み、学習することを確認する。	1 時間
	1, 3	復習	教科書とプリントを読み返し、疑問点を調べ、母子保健のための法律と施策を理解する。	1.5 時間
6	講義内容	女性と法律・制度②周産期医療システム		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 章 5 を読み、学習することを確認する。	1 時間
	2, 3, 4	復習	教科書とプリントを読み返し、疑問点を調べ、周産期医療システムを理解する。	1.5 時間
7	講義内容	思春期女性の健康		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 章 2、第 7 章 1・2 を読み、学習することを確認する。	1 時間
	2, 3, 4	復習	教科書とプリントを読み返し、疑問点を調べ、思春期女性の健康課題と看護について理解する。	1.5 時間
8	講義内容	暴力・虐待防止の法律と支援		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 章 4 を読み、学習することを確認する。	1 時間
	2, 3, 4	復習	教科書とプリントを読み返し、疑問点を調べ、女性・子どもへの暴力・虐待の現状および法律と支援について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	成熟期女性の健康■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 6 章 5、第 7 章 3 を読み、学習することを確認する。	1 時間
	2, 3, 4	復習	教科書とプリントを読み返し、疑問点を調べ、成熟期女性の健康課題と看護について理解する。	1.5 時間
10	講義内容	子育てと社会		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 章 3 を読み、学習することを確認する。	1 時間
	2, 3, 4	復習	教科書とプリントを読み返し、疑問点を調べ、子育て支援について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	妊娠・出産をめぐる医療と看護① 出生前診断、生殖補助医療■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 章 3・4 を読み、学習することを確認する。	1 時間
	2, 3, 4	復習	教科書とプリントを読み返し、疑問点を調べ、生殖に関わる倫理的課	1.5 時間

			題と看護について理解する。	
12	講義内容	妊娠・出産をめぐる医療と看護② 不妊症 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 8 章を読み、学習することを確認する。	1 時間
	2, 3, 4	復習	教科書とプリントを読み返し、疑問点を調べ、不妊治療を受けるカップルへの支援について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	更年期女性の健康 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 9 章を読み、学習することを確認する。	1 時間
	2, 3, 4	復習	教科書とプリントを読み返し、疑問点を調べ、更年期女性の健康課題と看護について要点をまとめる。	1.5 時間
14	講義内容	女性と国際社会		
	該当する到達目標	予習	事前配布資料「在日外国人母子への支援」を読み、学習することを確認する。	1 時間
	2, 3, 4	復習	配布資料を読み返し、疑問点を調べ、国際化における母子の現状、健康課題と看護について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	第 1～14 回までの講義資料等を読み、学習内容を確認する。	1 時間
	1, 2, 3, 4, 5	復習	全ての学習内容を統合し、母性看護の役割について要点をまとめる。	1.5 時間
備考	・科目責任者メールアドレス: motegi-s@takasaki-u.ac.jp オフィスアワー: 火曜日・水曜日の 4 限、質問や意見はメールでも受け付ける。 ・全 15 回の授業は全て講義形式をとるため、学生の深い思考や質問を促すことを目的に、講義後に毎回リアクションペーパーを課す。 ・講義を静粛に聴講すること。教室内の私語は他学生の学習、教員の業務を妨害するものであるため、私語が止められない場合は退室を命じる。 ・予習や復習には、教科書やプリントの他、参考図書等も読み、積極的に取り組むこと。 ・■: 実務経験に基づく内容を示す。			

看 103 母性看護学方法論 I

科目名	母性看護学方法論Ⅰ（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・母性看護学）			NRS250	講義
英文名	Women's Health Nursing; Assessment and SkillsⅠ				
担当教員	茂木佐智子・新井基子				
科目に関連した実務経験	助産師として総合病院に勤務（経験）				
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	妊産婦とその家族を理解するために、正常な妊娠・分娩経過および正常から逸脱した状態について学習する。また、正常な経過をたどっている妊産婦の健康状態を維持・促進するための看護、ならびに、正常からの逸脱を早期に発見し適切に対処するための看護を学習する。				
到達目標	1. 妊娠の成立、胎盤形成と胎児発育について理解する。 2. 妊娠に伴う身体的変化を理解する。 3. 妊娠によって生じる心理・社会的変化を理解する。 4. 妊娠経過をアセスメントする方法を理解する。 5. 妊婦のセルフケア能力を高めるための支援を理解する。■ 6. 出産と子育ての準備のための支援を理解する。■ 7. 妊娠中に起こる正常からの逸脱時の看護について理解する。■ 8. 分娩の生理を理解する。 9. 分娩経過を、安全と満足の視点からアセスメントする方法を理解する。 10.分娩経過に沿った産婦と家族の看護を理解する。■ 11.分娩中に起こる正常からの逸脱時の看護について理解する。■ 12.妊産婦のアセスメントに必要な知識と技術の目的・方法・留意点を理解する。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	定期試験 50%、妊産婦の看護過程 15%、演習後レポート 15%、リアクションペーパー（小レポート）提出による出席確認とその内容 20%によって総合的に評価する。				
課題に対するフィードバック	レポートにはコメントを付けて返却する。				
使用教材	・次の教科書を使用する。 ①「アセスメントスキルを修得し質の高い周産期ケアを追求する 母性看護学Ⅱ 周産期各論」有森直子編，医歯薬出版，2015。（4200 円+税） ISBN978-4-263-23669-7 ②「ナースング・グラフィカ 母性看護学(3)母性看護技術第 4 版」荒木奈緒他編，メディカ出版，				

	(2600 円+税) ISBN978-4-8404-6519-9 ③「看護診断ハンドブック 第 11 版」リンダ J.カルペニート著;黒江ゆり子監訳, 医学書院, 2018. (3800 円+税) ISBN978-4-260-03451-7 ・プリントを配布する。			
1	講義内容	科目ガイダンス、妊娠の経過		
	該当する到達目標	予習	シラバスを読み、講義の目標と内容を確認する。 教科書①はじめに、第1章第1節A、第3節Cを読み、学習することを確認する。	1 時間
	1, 2, 3	復習	教科書①とプリントを読み返し、疑問点を調べ、妊娠成立と身体的・心理的・社会的変化について理解する。	1.5 時間
2	講義内容	妊娠経過のアセスメント		
	該当する到達目標	予習	教科書①第1章第1節B、第2節を読み、学習することを確認する。	1 時間
	4	復習	教科書①とプリントを読み返し、疑問点を調べ、事例の妊娠経過をアセスメントし、その方法を具体的に理解する。	1.5 時間
3	講義内容	妊婦の看護①セルフケア能力を高めるための支援 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書①第1章第3節A・B・Cを読み、学習することを確認する。	1 時間
	5	復習	教科書①とプリントを読み返し、疑問点を調べ、妊婦のセルフケア能力を高めるための支援を理解する。	1.5 時間
4	講義内容	妊婦の看護②出産の準備のための支援 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書①第1章第3節D①～③を読み、学習することを確認する。	1 時間
	6	復習	教科書①とプリントを読み返し、疑問点を調べ、出産の準備のための支援を理解する。	1.5 時間
5	講義内容	妊婦の看護③子育ての準備のための支援		
	該当する到達目標	予習	教科書①第1章第3節D④を読み、学習することを確認する。	1 時間
	6	復習	教科書①とプリントを読み返し、疑問点を調べ、子育ての準備のための支援を理解する。	1.5 時間
6	講義内容	妊娠期の異常と看護 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書①第1章第4節を読み、学習することを確認する。	1 時間
	7	復習	教科書①とプリントを読み返し、疑問点を調べ、妊娠期の異常と看護の要点を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	分娩の経過		
	該当する到達目標	予習	教科書①第2章第1節を読み、学習することを確認する。	1 時間
	8	復習	教科書①とプリントを読み返し、疑問点を調べ、分娩の生理を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	分娩経過のアセスメント		
	該当する到達目標	予習	教科書①第2章第2節を読み、学習することを確認する。	1 時間
	9	復習	教科書①とプリントを読み返し、疑問点を調べ、分娩経過を安全と満足の視点からアセスメントする方法を理解する。	1.5 時間

9	講義内容	産婦の看護 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書①第2章第3節を読み、学習することを確認する。	1 時間
	10	復習	教科書①とプリントを読み返し、疑問点を調べ、分娩経過に沿った産婦と家族の看護を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	妊産婦のアセスメントに必要な知識と技術① 実技演習		
	該当する到達目標	予習	教科書①②の演習箇所と事前配布資料を読み、学習することを確認する。	1 時間
	12	復習	教科書①②の演習箇所とプリントや資料を活用して演習後レポートを作成し、妊産婦のアセスメントに必要な知識と技術の目的・方法・留意点を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	妊産婦のアセスメントに必要な知識と技術② 実技演習		
	該当する到達目標	予習	教科書①②の演習箇所と事前配布資料を読み、学習することを確認する。	1 時間
	12	復習	教科書①②の演習箇所とプリントや資料を活用して演習後レポートを作成し、妊産婦のアセスメントに必要な知識と技術の目的・方法・留意点を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	妊産婦の看護過程の展開		
	該当する到達目標	予習	事例の看護過程の展開(アセスメント、ヘルスプロモーション型看護診断)に取り組む。	1 時間
	4, 9	復習	教科書①とプリントを読み返し、疑問点を調べ、事例の看護過程の展開を自己評価する。	1.5 時間
13	講義内容	妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援(助産所助産師の立場から)		
	該当する到達目標	予習	「助産所」に関する情報を入手し、講義への興味関心を高める。	1 時間
	5, 6, 10	復習	プリントを読み返し、疑問点を調べ、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援について理解する。	1.5 時間
14	講義内容	分娩期の異常と看護 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書①第2章第4節を読み、学習することを確認する。	1 時間
	11	復習	教科書①とプリントを読み返し、疑問点を調べ、分娩期の異常と看護の要点を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	第1～14回までの教科書やプリントを読み、これまでの学習内容を確認する。	1 時間
	1～12	復習	妊娠分娩の経過と看護に関する学習内容を統合する。	1.5 時間
備考	・科目責任者メールアドレス: motegi-s@takasaki-u.ac.jp オフィスアワー: 火曜日・水曜日の4限、質問や意見はメールでも受け付ける。 ・母性看護学の対象は、妊産婦とその子ども、将来子どもを産み育てる女性、および過去においてその役目を果たした女性のみならず、リプロダクティブヘルス・ライツという観点から、女性と生殖や育児のパートナーとしての男性、子どもが生まれ乳児を育てる家族、その家族が生活する地域社会も含む。この			

うち、妊産褥婦とその子どもは脆弱性が高く、保護的な支援や健康状態の維持・促進に向け家族を含めた看護が必要不可欠である。そこで、この科目は、妊産婦とその家族に焦点をあてる。

- ・予習や復習、あるいは課題には、教科書やプリントの他、参考図書も活用し、積極的に取り組むこと。

- ・妊産婦のアセスメントに必要な知識と技術を段階的に学習できるよう、講義のほかに実技演習と課題（事例の看護過程の展開）を取り入れ、順次進めていく。

- ・参考図書

①「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学2 母性看護学各論」森恵美他（医学書院）

②「ナースング・グラフィカ 母性看護学②母性看護の実践」小林康江他編（メディカ出版）

- ・■：実務経験に基づく内容を示す。

看 104 母性看護学方法論Ⅱ

科目名	母性看護学方法論Ⅱ（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・母性看護学）			NRS251	講義
英文名	Women's Health Nursing; Assessment and SkillsⅡ				
担当教員	茂木佐智子・新井基子				
科目に関連した実務経験	助産師として総合病院に勤務（経験）				
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	出産後の母子とその家族を理解するために、正常な産褥経過と新生児の経過、および正常から逸脱した状態について学習する。また、正常な経過をたどっている褥婦と新生児の健康状態を維持・促進するための看護、並びに、正常からの逸脱を早期に発見し適切に対処するための看護を学習する。				
到達目標	1. 産褥の身体的変化を理解する。 2. 褥婦と家族の心理・社会的特徴を理解する。 3. 産褥経過をアセスメントする方法を理解する。 4. 褥婦の日常生活とセルフケアを支えるための看護を理解する。■ 5. 母乳育児の意義と授乳に関するセルフケアへの支援を理解する。 6. 褥婦とその家族が新しい役割を調整していくための支援を理解する。■ 7 産褥期に起こる正常からの逸脱時の看護について理解する。■ 8 新生児の生理的特徴を理解する。 9. 新生児をアセスメントする方法を理解する。 10.新生児の看護を理解する。■ 11.新生児に起こる正常からの逸脱時の看護について理解する。■ 12.褥婦と新生児のアセスメントや看護に必要な知識や技術の目的・方法・留意点を理解する。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	定期試験 50%、褥婦の看護過程 15%、演習後レポート 15%、リアクションペーパー（小レポート）提出による出席確認とその内容 20%によって総合的に評価する。				
課題に対するフィードバック	レポートにはコメントを付けて返却する。				
使用教材	・次の教科書を使用する。 ①「アセスメントスキルを修得し質の高い周産期ケアを追求する 母性看護学Ⅱ 周産期各論」有森直子編, 医歯薬出版, 2015.（4200 円+税）ISBN978-4-263-23669-7				

	②「ナーシング・グラフィカ 母性看護学(3)母性看護技術第 4 版」荒木奈緒他編, メディカ出版, (2600 円+税) ISBN978-4-8404-6519-9 ③「看護診断ハンドブック 第 11 版」リンダ J.カルペニート著;黒江ゆり子監訳, 医学書院, 2018. (3800 円+税) ISBN978-4-260-03451-7 ・プリントを配布する。			
1	講義内容	科目ガイダンス、産褥の経過		
	該当する到達目標	予習	シラバスを読み、講義の目標と内容を確認する。 教科書①第 3 章第 1 節を読み、学習することを確認する。	1 時間
	1, 2	復習	教科書①とプリントを読み返し、疑問点を調べ、産褥の身体的変化、 褥婦と家族の心理・社会的特徴を理解する。	1.5 時間
2	講義内容	産褥経過のアセスメント		
	該当する到達目標	予習	教科書①第 3 章第 2 節を読み、学習することを確認する。	1 時間
	3	復習	教科書①とプリントを読み返し、疑問点を調べ、産褥経過をアセスメン トする方法を理解する。	1.5 時間
3	講義内容	新生児の生理		
	該当する到達目標	予習	教科書①第 4 章第 1 節を読み、学習することを確認する。	1 時間
	8	復習	教科書①とプリントを読み返し、疑問点を調べ、新生児の生理的特徴 を理解する。	1.5 時間
4	講義内容	新生児のアセスメント		
	該当する到達目標	予習	教科書①第 4 章第 2 節を読み、学習することを確認する。	1 時間
	9	復習	教科書①とプリントを読み返し、疑問点を調べ、新生児をアセスメント する方法を理解する。	1.5 時間
5	講義内容	新生児の看護 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書①第 4 章第 3 節を読み、学習することを確認する。	1 時間
	10	復習	教科書①とプリントを読み返し、疑問点を調べ、新生児の看護を理解 する。	1.5 時間
6	講義内容	褥婦の看護①日常生活とセルフケアを支える ■		
	該当する到達目標	予習	教科書①第 3 章第 3 節 A・C を読み、学習することを確認する。	1 時間
	4	復習	教科書①とプリントを読み返し、疑問点を調べ、褥婦の日常生活とセ ルフケアを支えるための看護を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	褥婦の看護②母乳育児		
	該当する到達目標	予習	教科書①第 3 章第 3 節 B を読み、学習することを確認する。	1 時間
	5	復習	教科書①とプリントを読み返し、疑問点を調べ、母乳育児の意義と授 乳に関するセルフケアへの支援を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	褥婦の看護③役割調整		
	該当する到達目標	予習	教科書①第 3 章第 3 節 C・D を読み、学習することを確認する。	1 時間
	6	復習	教科書①とプリントを読み返し、疑問点を調べ、褥婦とその家族が新 しい役割を調整していくための支援を理解する。	1.5 時間

9	講義内容	産褥期の異常		
	該当する到達目標	予習	教科書①第3章第4・5節を読み、学習することを確認する。	1 時間
	7	復習	教科書①とプリントを読み返し、疑問点を調べ、産褥期に起こる正常からの逸脱時の看護について理解する。	1.5 時間
10	講義内容	新生児期の異常		
	該当する到達目標	予習	教科書①第4章第4節を読み、学習することを確認する。	1 時間
	11	復習	教科書①とプリントを読み返し、疑問点を調べ、新生児に起こる正常からの逸脱時の看護について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	褥婦の看護過程の展開		
	該当する到達目標	予習	事例の看護過程(アセスメント、ヘルスプロモーション型看護診断、関連図、看護計画の立案)に取り組む。	1 時間
	3, 4, 5, 6, 9	復習	事例の看護過程の展開を自己評価し、課題を見出す。	1.5 時間
12	講義内容	褥婦と新生児のアセスメントや看護に必要な知識と技術① 実技演習		
	該当する到達目標	予習	教科書①②の演習箇所と事前配布資料を読み、学習することを確認する。	1 時間
	12	復習	教科書①②の演習箇所とプリントや資料を活用して演習後レポートを作成し、褥婦と新生児のアセスメントや看護に必要な知識と技術の目的・方法・留意点を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	褥婦と新生児のアセスメントや看護に必要な知識と技術② 実技演習		
	該当する到達目標	予習	教科書①②の演習箇所と事前配布資料を読み、学習することを確認する。	1 時間
	12	復習	教科書①②の演習箇所とプリントや資料を活用して演習後レポートを作成し、褥婦と新生児のアセスメントや看護に必要な知識と技術の目的・方法・留意点を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	褥婦と新生児のアセスメントや看護に必要な知識と技術③ 実技演習		
	該当する到達目標	予習	教科書①②の演習箇所と事前配布資料を読み、学習することを確認する。	1 時間
	12	復習	教科書①②の演習箇所とプリントや資料を活用して演習後レポートを作成し、褥婦と新生児のアセスメントや看護に必要な知識と技術の目的・方法・留意点を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	第1～14回までの教科書やプリントを読み、これまでの学習内容を確認する。	1 時間
	1～12	復習	産褥経過・新生児の経過と看護に関する学習内容を統合する。	1.5 時間
備考	・科目責任者メールアドレス: motegi-s@takasaki-u.ac.jp オフィスアワー: 火曜日・水曜日の4限、質問や意見はメールでも受け付ける。 ・母性看護学の対象は、妊娠褥婦とその子ども、将来子どもを産み育てる女性、および過去においてその役目を果たした女性のみならず、リプロダクティブヘルス・ライツという観点から、女性と生殖や育児の			

パートナーとしての男性、子どもが生まれ乳児を育てる家族、その家族が生活する地域社会も含む。このうち、妊産褥婦とその子どもは脆弱性が高く、保護的な支援や健康状態の維持・促進に向け家族を含めた看護が必要不可欠である。そこで、この科目は褥婦と新生児とその家族に焦点をあてる。

- ・予習や復習、あるいは課題には、教科書やプリントの他、参考図書も活用し、積極的に取り組むこと。

- ・褥婦と新生児のアセスメントに必要な知識と技術を段階的に学習できるよう、講義のほかに実技演習と課題(事例の看護過程の展開)を取り入れ、順次進めていく。

- ・参考図書

- ①「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学2 母性看護学各論」森恵美他(医学書院)

- ②「ナースング・グラフィカ 母性看護学②母性看護の実践」小林康江他編(メディカ出版)

- ・■:実務経験に基づく内容を示す。

看 105 母性看護学実習

科目名	母性看護学実習（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・母性看護学）		NRS350	実習
英文名	Women's Health Nursing Practicum			
担当教員	茂木佐智子・新井基子・片倉裕子			
科目に関連した実務経験	助産師として総合病院に勤務（経験）			
学年・開講期	3 年 通年	必選・単位数	必修 2 単位	
講義目標	実習は、講義や演習で学んだ理論や原理・原則を確認し、看護実践に必要な知識・技術及び態度の習得を目指す授業である。 この授業では、母性看護学概論・母性看護学方法論で学んだ理論や原理・原則を確認し、妊娠・分娩・産褥期にある母子とその家族を対象とした看護実践に必要な知識・技術・態度を学習する。			
到達目標	1. 妊娠・分娩・産褥期および早期新生児期の正常な身体的経過を理解する。■ 2. 妊娠・分娩・産褥期にある母子とその家族の心理・社会的変化を理解する。■ 3. 産褥期にある母子とその家族の健康課題を明らかにし、健康状態を維持・促進するために必要な看護を実施する。■ 4. 周産期医療におけるチーム医療および母性看護の現状を理解し、母性看護の役割と課題を考察する。 5. 看護学生として倫理的な行動をとることの重要性を理解する。			
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観		
	✓	2. 論理的思考・問題解決力		
	✓	3. チームの一員としての協調・協働		
		4. 国際理解		
	✓	5. 生涯学習力		
評価方法	実習目標に基づく評価基準による。詳細は母性看護学実習要項Ⅶ. 評価の項「評価表」に示す。 看護学生として倫理的な行動をとることの重要性を理解する。			
課題に対するフィードバック	実習期間中に提出された記録は、担当教員から随時コメントし返却する。 実習終了時に提出された記録物は、コメントを付して返却する。			
使用教材	・母性看護学実習要項 ・母性看護学概論、母性看護学方法論Ⅰ・Ⅱのプリント ・教科書、参考図書 ①「アセスメントスキルを修得し質の高い周産期ケアを追求する 母性看護学Ⅱ 周産期各論」有森直子編, 医歯薬出版, 2015. (4200 円+税) ISBN978-4-263-23669-7 ②「看護診断ハンドブック 第 11 版」リンダ J.カルペニート著; 黒江ゆり子監訳, 医学書院, 2018.			

	(3800 円+税) ISBN978-4-260-03451-7		
講義内容	【実習期間】2 週間 【母性看護学実習施設】産科婦人科出張館 佐藤病院 医療法人星陽会 いしもとレディスクリニック 多野藤岡医療事務市町村組合 公立藤岡総合病院 【実習方法】 ①受け持ちケース実習＜1 週間＞■ 正常に経過している褥婦と新生児を受け持ち、基本的な看護を実施する。(到達目標 1,2,3,4,5) ②機能別ローテーション実習＜1 週間＞■ 産婦人科外来・分娩室において、妊産婦に対する看護活動を見学する。(到達目標 1,2,4,5) 新生児室において、新生児に対する基本的看護を実施する。(到達目標 1,2,4,5) ※詳細は、母性看護学実習要項参照		
	予習	母性看護学概論、母性看護学方法論Ⅰ・Ⅱにおいて学習した知識と技術の確認。 実習オリエンテーションで配布したプリントの確認。	適宜
	復習	実習場で体験したことを実習目標と照らし合わせて学習到達度を自己評価し、課題を明確にして翌日の実習に臨む。 看護の実施や考察に必要な知識の補完。	適宜
	備考	・科目責任者メールアドレス: motegi-s@takasaki-u.ac.jp オフィスアワー: 火曜日・水曜日の 4 限、質問や意見はメールでも受け付ける。 ・受け持ちケース実習は、2～3 名の学生で母子 1 組を受け持つ。 実習目標達成に向けて、互いの役割を考え協力し合いながら行動すること。 看護過程の展開の記録は所定の記録用紙に各自で記録していくが、個別学習をもとに共に協力し合いながら看護計画を立案し実施する。 ・■: 実務経験に基づく内容を示す。	

看 106 精神看護学概論

科目名		精神看護学概論（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・精神看護学）			NRS160	講義
英文名		Introduction to Psychiatric and Mental Health Nursing				
担当教員		田邊要補				
科目に関連した実務経験		看護師として精神科病院に勤務（経験）				
学年・開講期		1 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標		心の健康問題についての理解を深め、現代社会における精神保健・医療・福祉の活動とあり方を考える。また、精神保健福祉制度を理解し、精神看護の機能と役割を学習し、精神障がい者の人権について学ぶ。				
到達目標		1.精神看護学の基本的な考え方を理解できる。 2.精神の健康と障がいを理解できる。■ 3.人間の心のはたらきを理解できる。 4.精神障がいの治療の歴史及び法制度を理解できる。				
学位授与方針との対応		✓	1. 人間理解と倫理観			
		✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		✓	3. チームの一員としての協調・協働			
			4. 国際理解			
			5. 生涯学習力			
評価方法		筆記試験 70%、レポート 20%（第 11 回、第 14・15 回）、授業参加度 10%で算出し、60 点以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック		レポートは評価をしたうえで、返却する。また、独自に作成した出席カードに書かれた質問に対しては次の授業開始時に返答する。				
使用教材		教科書：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 精神看護学[1] 配布資料。授業に関連した DVD。				
1	講義内容	こころについて考える				
	該当する到達目標	予習	こころについて、自分の考えをまとめる。			1.5 時間
	3	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。			1 時間
2	講義内容	精神看護学で学ぶこと1 課題				
	該当する到達目標	予習	教科書の第 1 章 A1～B4 に目を通す。			1.5 時間
	1,2	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。			1 時間
3	講義内容	精神看護学で学ぶこと2 基本的な考え方				
	該当する到達目標	予習	教科書の第 1 章 C1～D4 に目を通す。			1.5 時間
	1,2	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。			1 時間

4	講義内容	精神保健の考え方1 精神の健康とは		
	該当する到達目標	予習	教科書の第2章 A1～B4 に目を通す。	1.5 時間
	2,3	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1 時間
5	講義内容	精神保健の考え方2 ストレスと健康の危機■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第2章 C1～E2 に目を通す。	1.5 時間
	2,3	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1 時間
6	講義内容	人間の心のはたらきとパーソナリティ1 人間の心の諸活動		
	該当する到達目標	予習	教科書の第3章 A1～A4、B1～B2 に目を通す。	1.5 時間
	3	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1 時間
7	講義内容	人間の心のはたらきとパーソナリティ2 心の理論		
	該当する到達目標	予習	教科書の第3章 A5 に目を通す。	1.5 時間
	2,3	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1 時間
8	講義内容	人間の心のはたらきとパーソナリティ3 無意識と精神分析		
	該当する到達目標	予習	教科書の第3章 B3～B5 に目を通す。	1.5 時間
	3	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1 時間
9	講義内容	人間の心のはたらきとパーソナリティ4 自己心理学		
	該当する到達目標	予習	教科書の第3章 B6～B7 に目を通す。	1.5 時間
	3	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1 時間
10	講義内容	関係のなかの人間1 共依存■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第4章 A4 に目を通す。	1.5 時間
	2,3	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1 時間
11	講義内容	関係のなかの人間2 全体としての家族・人間と集団		
	該当する到達目標	予習	教科書の第4章 A1～B6 に目を通す。	1.5 時間
	3	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1 時間
12	講義内容	社会の中の精神障害1 精神障害と治療の歴史(レポート)		
	該当する到達目標	予習	教科書の第7章 A1～A10 に目を通す。	1.5 時間
	2,4	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1 時間
13	講義内容	社会の中の精神障害2 精神障がいと法制度■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第7章 B1～B6、E1～E4 に目を通す。	1.5 時間
	2,4	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1 時間
14	講義内容	「A Beautiful Mind」(レポート)2,3,4		
	該当する到達目標	予習	第12回、第13回の講義の内容を中心に予習すること。	2 時間
	2,3,4	復習	精神看護学概論全体の授業を思い出し、しっかりと復習すること。	時間
15	講義内容	「A Beautiful Mind」(レポート)		
	該当する到達目標	予習	第12回、第13回の講義の内容を中心に予習すること。	時間
	2,3,4	復習	精神看護学概論全体の授業を思い出し、しっかりと復習すること。	3 時間
備	オフィスアワー:火曜日 13:30～16:00			

テキスト、配布資料および DVD を基にして、授業を進める。

■:実務経験に基づく内容を示す。

不在時はメール等で問い合わせのこと。Tanabe-y@takasaki-u.ac.jp

教職必修科目。

第 14 回・第 15 回は 2 コマ続き。

予習・復習については、試験前の学習で補完すること。

看 107 精神看護学方法論 I

科目名	精神看護学方法論Ⅰ（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・精神看護学）			NRS260	講義
英文名	Psychiatric and Mental Health Nursing: Assessment and SkillsⅠ				
担当教員	田邊要補				
科目に関連した実務経験	看護師として精神科病院に勤務（経験）				
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	精神看護を実践するための具体的な知識・技術について学習する。				
到達目標	1.ケアの原則・方法やケアをする上での関係を理解できる。 2.精神科における看護の役割を理解できる。■ 3.地域で生活するための原則や法制度および地域での看護の実際を理解できる。 4.精神科以外での精神看護を理解できる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	筆記試験 80%、課題 10%（第 2 回）、授業参加度 10%で算出し、60 点以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	レポートは評価をしたうえで、添削して返却する。また、独自に作成した出席カードに書かれた質問に対しては次の授業開始時に返答する。				
使用教材	教科書：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の展開 精神看護学[2] 配布資料。授業に関連した DVD。				
1	講義内容	ケアの人間関係1 ケアの原則・ケアの方法■			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 8 章 A1～C4 に目を通す。		1.5 時間
	1,2	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。		1 時間
2	講義内容	ケアの人間関係2 関係をアセスメントする：プロセスレコード			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 8 章 D1～D4 に目を通す。		1.5 時間
	1,2	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。		1 時間
3	講義内容	ケアの人間関係3 患者－看護師関係における感情体験			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 7 章 E1～F4 に目を通す。		1.5 時間
	1,2	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。		1 時間
4	講義内容	回復を助ける1 回復の意味			

	該当する到達目標	予習	教科書の第 9 章 A1～A6 に目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1 時間
5	講義内容	回復を助ける2 入院治療の目的と意味		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 9 章 B1～B4 に目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1 時間
6	講義内容	回復を助ける3 治療的環境をつくる		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 9 章 C1～C6 に目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1 時間
7	講義内容	安全をまもる1 リスクマネジメントの考え方と方法		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 10 章 A1～B1 に目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1 時間
8	講義内容	安全をまもる2 緊急事態に対処する■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 10 章 B2～C4 に目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1 時間
9	講義内容	身体をケアする1 精神科の治療と身体ケア■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 11 章 A～C3 に目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1 時間
10	講義内容	身体をケアする2 精神科における身体ケアの実際■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 11 章 D1～G4、第 12 章に目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1 時間
11	講義内容	地域における精神保健と精神看護1 地域で生活する		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 13 章 A1～C2 に目を通す。	1.5 時間
	3	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1 時間
12	講義内容	地域における精神保健と精神看護2 生活を支える		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 13 章 C3～D5 に目を通す。	1.5 時間
	3	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1 時間
13	講義内容	地域における精神保健と精神看護3 学校における精神保健と精神看護		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 13 章 E1～E4 に目を通す。	1.5 時間
	4	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1 時間
14	講義内容	地域における精神保健と精神看護4 職場における精神保健と精神看護		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 13 章 F1～G5 に目を通す。	1.5 時間
	4	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1 時間
15	講義内容	リエゾン精神看護 リエゾン精神看護とその活動		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 14 章 A1～D2 に目を通す。	1.5 時間
	4	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1 時間
備	オフィスアワー:火曜日 9:30～13:00			
考	テキスト、配布資料および DVD を基にして、授業を進める。			

■:実務経験に基づく内容を示す。

不在時はメール等で問い合わせのこと。Tanabe-y@takasaki-u.ac.jp

教職必修科目

予習・復習については、試験前の学習で補完すること。

看 108 精神看護学方法論Ⅱ

科目名		精神看護学方法論Ⅱ（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・精神看護学）			NRS261	講義
英文名		Psychiatric and Mental Health Nursing: Assessment and Skills Ⅱ				
担当教員		田邊要補				
科目に関連した実務経験		看護師として精神科病院に勤務（経験）				
学年・開講期		2 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標		精神に特徴的な疾患や症状をもつ人に対しての具体的な看護援助方法を学習する。				
到達目標		1.精神に特徴的な疾患や症状に応じた看護方法を理解できる。■ 2.精神看護学で看護過程を展開する方法を理解できる。 3.精神に障がいのある方の理解を深める。				
学位授与方針との対応		✓	1. 人間理解と倫理観			
		✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		✓	3. チームの一員としての協調・協働			
			4. 国際理解			
			5. 生涯学習力			
評価方法		筆記試験 50%、事例展開（個人）20%、事例展開（グループ）20%、授業参加度 10%で算出し、60点以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック		レポートは評価をしたうえで、添削して返却する。また、独自に作成した出席カードに書かれた質問に対しては次の授業開始時に返答する。				
使用教材		教科書：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 精神看護学[1]・精神看護の展開 精神看護学[2] 参考書：新クイックマスター改訂版「精神看護学」監修：松下正明・坂田三允・樋口輝彦発行：医学芸術社 配布資料。授業に関連した DVD。				
1	講義内容	統合失調症患者の看護■				
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 章 C2 及び第 11 章を中心にまんべんなく目を通す。			1.5 時間
	1	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。			1 時間
2	講義内容	気分障害患者の看護■				
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 章 C3 及び第 11 章を中心にまんべんなく目を通す。			1.5 時間
	1	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。			1 時間
3	講義内容	精神科の症状と看護■				
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 章及び第 11 章を中心にまんべんなく目を通す。			1.5 時間

	1	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1 時間
4	講義内容	アセスメントの視点、CP 値換算■		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 9 章 B4 及び第 6 章 B1 に目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1 時間
5	講義内容	事例展開①（個人）		
	該当する到達目標	予習	第 5 回の授業内容及び統合失調症の治療・看護について予習すること。	1.5 時間
	1,2	復習	配布された事例を基に、第 5 回の授業内容及び統合失調症の治療・看護について、しっかりと復習すること。	1 時間
6	講義内容	事例展開②（個人）		
	該当する到達目標	予習	第 5 回の授業内容及び統合失調症の治療・看護について予習すること。	1.5 時間
	1,2	復習	配布された事例を基に、第 5 回の授業内容及び統合失調症の治療・看護について、しっかりと復習すること。	1 時間
7	講義内容	精神看護技術：意思の尊重		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 11 章 D1～F5 に目を通す。	1.5 時間
	1	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1 時間
8	講義内容	当事者を支える視点・働きかけ。地域で生活している経験者の体験談。		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 13 章 A1～D5 に目を通す。	3 時間
	3	復習	当事者の発表内容を振り返り、精神障がい者が地域で暮らすことの意義を考える。	時間
9	講義内容	当事者を支える視点・働きかけ。地域で生活している経験者の体験談。		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 13 章 A1～D5 に目を通す。	時間
	3	復習	当事者の発表内容を振り返り、精神障がい者が地域で暮らすことの意義を考える。	2 時間
10	講義内容	事例展開①（グループ）1,2		
	該当する到達目標	予習	自分がまとめた事例を振り返るとともに、第 5 回の授業内容及び統合失調症の治療・看護について予習すること。	1.5 時間
	1,2	復習	配布された事例をグループでまとめるとともに、第 5 回の授業内容及び統合失調症の治療・看護について、しっかりと復習すること。	1 時間
11	講義内容	事例展開②（グループ）		
	該当する到達目標	予習	自分がまとめた事例を振り返るとともに、第 5 回の授業内容及び統合失調症の治療・看護について予習すること。	1.5 時間
	1,2	復習	配布された事例をグループでまとめるとともに、第 5 回の授業内容及び統合失調症の治療・看護について、しっかりと復習すること。	1 時間
12	講義内容	感情労働とメンタルヘルス		
	該当する到達目標	予習	教科書の終章 A～F4 に目を通す。	1.5 時間

	1	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1 時間
13	講義内容	事例の看護過程のグループ発表①		
	該当する到達目標	予習	発表内容に目を通すとともに、発表方法の練習・確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	発表を振り返るとともに、第 5 回の授業内容及び統合失調症の治療・看護について、しっかりと復習すること。	1 時間
14	講義内容	事例の看護過程のグループ発表②1,2		
	該当する到達目標	予習	発表内容に目を通すとともに、発表方法の練習・確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	発表を振り返るとともに、第 5 回の授業内容及び統合失調症の治療・看護について、しっかりと復習すること。	1 時間
15	講義内容	伊勢崎地域活動センターの概要及び経験者(精神に障害のあるかた)の体験談。		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 13 章 A1～D5 に目を通す。	1.5 時間
	3	復習	配布された資料に目を通し、伊勢崎地域活動センターの概要を復習する。また、当事者の発表内容を振り返り、精神障がい者が地域で暮らすことの意義を考える。	1 時間
備考	オフィスアワー:火曜日 9:30～13:00 配布資料、DVD および事例を基にして、授業を進める。 ■:実務経験に基づく内容を示す。 不在時はメール等で問い合わせのこと。Tanabe-y@takasaki-u.ac.jp 第 8 回・第 9 回は 2 コマ続きである。 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。			

看 109 精神看護学実習

科目名	精神看護学実習（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・精神看護学）			NRS360	実習
英文名	Psychiatric and Mental Health Nursing: Practicum				
担当教員	田邊要補				
科目に関連した実務経験	看護師として精神科病院に勤務（経験）				
学年・開講期	3 年 前期 3 年 後期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	精神に障がいをもつ人を、一人の生活者として捉える視点を養い、その人のセルフケア能力を高める看護の実際を学ぶ。さらに、地域で生活を営む上での必要な援助を理解する。				
到達目標	1. 身体的・心理的・社会的側面から対象を理解することができる。■ 2. 対象との関わりを通し、自分自身の傾向に気づくとともにコミュニケーションスキルを高めることができる。■ 3. 対象の個別性を考慮し、援助を実践することができる。■ 4. 地域精神保健活動の重要性を理解し、チーム医療や看護者の役割を学ぶことができる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	実習中は適宜面接を行い、最終的には実習目的・実習目標の達成度について、評価表を用いて評価する。				
課題に対するフィードバック	実習の事前学習及び実習期間内に提出した記録物については、授業担当者からのコメントを付して返却する。ケースカンファレンスにおける記録物については、その場でコメントする。				
使用教材	学科作成の実習要項。精神看護学実習に関連する授業のテキストおよび資料。				
講義内容	1. 精神科病院と社会福祉施設で2週間の実習を行う（詳細は「実習スケジュール」を参照）。■ 2. 病院実習では1人の対象を受け持ち、全体像を把握し病棟の看護計画に沿って看護を展開する。■ 3. 社会福祉施設では施設の利用者とともに活動に参加する。				
	予習	実習先に関する予習、実習指導で準備した資料の確認			期間中 適宜
	復習	実習先で教わったことの再確認、現場で得た実体験のまとめ、報告会用資料準備			期間中 適宜
備考	健大のメールアドレスは次の通り。Tanabe-y@takasaki-u.ac.jp、オフィスアワーは 1 週目（金 3 時 限目）、2 週目（木 4 時限目）。 1 グループに対し 1 名の教員が常駐し、個々に合った実習指導を行う。毎日カンファレンスを行い、 グループとしての学びを共有する。				

受講するためには実習指導の履修登録が必要である。その他、関連する科目（精神看護学概論、精神看護学方法論Ⅰ、精神看護学方法論Ⅱ）の履修が必要である。

予習、復習に必要な時間は特に明記しないが、実習期間中は現場に入る前に必ず教わったことや調べたことをチェックし、帰宅後は必ず思い出して指示されたことや教わったことを書き出すなどの行為が必要である。

看 110 在宅看護学概論

科目名	在宅看護学概論（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・在宅看護学）			NRS270	講義
英文名	Introduction to Home Care Nursing				
担当教員	小笠原映子 棚橋さつき				
科目に関連した実務経験	看護師、訪問看護師として総合病院に勤務（経験）				
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	在宅看護の目的と特性を知り、在宅で生活する療養者とその家族に必要な看護を提供するための基礎知識、および在宅療養者を支える社会資源やサポートシステムについて学ぶ。				
到達目標	1. 在宅看護の変遷や関連する制度について社会情勢などを踏まえながら理解できる。■ 2. 在宅療養者や家族機能について理解できる。■ 3. 継続看護の方法について理解できる。■ 4. 在宅療養者を支える社会資源やサポートシステムを理解できる。■				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	定期試験(6 割以下の場合再試験)60%、ミニテスト 20%、レポート 10%、授業参加度 10%				
課題に対するフィードバック	・ミニテスト終了後、毎回解説する ・グループワーク時に適宜、グループに合わせた指導を行う				
使用教材	①ナーシンググラフィカ 在宅看護論① 地域療養を支えるケア メディカ出版 ②ナーシンググラフィカ 在宅看護論② 在宅療養を支える技術 メディカ出版 ③適宜、講義資料を配布する				
1	講義内容	ガイダンスおよび在宅看護の目的と特性①■			
	該当する到達目標	予習	教科書①p.12～p.37 を読んでおくこと		1 時間
	1.2.4	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する		1.5 時間
2	講義内容	在宅看護の目的と特性②			
	該当する到達目標	予習	教科書①p.42～p.50 を読んでおくこと		1 時間
	1.2.4	復習	次回授業内容にかかわるミニテストを実施するので復習しておくこと		1.5 時間
3	講義内容	療養者・家族の特徴と意思決定①（ミニテスト）			
	該当する到達目標	予習	教科書①p.52～p.65 を読んでおくこと		1 時間
	1.2	復習	次回授業内容にかかわるミニテストを実施するので復習しておくこと		1.5 時間
4	講義内容	療養者・家族の特徴と意思決定②			
	該当する到達目標	予習	教科書①p.52～p.65 を読んでおくこと		1 時間

	1.2	復習	次回授業内容にかかわるミニテストを実施するので復習しておくこと	1.5 時間
5	講義内容	在宅ケアに関わる諸制度①（ミニテスト）		
	該当する到達目標	予習	教科書①p.112～p.156 を読んでおくこと	1 時間
	1.4	復習	次回授業内容にかかわるミニテストを実施するので復習しておくこと	1.5 時間
6	講義内容	在宅ケアに関わる諸制度②		
	該当する到達目標	予習	教科書①p.112～p.156 を読んでおくこと	1 時間
	1.4	復習	次回授業内容にかかわるミニテストを実施するので復習しておくこと	1.5 時間
7	講義内容	在宅移行への継続看護①（ミニテスト）		
	該当する到達目標	予習	教科書①p.70～ p.107 を読んでおくこと	1 時間
	1.2.3.4	復習	次回授業内容にかかわるミニテストを実施するので復習しておくこと	1.5 時間
8	講義内容	在宅移行への継続看護②		
	該当する到達目標	予習	教科書①p.70～ p.107 を読んでおくこと	1 時間
	1.2.3.4	復習	次回授業内容にかかわるミニテストを実施するので復習しておくこと	1.5 時間
9	講義内容	訪問看護制度とその活動（ミニテスト）		
	該当する到達目標	予習	教科書①p.198～p.203 を読んでおくこと	1 時間
	1.2.3.4	復習	在宅看護に特徴的なリスクマネジメントの要点を整理する	1.5 時間
10	講義内容	訪問看護マナーと実際		
	該当する到達目標	予習	教科書②p.14～p.22 を読んでおくこと	1 時間
	2.3	復習	次回授業内容にかかわるテストを実施するので復習しておくこと	1.5 時間
11	講義内容	在宅におけるエンドオブライフケア（ミニテスト）		
	該当する到達目標	予習	教科書①p.247～p.248 を読んでおくこと。	1 時間
	1.4	復習	次回授業内容にかかわるテストを実施するので復習しておくこと	1.5 時間
12	講義内容	在宅療養者の事例から在宅看護を理解する①グループワーク		
	該当する到達目標	予習	今までの講義内容を復習しておくこと	1 時間
	1.2.3.4	復習	次回授業にかかわる内容を復習しておくこと	1.5 時間
13	講義内容	在宅療養者の事例から在宅看護を理解する②グループワーク		
	該当する到達目標	予習	提示された事例について学習しておく	1 時間
	1.2.3.4	復習	ニーズ、必要な支援についてグループで確認しておく	1.5 時間
14	講義内容	在宅療養者の事例から在宅看護を理解する③グループ発表		
	該当する到達目標	予習	提示された事例について学習しておく	1 時間
	1.2.3.4	復習	グループ発表を聞き、在宅看護についての学びを整理しておく	1.5 時間
15	講義内容	在宅看護の展望と総括（レポート課題）		
	該当する到達目標	予習	今後の在宅看護の展望等についての書籍等を読んでおくこと	1 時間
	1.2.3.4	復習	今までの講義内容を復習しておく	1.5 時間
備考	【授業期間全体を通じた授業の進め方】 1～11 回目の講義は、テーマについて概要を説明し、ミニテストをしながら学習の確認を行う。授業はパワーポイントにより要点を提示する。			

12～15 回目の講義は、グループワークの形式で進める。

【オフィスアワー】 月曜日 13:00～14:00 その他の時間はメールで随時対応する。

担当教員(小笠原) ogasawara@takasaki-u.ac.jp

上記以外の日程でも可能な限り調整します。メール等で問い合わせてください。

■:実務経験に基づく内容を示す。

看 111 在宅看護学方法論Ⅰ

科目名		在宅看護学方法論Ⅰ（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・在宅看護学）			NRS271	講義
英文名		Home Care Nursing : Assessment and Skills Ⅰ				
担当教員		小笠原映子 田村直子 棚橋さつき				
科目に関連した実務経験		看護師、訪問看護師として総合病院に勤務（経験）				
学年・開講期		2 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標		様々な発達段階、健康段階、生活環境にある在宅療養者と家族が安心して生活するための看護支援方法、多職種連携、社会資源について学ぶ。				
到達目標		1. 在宅看護における対象別看護の特徴を理解する。■ 2. 在宅における看護課題を解決するための日常生活援助、多職種連携、社会資源について理解する。■ 3. 在宅看護過程について基本的な考え方を理解する。■				
学位授与方針との対応		✓	1. 人間理解と倫理観			
		✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		✓	3. チームの一員としての協調・協働			
			4. 国際理解			
			5. 生涯学習力			
評価方法		定期試験 70%、課題レポート 20%（看護過程）、授業参加態度 10%				
課題に対するフィードバック		・課題レポートにはコメントをつけて返却する。 ・グループワーク時に適宜、グループに合わせた指導を行う。				
使用教材		①ナーシンググラフィカ 在宅看護論① 地域療養を支えるケア メディカ出版 ②ナーシンググラフィカ 在宅看護論② 在宅療養を支える技術 メディカ出版 ③適宜、講義資料を配布する				
1	講義内容	対象の理解：高齢者、認知症のある療養者				
	該当する到達目標	予習	教科書②p176～185 を事前に読む。老年看護学で学習した加齢に伴う身体機能の変化や認知症症状について復習し、要点を整理する。			1.0 時間
	1,2	復習	高齢者や認知症高齢者が抱える看護課題と看護支援方法を理解する。			1.5 時間
2	講義内容	対象の理解：難病療養者				
	該当する到達目標	予習	教科書②p191～192 を事前に読む。成人看護学や家族看護論で学習した難病患者の看護や家族支援について復習し、要点を整理する。			1.0 時間
	1,2	復習	難病療養者が抱える看護課題と看護支援方法を理解する。			1.5 時間
3	講義内容	対象の理解：精神疾患のある療養者と終末期にある療養者				
	該当する到達目標	予習	教科書②p198～199 を事前に読む。精神看護学で学習した地域で暮			1.0 時間

			らす方への看護支援について復習する。	
	1,2	復習	精神疾患のある療養者と終末期にある療養者が抱える看護課題と看護支援方法を理解する。	1.5 時間
4	講義内容	在宅におけるリスクマネジメント		
	該当する到達目標	予習	教科書①p194～203、②p92～93 を事前に読む。	1.0 時間
	1,2	復習	リスクマネジメントにおける訪問看護師の役割を考察する。	1.5 時間
5	講義内容	対象者の理解：小児		
	該当する到達目標	予習	教科書①p249～250 を事前に読む。	1.0 時間
	1,2	復習	小児を対象にした訪問看護師の役割、看護支援方法を理解する。	1.5 時間
6	講義内容	在宅におけるヘルスアセスメント、日常生活援助：清潔ケアと排泄ケア		
	該当する到達目標	予習	教科書②p65～70、75～77、127～131 を事前に読む。	1.0 時間
	1,2	復習	在宅看護における清潔ケアと排泄ケアの看護支援方法を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	日常生活援助：服薬管理、食生活支援		
	該当する到達目標	予習	教科書②p56～61、94～97 を事前に読む。	1.0 時間
	1,2	復習	在宅看護における服薬管理と食生活支援の看護支援方法を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	日常生活援助：環境調整、在宅リハビリテーション		
	該当する到達目標	予習	教科書②p38～44 を事前に読む。介護保険制度や障害者総合支援法による福祉用具貸与や購入の対象物品、住宅改修について理解する。	1.0 時間
	1,2	復習	在宅リハビリテーションの役割と多職種連携について要点を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	在宅看護過程①講義－基本的な考え方－		
	該当する到達目標	予習	教科書①p79～86 ②p17～24 を事前に読む。	1.0 時間
	1,2,3	復習	教科書②175～212 までの事例を読み、講義資料を踏まえながら在宅看護過程の基本的な考え方を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	在宅看護過程②講義－基本的な考え方－		
	該当する到達目標	予習	教科書①p79～86 ②p17～24 を事前に読む。	1.0 時間
	1,2,3	復習	教科書②175～212 までの事例を読み、講義資料を踏まえながら設問を検討し、在宅看護過程の基本的な考え方を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	在宅看護過程③講義－情報収集項目について－		
	該当する到達目標	予習	教科書②p19～21 を事前に読む。	1.0 時間
	1,2,3	復習	在宅看護過程の情報収集について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	在宅看護過程④グループワーク■		
	該当する到達目標	予習	個人ワークの課題を提示する。	1.5 時間
	1,2,3	復習	グループワークにより得た他者の意見を参考に、個人ワークを加筆修正する。	1.0 時間

13	講義内容	在宅看護過程⑤グループワーク■		
	該当する到達目標	予習	個人ワークの課題を提示する。	1.5 時間
	1,2,3	復習	グループワークにより得た他者の意見を参考に、個人ワークを加筆修正する。	1.0 時間
14	講義内容	在宅看護過程⑥発表		
	該当する到達目標	予習	自分達の発表内容について確認する。	1.0 時間
	1,2,3	復習	他グループの発表を参考にして加筆修正し、個人ワークを仕上げる。	1.5 時間
15	講義内容	在宅看護過程⑦発表		
	該当する到達目標	予習	自分達の発表内容について確認する。	1.0 時間
	1,2,3	復習	他グループの発表を参考にして加筆修正し、個人ワークを仕上げる。	1.5 時間
備考	【授業期間全体を通じた授業の進め方】 1～8 回目の講義は、テーマについて概要を説明する。授業はパワーポイントにより要点を提示する。 9～15 回目の講義は、グループワークの形式で進める。 【オフィスアワー】 月曜日 13:00～14:00 その他の時間はメールで随時対応する。 担当教員(小笠原)ogasawara@takasaki-u.ac.jp ■:実務経験に基づく内容を示す。			

看 112 在宅看護学方法論Ⅱ

科目名		在宅看護学方法論Ⅱ（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・在宅看護学）			NRS370	講義
英文名		Home Care Nursing : Assessment and Skills Ⅱ				
担当教員		田村直子 小笠原映子				
科目に関連した実務経験		看護師として総合病院に勤務（経験）：田村 非常勤看護師として訪問看護ステーションに勤務（現在）：田村 看護師・訪問看護師として総合病院に勤務（経験）：小笠原				
学年・開講期		3 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標		在宅看護で特徴的な医療処置の基本的知識と看護技術を習得する。特に医療依存度が高い在宅療養者とその家族に対する看護支援方法について学習する。				
到達目標		1.在宅で特徴的な医療処置と看護技術の基本的知識と技術を理解できる。 2.在宅で特徴的な医療処置と看護技術を必要とする対象の看護支援方法が理解できる。■ 3.訪問看護に必要なマナーと信頼関係構築の重要性について理解できる。■				
学位授与方針との対応		✓	1. 人間理解と倫理観			
		✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		✓	3. チームの一員としての協調・協働			
			4. 国際理解			
			5. 生涯学習力			
評価方法		定期試験 80%、演習課題レポート10%、講義・演習参加態度 10%とする。総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック		演習で使用するワークシートには、コメントをつけて返却する。				
使用教材		1. ナーシンググラフィカ在宅看護論 地域療養を支えるケア 2. ナーシンググラフィカ在宅看護論② 地域療養を支える技術 3. 適宜講義資料を配布する。				
1	講義内容	在宅における呼吸管理①吸引、カニューレの構造、HOT（講義）■				
	該当する到達目標	予習	教科書1 p212-218、教科書 2 p110-122 を事前に読む。			1.5 時間
	1,2	復習	講義資料と教科書で、在宅呼吸管理について復習する。			2.0 時間
2	講義内容	在宅における呼吸管理②人工呼吸療法（講義）				
	該当する到達目標	予習	教科書1 p219-221、教科書 2 p123-127 を事前に読む。			1.5 時間
	1,2	復習	講義資料と教科書で、在宅呼吸管理について復習する。			2.0 時間
3	講義内容	在宅における呼吸管理③（演習）				
	該当する到達目標	予習	教科書1 p219-221、教科書 2 p123-127 を事前に読む。			1.5 時間

			事前に配布したワークシートを使用し、在宅での呼吸管理についての看護について要点をまとめる。	
	1,2	復習	教科書と講義資料、配付したワークシートを見直し在宅呼吸管理について復習する	2.0 時間
4	講義内容	在宅におけるストーマケアと褥瘡ケア(講義) ■		
	該当する到達目標	予習	教科書 1 p225-229、教科書 2 p131-134.144-148 を事前に読む。	2.0 時間
	1,2	復習	講義資料と教科書で、ストーマケアと褥瘡ケアについて復習する。	2.0 時間
5	講義内容	在宅におけるストーマケアと褥瘡ケア(演習)		
	該当する到達目標	予習	教科書 1 p225-229、教科書 2 p131-134.144-148 を事前に読む。	1.5 時間
	1,2	復習	教科書、講義資料、配付したワークシートを見直し在宅でのストーマケアと褥瘡ケアについて復習する。	2.0 時間
6	講義内容	在宅における栄養管理－経管栄養と HPN(講義)－ ■		
	該当する到達目標	予習	教科書 1 p188-194、教科書 2 p102-109 を事前に読む。 事前に配布したワークシートを使用し、在宅での栄養管理について要点をまとめる。	2.0 時間
	1,2	復習	講義資料と教科書で、経管栄養と HPN の看護について復習する。	2.0 時間
7	講義内容	在宅における栄養管理－経管栄養と HPN(演習)－		
	該当する到達目標	予習	教科書 1 p188-194、教科書 2 p102-109 を事前に読む。	1.5 時間
	1,2	復習	教科書、講義資料、配付したワークシートを見直し在宅栄養管理について復習する。	2.0 時間
8	講義内容	訪問看護に必要なマナー(講義・演習) ■		
	該当する到達目標	予習	教科書 1 p72、教科書 2 p14-17、p216～218(表 7-1)を事前に読む。	1.5 時間
	1,3	復習	講義資料と教科書で訪問看護のマナーについて復習する。	2.0 時間
備考	【授業期間全体を通じた授業の進め方】 同じテーマについては、1 限は講義、2 限を演習とする。講義はテーマについてパワーポイントにより概要を説明する。演習については、実習室を使用し在宅看護で特徴的な看護技術について、ポイントを提示しながらグループ毎に演習を行う。 【オフィスアワー】前期木曜日 4 限目、その他の時間はメールで随時対応する。 教員(田村)のメールアドレス(tamura@takasaki-u.ac.jp)。 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

看 113 在宅看護学実習

科目名	在宅看護学実習（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・在宅看護学）			NRS371	実習
英文名	Home Care Nursing: Practicum				
担当教員	小笠原映子 田村直子 棚橋さつき				
科目に関連した実務経験	看護師、訪問看護師として総合病院に勤務（経験）				
学年・開講期	3 年 前期 3 年 後期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	在宅で療養する療養者と家族を総合駅に理解するとともに、家族を支える社会資源や制度を学ぶ。また、様々な発達段階、健康レベルの人々を「生活の場」で支えていく在宅看護の意義と課題について実習の中から学んでいく。				
到達目標	1. 在宅看護の場や在宅療養者とその家族の多様な特性、望む生活をふまえて、療養上のニーズおよび必要な支援について理解できる。■ 2. 生活の場であることを踏まえた在宅療養者の看護過程を展開できる。■ 3. 在宅療養者とその家族を支援するための社会資源の活用方法や在宅における多職種連携・協働について理解できる。■ 4. 訪問看護ステーションの特徴と機能を理解し、地域包括ケアシステムにおける看護の役割と機能について考察できる。■				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	実習記録、訪問看護計画、事前・事後レポートその他提出物、実習参加度、学習態度などによる総合評価				
課題に対するフィードバック	実習記録、訪問看護計画等に関して随時指導、コメントを付して返却する。				
使用教材	学科作成の実習要項、及び領域で作成した在宅看護学実習要項				
講義内容	・実習先に訪問看護ステーションおよび関連施設で2週間(1日8時間、7日間)通い、上記の到達目標達成に向けて受講する。訪問看護ステーションでは療養者1名を受け持ち、実習中に2回以上訪問看護に同行し看護過程を展開する。また、受け持ち以外の療養者にも同行する。 ・学内カンファレンスを実習 2 週目に行う。カンファレンスでは看護過程の展開について意見交換を行い、在宅療養者の生活や理解を深める。また、訪問看護を提供している事業所の特徴や関係機関との連携、在宅における工夫、チーム医療の重要性について実習の成果を伝える場とする。 ※実習内容の詳細は配属される実習先によって異なるが、次に掲げる事項について学生は教員や				

	実習指導者により指導を受ける。		
	予習	受け持ち療養者の疾病に関して事前学習すること。また在宅療養を支える社会資源、実習施設に関する情報を整理しておくこと。	期間中 適宜
	復習	実習を通して学んだことを振り返り、地域包括ケアシステムにおける看護の役割と機能について考察する。	期間中 適宜
備考	【実習期間全体を通じた実習の進め方】 実習 1 週目：受け持ち療養者に関する看護過程の展開（アセスメント、計画立案）について指導する。 実習 2 週目：受け持ち療養者に関する看護過程の展開（ケアの実施、評価）について指導する。 実習目標に沿った学びの整理は、カンファレンス等のグループワークの形式で進める。 【オフィスアワー】 金曜日 2 時限目（前期・後期） 健大のメールアドレス：kendai@takasaki-u.ac.jp 【参考図書】①ナーシンググラフィカ 在宅看護論① 地域療養を支えるケア メディカ出版 ②ナーシンググラフィカ 在宅看護論② 在宅療養を支える技術 メディカ出版 ③強みと弱みからみた在宅看護過程 医学書院 ■：実務経験に基づく内容を示す。		

看 114 公衆衛生看護学概論

科目名	公衆衛生看護学概論（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・公衆衛生看護学）			NRS280	講義
英文名	Introduction to Public Health Nursing				
担当教員	深澤 英子、倉林しのぶ				
科目に関連した実務経験	保健師としての勤務経験： 県・保健所（深澤）、県教育委員会・病院・事業所（倉林）				
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	公衆衛生看護学の全体像を把握するため、公衆衛生看護の歴史から見る健康課題の変遷と、公衆衛生看護の役割及び活動の特徴を理解する。				
到達目標	1. 社会環境や生活状況から生じる健康課題をとらえることができる。■ 2. 公衆衛生看護活動の場と活動の概要を理解することができる。■				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	定期試験 70%、レポート 20%、出席 10%				
課題に対するフィードバック	提示した複数の健康課題レビューから各自1つを選んでレポート提出をする。その後、グループワークでそれぞれのテーマをシェアすることにより、より深い理解へと発展させる。				
使用教材	標準保健師講座 公衆衛生看護学概論：医学書院 講義のスライドを随時プリントして配布する。				
1	講義内容	公衆衛生看護の特徴■			
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読む		1 時間
	1,2	復習	公衆衛生看護の特徴を理解する		1.5 時間
2	講義内容	公衆衛生看護のはじまり			
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読む		1 時間
	1,2	復習	公衆衛生及び公衆衛生看護のはじまりと歴史的背景について理解する		1.5 時間
3	講義内容	日本の公衆衛生看護の歴史			
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読む		1 時間
	1,2	復習	公衆衛生看護活動の変遷について理解する		1.5 時間
4	講義内容	社会環境の変化と健康課題■			
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読む。配布した課題レビューを読む。		1 時間

	1,2	復習	社会環境の変化と健康課題について理解する	1.5 時間
5	講義内容	ヘルスプロモーション■		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読む	1 時間
	1,2	復習	プライマリヘルスケア及び、ヘルスプロモーションについて理解する	1.5 時間
6	講義内容	日本における健康づくり運動「健康日本 21」■		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読む	1 時間
	1,2	復習	健康づくり運動の目的と取り組みについて理解する	1.5 時間
7	講義内容	第二次「健康日本21」と「健康格差」■		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読む	1 時間
	1,2	復習	健康格差と社会的要因との関係性について理解する	1.5 時間
8	講義内容	公衆衛生看護活動の場と内容■		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読む	1 時間
	1,2	復習	保健師の活動の場と役割について理解する	1.5 時間
9	講義内容	保健行動と保健活動■		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読む	1 時間
	1,2	復習	保健行動と行動変容へのアプローチについて理解する	1.5 時間
10	講義内容	公衆衛生看護活動で用いられる技術①(地区診断・計画策定)■		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読む	1 時間
	1,2	復習	地域保健計画策定の目的と方法について理解する	1.5 時間
11	講義内容	公衆衛生看護活動で用いられる技術①(保健指導)■		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読む	1 時間
	1,2	復習	地域保健活動のツールについて概要を理解する	1.5 時間
12	講義内容	保健医療福祉システムと法体系■		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読む	1 時間
	1,2	復習	保健医療福祉システムについて理解する	1.5 時間
13	講義内容	産業保健■		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読む	1 時間
	1,2	復習	労働安全衛生法について理解する	1.5 時間
14	講義内容	学校保健		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読む	1 時間
	1,2	復習	学校保健安全法について理解する	1.5 時間
15	講義内容	地域の健康づくりを推進するために■		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読む	1 時間
	1,2	復習	地区組織活動と地域ケアシステムについて理解する	1.5 時間
備考	授業の進め方:テキスト中心に行うが、補足的内容を含め教員が作成したパワーポイント及び資料を使い解説する。 オフィスアワー:水曜日・木曜日 場所 1 号館保健室:ei-fukasawa@takasaki-u.ac.jp(深澤)			

月曜日・火曜日 11:00～13:00 5号館 408: kura@takasaki-u.ac.jp(倉林)

■: 実務経験に基づく内容を示す

看 115 公衆衛生看護学方法論

科目名		公衆衛生看護学方法論（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・公衆衛生看護学）			NRS281	講義
英文名		Public Health Nursing: Assessment and Skills				
担当教員		倉林 しのぶ 赤堀 八重子				
科目に関連した実務経験		保健師としての勤務経験： 都道府県教育委員会・病院・事業所（倉林）、市町村役場（赤堀）				
学年・開講期		2 年 後期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標		地域住民の健康生活を支援する公衆衛生看護活動全般と保健師の役割について学ぶ。保健所における保健活動と市町村における保健活動の実際を学び、母子、成人、高齢者等のライフサイクル別、また、健康課題に応じた個人と家族への支援、また集団を対象とした支援等、地域における保健師活動の実際を学習する。				
到達目標		1.地域における看護職としての保健師の機能と役割を理解する■ 2.保健所および市町村保健師の機能と役割を理解する■ 3.保健指導、家庭訪問、健康相談、健康教育、健康診査等の保健師業務と役割を学ぶ■ 4.公衆衛生看護活動のなかでの連携、チームケアにおける保健師の役割を学ぶ■				
学位授与方針との対応		✓	1. 人間理解と倫理観			
		✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		✓	3. チームの一員としての協調・協働			
			4. 国際理解			
			5. 生涯学習力			
評価方法		試験 70%、授業参加度・授業態度等 30%を総合して評価します				
課題に対するフィードバック		個々の学生から質問等については、講義前に全体に向けて再度解説します。				
使用教材		最新保健師講座対象別公衆衛生看護活動 3 松田正巳著、医学書院（3,300 円＋税） 国民衛生の動向，最新版，厚生労働統計協会，¥ 2500				
1	講義内容	保健師業務1（保健指導とは・家庭訪問）■				
	該当する到達目標	予習	テキストの内容に目を通す			1 時間
	1,,23	復習	配布した講義資料の見直し			1.5 時間
2	講義内容	保健師業務2（健康相談・健康教育・健康診査）■				
	該当する到達目標	予習	テキストの内容に目を通す			1 時間
	1,2,3	復習	配布した講義資料の見直し			1.5 時間
3	講義内容	母子保健活動（日本の現状と課題）				
	該当する到達目標	予習	テキスト「母子保健活動」を読んでおく			1 時間

	1,2,3	復習	配布した講義資料の見直し	1.5 時間
4	講義内容	母子保健活動と保健師の役割 ■		
	該当する到達目標	予習	テキスト「母子保健活動」を読んでおく	1 時間
	1,2,3,4	復習	配布した講義資料の見直し	1.5 時間
5	講義内容	成人保健活動(日本の現状と課題)		
	該当する到達目標	予習	テキスト「成人保健活動」を読んでおく	1 時間
	1,2,3	復習	配布した講義資料の見直し	1.5 時間
6	講義内容	成人保健活動と保健師の役割 ■		
	該当する到達目標	予習	テキスト「成人保健活動」を読んでおく	1 時間
	1,2,3,4	復習	配布した講義資料の見直し	1.5 時間
7	講義内容	メタボリックシンドローム／特定健診・特定保健指導 ■		
	該当する到達目標	予習	テキスト「成人保健活動」を読んでおく	1 時間
	1,2,3	復習	配布した講義資料の見直し	1.5 時間
8	講義内容	高齢者保健活動(日本の現状と課題)		
	該当する到達目標	予習	テキスト「高齢者保健活動」を読んでおく	1 時間
	1,2,3	復習	配布した講義資料の見直し	1.5 時間
9	講義内容	高齢者保健活動と保健師の役割 ■		
	該当する到達目標	予習	テキスト「高齢者保健活動」を読んでおく	1 時間
	1,2,3,4	復習	配布した講義資料の見直し	1.5 時間
10	講義内容	難病／障害者保健活動と保健師の役割 ■		
	該当する到達目標	予習	テキスト「精神・障害者(児)・難病保健活動」を読んでおく	1 時間
	1,2,3	復習	配布した講義資料の見直し	1.5 時間
11	講義内容	感染症保健活動と保健師の役割		
	該当する到達目標	予習	テキスト「感染症保健活動」を読んでおく	1 時間
	1,2,3	復習	配布した講義資料の見直し	1.5 時間
12	講義内容	災害保健活動・危機管理		
	該当する到達目標	予習	テキスト「健康危機管理」を読んでおく	1 時間
	1,2,3,4	復習	配布した講義資料の見直し	1.5 時間
13	講義内容	歯科保健活動と保健師の役割 ■		
	該当する到達目標	予習	テキスト「歯科保健活動」を読んでおく	1 時間
	1,2,3,4	復習	配布した講義資料の見直し	1.5 時間
14	講義内容	産業保健活動と保健師の役割 ■		
	該当する到達目標	予習	テキスト「産業保健」を読んでおく	1 時間
	1,2,3,4	復習	配布した講義資料の見直し	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	テキストを読んでおく	1 時間
	1,2,3,4	復習	第1～15回までの講義資料の見直し	1.5 時間

授業の進め方:テキスト中心に行うが、補足的内容を含め教員が作成したパワーポイント及び資料を使い解説する。

オフィスアワー:月曜日・火曜日11:00~13:00(倉林)、金曜日13:00~16:15(赤堀)

質問はいつでも受け付けます(メール可)。

※ただし、メールの場合は学科・学年・氏名を必ず記載のこと。

E-mail: kura@takasaki-u.ac.jp(倉林)、akabori@takasaki-u.ac.jp(赤堀)

■:実務経験に基づく内容を示す

看 116 地域ケアシステム実習

科目名	地域ケアシステム実習（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・公衆衛生看護学）			NRS380	実習
英文名	Community Health Care System Practicum				
担当教員	倉林しのぶ 赤堀八重子 武居明美				
科目に関連した実務経験	保健師・看護師の勤務経験:病院(倉林、赤堀、武居)、市町村役場・訪問看護ステーション(赤堀)				
学年・開講期	3 年 前期 3 年後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	地域社会で生活する在宅療養者と家族の個別的ニーズを捉え、介護保険制度を中心とした地域ケアシステムを理解する。				
到達目標	1.地域における保健・医療・福祉の連携のあり方を学ぶ■ 2.ケアマネジャーを中心とした地域ケアシステムの概要を理解することができる。■ 3.介護保険における予防給付および介護給付サービスを理解し、各サービスの目的と役割について理解できる。■ 4.在宅療養者の多様な住環境や自立を支える生活支援の実際を学ぶことができる。■				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	実習参加度・態度(30%)、報告会・カンファレンスの参加度(30%)、実習中・後の記録物(30%) 事前学習(10%)				
課題に対するフィードバック	記録に関しては、教員が内容を確認し、コメントを付して返却する。また、最終レポートに関しては教員が内容を確認後、返却する。				
使用教材	最新保健師講座対象別公衆衛生看護活動 3 松田正巳著、医学書院(3,300 円＋税) 国民衛生の動向、厚生労働統計協会編、厚生労働統計協会(2,500 円税込) その他介護保険に関するテキストおよび資料				
講義内容	1.実習先である介護保険施設、その他施設に3日間、長寿センターに4時間通い、上記の到達目標達成に向けて実習を受講する。※実習内容の詳細は配属される実習先によって異なるが、次に掲げる事項について学生は実習指導者による指導を受ける。1)在宅療養者やその関係職種、施設・事業者・機関・団体等の職員、地域住民やボランティア等との基本的なコミュニケーション今人との				

	付き合い方などの円滑な人間関係の形成について 2)在宅療養者やその関係者(家族・親族・友人等)との援助関係の形成 3)在宅療養者やその関係者(家族・親族・友人等)への権利擁護及び支援(エンパワメントを含む。)とその評価、多職種連携をはじめとする支援におけるチームアプローチの実際 4)保健医療従事者としての職業倫理、施設・事業者・機関・団体等の職員の就業などに関する規定への理解と組織の一員としての役割と責任への理解 5)介護保険に基づくサービスの実際、管理運営の実際 2.学内実習にて、各施設における活動について情報共有を行い、地域ケアシステムに関する理解を深める。■		
	予習	介護保険制度について、実習先に関する予習、実習指導で準備した資料の確認	期間中 適宜
	復習	介護保険制度、地域ケアシステムについての確認、実習先で教わったことの再確認、実習先で得た実体験のまとめ、報告会用資料準備	期間中 適宜
備考	実習期間全体を通じた実習の進め方: ・実習施設における実習は、グループに分かれて行う(グループの人数は、2～5名)。 ・学内実習は、主にグループワークの形式で進める。 オフィスアワー:月曜日・火曜日11:00～13:00(倉林)、金曜日13:00～16:15(赤堀) 質問はいつでも受け付けます(メール可)。 ※ただし、メールの場合は学科・学年・氏名を必ず記載のこと。 E-mai: kura@takasaki-u.ac.jp(倉林)、akabori@takasaki-u.ac.jp(赤堀) ■:実務経験に基づく内容を示す		

看 117 健康教育論

科目名		健康教育論（看護専門科目群・統合分野）			NRS290	講義
英文名		Health Education				
担当教員		青柳千春・赤堀八重子・望月経子・池田優子				
科目に関連した実務経験		養護教諭として小・中学校に勤務（経験）				
学年・開講期		2 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標		あらゆるライフステージの人々の健康の保持増進と疾病からの回復や QOL の向上を目指した健康教育の意義を理解し、個別的・集団的健康教育の方法と実際を学ぶ				
到達目標		1.健康教育の目指すものと目的を理解する 2.健康教育の対象と方法を理解する ■				
学位授与方針との対応		✓	1. 人間理解と倫理観			
		✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		✓	3. チームの一員としての協調・協働			
			4. 国際理解			
		✓	5. 生涯学習力			
評価方法		試験 80%、その他 20%				
課題に対するフィードバック		定期試験の後に、出題の意図を掲示によって示す。				
使用教材		新しい健康教育～理論と事例から学ぶ健康増進への道～ 保健同人社				
1	講義内容	健康教育の目指すもの				
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する			1.5 時間
	1	復習	健康教育の歴史、目的について理解する			1.5 時間
2	講義内容	健康教育の基礎知識(1)健康行動と健康教育				
	該当する到達目標	予習	配布された資料に目を通しておく			1.5 時間
	1,2	復習	健康行動の分類, 健康行動の変容に影響を与える要因, 健康行動変容理論について理解する			1.5 時間
3	講義内容	健康教育の基礎知識(2)健康教育の方法と媒体				
	該当する到達目標	予習	配布された資料に目を通しておく			1.5 時間
	1,2	復習	健康教育の立案及び評価, 方法と媒体について理解する			1.5 時間
4	講義内容	病院における健康教育の実際				
	該当する到達目標	予習	配布された資料に目を通しておく			1.5 時間
	1,2	復習	病院における患者教育の特徴やその実際を理解する			1.5 時間
5	講義内容	地域における健康教育の実際				
	該当する到達目標	予習	配布された資料に目を通す			1.5 時間

	1,2	復習	地域における健康教育の特徴やその実際を理解する	1.5 時間
6	講義内容	職場における健康教育の実際		
	該当する到達目標	予習	配布された資料に目を通す	1.5 時間
	1,2	復習	職場における健康教育の特徴やその実際を理解する	1.5 時間
7	講義内容	学校における健康教育の実際 ■		
	該当する到達目標	予習	配布された資料に目を通す	1.5 時間
	1,2	復習	学校における健康教育の特徴や実際を理解する	1.5 時間
8	講義内容	スマートライフプロジェクトの推進に向けた健康教育の立案 ■		
	該当する到達目標	予習	高校生を対象とした健康教育を計画する	1.5 時間
	1,2	復習	協議を受け、計画案を修正する	1.5 時間
備考	授業は教員の作成するプリントを使って、要点をまとめていく。パワーポイントによる図の提示や VTR による実践の様子を提示していく。第 8 回はグループワークを行う。 ■: 実務経験に基づく内容を示す オフィスアワー: 水曜日及び金曜日の 1 限、 メールアドレス: aoyagi@takasaki-u.ac.jp 研究室: 3 号館 2 階 207			

看 118 ケアネットワーク論

科目名	ケアネットワーク論（看護専門科目群・統合分野）			NRS490	講義
英文名	Care Network				
担当教員	棚橋 さつき				
科目に関連した実務経験	看護師、訪問看護師として総合病院、訪問看護ステーションに勤務 医療介護連携相談センターに看護師として勤務（経験）				
学年・開講期	4 年 前期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標	看護活動におけるネットワークの意義を理解し、地域の様々な健康課題に対する効果的援助を進めるために、関係者・施設間の連携とネットワーキングの実際と看護職の役割を学ぶ。				
到達目標	1. 多職種とその役割について理解できる。 2. 地域におけるネットワークと必要性について理解できる。■ 3. 地域包括ケアシステムについて理解できる。■ 4. 在宅ケアを進めていくための必要なサービスと職種との連携について理解できる。■				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
	✓	5. 生涯学習力			
評価方法	グループワークでの課題 20%、レポート 80%（課題は講義の中で提示）				
課題に対するフィードバック	グループワークも取り入れながら、随時学生に質疑応答しながら学生に内容をフィードバックしていく。				
使用教材	講義のスライドを随時プリントして配布する。				
1	講義内容	ガイダンス・ケアネットワークについて			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。		1 時間
	2	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する。		1 時間
2	講義内容	地域における看護活動の理解			
	該当する到達目標	予習	最近の多職種連携に関連する書籍、雑誌等を読んでおく		1 時間
	1,2,4	復習	看護師と多職種の役割との違い、連携について講義内容から復習しておく。		1 時間
3	講義内容	他職種との連携について			
	該当する到達目標	予習	他職種について事前に書籍等で学習する。		1 時間
	1	復習	他職種について、その役割を理解する。		1 時間
	講義内容	地域におけるネットワーク①			
	該当する到達目標	予習	「地域におけるネットワーク活動」等について調べておく。		1 時間
	2,4	復習	地域活動について他学生と意見交換し学習を深める。		1 時間

5	講義内容	地域におけるネットワーク②		
	該当する到達目標	予習	「地域におけるネットワーク活動」等について調べておく。	1 時間
	2,4	復習	地域活動について他学生と意見交換し学習を深める。	1 時間
6	講義内容	地域包括ケアシステムについて		
	該当する到達目標	予習	図書館等にある書籍等で事前に用語の学習をしておくこと。	1 時間
	2,3	復習	参考資料を熟読する。	1 時間
7	講義内容	在宅医療・介護連携総合事業について ■		
	該当する到達目標	予習	在宅医療・介護連携総合事業について学習しておく。	1 時間
	2,3	復習	配布資料を熟読する。	1 時間
8	講義内容	ケアネットワーク構築について		
	該当する到達目標	予習	今までの講義資料を熟読しておく。	1 時間
	1,2,3,4	復習	地域におけるケアネットワークについて理解する。	1 時間
備考	【授業期間全体を通じた授業の進め方】 同じテーマについては、講義、演習とする。講義は各テーマについてパワーポイントにより概要の説明、教員が作成する資料にて行う。演習については、ポイントを提示しながらグループ毎に演習を行う。 【キーワード】専門職、ネットワーク、連携 【オフィスアワー】 13:00～14:00(月) 上記以外の日程でも可能な限り調整します。メール等で問い合わせてください。 棚橋:tanahashi@takasaki-u.ac.jp 予習・復習については試験前の学習で補完すること ■:実務経験に基づく内容を示す。			

看 119 家族看護論

科目名	家族看護論（看護専門科目群・統合分野）			NRS291	講義
英文名	Family Nursing				
担当教員	茂木佐智子・櫻井美和・石田順子・大澤幸枝・田村直子・田邊要補				
科目に関連した実務経験	助産師として総合病院に勤務（経験）				
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標	家族をひとつのユニット、家族機能をひとつのシステムとして捉え、家族のライフサイクルの段階に応じた発達課題、直面する危機や健康問題に対する支援のあり方を学ぶ。				
到達目標	1.現代家族における家族の多様性を理解する。■ 2.現代家族の課題を理解する。■ 3.家族を対象とした支援の特徴を理解する。■ 4.家族看護の役割について考えを述べる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
	✓	5. 生涯学習力			
評価方法	レポート 90%、授業参加度 10%により評価する。				
課題に対するフィードバック	レポートにはコメントを付けて返却する。				
使用教材	テキスト「系統看護学講座別巻 家族看護学」上別府圭子他(医学書院)ISBN978-4-260-03192-9 スライド資料を配布する。				
1	講義内容	ガイダンス 家族看護とは、家族看護の対象理解■			
	該当する到達目標	予習	シラバスを読み、講義の目標と内容を確認する。 テキストの第1章・第2章A・Bを読み、学習することを確認する。		1 時間
	1, 2	復習	講義の要点をまとめ、家族看護の対象を理解する。		1.5 時間
2	講義内容	子どもの誕生期にある家族への支援■			
	該当する到達目標	予習	テキストの第5章D・Gに目を通す。		1 時間
	1, 2, 3	復習	講義の要点をまとめ、子どもの誕生期にある家族と支援について理解する。		1.5 時間
3	講義内容	入院治療を受ける病児の家族への支援			
	該当する到達目標	予習	テキストの第5章Bに目を通す。		1 時間
	1, 2, 3	復習	講義の要点をまとめ、入院治療を受ける病児をもつ家族と支援について理解する。		1.5 時間

4	講義内容	がん患者の家族への支援		
	該当する到達目標	予習	テキストの第5章Cに目を通す。	1 時間
	1, 2, 3	復習	講義の要点をまとめ、がん患者の家族と支援について理解する。	1.5 時間
5	講義内容	高齢者を介護する家族への支援		
	該当する到達目標	予習	テキストの第5章Fに目を通す。	1 時間
	1, 2, 3	復習	講義の要点をまとめ、高齢者介護を行っている家族と支援について理解する。	1.5 時間
6	講義内容	在宅療養者を介護する家族への支援		
	該当する到達目標	予習	テキストの第4章 B⑦、第5章Fに目を通す。	1 時間
	1, 2, 3	復習	講義の要点をまとめ、在宅療養者の介護を行っている家族と支援について理解する。	1.5 時間
7	講義内容	精神疾患をもつ患者の家族への支援		
	該当する到達目標	予習	テキストの第5章Eに目を通す。	1 時間
	1, 2, 3	復習	講義の要点をまとめ、精神疾患をもつ患者の家族と支援について理解する。	1.5 時間
8	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	第 1～7 回までの講義資料やまとめに目を通し学習内容を確認する。	1 時間
	1, 2, 3, 4, 5	復習	全ての学習内容を統合し、家族看護の役割について考える。	1.5 時間
備考	・科目責任者メールアドレス: motegi-s@takasaki-u.ac.jp ・オフィスアワー: 火曜日・水曜日の 4 限、質問はメールでも受け付ける。 ・本講義は、6 つの看護学領域の教員によるオムニバス形式で授業を展開する。教材として、テキストと教員の作成する授業資料を使用するとともに、講義内容の要点について事例を用いながら具体的な説明をする。 ・各回の講義内容に関する質問等は、原則として講義時間内に問い合わせる。 ・レポートを記載する際は、教科書やプリントの他、図書館等にある参考書、資料も読むことにより理解を深めること。 ・■: 実務経験に基づく内容を示す。			

看 120 看護研究概論

科目名	看護研究概論（看護専門科目群・統合分野）			NRS390	講義
英文名	Introduction to Nursing Research				
担当教員	吉田久美子・倉林しのぶ・石田順子・砂賀道子・櫻井美和				
科目に関連した実務経験	看護師として総合病院に勤務（経験）				
学年・開講期	3 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	看護学における研究の必要性和看護実践における研究の意義を理解し、看護研究の基礎的能力を培う				
到達目標	1. 看護における研究の必要性和意義について説明できる。 2. 看護研究における量的研究と質的研究の基本的な方法と要点について説明できる。■ 3. 看護研究に活用されやすい基本的な統計的分析について理解できる。 4. 研究倫理の必要性について理解できる。 5. 文献検索の方法と文献クリティークの要点が理解できる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
	✓	5. 生涯学習力			
評価方法	・定期試験 70%、レポート・授業参加状況 30%で評価する。 ・総合評価 60 点以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	1.レポートなどは特に要点についてコメントを返す。 2.課題に対し資料などを配布しフィードバックを行う。				
使用教材	・各授業で主な学習内容を含めた資料を配付する。 ・教材：坂下 玲子, 宮 芝智子, 小野 博史, 系統看護学講座 看護研究, 医学書院, 2016 ISBN978-4-260-02182-1 ,2,592 円				
1	講義内容	看護研究とは：看護学における研究の意義・研究デザイン・・・吉田 ■			
	該当する到達目標	予習	看護研究の目的や意義について参考文献などを活用し読んでくこと。		1 時間
	1,2	復習	看護研究の目的、意義、プロセスの概要について授業資料を読んでくこと。		1.5 時間
2	講義内容	文献検索・・・司書			
	該当する到達目標	予習	文献検索の必要性について第 1 回の授業資料を活用し確認してくこと。		1 時間
	5	復習	文献検索の目的、方法について授業資料をもとに復習すること。		1.5 時間
3	講義内容	量的研究 ① 量的研究の概要・・・石田			

	該当する到達目標	予習	量的研究とはどのような研究なのか文献を参考にして調べてくること	1 時間
	1,2	復習	量的研究の特徴(質的研究との違い)と概要について、授業資料を活用しまとめること。	1.5 時間
4	講義内容	量的研究 ② 調査研究・・・石田		
	該当する到達目標	予習	どんな研究が調査研究なのか文献(本)を参考にして調べること。	1.5 時間
	1,2	復習	調査研究の特徴と概要について、授業資料を活用しまとめること。	1 時間
5	講義内容	4 年生の研究発表会への参加・・・吉田		
	該当する到達目標	予習	研究テーマの発見の仕方について授業資料や参考文献を活用し確認すること。	1 時間
	1,2,3,4	復習	研究発表会に参加し得た気づき、興味関心、疑問をまとめること。	1.5 時間
6	講義内容	4 年生の研究発表会への参加・・・吉田		
	該当する到達目標	予習	研究テーマの発見の仕方について授業資料や参考文献を活用し確認すること。	1 時間
	1,2,3,4	復習	研究発表会に参加し得た気づき、興味関心、疑問をまとめること。	1.5 時間
7	講義内容	統計処理 ①・・・砂賀		
	該当する到達目標	予習	調査研究と統計的手法についての基礎的知識を図書館等の資料を通じて得てくること。	1.5 時間
	3	復習	授業内容を振り返り、調査研究および統計学の基礎的内容を理解すること。	1 時間
8	講義内容	統計処理 ②・・・砂賀		
	該当する到達目標	予習	演習では Excel を使うので、Excel の基本的な操作ができるようにすること。	1.5 時間
	3	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1 時間
9	講義内容	質的研究 ① 質的研究の概要とプロセス・・・櫻井		
	該当する到達目標	予習	第 1、3、4 回目の講義を復習すること。特に、看護研究の意義、量的研究の特徴について理解を深めておくこと。	1.5 時間
	1,2	復習	配布資料に目を通し、量的研究と質的研究の相違を意識しながら、質的研究の特徴、意義についてまとめ、理解を深めること。	1 時間
10	講義内容	質的研究 ② 質的研究の手法—データ収集および分析方法・・・櫻井		
	該当する到達目標	予習	第 9 回目の講義資料に目を通し、質的研究のデータ収集と分析の特徴について理解を深めておくこと。	1.5 時間
	0	復習	配布資料に目を通し、質的研究のデータ収集および分析の具体的な方法とその留意点についてまとめ、理解を深めること。	1 時間
11	講義内容	研究倫理・・・倉林		
	該当する到達目標	予習	研究に関する「倫理」とは何かについて各々が考えてくること	1 時間
	4	復習	配布資料を再確認しておくこと	1.5 時間
12	講義内容	文献クリティーク・・・吉田 ■		

	該当する到達目標	予習	文献クリティークについて参考文献や第 1 回の授業資料を読んてくること。	1 時間
	1,2,3,4	復習	文献クリティークの要点について授業資料や記録した内容を読み直すこと。	1.5 時間
13	講義内容	【演習】 文献検索と文献レビューの作成・・・吉田 ■		
	該当する到達目標	予習	文献検索と文献レビューについて授業資料を読んてくること。	1 時間
	1,2,3,5	復習	文献検索と文献レビューについて演習からの学びをまとめること	1.5 時間
14	講義内容	【演習】 文献検索と文献レビューの作成・・・吉田		
	該当する到達目標	予習	文献検索と文献レビューについて授業資料を読んてくること。	1 時間
	1,2,3,,5	復習	文献検索と文献レビューについて演習からの学びをまとめること	1.5 時間
15	講義内容	【演習】 研究計画書の要点について・・・吉田 ■		
	該当する到達目標	予習	研究計画書の作成について授業資料を読んてくること。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	研究計画書の作成の要点をまとめておくこと。	1.5 時間
備考	1.担当教員連絡先:E メールアドレス yoshikumi@takasaki-u.ac.jp 2.オフィスアワー : 月曜日 1～4 限・火曜日 1～3 限 3.授業の進め方: 1)教材として、テキストと教員の作成する授業資料を使用する。 2)授業方法は、講義内容の要点について、事例を用いながら講義し、質問などに対しても具体的な説明をする。 3)到達目標に向け学習が効果的に積み重ねられるよう、学習内容を体系的に提示し進めていく。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

看 121 看護管理学 I

科目名	看護管理学Ⅰ（看護専門科目群・統合分野）			NRS491	講義
英文名	Nursing AdministrationⅠ				
担当教員	小池洋子 安野朝子				
科目に関連した実務経験	病院の看護部長として勤務(経験)				
学年・開講期	4 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	病院・地域・在宅において、看護職が一人で看護を行うことは不可能である。看護職は、看護サービスを提供する組織の中の一人として業務を遂行している。そのため、良質で継続的な看護を提供するには、看護職一人一人のマネジメント力が必要となる。本講義では、マネジメントの基礎知識や看護を提供するためのシステムについて学習し、看護サービス提供組織での看護職の役割・機能について考察する。				
到達目標	1. 看護を提供する組織の構造や機能を理解できる。■ 2. 看護を行う上で必要な法制度を理解できる。 3. 看護ケアマネジメントと看護サービスマネジメントの特徴を理解できる。■ 4. キャリア開発の視点から個人と組織との関係について理解できる。■ 5. 看護管理に必要な能力について理解できる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
	✓	5. 生涯学習力			
評価方法	授業の参加度と講義内で実施する小テスト 40%、課題レポート 60%で評価する。総合得点 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	毎回の授業の感想と小テストについて、次回の授業時にフィードバックする。 提出レポートに必要なに応じてコメントをする。				
使用教材	「系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践Ⅰ 看護管理 第10版」上泉和子. 医学書院. 2018 年. 2500 円 必要時プリント配布				
1	講義内容	看護管理、組織とは何か			
	該当する到達目標	予習	教科書 P2～14 を読んでくる。		1.5 時間
	1	復習	看護管理、組織についての定義を整理する。		1.5 時間
2	講義内容	看護職とキャリア:人材育成・新人看護職員研修制度			
	該当する到達目標	予習	教科書 P64～77 を読んでくる。新人看護職員研修制度の歴史的背景を調べてくる。		1.5 時間
	1, 2,	復習	自身が就職先として検討してる施設の新人研修制度について確認す		1.5 時間

			る。自身がなりたい看護職について整理する。	
3	講義内容	看護職を取り巻く法制度		
	該当する到達目標	予習	教科書 P166～194 を読んでくる。	1.5 時間
	1, 4	復習	看護職として働く上で理解しておくべき法制度を整理する。	1.5 時間
4	講義内容	看護ケアのマネジメント①:看護ケアマネジメントの概要、看護業務の実践		
	該当する到達目標	予習	教科書 P16～15 を読んでくる。	1.5 時間
	1, 3, 5	復習	看護業務のマネジメント内容を整理する。	1.5 時間
5	講義内容	看護ケアのマネジメント②:チーム医療における看護職		
	該当する到達目標	予習	チーム医療についての既習事項を整理しておく。	1.5 時間
	1, 3, 5	復習	チーム医療における看護職の役割を整理する。	1.5 時間
6	講義内容	看護サービスのマネジメント:組織論、看護サービス提供サービス		
	該当する到達目標	予習	教科書 P78～137 を読んでくる。	1.5 時間
	1, 3, 5	復習	自身が就職先として検討している施設の看護理念、組織構造について整理する。	1.5 時間
7	講義内容	看護管理に必要な知識と技術		
	該当する到達目標	予習	教科書 P138～165 を読んでくる。	1.5 時間
	1, 3, 5	復習	リーダーシップ、コミュニケーション、エンパワーメント等について整理する。	1.5 時間
8	講義内容	看護と経営 まとめ		
	該当する到達目標	予習	教科書 P183～189 を読んでくる。	1.5 時間
	1,2, 5	復習	診療報酬制度の概要を整理する。 課題レポートを作成する。	1.5 時間
備考	オフィスアワー:火曜日 3・4 限 5 号館 4 階 412 研究室 メールアドレス:koike-y@takasaki-u.ac.jp 教科書と配布資料に基づき講義を進めるとともに、学生自身が就職について主体的に考えられるよう質疑応答を行う。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

看 122 看護管理学Ⅱ

科目名	看護管理学Ⅱ（看護専門科目群・統合分野）			NRS492	講義
英文名	Nursing AdministrationⅡ				
担当教員	小池洋子 安野朝子 池田優子				
科目に関連した実務経験	病院の看護部長として勤務(経験)				
学年・開講期	4 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	良質で継続的な看護を提供するための組織運営について理解を深めるとともに、看護職としてのキャリアデザインを描くことの意味を理解する。 自身が抱えている卒業前の不安を明らかにし、卒業までと就職後のそれぞれの課題を明確にする。				
到達目標	1. 組織運営にとっての組織の理念方針の明確化の必要性を理解できる。■ 2. 看護を提供するための組織の体制を理解できる。■ 3. 看護を提供するうえで、診療報酬制度を理解することの必要性を理解できる。■ 4. 組織運営にとっての人材育成の必要性を理解でき、自己学習の重要性を考える。 5. 卒業までと就職後の課題を明確にすることができる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
	✓	5. 生涯学習力			
評価方法	授業や演習への参加度を 40%、看護管理に関する課題レポートの評価を 60%として、総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	授業振り返りカードの内容を、次回授業のはじめにコメントする。 レポート返却時に必要に応じてコメントをする				
使用教材	・教科書「系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践Ⅰ 看護管理第 10 版」上泉和子. 医学書院. 2018 年. 2500 円(前期看護管理学Ⅰで使用したもの) ・必要に応じ資料を配布 ・参考文献:「育成・連携・交渉の上手な会話術」池田優子(日総研)				
1	講義内容	組織の一員としての組織運営を考える①:統合実習の振り返り、顧客満足・職務満足■			
	該当する到達目標	予習	看護管理Ⅰと統合実習からの学びを整理しておく。		1.5 時間
	1	復習	顧客満足・職務満足の高い組織について考察する。		1 時間
2	講義内容	組織の一員としての組織運営を考える②:組織の理念、方針、目標、組織構造■			
	該当する到達目標	予習	看護管理学Ⅰで学んだ組織論について復習しておく。		1.5 時間
	1, 2	復習	グループで話し合った組織の理念、方針、目標、組織構造を整理する。		1 時間

3	講義内容	組織の一員としての組織運営を考える③:看護体制、勤務体制■		
	該当する到達目標	予習	看護管理学Ⅰで学んだ看護体制、勤務体制について復習しておく。	1.5 時間
	1	復習	グループで話し合った、看護体制、勤務体制について整理する。	1 時間
4	講義内容	組織の一員としての組織運営を考える④:診療報酬制度と病棟運営■		
	該当する到達目標	予習	看護管理学Ⅰで学んだ診療報酬制度について復習しておく。	1.5 時間
	1,	復習	病棟運営と診療報酬制度の関連を整理する。	1 時間
5	講義内容	新人看護職員研修と新人支援体制		
	該当する到達目標	予習	看護管理学Ⅰで学んだ新人看護職員研修制度について復習しておく。	1.5 時間
	1、2	復習	新人として研修を受けたり、臨床で指導を受ける上での自身の取り組み姿勢を考える。	1 時間
6	講義内容	セルフ・マネジメント・ストレスマネジメント コーチング		
	該当する到達目標	予習	自身の目標と到達度について考えてくる	1.5 時間
	1、2	復習	自身のストレス状況について改善策を考察する	1 時間
7	講義内容	セルフ・マネジメント・ストレスマネジメント コーチング		
	該当する到達目標	予習	自身の目標と到達度について考えてくる	1.5 時間
	1、2	復習	自身のストレス状況について改善策を考察する 目標設定 学習計画を完成させる	1 時間
8	講義内容	まとめ 国試対策		
	該当する到達目標	予習	就職してからの課題を整理しておく。	1.5 時間
	1,2	復習	入職までの学習、生活計画表を作成する	1 時間
備考	オフィスアワー:火曜日 3・4 限 5 号館 4 階 412 研究室 メールアドレス:koike-y@takasaki-u.ac.jp ・グループワークやワールドカフェを行なう。 新入職員を受け入れてきた立場から、新人に臨むことを踏まえ、授業を展開する。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

看 123 看護倫理学Ⅱ

科目名	看護倫理学Ⅱ（看護専門科目群・統合分野）			NRS493	講義
英文名	Nursing Ethics Ⅱ				
担当教員	倉林しのぶ				
科目に関連した実務経験	保健師としての勤務経験： 県教育委員会、病院、事業所				
学年・開講期	4 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	医療をめぐる環境は大きく変化し、医療の高度化や複雑化の中で、新たな倫理的課題が浮かび上がってきている。ここでは、今まで受けた講義や実習経験の「統合」として、倫理的課題の実践的解決へ向けた道筋を考える力を養う。				
到達目標	1. 「看護における倫理とは何か」について理解する。 2. 臨地実習の中で直面した倫理的ジレンマと課題を明確化できる。 3. どのような態度と行動を取ってゆけばいいか、倫理的判断力と意思決定プロセスが歩める。■				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
	✓	5. 生涯学習力			
評価方法	毎回の感想レポート及び参加態度を40%。倫理的ジレンマとその解決に向けたレポートで60%として評価します				
課題に対するフィードバック	各回のレポートについては、コメントをつけて返却する。または、次の回の講義開始前に総評としてコメントする。				
使用教材	使用教材については講義前に提示します。事前課題は必ずしてきてください。				
1	講義内容	看護における倫理／4 分割法			
	該当する到達目標	予習	3 年次の看護倫理学Ⅰについて復習しておく		1 時間
	1	復習	4 分割法についてまとめておく		1.5 時間
2	講義内容	臨床における倫理的課題①老年看護の現場で■			
	該当する到達目標	予習	実習（老年看護）の中で抱えた倫理的ジレンマについて、整理しておく		1 時間
	2, 3	復習	倫理的ジレンマの根拠と課題解決のプロセスを理解する		1.5 時間
3	講義内容	臨床における倫理的課題②精神看護の現場で■			
	該当する到達目標	予習	実習（精神看護）の中で抱えた倫理的ジレンマについて、整理しておく		1 時間
	2,3	復習	倫理的ジレンマの根拠と課題解決のプロセスを理解する		1.5 時間
4	講義内容	臨床における倫理的課題③小児看護の現場で■			
	該当する到達目標	予習	実習（小児看護）の中で抱えた倫理的ジレンマについて、整理しておく		1 時間

	2,3	復習	倫理的ジレンマの根拠と課題解決のプロセスを理解する	1.5 時間
5	講義内容	臨床における倫理的課題④母性看護の現場で■		
	該当する到達目標	予習	実習(母性看護)の中で抱えた倫理的ジレンマについて、整理しておく	1 時間
	2,3	復習	倫理的ジレンマの根拠と課題解決のプロセスを理解する	1.5 時間
6	講義内容	臨床における倫理的課題⑤在宅看護の現場で■		
	該当する到達目標	予習	実習(在宅看護)の中で抱えた倫理的ジレンマについて、整理しておく	1 時間
	2,3	復習	倫理的ジレンマの根拠と課題解決のプロセスを理解する	1.5 時間
7	講義内容	臨床における倫理的課題⑥看護管理■		
	該当する到達目標	予習	管理者としての倫理的ジレンマについて考えておく	1 時間
	2,3	復習	倫理的ジレンマの根拠と課題解決のプロセスを理解する	1.5 時間
8	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	臨床における倫理的課題について整理しておく	1 時間
	3	復習	倫理的課題の解決に向けた方策についてまとめる	1.5 時間
備考	授業の進め方:教員が作成したパワーポイント及び資料を使い解説する。また、それぞれが実習等で感じている倫理的課題をもとにグループワークを行い解説する。 オフィスアワー:月曜日・火曜日の11:00～13:00 質問はいつでも受け付けます。(メール可)※ただし、メールの場合は学科・学年・氏名を必ず記載のこと。 E-mail: kura@takasaki-u.ac.jp ■: :実務経験に基づく内容を示す			

看 124 ヘルスカウンセリング

科目名	ヘルスカウンセリング（看護専門科目群・統合分野）			NRS292	講義
英文名	Health Counseling				
担当教員	池田優子				
科目に関連した実務経験	カウンセラーとして精神科クリニックに勤務（経験）■				
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標	患者とのコミュニケーションを通してその思いを聴ける技術を身につけることは看護するものにとって不可欠な要素である。本講義では看護に必要なカウンセリングマインドについて理解し、患者の理解と健康へ向けた専門的支援方法としてのヘルスカウンセリングを学ぶ。				
到達目標	1. カウンセリングの「4 つの基本的姿勢」が理解できる。■ 2. [傾聴]の大切さが理解でき、実施できる。■ 3. 自分のブロックに気づき、確認のための「共感的くり返し」が実施できる。■ 4. カウンセリングとガイダンス、指導の違いを理解し、使い分けが理解できる。■				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
	✓	5. 生涯学習力			
評価方法	1. 演習ごとの感想レポートと授業への参加度で 40%。 2. ヘルスカウンセリングの実施と分析、考察のテスト・レポート 60%で評価します。				
課題に対するフィードバック	毎回、講義・演習の感想や質問を書かせ、次の授業でコメントを返し、質問への解説を行う 理解できたか学生に確認し、新たな課題や質問が出された場合、その都度回答する				
使用教材	その都度資料を配布と DVD を 3 回聴取				
1	講義内容	ガイダンス カウンセリングの概要と自己理解 ヘルスカウンセリングとは ■			
	該当する到達目標	予習	1 年次実施の自己理解のチェックリストを整理しておく		1.5 時間
	1	復習	DVD・来談者中心療法の意義やガイダンスとカウンセリングの違いをまとめる		1.5 時間
2	講義内容	自己の感情に焦点を当てる セルフカウンセリングの実施			
	該当する到達目標	予習	自分が普段感じる様々な感情を思い浮かべ、整理しておく		1.5 時間
	1	復習	実施したセルフカウンセリングでの気づきをまとめる		1.5 時間
3	講義内容	ヘルスカウンセリングの基本姿勢 傾聴の演習 ■			
	該当する到達目標	予習	「観察」「傾聴」「確認」「共感」について調べておく		1.5 時間
	1,2	復習	傾聴の演習を実施し、どのような態度をとると傾聴が可能になるか整理する		1.5 時間

4	講義内容	確認と共感の理解 「印象に残ったこと」のカウンセリング演習		
	該当する到達目標	予習	確認と共感について、1年次の医療コミュニケーションで学んだことを整理する	1.5 時間
	1,3	復習	演習を実施して、何がスムーズなカウンセリングを阻害するかまとめる	1.5 時間
5	講義内容	「印象に残ったこと」のモデリング学習 ■		
	該当する到達目標	予習	前回のカウンセリング演習での課題を整理して臨む	1.5 時間
	1,2,3	復習	モデリング場面を見て、自分の行ったカウンセリングと何が違うのか考察する	1.5 時間
6	講義内容	モデリング学習の振り返りと最後まででのカウンセリングの実施 ■		
	該当する到達目標	予習	モデリング場面を振り返り、自己の課題を明らかにしておく	1.5 時間
	1,2,3	復習	実際に 2 人組で最後まで実施して、前回と比較してうまくいったところの要因を整理する	1.5 時間
7	講義内容	心象風景連想法 カウンセリングとガイダンス・指導の違い クライアント状況別支援法		
	該当する到達目標	予習	カウンセリングとガイダンス・指導の特徴をまとめる	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	対象のニーズに応じた支援法について整理する	1.5 時間
8	講義内容	総まとめ		
	該当する到達目標	予習	7 回の学習の中で学べたことをまとめる	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	カウンセリングを進めるうえで大切な基本姿勢について整理する	1.5 時間
備考	担当教員連絡先: 池田優子 E メールアドレス yiked@takasaki-u.ac.jp オフィスアワー: 月曜日3-5限 木曜日1-2限 授業期間全体を通じた授業の進め方: 1. 講義は、各テーマ毎に概要を説明し、後半にカウンセリングの演習を取り入れる形式で進める 2. 教材は、テキストは使用せず、毎回教員作成のプリント及びパワーポイントを使って提示をして行く 3. 演習は、カウンセリング場面の見学、セルフカウンセリング、3 人組でのカウンセリング演習、最後にペアになってのカウンセリング演習と段階を追って、学習が進むように構成してある ■: 実務経験に基づく内容を示す。			

看 125 感染看護

科目名	感染看護（看護専門科目群・統合分野）			NRS293	講義
英文名	Infection Control Nursing				
担当教員	安野 朝子				
科目に関連した実務経験	総合病院における感染管理室長（経験）、総合病院感染管理アドバイザー（現在）。				
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標	感染症に関わる知識と感染症をコントロールする技術を統合し、対象者となる人を感染症から守り、職業人として働く自分を守るための方法を学習する。感染症の対策は個人だけでなく地域や組織で行われることを理解する。				
到達目標	1.感染の成り立ち（感染成立の連鎖）を説明できる。 2.感染予防策と感染の成り立ちの関連について説明できる。■ 3.医療関連感染の内容を説明でき、感染予防策が立案できる。■ 4.新興・再興感染症の内容を説明でき、これらの感染症対策の動向について情報検索できる。■ 5.医療関連感染が起こった時、医療関連感染のアウトブレイクが発生した時、自分が感染症になった時、それぞれの立場でどのような心情になるのかを考えることができる。■				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
	✓	4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	レポート A4 用紙 2 枚程度にまとめ提出 授業回数が少ないので出席回数も考慮します。				
課題に対するフィードバック	毎回の授業に対する感想・質問を提出（評価用紙）、次回授業でフィードバック レポートはコメントを付け評価後に返却				
使用教材	毎回プリントで提示 参考文献は初回に案内				
1	講義内容	授業概要の説明および「感染の連鎖」を理解する■			
	該当する到達目標	予習	シラバスを読んで授業の目標を理解する		1.5 時間
	1,2	復習	感染の連鎖について理解を深める		1.5 時間
2	講義内容	新興・再興感染症の課題、薬剤耐性菌の出現と国際的な感染の広がり エボラ出血熱 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE) HIV 感染症 結核 鳥インフルエンザ■			
	該当する到達目標	予習	上記の感染症について調べる		1.5 時間
	2,4,5	復習	新興感染症・再興感染症の対策について理解を深める		1.5 時間
3	講義内容	感染防止技術 標準予防策・経路別対策、滅菌・消毒・洗浄とスποルディングの分類、職業感染防止■			
	該当する到達目標	予習	基礎看護技術で学んだ内容を復習する		1.5 時間
	1,2	復習	感染防止技術が実施できるよう知識を整理する		1.5 時間

4	講義内容	医療関連感染サーベイランスの種類と対策を理解する。血管内留置カテーテル関連血流感染、尿路カテーテル関連尿路感染、人工呼吸器関連肺炎、手術部位感染■		
	該当する到達目標	予習	医療関連感染がどのような場面で発生しているか実習を通して考えてくる	1.5 時間
	2,3,5	復習	どのようにすれば医療関連感染が予防できるのかを述べられる	1.5 時間
5	講義内容	地域における感染対策と感染症法 在宅看護、高齢者施設、学校等での感染対策、病院における地域連携、 感染症法 ■		
	該当する到達目標	予習	病院以外での感染対策について、感染症の種類とその対策は何が求められるのか考える	1.5 時間
	2,3,5	復習	地域における感染対策の必要性について理解する。感染症と人権を考える。	1.5 時間
6	講義内容	感染対策における情報の活用とアウトブレイクへの対応 PC 室で情報検索を体験する■		
	該当する到達目標	予習	普段の生活でどこから感染症の情報を集めているか書き出してみる アウトブレイクについて調べる	1.5 時間
	2,3,4	復習	実際に体験したネット検索などが、これから使えるように復習する グループワークで調べたことを発表できるよう準備する。	1.5 時間
7	講義内容	感染症と人の関わりについて考える 1 麻疹、②風疹、③インフルエンザ、④肺結核、⑤手術創の MRSA 感染症、⑥腸管出血性大腸菌感染症、グループ発表		
	該当する到達目標	予習	第 5 回にグループを通知するので、1 つの感染症を数名で検討し 3 分程度の発表が出来るよう準備する	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	他のグループの発表を聞いて気づいたこと、新しく分かったことを整理する。自分の作成するレポートの内容について計画する	1.5 時間
8	講義内容	感染症と人の関わりについて考える 2⑦C.difficile 関連下痢症、⑧HIV 感染症、⑨CRE による尿路感染症、⑩多剤耐性緑膿菌敗血症 グループ発表 まとめ		
	該当する到達目標	予習	第 5 回にグループを通知するので、1 つの感染症を数名で検討し 3 分程度の発表が出来るよう準備する	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	他のグループの発表を聞いて気づいたこと、新しく分かったことを整理する。自分の作成するレポートの内容について計画する。授業全体の学びを復習し、実習に活かせるようまとめを行う。	1.5 時間
備考	オフィスアワー：火曜日の 10:00-12:00 メールアドレス：yasuno@takasaki-u.ac.jp 研究室：404 研究室 授業の進め方：1～5 回目は感染看護の基本的知識を説明し、1 年 2 年で学んだ知識の統合を図ります。6 回目は PC 室でアウトブレイクの説明と、感染症に関する情報検索を体験し、グループで発表準備を行います。7・8 回はグループで学んだ感染症の連鎖・予防・看護などを各グループ PP で発表します。 教材：1～6 回は教員が資料を作成し配布します。教科書はありません。参考文献は初回に説明します。 メッセージ：保健医療にかかわる人はどのような職種を選んでも、感染症の対策を知っておくことが大変重要です。8 回と短い授業ですが微生物との付き合い方をぜひ習得してください。感染管理アドバイザーとして得ているリアルタイムな感染症情報と最も基本的な予防の仕組みを分かり易くお伝えします。 ■：実務経験に基づく内容を示す。			

看 126 専門看護活動論Ⅰ（クリティカルケア）

科目名		専門看護活動論Ⅰ（クリティカルケア）（看護専門科目群・統合分野）			NRS494	講義
英文名		Professional Development（Critical Care）				
担当教員		石田 順子 砂賀 道子				
科目に関連した実務経験		大学病院で看護師としての臨床経験あり。				
学年・開講期		4 年 前期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標		生命の危機状態にある対象の特徴を学び、救急医療と救急看護における看護師の活動を通して専門的な看護の役割と機能を学ぶ。さらに、クリティカルにおける倫理的課題に対して知見を深める。				
到達目標		1. クリティカルケアの概念および対象とその家族の特徴について説明できる。■ 2. クリティカルにおける看護の専門性について理解できる。■ 3. クリティカルにおける倫理的課題について考え、説明することができる。■				
学位授与方針との対応		✓	1. 人間理解と倫理観			
		✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		✓	3. チームの一員としての協調・協働			
			4. 国際理解			
		✓	5. 生涯学習力			
評価方法		レポート 80%、授業参加度 20%（グループワークの発表内容も含む） 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック		グループワークのまとめは講義中にコメントする。 レポートにはコメントをつけて返却する。				
使用教材		毎回、講義内容に沿ってまとめたプリントを配布する。 講義時に、参考文献を提示する				
1	講義内容	クリティカルケアとは：クリティカルケアの概念と特徴 クリティカルにおける専門性				
	該当する到達目標	予習	参考文献等を使用し、クリティカルケアとは何か概念と特徴について調べる。			1 時間
	1,2,3	復習	クリティカルケアの専門性について理解できる。			1.5 時間
2	講義内容	クリティカルケアの対象と家族の特徴 クリティカルな場面におけるインフォームドコンセント■				
	該当する到達目標	予習	参考文献を使用しクリティカルケアの対象と家族の特徴について調べる。			1 時間
	1,2,3	復習	クリティカルケアの対象と家族の特徴を理解し、クリティカルな場面における倫理について理解する。			1.5 時間
3	講義内容	集中ケア認定看護師の役割と実際の活動				
	該当する到達目標	予習	集中ケア認定看護師について調べる。			1 時間

	2	復習	集中ケア認定看護師の専門性について理解できる。	1.5 時間
4	講義内容	救急看護認定看護師の役割と実際の活動		
	該当する到達目標	予習	救急看護認定看護師について調べる。	1 時間
	2	復習	救急看護認定看護師の専門性について理解できる。	1.5 時間
5	講義内容	倫理的課題を考える①呼吸機能に異常のある患者の看護■		
	該当する到達目標	予習	クリティカルケアにおける呼吸機能に異常のある患者はどのような状況にあるのか参考文献を用いて調べる。	1 時間
	1,2	復習	呼吸機能に異常のある患者の看護特徴について理解できる。	1.5 時間
6	講義内容	倫理的課題を考える②熱傷患者の看護		
	該当する到達目標	予習	熱傷患者の特徴について参考文献から調べる。	1 時間
	3	復習	熱傷患者の看護の特徴を理解できる。	1.5 時間
7	講義内容	【演習】グループワーク:クリティカルにおける倫理的課題について		
	該当する到達目標	予習	第 1 回目、第 2 回目の講義資料に目を通す。	1 時間
	3	復習	事例の問題に対してそれぞれの立場(患者の家族、医師、看護師等)における倫理的課題が理解できる。	1.5 時間
8	講義内容	【演習】グループワーク:クリティカルにおける倫理的課題について		
	該当する到達目標	予習	第 1 回目、第 2 回目の講義資料に目を通す。	1 時間
	3	復習	事例の問題に対してそれぞれの立場(患者の家族、医師、看護師等)における倫理的課題が理解できる。	1.5 時間
備考	・科目責任者のメールアドレス:jishida@takasaki-u.ac.jp(石田) ・オフィスアワー:火曜日(1～2 限、4 限以降)・金曜日(2限以降)(5号館4階 石田研究室) ・授業は、教員が作成する資料を使用して、要点をまとめていく。 ■:実務経験をふまえた内容を示す 参考文献 1.「系統看護学講座別巻クリティカルケア看護学」(医学書院) 2.「NURSING 看護学テキスト Nice 成人看護学急性期看護Ⅱ 救急看護 改訂第 2 版」(南江堂) 等			

看 127 専門看護活動論Ⅱ（ターミナルケア）

科目名	専門看護活動論Ⅱ（ターミナルケア）（看護専門科目群・統合分野）			NRS495	実習
英文名	Professional Development（End of Life Care）				
担当教員	吉田 久美子				
科目に関連した実務経験	看護師として総合病院に勤務（経験）				
学年・開講期	4 年 前期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標	人生の終末期にある患者の特徴を理解し、患者及び家族の QOL の向上を目指した緩和ケアを基盤に看護について習得する。				
到達目標	1.終末期にある患者と家族を支援するための緩和ケアの主な内容について説明できる。 2.終末期にあり全人的苦痛を抱える対象に向けた看護について説明できる。■ 3.終末期にある対象の家族に向けた看護について説明できる。■				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
	✓	5. 生涯学習力			
評価方法	・出席状況 30%と最終レポート 70%で評価する。 ・総合評価 60 点以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	・レポートにはコメントなどを付けて返却する。 ・最終回の講義において到達目標と全回の学習内容の要点を関連付け説明する。				
使用教材	・毎回の授業時に構造的に学習内容を記載した資料を配付する。				
1	講義内容	1.緩和ケアの概念、歴史、動向			
	該当する到達目標	予習	緩和ケアの定義と WHO の主なサービスについて読み確認する。		1 時間
	1	復習	緩和ケアの定義や動向、看護の状況について参考文献などを活用しまとめる。		1 時間
2	講義内容	2.全人的苦痛に対する援助 1)終末期にあるがん患者の身体的苦痛と援助（1） ■			
	該当する到達目標	予習	全人的苦痛について確認しておく。		1 時間
	1,2	復習	身体的苦痛となる主な症状と看護について授業資料などを活用しまとめる。		1 時間
3	講義内容	2.全人的苦痛に対する援助 1)終末期にあるがん患者の身体的苦痛と援助（2）			
	該当する到達目標	予習	身体的苦痛となる主な症状と看護についてまとめた内容を確認する。		1 時間
	1,2	復習	事例の患者の身体的苦痛となる主な症状と看護について考察する。		1 時間
4	講義内容	2.全人的苦痛に対する援助 2)終末期にあるがん患者の心理的苦痛と援助 ■			

	該当する到達目標	予習	全人的苦痛と援助のポイントについて授業資料を読み確認する。	1 時間
	1,2	復習	終末期がん患者の心理的苦痛に焦点をあてた看護について要点をまとめる	1 時間
5	講義内容	2) 全人的苦痛に対する援助 3) 終末期にあるがん患者の社会的苦痛と援助 4) スピリチュアルペインと援助 ■		
	該当する到達目標	予習	終末期がん患者が抱えやすい社会的苦痛とスピリチュアルペインについて確認する。	1 時間
	1,2,3	復習	終末期がん患者の社会的苦痛とスピリチュアルペインに焦点をあてた看護について要点をまとめる。	1 時間
6	講義内容	3. 終末期にある患者と家族を支援する看護		
	該当する到達目標	予習	全人的苦痛と援助について読み確認する。	1 時間
	1,2,3	復習	授業で提示した事例の患者と家族について看護を考察する。	1 時間
7	講義内容	4. 緩和ケアにおけるチーム医療の重要性と患者の役割		
	該当する到達目標	予習	チーム医療の目的、構成される職種と各職種の役割について復習をしておく。	1 時間
	1,2,3	復習	授業で提示した事例の患者と家族について看護を考察する。	1 時間
8	講義内容	8. まとめ		
	該当する到達目標	予習	授業資料を用いて第 1～7 回までの要点を確認する。	1 時間
	1,2,3	復習	全般的に授業内容を振り返り、到達目標に向け体系的に知識をまとめる	1 時間
備考	1. 担当教員連絡先: E メールアドレス yoshikumi@takasaki-u.ac.jp 2. オフィスアワー : 月曜日 1～4 限・火曜日 1～3 限 3. 授業の進め方: 1) 教材として、教員が作成した授業資料などを使用する。 2) 授業方法は、講義内容の要点について、事例を用いながら講義し、質問などに対しても具体的な説明をする。 3) 到達目標に向け学習が効果的に積み重ねられるよう、学習内容を体系的に提示し進めていく。 ■: 実務経験に基づく内容を示す。			

看 129 災害看護学

科目名	災害看護学（看護専門科目群・統合分野）			NRS392	講義
英文名	Disaster Nursing				
担当教員	李孟蓉、望月経子、今井家子				
科目に関連した実務経験	看護職として被災地域での支援活動（経験） 行政における防災活動（経験）				
学年・開講期	3 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	災害について概念や看護活動の基盤となる法的制度等から多角的に学び、被災者の特性や生活上の困難さ、健康への影響を理解できる。そのうえで災害時の看護師の役割を理解し、災害サイクル各期において、チーム医療の中で他職種と協働しながら、被災者特性を考慮した適切な看護を展開するために必要な知識と技術、態度を習得できる。また、公助・共助・自助の意味を理解し、自らの防災力を高められる。				
到達目標	1. 災害の概念を理解し、災害が健康に及ぼす影響を理解できる。 2. 災害発生時に社会的の対応や看護活動の基盤となる法的制度を理解できる。■ 3. 災害各期や場所に応じた看護の特徴を理解できる。 ■ 4. 災害時の被災者の特性やサイクルに応じた看護を理解できる。 5. 災害時に傷病者に優先順位をつける意味を理解し実践できる。■ 6. 災害時の精神的ケアの方法を理解できる。■ 7. 災害時の公助を理解するとともに自助能力を高められる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
	✓	5. 生涯学習力			
評価方法	筆記試験(70%)、レポート(20%)、授業参加度(10%)				
課題に対するフィードバック	提出された課題レポートはコメントを付けて返却する。 提出された課題の中でみられた疑問や課題を授業の中で再確認する。				
使用教材	「災害看護」酒井明子編(南江堂) ISBN978-4-524-26688-3				
1	講義内容	災害および災害看護に関する基礎的知識			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 1 章 1～3 に目を通す。		1.5 時間
	1,2	復習	災害・災害看護の歴史と災害看護の定義を理解し、災害の種類別の疾病構造、近年発生する災害の特徴、課題、災害関連死、要配慮者及び避難行動要支援者の定義を理解できる。		1 時間
2	講義内容	災害をめぐる社会の対応やしぐみ（1）			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 2 章 1～2 に目を通す。		1.5 時間

	1,2	復習	災害をめぐる関係法規を理解し、災害情報伝達のしくみや、災害各機関の支援体制を理解できる。	1 時間
	講義内容	災害をめぐる社会の対応やしくみ（２） ■ 災害発生時に行政の役割や日ごろ取り組んでいる災害対策について、実務経験をもとに解説を加えて講義する		
3	該当する到達目標	予習	教科書の第Ⅱ章3Aに目を通す。	1.5 時間
	1,3	復習	災害における行政の役割や都道府県、市町村の自治体の災害対策体制、災害に関する法制度、公助、共助、自助の必要性を理解できる。	1 時間
	講義内容	災害サイクルに応じた看護(1):超急性期		
4	該当する 到達目標	予習	教科書の第Ⅳ章1に目を通す。	1.5 時間
	1,3,4	復習	災害サイクル各期における看護の役割と超急性期における病院の看護の役割を理解できる	1 時間
	講義内容	災害サイクルに応じた看護(2):急性期～静穏期		
5	該当する到達目標	予習	教科書の第Ⅳ章1に目を通す。	1.5 時間
	1,3,4	復習	急性期から静穏期、避難所や応急仮設住宅等における看護の役割を理解できる	1 時間
	講義内容	災害時に必要な技術		
6	該当する到達目標	予習	教科書の第Ⅴ章に目を通す。	1.5 時間
	1,3	復習	トリアージの概念、災害時におけるトリアージの目的やトリアージカテゴリー、方法、タグの使用法、治療と搬送を理解できる。	1 時間
	講義内容	災害看護各論（１）こどもと災害		
7	該当する到達目標	予習	教科書の第２部各論 第Ⅷ章3A～Fまで目を通す。	1.5 時間
	0	復習	災害によって子どもが受ける衝撃とその後の成長発達に及ぼす影響を理解し、各成長段階におけるこどもの支援を理解できる	1 時間
	講義内容	災害看護各論（２）地域看護と災害 ■ 被災地域における地域看護活動について、事例をもとに解説を加えて講義する		
8	該当する到達目標	予習	教科書の第２部各論 第Ⅷ章1A～Dまで目を通す。	1.5 時間
	1,3	復習	災害各期における地域看護活動を理解できる	1 時間
	講義内容	災害看護各論（３）在宅・高齢者看護と災害 ■ 災害発生時に高齢者や在宅避難者について、事例をもとに解説を加えて講義する		
9	該当する到達目標	予習	教科書の第２部各論 第Ⅷ章4A～Bまでに目を通す。	1.5 時間
	1,3,4	復習	災害時において高齢者や在宅避難者が受ける影響やケアニーズを理解し、災害時における高齢者看護支援を理解できる。	1 時間
	講義内容	災害時に必要な看護技術(トリアージ：START法) 演習		
10	該当する到達目標	予習	第８回の講義内容を振り返り、演習資料に目を通す	1.5 時間
	1,3,4	復習	一次トリアージを習得できる	1 時間

11	講義内容	災害時に必要な看護技術(トリアージ：START 法) 演習		
	該当する到達目標	予習	第 8 回の講義内容を振り返り、演習資料に目を通す	1.5 時間
	1,3,4	復習	演習を振り返り、自分自身の課題を整理し、理解を深める。	1 時間
12	講義内容	災害看護各論（４）慢性期看護と災害		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 2 部各論 第Ⅷ章6A～G まで目を通す。	1.5 時間
	1,3,6	復習	災害時に慢性疾患を持ち治療、生活している患者への支援を理解できる。	1 時間
13	講義内容	災害看護各論（５）精神看護と災害、こころのケア ■ 災害という非日常体験に対する精神反応や、実際の支援の事例をもとに解説を加えて講義する。		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 3 章、第 2 部各論 第Ⅷ章5に目を通す。	1.5 時間
	1,3,6	復習	災害が精神障害者に与える影響と支援を理解し、被災者全般にわたる心のケアを理解できる	1 時間
14	講義内容	災害支援者への看護支援（DVD 鑑賞）		
	該当する到達目標	予習	第 13 回目の講義内容を振り返り、授業に臨む。	1.5 時間
	1,2,7	復習	DVD 鑑賞を通して、被災者が抱えるこころの問題を理解し、災害支援者(二次被災者)への看護支援を考える。	1 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	これまでの講義の配布資料に目を通し、学んだ内容を振り返る。	1.5 時間
	1,2,7	復習	災害看護学に必要な知識や技術の理解を深める	1 時間
備考	オフィスアワー：水曜・金曜の 2 限、研究室不在時はメールでも対応する。 メールアドレス：ri@taakasaki-u.ac.jp 研究室：3 号館 2 階 208 授業は教科書と教員の作成するプリントを使って、解説を加えて要点をまとめていく。また、写真等による災害の実際の支援を提示していく。さらに演習を取り入れて、災害に必要な看護技術を学んでもらう。 ■：実務経験に基づく内容を示す			

看 130 看護学特論

科目名	看護学特論（看護専門科目群・統合分野）			NRS293	演習
英文名	Professional Nursing Development				
担当教員	茂木 佐智子				
科目に関連した実務経験	助産師として総合病院に勤務（経験）				
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標	女性の健康をめぐる今日的課題に関する文献を概観し、母性看護の対象を理解するとともに、その対象に必要な支援についてゼミナール形式で学習する。				
到達目標	1. 妊産褥婦の就労と子育てに関する学習の意義を理解する。■ 2. 妊産褥婦の就労と子育てに関する文献を検索入手し、内容を要約する。■ 3. 就労女性・妊産褥婦に興味・関心を持つ。 4. 就労女性・妊産褥婦に必要な支援について考えを述べる。■ 5. グループメンバーで協力し合い、他者の意見を尊重するとともに自分の役割を果たす。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
	✓	4. 国際理解			
	✓	5. 生涯学習力			
評価方法	演習中の学習活動（70％）、レポート（30％）により、到達目標の達成状況を評価する。				
課題に対するフィードバック	演習期間中に提出された記録物は、随時コメントして返却する。				
使用教材	必要に応じて演習中に紹介する。				
1	講義内容	科目オリエンテーション 妊産褥婦の就労と子育てに関する学習の意義			
	該当する到達目標	予習	シラバスを読み、講義の目標と内容を確認する。 検討したいテーマを考えるための情報（新聞記事や看護系雑誌の特集の記事など）を入手する。		1.5 時間
	1, 5	復習	検討したいテーマについて、自己の意見をまとめる。		1 時間
2	講義内容	妊産褥婦の就労と子育てに関する学習内容の設定			
	該当する到達目標	予習	検討したいテーマについて、情報収集する。		1.5 時間
	1, 2, 3, 5	復習	課題に関する文献を検索入手し、内容を要約する。		1 時間
3	講義内容	妊産褥婦の就労と子育てに関するゼミナール（1）女性の就労と健康■			
	該当する到達目標	予習	テーマに関する文献を読む。		1.5 時間
	1, 2, 3, 5	復習	テーマに関する内容を整理する。		1 時間
4	講義内容	妊産褥婦の就労と子育てに関するゼミナール（2）就労が妊娠・出産・子育てに与える影響■			

	該当する到達目標	予習	テーマに関する文献を読む。	1.5 時間
	1, 2, 3, 5	復習	テーマに関する内容を整理する。	1 時間
5	講義内容	妊産褥婦の就労と子育てに関するゼミナール(3)就労妊婦の心理・出産準備■		
	該当する到達目標	予習	テーマに関する文献を読む。	1.5 時間
	1, 2, 3, 5	復習	テーマに関する内容を整理する。	1 時間
	講義内容	妊産褥婦の就労と子育てに関するゼミナール(4)就労女性・妊産褥婦のソーシャルサポート■		
6	該当する到達目標	予習	テーマに関する文献を読む。	1.5 時間
	1, 2, 3, 5	復習	テーマに関する内容を整理する。	1 時間
7	講義内容	妊産褥婦の就労と子育てに関するゼミナール(5)復職後の母乳育児継続への支援		
	該当する到達目標	予習	テーマに関する文献を読む。	1.5 時間
	1, 2, 3, 5	復習	テーマに関する内容を整理する。	1 時間
	講義内容	まとめ		
8	該当する到達目標	予習	これまでの学習の成果をまとめる。	1.5 時間
	1, 3, 4, 5	復習	就労女性・妊産褥婦に必要な支援について、自己の考えを述べる。	1 時間
備考	・担当教員連絡先: motegi-s@takasaki-u.ac.jp オフィスアワー: 火曜日・木曜日の 4 限、質問や意見はメールでも受け付ける。 ・第 1 回は、教員が作成する資料を用い解説する。第 2 回以降は、テーマに関する文献と DVD を用い、グループワークを行う。 ・演習上の作業が特定の個人に偏らないよう、協力し合いながらグループワークを進める。 ・■: 実務経験に基づく内容を示す。			

看 131 チーム医療アプローチ演習

科目名	チーム医療アプローチ演習（看護専門科目群・統合分野）			NRS496	演習
英文名	Interprofessional Practice				
担当教員	小笠原映子(看護)、篠原智行(理学)、大林恭子(薬学)				
科目に関連した実務経験	看護師、訪問看護師として総合病院に勤務(経験)				
学年・開講期	4 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	チーム医療が必要な事例を用いて、福祉・医療系の各専門職の役割・活動および患者、家族に必要な福祉・医療活動について検討する。さらにチーム医療を促進するための福祉・医療系専門職の協働の必要性、および専門職の連携の課題について学ぶ。				
到達目標	1. 各専門職の役割と活動について理解できる。 2. 患者・家族に必要な福祉・医療活動が理解できる。 3. チーム医療を促進するための福祉・医療系専門職の協働の必要性が理解できる。■ 4. チーム医療における専門職の連携を促進するための課題を考察できる。■				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
	✓	5. 生涯学習力			
評価方法	グループ発表(発表資料内容・発表態度)60%、演習参加への積極性・授業態度 20%、ふりかえりシート 20%				
課題に対するフィードバック	模擬症例検討を行う際には、グループごとに結果をまとめて発表させ、それに対して教員と他チームの学生による検討を行いフィードバックする。				
使用教材	関連する資料を随時プリントして配布する。				
1	講義内容	ガイダンス / チーム医療アプローチについて			
	該当する到達目標	予習	チーム医療について調べておく。		1 時間
	1.2.3.4.	復習	演習の目標や進め方、提出物を確認する。		1 時間
2	講義内容	グループワークの事例説明			
	該当する到達目標	予習	専門職について調べておく。		1 時間
	1.2.3.4.	復習	各職種の役割と活動を整理する。		1 時間
3	講義内容	効果的な情報伝達と共有①			
	該当する到達目標	予習	情報伝達と共有方法について調べて考えておく。		1 時間
	1.2.3.4.	復習	情報伝達と共有方法の工夫を整理する。		1 時間
4	講義内容	効果的な情報伝達と共有②			
	該当する到達目標	予習	情報伝達と共有方法について調べて考えておく。		1 時間

	1.2.3.4.	復習	情報伝達と共有方法の工夫を整理する。	1 時間
5	講義内容	チームビルディング／模擬症例検討・発表準備①■		
	該当する到達目標	予習	疾病と治療について学習し、各専門職のかかわり方をまとめる。	1 時間
	1.2.3.4.	復習	各専門職の役割と協働の必要性を整理する。	1 時間
6	講義内容	模擬症例検討・発表準備②■		
	該当する到達目標	予習	疾病と治療について学習し、各専門職のかかわり方をまとめる。	1 時間
	1.2.3.4	復習	グループ内で発表資料をまとめる。	1 時間
7	講義内容	発表・フィードバック①■		
	該当する到達目標	予習	発表の準備をしておく。	1 時間
	1.2.3.4	復習	発表された各症例について復習しておく。	1 時間
8	講義内容	発表・フィードバック②■		
	該当する到達目標	予習	発表の準備をしておく。	1 時間
	1.2.3.4	復習	発表された各症例について復習しておく。	1 時間
備考	【授業期間全体を通じた授業の進め方】			
	1 回目の講義は、テーマについて概要を説明する。授業はパワーポイントにより要点を提示する。			
	2～8 回目の講義は、グループワークの形式で進める。			
	【キーワード】専門職、チーム医療、多職種連携			
	【オフィスアワー】			
	・小笠原（看護）：月曜 3 限（4 号館 505 研究室）、随時メールで問い合わせを受け付けます（ogasawara@takasaki-u.ac.jp）			
	・篠原（理学）：水曜 3 限、随時メールで問い合わせを受け付けます（shinohara-t@takasaki-u.ac.jp）			
	・大林（薬学）：月曜 1 限（7 号館 307 研究室）、随時メールで問い合わせを受け付けます（obayashi@takasaki-u.ac.jp）			
	■：実務経験に基づく内容を示す。			

看 132 統合実習

科目名	統合実習（看護専門科目群・統合分野）			NRS497	実習
英文名	Integration for Nursing Practice: Practicum				
担当教員	小池洋子 安野朝子 小笠原映子（他、看護学科教員）				
科目に関連した実務経験	病院で看護部長として勤務（経験）				
学年・開講期	4 年 後期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	既習の知識と技術を統合し、地域包括ケアシステムをふまえた継続看護、チーム医療における協働と連携、ならびに看護マネジメントを学び、看護実践能力を向上する。また、これまでの学習成果を活用し、自主的に学習課題をみつけ実習に取り組み、職業人にねるための態度を養う。				
到達目標	1. 医療と看護の継続を必要とする患者の入院から退院および外来通院までの継続看護の実際を学び、患者および家族のニーズを理解し、ニーズを充足させるための方向性について考える。■ 2. 地域包括ケアシステムをふまえたチーム医療の実際を学び、チーム医療における専門職としての看護活動および役割について考察する。■ 3. 看護サービス提供組織における看護サービスマネジメントについて理解する。■				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
	✓	5. 生涯学習力			
評価方法	・実習中の看護活動、記録物、まとめのレポートなどから評価表をもとに実習目標の達成度を評価する。 ・総合評価 60 点以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	個人で作成した実習記録、レポートに対して担当者からのコメントを付して返却する。 グループワークで話し合った内容について、必要に応じコメントする。				
使用教材	・統合実習要項、事前配布資料。 ・関連科目のテキストや授業資料。				
講義内容	1. 実習期間及び実習施設 実習期間は 2 週間、施設実習を 5 日間と学内実習を 5 日間行う。実習は、県内の病院とその関連施設も含めて行う。 2. 実習内容 1) 看護職や多職種による支援について見学や説明を受ける。■ 2) 様々なチームカンファレンス等のチーム医療の連携場面を見学する。■				

	3) 関係職種・関係機関との連携の実際、チームカンファレンスの実際について担当者より説明を受ける。■ 4) 1)～3)の実習内容をとおり、チームにおける連携のあり方とチーム医療における看護職の役割について、グループワーク等で意見交換する。 5) 看護サービスマネジメントに関するオリエンテーションやレクチャー等を受ける。 6) 病棟等での看護活動を見学する。■		
	予習	実習施設の概要を調べる。 看護基盤科目、看護専門科目を振り返り、継続看護、地域包括ケアシステム、チーム医療、看護サービスマネジメントについて整理する。	期間中 適宜
	復習	一般目標にそって学習成果をまとめる。。	期間中 適宜
備考	・担当教員の連絡先:実習オリエンテーションでメールアドレスを連絡する。 ・オフィスアワー:金曜日 1～2 限。 ・受講するためには1・2・3年次までの看護専門科目群の必修科目の単位を全て修得していることが必要となる。 ・その他、特に関連する科目や事前配付資料などの学習を推奨する。 ・予習、復習に必要な時間は特に明記しないが、実習期間中は臨床に入る前に既習の内容を確認するとともに、実習翌日に提出された記録用紙を確認し不足した内容を補うよう指導する。 ■:病院で行われている多職種連携、看護サービスマネジメント等の具体を教材化し、既習の学習内容と統合できるように実習指導を行う。		

看 133 研究ゼミナール

科目名	研究ゼミナール（看護専門科目群・統合分野）			NRS498	講義
英文名	Nursing Research Seminar				
担当教員	看護学科 教員				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	4 年 前期 4 年 後期	必選・単位数	必修 4 単位		
講義目標	自らの関心に基づき、主体的にテーマを選び文献検討を踏まえて研究目的を明確にする。目的に沿った研究手法を用いてデータ収集後に分析を行い、結果を考察し論文を作成する。その一連の過程を通して、研究的な思考（批判的思考・論理的思考）や態度を養う。				
到達目標	1. 文献検討を踏まえて研究目的を明確化できる。 2. 目的にあった研究方法を決定できる。 3. データ収集、データ分析ができる。 4. 結果を多角的に検討し考察できる。 5. 研究論文を作成できる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
	✓	4. 国際理解			
	✓	5. 生涯学習力			
評価方法	・研究への取り組み姿勢・態度、テーマの明確化、文献検討、研究計画、論文作成などを考慮し、各指導教員が総合的に評価する。 ・総合評価 60 点以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	・研究計画書など作成した資料にはコメントなどを付けて返却する。 ・分析結果や図表、また論文全体にコメントなどを付けて返却する。				
使用教材	・看護研究概論の授業資料 ・教材：坂下 玲子, 宮 芝智子, 小野 博史, 系統看護学講座 看護研究, 医学書院, 2016 ISBN978-4-260-02182-1 2,592 円				
講義内容	4～5 月 研究を倫理的に進めるために必要な内容を含めた研究計画書を作成する。 研究の背景・動機が体系的に記載し研究目的を明確に記載する。 研究方法に対象者、調査方法、調査内容、分析方法、倫理的配慮などの事項に記載する。 6～7 月 計画書に記載した調査方法や調査内容を確認しながらデータを収集する。 データ収集の手順や対象者への細かな配慮についても検討した上で、収集に取り組む。 得られたデータと研究目的や分析との適合性を確認し、データ収集を行う。				

	8～9 月 計画書に記載した分析方法に基づき順序立て分析を行い、結果を系統的に図表も用いまとめる。 データを計画書に記載した分析方法をもとに分析を行う。 分析結果に適した図表を作成し、結果を表現する。 10～11 月 論文の内容を熟考し、表記の適切性にも考慮し作成する。 論文として緒言から結語まで、研究目的に対し一貫性や客観性を確認しながら作成する。 研究目的へ対応し、研究結果に対する考察を作成する。 論文と図表、プレゼンテーション資料について適切な記載方法で作成する。 卒業研究発表会において、研究のプロセスに沿って発表し成果を提示する。		
	予習	研究プロセスに応じ授業時に課題を提示	期間中 適宜
	復習	研究プロセスに応じ授業時に課題を提示	期間中 適宜
備考	1.担当教員連絡先:E-mail アドレスを活用すること。 2.オフィスアワー:金曜 1～2 限。他は担当教員へ確認すること。 3.授業の進め方 1)研究のプロセスにおける要点を理解しながら、学生が積極的に進めることができるよう指導する。 2)関連文献を有効に活用し研究活動を行うことができるよう、学習を支援する。 4.その他:予習・復習の時間 …各授業の内容に取り組むためには、授業前後に 60 分以上の時間をかける必要がある。		

看 134 保健統計学

科目名		保健統計学（保健師課程科目）			NRP310	講義
英文名		Health Statistics				
担当教員		宮崎 有紀子				
科目に関連した実務経験		・看護師として病院に勤務（経験） ・保健師（非常勤）として健診業務等に従事（経験）				
学年・開講期		3 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標		わが国の主要な衛生関係統計資料の概要、および公衆衛生看護活動の基盤となる健康指標について学び、地域の健康水準の把握方法を習得する。また、健康に関連するデータ解析に必要な統計学の知識を習得する。				
到達目標		1.地域診断に必要な統計資料の意義について理解でき、説明できる。 ■ 2.健康水準を表す指標について理解でき、説明できる。 ■ 3.指標の標準化の意義および算出方法について理解できる。 4.データの整理、図表化、読み取り、考察ができる。 5.基礎的な統計処理について理解できる。				
学位授与方針との対応		✓	1. 人間理解と倫理観			
		✓	2. 論理的思考・問題解決力			
			3. チームの一員としての協調・協働			
			4. 国際理解			
			5. 生涯学習力			
評価方法		小テスト 75%, 提出物(レポート) 25% 総合評価 60%以上を合格とする				
課題に対するフィードバック		レポートにコメントをつけて返却する				
使用教材		教科書 ・国民衛生の動向(厚生労働統計協会) ・最新保健学 6 疫学／保健統計 編集・丸井英二（メヂカルフレンド社） ISBN978-4-8392-2184-3 ・講義の内容をプリントにて配布する				
1	講義内容	人口統計 ■				
	該当する到達目標	1,2	予習	「国民衛生の動向」第2編第1章, 2章に目を通す		1 時間
			復習	「国民衛生の動向」第2編第1章, 2章に目を通しながら講義内容を復習する		1.5 時間
2	講義内容	保健統計調査 ■				

	該当する到達目標	予習	「国民衛生の動向」第2編第3章, 4章に目を通す	1 時間
	1,2	復習	課題プリントで復習する	1.5 時間
3	講義内容	年齢調整		
	該当する到達目標	予習	「最新保健学 6 疫学／保健統計」疫学 第3章 1-G に目を通す	1 時間
	3	復習	課題プリントで復習する	1.5 時間
4	講義内容	PC 演習 (1) 保健統計資料とグラフ作成		
	該当する到達目標	予習	「最新保健学 6 疫学／保健統計」保健統計 第1章 2-A, 2-B に目を通す	1 時間
	1,2,4	復習	課題レポート作成	1.5 時間
5	講義内容	統計の基礎 (1) 代表値とばらつき		
	該当する到達目標	予習	「最新保健学 6 疫学／保健統計」保健統計 第1章 3-A～3-D に目を通す	1 時間
	5	復習	課題プリントで復習する	1.5 時間
6	講義内容	統計の基礎 (2) 正規分布の性質		
	該当する到達目標	予習	「最新保健学 6 疫学／保健統計」保健統計 第1章 5-A～5-D に目を通す	1 時間
	5	復習	課題プリントで復習する	1.5 時間
7	講義内容	統計の基礎 (3) 推定と検定		
	該当する到達目標	予習	「最新保健学 6 疫学／保健統計」保健統計 第1章 4-A～4-C に目を通す	1 時間
	5	復習	課題プリントで復習する	1.5 時間
8	講義内容	統計の基礎 (4) さまざまな検定手法		
	該当する到達目標	予習	「最新保健学 6 疫学／保健統計」保健統計 第1章 6～10 に目を通す	1 時間
	5	復習	課題プリントで復習する	1.5 時間
備考	授業は教科書と教員の作成するプリントを使って、要点をまとめていく。またパワーポイントにより図等の提示を行っていく。 予習・復習については試験前の学習で補完すること オフィスアワー: 授業の前後			

看 135 公衆衛生看護活動論 I

科目名	公衆衛生看護活動論Ⅰ（保健師課程科目）			NRP311	講義
英文名	Public Health NursingⅠ				
担当教員	倉林しのぶ、赤堀八重子				
科目に関連した実務経験	保健師としての勤務経験：都道府県教育委員会・病院・事業所（倉林）、市町村役場（赤堀）				
学年・開講期	3 年 後期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	地域住民の健康生活を支援する公衆衛生看護活動の考え方と展開方法・技術を学ぶ。母子、成人、高齢者等のライフサイクルに応じた個人と家族への支援、また集団を対象とした支援等、地域における保健師活動の実際を学習する。				
到達目標	1.保健指導、家庭訪問、健康相談、健康教育、健康診査等における保健師活動の実際を学習する。■ 2.ライフサイクルにおける保健施策と保健師の役割を学ぶ。■ 3.演習を通して基本的な保健指導技術を学ぶ。■				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	演習参加度（30％）、授業参加度（30％）、授業態度（20％）、レポート（10％）				
課題に対するフィードバック	演習では、教員からのアドバイスを適宜行う。 レポートには教員がコメントを入れて返却する。				
使用教材	最新保健師講座対象別公衆衛生看護活動 3 松田正巳著、医学書院（3,300 円＋税） 国民衛生の動向、厚生労働統計協会編、厚生労働統計協会（2,500 円税込）				
1	講義内容	母子保健活動 1 母子保健施策・母子保健計画 ■			
	該当する到達目標	予習	教科書およびシラバスの内容を読み、講義の目標を理解する。		1 時間
	1,2	復習	講義内容を確認する。		1.5 時間
2	講義内容	母子保健活動 2 各種健康診査、予防接種 ■			
	該当する到達目標	予習	母子保健活動における健康診査、予防接種について目を通しておく。		1 時間
	1,2	復習	母子保健活動における健康診査、予防接種について確認する。		1.5 時間
3	講義内容	成人保健活動 1 成人保健施策・成人保健活動 ■			
	該当する到達目標	予習	特定健康診査・特定保健指導について目を通しておく。		1 時間
	1,2	復習	講義で学んだ内容について確認する。		1.5 時間
4	講義内容	成人保健活動 2 生活習慣病と保健指導 ■			

	該当する到達目標	予習	メタボリックシンドローム、生活習慣病について目を通しておく。	1 時間
	1,2	復習	効果的な保健指導についてまとめる。	1.5 時間
5	講義内容	成人保健活動 3 メンタルヘルス ■		
	該当する到達目標	予習	精神保健活動について目を通しておく。	1 時間
	1,2	復習	講義で学んだことを確認する。	1.5 時間
6	講義内容	高齢者保健活動 1 保健福祉制度・介護保険 ■		
	該当する到達目標	予習	高齢者保健活動に関する福祉制度、介護保険について目を通しておく。	1 時間
	1,2	復習	講義で学んだ知識を確認し、高齢者保健活動の全体像を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	高齢者保健活動 2 要支援・要介護高齢者と介護者への援助 ■		
	該当する到達目標	予習	要支援・要介護者について確認しておく。	1 時間
	1,2	復習	高齢者保健活動における保健師の役割についてまとめる。	1.5 時間
8	講義内容	演習オリエンテーション(課題の提示と準備)		
	該当する到達目標	予習	乳幼児の成長発達、乳幼児健診について確認しておく。特定健康診査・特定保健指導の目的、内容について確認しておく。	1 時間
	1,2,3	復習	課題をまとめる。	1.5 時間
9	講義内容	演習準備(グループワーク、資料作成)		
	該当する到達目標	予習	資料作成に必要な基礎知識について確認しておく。	1 時間
	1,2,3	復習	資料を作成する。	1.5 時間
10	講義内容	演習準備(グループワーク、資料作成) 1,2,3		
	該当する到達目標	予習	資料作成に必要な基礎知識について確認しておく。	1 時間
	1,2,3	復習	資料を作成する。	1.5 時間
11	講義内容	演習(問診) ■		
	該当する到達目標	予習	演習準備で作成した資料や自身の役割を確認し、演習の準備をしておく。	1 時間
	1,2,3	復習	演習を通して学んだことについてまとめる。	1.5 時間
12	講義内容	演習(問診) ■		
	該当する到達目標	予習	演習準備で作成した資料や自身の役割を確認し、演習の準備をしておく。	1 時間
	1,2,3	復習	演習を通して学んだことについてまとめる。	1.5 時間
13	講義内容	演習(保健指導) ■		
	該当する到達目標	予習	演習準備で作成した資料や自身の役割を確認し、保健指導のロールプレイを行うための準備をしておく。	1 時間
	1,2,3	復習	演習を通して学んだことについてまとめ、保健指導技術についての確認を行う。	1.5 時間
14	講義内容	演習(保健指導) ■		
	該当する到達目標	予習	演習準備で作成した資料や自身の役割を確認し、保健指導のロール	1 時間

			プレイを行うための準備をしておく。	
	1,2,3	復習	演習を通して学んだことについてまとめ、保健指導技術についての確認を行う。	1.5 時間
	講義内容	まとめ		
15	該当する到達目標	予習	講義で学んだことについて確認しておく。	1 時間
	1,2,3	復習	ライフサイクルに応じた保健師の役割を理解する。	1.5 時間
備考	授業期間全体を通じた授業の進め方 ・授業は、教科書と教員の作成するパワーポイント、資料を使用し、説明を行っていく。 ・演習は、指導場面のロールプレイ、グループワーク及び質疑応答の形式で進める。 オフィスアワー：月曜日・火曜日 11:00～13:00(倉林)、金曜日 13:00～16:15(赤堀) 質問はいつでも受け付けます(メール可)。 ※ただし、メールの場合は学科・学年・氏名を必ず記載のこと。 E-mail: kura@takasaki-u.ac.jp(倉林)、akabori@takasaki-u.ac.jp(赤堀) ■:実務経験に基づく内容を示す			

看 136 公衆衛生看護活動論Ⅱ

科目名	公衆衛生看護活動論Ⅱ（保健師課程科目）			NRP411	講義
英文名	Public Health NursingⅡ				
担当教員	倉林しのぶ 赤堀八重子				
科目に関連した実務経験	保健師としての勤務経験： 都道府県教育委員会・病院・事業所（倉林）、市町村役場（赤堀）				
学年・開講期	4 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	地域住民の健康生活を支援する公衆衛生看護活動の考え方と展開方法・技術を学ぶ。地域住民のヘルスニーズの把握方法と、ヘルスニーズに対応した地域保健活動の計画立案方法を理解する。				
到達目標	1.地区把握の方法が理解できる。■ 2.地区診断の方法が理解できる。■ 3.保健事業計画立案の方法が理解できる。■				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	試験60%、演習20%、授業参加度10%、授業態度等10%を総合して評価します。				
課題に対するフィードバック	講義で使用する既存資料、また、インターネットからの情報については、グループ（地区）ごとに解説をします。また、プラン検討時には助言をします。				
使用教材	最新保健学講座 公衆衛生看護管理論：平野かよ子，メジカルフレンド社，¥3000				
1	講義内容	オリエンテーション			
	該当する到達目標	予習	テキストの内容に目を通す		1 時間
	0	復習	公衆衛生看護学実習に向けた事前学習として捉え目標を立てる		1.5 時間
2	講義内容	地区診断とは■			
	該当する到達目標	予習	地域を診断するということの意味を考えてくる。		1 時間
	1	復習	地区診断の流れを PDCA サイクルの視点で見直す		1.5 時間
3	講義内容	既存資料からの情報収集①■			
	該当する到達目標	予習	配布された既存資料に目を通しておく		1 時間
	1	復習	収集した情報をまとめる		1.5 時間
4	講義内容	既存資料からの情報収集②■			
	該当する到達目標	予習	配布された資料およびインターネットから取得した情報に目を通しておく		1 時間

	1	復習	収集した情報をまとめる	1.5 時間
	講義内容	地区視診①		
5	該当する到達目標	予習	視診を実施する地域についての情報を収集しておく	1 時間
	2	復習	視診で得た情報をまとめる	1.5 時間
	講義内容	地区視診②		
6	該当する到達目標	予習	視診を実施する地域についての情報を収集しておく	1 時間
	2	復習	視診で得た情報をまとめる	1.5 時間
	講義内容	地区視診③		
7	該当する到達目標	予習	視診を実施する地域についての情報を収集しておく	1 時間
	2	復習	視診で得た情報をまとめる	1.5 時間
	講義内容	情報の整理		
8	該当する到達目標	予習	視診で得た情報を整理し一覧にする	1 時間
	2	復習	グループで持ち寄った情報を見直す	1.5 時間
	講義内容	情報の分析、健康課題抽出①■		
9	該当する到達目標	予習	視診で得た情報および既存資料からの情報を整理する	1 時間
	2,3	復習	整理しまとめた情報から導き出される課題を検討する。	1.5 時間
	講義内容	情報の分析、健康課題抽出②■		
10	該当する到達目標	予習	視診で得た情報および既存資料からの情報を整理する	1 時間
	2,3	復習	整理しまとめた情報から導き出される課題を検討する。	1.5 時間
	講義内容	地域保健活動計画立案①■		
11	該当する到達目標	予習	導き出された課題と得られた情報を再度見直しプランを検討する。	1 時間
	2,3	復習	検討されたプランが地域のニーズに結びついているか検討する。	1.5 時間
	講義内容	地域保健活動計画立案②■		
12	該当する到達目標	予習	導き出された課題と得られた情報を再度見直しプランを検討する。	1 時間
	2,3	復習	検討されたプランが地域のニーズに結びついているか検討する。	1.5 時間
	講義内容	地域保健活動計画立案③■		
13	該当する到達目標	予習	導き出された課題と得られた情報を再度見直しプランを検討する。	1 時間
	2,3	復習	検討されたプランが地域のニーズに結びついているか検討する。	1.5 時間
	講義内容	発表・情報の共有		
14	該当する到達目標	予習	PDCA サイクルに沿った発表方法を検討する。	1 時間
	2,3	復習	各グループ(各地域)のニーズとプランを理解する。	1.5 時間
	講義内容	まとめ		
15	該当する到達目標	予習	各グループ(各地域)のニーズとプランを見直す。	1 時間
	1,2,3	復習	地域診断から導き出されるニーズとプラン、評価について理解する。	1.5 時間
備考	授業期間全体を通じた授業の進め方: ・授業は、教科書と教員の作成するパワーポイント、資料を使用し、説明を行っていく。 ・演習は、グループワーク、質疑応答の形式で進める。			

オフィスアワー：月曜日・火曜日11:00～13:00(倉林)、金曜日13:00～16:15(赤堀)

質問はいつでも受け付けます(メール可)。

※ただし、メールの場合は学科・学年・氏名を必ず記載のこと。

E-mai: kura@takasaki-u.ac.jp(倉林)、akabori@takasaki-u.ac.jp(赤堀)

■:実務経験に基づく内容を示す

看 137 母子保健論

科目名	母子保健論（保健師課程科目）			NRP410	講義
英文名	Maternal and Child Health				
担当教員	赤堀八重子				
科目に関連した実務経験	保健師として勤務経験：市町村役場（母子事業担当） 看護師としての勤務経験：病院（小児科病棟）				
学年・開講期	4 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	地域における主な母子保健施策および母子保健活動の実際について学び、母子の健康生活を支援するために必要な知識・技術を習得する。				
到達目標	1.母子保健の現状と課題、主な保健施策について理解することができる。■ 2.乳幼児の発育・発達の評価ができる。■ 3.育児に関する課題や悩みについて理解し、課題解決に向けて支援することができる。■ 4.虐待の予防と対応、および連携する組織について理解することができる。■ 5.母子保健事業に関わる連携職種や住民組織について理解することができる。■				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	授業参加度・態度（20％）、演習態度（10％）、試験（70％）				
課題に対するフィードバック	事例検討では、教員からのアドバイスを適宜行う。 レポートにはコメントをつけて返却する。				
使用教材	最新保健師講座対象別公衆衛生看護活動 3 松田正巳著、医学書院（3,300 円＋税） 国民衛生の動向、厚生労働統計協会編、厚生労働統計協会（2,500 円税込）				
1	講義内容	母子保健の概要			
	該当する到達目標	予習	教科書およびシラバスの内容を読み、講義の目標を理解する。		1 時間
	1,5	復習	講義内容を確認する。		1.5 時間
2	講義内容	健康診査と発育・発達評価 ■			
	該当する到達目標	予習	乳幼児の発育・発達について目を通しておく。		1 時間
	2	復習	乳幼児の発育・発達、評価法について確認する。		1.5 時間
3	講義内容	栄養指導 ■			
	該当する到達目標	予習	妊娠期の栄養について、離乳食について目を通しておく。		1 時間
	3	復習	講義で学んだことを基に、栄養指導における保健師の役割を理解する。		1.5 時間

4	講義内容	育児相談 ■		
	該当する到達目標	予習	乳幼児健診時に多い、相談内容について目を通しておく。	1 時間
	3,4	復習	育児相談における保健師の役割について確認し、理解する。	1.5 時間
5	講義内容	家庭訪問計画 ■		
	該当する到達目標	予習	家庭訪問の意義・目的について目を通しておく。	1 時間
	2,3,4	復習	家庭訪問の必要性について理解を深める。	1.5 時間
6	講義内容	家庭訪問(演習) ■		
	該当する到達目標	予習	演習がスムーズに実施できるよう、家庭訪問の実際について目を通しておく。	1 時間
	2,3,4	復習	演習で気づいた点、学んだことをまとめ、理解する。	1.5 時間
7	講義内容	ハイリスク事例の検討 ■		
	該当する到達目標	予習	ハイリスクの児の支援に関連する法律やサービスについて確認しておく。	1 時間
	1,3,4,5	復習	事例検討を振り返り、支援の方法について理解する。	1.5 時間
8	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	母子保健論での学びを確認しておく。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	母子保健活動における制度、保健師の役割について確認する。	1.5 時間
備考	授業期間全体を通じた授業の進め方 ・授業においては、教科書と教員の作成するパワーポイント、資料を使用し、説明を行っていく。 ・演習は、指導場面のロールプレイ、グループワーク及び質疑応答の形式で進める。 ・事例検討は、グループワーク、質疑応答の形式で進める。 オフィスアワー: 金曜日13:00～16:15 e-mail: akabori@takasaki-u.ac.jp ■: 実務経験に基づく内容を示す。			

看 138 産業保健論

科目名	産業保健論（保健師課程科目）			NRP412	講義
英文名	Occupational Health & Nursing				
担当教員	帆苅 なおみ				
科目に関連した 実務経験	産業保健師として、企業に勤務（現在）				
学年・開講期	4 年 前期	必修・単位数	必修 1 単位		
講義目標	産業保健の目的は「仕事」と「健康」の調和である。40 年以上に及ぶ労働生活では様々なライフイベントがあり、環境変化に応じた健康維持・疾病コントロールを労働者自ら実践できる力を持つことが重要である。そのことは、労働生活を終えた後のその後の健康にも大きく影響する。本講義では、労働生活を支える産業保健師の役割を理解し、働く人の健康管理の実際について学ぶ。				
到達目標	1. 産業保健師が事業者、労働者の双方に対して行う支援を理解することができる。■ 2. 個人・組織に対するアセスメントを行い、組織的な活動を展開できる。■ 3. わが国の安全衛生の課題と対策を理解し、産業保健師の活動と連動して理解することができる。■ 4. 保健活動における地域・職域連携の実際について理解することができる。■				
学位授与方針と の対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	試験 70%、授業参加度・授業態度等 30%を総合して評価します。				
課題に対するフ ィードバック	試験解答用紙に記載事項へのコメントをつけて返却をする。				
使用教材	教科書：荒木田美香子：「公衆衛生看護活動Ⅱ」学校保健・産業保健，医歯薬出版株式会社 その他：補足資料として PPT 資料を配布します。				
1	講義内容	産業保健の目的、産業保健師の役割■			
	該当する到達目標	予習	教科書第 9 章に目を通す		1 時間
	1	復習	産業看護職の役割と活動の目的を理解できるよう復習する		1 時間
2	講義内容	産業保健を支える行政体系と法体系、労働衛生の動向			
	該当する到達目標	予習	教科書第 10 章・11 章、1 回目の講義資料に目を通す		1 時間
	3	復習	産業看護の現状と課題について統計値や傾向を復習する		1 時間
3	講義内容	健康・労働衛生管理における個人・組織のアセスメント■			
	該当する到達目標	予習	教科書 12 章、2 回目講義資料に目を通す		1 時間
	2	復習	個人・組織のアセスメント方法について復習する。		1 時間
4	講義内容	主な産業保健の実際①■			

	該当する到達目標	予習	教科書 13 章、3 回目講義資料に目を通す	1 時間
	1,2,3	復習	産業看護活動の実際を PDCA サイクルで理解する	1 時間
5	講義内容	主な産業保健の実際②■		
	該当する到達目標	予習	教科書 14 章、4 回目講義資料に目を通す	1 時間
	1,2,3	復習	産業看護活動の実際を PDCA サイクルで理解する	1 時間
6	講義内容	産業看護の課題と地域・職域連携による保健活動■		
	該当する到達目標	予習	教科書 14 章、5 回目資料に目を通す	1 時間
	4	復習	地域・職域連携の保健活動の必要性和実際を理解する。	1 時間
7	講義内容	働く人の健康課題と対策 グループワーク■		
	該当する到達目標	予習	今までの講義資料に目を通す	1 時間
	1,2,3,4	復習	グループワークでの気づきを振り返り理解を深める	1 時間
8	講義内容	まとめ■		
	該当する到達目標	予習	今までの講義資料に目を通し、質問事項を考える	1 時間
	1,2,3,4	復習	全講義を通じて学んだこと、気づいたことをまとめる	1 時間
備考	予習復習については、試験前後の学習で補完すること。 授業では、教科書と教員の作成するプリントを使って、要点をまとめていく。パワーポイントによる図の提示及び、講義の後半ではグループワークを取り入れて講義の理解を深められる工夫を行う。 ■：実務経験に基づく内容を示す			

看 139 学校保健論

科目名	学校保健論（保健師課程科目）			NRP413	講義
英文名	School Health Theory				
担当教員	青柳千春				
科目に関連した実務経験	養護教諭として小・中学校に勤務小・中学校に勤務（経験） 学校保健担当の指導主事として教育センターに勤務（経験）				
学年・開講期	4 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	学校保健の目的・意義を理解し、児童生徒の現代的健康課題に対する対応策及び学校保健活動における教諭・養護教諭等の職務と役割について学ぶ。				
到達目標	1.学校保健関係法令、学校保健の領域構造とその活動内容について説明することができる。 2.学校保健活動における教諭・養護教諭等の職務内容と役割について説明することができる。■ 3.児童生徒の具体的な健康課題及びその対応策について説明することができる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	筆記試験（50％）提出物、授業への参加度・学習態度等（50％）				
課題に対するフィードバック	レポート及びワークシートにはコメントをつけて返却する。 定期試験の後に、出題の意図を掲示によって示す。				
使用教材	「新養護概説第 10 版」 采女智津江 少年写真新聞社 及び配布プリント				
1	講義内容	学校保健の目的と内容			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する		1.5 時間
	1,3	復習	学校保健活動の目的・意義、対象・領域、学校保健活動の歴史、養護教諭の職務と活動内容を理解する		1.5 時間
2	講義内容	子供の現代的な健康課題とその対応（1）			
	該当する到達目標	予習	教科書に目を通す		1.5 時間
	2	復習	子供の健康問題の推移や現代的な健康課題の発生要因について理解する		1.5 時間
3	講義内容	子供の現代的な健康課題とその対応（2）			
	該当する到達目標	予習	教科書に目を通す		1.5 時間
	2,3	復習	生活習慣の乱れ、メンタルヘルスの問題、性に関する問題について理解する		1.5 時間
4	講義内容	保健教育 ■			

	該当する到達目標	予習	教科書に目を通す	1.5 時間
	1,2	復習	学校で行われる保健教育について理解する	1.5 時間
5	講義内容	学校における保健管理(1)～救急処置及び健康診断 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書に目を通す	1.5 時間
	1,2,3	復習	学校における救急措置及び健康診断の意義と目的、計画の立て方と実施の流れ、職員の健康診断、就学時健康診断について理解する	1.5 時間
6	講義内容	学校における保健管理(2)～健康観察及び疾病管理 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書に目を通す	1.5 時間
	1,2,3	復習	健康観察の目的、機会と内容、手順、と疾病管理の目的、注意事項、実際について理解する。学校で行われる救急処置、感染症対策、アレルギー対応、医療的ケアについて理解する	1.5 時間
7	講義内容	学校における保健管理(3)～学校環境衛生及び危機管理		
	該当する到達目標	予習	教科書に目を通す	1.5 時間
	1,2,3	復習	環境衛生及び学校安全と危機管理について理解する	1.5 時間
8	講義内容	保健組織活動及び精神保健 ■		
	該当する到達目標	予習	教科書に目を通す	1.5 時間
	1,2,3	復習	学校で行われている保健組織活動を理解する。児童生徒の精神保健の現状及び学校における健康相談の基本的な考え方や進め方を理解する	1.5 時間
備考	授業は教科書と教員の作成するプリントを使って、要点をまとめていく。パワーポイントによる図の提示を行っていく。また事例を示しグループワークにより課題解決学習も取り入れる。課題に対するレポート提出1回。 ■:実務経験に基づく内容を示す オフィスアワー:(青柳)木曜日及び金曜日の1限 メールアドレス:(青柳)aoyagi@takasaki-u.ac.jp 研究室: (青柳)3号館 2階 207			

看 140 健康危機管理論

科目名	健康危機管理論（保健師課程科目）			NRP414	講義
英文名	Health Crisis Management				
担当教員	倉林しのぶ 赤羽潤子				
科目に関連した実務経験	日本防災士会群馬支部副支部長として活動（赤羽） 保健師としての勤務経験： 都道府県教育委員会・病院・事業所（倉林）				
学年・開講期	4 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	自然災害、大規模な事故、感染症等、個人が日常的に遭遇する病気や事故とは規模・性質の異なる健康の安全を脅かす状況に対する公衆衛生上の体制、対応と、保健師がかかわる健康危機管理事例について学習する。				
到達目標	1.健康危機管理システムと保健所、市町村等の役割について理解できる。■ 2.平常時、災害発生時、災害復旧・復興対策期等、各期に応じて必要な保健師の活動が理解できる。 3.地域住民への啓発と相互支援力について理解することができる。 4.健康危機管理に必要な保健師の管理能力について理解することができる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	授業参加度 60%、レポート 40%				
課題に対するフィードバック	国家試験過去問題についてはその都度解答について解説をし、講義と問題を結び付けて考えられるようにする。				
使用教材	資料を配布する				
1	講義内容	健康危機管理システムと対策 ■			
	該当する到達目標	予習	テキストに目を通してくる		1 時間
	1.2	復習	危機管理に関する保健所・市町村の役割について理解する。		1.5 時間
2	講義内容	災害と保健活動①			
	該当する到達目標	予習	テキストの災害各期の保健活動のページを読んでくる。		1 時間
	1.2	復習	災害各期に必要な支援について理解する。		1.5 時間
3	講義内容	災害と保健活動②			
	該当する到達目標	予習	テキストの災害各期の保健活動のページを読んでくる。		1 時間
	1. 2. 3	復習	災害各期の保健所・市町村保健師の役割を理解する。		1.5 時間
4	講義内容	災害と保健活動③			

	該当する到達目標	予習	災害に関する保健師国家試験の過去問題を解く	1 時間
	1, 2, 3	復習	国試過去問の見直しをする	1.5 時間
5	講義内容	演習(自然災害時の対策と対応①) ■		
	該当する到達目標	予習	事前に配布された資料を読んでおく	1 時間
	3.4	復習	自分の住んでいる地域の災害マップを確認する	1.5 時間
6	講義内容	演習(自然災害時の対策と対応②) ■		
	該当する到達目標	予習	事前に配布された資料を読んでおく	1 時間
	3.4	復習	自分の住んでいる地域の災害マップを確認する	1.5 時間
7	講義内容	演習(自然災害時の対策と対応③) ■		
	該当する到達目標	予習	事前に配布された資料を読んでおく	1 時間
	3.4	復習	自分の住んでいる地域の災害マップを確認する	1.5 時間
8	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	1～7回の講義資料の見直し	1 時間
	3.4	復習	各自治体単位での災害危機管理体制について理解する	1.5 時間
備考	授業期間全体を通じた授業の進め方 ・授業は、教科書と教員の作成するパワーポイント、資料を使用し、説明を行っていく。 ・演習は、指導場面のロールプレイ、グループワーク及び質疑応答の形式で進める。 オフィスアワー: 月曜日・火曜日の11:00～13:00(倉林) 質問はいつでも受け付けます。(メール可) ※ただし、メールの場合は学科・学年・氏名を必ず記載のこと。 E-mail: kura@takasaki-u.ac.jp(倉林) ■実務経験に基づく内容を示す			

看 141 公衆衛生看護組織論

科目名	公衆衛生看護組織論（保健師課程科目）			NRP415	講義
英文名	Organization Theory in Public Health Nursing				
担当教員	深澤 英子				
科目に関連した実務経験	保健師とし県及び保健所に勤務（経験）				
学年・開講期	4 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	地方自治体における保健計画策定・施策化・予算の仕組みについて学ぶ。また、関係機関、地区組織との連携及び地域ケアシステムの構築について学ぶ。				
到達目標	1. 地方自治体における計画策定・施策化・予算のしくみについて理解できる。■ 2. 保健活動に関係する組織や関係者間の連携について理解できる。■ 3. 他区組織やグループ活動支援における保健師の役割について理解できる。■				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	定期試験 90%、演習発表 10%				
課題に対するフィードバック	演習発表については個別にコメントする。				
使用教材	テキスト「公衆衛生看護管理論」平野かよ子編，メジカルフレンド社 講義のスライドを随時プリントして配布する。				
1	講義内容	保健福祉計画の策定と予算 1 保健福祉対策 ■			
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでくること		1 時間
	1,2	復習	テキスト、資料の見直しをする		1.5 時間
2	講義内容	保健福祉計画の策定と予算 2 予算の仕組み ■			
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでくること		1 時間
	1,2	復習	テキスト、資料の見直しをする		1.5 時間
3	講義内容	公衆衛生看護管理 1 管理の特色と基本			
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでくること		1 時間
	2,3	復習	テキスト、資料の見直しをする		1.5 時間
4	講義内容	公衆衛生看護管理 2 情報管理・組織運営・			
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでくること		1 時間

	2,3	復習	テキスト、資料の見直しをする	1.5 時間
5	講義内容	公衆衛生看護管理3 業務管理・予算管理・人事管理 ■		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでくること	1 時間
	1,2,3	復習	テキスト、資料の見直しをする	1.5 時間
6	講義内容	地域ケアシステムづくり1 組織・機関、ケアシステムの概念、ケアシステムの構築 ■		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでくること	1 時間
	2,3	復習	テキスト、資料の見直しをする	1.5 時間
7	講義内容	地域ケアシステムづくり2 ケアシステムの構築のポイント、資質 ■		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでくること	1 時間
	2,3	復習	テキスト、資料の見直しをする	1.5 時間
8	講義内容	地域ケアシステムと保健師の役割 ■		
	該当する到達目標	予習	第7回までの資料に目を通しておく	1 時間
	2,3	復習	全講義の復習をし地域ケアシステムと保健師の役割について理解する	1.5 時間
備考	授業の進め方:テキスト中心に行うが、補足的内容を含め教員が作成したパワーポイント及び資料を使い解説する。グループワークによる演習が入ることがある。 オフィスアワー:水曜日・木曜日 場所 1 号館保健室:ei-fukasawa@takasaki-u.ac.jp(深澤) ■:実務経験に基づく内容を示す			

看 142 公衆衛生看護学実習 I

科目名	公衆衛生看護学実習Ⅰ（保健師課程科目）			NRP312	実習
英文名	Public Health Nursing: PracticumⅠ				
担当教員	倉林しのぶ 赤堀八重子				
科目に関連した実務経験	保健師としての勤務経験：都道府県教育委員会・病院・事業所（倉林）、市町村役場（赤堀）				
学年・開講期	3 年 後期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	地域および地域に暮らす人々の特徴とニーズを理解した上で、地域住民を対象とした「健康教育」を実施する。対象地域に即したテーマの選定、企画、運営、評価、また、地域住民との関わりを通して、公衆衛生看護活動の具体的な理解を深める。				
到達目標	1.保健指導技術のひとつである「健康教育」の目的と役割を理解できる。■ 2.地域の課題を明確にし、優先順位と目標を設定した上で計画を立案し実施できる。■ 3.健康教育実施後に、そのプロセス評価ができる。■				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	グループワーク参加度・貢献度（40％）、実習状況・報告会（40％）、記録物（20％）				
課題に対するフィードバック	記録に関しては実習指導者および教員が確認し、コメントまたは確認印を押して返却する。 実習報告会に向けて作成した資料は当日配布を予定している。				
使用教材	健康教育テーマに関する資料				
講義内容	健康教育の実践は、地域公民館で実施する。なお、グループワークには積極的に参加し、情報共有を図ったうえで企画に結びつけること。健康教育の実施当日は、住民やボランティアの方々と積極的にコミュニケーションをとりながら進めること。※健康教育のテーマは、実習先により異なるが、次に掲げる事項を視点におき実習を行う。健康教育計画書や媒体の作成に関しては、担当教員から適宜指導を受ける。1)既存のデータや地区踏査を通して、対象とする地域の特徴を理解する。2)地域で活動する民生委員やボランティアとの関わりの中で、地域の特徴や住民のニーズを理解する。3)対象に合ったテーマを選定し、健康教育の企画立案を行う。4)対象の特徴や条件を考慮した健康教育の運営を行う。5)対象にあわせた媒体を使用し、効果的な健康教育を実施する。6)実施した健康教育を評価し、地域にフィードバックする。■				
	予習	健康教育の目的、地区踏査の目的の把握、高齢者保健活動、健康教育のテーマに関する資料の確認、健康教育等の評価法の確認			期間中 適宜

	復習 健康教育テーマに関する情報等の確認、教員からのアドバイスの確認、健康教育を実施して学んだことについてのまとめ、報告会用資料準備	期間中 適宜
備考	実習期間全体を通じた実習の進め方： ・実習は、地域公民館での健康教育の実施である。 ・実習は、主にグループワークの形式で進める。 オフィスアワー：月曜日・火曜日11:00～13:00（倉林）、金曜日13:00～16:15（赤堀） 質問はいつでも受け付けます（メール可）。 ※ただし、メールの場合は学科・学年・氏名を必ず記載のこと。 E-mai: kura@takasaki-u.ac.jp（倉林）、akabori@takasaki-u.ac.jp（赤堀） ■：実務経験に基づく内容を示す	

看 143 公衆衛生看護学実習Ⅱ

科目名	公衆衛生看護学実習Ⅱ（保健師課程科目）			NRP416	実習
英文名	Public Health Nursing: PracticumⅡ				
担当教員	倉林しのぶ 赤堀八重子				
科目に関連した実務経験	保健師としての勤務経験： 都道府県教育委員会・病院・事業所（倉林）、市町村役場（赤堀）				
学年・開講期	4 年 前期	必選・単位数	必修 3 単位		
講義目標	地域社会で生活する住民や家族の保健ニーズと地域の健康課題を包括的にとらえ、課題を解決するための公衆衛生看護活動の基本的実践方法を習得する。				
到達目標	1.地域における公衆衛生活動の実際が理解できる。■ 2.住民が生活している地域全体の特徴と健康課題が理解できる。■ 3.公衆衛生活動を展開している保健所、市町村の役割と機能が理解できる。■ 4.個人や家族・集団・地域という単位での身体的・精神的・社会的特性を理解し、あらゆる健康レベルにある対象に応じた援助が実践できる。■ 5.住民に対する看護活動（家庭訪問・健康診査・健康相談・健康教育等）を体験し、各種保健事業の展開を理解することができる。■ 6.地域における保健・医療・福祉の連携の在り方を学び、地域ケアシステムにおける保健師の役割を理解できる。■				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	実習参加度・態度（40%）、報告会・カンファレンスの参加度（20%）、実習中・後の記録物（30%）、事前学習（10%）				
課題に対するフィードバック	記録に関しては実習指導者および教員が確認し、コメントまたは確認印を押して返却する。 実習報告会に向けて作成した資料は資料集として当日配布を予定している。				
使用教材	最新保健師講座対象別公衆衛生看護活動 3 松田正巳著、医学書院（3,300 円＋税） 国民衛生の動向、厚生労働統計協会編、厚生労働統計協会（2,500 円税込）、その他事業に関する資料等				
講義内容	群馬県内の保健所および市町村において、3週間の実習を行う。保健所では主に広域的・専門的な				

	公衆衛生看護活動の実際を学ぶ。市町村では地域の特性と地域に暮らす人々の健康課題を把握し、市町村で展開される公衆衛生看護活動の実際を学ぶ。保健所・市町村それぞれの公的機関としての機能・役割および保健師の機能・役割を理解し、公衆衛生看護活動について総合的に学ぶ。※実習内容の詳細は配属される実習先により異なるが、次に掲げる事項について学生は実習指導者による指導を受ける。1)保健所および関係職種、地域住民やボランティア等との基本的なコミュニケーションなどの円滑な人間関係の形成について 2)個人および家族、地域住民との援助関係の形成、個人および家族、地域住民への権利擁護及び支援(エンパワメントを含む。)とその評価。多職種連携をはじめとする支援におけるチームアプローチの実際や根拠法に基づくサービスの実際、行政組織の一員としての役割と責任への理解■		
	予習	実習先に関する予習、参加する事業の根拠法等、実習指導で準備した資料の確認	期間中 適宜
	復習	事業の根拠法の確認、実習先で教わったこと得た体験のまとめ、報告会用資料準備	期間中 適宜
備考	実習期間全体を通じた実習の進め方: ・保健所実習4日間、市町村実習8日間、学内実習3日間である。 ・学内実習は、主にグループワークの形式で進める。 ・市町村において実施する健康教育は、事前に担当教員が指導を行う。 オフィスアワー: 月曜日・火曜日 11:00～13:00(倉林)、金曜日 13:00～16:15(赤堀) 質問はいつでも受け付けます(メール可)。 ※ただし、メールの場合は学科・学年・氏名を必ず記載のこと。 E-mai: kura@takasaki-u.ac.jp(倉林)、akabori@takasaki-u.ac.jp(赤堀) ■: 実務経験に基づく内容を示す		

看 144 学校保健

科目名	学校保健（養護に関する科目）			NRT220	講義
英文名	School Health				
担当教員	青柳千春				
科目に関連した実務経験	養護教諭として小・中学校に勤務小・中学校に勤務（経験） 学校保健担当の指導主事として教育センターに勤務（経験）				
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	学校保健の目的・意義を理解するとともに、保健管理・保健教育に関する基礎的知識と技術を習得して、養護教諭として学校保健活動をすすめるために必要な実践力の基礎を身に付ける。				
到達目標	1. 学校教育の目標、学校保健の目標を述べることができる。 2. 学校が抱える課題を説明することができる。 3. 保健教育の内容と機会、教職員の役割を理解できる。 ■ 4. 保健管理の内容と教職員の役割を理解できる。 ■ 5. 組織活動の内容と、連携について理解できる。 ■ 6. 関連法規を理解できる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	筆記試験（50％）、提出物、授業への参加度・学習態度等（50％）				
課題に対するフィードバック	レポート及びワークシートにはコメントをつけて返却する。 定期試験の後に、出題の意図を掲示によって示す。				
使用教材	「養護教諭のための学校保健〈第 13 版〉」 出井 美智子他 少年写真新聞社				
1	講義内容	オリエンテーション、学校保健の目的と内容			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する		1.5 時間
	1.2	復習	学校保健活動の目的・意義、対象・領域、学校保健活動の歴史について理解する		1.5 時間
2	講義内容	児童生徒の心身の発達と健康（1）			
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す		1.5 時間
	2	復習	心身の発達、形態の発育、体力・運動能力の現状について理解する		1.5 時間
3	講義内容	児童生徒の心身の発達と健康（2）			
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す		1.5 時間
	2	復習	児童生徒の健康課題（不登校、いじめ、虐待、発達障害）について理解する		1.5 時間
4	講義内容	健康診断 ■			

	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す	1.5 時間
	4. 5. 6	復習	健康診断の意義と目的、計画の立て方と実施の流れ、職員の健康診断、就学時健康診断について理解する	1.5 時間
5	講義内容	健康観察・保健指導 ■		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す	1.5 時間
	4. 5. 6	復習	健康観察の目的、機会と内容、手順について理解する	1.5 時間
6	講義内容	疾病管理		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す	1.5 時間
	4. 5. 6	復習	疾病管理の目的、注意事項、実際について理解する	1.5 時間
7	講義内容	感染症対策		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す	1.5 時間
	4. 5. 6	復習	感染症発生の 3 大要因と予防法を理解し、演習①～③に取り組む。	1.5 時間
8	講義内容	救急処置(1)		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す	1.5 時間
	4. 5. 6	復習	学校における救急処置の目的、適切な見極めと判断、救急体制づくりを理解する。	1.5 時間
9	講義内容	救急処置(2) ■		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す	1.5 時間
	4. 5. 6	復習	簡単なけがの手当てをできるようにする	1.5 時間
10	講義内容	学校安全		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す	1.5 時間
	4. 5. 6	復習	危機管理および学校安全の構造を理解する	1.5 時間
11	講義内容	健康教育(1)		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す	1.5 時間
	3. 5. 6	復習	保健教育の領域と特質、教科保健と特別活動の目標と内容、指導、評価の違いについて理解する	1.5 時間
12	講義内容	健康教育(2) ■		
	該当する到達目標	予習	指導案を作成し、模擬授業の準備をする	1.5 時間
	3. 5. 6	復習	模擬授業を振り返り、指導案や資料の修正を行い、提出する	1.5 時間
13	講義内容	精神保健		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す	1.5 時間
	2. 4. 5	復習	学校保健における精神・心理的疾患及び特別支援教育について理解するレポートを作成して提出する	1.5 時間
14	講義内容	学校環境衛生		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す	1.5 時間
	4. 5. 6	復習	学校環境衛生の目的、法的根拠と学校環境衛生規準について理解する	1.5 時間

15	講義内容	学校保健計画及び保健組織活動 ■		
	該当する到達目標	予習	学校保健委員会運営案に目を通す	1.5 時間
	1.5	復習	学校保健計画の法的根拠とその意義及び保健室経営の在り方について理解するとともに、参加した学校保健委員会の振り返りを行いレポートを提出する	1.5 時間
備考	授業の前半は教科書と教員の作成するプリントを使って、テーマの概要を説明し、後半は質疑応答形式で進める。課題に対するレポート提出 2 回と学習指導案の提出 1 回。 ■:実務経験に基づく内容を示す オフィスアワー:(青柳)木曜日及び金曜日の 1 限 メールアドレス:(青柳)aoyagi@takasaki-u.ac.jp 研究室: (青柳)3 号館 2 階 207			

看 145 養護概説

科目名	養護概説（養護に関する科目）			NRT221	講義
英文名	School Health Nursing				
担当教員	青柳千春				
科目に関連した実務経験	養護教諭として小・中学校に勤務小・中学校に勤務（経験） 学校保健担当の指導主事として教育センターに勤務（経験）				
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	学校保健を推進する中核的役割を持つ養護教諭の職務と機能、役割を理解し、児童生徒の健康問題の解決方法と技術について、専門的・実践的に学習する。				
到達目標	1.養護の本質や概念、職務内容について、説明することができる。 ■ 2.保健室経営計画の作成の目的や手順を説明することができる。 ■ 3.教科保健（保健学習）の指導案を作成することができる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	筆記試験（50％）提出物、授業への参加度・学習態度等（50％）				
課題に対するフィードバック	レポート及びワークシートにはコメントをつけて返却する 作成した指導案は冊子にして配布する				
使用教材	「新養護概説〈第10版〉」采女智津江 少年写真新聞社				
1	講義内容	養護教諭の職務 ■			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する		1.5 時間
	1	復習	養護教諭の制度の変遷、養護教諭に関する法律・審議会答申等、養護教諭の職業倫理、養護教諭の役割について理解する		1.5 時間
2	講義内容	学校教育と学校保健			
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す		1.5 時間
	1	復習	教育行政、教育の目的、学校教育と学校保健関係法令、教育課程と学習指導要領、学校における健康教育について理解する		1.5 時間
3	講義内容	子どもの心身の発達と健康			
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す		1.5 時間
	1	復習	子どもの身体面、知的学習面、情緒面、心理面、社会性に関する発育発達を理解する		1.5 時間
4	講義内容	子どもの現代的な健康課題とその対応			
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す		1.5 時間

	1,2,3	復習	子どもの健康問題の推移、ヘルスプロモーションの理念を生かした健康教育の推進について理解する	1.5 時間
5	講義内容	保健管理(1)学校における救急処置 ■		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す	1.5 時間
	1	復習	学校における救急処置の目的、適切な見極めと判断、救急体制づくりについて理解するとともに、簡単なけがの手当てができるようにする	1.5 時間
6	講義内容	保健管理(2)健康診断		
	該当する到達目標	予習	配布された事前学習プリントに取り組む	1.5 時間
	1	復習	健康診断の意義と目的、法的根拠、計画の立て方と実施の流れを理解する	1.5 時間
7	講義内容	保健管理(3)健康観察と疾病管理 ■		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す	1.5 時間
	1	復習	健康観察の目的、機会と内容、法的根拠及び疾病管理の目的と内容及び留意点について理解する	1.5 時間
8	講義内容	保健管理(4)精神保健・健康相談と養護教諭の役割 ■		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す	1.5 時間
	1	復習	子どもの心の健康問題と対応に当たっての留意点、健康相談及び教育相談の基本的な考え方と養護教諭の役割を理化する	1.5 時間
9	講義内容	保健管理(5)学校環境衛生		
	該当する到達目標	予習	配布された事前学習プリントに取り組む	1.5 時間
	1	復習	学校環境衛生の目的、学校環境衛生の法的根拠と学校環境衛生基準、学校環境衛生に関する活動における養護教諭の役割を理解する	1.5 時間
10	講義内容	保健室経営 ■		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す	1.5 時間
	2,3	復習	保健室経営の重要性、保健室の機能と保健室経営を理解し、保健室経営計画の作成手順を確認する	1.5 時間
11	講義内容	保健組織活動		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す	1.5 時間
	1	復習	組織活動の必要性、学校保健委員会、学校医・学校歯科医・学校薬剤師の職務内容と連携における養護教諭の役割について理解する	1.5 時間
12	講義内容	保健教育(1)		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す	1.5 時間
	3	復習	教科保健(保健学習)と保健指導のねらい、内容、進め方、教材の活用方法について理解する	1.5 時間
13	講義内容	保健教育(2)		
	該当する到達目標	予習	教科保健(保健学習)の授業案を構想する	1.5 時間

	3	復習	構想した教科保健(保健学習)の授業案をもとに指導案を作成する	1.5 時間
14	講義内容	保健教育(3)		
	該当する到達目標	予習	構想した教科保健(保健学習)の授業案をもとに指導案を作成する	1.5 時間
	3	復習	指導案を修正する	1.5 時間
15	講義内容	保健教育(3)		
	該当する到達目標	予習	構想した授業案を発表できるように準備する	1.5 時間
	1,2,3	復習	授業検討を受け、指導案を完成させる	1.5 時間
備考	授業は教科書と教員の作成するプリントを使って、要点をまとめていく。パワーポイントによる図の提示を行っていく。適時グループワークを取り入れるが第 14 回・15 回はグループワークを中心の活動を行う。課題に対するレポート提出 1 回とグループで作成した学習指導案の提出 1 回。 ■:実務経験に基づく内容を示す オフィスアワー:水曜日及び金曜日の 1 限、 メールアドレス:aoyagi@takasaki-u.ac.jp 研究室:3 号館 2 階 207			

看 146 健康相談 I

科目名	健康相談Ⅰ（養護に関する科目）			NRT320	講義
英文名	Health CounselingⅠ				
担当教員	水出 房子				
科目に関連した実務経験	教育実習事前指導 学校保健講義分担				
学年・開講期	3 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	健康相談の基礎的知識・技術を踏まえ、保健室における健康相談を進める上での必要な実践力を身に付ける				
到達目標	1.養護教諭の行う健康相談の特徴が理解できる 2.ヘルスカウンセリングや教育相談で学んだ知識・スキルを健康相談に生かすことができる 3.関係者と連携した支援の在り方を考えられる				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	講義及びグループワークへの参加度・貢献度(30%) 課題レポート(70%)				
課題に対するフィードバック	レポート及びワークシートにはコメントを付け返却する。				
使用教材	「養護教諭の行う健康相談」大谷直子 東山書房 講義内容・ワークシートを随時プリントして配布				
1	講義内容	養護教諭と健康相談			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する		1.5 時間
	2	復習	養護教諭の役割と活動・職務における健康相談・健康相談の概念を理解する		1.5 時間
2	講義内容	養護教諭の特性と保健室の機能を生かす			
	該当する到達目標	予習	教科書13～34pに目を通す		1.5 時間
	2.3	復習	健康相談の基礎と背景・養護教諭と保健室について理解する		1.5 時間
3	講義内容	健康相談に活用できる理論			
	該当する到達目標	予習	教科書40～64pに目を通す		1.5 時間
	2.3	復習	健康相談に活用できるカウンセリング理論と技術を理解する		1.5 時間
4	講義内容	子どもの支援体制と学校内外の連携			
	該当する到達目標	予習	教科書65～78pに目を通す		1.5 時間

	2	復習	支援体制と学校内外の連携と法律を理解する	1.5 時間
5	講義内容	児童生徒理解、保健室来室場面での健康相談		
	該当する到達目標	予習	教科書83～115pに目を通す	1.5 時間
	1.2.3	復習	保健室での子供理解の方法と保健室来室者への対応について理解する	1.5 時間
6	講義内容	健康相談の記録		
	該当する到達目標	予習	教科書116～124pに目を通す	1.5 時間
	1.2	復習	記録の意義・目的・管理と個人情報について理解する。	1.5 時間
7	講義内容	危機管理と養護教諭		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す	1.5 時間
	1.2	復習	危機管理的な対応・自傷行為と自殺について理解する。	1.5 時間
8	講義内容	「いじめ理解」と支援・対応		
	該当する到達目標	予習	教科書174～175に目を通す。配布されたプリントに目を通す。	1.5 時間
	1.2.3	復習	「いじめの」と養護教諭の役割について理解する。レポートを作成し提出する	1.5 時間
備考	授業期間全体を通じた授業の進め方： ◎教科書と自作のパワーポイントを活用し理論の理解を深める。 ◎事例ごとにロールプレイ等の演習を実施し体験を通しスキルアップを図る・ ◎ワークシート、レポート作成等、個々の特性を生かした健康相談を構築する。 オフィスアワー：授業の前後 メールアドレス： 研究室：			

看 147 健康相談Ⅱ

科目名	健康相談Ⅱ（養護に関する科目）			NRT420	講義
英文名	Health CounselingⅡ				
担当教員	水出 房子				
科目に関連した実務経験	教育実習事前事後及び訪問指導 学校保健講義分担				
学年・開講期	4 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	健康相談の基礎的知識・技術を踏まえ、保健室における健康相談を進める上での必要な実践力を身に付ける				
到達目標	1.養護教諭の行う健康相談の特徴が理解できる 2.ヘルスカウンセリングや教育相談で学んだ知識・スキルを健康相談に生かすことができる 3.関係者と連携した支援の在り方を考えられる				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	講義及びグループワークへの参加度・貢献度(30%) 課題レポート(70%)				
課題に対するフィードバック	レポート及びワークシートにはコメントを付け返却する。				
使用教材	「養護教諭の行う健康相談」大谷直子 東山書房 講義内容・ワークシートを随時プリントして配布				
1	講義内容	虐待の理解と支援・対応			
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す		1.5 時間
	1.2.3	復習	虐待とその対応について理解する		1.5 時間
2	講義内容	発達障害を持つ子どもの理解とその対応			
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す		1.5 時間
	1.2.3	復習	発達障害とその対応について理解する		1.5 時間
3	講義内容	不登校・保健室登校の理解とその対応			
	該当する到達目標	予習	教科書174～175pと配布されたプリントに目を通す		1.5 時間
	1.2.3	復習	不登校・保健室登校とその対応について理解する		1.5 時間
4	講義内容	慢性疾患の理解と対応			
	該当する到達目標	予習	教科書164～165pと配布されたプリントに目を通す		1.5 時間
	1.2.3	復習	慢性疾患とその対応について理解する		1.5 時間

5	講義内容	性感染症の理解と対応		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す	1.5 時間
	1.2.3	復習	性感染症とその対応について理解する	1.5 時間
6	講義内容	薬物乱用の理解と対応		
	該当する到達目標	予習	教科書184～185pと配布されたプリントに目を通す	1.5 時間
	1.2.3	復習	薬物乱用とその対応について理解する	1.5 時間
7	講義内容	事例検討(研究)の意義と進め方		
	該当する到達目標	予習	教育実習で学んだ事例をまとめる	1.5 時間
	1.2.3	復習	事例検討の意義と方法について理解する	1.5 時間
8	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	健康相談で学んだことをまとめて発表できるよう準備しておく	1.5 時間
	1.2.3	復習	健康相談を行う上で必要な資質能力を理解し、自分の得意とする分野と、今後の課題を明確にする。課題に対するレポートを作成し提出する。	1.5 時間
備考	授業期間全体を通じた授業の進め方: ◎教科書と自作のパワーポイントを活用し理論の理解を深める。 ◎事例ごとにロールプレイ等の演習を実施し体験を通しスキルアップを図る・ ◎ワークシート、レポート作成等、個々の特性を生かした健康相談を構築する。 オフィスアワー:授業の前後 メールアドレス: 研究室:			

看 148 教育基礎論

科目名	教育基礎論（教職科目）			NRT222	講義
英文名	Principles of Education				
担当教員	深見 匡				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	2 年 後期	必 選・単 位 数	選択 2 単位 ※教員の免許状取得のための必修科目		
講義目標	①教育の基本的概念、教育の理念、教育に関する歴史及び思想に関わる基礎的知識について理解し、説明できる。 ②教員に求められる基礎的な資質能力について理解し、説明できる。				
到達目標	1.教育の基本的概念について理解し、説明できる。 2.教育に関する歴史の基礎的知識について理解し、説明できる。 3.教育に関する思想の基礎的知識について理解し、説明できる。 4.現代的な教育課題について理解し、考察できる。 総じて豊かな人間性と教職者としての資質・能力を深める。				
学位授与方針との対応	—	1. 人間理解と倫理観			
	—	2. 論理的思考・問題解決力			
	—	3. チームの一員としての協調・協働			
	—	4. 国際理解			
	—	5. 生涯学習力			
評価方法	定期試験 70%、平常点 30%(レポート提出、授業態度など)で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。詳細は初回授業時に指示する。				
課題に対するフィードバック	レポートについては必要に応じてコメントを付して返却する。定期試験については試験後、関連講義において解説する。個別の質疑等には対応する。				
使用教材	講義用のテキストプリントを使用する(毎回配布)。				
1	講義内容	ガイダンス			
	該当する到達目標	予習	シラバスを読み、講義目標・講義内容・評価方法などを理解する。		1 時間
		復習	講義内容について整理し、指示された課題に取り組む。		1.5 時間
		1,2,3,4			
2	講義内容	教育の基礎的概念を学ぶ(社会と教育)			
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1 時間
		復習	教育の基礎的概念について整理し、指示された課題に取り組む。		1.5 時間
		1			
3	講義内容	教育の基礎的概念を学ぶ(発達と教育)			

	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1	復習	教育の基礎的概念について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
4	講義内容	教育の基礎的概念を学ぶ(学校教育と教員)		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1	復習	教育の基礎的概念について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
5	講義内容	教育の基礎的概念を学ぶ(教育基本法等の現代の教育理念)		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,	復習	教育の基礎的概念について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
6	講義内容	教育の歴史について(近代以前)		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2	復習	教育の歴史の基礎的知識について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
7	講義内容	教育の歴史について(近代～戦前日本)		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2	復習	教育の歴史の基本的知識について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
8	講義内容	教育の歴史について(戦後日本)		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2	復習	教育の歴史の基礎的知識について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
9	講義内容	教育の思想について(コメニウス、ロック、ルソー、コンドルセ等)		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3	復習	古典的な教育思想について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
10	講義内容	教育の思想について(ペスタロッチ、フレーベル、ヘルバルト等)		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3	復習	古典的な教育思想について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
11	講義内容	教育の思想について(デュルケーム、デューイ等)		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,4	復習	古典的な教育思想について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
12	講義内容	現代的な教育課題について① 学力について考える		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
		復習	近年の学力論の概要について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間

	1,4			間
13	講義内容	現代的な教育課題について②子どもの様々な「問題行動」		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,4	復習	近年の子どもの「問題行動」とされる問題について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
14	講義内容	現代的な教育課題について③ 日本の教育政策動向		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,4	復習	近年の日本の教育政策動向について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
15	講義内容	現代的な教育課題について④ 諸外国の教育政策動向		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,4	復習	近年の諸外国の教育政策動向について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
備考	※教職科目 【科目】教育の基礎的理解に関する科目 【施行規則に定める科目区分又は事項等】教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 授業の進め方:授業はテキストを中心に講義形式で行い、必要に応じて映像資料やグループワークを用いる予定。授業の詳細は学生の意見や状況に応じて適宜必要な修正を行っていく。 予習・復習の時間については、試験前の学習等で補完すること。 オフィスアワー:月曜 4 限、水曜 5 限、メールでの問い合わせ可。 メールアドレス:fukami@takasaki-u.ac.jp 研究室:1 号館 307 室			

看 149 教職論

科目名	教職論（教職科目）			NRT121	講義
英文名	Theory of Teacher's Profession				
担当教員	深見 匡				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 後期	必 選・単 位 数	選択 2 単位 ※教員の免許状取得のための必修科目		
講義目標	①現代社会における教職の意義・教員の役割・資質能力・職務内容の基礎について理解し、実践ができる。 ②教職に対する適性を理解し、適切な進路選択ができる。				
到達目標	1.現代の学校教育や教職の社会的意義について説明できる。 2.教員の役割や資質・能力について説明でき、基礎的な実践ができる。 3.教員の職務内容や教員の服務上・身分上の義務について説明でき、基礎的な実践ができる。 4.現代の学校が学校内外の専門家と連携する必要について説明できる。 総じて豊かな人間性と教職者としての資質・能力を深める。				
学位授与方針との対応	—	1. 人間理解と倫理観			
	—	2. 論理的思考・問題解決力			
	—	3. チームの一員としての協調・協働			
	—	4. 国際理解			
	—	5. 生涯学習力			
評価方法	定期試験 70%、平常点 30%(レポート提出、授業態度など)で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。詳細は初回授業で指示する。				
課題に対するフィードバック	レポートは必要に応じてコメントを付して返却する。定期試験については試験後、関連講義において解説する。個別の質疑等には対応する。				
使用教材	講義用のテキストプリントを使用する(毎回配布)。				
1	講義内容	ガイダンス・現代における学校教育や教員の社会的意義について			
	該当する到達目標	予習	シラバスを読み、講義目標・講義内容・評価方法などを理解する。		1 時間
		復習	講義内容について整理し、指示された課題に取り組む。		1.5 時間
2	講義内容	現代における学校教育や教員の社会的意義、教員の職業的特徴について			
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1 時間
		復習	講義内容について整理し、指示された課題に取り組む。		1.5 時間
3	講義内容	教員の役割と資質能力について(歴史)			

	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2	復習	講義内容について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
4	講義内容	教員の役割と資質能力について(現代)		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2	復習	講義内容について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
5	講義内容	教育法と教員の職務や義務① 日本国憲法・教育基本法		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3	復習	教育法制の中の教員の職務や義務について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
6	講義内容	教育法と教員の職務や義務② 学校教育法		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3	復習	教育法制の中の教員の職務や義務について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
7	講義内容	教育法と教員の職務や義務③ 教育公務員特例法		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3	復習	教育法制の中の教員の職務や義務について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
8	講義内容	学校教育と教員の職務や義務④ 教育課程(学習指導要領等)		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3	復習	教育法制の中の教員の職務や義務について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
9	講義内容	学校教育と教員の職務や義務⑤ 教育課程(各教科・領域他)		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3	復習	教育法制の中の教職員の職務について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
10	講義内容	学校教育と教員の職務や義務⑥ 研修他		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3	復習	教育法制の中の教職員の職務や義務について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
11	講義内容	学校教育と教員の職務や義務⑦ 学校運営(チームとしての学校)		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3,4	復習	教育法制の中の教員の職務は義務について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
12	講義内容	現代的な教育課題と教員の職務や義務① 学力問題		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3,4	復習	現代の教育課題について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間

	2,3,4			間
13	講義内容	現代的な教育課題と教員の職務や義務② 生徒指導		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	2,3,4	復習	現代の教育課題について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
14	講義内容	現代的な教育課題と教員の職務や義務③ 教育改革動向		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	2,3,4	復習	近年の教育改革動向について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
15	講義内容	教員の資質能力と自身の適性について考える		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3,4	復習	自身の教員としての適性について考察し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
備考	※教職科目 【科目】教育の基礎的理解に関する科目 【施行規則に定める科目区分又は事項等】教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。) 授業の進め方:授業はテキストを中心に講義形式で行い、必要に応じて映像資料やグループワークを用いる予定。授業の詳細は学生の意見や状況に応じて適宜必要な修正を行っていく。 予習・復習の時間については、試験前の学習等で補完すること。 オフィスアワー:月曜 4 限、水曜 4 限、メールでの問い合わせ可。 メールアドレス:fukami@takasaki-u.ac.jp 研究室:1 号館 307 室			

看 150 教育制度論

科目名	教育制度論（教職科目）				NRT321	講義
英文名	深見 匡					
担当教員	Theory of Educational systems					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	2 年 前期	必 選・単 位 数	選択 2 単位 ※教員の免許状取得のための必修科目			
講義目標	①現代の学校教育についての社会的・制度的・経営的事項の基礎的知識について理解し、説明できる。 ②学校と地域との連携、学校安全に関わる基礎的知識について理解し、説明できる。 ③これらの知識を学校運営の実際に活かそうとする意欲を持つ。					
到達目標	1.教育に関する社会的事項(社会状況と学校教育の変化等)について説明できる。 2.教育に関する制度的事項(教育法・制度とその意義・役割)について説明できる。 3.教育に関する経営的事項(学校経営について)について説明できる。 4.学校と地域の連携・協働について説明できる。 5.学校安全への対応について説明できる。 総じて豊かな人間性と教職者としての資質・能力を深める。					
学位授与方針との対応	—	1. 人間理解と倫理観				
	—	2. 論理的思考・問題解決力				
	—	3. チームの一員としての協調・協働				
	—	4. 国際理解				
	—	5. 生涯学習力				
評価方法	定期試験 70%、平常点 30%(レポート提出、授業態度など)で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。詳細はガイダンス時に指示する。					
課題に対するフィードバック	レポートは必要に応じてコメントを付して返却する。定期試験については試験後、関連講義において解説する。個別の質疑等には対応する。					
使用教材	講義用のテキストプリントを使用する(毎回配布)。					
1	講義内容	ガイダンス				
	該当する到達目標	予習	シラバスを読み、講義目標・講義内容・評価方法など理解する。			1 時間
		復習	講義内容について整理し、指示された課題に取り組む。			1.5 時間
		1,2,3,4,5				
2	講義内容	近年の社会状況や子どもの変化と学校教育				
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。			1 時間
		復習	社会状況や子どもの変化について整理し、指示された課題に取り組む。			1.5 時間

	1			間
3	講義内容	日本の教育政策動向		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1	復習	日本の近年の教育政策動向について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
4	講義内容	公教育に関わる法と制度① 公教育の理念		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	2	復習	現代の公教育の組織化について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
5	講義内容	公教育に関わる法と制度② 学校教育法(学校の組織や仕組み)		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	2	復習	様々な学校について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
6	講義内容	公教育に関わる法と制度③ 学校教育法(教育内容)		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	2	復習	教育課程や教育内容に関する事項について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
7	講義内容	公教育に関わる法と制度④ 地方教育行政法等(学校と社会)		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	2	復習	教育行政に関する事項について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
8	講義内容	公教育に関わる法と制度⑤ 教育公務員特例法等(教員の職務や義務)		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	2	復習	教員に関わる事項について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
9	講義内容	学校経営について① 学校の組織と経営		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	3	復習	学校の組織や運営・経営について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
10	講義内容	学校経営について② 学校評価		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	3	復習	学校評価について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
11	講義内容	学校経営について③ 学級経営		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	3	復習	学級経営について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
12	講義内容	学校と地域との連携・協働		

	該当する到達目標 4	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
		復習	学校と地域の連携・協働について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
13	講義内容	学校安全について		
	該当する到達目標 5	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
		復習	学校安全の目的・取り組みについて整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
14	講義内容	諸外国の教育政策動向①英米圏		
	該当する到達目標 1	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
		復習	諸外国(英米圏)の教育政策について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
15	講義内容	諸外国の教育政策動向②その他		
	該当する到達目標 1	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
		復習	諸外国(その他)の教育政策について整理、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
備考	※教職科目 【科目】教育の基礎的理解に関する科目 【施行規則に定める科目区分又は事項等】教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) 授業の進め方:授業はテキストを中心に講義形式で行い、必要に応じて映像資料やグループワークを用いる予定。授業の詳細は学生の意見や状況に応じて適宜必要な修正を行っていく。 予習・復習の時間については、試験前の学習等で補完すること。 オフィスアワー:火曜 3 限、金曜 5 限、メールでの問い合わせ可。 メールアドレス:fukami@takasaki-u.ac.jp 研究室:1 号館 307 室			

看 151 教育心理学

科目名		教育心理学（教職科目）			NRT223	講義
英文名		Educational Psychology				
担当教員		宮内 洋				
科目に関連した実務経験		臨床発達心理士および公認心理師として教育現場への助言・支援活動（現在）				
学年・開講期		2 年 前期	必 選・単位 数	選択 2 単位※ 教員の免許状取得のための必修科目		
講義目標		本科目は、初等中等教育段階の学校の教員を目指す上で理解しておくべき、教育心理学に関する基本的な知識の理解・修得をめざす。 具体的には、教育心理学に関する知識を生涯発達の各発達段階毎に理解し、人間の生涯発達を通じた視野を持ちながら理解できるようにしていく。 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程について、基礎的な知識を身につけ、各発達段階における心理的特性を踏まえた学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解する。 教育心理学に関する知識を生涯発達の各発達段階毎に理解し、人間の生涯発達を通じた視野を持ちながら理解できるようになる。 臨床発達心理士である講師としては、机上の空論や理想論ではなく、より現実的な内容に徹したい。				
到達目標		1.幼児、児童及び生徒の心身の発達の過程及び特徴を理解する。 2.幼児、児童及び生徒の学習に関する基礎的知識を身に付け、発達を踏まえた学習を支える指導につい基礎的な考え方を理解する。■				
学位授与方針との対応		—	1. 人間理解と倫理観			
		—	2. 論理的思考・問題解決力			
		—	3. チームの一員としての協調・協働			
		—	4. 国際理解			
		—	5. 生涯学習力			
評価方法		全講義終了後に実施される定期試験（90％）と、講義期間中に課せられる課題と講義に臨む態度・参加する姿勢（10％）によって、総合的に判断する。				
課題に対するフィードバック		講義終了時に可能な限り感想シートを配付し、そこで書かれた質問等には次回に回答するように努める。				
使用教材		教科書は指定しない。必要に応じて、資料を配付する。また、より知りたい・学びたい人のために、参考文献や映画やマンガ等の種々の作品を、講義の中で適宜紹介する。 ・J.A.L.シング『野生児の記録 1 狼に育てられた子』福村出版 ・A.ゲゼル『狼にそだてられた子』家政教育社 ・A.M.スレーター & P.C.クイン編『発達心理学・再入門』新曜社				
1	講義内容	ガイダンス：発達とは何か■				
	該当する到達目標	予習	なし			0 時間
	標	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。			2 時間

	1,2			
2	講義内容	生涯発達と「優生思想」■		
	該当する到達目標	予習	人間の生涯発達について客観的に考察できるように準備しておくこと。	1.5 時間
	1,2	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
3	講義内容	新生児期・乳児期における学び(1):「無能な赤ちゃん」というイメージ		
	該当する到達目標	予習	自らの乳児期の体験を可能な限り聞き、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1.5 時間
	1,2	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
4	講義内容	新生児期・乳児期における学び(2):「有能な赤ちゃん」と脳科学		
	該当する到達目標	予習	脳科学について客観的に考察できるように準備しておくこと。	1.5 時間
	1,2	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
5	講義内容	幼児期における学び(1):学びの基礎■		
	該当する到達目標	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1.5 時間
	1,2	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
6	講義内容	幼児期における学び(2):認知発達を中心に		
	該当する到達目標	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1.5 時間
	1,2	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
7	講義内容	幼児期における学び(3):nature vs. nurture■		
	該当する到達目標	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1.5 時間
	1,2	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
8	講義内容	児童期における学び(1):記憶研究を中心に		
	該当する到達目標	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1.5 時間
	1,2	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
9	講義内容	児童期における学び(2):学習		
	該当する到達目標	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備	1.5 時

	標		しておくこと。	間
	1,2	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
10	講義内容	児童期における学び(3):動機付け		
	該当する到達目標	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1.5 時間
	1,2	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
11	講義内容	思春期・青年期における学び		
	該当する到達目標	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1.5 時間
	1,2	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
12	講義内容	成人期以降の学び(1):学びの効果的支援		
	該当する到達目標	予習	自らのこれまでの学びに関する体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1.5 時間
	1,2	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
13	講義内容	成人期以降の学び(2):学んだ成果の評価		
	該当する到達目標	予習	自らのこれまでの学びに関する体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1.5 時間
	1,2	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
14	講義内容	老年期における学び		
	該当する到達目標	予習	なし	0 時間
	1,2	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	2 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	これまでの講義内容の理解を深めておく。	6 時間
	1,2	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
備考	※教職科目 【科目】教育の基礎的理解に関する科目 【施行規則に定める科目区分又は事項等】幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 ・授業期間全体を通して、基本的には講師が直接講義をする形式です。講義内容を深めるために、実験等を映像で見たり、ドキュメンタリーを講義内で見ることがあります。講師とのやりとりは、感想シートによっておこなわれます。 ・講義を妨害する者の受講を基本的に認めません。			

・担当教員は、専任教員ではありませんのでオフィスアワーはありません。質問等は、授業開始前もしくは終了後に教室で応じます。

■:実務経験に基づく内容を示す。

看 152 特別な教育的ニーズの理解とその支援

科目名	特別な教育的ニーズの理解とその支援（教職科目）		NRT120	講義
英文名	Understanding and supporting special educational needs			
担当教員	宮内 洋			
科目に関連した実務経験	臨床発達心理士および公認心理師として教育現場への助言・支援活動（現在）			
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	選択 1 単位 ※教員の免許状取得のための必修科目	
講義目標	①「インクルーシブ教育システム」を含めた特別支援教育に関する制度の理念や仕組み、視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱等を含む様々な「障害」のある児童及び生徒の学習または生活上の困難について基礎的な知識、「発達障害」等をはじめとする特別の支援を必要とする児童及び生徒の心身の発達、心理的特性及び学習の過程を学ぶ。 ②その上で、「発達障害」等をはじめとする特別の支援を必要とする児童及び生徒に対して、特別支援教育コーディネーター、関係機関・家庭と連携しながら支援体制を構築しながら支援する方法を学ぶ。 ③「障害」のみならず、母国語や貧困の問題等により特別の教育的ニーズのある児童及び生徒の学習または生活上の困難についての基礎的知識や組織的な支援の方法を学ぶ。			
到達目標	通常の学級にも在籍している「発達障害」等をはじめとする様々な「障害」等により特別の支援を必要とする児童及び生徒たちが、授業において学習活動に参加している実感・達成感をもちながら学び、生きる力を身に付けていくことができるように、児童及び生徒の学習または生活上の困難を理解し、個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を理解する。 1.特別の支援を必要とする児童及び生徒の障害の特性及び心身の発達を理解する。■ 2.特別の支援を必要とする児童及び生徒に対する教育課程や支援の方法を理解する。■ 3.「障害」はないが、特別の教育的ニーズのある児童及び生徒の学習または生活上の困難とその対応を理解する。■			
学位授与方針との対応	—	1. 人間理解と倫理観		
	—	2. 論理的思考・問題解決力		
	—	3. チームの一員としての協調・協働		
	—	4. 国際理解		
	—	5. 生涯学習力		
評価方法	全講義終了後に実施される定期試験（90％）と、授業貢献度（10％）によって、総合的に判断する。			
課題に対するフィードバック	講義終了時に可能な限り感想シートを配付し、そこで書かれた質問等には次回に回答するように努める。			
使用教材	テキスト			

		・柘植雅義・渡部匡隆・二宮信一・納富恵子編 2014『はじめての特別支援教育[改訂版]』有斐閣 参考書・参考資料等 ・柘植雅義『特別支援教育 多様なニーズへの挑戦』中央公論新社		
1	講義内容	ガイダンス■		
	該当する到達目標	予習	なし。	0 時間
	1,2,3	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	2 時間
2	講義内容	特別支援とは何か・特別支援の場とは何か		
	該当する到達目標	予習	特別支援について調べておくこと。	1.5 時間
	1,2,3	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
3	講義内容	視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱等を含む種々の「障害」がある児童・生徒の理解とその支援		
	該当する到達目標	予習	視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱等を含む種々の「障害」がある児童・生徒について調べておくこと。	1.5 時間
	1,2	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
4	講義内容	「発達障害」がある児童・生徒の理解■		
	該当する到達目標	予習	「発達障害」について調べておくこと。	1.5 時間
	1,2	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
5	講義内容	「発達障害」がある児童・生徒の支援■		
	該当する到達目標	予習	「発達障害」について調べておくこと。	1.5 時間
	1,2	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
6	講義内容	異文化の子どもの理解とその支援■		
	該当する到達目標	予習	異文化について調べておくこと。	1.5 時間
	3	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
7	講義内容	「子どもの貧困」問題の理解とその支援■		
	該当する到達目標	予習	「子どもの貧困」について調べておくこと。	2 時間
	3	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
8	講義内容	特別な支援とアクティブ・ラーニング		

	該当する到達目標	予習	これまでの講義内容の理解を深めておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
備考	※教職科目 【科目】教育の基礎的理解に関する科目 【施行規則に定める科目区分又は事項等】特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 ・授業期間全体を通して、基本的には講師が直接講義をする形式です。講義内容を深めるために、ドキュメンタリー等の映像を講義内で見ることがあります。講師とのやりとりは、感想シートによっておこなわれます。 ・講義を妨害する者の受講を基本的に認めません。 ・担当教員は、専任教員ではありませんのでオフィスアワーはありません。質問等は、授業開始前もしくは終了後に教室で応じます。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

看 153 教育課程論

科目名		教育課程論（教職科目）			NRT229	講義
英文名		Curriculum Theory				
担当教員		栗原 幸正				
科目に関連した実務経験		・公立小学校に、教諭・教頭・校長として勤務（経験） ・市町村教育委員会に、指導主事として勤務（経験）				
学年・開講期		2 年 前期	必 選・単 位 数	選択 1 単位 ※教員の免許状取得のための必修科目		
講義目標		学校教育における教育課程の意義や編成の方法について、学習指導要領総則編の読解や教育課程（教育内容）の変遷を知ることを通して理解すると共に、養護教諭・栄養教諭が直面する現代的な教育的課題を知り、その克服に向けての具体的教育課程に係る取り組みを知る。				
到達目標		1.教育課程とは何かについて具体的に理解し、設問等に解答し、記述することができる。 2.教育課程が不易な教育的内容の定着を図るためにあるのと同時に、社会からのニーズによって編成されていることを知り、変遷の過程を説明する事ができる。 3.養護教諭・栄養教諭が直面する現代的な教育的課題を知り、その克服に向けての具体的教育課程に係る取り組みを構築する事ができる。■ 4.カリキュラム・マネジメントについての認識を深め、説明することができる。■				
学位授与方針との対応		—	1. 人間理解と倫理観			
		—	2. 論理的思考・問題解決力			
		—	3. チームの一員としての協調・協働			
		—	4. 国際理解			
		—	5. 生涯学習力			
評価方法		定期試験（60％） 授業後の小レポート（20％） 課題レポート（20％）				
課題に対するフィードバック		紙媒体については評価の明記並びに評価コメント。 プレゼンテーション等については、テーマ設定・発表方法・発表時間・質疑等の評価規準を明確にして評価内容を伝える。				
使用教材		小・中学校学習指導要領解説総則編（平成29年3月告示 文部科学省） 幼稚園教育要領（平成 29 年 3 月告示 文部科学省）				
1	講義内容	小中学学習指導要領と幼稚園教育要領				
	該当する到達目標	1,2	予習	学習指導要領解説総則編（小）及び幼稚園教育要領に目を通し、講義目標をつかむ。		1 時間
		1,2	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法等を確認する。		1 時間
2	講義内容	教育課程の意義と基本原理及びその変遷				
	該当する到達目標	1,2	予習	学習指導要領の資料「学習指導要領の改訂の経過」に目を通す。		1 時間
		1,2	復習	社会的ニーズと教育課程の関連について、自分の考えを説明できる。		1.5 時間

3	講義内容	教育課程の具体としての学校要覧Ⅰ(学校教育目標・学校経営案・授業時数)■		
	該当する到達目標	予習	貸与資料「学校要覧」の上記関係箇所を目を通す。	1 時間
	3	復習	教育課程を規定する関係法規や社会的ニーズと学校経営について理解する。	1.5 時間
4	講義内容	教育課程の具体としての学校要覧Ⅱ(日課表・校務分掌と教職員の業務)■		
	該当する到達目標	予習	貸与資料「学校要覧」の上記関係箇所を目を通す。	1 時間
	3	復習	教育課程を具現化するために機能する学校体制を理解する。	1.5 時間
5	講義内容	教科・領域を横断する教育内容(保健指導・栄養指導の年間計画とその評価検討)■		
	該当する到達目標	予習	貸与資料「学校要覧」の上記関係箇所を目を通す。	1 時間
	3	復習	保健指導・栄養指導の年間指導について理解する。	1.5 時間
6	講義内容	カリキュラムマネジメント(学校教育全体で取り組むカリキュラムマネジメントと評価)		
	該当する到達目標	予習	事前配資料に目を通しておく。	1 時間
	4	復習	カリキュラム・マネジメントとは何かについて理解する。	1.5 時間
7	講義内容	学校実態に沿った現代的課題に向けての教育課程(養護・栄養の連携とアレルギー対応)		
	該当する到達目標	予習	文部科学省ホームページのアレルギー等に係る項目を目を通す。	1 時間
	3,4	復習	現代的課題に対応する教育の意義について理解する。	1 時間
8	講義内容	「社会に開かれた教育課程」創造に向けて		
	該当する到達目標	予習	学習指導要領論点整理に目を通す。	1 時間
	1,4	復習	ノートをまとめ、「社会に開かれた教育課程」やアクティブラーニング等について理解する。	1.5 時間
備考	※教職科目 【科目】教育の基礎的理解に関する科目 【施行規則に定める科目区分又は事項等】教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。) 授業期間全体を通じた授業の進め方:学習指導要領に沿った講義を中心としつつ、関連した項目についてのワークショップや協議・演習を組み合わせ、アクティブラーニングを具現化する。また、授業後に行う感想シートを活用して理解度を把握すると共に、小論文作成の技術を高める。 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。 ※Excel・Word を使用できる環境を準備しておく。 オフィスアワー:水曜日 2 限・金曜日 2 限 研究室:9 号館 305 研究室 メールアドレス:kurihara-y@takasaki-u.ac.jp ■:実務経験に基づく内容を示す。			

看 154 道德教育・特別活動論

科目名		道徳教育・特別活動論（教職科目）			NRT225	講義
英文名		Moral Education and Special Activities				
担当教員		石川 勉				
科目に関連した実務経験		公立中学校に教諭・教頭・校長として勤務（経験）				
学年・開講期		2 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位 ※教員の免許状取得のための必修科目		
講義目標		道徳の本質を踏まえ、道徳教育の歴史や現代社会の課題について、学校での道徳教育を理解する。道徳教育の目標、道徳教育全体計画、内容について概略を把握し、その具現化にむけての技術や方法を理解する。特別活動では道徳教育との関り、意義や取り組み方法の実際、評価改善について、学習指導案に基づく内容理解を行う。				
到達目標		道徳の意義や原理等を踏まえ、学校における道徳教育の目標や内容を理解する。 1.道徳の本質を説明できる。 2.道徳教育の歴史や現代社会における道徳教育の課題（いじめ・情報モラル等）を理解している。■ 3.子どもの心の成長と道徳性の発達について理解している。■ 4.学習指導要領に示された道徳教育の主な内容を理解している。■ 特別活動の意義、目標、内容指導の在り方を理解する。 5.学習指導要領における特別活動の目標及び主な内容を理解している。■ 6.教育課程における特別活動の位置付けと各教科等との関連を理解している。■ 7.学級活動・ホームルーム活動の特質を理解している。■ 8.児童会・生徒会活動、クラブ活動、学校行事の特質を理解している。■				
学位授与方針との対応		—	1. 人間理解と倫理観			
		—	2. 論理的思考・問題解決力			
		—	3. チームの一員としての協調・協働			
		—	4. 国際理解			
		—	5. 生涯学習力			
評価方法		小テスト(30%)、レポート(30%)、定期試験(25%)、平常点(15%)、総合評価 60%以上を合格とする。詳細はガイダンス時に指示する。				
課題に対するフィードバック		レポート、小テストは必要に応じてコメントして返却する。定期試験の内容や質疑は個別に対応する。				
使用教材		小中学校学習指導要領、同解説道徳編、その他、講義用のテキストプリントを使用する。（毎回配布）				
1	講義内容	道徳の本質（道徳とは何か）、学校の教育活動全体で行う道徳教育とその要となる道徳科■				
	該当する到達目	予習	シラバスを読み、講義目標、講義内容、評価方法を理解する。			1.5 時

	標			間
	1	復習	講義内容について整理し、理解する。	1.5 時間
2	講義内容	学習指導要領に示された道德教育、道德教育全体計画、道德科の目標や内容■		
	該当する到達目標	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1.5 時間
	1	復習	道德教育、道德科の内容を整理し、理解する。	1.5 時間
3	講義内容	道德教育の歴史、現代社会の道德教育の課題■		
	該当する到達目標	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1.5 時間
	2	復習	道德教育の歴史、現代の課題を整理し、理解する。	1.5 時間
4	講義内容	道德性の発達の理論、特別支援を配慮した道德教育、子どもの心の成長■		
	該当する到達目標	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1.5 時間
	2,3	復習	道德性の発達理論、心の理論を整理し、理解する。	1.5 時間
5	講義内容	道德性、道德的価値内容の補充・深化・統合、授業のねらい■		
	該当する到達目標	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1.5 時間
	3,4	復習	道德性、道德的価値内容、授業指導法について整理し、理解する。	1.5 時間
6	講義内容	道德教育年間計画、指導の重点、学級の道德教育指導計画■		
	該当する到達目標	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1.5 時間
	4	復習	道德教育年間計画、指導の重点、学級の指導計画について整理し、理解する。	1.5 時間
7	講義内容	道德科指導案、資料分析の手法、授業のねらいや指導過程の明確化■		
	該当する到達目標	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1.5 時間
	4	復習	道德科指導案、指導方法について整理し、理解する。	1.5 時間
8	講義内容	模擬授業と授業改善、道德科の特性を踏まえた学習評価■		
	該当する到達目標	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1.5 時間
	4	復習	模擬授業、学習評価について整理し、理解する。	1.5 時間

9	講義内容	道徳教育の多様な指導方法の理解■		
	該当する到達目標	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	道徳教育の多様な指導方法を整理し、理解する。	1.5 時間
10	講義内容	学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育と社会問題、非行問題の課題■		
	該当する到達目標	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	学校教育活動における道徳教育、課題について整理し、理解する。	1.5 時間
11	講義内容	学習指導要領における特別活動の目標と内容、特別活動の位置づけ■		
	該当する到達目標	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1.5 時間
	5,6	復習	学習指導要領における特別活動の内容について整理し、理解する。	1.5 時間
12	講義内容	教育課程における特別活動の位置づけ、教科等との関連■		
	該当する到達目標	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1.5 時間
	5,6	復習	教育課程における特別活動の位置づけについて整理し、理解する。	1.5 時間
13	講義内容	学級活動・ホームルーム活動の特質、児童生徒の話し合い活動、集団活動■		
	該当する到達目標	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1.5 時間
	7,8	復習	学級活動、話し合い活動などについて整理し、理解する。	1.5 時間
14	講義内容	児童会・生徒会活動、クラブ活動、学校行事の特質と家庭、地域住民、関係機関との連携■		
	該当する到達目標	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1.5 時間
	7,8	復習	児童会・生徒会活動、学校行事について整理し、理解する。	1.5 時間
15	講義内容	学校全体の教育活動で取組む「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」■		
	該当する到達目標	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1.5 時間
	1,4,5,6,7,8	復習	学校全体で取り組む特別活動の意義について整理し、理解する。	1.5 時間
備考	※教職科目 【科目】 道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目 【施行規則に定める科目区分又は事項等】 道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容			

質問等は授業中が望ましいのですが、授業前後や非常勤講師室にて対応します。また、緊急の質問は教務課を通しメールや電話にて対応いたします。

授業の予習復習からさらに理解を深めるために、小テスト前や返却後にしっかりと学習し把握すること。小テストは3回を予定しています。また、レポートを2回実施します。学習の積み重ねは、試験前に再度補完すること。

■:実務経験に基づく内容を示す。

看 155 総合的な学習の時間論

科目名		総合的な学習の時間論（教職科目）			NRT226	講義
英文名		Theory of Period for Integrated Studies				
担当教員		石川 勉				
科目に関連した実務経験		公立中学校に教諭・教頭・校長として勤務(経験)				
学年・開講期		2 年 後期	必選・単位数	選択 1 単位 ※教員の免許状取得のための必修科目		
講義目標		小・中学校における総合的な学習の意義や目標を理解し、実践事例を通して、育成すべき資質・能力を考慮した指導計画・単元計画を作成する。さらに、効果的な総合的な学習の具現化には、カリキュラムマネジメントが不可欠であることを理解する。				
到達目標		総合的な学習の時間の意義や、各学校において目標及び内容を定める際の考え方を理解する。 総合的な学習の時間の指導計画作成の考え方を理解し、その実現のために必要な基礎的な能力を身に付ける。 1.総合的な学習の時間の意義と教育課程において果たす役割について、教科を越えて必要となる資質・能力の育成の視点から理解している。■ 2.学習指導要領における総合的な学習の時間の目標並びに各学校において目標及び内容を定める際の考え方や留意点を理解している。■ 3.各教科等との関連性を図りながら総合的な学習の時間の年間指導計画を作成することの重要性と、その具体的な事例を理解している。■ 4.主体的・対話的で深い学びを実現するような、総合的な学習の時間の単元計画を作成することの重要性とその具体的な事例を理解している。■				
学位授与方針との対応		—	1. 人間理解と倫理観			
		—	2. 論理的思考・問題解決力			
		—	3. チームの一員としての協調・協働			
		—	4. 国際理解			
		—	5. 生涯学習力			
評価方法		小テスト(30%)、レポート(30%)、定期試験(25%)、平常点(15%)、総合評価 60%以上を合格とする。詳細はガイダンス時に指示する。				
課題に対するフィードバック		レポート、小テストは必要に応じてコメントして返却する。定期試験の内容や質疑は個別に対応する。				
使用教材		小中学校学習指導要領、同解説 総合的な学習の時間編、その他、講義用のテキストプリントを使用する。				
1	講義内容	学習指導要領における総合的な学習の時間の目標、意義と教育課程上の位置づけ■				
	該当する到達目	予習	シラバスを読み、講義目標、講義内容、評価方法を理解する。			1.5 時

	標			間
	1,2	復習	講義内容について整理し、理解する。	1.5 時間
2	講義内容	中学校のキャリア教育「職業調べ」「職業体験」「上級学校調べ」事例研究、教科との関連■		
	該当する到達目標	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1.5 時間
	1,2,3	復習	中学校のキャリア教育内容について整理し、内容を理解する。	1.5 時間
3	講義内容	生徒が主体的・対話的で深い学びにするための事例研究■		
	該当する到達目標	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1.5 時間
	3,4	復習	総合的学習の時間の事例研究を整理し、理解する。	1.5 時間
4	講義内容	教育課程における年間計画と単元計画、学習指導計画、各教科との関連■		
	該当する到達目標	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1.5 時間
	1,3	復習	教育課程における年間計画、単元計画、学習計画などを整理し、理解する。	1.5 時間
5	講義内容	小学校の具体的な単元計画と学習実践、事例研究■		
	該当する到達目標	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	小学校の具体的な実践について整理し、理解する。	1.5 時間
6	講義内容	単元構想、学習指導計画作成を通しての総合的な学習の授業づくり■		
	該当する到達目標	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1.5 時間
	2,3,4	復習	実際に単元を構想し、学習指導計画を作成する授業づくりについて整理し、理解する。	1.5 時間
7	講義内容	学習指導案検討会、教科を越えた横断的な思考の育成■		
	該当する到達目標	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1.5 時間
	2,3,4	復習	各学習指導案について検討されたことを整理し、理解する。	1.5 時間
8	講義内容	総合的な学習の時間の模擬授業、学習状況評価、自己の生き方指導■		
	該当する到達目標	予習	テキスト、資料を読み、概要を理解する。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	実際の授業やその評価について整理し、理解する。	1.5 時間

備 考	※教職科目 科目：道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目 施行規則に定める科目区分又は事項等：道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容 質問等は授業中が望ましいのですが、授業前後や非常勤講師室にて対応します。また、緊急の質問は教務課を通しメールや電話にて対応いたします。 授業の予習復習からさらに理解を深めるために、小テスト前や返却後にしっかりと学習し把握すること。小テストは２回を予定しています。また、レポートを１回実施します。学習の積み重ねは、試験前に再度補完すること。 ■：実務経験に基づく内容を示す。

看 156 教育方法論

科目名	教育方法論（教職科目）			NRT226	講義
英文名	Teaching Method				
担当教員	栗原 幸正				
科目に関連した実務経験	・公立小学校に、教諭・教頭・校長として勤務（経験） ・市町村教育委員会に、指導主事として勤務（経験）				
学年・開講期	2 年 前期	必 選・単位 数	選択 1 単位 ※教員の免許状取得のための必修科目		
講義目標	次世代を作る児童・生徒の資質・能力を育成するために必要な教育観・教育方法・教育技術についての基礎的な知識・技能を習得する。				
到達目標	1.教育の質の向上に向けて、教育方法学の重要性を理解する事ができる。 2.多様な教育観を理解し、資質・能力の育成に効果的な授業構成論を習得できる。 3.学習指導要領の具現化に向けての教育技術を習得し、授業づくりをする方法論を理解する。■				
学位授与方針との対応	—	1. 人間理解と倫理観			
	—	2. 論理的思考・問題解決力			
	—	3. チームの一員としての協調・協働			
	—	4. 国際理解			
	—	5. 生涯学習力			
評価方法	定期試験(50%) 授業後の小レポート(10%)課題レポート(20%) 成果物(10%)				
課題に対するフィードバック	紙媒体については評価の明記並びに評価コメント。プレゼンテーション等については、テーマ設定・発表方法・発表時間・質疑等の評価規準を明確にして評価内容を伝える。				
使用教材	教育の方法(佐藤学著 放送大学叢書 本体 1,524 円) 小学校学習指導要領解説 総則編				
1	講義内容	学習観の変遷(教育方法の歴史的意義)			
	該当する到達目標	予習	教科書「教育の方法」に目を通し、これまでの教育方法学の変遷を教育学者の取り組みを通して把握しておく。		1 時間
		復習	教育方法学の変遷を知り、現代の教育における教育方法の多様性を理解する。		2 時間
2	講義内容	小中学校における教育方法の現状と課題(学級崩壊を通して)			
	該当する到達目標	予習	自分の小中学校時代の経験に即し、学級崩壊について想起する。		1 時間
		復習	学級崩壊の要因としての教員の教育方法について理解し、自分自身の教員的資質について考察する事ができる。		1 時間
3	講義内容	教育方法の実際①(養護教諭の授業ビデオを元にした授業研究)			
	該当する到達目標	予習	小学校学習指導要領解説 総則編の授業づくりに係る箇所に目を通しておく。		1 時間
		復習	授業研究で得た教育方法について、ノートにまとめる。		1 時間

4	講義内容	教育方法の実践②(栄養教諭の授業ビデオを元にした授業研究)		
	該当する到達目標	予習	小学校学習指導要領解説 総則編の授業づくりに係る箇所に目を通しておく。	1 時間
	3	復習	授業研究で得た教育方法について、ノートにまとめる。	1 時間
5	講義内容	小・中学校におけるアクティブ・ラーニングの可能性(実践事例を通して) ■		
	該当する到達目標	予習	電気に係る学習について、小学校・中学校・高等学校の内容を想起しておく。	1 時間
	3	復習	単元学習におけるアクティブ・ラーニングについて、講義内容をまとめる。	1 時間
6	講義内容	小・中学校における授業づくりの方法①(学年計画・教科計画・評価計画) ■		
	該当する到達目標	予習	小学校学習指導要領解説 総則編の年間計画に係る箇所に目を通しておく。	0.5 時間
	2,3	復習	学年計画と教科計画・評価計画の関連性について理解する。	1 時間
7	講義内容	小・中学校における授業づくりの方法②(教材研究と学習指導案・学習評価作業) ■		
	該当する到達目標	予習	教科書の関連する箇所に目を通すと共に、小学校学習指導要領解説 総則編の学習指導案及び教育評価に係る箇所に目を通しておく。	1 時間
	2,3	復習	学習指導案と学習評価の関連についてノートにまとめる。	1 時間
8	講義内容	情報機器を用いた授業構成(パソコンを用いた授業づくり演習)		
	該当する到達目標	予習	パワーポイントを用いて、学級における自己紹介プレゼン資料を作っておく。	1 時間
	1,3	復習	授業において効果的に情報機器を用いる留意点をまとめる。	1 時間
備考	※教職科目 【科目】道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目 【施行規則に定める科目区分又は事項等】教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。) 授業期間全体を通じた授業の進め方:教科書に沿った講義を中心としつつ、関連した項目についての研究協議・演習を組み合わせ、アクティブ・ラーニングを具現化する。また、授業後に行う感想シートを活用して理解度を把握すると共に、小論文作成の技術を高める。予習・復習については試験前の学習で補完すること。 ※パワーポイント・Excel・Word を利用できる環境を準備しておくこと。 オフィスアワー:水曜日 2 限・金曜日 2 限 質問等はメールで常時受けつける。 メールアドレス:kurihara-y@takasaki-u.ac.jp 研究室:9 号館 3 階 305 号室 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

看 157 生徒指導論

科目名	生徒指導論（教職科目）				NRT228	講義
英文名	Student Guidance					
担当教員	小西 尚之					
科目に関連した実務経験	教諭として公立高等学校に勤務（経験）					
学年・開講期	2 年 前期	必 選・単位 数	選択 2 単位 ※教員の免許状取得のための必修科目			
講義目標	生徒指導は、学校教育において学習指導（教科指導）と並ぶ重要な分野として位置付けられる。本授業では、学校における教師の生徒指導について、理論と実践の両面から考察していく。授業の進め方としては、各テーマについての説明を聞くだけではなく、話し合い活動を通じて課題に取り組むことによって理解を深めていく。					
到達目標	1.生徒指導の理論について理解している。 2.生徒指導について実践的に思考することができる。■ 3.他者と協力しながら課題に積極的に取り組むことができる。					
学位授与方針との対応	—	1. 人間理解と倫理観				
	—	2. 論理的思考・問題解決力				
	—	3. チームの一員としての協調・協働				
	—	4. 国際理解				
	—	5. 生涯学習力				
評価方法	小テストに約 70%、日常点（授業への参加、授業態度、課題への取り組み、討論、授業に対する貢献度等）に約 30%を配分して総合評価する。					
課題に対するフィードバック	試験前後に出題の意図等を説明する。					
使用教材	教科書：『よくわかる生徒指導・キャリア教育』（小泉令三編著、ミネルヴァ書房、2010 年、2,400 円（税別））、参考書：『生徒指導提要』（平成 22 年 3 月 文部科学省）					
1	講義内容	オリエンテーション 教育課程における生徒指導の位置付け				
	該当する到達目標 1	予習	シラバスを読んで、毎回の授業内容を確認し、自分との関連などを考えておく。			1.5 時間
		復習	資料を読み直し、授業の概要を確認し、生徒指導を学ぶ意味を理解する。			1.5 時間
2	講義内容	各教科・道徳教育・総合的な学習の時間・特別活動における生徒指導				
	該当する到達目標 1	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。			1.5 時間
		復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。			1.5 時間

				間
3	講義内容	集団指導・個別指導の方法原理		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,2	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
4	講義内容	生徒指導体制と教育相談体制		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,2	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
5	講義内容	他分野との連携(1)生徒指導と情報教育(各種メディア、情報リテラシーなど)		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
6	講義内容	他分野との連携(2)生徒指導と学習指導(授業における指導など)		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	他分野との連携(3)生徒指導と進路指導(キャリア教育など)		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	他分野との連携(4)小学校や高等学校・地域や家庭との連携		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	問題行動への対応(1)校則・生徒心得について		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	問題行動への対応(2)懲戒・体罰について		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間

	標			間
	1,2,3	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	問題行動への対応(3)不登校・ひきこもりについて■		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	問題行動への対応(4)いじめについて■		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	問題行動への対応(5)非行について		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
		復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	グループ発表(1)校則・生徒心得、懲戒・体罰の事例		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	グループ発表(2)不登校・ひきこもり、いじめ・非行の事例		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	15 回分の資料を読み直し、講義内容を理解する。	1.5 時間
備考	※教職科目 科目:道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目 施行規則に定める科目区分又は事項等:生徒指導の理論および方法 授業の進め方:毎回の講義では、各テーマについての講義に加え、個人で関連した課題に取り組んだり、小グループや全体での話し合い活動を行います。 予習・復習については、小テストの学習等で補完してください。 オフィスアワー:火曜 5 限、金曜 2 限 メールアドレス:konishi@takasaki-u.ac.jp			

研究室:8号館4階409号室

■:実務経験に基づく内容を示す。

看 158 教育相談

科目名		教育相談（教職科目）			NRT229	講義
英文名		School Counseling				
担当教員		宮内 洋				
科目に関連した実務経験		臨床発達心理士および公認心理師として相談業務（現在）				
学年・開講期		3 年 後期	必 選・単位 数	選択 2 単位 ※教員の免許状取得のための必修科目		
講義目標		本科目は、中等教育段階の学校の教員を目指す上で理解しておくべき、教育相談に関する基本的な知識と技能の理解・修得をめざす。 教育相談は、幼児、児童及び生徒が自己理解を深めたり好ましい人間関係を築いたりしながら、集団の中で適応的に生活する力を育み、個性の伸長や人格の成長を支援する教育活動である。生徒の発達の状況に即しつつ、個々の心理的特質や教育的課題を適切に捉え、支援するために必要な基礎的知識(カウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的知識を含む)を身に付ける。 この際には、密室に閉じた相談活動ではなく、学校、さらには地域に開かれた支援を視野に入れる。臨床発達心理士である講師としては、机上の空論や理想論ではなく、より現実的な内容に徹したい。				
到達目標		1.学校における教育相談の意義と理論を理解する。 2.教育相談を進める際に必要な基礎的知識(カウンセリングに関する基礎的事柄を含む)を理解する。■ 3.教育相談の具体的な進め方やそのポイント、組織的な取り組みや連携の必要性を理解する。■				
学位授与方針との対応		—	1. 人間理解と倫理観			
		—	2. 論理的思考・問題解決力			
		—	3. チームの一員としての協調・協働			
		—	4. 国際理解			
		—	5. 生涯学習力			
評価方法		全講義終了後に実施される定期試験(85%)と、講義期間中に課せられる課題(10%)、講義に臨む態度・参加する姿勢(5%)によって、総合的に判断する。				
課題に対するフィードバック		講義終了時に可能な限り感想シートを配付し、そこで書かれた質問等には次回に回答するように努める。				
使用教材		教科書は指定しない。必要に応じて、資料を配付する。また、より知りたい・学びたい人のために、参考文献や映画やマンガ等の種々の作品を、講義の中で適宜紹介する。 参考書・参考資料等 ・宮内洋『体験と経験のフィールドワーク』北大路書房 ・宮内洋・好井裕明 編著『〈当事者〉をめぐる社会学―調査での出会いを通して』北大路書房 ・秋山千枝子・堀口寿広 監修『スクールカウンセリングマニュアル(第2版)』日本小児医事出版社				
1	講義内容		オリエンテーション:受容と共感■			
	該当する到達目	予習	自らの中学・高校での教育相談に関する体験を想起し、それらを客観的			7 時間

	標		に考察できるように準備しておくこと。	
	1,3	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
2	講義内容	「教育相談」とは何か■		
	該当する到達目標	予習	教育相談とは何かについて考察できるように準備しておくこと。	1.5 時間
	1,3	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
3	講義内容	各自の枠組の相違の体験的理解		
	該当する到達目標	予習	コミュニケーションの失敗に関する体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1.5 時間
	1,3	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
4	講義内容	生徒に対する誤解への注意と気づき■		
	該当する到達目標	予習	自らの気づきに関する体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1.5 時間
	1,3	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
5	講義内容	生徒の「性格」理解		
	該当する到達目標	予習	自らの性格について理解を深めておくこと。	1.5 時間
	1,3	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
6	講義内容	学校教育における「カウンセリングマインド」■		
	該当する到達目標	予習	カウンセリングマインドについて理解を深めておくこと。	1.5 時間
	1,3	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
7	講義内容	カウンセリングの基礎的理解と技法		
	該当する到達目標	予習	カウンセリングについて調べておくこと。	1.5 時間
	1,3	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
8	講義内容	スクールカウンセリングの基礎と実際■		
	該当する到達目標	予習	自らの中学・高校での体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1.5 時間
	1,2	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
9	講義内容	いじめに対する対応		

	該当する到達目標 1,2,3	予習	自らの中学・高校での体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1.5 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
10	講義内容	いじめとスクールカウンセリング：中学校におけるいじめの実態		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	自らの中学・高校での体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1.5 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
11	講義内容	校内暴力に対する生徒指導と教育相談■		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	自らの中学・高校での体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1.5 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
12	講義内容	臨床発達心理学的視点からの教育相談■		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	自らの中学・高校での体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1.5 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
13	講義内容	教育相談のロール・プレイング(1)：ロール・プレイングの実践■		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	ロール・プレイングについて調べておくこと。	1.5 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
14	講義内容	教育相談のロール・プレイング(2)：ロール・プレイングの振り返り■		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	前回のロール・プレイングについて理解を深めておくこと。	3 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
15	講義内容	緊急時・災害時・事後における教育相談		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	緊急時の教育相談について客観的に考察できるように準備しておくこと。	1.5 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1.5 時間
備考	※教職科目 【科目】道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目 【施行規則に定める科目区分又は事項等】教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法 ・授業期間全体を通して、基本的には講師が直接講義をする形式です。講義内容を深めるために、映像			

を講義内で見ることがあります。科目の性格上、グループワークを講義内に取り入れています。講師とのやりとりは、感想シートによっておこなわれます。

・講義を妨害する者の受講を基本的に認めません。

・担当教員は、専任教員ではありませんのでオフィスアワーはありません。質問等は、授業開始前もしくは終了後に教室で応じます。

■:実務経験に基づく内容を示す。

看 159 養護実習

科目名		養護実習（教職に関する科目）			NRT421	実習
英文名						
担当教員		青柳千春、宝田智恵子				
科目に関連した実務経験		養護教諭として小・中学校に勤務小・中学校に勤務（経験）（青柳・宝田）				
学年・開講期		4 年 前期	必選・単位数	必修 5 単位		
講義目標		教育の現場において、児童生徒への理解を深め、養護教諭に必要な知識・技術・態度・実践力を養う				
到達目標		1. 学校の特性、組織、運営について理解することができる。 2. 学校保健全般について理解することができる。 3. 養護教諭の役割、保健室の機能を学び、技術を習得することができる。 ■ 4. 児童生徒の生活を理解し、発育発達段階に応じた保健教育、保健管理について理解することができる。				
学位授与方針との対応		✓	1. 人間理解と倫理観			
		✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		✓	3. チームの一員としての協調・協働			
			4. 国際理解			
			5. 生涯学習力			
評価方法		事前・事後指導の学習参加態度(20%)、レポート(10%)、実習校における評価(50%)、実習報告会の成果(20%)				
課題に対するフィードバック		レポート及び実習記録にはコメントをつけて返却する 事前指導で作成した指導案および保健便りは冊子にして配布する 実習報告会に向けて作成した資料は報告書として配布する				
使用教材		新養護概説（第 10 版） 采女智津江編（小写真新聞社） 講義のスライドやワークシートを随時プリントして配布する				
1	講義内容	オリエンテーション、学校教育の中の養護教諭の役割				
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する			1.5 時間
	1,3	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する			1.5 時間
2	講義内容	学校保健計画、安全計画と養護教諭の役割				
	該当する到達目標	予習	教科書及び配布されたプリントに目を通す			1.5 時間
	2	復習	学校保健計画および学校安全計画作成の法的根拠と意義、作成手順及び留意事項、内容と評価について理解する			1.5 時間
3	講義内容	学校保健委員会活動 ■				
	該当する到達目標	予習	教科書及び配布されたプリントに目を通す			1.5 時間
	2,3	復習	校内の学校保健組織、学校保健委員会の実際と養護教諭の役割を理解する			1.5 時間

	講義内容	学校の日課と健康観察 ■		
4	該当する到達目標	予習	教科書及び配布されたプリントに目を通す	1.5 時間
	1,4	復習	学校の一日の流れ、健康観察の目的、機会と内容を理解する	1.5 時間
	講義内容	保健教育(1)法的根拠・内容・機会		
5	該当する到達目標	予習	教科書及び配布されたプリントに目を通す	1.5 時間
	1,3,4	復習	保健教育の法的根拠・内容・機会について理解する	1.5 時間
	講義内容	保健教育(2)指導案作成の手順及び留意点		
6	該当する到達目標	予習	教科書及び配布されたプリントに目を通す	1.5 時間
	1,3,4	復習	指導案の作成の手順及び留意点について理解する	1.5 時間
	講義内容	保健室の執務の実際 ■		
7	該当する到達目標	予習	教科書及び配布されたプリントに目を通し、演習問題に取り組んでおく	1.5 時間
	1,3,4	復習	保健室来室者の対応、けがの手当て	1.5 時間
	講義内容	危機管理		
8	該当する到達目標	予習	教科書及び配布されたプリントに目を通し、演習問題に取り組んでおく	1.5 時間
	1,3,4	復習	救急体制、学校安全、危機管理について理解するとともに、演習で行った応急手当及び心肺蘇生が実践できるようにする	1.5 時間
	講義内容	学校環境衛生		
9	該当する到達目標	予習	教科書及び配布されたプリントに目を通し、環境検査の方法を理解しておく	1.5 時間
	1,3,4	復習	学校環境衛生の目的、関係法令、日常点検と措置を理解し、水質検査・照度検査・二酸化炭素測定ができるようにする	1.5 時間
	講義内容	感染症、食中毒発生時の対応		
10	該当する到達目標	予習	教科書及び配布されたプリントに目を通し、演習問題に取り組んでおく	1.5 時間
	1,3,4	復習	学校感染症の種類と平時・発生時・事後の対応を理解するとともに、演習で行った吐物処理が実践できるようにする	1.5 時間
	講義内容	健康診断(1)意義と目的、計画の立て方及び実施方法		
11	該当する到達目標	予習	教科書及び配布されたプリントに目を通し、検査の方法を理解しておく	1.5 時間
	1,3,4	復習	健康診断の意義と目的、計画の立て方及び実施方法を理解する	1.5 時間
	講義内容	健康診断(2)実践と事後措置		
12	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す	1.5 時間
	1,3,4	復習	健康診断の各項目の検査方法及び事後措置について理解する	1.5 時間
13	講義内容	4 週間の実習(学内実習 1 週間及び実習校での実習 3 週間)を受講することで、次の実習目標①～④を達成する ①学校の特性、組織運営について理解する。 ②学校保健全般について理解する。 ③養護教諭の役割と具体的活動を理解し、養護教諭の指導のもとで実践する。 ④児童・生徒の生活状況を理解し、発達・発育段階に応じた保健管理・保健教育を実施する。		

	【学内実習】 事前学内実習において、保健室来室者対応及び環境検査等の演習を行う。保健指導、保健教育の指導案を作成し学内で模擬授業を実施する。保健便りや掲示物等の教材の作成を行う。 【学外実習】 実習は実習校の学校長の管理下、指導・監督のもとに行う。指導は学校長、教頭、教務主任、保健主事、養護教諭その他の関係職員に委嘱する。主たる指導者は実習校の養護教諭とし、実習校の計画のもとに実施する。			
	該当する到達目標	予習	事前指導の中で学んだことを再確認し、整理をして実習の準備をする	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	実習先で学んだことを振り返り、レポートにまとめる	1.5 時間
14	講義内容	養護実習の報告(1)		
	該当する到達目標	予習	養護実習の記録をもとに配布されたワークシートに必要事項を記入し持参する	1.5 時間
	1,3,4	復習	養護実習報告へ向け、資料を作成する	1.5 時間
15	講義内容	養護実習の報告(2)		
	該当する到達目標	予習	養護実習の記録を基に配布されたワークシートに必要事項を記入し持参する	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	養護実習報告会へ向け、資料を作成する	1.5 時間
16	講義内容	養護実習の発表		
	該当する到達目標	予習	養護実習報告会へ向け、発表の準備をする	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	養護実習の学びを振り返る	1.5 時間
備考	事前指導の授業の前半は教科書と教員の作成するプリントを使って、テーマの概要を説明し、後半は演習形式で進める。実習期間中、実習校を訪問して指導をする。事後指導は、学びの共有のためのグループワークや、実習報告会へ向けての個別指導を行います。 ■:実務経験に基づく内容を示す (青柳)オフィスアワー:水曜日及び金曜日の1限、 メールアドレス:aoyagi@takasaki-u.ac.jp 研究室:3号館 2階 207 (宝田)オフィスアワー:後日連絡			

看 160 教職実践演習（養護教諭）

科目名	教職実践演習（養護教諭）（教職に関する科目）			NRT422	演習
英文名					
担当教員	青柳千春・深見匡・宝田智恵子				
科目に関連した実務経験	養護教諭として小・中学校に勤務小・中学校に勤務（経験）（青柳・宝田）				
学年・開講期	4 年 後期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	これまでの教職課程における学びを振り返ることで、養護教諭になるために必要な能力を身につけ、学校組織の一員として自覚し、教師として豊かな感性や人間関係を高めようとすることができる。				
到達目標	1. 養護教諭としての使命感や責任感をもつことができる 2. 児童生徒を理解し、保健室経営を行うことができる ■ 3. 社会性や対人関係能力等を備え、児童生徒と関わったり、教職員と協働したりすることができる				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
	✓	5. 生涯学習力			
評価方法	授業(演習)への参加態度(20%)、提出物(指導案・保健便り・掲示物)(30%)、レポート(50%)				
課題に対するフィードバック	レポート及びワークシートにはコメントをつけて返却する				
使用教材	講義のスライドやワークシートを随時プリントして配布する				
1	講義内容	オリエンテーション、学校教育と養護教諭			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する		1.5 時間
	1	復習	講義の意義、学校教育における様々な健康課題について考え、養護教諭に求められる資質について自己課題を発見する		1.5 時間
2	講義内容	保健教育（1. 授業構想） ■			
	該当する到達目標	予習	養護実習で実践した保健教育（保健学習・保健指導）の課題を基に、指導案の修正案を考える		1.5 時間
	2	復習	グループでの協議を基に、指導案を修正・作成する		1.5 時間
3	講義内容	保健教育（2. 模擬授業）			
	該当する到達目標	予習	修正・作成した指導案を基に、模擬授業の準備をする		1.5 時間
	2	復習	模擬授業を行い、改善点を協議する		1.5 時間
4	講義内容	保健教育（3. 保健だより・掲示物の構想） ■			
	該当する到達目標	予習	養護実習で実践した保健教育（保健学習・保健指導）の課題を基に、		1.5 時間

			保健だより・掲示物のアイデアスケッチをする	
	2	復習	グループでの協議を基に、保健だより、掲示物を作成する	1.5 時間
5	講義内容	保健教育（4. 保健便り・掲示物の発表）		
	該当する到達目標	予習	作成した保健便り、掲示物の目的や工夫点についてまとめる	1.5 時間
	2	復習	グループでの協議を基に、保健だより、掲示物を作成する上での留意点を理解する	1.5 時間
6	講義内容	教育目標を達成するための学校保健計画の検討 ■		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す	1.5 時間
	1,2	復習	実習校の学校保健計画を参考に、学校保健計画を作成する際の手順、養護教諭の役割、留意点を理解する	1.5 時間
7	講義内容	子どもの抱える成長・心の問題（1. 学校事故）		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す	1.5 時間
	2,3	復習	学校事故に際しての、養護教諭の役割や関係者・関係機関との連携のありかたについて考察する	1.5 時間
8	講義内容	子どもの抱える成長・心の問題（2. 発達障害）		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す	1.5 時間
	2,3	復習	発達障害の児童生徒への対応における養護教諭の役割や関係者・関係機関との連携の在り方について考察する	1.5 時間
9	講義内容	子どもの抱える成長・心の問題（3. 不登校・保健室登校）		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す	1.5 時間
	2,3	復習	不登校・保健室登校の児童生徒への対応における養護教諭の役割や関係者・関係機関との連携の在り方について考察する	1.5 時間
10	講義内容	保健室経営計画の検討 ■		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す	1.5 時間
	1,2,3	復習	保健室経営計画を作成する際の手順及び留意点を理解する	1.5 時間
11	講義内容	学校保健における養護教諭の役割、校内教職員との連携 ■		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	資料を読んで、講義内容を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	保護者・地域との連携と養護教諭の社会性、人間性		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	資料を読んで、講義内容を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	子供理解と子供に対する教育的愛		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	2	復習	資料を読んで、講義内容を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	外国籍の子供についての理解 2		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	2	復習	資料を読んで、講義内容を理解する。	1.5 時間

15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	自分なりの考えをまとめて発表できるように準備をしておく	1.5 時間
	1,2,3	復習	養護教諭として必要な資質・能力を理解し、自分と照らし合わせて、今後の課題を明確にする	1.5 時間
備考	授業は模擬授業・保健便り・掲示物等の作成やグループワークによる事例検討により進める。 課題に対するレポート提出1回。 ■:実務経験に基づく内容を示す (深見)オフィスアワー:後日連絡 メールアドレス:fukami@takasaki-u.ac.jp 研究室:1号館3階307号室 (青柳)オフィスアワー:水曜日及び金曜日の1限、 メールアドレス:aoyagi@takasaki-u.ac.jp 研究室:3号館2階207 (宝田)オフィスアワー:後日連絡			

